



CRESTIA

402KC

取扱説明書

はじめに（安全上のご注意）

目次

ご使用になる前に

基本的な使いかた

文字の入力と設定

電話帳の使いかた

メールの使いかた

インターネットの使いかた

カメラの使いかた

データフォルダの使いかた

音／バイブレータの設定

画面／照明の設定

カレンダーの使いかた

セキュリティ機能の設定

その他の便利な機能

赤外線通信の使いかた

Bluetooth® の使いかた

データ通信の使いかた

ワイモバイルの各種サービス

ソフトウェアの更新

付録

● はじめに

このたびは、「CRESTIA (402KC)」をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。ご使用前に本書を必ずお読みいただき、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

● ご注意

- 本書内の画面表記は一例です。実際の画面とは異なる場合があります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期してはおりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

● 次のものがそろっているか確認してください

本体カラー

ブラック/スパイシーグリーン/
ピンク/スパイシーオレンジ

● 本体



● バッテリーカバー



本体カラー

ネイビー×ゴールド/
ホワイト×ゴールド

● 本体



● バッテリーカバー

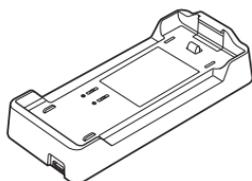


共通

- リチウムイオンバッテリー (LB07KC)



- 卓上ホルダ (CH12K)



- 取扱説明書 (保証書)

万一梱包内容に不足がある場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

リチウムイオンバッテリーとバッテリーカバーの取り付けかたについては、「バッテリーの交換」(318ページ)をご参照ください。

本体以外の付属品については、別売にてお買い求めになれます。お買い求めについては、京セラホームページをご覧ください。京セラテクニカルサービスセンターへご相談ください。

● 本機の操作説明について

本機の操作について、本書の他に「取扱説明書」（同梱）でも説明をしています。取扱説明書の構成は以下のとおりです。

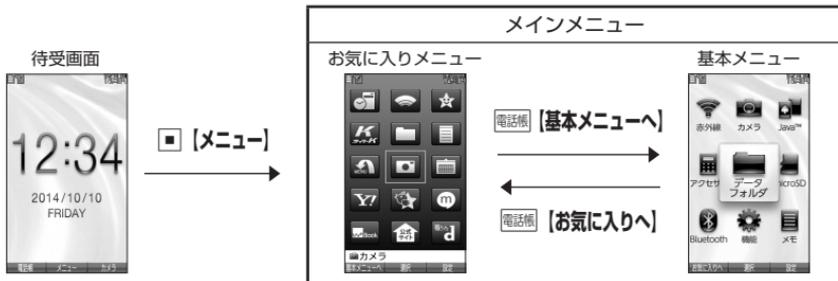
- 取扱説明書（同梱）：基本的な使いかたの説明をしています。
- 取扱説明書（本書）：すべての機能について、詳細な説明をしています。
※最新のPDFはパソコンなどでダウンロードすることができます。
京セラホームページ
<http://www.kyocera.co.jp/>



- 「取扱説明書」（同梱）の最新版も上記URLからダウンロードすることができます。

● 本書の読みかた

- 本書では、「CRESTIA (402KC)」を「本機」と表記しています。あらかじめご了承ください。
- 本書では特定の場合を除き、「microSD™メモ리카ード（市販品）」および「microSDHC™メモ리카ード（市販品）」を「microSDカード」と略しています。
- 本書での画面やイラストは、本体カラー「ネイビー×ゴールド／ホワイト×ゴールド」を例に説明しています。
- 「CRESTIA (402KC)」のメインメニュー（42ページ）は、メニュー項目をお客様のお好みで選択できる「お気に入りメニュー」と、メニュー項目が固定されている「基本メニュー」から設定することができます。



本書では「基本メニュー」で操作手順を説明しています。お買い上げ時に表示されるメインメニューが「お気に入りメニュー」の場合は、本書をお読みいただく前に「基本メニュー」に切り替えてください。

待受画面で **【基本メニューへ】**

- 本書では、Bluetooth機能の「ペアリング」を「接続」と表記しています。

キー表示について

本書では、キーの表示を図のように簡略化しています。あらかじめご了承ください。



操作説明ページの構成

はじめに

章タイトル → セキュリティ機能の設定

項目タイトル → 本体を置いてダイヤルロックをかける (閉めるとロック) 機能番号 411

概要を説明しています。 → 閉めるとロックを設定すると、本体を置いてから設定した時間経過後した上、手に接触時にロック (ダイヤルロック) をかけることができます。待受画面での着信/メール自動受信など一部の機能をオフ、操作はできません。状態になります。

操作を始める状態 (画面) を示しています。 → 閉めるとロックを設定・解除する

ご注意 → **ご注意**

操作上の注意事項などです。 → **ご注意**

お知らせ → **お知らせ**

操作上のアドバイスや知っておくと便利な情報などです。 → **お知らせ**

章インデックス

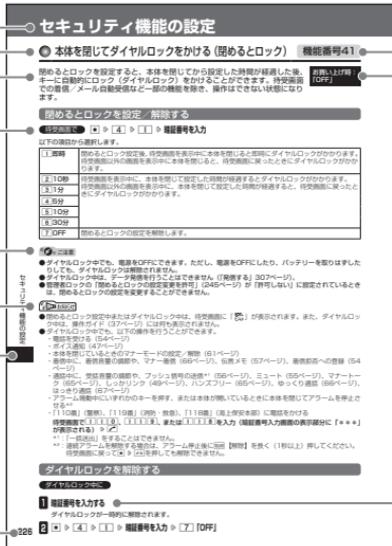
章ごとに位置がわかります。

読みたい章を探すときに便利です。

ページ → 326

機能番号
各機能に割り当て
られている番号です。
お買い上げ時
の設定

操作手順
お客様がもっとも簡単な方法で操作や各種設定ができるよう書かれています。
別の方法で操作や各種設定を行うことができる場合は、**お知らせ** に表記されています。



● 安全上のご注意

安全にお使いいただくために必ずお読みください

- この「安全上のご注意」には、本機を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載してあります。
- 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■ 表示の説明

	この表示は「人が死亡または重傷* ¹ を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
	この表示は「人が死亡または重傷* ¹ を負う可能性が想定される内容」を示しています。
	この表示は「人が傷害* ² を負う可能性が想定される内容や物的損害* ³ の発生が想定される内容」を示しています。

*¹「重傷」とは、失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

*²「傷害」とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

*³「物的損害」とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■ 図記号の説明

行為を禁止する記号			
			
禁止	分解禁止	水ぬれ禁止	ぬれ手禁止
行為を指示する記号			
			
指示	電源プラグを抜く		

■ 免責事項について

- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害（事業利益の損失・事業の中断、記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与していない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 大切なデータは、コンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをお勧めします。万一、登録された情報内容が変化、消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本機/バッテリー/充電用機器共通

本機・バッテリー・充電用機器のそれぞれにも注意事項の記載があります。必ずお読みになり記載事項をお守りください。

⚠ 危険



指示

必ず専用の周辺機器をご使用ください。専用の周辺機器以外を使用すると破裂・発火・火災・漏液の原因となります。

CRESTIA (402KC) 周辺機器

- ・ ACアダプタ<オプション品>
- ・ 卓上ホルダ<CH12K>
- ・ バッテリー<LB07KC>



禁止

高温になる場所（火のそば、ストーブのそば、炎天下など）での使用や放置、保管をしないでください。破裂・発火・火災・発熱の原因となります。



禁止

本機を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では、熱くなることがありますのでご注意ください。熱くなった状態で長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。



禁止

引火性ガスや油煙が発生する場所では使用しないでください。ガスに引火し、破裂・発火・火災の原因となります。ガソリンスタンドでの給油中など、引火性ガスが発生する場所では電源を切り、充電もしないでください。



禁止

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。破裂・発火・火災・発熱の原因となります。



禁止

加熱用機器（電子レンジなど）や高压容器に入れてください。破裂・発火・火災・発熱の原因となります。



分解禁止

分解・改造・修理はしないでください。破裂・発火・火災・発熱・感電・けがの原因となります。PHSの改造は電波法違反になります。故障などによる修理は、ワイモバイル カスタマーセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡ください。



禁止

導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）を、接続端子に接触させたり内部に入れたりして接続端子をショートさせないでください。破裂・発火・火災・発熱・感電の原因となります。



禁止

高所から落下させる、投げつける、踏みつけるなど強い衝撃を与えないでください。破裂・発火・火災・発熱の原因となります。



指示

使用中に煙が出る、異臭がする、異常な音がする、過剰に発熱しているなど異常が起きたら直ちに使用を中止してください。異常が起きた場合は、充電中であればまず充電用機器をコンセントから抜き、冷めたことを確認してから、電源を切り、バッテリーをはずしてワイモバイル カスタマーセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡ください。そのまま使用すると破裂・発火・火災・発熱の原因となります。



禁止

ACアダプタ（オプション品）は、指定以外の電源電圧は使用しないでください。また海外旅行用変圧器を使用している充電は行わないでください。火災や感電などの原因となります。

警告



禁止

通電状態で接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・けがの原因となります。



禁止

本機が濡れている状態で充電しないでください。感電や電子回路のショートなどによる故障・火災の原因となります。水濡れ時の充電による故障は保証の対象外となり修理ができません。



水濡れ禁止

本機は防水性能を有する機種ですが、万一、水などの液体が外部接続端子カバー、バッテリーカバーなどから本体内部に入った場合には、使用をおやめください。そのまま使用すると、発熱・発火・故障の原因となります。



指示

落下したり、破損したりした場合などはそのまま使用せず、ワイモバイルカスタマーセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡ください。



禁止

乳幼児の手の届く場所には置かないでください。部品やバッテリーなどの誤飲で窒息による事故やけがなどの原因となります。



禁止

直射日光のあたる場所（自動車内など）、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発火・火災の原因となります。

注意



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがの原因となります。また、本機がバイブレーション設定になっている場合、振動により落下する可能性があるため特にご注意ください。



禁止

外部から電源が供給されている状態の本機・バッテリー・充電用機器に長時間、触れないでください。低温やけどの原因となります。

本機について

共通の注意事項（本機・バッテリー・充電用機器）についても記載がありますので、必ずお読みになり記載事項をお守りください。

危険



禁止

自動車・バイク・自転車などの運転中は使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・バイク運転中のPHSの使用は危険なため法律で禁止されています。また、自転車運転中の使用も法律等で罰せられる場合があります。



禁止

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。



禁止

自動車などの運転者に向けて撮影ライト／録画ライトを点灯しないでください。目がくらんだり、驚いたりして、交通事故の原因となります。



指示

航空機に搭乗される場合は、運航の安全に支障をきたすおそれがありますので、電源をお切りください。航空機内でのPHSの使用は法律で禁止されています。



禁止

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器の近くでPHSを使用される場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがあるため、次のことを守ってください。

1. 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、PHSを心臓ペースメーカーなど装着部から22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカー、植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、PHSの電源を切るようにしてください。
3. 医療機関の屋内では以下のことに注意してご使用ください。
 - ・手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはPHSを持ち込まない。
 - ・病棟内では、PHSの電源を切る。
 - ・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、PHSの電源を切る。
 - ・医療機関が個々に使用禁止・持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。
4. 医療機関の外で植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（平成9年3月「不要電波問題対策協議会」（現電波環境協議会））に準拠し、また「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

PHSについては平成12～13年度に調査が行われ、平成17年に上記指針、報告書の内容が妥当であることが総務省より公表されています。



指示

高精度な電子機器の近くでは電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合がある機器の例：心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電子機器・火災報知器・自動ドアなど。医用電子機器をお使いの場合は、機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。



指示

通話・メール・撮影・録画・ゲーム・インターネットなどするときは周囲の安全を確認してください。安全を確認せずに使用すると、転倒・交通事故の原因となります。



指示

イヤホンを使用するときは音量にご注意ください。周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。



指示

屋外で雷鳴が聞こえた場合は、直ちに本機の使用を中止してください。落雷・感電の原因となります。本機の電源を切って、安全な場所へ移動してください。

警告



禁止

本機は完全防水ではありません。下記1～4及び「防水／防塵性能について」（13ページ）に記載されている内容を守らずにご使用になると、発火・発熱・傷害・感電・故障の原因となります。

1. 水中で使用（キー操作を含む）しないでください。
2. 常温の真水・水道水以外の液体に浸けないでください。
3. 規定（IPX5・IPX7）（13ページ）を超える強い水流を当てたり、水中に長時間沈めたりしないでください。
4. 砂浜などの上に置かないでください。



水ぬれ禁止

雨天・降雪中・海岸・水辺などで使用する場合は水ぬれや湿気、身に付けている場合は汗による湿気にご注意ください。感電や電子回路のショートの原因となります。



ぬれ手禁止



禁止

本機が破損したり、電話機内部が露出したりした場合、破損部および露出部に手を触れないでください。感電したり、けがをすることがあります。そのまま使用せず、ワイモバイルカスタマーセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡ください。



指示

心臓の弱い方はバイブレータ（振動）や音量の大きさの設定にご注意ください。心臓に影響を与える可能性があります。



禁止

赤外線ポートを目に向けて赤外線通信を行わないでください。視力障害を起こす原因となります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると、誤動作するなどの影響を与える可能性があります。



禁止

暗い部屋で、画面の強い光や光の点滅を見つめないでください。強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ていると、こくまれに、筋肉のまひや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある方は、事前に必ず医師と相談してください。



禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。レンズの集光作用により、発火・火災の原因となります。



禁止

ライトを目に近付けて点灯させないでください。また、ライト点灯時は発光部を直視したり他の人の目に向けて点灯させたりしないでください。視力障害を起こす原因となります。とくに乳幼児に対して至近距離でライトを点灯して撮影／録画はしないでください。



指示

通常は外部接続端子カバー・バッテリーカバーなどをはめた状態で使用してください。カバーをはめずに使用していると、ほこり・水などが入り感電や電子回路のショートの原因となります。

⚠️ 注意



指示

本体の吸着物にご注意ください。スピーカ一部などには磁石を使用しているため、画鋸やピン・カッターの刃、ホチキスの針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、スピーカ一部などに異物がなければ必ず確かめてください。



禁止

ハンドストラップなどを持って振り回さないでください。けがの原因となります。



指示

本体を閉じるときは、手などはさまないように閉じてください。けがの原因となります。



指示

本体を開くときはヒンジ部（つなぎ目）に指をはさまないようにご注意ください。けがの原因となります。



禁止

キャッシュカードやフロッピーディスク等の磁気を帯びた記憶媒体や電子機器、金属製品を近づけたり、はさんだりしないでください。磁気データの消失の原因となります。



禁止

microSDカード（市販品）挿入状態から、無理に引き抜かないでください。故障・内部データ消失の原因となります。



禁止

microSDカード（市販品）は、指定品以外を使用しないでください。故障・内部データ消失の原因となります。指定品については、京セラのホームページをご覧ください。



禁止

microSDカード（市販品）の取り付け、取りはずしの際、急に指を離したりせず、指定の方向に最後まで押し込んでください。また、顔などを近づけないでください。カードが勢いよく飛び出し、けが・カード破損の原因となります。



禁止

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

(使用箇所) ・ (使用材料) ・ (表面処理)
外装ケース (LCD前面側) ・ PA樹脂 (ガラス繊維含有) ・ アクリル系UV硬化塗装処理
外装ケース (LCD背面側) ・ アクリル樹脂 ・ インモールド処理/アクリル系UV硬化 塗装処理
外装ケース (KEY前面側) ・ PC樹脂 (ガラス繊維含有) ・ アクリル系UV硬化塗装処理
外装ケース (KEY背面側) ・ PC樹脂 ・ アクリル系UV硬化塗装処理
外装ケース (ヒンジ部前面側) ・ PC樹脂 ・ アクリル系UV硬化塗装処理
ウィンドウパネル部 (メイン) ・ アクリル樹脂 ・ 化学硬化処理
フロントジョグキー、電話帳キー、メール キー、カメラキー、Webキー、発信・通話キー、 電源・終話キー、戻る (クリア) / マナーキー、 センターキー、ダイヤルキー、Bluetooth キー、アプリ/ライトキー ・ アクリル樹脂 ・ ー
サイドキー (シャッター/メモキー) ・ PC樹脂 ・ アクリル系UV硬化塗装処理
外部接続端子カバー ・ PC樹脂/エラストマ樹脂 ・ アクリル系UV硬化塗装処理
カメラウィンドウ/ライト ・ アクリル樹脂 ・ 化学硬化処理
赤外線ポート窓部 ・ アクリル樹脂 ・ 化学硬化処理
 耳を刺激するような大音量で長時間続 けて聞かないでください。聴力に悪い 影響を与えることがあります。 禁止

バッテリーについて

共通の注意事項 (本機・バッテリー・充電用
機器) についても記載がありますので、必ず
お読みになり記載事項をお守りください。

⚠ 危険



バッテリーの (+) と (-) をショ
ートさせないでください。破裂・発火・
発熱の原因となります。



バッテリーを本機に装着するときは、
(+) (-) を逆にしてしないでください。
破裂・発火・発熱の原因となります。
また、うまく接続できないときは無理
せず接続部を十分にご確認ください。



釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、
踏み付けたりしないでください。破
裂・発火・発熱の原因となります。



直接ハンダ付けをしたり、分解・改造
をしたりしないでください。バッテ
リー内部の液が飛び出し目に入ったり
して失明などの事故や、破裂・発火・
発熱の原因となります。



漏液したり、異臭がするときは直ちに
使用を中止してください。また万一近
くに火気がある場合は、火気から遠ざ
けてください。漏液した液体に引火し、
破裂・発火の原因となります。

⚠ 警告



内部の液が目に入った場合は、こすら
ずにきれいな水で十分洗ったあと直ち
に医師の治療を受けてください。放置
すると失明するおそれがあります。



バッテリーは防水性能を有しておりま
せん。バッテリーを水やペットの尿な
どの液体で濡らさないでください。ま
た、濡れたバッテリーは使用や充電を
しないでください。破裂・発火・発熱
の原因となります。誤って水などに濡
れた場合はそのまま使用せず、ワイモ
バイル カスタマーセンター、京セラ
テクニカルサービスセンターまでご連
絡ください。

⚠️ 注意



内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちにきれいな水で十分に洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となります。



不要なバッテリーは、一般のゴミといっしょに捨てないでください。不要になったバッテリーは端子にテープなどを貼り絶縁してから、ワイモバイルショップ・ワイモバイル カスタマーセンターなどにお持ちください。バッテリーを分別回収している市町村の場合は、その条例に従って処理してください。



バッテリーの取り付け/取りはずしの際に無理な力を加えたり、無理に挿入しないでください。バッテリーまたはバッテリーカバーが破損するなどし、けがの原因となります。

充電用機器について

共通の注意事項（本機・バッテリー・充電用機器）についても記載がありますので、必ずお読みになり記載事項をお守りください。

⚠️ 危険



所定の時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止めてください。バッテリーの液もれ・破裂・発火・火災・発熱の原因となります。ワイモバイルカスタマーセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡ください。



雷が鳴り出したらACアダプタ（オプション品）や卓上ホルダに触れないでください。落雷による感電などの原因となります。

⚠️ 警告



指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。



ACアダプタをコンセントに差し込む場合、電源プラグに金属製のストラップやアクセサリなどを接触させないでください。発火・火災・感電・けがの原因となります。



充電時以外は、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。発火・火災・感電の原因となります。



ACアダプタの電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、発火・火災・発熱・感電の原因となります。



充電用機器は防水性能を有しておりません。水やペットの尿など液体がかからない場所で使用してください。発熱・発火・火災・感電・ショートの原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。



充電中は布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。発火・火災の原因となります。



コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。たこ足配線などで定格を超える、発火・火災・発熱の原因となります。



電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたまま使用しないでください。また、傷んだ電源コードは使用しないでください。発火・火災・感電・ショートの原因となります。



お手入れをするときには、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れすると感電やショートの原因となります。



ACアダプタの電源プラグに付いたほこりはふき取ってください。そのまま放置すると発火・火災の原因となります。



ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードが損傷し、発火・火災・感電の原因となります。



ACアダプタを本機または卓上ホルダに差し込むとき、またUSBケーブル（別売）を本機に差し込むときは、向きに注意して、必ずコネクタ部分を持ってまっすぐ差し込んでください。また、取りはずすときも必ずコネクタ部分を持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷し、発火・火災・感電の原因となります。

● 取扱上のお願ひ

本機／バッテリー／充電用機器共通

- 無理な力がかかると、ディスプレイや内部の基板などが破損し故障の原因となりますので、ズボンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、カバンの中で重いものの下になつたりしないよう、ご注意ください。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温、低温、多湿はお避けください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき接続端子を変形させないでください。
- 汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン／シンナー／アルコール／洗剤などを用いると外装や文字が変質するおそれがありますので、使用しないでください。
- 一般電話／テレビ／ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 通話中、インターネットの接続中、メールなどの利用中や充電中など、温かくなることがありますが異常ではありません。
- バッテリーは、電源を切ってから取りはずしてください。

本機について

- 本機で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られています。一部に点灯しないドット(点)または、常時点灯するドットが存在する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。本体を開くときやご使用中は、ヒンジ部(つなぎ目)に無理な力が加わらないようにしてください。振り回したりそらしたりして本体に無理な力が加わると故障や破損の原因となりますので取扱には十分ご注意ください。
- 強く押す、たたくなど、故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。キズの発生や、破損の原因となります。
- ディスプレイを硬いものでこすったりして傷付けないようご注意ください。
- ポケットおよびバッグなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材にあたらないようにしてください。また、金属などの硬い部材のストラップは、ディスプレイのキズの発生や破損の原因となりますのでご注意ください。
- マイク、スピーカー、エアVENTなどに先の尖ったものを差し込んだり、傷つけたりしないでください。故障の原因となりますのでご注意ください。
- 寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合や、湿度の高い場所で使用された場合、本機内部に水滴が付くことがあります(結露といえます)。このような条件下での使用は故障の原因となりますのでご注意ください。
- エアコンの吹き出し口などの近くに置かないでください。急激な温度変化により結露すると、内部が腐食し故障の原因となります。
- メインディスプレイや照度センサー、キーのある面にシールなどを貼らないでください。本体を閉じたときキーなどが押されるなどして誤動作したり、閉じたときにキー操作ができなくなることがあります。また、本機が損傷するおそれがあります。
- データを再生中に無理なキー操作を行うと、データが停止するなど通常と異なる動作をする場合があります。

バッテリーについて

- 本機のバッテリーは、リチウムイオンバッテリーです。
- 夏期、閉めきった車内に放置するなど極端な高温や低温環境でのご使用は、バッテリーが膨らんだり、バッテリーの容量が低下し利用できる時間が短くなります。また、バッテリーの寿命も短くなります。できるだけ常温でお使いください。
- 長期間使用しない場合には、本体からはずし、ケース等に入れて高温多湿を避けて保管してください。
- はじめてご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。(充電中、バッテリーが温かくなることがありますが異常ではありません。)
- バッテリーには寿命があります。著しく膨らんだり、充電しても機能が回復しない場合は、寿命ですので、指定の新しいバッテリー(LB07KC)をご購入ください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。



Li-ion00

環境保護のため、寿命がきたバッテリーは普通のゴミと一緒に捨てずにワイモバイルショップ・ワイモバイル カスタマーセンター、またはリサイクル協力店にお持ちください。
充電式バッテリーの収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：
社団法人電池工業会
TEL：03-3434-0261
ホームページ：http://www.baj.or.jp

microSDカード（市販品）について

- 正しく取り付けてください。正しく取り付けられていないとmicroSDカードを利用することができません。
- 端子面に触れたり、水に濡らしたり、汚したりしないでください。
- 曲げたり、折ったりしないでください。
- 長時間お使いになった後、取りはずしたmicroSDカードが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。
- 静電気や電氣的ノイズの発生しやすい場所での使用や保管は避けてください。
- 乳幼児の手の届く場所には置かないでください。誤って飲み込むと窒息、けがの原因となります。
- 腐食性の薬品の近くや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障、内部データの消失の原因となります。
- 使用しなくなったmicroSDカードを破壊する場合、保存内容が流出するおそれがありますので、保存内容を消去するだけでなく、物理的にmicroSDカードを破壊した上で処分することをおすすめします。
- microSDカードに保存したデータは、パソコンや他のメディア（CD-R/W・DVDなど）にバックアップしてください。microSDカードの破損などにより、保存したデータが消失したことによる損害について、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

充電用機器について

- ご使用にならないときは、ACアダプタ（オプション品）の電源プラグをコンセントからはずしてください。
- 本機の外部接続端子、卓上ホルダの充電端子をととき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。
- 本機を充電するときは、卓上ホルダを使用することをおすすめします。

カメラ機能について

- カメラのレンズに直射日光があたる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。
- ご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえでご使用ください。
- 大切な撮影／録画（結婚式など）をするときは、試し撮りをし、静止画／動画を再生して正しく撮影／録画されているかご確認ください。
- 故障、修理、その他の取り扱いにより、撮影／録画した静止画／動画データ（以下「データ」といいます。）が変化または消失することがあります。この場合当社は、変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失により生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- カメラ機能を使用して、撮影／録画が許可されていない場所や書店などで情報の記録を行うことはやめてください。

緊急速報について

- お買い上げ時、受信設定は「受信する」に設定されています。
- 受信時には、マナーモードであっても警告音が鳴動します。（設定によって切り替えることができます。）
- 通話中、通信中および電波状態が悪い場合は受信できません。
- お客様のご利用環境・状況によっては、お客様の現在地と異なるエリアに関する情報が受信される場合、または受信できない場合があります。
- 受信設定を「受信する」にしている場合は、待受時間が短くなる場合があります。
- 当社は情報の内容、受信タイミング、情報を受信または受信できなかったことに起因した事故を含め、本サービスに関連して発生した損害については、一切責任を負いません。

著作権／肖像権について

- お客様が本機で撮影／録画／録音したものを複製、改変、編集などをする行為は、個人で楽しむ目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者に無断でこれらの行為を行うと、「著作権侵害」「著作人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。
- 撮影／録画／録音したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影／録画／録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 著作権にかかわる画像やサウンドの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、利用できませんのでご注意ください。

暗証番号について

- 暗証番号を必ずご確認ください。お買い上げ時には「1234」が設定されていますが、お客様が必要に応じて暗証番号を変更することができます。（「暗証番号を変更する」231ページ）
- 暗証番号は秘密保持および、誤操作防止のために使用される大切な番号です。番号をお忘れにならないようご注意ください。万一お忘れになった場合は、本機とワイモバイルの申込書の控え、または契約内容確認書類と身分証明書（顔写真の入ったもの）をご用意のうえ、ワイモバイル カスタマーセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡いただくこととなりますのでご注意ください。（預かり修理・有償）

お買い上げ時：
「1234」

暗証番号

--	--	--	--

- 暗証番号は、セキュリティ（閉めるとロック／着信拒否／操作ロック／シークレットモード／暗証番号変更／本体リセット／リモートロック）、I設定、Bluetooth、赤外線通信、全件削除等の機能をご利用いただく際に必要となります。

■ リモートロックのパスワードについて

- リモートロックのパスワード(234ページ)は、本機の4桁の暗証番号とは異なり、お客様の必要に応じて4～8桁の数字で設定することができます。番号をお忘れにならないようご注意ください。万一お忘れになった場合は、本機とワイモバイルの申込書の控え、または契約内容確認書類と身分証明書(顔写真の入ったもの)をご用意のうえ、ワイモバイル カスタマーセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡いただくこととなりますのでご注意ください。(預かり修理・有償)

お買い上げ時：
未登録

パスワード									
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

■ 管理者用暗証番号について

- 管理者用暗証番号は、管理者ロックの機能をご利用いただく際に必要となります。
- 管理者用暗証番号を必ずご確認ください。お買い上げ時には「12345678」が設定されていますが、お客様が必要に応じて管理者用暗証番号を変更することができます(「管理者用暗証番号を変更する」239ページ)。
- 管理者用暗証番号は、本機の4桁の暗証番号とは異なり、お客様の必要に応じて4～8桁の数字で設定することができます。番号をお忘れにならないようご注意ください。万一お忘れになった場合は、本機とワイモバイルの申込書の控え、または契約内容確認書類と身分証明書(顔写真の入ったもの)をご用意のうえ、ワイモバイル カスタマーセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡いただくこととなりますのでご注意ください。(預かり修理・有償)

お買い上げ時：
「12345678」

暗証 番号									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

● 防水／防塵性能について

本機は、IPX5相当、IPX7相当の防水性能およびIP5X相当の防塵性能（外部接続端子カバー・バッテリーカバーが完全に装着された状態で当社試験方法による）を備えておりますが、この「防水／防塵性能について」に記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障などの恐れがあります。安全にお使いいただくために、この「防水／防塵性能について」の内容をよくお読みになってからご使用ください。

● IPX5相当

内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことを意味します。

● IPX7相当

常温で水道水、かつ静水の水深1mの水槽に電話機本体を静かに沈め、約30分間水底に放置しても、本体内部に浸水せず、電話機としての機能を保つことを意味します。

● IP5X相当

防塵試験用粉塵（直径75 μ m以下）が入ったとしても所定の動作および安全性を損なわないように保護されていることを意味します。

ご使用にあたっての重要事項

- 浸水の原因となるため、外部接続端子カバーをしっかりと閉じて、バッテリーカバーを確実に取り付けてください。外部接続端子カバー、バッテリーカバーが浮いていることのないように、完全に閉じていることを確認してください。



- 接触面に微細なゴミ（髪の毛一本、砂粒一個など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- 手や本機が濡れている状態での外部接続端子カバー、バッテリーカバーの開閉は絶対にしてしないでください。

- 砂浜などの上に置かないでください。マイク（送話口）・スピーカーなどに砂などが入り、音が小さくなる場合があります。
- 水中で使用（開閉、キー操作を含む）しないでください。
- 常温の真水・水道水以外の液体（石けん・洗剤・入浴剤、温泉、熱湯、砂・泥、海水、プールの水、アルコールなど）をかけたり、浸けしないでください。



石けん・洗剤・入浴剤



温泉



熱湯



砂・泥



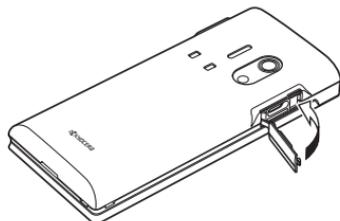
海水



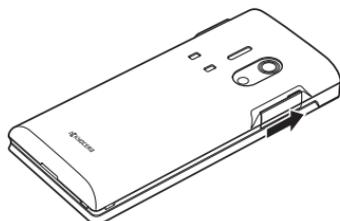
プールの水

■ 外部接続端子カバーの閉じかた

- 1 外部接続端子カバーのヒンジを収納し押しこみます。



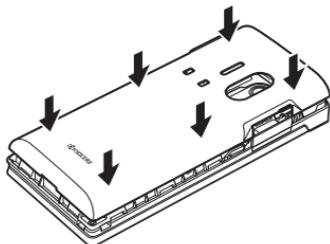
- 2 矢印の方向になぞり、外部接続端子カバーが浮いていることのないよう確実に閉じます。



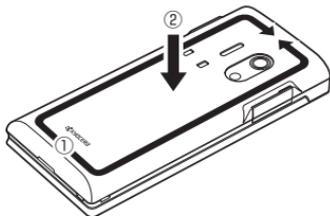
■ バッテリーカバーの閉じかた

バッテリーカバーが浮いていることのないように、確実に閉じてください。

- 1** バッテリーカバーと本体を合わせるように置き、バッテリーカバーを矢印の方向へ押しします。



- 2** バッテリーカバーの外周を①の方向になぞり、②の方向にしっかり押さえ、完全に装着させます。



■ 注意事項について

■ 利用シーン別注意事項

<雨の中>

- 強い雨（1時間あたりの雨量が20mm以上）の中で使用しないでください。
- 雨がかかっている最中、または手が濡れている状態での外部接続端子カバー、バッテリーカバーの開閉は絶対にしないでください。

<バスルーム>

- 浴槽に浸けたり、落下させたりしないでください。また、水中で使用しないでください。
- 石けん、洗剤、入浴剤の入った水、温泉水には浸けないでください。
- 温水シャワーを直接当てないでください。
- 高温のお湯をかけないでください。
- バスルームへの長時間の持ち込みはお避けください。
- 周囲温度5℃～35℃（ただし、36℃～40℃であれば一時的な利用は可能です。）、湿度35%～85%の範囲で使用してください。
- 卓上ホルダをバスルームへ持ち込まないでください。また、結露した状態では使用しないでください。

<キッチン>

- 石けん、洗剤、調味料、ジュースなど真水・水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- 高温のお湯や冷水をかけたり、浸けたりしないでください。
- コンロのそばや冷蔵庫の中など、極端に高温・低温になるところに置かないでください。
- 強い流水（6リットル／分を超える）をかけないでください。

<プールサイド>

- プールの水に浸けたり、落下させたりしないでください。また、水中で使用しないでください。
- プールの水には消毒用塩素が含まれているため、プールの水がかかった場合には速やかに常温の水道水*で洗い流してください。洗う際にブラシなどは使用しないでください。

*：やや弱めの流水（6リットル／分以下）

■共通注意事項

- 外部接続端子カバーをしっかりと閉じ、バッテリーカバーが正しい位置にあることを確認のうえ、確実に取り付けてください。微細なゴミ（繊維くず、髪の毛一本、土、砂粒一個など）がわずかでも挟まると、浸水の原因となります。
- 外部接続端子カバーや、バッテリーカバーをはずしたときの本体側のゴムパッキンに、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、浸水の原因となります。
- 手袋などをしたまま、外部接続端子カバーの開閉をしたり、バッテリーカバーの取り外し／取り付けをしらないでください。手袋などに付着している微細なゴミ（繊維くず、髪の毛一本、土、砂粒一個など）がわずかでも挟まると、浸水の原因となります。
- 外部接続端子カバーの開閉をしたり、バッテリーカバーの取り外し／取り付けをしたりするときは、本機や手に水滴・砂・汚れなどが付着していないことを確認してください。付着している水滴・砂・汚れなどが本体内部に入り込んだり、カバー類に挟まるなどして、故障や浸水の原因となります。わずかでも付着している場合は、本機や手の水滴・砂・汚れなどを繊維くずの出ない乾いた清潔な布で拭き取ってから、作業を行ってください。
- 本機に水滴が付着したまま放置しないでください。隙間から水分が入り込んだりする場合があります。また、濡れたままですと、音が小さくなる場合があります。水で濡れた場合は、本機を振る（16ページ）などして水を取り除き、本機から出た水分を繊維くずの出ない乾いた清潔な布で速やかに拭き取ってください。寒冷地では、本機に水滴が付着していると、凍結し故障の原因となります。
- 本機の防水性能は真水・水道水にのみ対応しており、温水や塩水、洗剤、薬品、汗などには対応しておりません。真水・水道水以外の水分（海水・洗剤など）、または砂・泥などが付着した場合は、速やかに常温の水道水*で洗い流してください。常に洗濯*で使用せず、外部接続端子カバー、バッテリーカバーが開かないように押さえながら手で洗ってください。
*：やや弱めの流水（6リットル/分以下）
- 耐水圧設計ではありませんので、規定（IPX5・IPX7）を超える強い水流（例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を当てたり、水中に長時間沈めたりしないでください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 水中で強い衝撃を与えないでください（例：水の張った洗面台、トイレ、洗濯機に落とさないでください）。
- 本機以外の付属品（ACアダプタ（オプション品）、卓上ホルダなど）は、防水／防塵性能を備えておりません。
- 本機が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。外部接続端子に水が付着したまま充電を行った場合、故障・発熱などのおそれがあります。
- マイク（送話口）・スピーカー・エアベントの穴を尖ったものでつつかないでください。
- 外部接続端子カバー・バッテリーカバーをはずしたときの本体側のゴムパッキンは、防水／防塵性能を維持するための重要な部品です。以下のことにご注意ください。
 - ・はがしたり、傷つけたりしないでください。
 - ・ゴミなどが付着しないようにしてください。微細なゴミ（繊維くず、髪の毛一本、土、砂粒一個など）がわずかでも付着していること、浸水の原因となりますので、必ず取り除いてください。
 - ・真水・水道水以外の液体（温水や塩水、洗剤、薬品、汗など）が付着すると、防水／防塵性能を維持できなくなる場合があります。
 - ・カバー類を閉める際はゴムパッキンを噛み込まないよう注意してください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷つき、防水／防塵性能が維持できなくなる場合があります。
 - ・防水／防塵性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず2年ごとに交換することをお勧めします。お客様ご依頼による部品交換は、本機をお預かりして有料にて承ります。お近くのワイモバイルショップ・ワイモバイル カスタマーセンターまでお問い合わせください。
- 落下させるなど本機に強い衝撃を与えないでください。防水／防塵性能が維持できなくなる場合があります。
- 本機は水に浮きません。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、ドライヤーなどの温風を当てたりしないでください。本機は耐熱設計ではありません。
- 周囲温度5℃～35℃（ただし、36℃～40℃であれば一時的な利用は可能です。）、湿度35%～85%の範囲で使用してください。範囲を超える極端に暑い場所や寒い場所で使用すると、防水／防塵性能が維持できない場合があります。
- 急激な温度変化は結露の原因となります。寒いところから暖かいお風呂などに本機を持ち込むときは本機が常温になってから持ち込んでください。本機は結露に対して特別な対策を実施しておりません。

※ディスプレイの内側に結露が発生した場合は、結露がとれるまで常温で放置してください。

- 想定される使われ方に即した試験を行い、性能を満足することを確認していますが、実際のご使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となり有償修理となります。

■水に濡れたときは

本機に水滴が付着したまま使用すると、マイク（送話口）・スピーカーに水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなったり、衣服やかばんなどを濡らしてしまうことがあります。また、隙間から水分が入り込んでいる場合がありますので、下記の手順で本機の水分を取り除いてください。

- 1 本機表面の水分を繊維くすの出来ない乾いた清潔な布などでよく拭き取る

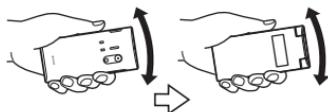


- 2 本機をしっかり持ち、水が出なくなるまで矢印の方向に振る

- ・ 振る際は周りに危険がないことを確認してください。
- ・ 本機が飛び出さないように、しっかりと持ち水抜きをしてください。



マイク（送話口）側：各 10 回以上



ヒンジ側：各 20 回以上

- 3 繊維くすの出来ない乾いた清潔な布などに本機を軽く押し当て、マイク（送話口）・スピーカー部・ヒンジ部などの隙間に入った水分を拭き取る



- 4 本機から出た水分を十分に取り除いてから常温で1時間以上放置して乾燥させる

上記手順を行ったあとでも、本機に水分が残っている場合があります。濡れて困るもののそばには置かないでください。また、衣服やかばんなどを濡らしてしまう恐れがありますのでご注意ください。

■充電のときは

付属品は防水性能を有していません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

- 本機が濡れていないかご確認ください。濡れている場合は、よく水抜きをして、繊維くすの出来ない乾いた清潔な布で水を拭き取ってから卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子カバーを開いたりしてください。
- 水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして、繊維くすの出来ない乾いた清潔な布で水を拭き取ってから卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子カバーを開いたりしてください。
- 外部接続端子カバーを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとカバーを閉じてください。外部接続端子カバーからの浸水を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- 本機が濡れている状態で絶対に充電しないでください。水が付着したままですら充電を行った場合、故障・発熱などの恐れがあります。
- 濡れた手でACアダプタ（オプション品）・卓上ホルダ・USBケーブル（別売）に触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプタ（オプション品）・卓上ホルダ・USBケーブル（別売）は、水のかからない状態で使用してください。火災や感電の原因となります。
- ACアダプタ（オプション品）・卓上ホルダ・USBケーブル（別売）は、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。火災や感電の原因となります。

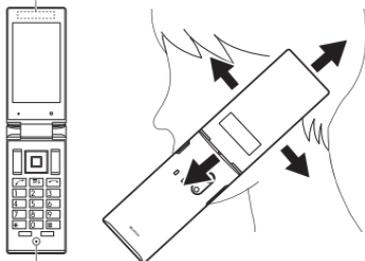
● スマートソニックレシーバー[®]について

本機は、ディスプレイ部を振動させて音を伝えるスマートソニックレシーバーを搭載しています。レシーバー（受話部）に穴はありませんが、通常通りご使用いただけます。

耳への当てかた

下図のように、本機のレシーバー（受話部）付近を耳に当て、耳を覆うことで周囲の騒音を遮へいし、音声により聞き取りやすくなります。ご自身の聞こえかたや周囲の環境に合わせて本機の位置を上下左右に動かし、調整してください。

レシーバー（受話部）



マイク（送話口）

● ご注意

- 通話時に本機のマイク（送話口）を指などでふさがないようにご注意ください。
- イヤホン変換ケーブルを接続している場合は、スマートソニックレシーバーを利用した音声ではなく、イヤホンからの音声に切り替わります。
- メインディスプレイにシールやシート類などを貼らないでください。受話音が聞き取りにくくなる場合があります。
- 聞き取りやすさには個人差があります。
- 周囲の環境により、聞き取りやすさの効果は異なります。

● Bluetooth[®]について

■ 周波数帯について

本機のBluetooth機能は、2.4GHz帯の2.402GHzから2.480GHzまでの周波数を使用します。

2.4FH1



2.4FH1

本機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。



2.402GHz～2.480GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

■ Bluetoothについてのご願い

- 本機のBluetooth機能は日本国内およびFCC規格に準拠し、認定を取得しています。一部の国／地域ではBluetooth機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- Bluetooth機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、Bluetooth機器により、通信速度や通信距離は異なります。

Bluetoothご使用上の注意

本機のBluetooth機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、ワイモバイルショップ・ワイモバイル カスタマーセンターもしくは「ワイモバイルへのお問い合わせ」（裏表紙）までお問い合わせください。

お知らせ

- 本機はすべてのBluetooth機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth機器との動作を保証するものではありません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetoothの標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetoothによるデータ通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

携帯電話／PHS電話機のリサイクルについて



モバイルリサイクルネットワーク
環境省PHSのリサイクルにご協力

携帯電話／PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するためお客様が不要となってお持ちになる電話機、バッテリー、充電用機器をブランド／メーカーを問わず左記マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

ご注意

- 回収した電話機、バッテリー、充電用機器はリサイクルするため返却できません。
- プライバシー保護のため、電話機に記憶されているお客様の情報（電話帳、通信履歴、メールなど）は事前に消去してください。

microSDカード(市販品)を使う

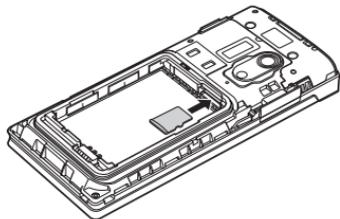
- microSDカードは、本機の外部メモリとして使用できます。撮影した静止画、録画した動画、電話帳、スケジュールなどのバックアップや、データ移動が可能になります。
- 本機には、microSDカードおよびmicroSDアダプタは同梱されていません。市販品のmicroSDカードおよびmicroSDアダプタをご購入いただき、ご利用ください。
- 本書で記載しているmicroSDカードの最大保存件数や最大保存容量は、使用するmicroSDカードや使用状況により異なります。
- 本機では、最大32GバイトのmicroSDカード（microSDHC規格を含む）を使用できます。当社基準において動作確認したmicroSDカードについては、京セラのホームページをご覧ください。
- microSDカード内のデータ読み出し中や書き込み中は、microSDカードを取り出したり、振動・衝撃を与えたり、本機の電源を切ったり、バッテリーを取りはずしたりしないでください。故障や内部データ消失の原因になります。ご注意ください。

microSDカードの取り付け／取りはずし

microSDカードは電源をOFFにした状態でバッテリーを取りはずしてから、取り付け／取りはずしを行います（318ページ）。

■ microSDカードを取り付ける場合

- 1 電源がOFFになっているか確認し、バッテリーカバー、バッテリーを取りはずす
- 2 microSDカードスロット部のイラストの向きに合わせ、ロックするまでまっすぐ奥まで差し込む



- 3 バッテリー、バッテリーカバーを取り付け、電源をONにする

メインディスプレイのピクト表示エリアに「」が表示されていることを確認します。

■ microSDカードを取り出す場合

- 1 電源がOFFになっているか確認し、バッテリーカバー、バッテリーを取りはずす
- 2 microSDカードスロット部のmicroSDカードを軽く押す
- 3 microSDカードが手前に少し出てきたら、引き抜く
- 4 バッテリー、バッテリーカバーを取り付け、電源をONにする

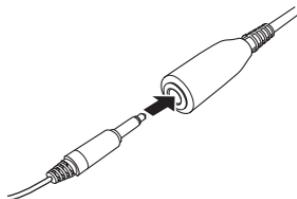
🔍 ご注意

- microSDカードは、向きに注意して、まっすぐに差し込み、まっすぐに引き抜いてください。
- ご利用になるmicroSDカードによっては、取り出しにくい場合があります。取り出しにくいときは無理に取り出すと故障の原因になりますので、microSDカードを再度軽く押し取り出してください。
- ご利用になるmicroSDカードによっては、ロックができない場合があります。ロックができずに出てこないときは、microSDカードを軽く引き出ししてから取り出してください。ロックができずに出てきてしまうときは、microSDカードを一度取り出し、再度まっすぐに差し込んでください。

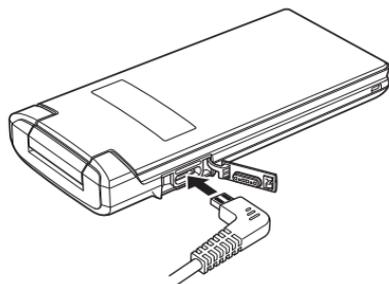
● イヤホン（市販品）を使う

市販のイヤホン変換ケーブルとイヤホンなどを接続して利用します。

1 イヤホン変換ケーブルとイヤホンを接続する



2 外部接続端子を開け、イヤホン変換ケーブルのmicroUSBプラグを差し込む



🔍 ご注意

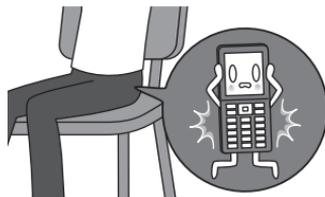
- イヤホン変換ケーブルを利用する際は必ず、手順1→手順2の順番で接続してください。また、イヤホン変換ケーブルは手順2→手順1の順番で取りはずしてください。
- φ3.5（4極）のイヤホンマイクを使用することで、応答操作などをすることができます。ただし、すべてのイヤホンマイクとの動作を保証するものではありません。
- イヤホン変換ケーブルを外部接続端子から引き抜くときは、コードを引っ張らないでください。
- ご使用後は外部接続端子カバーをしっかりと閉じてください。水分やほこりが侵入すると故障の原因となります。

● 安全・快適にご使用いただくために

● 強い衝撃・無理な力は与えないで ●

落下させるなど、強い衝撃を与えないでください

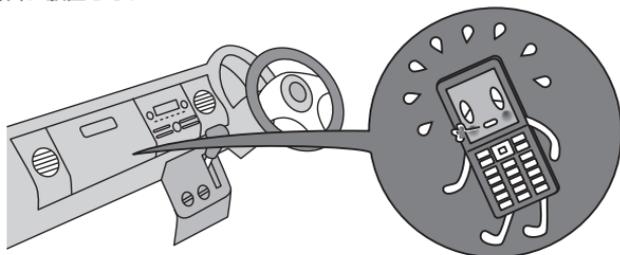
ズボンやスカートのポケットに本機を入れたまま座らないでください



● 高温や低温の場所に放置しないで ●

極端な高温、低温、多湿はお避けください

- ・炎天下、ダッシュボードなどに放置しない
- ・冬季の野外に放置しない



● 開閉の際はご用心 ●

ヒンジ部に指や手を挟んでケガをしないようにご注意ください

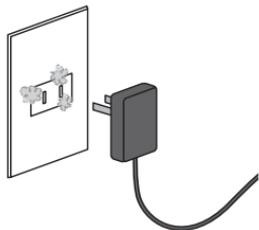
指や手、ストラップなどを挟んで本機が破損しないようにご注意ください



● バッテリー・充電に関するご注意 ●

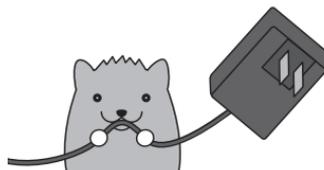
充電するときは確認してください

- ・ほこりや金属等（ストラップ、ヘアピン、ネックレス等）で充電用機器や電源プラグをショートさせない
- ・純正品以外のバッテリーや、オプション品以外の充電用機器を使用しない



ACコードを傷つけないでください

- ・ペットに噛まれないように注意する
 - ・コードの無理な抜き差しはしない
- ※ 傷ついたACコードは使用しないでください。



バッテリーの寿命について

バッテリーは充電を繰り返すごとに消耗していきます。お買い上げ時に比べ、1回の充電で利用できる時間が半分程度になったら交換時期です。

【バッテリーの寿命が早まる原因】

- ・高温環境での使用、放置、および保管
 - ・充電しながらの長時間の使用
 - ・頻繁に充電を繰り返す
- ※ 本機のバッテリー残量表示が1本になったら充電することをおすすめします。

バッテリーの消耗について

使用する機能や操作の状況により、バッテリーの消耗が早くなるケースがあります。

- ・長時間のキー操作（ゲーム、メール、Webなどの利用）
- ・電波の弱い場所での利用や長時間の移動
- ・ストラップや装飾シールでキーがおされた状態



安全に
使用してね！

アフターサービスについて（→332ページ）

目次

はじめに
次のものがそろっているか確認してください

本機の操作説明について	1
本書の読みかた	1
キー表示について	1
操作説明ページの構成	2
安全上のご注意	3
安全にお使いいただくために 必ずお読みください	3
表示の説明	3
図記号の説明	3
免責事項について	3
本機/バッテリー/充電用機器共通	3
本機について	4
バッテリーについて	7
充電用機器について	8
取扱上のお願ひ	9
本機/バッテリー/充電用機器共通	9
本機について	9
バッテリーについて	10
microSDカード(市販品)について	10
充電用機器について	10
カメラ機能について	11
緊急通報について	11
著作権/肖像権について	11
暗証番号について	11
リモートロックのパスワードについて	12
管理者用暗証番号について	12
防水/防塵性能について	13
ご使用にあたっての重要事項	13
外部接続端子カバーの閉じかた	13
バッテリーカバーの閉じかた	14
注意事項について	14
スマートソニックレシーバー [®] について	17
耳への当てかた	17
Bluetooth [®] について	17
携帯電話/PHS電話機の リサイクルについて	18
microSDカード(市販品)を使う	18
microSDカードの取り付け/取りはずし	18
イヤホン(市販品)を使う	19
安全・快適にご使用いただくために	20

●ご使用になる前に 30

各部の名称と機能	30
メインディスプレイの見かた	32
サブディスプレイの見かた	34
キー操作の基本	36
カーソルを動かして選択/確定する (フロントジョグキー/センターキー)	36
数字キーを使って項目を選択する (ダイヤルキー)	36
一つ前の画面に戻る/操作を中止する (クリアキー/電源・終話キー)	37
ページをめくる(メールキー/Webキー)	37
ソフトキーの操作について	37
ご使用前の準備	38
バッテリーの充電について	38
充電する	39

卓上ホルダ(CH12K)を使って充電する	39
ACアダプタ(オプション品)を使って 充電する	39
パソコンとUSBケーブル(別売)を使って 充電する(USB充電)(機能番号98)	41
電源をON/OFFにする	41
待受画面での操作について	41
メインメニューの使いかた	42
基本メニューを設定する	42
お気に入りメニューを設定する	43
お気に入りメニューのアイコンを変更する	45
お気に入りメニューのアイコンを作成する	45
時計を設定する(日時設定) (機能番号51)	46
自動時刻補正の設定を行う(自動時刻補正) (機能番号52)	46
時計に日付を表示させる(ビクト時計) (機能番号53)	46
各種情報をボイス通知でお知らせする	47

●基本的な使いかた 48

電話をかける	48
電話番号を入力してかける	48
緊急通報を行う	49
発信履歴/着信履歴から電話をかける (機能番号13)	50
発信履歴画面/着信履歴画面の メニューを使う	51
スピードダイヤルを使う	52
スピードダイヤルで電話をかける	52
スピードダイヤルでWebページに アクセスする	52
自分の電話番号を相手に通知する (発信者番号通知)(機能番号15)	52
国際電話をかける	53
本機から海外へかける場合	53
海外から日本国内の本機へかける場合	53
電話を受ける	54
通話中に保留する(ミュート)	55
通話中にプッシュ信号を送る	56
音声メモ/伝言メモを使う	57
通話中に相手の声を録音する(音声メモ)	57
電話に出られないときに応答して相手の声を 録音する(伝言メモ)	57
伝言メモを設定/解除する(伝言メモ設定) (機能番号61)	58
伝言メモの応答メッセージを録音する (応答メッセージ録音)(機能番号62)	58
応答メッセージを設定する (応答メッセージ選択)(機能番号63)	59
応答時間を設定する(伝言メモ応答時間) (機能番号64)	59
音声メモや伝言メモを再生/削除する (音声/伝言メモ一覧)(機能番号66)	60
マナーモードを設定/解除する (マナーモード)(機能番号*)	61
モードを選択して設定する	62
オリジナルマナーを登録する (オリジナルマナー編集)	63

安全運転モードを設定/解除する (安全運転モード).....	64	電話帳の各種設定をする.....	86
応答先を設定する(機能番号65).....	65	グループを設定する.....	87
ハンズフリーで通話する (インタラクティブハンズフリー).....	65	電話帳データを呼び出すときの検索方法を 設定する.....	87
小さな声で話せるように設定する (マナートーク®).....	65	アドレスカード(vCard形式)について.....	88
着信中に着信音をバイブレータに 切り替える(マナー着信).....	66	電話帳データをアドレスカードに変換して コピーする.....	88
通話中に受信音量を調節する.....	66	電話帳データからアドレスカードを作成して Eメールに添付する.....	88
相手の声がかゅゅり聞こえるように設定する (ゆゅり通話).....	66	アドレスカードを電話帳に登録する.....	89
相手の声をはっきり聞こえるように設定する (はっきり通話).....	67	●メールの使いかた	90
サイドキーの操作を無効にする (サイドキー操作無効).....	67	Eメール/SMSについて.....	90
●文字の入力と設定	68	Eメール(テキストメール/デコラティブ メール)について(ワイモバイルのEメール).....	90
文字を入力する.....	68	Eメール機能の仕様.....	90
文字入力モードの切り替え.....	68	SMSについて.....	91
各キーに割り当てられた文字について.....	68	SMS機能の仕様.....	91
文字を入力する.....	69	メールメニューについて.....	91
漢字に変換する.....	70	はじめてEメールを使うときは.....	92
文字入力メニューを使う.....	71	オンラインサインアップをする.....	92
記号/定型文/絵文字/顔文字を入力する.....	71	メールの各種設定を変更する.....	93
文字をコピー/カット/貼り付ける.....	72	Eメール(テキストメール/デコラティブ メール)を作成して送信する	94
定型文を編集する(定型文登録) (機能番号86).....	73	To(宛先)を入力する(Eメール).....	95
顔文字を編集する(顔文字登録) (機能番号87).....	73	Sub(件名)を入力する.....	96
よく使う単語を登録/編集/削除する (ユーザ辞書)(機能番号81).....	74	ファイルを添付する.....	96
予測変換を設定する(予測変換設定) (機能番号82).....	74	メールの本文を入力する(テキストメール).....	97
変換候補を選択するキーを設定する (候補選択キー設定)(機能番号83).....	74	メールの本文を装飾する(デコラティブメール).....	98
学習情報を削除する(学習内容リセット) (機能番号84).....	74	テンプレートを利用する.....	100
絵文字の履歴を削除する (絵文字履歴リセット)(機能番号85).....	75	公式サイトからテンプレートを ダウンロードする.....	100
辞書データを登録/解除する (オプション辞書登録)(機能番号88).....	75	テンプレートを読み込んでデコラティブ メールを作成する.....	100
すぐ文字®を設定する(すぐ文字®) (機能番号89).....	75	EメールをSMSに切り替える.....	101
●電話帳の使いかた	76	作成したEメールを 送信待ち保存/下書き保存する.....	101
電話帳に登録する.....	76	下書きEメールを編集して送信する.....	101
電話帳データの各項目を登録する.....	76	送信待ちEメールを送信する.....	102
着信/メール受信時の音とランプを 設定する.....	79	SMSを作成して送信する	103
他の機能から電話帳に登録する.....	80	To(宛先)を入力する(SMS).....	104
電話帳データを呼び出す.....	81	SMSの本文を入力する.....	104
カナ検索で電話帳データを呼び出す.....	82	SMSをEメールに切り替える.....	105
時計検索で電話帳データを呼び出す.....	83	作成したSMSを下書き保存する.....	105
表示方法について.....	83	相手がSMSを受け取ったか確認する.....	105
1画面表示/1行表示/詳細画面のメニュー を使う.....	84	下書きSMSを編集して送信する.....	105
電話帳データを検索する.....	85	Eメールを受信/返信/転送する	106
電話帳から発信する.....	86	受信したメールを読む.....	106
		メールを自動的に受信して読む.....	106
		受信BOXから受信したメールを読む.....	107
		受信/送信/未送信BOX(メール一覧)の 表示を切り替える.....	108
		サーバーにEメールがあるかどうかを確認する.....	108
		添付ファイルを表示/再生/保存する.....	109
		受信したEメールに返信する.....	109
		受信したEメールを転送する.....	109
		受信したSMSに返信する.....	110
		受信したSMSを転送する.....	110
		受信/送信/未送信メール詳細表示画面の 差出人や宛先を利用する.....	110

Eメールの差出人や宛先を電話帳に 登録する.....	110	ブックマーク一覧について.....	140
SMSの差出人や宛先を利用する.....	110	ブックマーク一覧画面のメニューを使う.....	141
メール本文の電話番号/Eメールアドレス/ URLを直接利用する.....	111	ページメモについて.....	142
メールを管理する	112	Webページを保存する.....	142
受信BOX (フォルダ表示) 画面のメニューを 使う.....	113	ページメモを表示する.....	142
受信メールを自動的にフォルダに振り分ける	114	ページメモを管理する.....	143
振り分け設定をフォルダごとに削除する.....	114	ブラウザの環境設定 (オプション)	144
すべての振り分け設定を削除する.....	114	ポータルサイトのコンテンツを紹介する 画面表示の設定をする (コンテンツ情報 通知) (機能番号97)	148
受信/送信/未送信BOX (メール一覧) 画面の メニューを使う.....	115	動画データの再生について	148
受信/送信/未送信メール詳細画面の メニューを使う.....	116	動画をWebページ内で再生する.....	148
メールを削除する.....	117	動画をデータフォルダから再生する.....	148
受信/送信/未送信BOX (メール一覧) 画面から削除する.....	117	Webページの到着情報を確認する (RSSリーダー)	149
メール詳細画面から削除する.....	117	RSSチャンネルを利用するための設定をする	149
メールのデータをまとめて削除する.....	117	RSSチャンネルを登録する.....	149
メールを保護する.....	117	登録したRSSチャンネルの記事に アクセスする.....	150
便利な設定を使う	118	RSSチャンネル一覧画面のメニューを 使う.....	150
接続先を設定する.....	119	ガジェットを使う	152
アカウントごとの各種設定をする.....	120	ガジェットを登録する.....	152
一般プロバイダーのEメールを設定する	122	ガジェットプレーヤーを起動する.....	152
アカウントを設定する.....	122	ガジェットプレーヤーで ガジェットを使う.....	153
メールアカウントを切り替える.....	123	ガジェットプレーヤーのメニューを使う.....	153
		ガジェットを管理する.....	154
		ガジェットマネージャを初期化する.....	154
		ダイヤルアップを設定する	155
		ダイヤルアップを設定/解除する (ダイヤルアップ設定) (機能番号93).....	155
●インターネットの使いかた 124			
インターネット機能について	124		
インターネットを使うための接続先を 設定する.....	124	●カメラの使いかた 158	
セキュリティ通信について.....	124	撮影/録画の準備をする	158
端末情報の通知.....	125	フォト撮影とムービー撮影の共通操作.....	162
ブラウザについて	126	ズーム機能を使う.....	162
表示モード.....	126	明るさを調整する.....	162
ブラウザの基本操作	127	セルフタイマーで撮影/録画する.....	163
ブラウザの起動と終了.....	127	手動でフォーカスをロックして撮影/ 録画する.....	163
ブラウザを起動し、「ホーム」に アクセスする.....	127	静止画を撮影する	164
ブラウザを終了する.....	127	撮影する.....	164
ブラウザでの主なキー操作について.....	128	連写撮影する.....	165
ブラウザの表示モードを切り替える.....	129	フォト撮影のモニター画面のメニューを使う	165
ダウンロードのしかた.....	129	フォト撮影のプレビュー画面のメニューを使う	166
ブックマークについて.....	130	静止画にフレームを貼り付ける.....	168
表示中のWebページをブックマークに 登録する.....	130	フォト撮影の各種設定をする.....	169
ブックマークに登録したWebページに アクセスする (ブックマーク一覧).....	130	動画を録画する	170
Webページ上の情報を利用する.....	130	録画する.....	170
URLの情報を利用する.....	130	ムービー撮影のモニター画面のメニューを使う	171
Eメールアドレス、電話番号の情報を 利用する.....	131	ムービー撮影のプレビュー画面のメニューを 使う.....	172
ブラウザのメニューについて	132	ムービー撮影の各種設定をする.....	173
WEBメニューについて.....	132	搬速メール®を使って静止画や動画を送る	174
URLを入力または入力履歴から アクセスする.....	134	搬速メール®の送信先を設定する.....	174
Webページ表示中のメニューについて.....	135	搬速メール®を送信する.....	175
タブを操作する.....	136		
表示中のWebページ内で各種操作をする (ページ操作).....	137		
ページの各種設定を行う (ページ設定).....	138		

● データフォルダの使いかた 176

データフォルダについて (本体メモリ/ microSDカード).....	176
データフォルダの構成.....	177
保存できるデータの種類の.....	178
データを再生する.....	179
再生中の操作について.....	179
データ再生中のメニューを使う.....	181
画像データを編集する.....	182
画像データを変換する.....	183
データを登録する.....	184
データフォルダのメニューを使う.....	186
フォルダのメニューを使う.....	186
タブのメニューを使う.....	186
PCフォルダのメニューを使う.....	188
データを削除する.....	188
microSDカードのメニューを使う.....	189
microSDカードをフォーマットする.....	189
DPOFプリントを設定/解除する.....	190
スタンダードプリントを設定する.....	191
パソコンとデータをやり取りする (マストレージ).....	192
マストレージ接続時に表示される microSDカードとデータの種類の.....	193
マストレージ接続を終了する.....	193

● 音/バイブレーションの設定 194

音声着信の音/バイブレーションを設定する (音声着信) (機能番号21).....	194
Bluetooth®着信の着信音/バイブレーションを設定する (Bluetooth®着信) (機能番号22).....	195
Eメール、SMSの受信音/バイブレーションを設定する (Eメール/SMS受信) (機能番号23/24).....	196
お知らせシェア®の受信音/バイブレーションを設定する (お知らせシェア®受信) (機能番号25).....	197
アラームの音量/バイブレーションを設定する (アラーム) (機能番号26).....	198
スケジュールアラームの音量/バイブレーションを設定する (スケジュールアラーム) (機能番号27).....	198
キーの操作音量を設定する (操作音) (機能番号28).....	199
データを再生するときの音量を設定する (データ再生音) (機能番号29).....	199
時刻や通知を声でお知らせするかどうかを設定する (ボイス通知) (機能番号20).....	200
電源を入れたときの音を設定/解除する (ウェイクアップトーン) (機能番号2*).....	201
圏外するときの音を設定/解除する (圏外警告音) (機能番号2#).....	201
緊急速報を受信したときの音量/マナーモード時動作を設定する (緊急速報警報音) (機能番号2☑).....	201

● 画面/照明の設定 202

メインディスプレイを設定する (メインディスプレイ) (機能番号31).....	202
受信メールの感情表示の設定をする (エモーションメッセージ) (機能番号312).....	204
待受画面に表示するオプションを設定する (壁紙オプション) (機能番号313).....	205
サブディスプレイを設定する (サブディスプレイ) (機能番号32).....	206
ランプを設定する (ランプ設定) (機能番号33).....	207
電話を受けたときの名前の表示方法を設定する (名前表示) (機能番号34).....	208
充電中の画面照明を設定する (充電時LCD) (機能番号35).....	208
メインディスプレイの照明の明るさ/点灯時間を設定する (照明) (機能番号36).....	209
節電画面を設定する (節電画面) (機能番号37).....	210
表示する文字の大きさを設定する (文字サイズ) (機能番号38).....	210
表示する言語を設定する (バイリンガル機能) (Set Language) (機能番号39).....	211
画面の配色を設定する (配色設定) (機能番号30).....	211
キーバックライトの点灯時間を設定する (キーバックライト点灯時間) (機能番号3*).....	211

● カレンダーの使いかた 212

カレンダーを表示する.....	212
スケジュール/TODOの一覧を表示する.....	213
カレンダーのメニューを使う.....	214
表示色変更画面のメニューを使う.....	216
スケジュールを登録/編集/確認する.....	217
スケジュールの各項目を登録する.....	217
スケジュールの繰り返しを設定する.....	218
スケジュールアラームを設定する.....	219
スケジュールを確認する.....	220
スケジュールのメニューを使う.....	220
登録された電話番号/Eメールアドレス/URLを利用する.....	221
TODOを登録/編集/確認する.....	222
TODOの各項目を登録する.....	222
TODOを確認する.....	223
TODOのメニューを使う.....	223
スケジュールカード (vCalendar形式) について.....	224
スケジュール/TODOのデータをスケジュールカードに変換してコピーする.....	224
スケジュールカードをスケジュール/TODOに登録する.....	224

● セキュリティ機能の設定 226

本体を閉じてダイヤルロックをかける (閉めるとロック) (機能番号41).....	226
閉めるとロックを設定/解除する.....	226

ダイヤルロックを解除する.....	226	閉めるとロック設定の変更を制限する (開めるとロックの設定変更を許可).....	245
ダイヤルロックを一時的に解除する.....	227	USB / Bluetooth®による通信を 制限する (USB / Bluetooth®接続時の 通信を許可).....	245
着信拒否する電話番号を設定する (着信拒否) (機能番号42).....	227	電話帳の閲覧を制限する (電話帳の閲覧を許可).....	246
各種機能の操作にロックをかける (操作ロック) (機能番号43).....	229	発着信履歴の閲覧を制限する (発着信履歴の閲覧を許可).....	246
使用制限を設定 / 解除する.....	229	データフォルダ内のデータの持ち出しを 制限する (保存データの持ち出しを許可).....	247
登録した電話番号以外に電話をかけられ なくする (発信先一覧) (機能番号432).....	230	microSDカードの使用を制限する (microSDの使用を許可).....	247
操作ロック中の一時解除について.....	231	バックアップ機能の使用を制限する (バックアップの使用を許可).....	248
シークレットモードを設定する (シークレットモード) (機能番号44).....	231	管理者ロック目的別設定例.....	249
暗証番号を変更する (暗証番号変更) (機能番号45).....	231		
登録内容や各機能の設定をリセットする (本体リセット) (機能番号46).....	232		
遠隔操作で本機を他の人が使えないよう にする (リモートロック) (機能番号47)	234		
リモートロックの事前設定をする.....	234		
遠隔操作を許可する電話番号を登録する (着信番号一覧 / SMS番号一覧) (機能番号472 / 474).....	235		
リモートロックをかける.....	236		
電話をかけてリモートロックをかける.....	236		
SMSを送信してリモートロックをかける.....	237		
My Y!mobileからリモートロックを かける.....	237		
リモートロックを解除する.....	237		
電話をかけてリモートロックを解除する.....	238		
SMSを送信してリモートロックを 解除する.....	238		
My Y!mobileからリモートロックを 解除する.....	238		
管理者による機能制限を行う (管理者ロック) (機能番号48).....	239		
管理者用暗証番号を変更する (管理者用暗証番号変更).....	239		
管理者ロックを設定 / 解除する.....	240		
電話帳に登録されている 電話番号以外の発信を制限する (発信を電話帳内の番号に限定).....	241		
電話帳に登録されている 電話番号以外の着信を制限する (着信を電話帳内の番号に限定).....	242		
電話帳の編集を制限する (電話帳の編集を許可).....	242		
メールの使用を制限する (メールの使用を許可).....	243		
ブックマークに登録されているURL以外の 接続を制限する (ブックマークからのWEB接続に限定).....	243		
赤外線通信の使用を制限する (赤外線通信の使用を許可).....	244		
Java™アプリの使用を制限する (Java™アプリの使用を許可).....	244		
カメラの使用を制限する (カメラの使用を許可).....	244		
ダイヤルアップ設定の変更を制限する (ダイヤルアップ設定の変更を許可).....	244		
セキュリティ設定の変更を制限する (セキュリティの変更を許可).....	245		
位置情報機能の設定変更を制限する (位置情報機能の設定変更を許可).....	245		
		● その他の便利な機能	252
		アラーム機能を使う (アラーム) (機能番号54).....	252
		アラーム設定を登録 / 編集する.....	252
		アラーム設定を削除する.....	254
		アラームを止める.....	254
		メモ帳を使う.....	255
		メモ帳を登録する.....	255
		メモ帳のメニューを使う.....	255
		詳細を表示する.....	255
		待受画面で文字を入力してさまざまな 機能を使う (すぐ文字®).....	256
		すぐ文字®でさまざまな機能を使う.....	256
		漢字チェックを利用する (漢字チェック)	259
		ダイヤルメモを使う (ダイヤルメモ).....	260
		ダイヤルメモを登録する.....	260
		ダイヤルメモを呼び出して使う.....	260
		待受中に音声を録音する (Myボイスメモ登録).....	261
		通信中の電話の着信を設定する (通信中着信) (機能番号17).....	262
		通信中のメール受信を設定する (通信中メール受信) (機能番号18).....	262
		プロフィールを登録 / 確認する (プロフィール) (機能番号0).....	263
		プロフィールの詳細を登録する.....	263
		登録したプロフィールの詳細を確認する.....	264
		プロフィール詳細表示画面のメニューを 使う.....	265
		通話時間を表示する.....	266
		通話時間の合計を表示する (累積通話時間) (機能番号11).....	266
		通話中に通話時間を表示させる (通話時間目安表示) (機能番号12).....	266
		エニーキープアンサーを設定 / 解除する (エニーキープアンサー) (機能番号14).....	266
		本体を開いたときの動作を設定する (着信時フォルダオープン) (機能番号16).....	266
		上下キーに機能を設定する (上下キー割り当て) (機能番号95).....	267

センターキーの長押しに機能を設定する (センターキー長押し割当て) (機能番号96).....	267	省電力を設定する.....	291
電卓を使う(電卓).....	268	Bluetooth®機器と接続する.....	292
イヤホンマイクを接続する (イヤホン自動応答)(機能番号19).....	268	Bluetooth®接続モード選択画面から接続する (初回接続).....	292
イヤホンマイクの応答時間を設定する (イヤホン自動応答秒数) (機能番号10).....	268	親機モード/子機モードで接続する.....	293
現在の位置情報を通知する.....	269	お知らせシェア®で接続する.....	293
L機能を設定する(L設定)(機能番号91).....	269	だれとでも定額バス/デザリングで 接続する.....	294
通知許可番号と通知許可パスワードを 登録する.....	270	Bluetooth®メニュー画面から接続する (2回目以降の接続).....	295
通知許可番号と通知許可パスワードを 表示/編集/削除する.....	270	親機モード/子機モードで接続する.....	295
位置情報通知機能をリセットする.....	270	お知らせシェア®で接続する.....	296
相手から位置情報通知の要求があったとき.....	271	だれとでも定額バス/デザリングで 接続する.....	297
所在位置を登録する.....	271	待受画面からBluetooth®機能の操作をする.....	299
所在位置のみ登録する.....	271	接続機器との各種操作をする.....	299
所在位置とステータスコードを登録する.....	271	Bluetooth®を利用した通話操作をする..300	
緊急速報を利用する(緊急速報) (機能番号94).....	272	ヘッドセット/ハンズフリー機器で通話する (親機モード).....	300
受信した緊急速報を読む.....	272	Bluetooth®通話する(子機モード).....	300
緊急速報機能を設定する(緊急速報受信) (機能番号941).....	272	スマートフォンでPHS回線を利用して 電話をかける(だれとでも定額バス).....	302
過去に受信した緊急速報を確認する (緊急速報受信履歴)(機能番号942).....	272	電話帳データをBluetooth®で 送受信する.....	303
各機能の情報を削除する.....	273	Bluetooth®で受信する.....	303
QRコードリーダーを使う.....	274	Bluetooth®で送信する.....	303
QRコードについて.....	274	●データ通信の使いかた 304	
QRコードを読み取る.....	275	データ通信の準備をする.....	304
QRコードリーダーのメニューを使う.....	275	データ通信について.....	304
QRコード解析画面のメニューを使う.....	276	64kPIAFSの通信方式を設定する (データ通信方式)(機能番号92).....	306
QRコード解析結果の情報を利用する.....	276	本機とパソコンを接続する.....	306
Java™アプリについて.....	277	発信する.....	307
Java™アプリをインストールする.....	277	着信する.....	308
Java™アプリを起動する.....	277	●ワイモバイルの各種サービス 310	
Java™アプリ一覧画面のメニューを使う.....	278	留守番電話サービスについて (お申し込み必要)(機能番号1*).....	310
Java™アプリの設定をする.....	279	メッセージを確認する.....	310
データのバックアップをする.....	280	メッセージを聞く.....	311
データをバックアップする.....	280	留守番電話サービスの設定を変更する.....	311
データフォルダにエクスポートする.....	280	迷惑電話かどうかをお知らせする (迷惑電話デテクター)(お申し込み必要)	312
microSDカードにエクスポートする.....	281	割込通話について(お申し込み必要).....	312
バックアップデータをインポートする.....	281	着信転送サービスについて (お申し込み不要).....	313
データフォルダからインポートする.....	282	分計サービスについて (お申し込み必要).....	314
microSDカードからインポートする.....	282	分計で電話をかける.....	314
パソコンツールを使ってバックアップする.....	282	●ソフトウェアの更新 316	
災害時に自分の声を送る (災害用音声お届けサービス).....	283	最新のソフトウェアをダウンロードして 使う(ソフトウェア更新開始) (機能番号71).....	316
●赤外線通信の使いかた 284		ソフトウェア更新が必要であることを自動で お知らせする(ソフトウェア更新通知) (機能番号72).....	316
赤外線通信について.....	284		
赤外線を受信する.....	285		
データファイルを受信する.....	286		
赤外線で送信する.....	286		
データフォルダのデータを送信する.....	287		
●Bluetooth®の使いかた 288			
Bluetooth®について.....	288		
Bluetooth®のメニューについて.....	289		
Bluetooth®メニュー画面で各種操作をする.....	291		

●付録 318

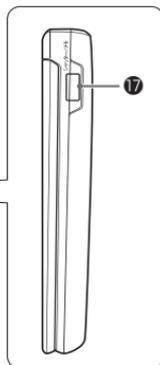
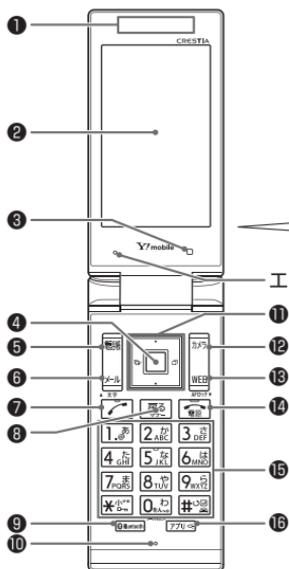
主な仕様.....	318
バッテリーの交換.....	318
故障とお考えになる前に.....	321
アフターサービスについて.....	332
保証書について.....	332
修理を依頼されるときは.....	332
補修用性能部品について.....	332
アフターサービスについて.....	332
本体以外の付属品について.....	332
機能一覧.....	333
各機能の選択項目一覧.....	343
索引.....	344
English Quick Manual.....	350
Safety Precautions.....	350
Before Using.....	350
Installing the Battery.....	350
Recharging.....	351
Parts.....	352
Key Operation.....	352
Main Display.....	353
Sub-Display.....	354
Basic Usage.....	355
Turning the Handset On/Off.....	355
Setting the Display Language (言語設定).....	355
Setting the Clock (Date&Time Settings).....	355
Checking Handset Profile (Profile).....	355
Entering Text.....	355
Setting Sound/Vibrator for Incoming Voice Calls.....	356
Security.....	356
Changing the Handset Code (Change Handset Code).....	356
Setting Secret Mode (Secret Mode).....	356
Setting Phone Numbers of Calls to Reject (Reject Numbers).....	356
Phone.....	356
Making a Call.....	356
Accepting a Call.....	356
Making a Call from the Dialed/ Received Call Logs.....	357
Making an International Call.....	357
Mail.....	357
Creating and Sending E-mail.....	357
Reading Received E-mail.....	357
Replying to Received E-mail.....	357
Phone Book.....	358
Registering to the Phone Book.....	358
Camera.....	358
Capturing a Photo.....	358
Recording a Movie.....	358
Viewing a Captured Photo/Recorded Movie.....	358
Using Infrared Data Transfer.....	359
Sending/Receiving Data by Infrared.....	359
Sending Your Phone Number.....	359
Receiving Another's Phone Number.....	359
Ymobile Services.....	360
Voicemail Service (Subscription Required).....	360
Call Forwarding Service (No Subscription Required).....	360

Split Billing Service (Subscription Required).....	360
Appendix.....	361
Bundled Items.....	361
Main Specifications.....	361
京セラへのお問い合わせ	
ワイモバイルへのお問い合わせ	

ご使用になる前に

各部の名称と機能

ご使用になる前に

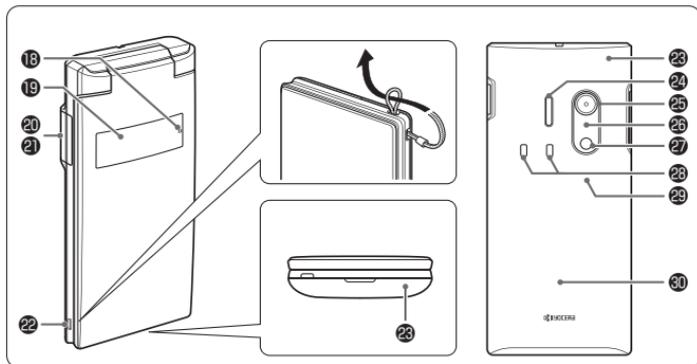


※本体カラー「ネイビー×ゴールド／ホワイト×ゴールド」で説明しています。

エアベント*

*: 本機は防水仕様のため、密閉度が高くなっています。そのため、エアベント(空気抜き用の穴)を設けています。

- エアベントは防水性に影響を与えません。
- 保護シートやシールでエアベントをふさがないでください。



① レシーバー (受話部)

通常の受話口の代わりに、スマートソニックレシーバーで通話中の相手の方の声などがここから聞こえます。詳しくは「スマートソニックレシーバー®について」(17ページ)をご参照ください。

② メインディスプレイ

(「メインディスプレイの見かた」32ページ)

③ 照度センサー

(「メインディスプレイの照明の明るさ／点灯時間を設定する」209ページ)

④ センターキー

各機能の登録や設定をするとき、また選択した項目を確定するときを押します。また、操作ガイド表示エリアの中央に表示している機能を実行するときを押します。

- ⑤ **電話帳キー**  電話帳
電話帳を利用するときや、操作ガイド表示エリアの左側に表示している機能を実行するときに押します。
- ⑥ **メールキー**  メール
EメールやSMSを利用するときや押します。また、ページをめくるときや、文字入力時の入力モードを切り替えるときに押します。
- ⑦ **発信・通話キー**  発信
電話をかけるときや受けるときに押します。
- ⑧ **戻る (クリア) / マナーキー**  戻る
入力した文字を訂正するときや1つ前の操作に戻るときに押します。また、マナーロック / マナーモードを設定するときに押します。
- ⑨ **Bluetoothキー**  Bluetooth
Bluetoothの各種操作を行います。待受画面で長く (1秒以上) 押して、Bluetoothの接続や機能をOFFにすることができます。
- ⑩ **マイク (送話口)**
通話中に自分の声を相手に伝えます。
- ⑪ **フロントジョグキー**  ジョグ
画面上のカーソルを移動するときや押します。待受中は以下のように使用します。
・  は着信履歴を表示
・  は発信履歴を表示
・  は「上下キー割り当て」(267ページ)で設定した機能の操作
- ⑫ **カメラキー**  カメラ
カメラを利用するときや、操作ガイド表示エリアの右側に表示している機能を操作するときに押します。
- ⑬ **Webキー**  WEB
ブラウザ (インターネット) を利用するときに押します。
また、ページをめくるときに押します。
- ⑭ **電源・終話キー**  電源
電源を入れるときや切るときに長く (2秒以上) 押します。また、通話や機能を終了するときに押します。
- ⑮ **ダイヤルキー**
電話番号や文字を入力するときに押します。
- ⑯ **アプリ / ライトキー**  アプリ
Java™アプリ一覧を表示します。待受画面で長く (1秒以上) 押して、ライトを点灯させることができます。
- ⑰ **シャッター / メモキー**  (サイドキー)
カメラのシャッターとして使用します。また、サブディスプレイの表示を切り替えるときや、録音再生メニューを表示するときに押します。
- ⑱ **ランプ**
電話がかかってきたときや充電中などに点滅 / 点灯します。
- ⑲ **サブディスプレイ**
〔「サブディスプレイの見かた」34ページ〕
- ⑳ **外部接続端子カバー**
- ㉑ **外部接続端子**
USBケーブル (別売) でパソコンなどに接続したり、ACアダプタ (オプション品) を接続したりします。
本機で使用するUSBケーブルは「USB (A) オス - USB (Micro-B) オス」です。
- ㉒ **ハンドストラップ取付部**
- ㉓ **アンテナ (内蔵)**
 **ご注意**
● アンテナは本体に内蔵されています。電波が弱い状態のときにアンテナ付近に触れると、電話がつかない、通話が途切れる、電話が切れることがありますので、アンテナ付近 (表面、裏面) を指などで覆わないでください。
- ㉔ **スピーカー**
電話がかかってきたとき、着信音が鳴ります。また、音楽データもスピーカーから再生されます。
- ㉕ **カメラ (レンズ部)**
カメラで静止画の撮影や動画の録画をします。
- ㉖ **赤外線ポート**
赤外線通信を行うとき、データの送受信部になります (284ページ)。
- ㉗ **ライト**
暗い場所などでカメラを使用するとき、撮影ライト / 録画ライトとして点灯させることができます。
- ㉘ **充電端子**
卓上ホルダを使って充電するとき、ここが接続部になります。
- ㉙ **microSDカードスロット部 (内蔵)**
microSDカード (市販品) を、バッテリーカバーをはずして挿入します (「microSDカードの取り付け / 取りはずし」18ページ)
- ㉚ **バッテリーカバー**

● メインディスプレイの見かた

ご使用になる前に



アイコンの説明		アイコンの解除操作	
(バッテリー残量、充電中は点滅)	(ピンク)	わずか (要充電)	—*2
		少 (要充電)	
		中	
		十分	
*1 (電波状態)			—*2
	未読のメールあり		未読メールをすべて既読にする
	センターにEメールあり		108ページ
	電話に出られなかった着信あり		待受画面でを押す
	通話中		を押す
(通信中表示)		パケット方式	—
		フレックスチェンジ方式	
		32kPIAFS	
		64kPIAFS (ベストエフォート型)	
		64kPIAFS (ギャランティ型)	
	データ送受信中に点滅		—
	Java™アプリ起動中		—
	SSL通信中		—

アイコンの説明		アイコンの解除操作	
Bluetooth	 (青) / (グレー)	親機モード、またはだれとでも定額バス/テザリングで接続中/未接続	
	 (青) / (グレー)	子機モード中に1台目の機器と接続中/未接続 ※登録機器が1台の場合	
	 (青) / (グレー)	子機モード中に2台目の機器と接続中/未接続 ※登録機器が1台の場合	
	 (青) / (青)	子機モード中に1台目/2台目の機器と接続中 ※登録機器が2台の場合	
	 (青) / (グレー)	子機モード中に1台目、2台目の機器と接続中/未接続 ※登録機器が2台の場合	
	 (青) / (グレー)	お知らせシェアで接続中/未接続	
	microSDカード挿入時	-	
	microSDカードアクセス中に点滅		
	時刻表示	-	
	標準マナーモード	待受画面で[]を長く (1秒以上) 押す	
	オリジナル1マナーモード		
	オリジナル2マナーモード		
	サイレントマナーモード		
	音声が着信の音量「OFF」に設定中	194ページ	
	音声が着信のバイブレータ「ON」に設定中	194ページ	
	アラーム設定中	252ページ	
	シークレットモード設定中	231ページ	
	閉めるとロック設定中/ダイヤルロック中	226ページ	
	伝言メモ設定中	待受画面でシャッター/メモ  (サイドキー) を長く (1秒以上) 押す 58ページ	
	音声/伝言メモあり	60ページ	
	音声/伝言メモの録音件数	60ページ	
	安全運転モード設定中	待受画面で[]を長く (1秒以上) 押す	
	安全運転モード中 長押しで解除		
	サイドキー操作無効設定中	待受画面で[]を長く (1秒以上) 押す	
	(グレー)	RSSリーダーの「自動更新設定」を「自動更新しない」以外に設定したとき 自動更新で、取得する情報がなかったとき	
	(オレンジ)		新着RSS記事を取得できたとき
	(赤と黒)		RSSリーダーの自動更新に失敗したとき

292ページ

アイコンの説明	アイコンの解除操作
*4  ソフトウェアの更新が必要	ソフトウェア更新をする 待受画面で  316ページ
*5  コンテンツ情報通知あり	ポータルサイトへ接続する 待受画面で  148ページ

- *1: 分計発信時には、「」が水色に表示されます。
 *2: アイコンを解除することはできません。
 *3: 未再生の伝言メモがあるときは、赤く表示されます。
 *4: 本機には、ソフトウェアがバージョンアップされたり、新しいサービスが追加された場合に、ソフトウェアの更新が必要であることを自動でお知らせする機能が搭載されています。
 *5: 表示されるアイコンは定期的に変ります。

ご注意

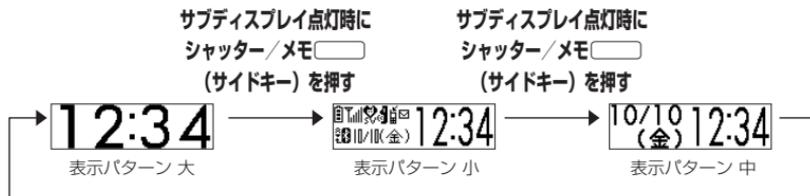
- 本書内の画面表記では、ピクト表示エリアを省略している場合があります。
- 本書内の画面表記は実際の画面と書体や形状、明るさが異なる場合があります。

お知らせ

- 「壁紙オプション」(205ページ)を「ガジェット」に設定しているときは、待受画面に、ガジェットプレーヤーに登録しているガジェットを表示することができます。

● サブディスプレイの見かた

本体を閉じた状態のときに、サブディスプレイから各種情報を確認することができます。また、時刻や各種情報を音声で読み上げてお知らせすることもできます(47ページ)。表示内容は「時計表示」(206ページ)で設定することができます。「時計表示」を「サイクル」に設定している場合、サブディスプレイが点灯しているときにサイドキーを押すと、表示内容が切り替わります。



サブディスプレイ点灯時に
シャッター/メモ (サイドキー)を押す

(バッテリー残量、充電中は点滅)	わずか (要充電)
	少 (要充電)
	中
	十分
* (電波状態)	
	圏外 微弱 ← → 強
	標準マナーモード
	オリジナル1マナーモード
	オリジナル2マナーモード
	サイレントマナーモード
通話中	
音声着信の音量「OFF」に設定中	
音声着信のバイブレータ「ON」に設定中	
(通信中表示)	パケット方式
	フレックスチェンジ方式
	32kPIAFS
	64kPIAFS (ベストエフォート型)
	64kPIAFS (ギャランティ型)
伝言メモ設定中	

安全運転モード設定中	
10/10 日付表示	
(金) 曜日表示	
12:34 時刻表示	
新着のメールあり	
電話に出られなかった着信あり	
Bluetooth	親機モード、またはだれとでも定額バス/テザリングで接続中/未接続
	子機モード中に1台目の機器と接続中/未接続 ※登録機器が1台の場合
	子機モード中に2台目の機器と接続中/未接続 ※登録機器が1台の場合
	子機モード中に1台目/2台目の機器と接続中 ※登録機器が2台の場合
	子機モード中に1台目、2台目の機器と接続中/未接続 ※登録機器が2台の場合
	お知らせシェアで接続中/未接続

* : 分計発信時には、「」のように反転して表示されます。

お知らせ

- サブディスプレイの「表示設定」(206ページ)を「ON」に設定すると、本機を閉じたときに約2秒間、またはサイドキー押下時に約10秒間サブディスプレイが点灯します。ただし、「着信番号表示」(206ページ)を「ON」に設定している場合にメールを受信したときは、上記の時間以上にサブディスプレイが点灯する場合があります。
- サブディスプレイは、着信したときやメールを受信したときなどに以下のように表示内容が変わります。

状態	表示内容
着信中/SMS受信時	電話番号/電話帳に登録されている名前
Eメール受信時	Eメールアドレス/電話帳に登録されている名前
不在着信あり/新着メールあり	不在着信件数/新着メール件数*
お知らせシェア受信時	お知らせシェアの受信件数
緊急速報受信時	緊急速報の受信通知

* : 不在着信件数/新着メール件数表示中は、サブディスプレイの表示パターンを変更できません。

表示パターンを変更するには、以下の操作をしてください。

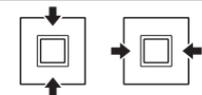
- ・不在着信/新着メールを確認する
- ・本体を開いてを押す

- ボイス通知でお知らせする内容を変更したり、お知らせをしないようにすることもできます(200ページ)。
- マナーモード設定中は「ボイス通知」の設定に従います(62ページ)。
- サブディスプレイが消灯している場合、表示内容は見えません。

● キー操作の基本

ここでは、各キーの使いかたと、本書内でのキー表記について説明します。

カーソルを動かして選択／確定する（フロントジョグキー／センターキー）

本書内の表記	キーの操作	説明
 または 		項目を選択したり、文字入力中にカーソルを動かしたりするときに使用します。  を押し続けると画面をスクロールすることができます。
		選択されている項目の確定や、文字入力中の変換候補の確定に使用します。また、操作ガイドエリアの中央に表示されている機能を実行するときにも使用します（「ソフトキーの操作について」37ページ）。

ご使用になる前に

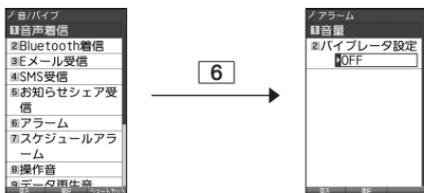
■ 各種メニュー画面で項目を選択して決定する場合



数字キーを使って項目を選択する（ダイヤルキー）

メニュー項目の左側に番号やアイコン（0～9、✖、☑、📶、📶、📶、📶）が表示されているときは、（カーソルを合わせで選択する以外に）対応するダイヤルキーを押して選択／決定することができます。

例：項目6を選択する場合



一つ前の画面に戻る／操作を中止する（クリアキー／電源・終話キー）

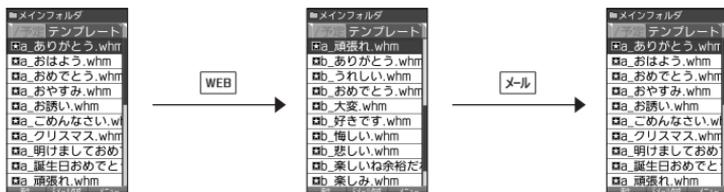
途中操作がわからなくなったり間違えたときは、**戻る**または**電話帳**【戻る】（操作ガイド表示エリアに**戻る**が表示されている場合）を押すと前の画面に戻ることができます。また、**クリア**を押すと操作を中止して待受画面に戻ることができます。ブラウザ起動中の場合は、表示画面はそのままでもオンラインになります。「すぐ文字」やメールなどの一部画面では、表示している画面により**戻る**を押した後に戻る画面が異なります。



ご使用になる前に

ページをめくる（メールキー／Webキー）

すべての項目が1画面で表示しきれない場合に、**メール**（メールキー）、**WEB**（Webキー）を使って画面単位で前／次の画面に切り替える（ページをめくる）ことができます。このとき、画面右にスクロールバーが表示されます。



ソフトキーの操作について

メインディスプレイの操作ガイド表示エリアに表示されている機能を表示／実行するときは、表示位置に対応するキーを押します。

本書での表記	説明	
	操作ガイド表示エリアの左側に表示された機能を実行します（右図では【戻る】で1つ前の画面に戻ります）。	
	操作ガイド表示エリアの中央に表示された機能を実行します（右図では【登録】で項目を登録します）。	
	操作ガイド表示エリアの右側に表示された機能を実行します（右図では【メニュー】でメニューを表示します）。	

充電する

お買い上げ時、バッテリーは十分に充電されていません。初めてご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、必ず充電用機器（オプション品）で充電してからご使用ください。

ご注意

- 39ページと41ページに記載している充電方法以外を利用した場合に発生した損害などについては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

お知らせ

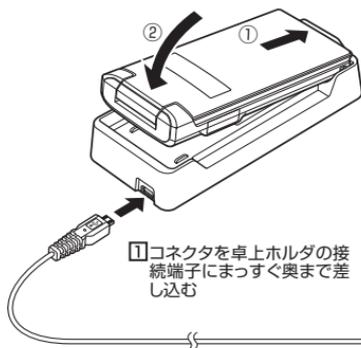
- 充電中のディスプレイとランプの表示は以下のとおりです。

箇所	充電中		充電完了	
	電源ON時	電源OFF時	電源ON時	電源OFF時
メインディスプレイ	☰の点滅	表示なし	☰の点灯	表示なし
ランプ	赤点灯		消灯	
サブディスプレイ*	🔋の点滅	表示なし	🔋の点灯	表示なし

*：表示パターン（34ページ）によっては、アイコンが表示されません。

■ 卓上ホルダ（CH12K）を使って充電する

- ③ 図のように本機を卓上ホルダにカチッと音がするまで差し込む



① コネクタを卓上ホルダの接続端子にまっすぐ奥まで差し込む



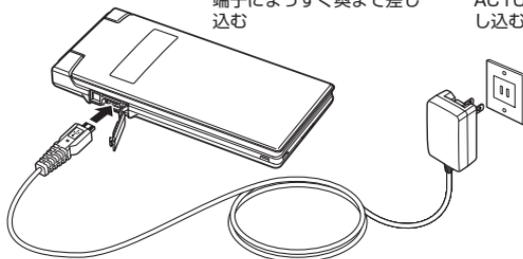
はすすときは、矢印の方向に取りはさしてください。

- ② ACアダプタ（オプション品）の電源プラグを家庭用AC100Vのコンセントに差し込む

■ ACアダプタ（オプション品）を使って充電する

- ① 本機の外部接続端子カバーを開き、コネクタを外部接続端子にまっすぐ奥まで差し込む

- ② ACアダプタ（オプション品）の電源プラグを家庭用AC100Vのコンセントに差し込む



 **ご注意**

- 充電の前に、USBコネクタの内部に異物等が付着していないことを確認してください。
- 充電の際、充電が完了していないにもかかわらず、ランプが短時間で消灯したときは、ACアダプタを接続し直してください。それでも消灯したままの場合は、電源プラグを抜いてワイモバイル カスタマーセンター、京セラテクニカルサービスセンターにご連絡ください。
- 充電が完了した後、本機をACアダプタから取りはずし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ACアダプタを本機または卓上ホルダに差し込むときは、向きに注意して、必ずコネクタ部分を持ってまっすぐ差し込んでください。また、取りはずすときはコード部分を引っ張らないで、必ずコネクタ部分を持って抜いてください。
- 本機の外部接続端子や充電端子、卓上ホルダの充電端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき外部接続端子を変形させないでください。
- 金属製ストラップを使用している場合は、ACアダプタをコンセントから抜くときにストラップが触れないよう注意してください。また、ストラップの金属部分が卓上ホルダの充電端子部分に触れないよう注意してください。
- バッテリーおよびバッテリーカバーが確実に取り付けられているかご確認ください(「バッテリーの交換」318ページ)。
- 「USB充電」(41ページ)を「OFF」に設定し、本機の電源をOFFにしてACアダプタで充電すると、充電時間は「USB充電」を「ON」に設定したときよりも長くなります。
- 「充電時LCD」を「ON」に設定しているときの充電時間は、「充電時LCD」を「OFF」に設定したときよりも長くなります。

 **お知らせ**

- ACアダプタを使って充電する場合、充電中のメインディスプレイの照明は、「充電時LCD」の設定によって常時ONにすることもできます(「充電中の画面照明を設定する」208ページ)。ただし、24時間を経過すると節電画面になります。
- バッテリー残量によっては、ランプが赤色に点灯するまで数分~20分程度かかる場合があります。

■ パソコンとUSBケーブル（別売）を使って充電する（USB充電） 機能番号98

USBケーブル（別売）でパソコンと接続中に、充電することができます。

お買い上げ時：
「ON」

待受画面で ▶ **9** ▶ **8**

以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> 1 ON	USB充電を行います。
<input type="checkbox"/> 2 OFF	USB充電を行いません。

 **ご注意**

- 充電の前に、USBコネクタの内部に異物等が付着していないことを確認してください。
- USBケーブルで本機を充電するときは、直接パソコンに接続してください。このとき、パソコンの高温排気の本機にあたらないように、パソコンと本機を離してください。
- USBケーブルを本機に差し込むときは、向きに注意して、必ずコネクタ部分を持ってまっすぐ差し込んでください。また、取りはずすときはコード部分を引っ張らないで、必ずコネクタ部分を持って抜いてください。
- 「USB充電」を「OFF」に設定し、本機の電源をOFFにしても、USBケーブルを使ってパソコンと本機を接続すると充電が行われます。このとき、充電時間は「USB充電」を「ON」に設定したときよりも長くなります。

 **お知らせ**

- USBケーブルで充電した場合の充電時間は約3.5時間です。ただし、接続するパソコンによって異なります。
- パソコンとUSBケーブルを使った充電は補助的な充電であり、充電用機器（卓上ホルダまたはACアダプタ（オプション品））で充電した場合と充電時間は異なります。
- 管理者ロックの「USB/Bluetooth接続時の通信を許可」（245ページ）が「許可しない」に設定されていても、USB充電は可能です。

● 電源をON / OFFにする

電源をONにする	<p>☞を長く（2秒以上）押す</p> <p>防水 / 防塵についての注意書きが表示された後、起動アニメーション表示時に電源がONになったことをお知らせする「ウェイクアップトーン」（201ページ）が鳴ります。電源ONのアニメーションが表示された後、待受画面が表示されます。</p>
電源をOFFにする	<p>☞を長く（2秒以上）押す</p> <p>「設定を保存しています。バッテリーを外さないでください」のメッセージの後、電源OFFのアニメーションが表示され、電源が切れます。</p>

● 待受画面での操作について

「すぐ文字」（75ページ）を「ON」に設定すると待受画面で文字を入力できます。入力した文字はさまざまな機能に利用できます。詳しい操作方法については、「待受画面で文字を入力してさまざまな機能を使う」（256ページ）をご参照ください。

すぐ文字入力欄

電話番号入力欄



ご使用になる前に

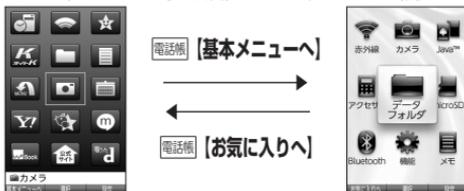
● メインメニューの使いかた

本機のメインメニューは、メニュー項目をお客様のお好みで設定できる「お気に入りメニュー」と、メニュー項目が固定されている「基本メニュー」から設定することができます。メインメニューを切り替えるには、以下の操作を行います。

待受画面で **【基本メニューへ】** / **【お気に入りへ】** を押し**てお好みのメインメニューを表示させる**

お気に入りメニュー（お買い上げ時の項目）

基本メニュー（例：Silky Flow）



お買い上げ時：
「お気に入りメニュー」

- 本体カラー
- ・ブラック
 - ・スパイシーグリーン
 - ・ピンク
 - ・スパイシーオレンジ
- 「基本メニュー」
- 本体カラー
- ・ネイビー×ゴールド
 - ・ホワイト×ゴールド

ご使用になる前に

基本メニューを設定する

基本メニューで表示される画面デザインは変更することができます。

基本メニューで **【設定】** を押し

以下の項目から選択します。

1 固定メニュー	<p>▶ 1～6（固定メニューを選択）</p> <p>基本メニューに表示するデザインを、あらかじめ用意された6種類から選択します。</p>
2 データフォルダ*	<p>▶ データを選択し、 【選択】</p> <p>基本メニューに表示するデザイン用データ（アレンジデータ）を、データフォルダから選択します。</p>
3 公式サイトから探す	<p>▶ 1 【はい】 を押し</p> <p>公式サイトに接続して、基本メニューに表示するデザイン用データ（アレンジデータ）をダウンロードすることができます。</p>

*：microSDカードのデータは選択できません。

ご注意

● お買い上げ時に基本メニューで表示される画面デザインは、本体カラーにより異なります。

お知らせ

● 1 【固定メニュー】 / 2 【データフォルダ】のデータを選択した後、 【再生】 または 【メニュー】

▶ 1 【再生】 を押し、選択したデザインを再生することができます。

お買い上げ時：
「Silent Motion」

- 本体カラー
- ・ブラック
 - ・スパイシーグリーン
- 「Dim Light」
- 本体カラー
- ・ピンク
 - ・スパイシーオレンジ
- 「Silky Flow」
- 本体カラー
- ・ネイビー×ゴールド
 - ・ホワイト×ゴールド

お気に入りメニューを設定する

メインメニューのアイコン、項目をお好みにカスタマイズすることができます。よく使うメニューやデータなどお気に入りメニューに登録しておく、すばやく呼び出すことができます。お買い上げ時は以下のように登録されています。

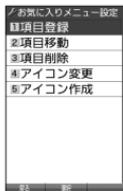
アイコン	項目	アイコン	項目	アイコン	項目
	アラーム (本体カラー：ブラック /スパイシーグリーン/ ピンク/スパイシーオレ ンジ)		赤外線通信		電卓 (本体カラー：ブラック /スパイシーグリーン/ ピンク/スパイシーオレ ンジ)
	アクセサリ (本体カラー：ネイビー ×ゴールド/ホワイト× ゴールド)				ブックマーク (本体カラー：ネイビー ×ゴールド/ホワイト× ゴールド)
	京セラサイトK		データフォルダ		メモ
	基本項目		カメラ		カレンダー
	Yahoo! JAPAN		とりほ~だい★らんど		mixiモバイル
	W+Book		公式サイト		dwango.jp (うた)

お気に入りメニューには以下の項目を15件まで登録できます。

項目		参照	項目		参照	
機能設定の設定項目		—	Java™	Java™アプリ	277、278 ページ	
Bluetooth	Bluetoothメニュー	289、291 ページ	データフォルダ	Java™アプリの設定	279ページ	
	Bluetoothメニューの各項目			データフォルダー一覧	177ページ	
赤外線通信		285、286 ページ		データフォルダの各フォルダ	186ページ	
				データフォルダに保存されている各ファイル	181、187 ページ	
メモ	メモ帳の起動とデータ		255ページ	WEB	WEBメニュー	132ページ
	音声/伝言メモ	57ページ	WEB設定の各項目			
	Myボイスメモ一覧	261ページ	URL		—	
	ダイヤルメモ	260ページ	メール		メールメニュー	91ページ
アクセサリ	電卓	268ページ		メールメニューの各項目		
	アラーム	252ページ	カメラ	カメラメニュー	158ページ	
	カレンダー	212ページ		カメラメニューの各項目		
		スケジュールデータ と一覧	215、220 ページ	電話帳	電話帳メニュー	—
		TODOデータと一覧	215、223 ページ		電話帳データ	84ページ
		漢字チェック	259ページ	基本項目	—	
		QRコードリーダー	276ページ			
	バックアップ	280ページ				
	USBマストレージ	192ページ				
	災害用音声お届け	283ページ				

お気に入りメニューで かろ **設定**

お気に入り
メニュー設定画面



以下の項目から選択します。

1 項目登録	<p>◆ 登録したい場所を選択し、<input type="checkbox"/>【選択】(◆ <input type="checkbox"/>「はい」)* ◆ 登録したい項目を選択し、<input type="checkbox"/>【選択】</p> <p>■ URLを登録する場合</p> <p>◆ 登録したい場所を選択し、<input type="checkbox"/>【選択】(◆ <input type="checkbox"/>「はい」)* ◆ WEB「URL」</p> <p>◆ タイトル/URLを入力し、<input type="checkbox"/>【登録】</p> <p>お気に入りメニューの項目を登録します。</p>
2 項目移動	<p>◆ 移動したい項目を選択し、<input type="checkbox"/>【移動元】 ◆ 移動先を選択し、<input type="checkbox"/>【移動先】</p> <p>お気に入りメニューの項目を移動します。選択した項目を解除するには、選択済みの項目を再度選択し、<input type="checkbox"/>【解除】を押します。</p> <p>移動先にすでに項目があるときは、移動元と移動先が入れ替わります。</p>
3 項目削除	<p>◆ <input type="checkbox"/>「1件」、<input type="checkbox"/>「選択」、または<input type="checkbox"/>「3」【全件】</p> <p>お気に入りメニューの項目を削除します(「各機能の情報を削除する」273ページ)。</p>
4 アイコン変更	お気に入りメニューの項目に表示するアイコンを変更します(45ページ)。
5 アイコン作成	お気に入りメニューの項目に表示するアイコンを作成します(45ページ)。

* : 登録したい場所にすでに項目がある場合のみ操作します。

ご注意

- 「microSD」はmicroSDカード挿入時のみ登録できます。
- microSDカード未挿入の場合、すでにお気に入りメニューにmicroSDが登録されていても、「microSD」は選択できません。
- シークレット登録されている電話帳データは登録することができません。また、すでに登録している電話帳データをシークレット登録すると、項目から削除されます。
- 登録している元データを削除すると、お気に入りメニューの項目も削除されます。
- 管理者ロックの「電話帳の閲覧を許可」(246ページ)を「許可しない」に設定すると、すでに登録しているお気に入りメニューの電話帳データは削除されます。

お知らせ

- お気に入りメニュー項目の登録は以下の手順でも行えます。

■ メニューから登録する場合

お気に入りメニューに登録したい機能の画面を表示、または項目を選択 ▶ お気に入り【メニュー】 ▶ 「ショートカット」を選択し、【選択】 ▶ 登録したい場所を選択し、【選択】(◆ 「はい」)*

■ 操作ガイド表示エリアに【ショートカット】と表示されている場合

お気に入りメニューに登録したい機能の画面を表示、または項目を選択 ▶ お気に入り【ショートカット】 ▶ 登録したい場所を選択し、【選択】(◆ 「はい」)*

* : 登録したい場所にすでに項目がある場合のみ操作します。

■ お気に入りメニューのアイコンを変更する

お気に入りメニュー設定画面で **4** 「アイコン変更」 ▶ アイコンを変更したい項目を選択し、**■** 【選択】

以下の項目から選択します。

1 固定アイコン	▶ データを選択し、 ■ 【選択】 ▶ ■ 【OK】 項目に表示するアイコンを、あらかじめ用意されたデータから選択します。
2 データフォルダ*	▶ データを選択し、 ■ 【選択】 ▶ ■ 【OK】 項目に表示するアイコンを、データフォルダから選択します。

* : microSDカードのデータは選択できません。

■ お気に入りメニューのアイコンを作成する

データフォルダに保存されている画像をトリミングして、お好みのアイコンを作成することができます。

お気に入りメニュー設定画面で **5** 「アイコン作成」 ▶ 使用したい画像を選択し、**■** 【選択】 ▶**☒** でトリミングしたい場所を選択し、**■** ▶ **■** 【保存】 ▶ ファイル名を入力し、**■** 【確定】

作成されたアイコンはデータフォルダ（メインフォルダ）の「アイコンタブ」に保存されます。

 ご注意

● 画像サイズが「76×62」以下、または「2592×1944」より大きい場合は使用できません。

 お知らせ

- ファイル名に入力できる文字数は、拡張子（.kico）を含め全角・半角共に40文字までです。
- アイコンの作成後は、ファイル名の末尾に「_i」の形式が付きます。
- 撮影モード（165ページ）を「アイコン」にして静止画を撮影してもアイコンを作成することができます。
- microSDカードの画像データをトリミングした場合は、microSDカードの「アイコンタブ」に保存されます。アイコンを登録するには、microSDカードの「アイコンタブ」から本体メモリに移動してください（「データフォルダのメニューを使う」186ページ）。

● 時計を設定する（日時設定）

機能番号51

待受画面などに表示される日付と時刻を設定します。アラームの設定や、着信履歴、発信履歴、Eメール/SMSの送信日時、カレンダー（スケジュール、TODO）などは、ここで設定した日付に従って動作または表示します。

お買い上げ時：
「2014年1月1日00：00」
（停止した状態）

待受画面で ▶ **5** ▶ **1** ▶ 西暦（4桁）、月（2桁）、日（2桁）、時刻（24制時）を入力し、 **確定**

● ご注意

- 以下のような場合、「日時設定」がお買い上げ時の設定に戻ることがあります。再度設定を行ってください。
 - ・長時間お使いにならなかった場合
 - ・バッテリーをはずしていた場合
 - ・バッテリー残量が完全になくなってしまった場合
- 日時設定を行わないと、アラーム、スケジュールの機能を使用することができません。

● お知らせ

- 入力できる日付は、2014年1月1日～2090年12月31日までです。
- 時計の表示は12時間表示と24時間表示があり、「壁紙オプション」（205ページ）で設定した方法で表示されます。

● 自動時刻補正の設定を行う（自動時刻補正）

機能番号52

パケット通信開始時にネットワークから時刻を取得して、待受画面などに表示する日付と時刻の補正を行うかどうかを設定します。

お買い上げ時：
「ON」

待受画面で ▶ **5** ▶ **2** ▶ **1** 「ON」 または **2** 「OFF」

1 「ON」 に設定した場合は、パケット通信終了後に待受画面に戻ると時刻が補正されます。

● お知らせ

- 時刻の補正は、お買い上げ時、日付が異なる場合、または時刻に約30秒以上の誤差がある場合に行われます。
- お客様ご自身で日付と時刻を入力することもできます（「時計を設定する」46ページ）。

● 時計に日付を表示させる（ピクト時計）

機能番号53

ピクト表示エリアの時計表示に、日付を表示させるかどうかを設定します。

お買い上げ時：
「日付+時刻」

待受画面で ▶ **5** ▶ **3**

以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> 1 日付+時刻	日付と時刻を表示します。
<input type="checkbox"/> 2 時刻	時刻のみを表示します。

● お知らせ

- 時計の表示は12時間表示と24時間表示があり、「壁紙オプション」（205ページ）で設定した方法で表示されます。

ピクト時計



● 各種情報をボイス通知でお知らせする

本機が閉じているときに、不在着信や新着メール、アラームなどの情報、時刻を音声でお知らせします。

本機を閉じている状態で シャッター/メモ  (サイドキー) を押す

ご注意

● 本機の状態によってはボイス通知でお知らせできない場合があります。音声読み上げができるようにするには、本体を開いて待受画面が表示された状態にしてから本体を閉じてください。

お知らせ

- お知らせする内容を変更したり、お知らせをしないようにすることもできます（「時刻や通知を声でお知らせするかどうかを設定する」200ページ）。
- マナーモード設定中は、マナーモードの「ボイス通知」の設定に従います（「マナーモードを設定/解除する」61ページ）。

基本的な使いかた

電話をかける

電話番号を入力してかける

待受画面で **電話番号を入力し**、 **通話が終わったら** 

受話部への耳の当てかたについては「スマートソニックレシーバー®について」(17ページ)をご参照ください。

ご注意

- 一般電話へかける場合には、必ず市外局番から入力してください。
- PHS/携帯電話へかける場合には、「0」から始まる11桁の電話番号を入力してください。
- レシーバー(受話部)から「ツーツー」と聞こえるときは以下のいずれかの状態です。
 - ・電波が非常に弱い地域
いったん電話を切り、電波状態のよいところへ移動してから再度かけ直してください。
 - ・回線が混んでいる/相手が通話中
いったん電話を切り、しばらくしてから再度かけ直してください。
- 通話時間の表示は目安です。
- 操作ロック(229ページ)の「ダイヤル発信」が「禁止」に設定されているときは、電話をかけるときに暗証番号を入力する必要があります。また、「発信先限定」が「限定」に設定されているときは、「発信先一覧」(230ページ)に登録されている電話番号と完全一致、または前方一致する電話番号にのみ、電話をかけることができます。
- 管理者ロックの「発信を電話帳内の番号に限定」(241ページ)が「限定する」に設定されているときは、電話帳に登録されていない電話番号へ電話をかけることができません。ただし、「110番」(警察)や「119番」(消防・救急)などの特別な番号への電話はかけることができます。
- Bluetooth機能の子機モードでBluetooth機器と接続中は、発信をするときに発信方法の選択画面が表示されます。PHS回線で発信する場合は、「PHS発信」を押してください。

お知らせ

- 入力できる電話番号は32桁までです。
- 「すぐ文字」(75ページ)を「ON」に設定して待受画面でダイヤルキーを押すと、画面上部に「すぐ文字」の入力欄、画面下部に電話番号の入力欄が表示されます。【ダイヤル画面】を押すとダイヤル画面が表示され、電話番号入力の種類操作を行います。



ダイヤル画面では以下の操作を行うことができます。

■ 入力した電話番号を編集する

ダイヤル画面ででカーソルを移動 ▶ ダイヤルキーで番号を追加、またはで番号を削除

■ 発信方法を選択して電話をかける

ダイヤル画面で【メニュー】を押す

以下の項目から選択します。

184発信	入力した電話番号に184発信(自分の電話番号を通知しない)します。
186発信	入力した電話番号に186発信(自分の電話番号を通知する)します。
分計発信	入力した電話番号に分計サービスを利用して電話をかけます(「分計サービスについて(お申し込み必要)」314ページ)。
184分計発信	入力した電話番号に、184発信(自分の電話番号を通知しない)と分計サービスを利用して電話をかけます(「分計サービスについて(お申し込み必要)」314ページ)。
186分計発信	入力した電話番号に、186発信(自分の電話番号を通知する)と分計サービスを利用して電話をかけます(「分計サービスについて(お申し込み必要)」314ページ)。

- 相手がPHS/携帯電話の電源を切っているときや、電波の届かない地域にいるときは、音声ガイダンスでお知らせします。
- 最初にを押してから電話番号を入力してかけることもできます。
- 待受中または通話中へ電話をかけるには、以下の手順で行います。

電話番号を入力 ▶  ▶ **サブアドレス (ISDN独自の番号)** ▶ 

入力できるダイヤル桁数(電話番号++サブアドレスの桁数の合計)は32桁までです。

- 待受中または通話中に「」を起動すると、その時点で最も強い電波を選択し、切り替えることができます。ただし、場所によっては電波状況が変わらないこともあります。通話中は、1回の通話につき3回まで起動できます。
- 「」を起動するには、以下の手順で行います。

待受画面または通話中にを長く(1秒以上)押す

- 通話中に電波状態が悪くなり通話が切れそうになると、「ピーピー」という圏外警告音が鳴ります。圏外警告音を鳴らすかどうかは設定を変更することができます(201ページ)。ただし、Bluetooth通話中は圏外警告音は鳴りません。
- 一度の通話時間が2時間を超える場合、2時間ごとに「ピピッ」というお知らせ音が鳴ります。ただし、Bluetooth通話中はお知らせ音は鳴りません。
- 発信中/通話中に本体を閉じると、発信/通話を終了します。ただし、以下の場合は発信/通話を終了しません。
 - ・ 本機にイヤホン変換ケーブルが差し込まれている場合
 - ・ Bluetooth機能を利用したヘッドセット/ハンズフリー機器で発信中/通話中
 - ・ Bluetooth通話で発信中/通話中

- 通話中に【メニュー】を押すと、以下のメニューが表示されます。

- ・ 通話切り替え (Bluetooth機能でヘッドセット/ハンズフリー通話中のみ)
 - ・ 機能
 - ・ 電話帳
 - ・ カレンダー
 - ・ アクセサリ
 - ・ メモ
 - ・ 着信拒否に登録(着信したときのみ)*
- *: Bluetooth着信では利用できません。

- 通話中にバッテリー残量が不足すると、「ピーピーピーピーピー」というバッテリー残量警告音が鳴ります。できるだけ早く充電してください。バッテリー残量警告音を鳴らさないように設定することはできません。
- 電話番号を入力時にを長く(1秒以上)押すと「- (ハイフン)」を、を長く(1秒以上)押すと「P (ポーズ)」を入力することができます。「- (ハイフン)」または「P (ポーズ)」を入力する場合、以下の点にご注意ください。
 - ・ 電話番号が1桁も入力されていないときは、「-」や「P」は入力できません。
 - ・ 「-」や「P」を続けて入力することはできません。
 - ・ 「-」は電話番号の1桁分、「P」は2桁分入力したことになります。
- 「+ (プラス)」付きの電話番号に発信すると、「+ (プラス)」が「010」に変換されて発信されます。「+」は3桁分入力したことになります。ただし、「+81」と入力した場合は「+81」が「0」に変換されて発信されます。この場合は1桁分入力したことになります。
- 「**節電画面**」(210ページ)の設定によって、通話開始時の動作が以下のように変わります。
 - ・ 「**節電画面にしない**」以外に設定している場合、通話開始時は設定にかかわらず5秒後に**節電画面**になります。
 - ・ 「**節電画面にしない**」に設定している場合、通話開始時は5秒後に**節電画面**にはならず、設定どおり動作します。
- Bluetooth機能で、他の機器と接続して通話操作をすることができます。詳しくは「Bluetooth®を利用した通話操作をする」(300ページ)をご参照ください。
- だれでも定額パス(302ページ)を利用しているときは本機で電話をかけることができません。

緊急通報を行う

緊急の場合は、「110番」(警察)、「119番」(消防・救急)、「118番」(海上保安本部)などの特別な番号へ通報してください。

待受画面で    0、   9、または    8 を入力し、

 **ご注意**

- 本機で緊急通報後 (Bluetooth機能を利用した発信を含む)、以下の設定・操作をしていても5分程度の間はいかなる電話番号からも音声着信します。通報する場合は、通話が切れないように移動せずに通報し、通報後はすぐに電源を切らず、着信のできる状態にしておいてください。
 - ・ 安全運転モード (64ページ)
 - ・ 着信拒否 (227ページ)
 - ・ 管理者ロックの「着信を電話帳内の番号に限定」(242ページ)

以前にかけた相手の電話番号やかかってきた相手の電話番号は、それぞれ新しいものから30件まで記憶されます。30件を超える、古い履歴から自動的に削除されます。発信履歴や着信履歴から電話をかけることができます。

待受画面で (発信履歴) または (着信履歴) ▶ 発信履歴／着信履歴を選択し、



ご注意

- シークレットモードを解除しているときは、シークレット登録されている電話帳の情報(名前)は表示されません(「シークレットモードを設定する」231ページ)。
- 管理者ロックの「発信履歴の閲覧を許可」(246ページ)が「許可しない」に設定されているときは、発信履歴／着信履歴を利用することができません。

お知らせ

- 発信履歴／着信履歴を選択するときは、以下の手順で行います。
 - : 新しい履歴順に表示します。
 - : 古い履歴順に表示します。
- 発信履歴／着信履歴は を押して切り替えることができます。
- 発信履歴／着信履歴／不在着信履歴を表示するには、以下の手順でも行えます。

待受画面で ▶ ▶ ▶ 「発信履歴」、 「着信履歴」、または 「不在着信履歴」

- 発信履歴／着信履歴の詳細(発信履歴／着信履歴詳細表示画面)を表示するには、以下の手順で行います。

発信履歴／着信履歴表示画面で履歴を選択し、 【表示】

・発信履歴／着信履歴の詳細表示画面

- 1: 履歴番号、アイコン
- 2: 名前
- 3: 電話番号または非通知理由(着信履歴の場合)
- 4: 発信／着信日時・曜日
- 5: 通話時間
- 6: Bluetooth発信／着信、またはだれでも定額バスでの発信／着信・機器名

- 発信履歴画面に表示されるアイコンは、以下のとおりです。

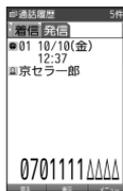
アイコン	説明
	分計発信(分計発信(314ページ)した場合)

- 分計発信した発信履歴から電話をかけるときは、分計発信になります。
- 着信履歴画面に表示されるアイコンは、以下のとおりです。

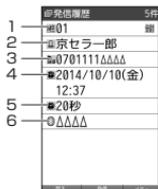
アイコン	説明
<input type="checkbox"/>	不在着信(電話に出られなかった場合)
<input type="checkbox"/>	ワン切りの可能性あり(着信時間が3秒未満の不在着信があった場合)
<input type="checkbox"/>	着信拒否(着信拒否機能により着信を拒否した場合「着信拒否する電話番号を設定する」227ページ)
<input type="checkbox"/>	伝言メモあり(伝言メモ(57ページ)／安全運転モード(64ページ)で相手のメッセージを録音している場合)

- 発信履歴／着信履歴には通話できなかった場合も記憶されます。

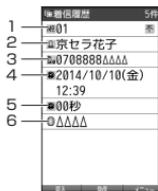
例：発信履歴表示画面



発信履歴詳細表示画面



着信履歴詳細表示画面



■ 発信履歴画面／着信履歴画面のメニューを使う

待受画面で (発信履歴) または (着信履歴) ▶ 発信履歴／着信履歴を選択 ▶ **【メニュー】**

以下の項目から選択します。表示される項目は、選択した履歴画面により異なります。

<input type="checkbox"/> 1 伝言メモの再生 ^{*1}	伝言メモを再生します。
<input type="checkbox"/> 2 発信	<p>■ 選択した電話番号に電話をかける場合</p> <p>▶ <input checked="" type="checkbox"/> または <input type="checkbox"/> 【発信】</p> <p>■ 選択した電話番号を編集して電話をかける場合</p> <p>▶ 電話番号を編集し、<input checked="" type="checkbox"/> または <input type="checkbox"/> 【発信】</p> <p>■ 選択した電話番号に特番を付加して電話をかける場合</p> <p>▶ <input type="checkbox"/> 【メニュー】 ▶ <input type="checkbox"/> 「184発信」、<input type="checkbox"/> 「186発信」、<input type="checkbox"/> 「分計発信」、<input type="checkbox"/> 「184分計発信」、または <input type="checkbox"/> 「186分計発信」</p>
<input type="checkbox"/> 3 電話帳へ登録	<p><input type="checkbox"/> 1 新規 選択した履歴の電話番号を電話帳に新規登録します（「電話帳に登録する」76ページ）。</p> <p><input type="checkbox"/> 2 追加 ▶ 追加登録する電話帳データを選択し、<input type="checkbox"/> 【選択】 ▶ 登録先を「電話番号1～3」から選択し、<input type="checkbox"/> 【選択】 ▶ <input type="checkbox"/> 【登録】 ▶ <input type="checkbox"/> 「はい」</p> <p>選択した履歴の電話番号を、すでに登録されている電話帳データに追加登録します。</p>
<input type="checkbox"/> 4 SMS作成	選択した履歴の電話番号を宛先としたSMSを作成します（「SMSを作成して送信する」103ページ）。
<input type="checkbox"/> 5 表示切り替え	▶ <input type="checkbox"/> 「1件」または <input type="checkbox"/> 「一覧」
	履歴表示を「1件表示」と「一覧表示」に切り替えます。
<input type="checkbox"/> 6 発信先限定へ登録 ^{*2}	選択した電話番号を発信先限定の発信先一覧に登録します（「登録した電話番号以外に電話をかけられなくする」230ページ）。
<input type="checkbox"/> 7 着信拒否へ登録	選択した電話番号を着信拒否の指定番号一覧に登録します（「着信拒否する電話番号を設定する」227ページ）。
<input type="checkbox"/> 8 削除	▶ <input type="checkbox"/> 「1件」、 <input type="checkbox"/> 「選択」、または <input type="checkbox"/> 「全件」
	発信履歴／着信履歴を削除します（「各機能の情報を削除する」273ページ）。

*1：伝言メモのある着信履歴を選択しているときのメニューで表示されます。

*2：発信履歴画面のメニューを表示しているときに表示されます。

スピードダイヤルを使う

スピードダイヤルを使って素早く電話をかけたり、Webページにアクセスすることができます。

■ スピードダイヤルで電話をかける

電話帳の電話帳No.000～099に登録している電話番号へかける場合は、電話帳No.の下1桁または下2桁を入力し、を押すだけで電話をかけることができます。

待受画面で 電話をかけたい電話帳No. ~ を入力し、

ご注意

- 操作ロック (229ページ) の「スピードダイヤル」、「電話帳閲覧」、または「ダイヤル発信」が「禁止」に設定されているときは、暗証番号を入力する必要があります。
- 管理者ロックの「電話帳の閲覧を許可」(246ページ) が「許可しない」に設定されているときは、スピードダイヤルを利用できません。
- シークレット登録した電話帳No.へは、シークレットモード設定中のみスピードダイヤルで電話をかけることができます (「シークレットモードを設定する」231ページ)。

お知らせ

- 電話帳に登録されていない電話帳No.を入力しを押すと、該当する電話帳データがないことを伝える画面が表示されます。
 - 電話番号が複数登録されているときは、通常使用電話番号に電話をかけます。
 - スピードダイヤルを使って、以下の操作を行うこともできます。
 - ・登録されているEメールアドレス宛のEメール作成画面を表示する
待受画面で電話帳No.を入力 ( 【ダイヤル画面】) *  を押す
 - ・登録されている電話番号宛のSMS作成画面を表示する
待受画面で電話帳No.を入力 ( 【ダイヤル画面】) *  を長く (1秒以上) 押す
- * : 「すぐ文字」(75ページ) が「ON」に設定されているときに操作します。

■ スピードダイヤルでWebページにアクセスする

CCコードを入力し、を押すだけで、Webページにアクセスすることができます。

待受画面で アクセスしたいCCコードの番号をダイヤルキーで入力 ( 【ダイヤル画面】) * 

* : 「すぐ文字」(75ページ) が「ON」に設定されているときに操作します。

ご注意

- 操作ロック (229ページ) の「スピードダイヤル」または「WEB」が「禁止」に設定されているときは、暗証番号を入力する必要があります。

自分の電話番号を相手に通知する (発信者番号通知)

機能番号15

「発信者番号通知」を「ON」に設定すると、電話をかけるとき、自分の電話番号を相手に通知します。パケット通信を行う場合は、「発信者番号通知」を「ON」に設定してください。

お買い上げ時：
「ON」

待受画面で    「ON」または 「OFF」

ご注意

- PIAFS通信をする場合は、プロバイダーによっては「発信者番号通知」を「ON」に設定する必要があります。

国際電話をかける

ワイモバイルの国際電話サービス（手続き不要）を利用して、世界約240の国と地域へかんたんなダイヤル方法で手軽に国際電話をかけることができます。

■ 本機から海外へかける場合

例：アメリカの「212-123-△△△△」へかける場合

待受画面で



📢 ご注意

- 相手先電話番号が「0」から始まる場合は、「0」を除いてダイヤルしてください（一部の国と地域を除く）。

📢 お知らせ

- ワイモバイル国際電話サービスについて
 - ・ 国際電話をご利用の際、ワイモバイルへのお申し込みは不要です。
 - ・ 国際電話サービスは毎月のご利用限度額の制限はありません。一定の上限金額を設定するサービス（セーフティプラン）や、ご利用料金が一定額を超えるとメールでお知らせするサービス（一定額お知らせサービス）がご利用いただけます。詳しくはワイモバイル カスタマーセンターまでお問い合わせください。
 - ・ 国際電話サービスは、30秒単位での課金となります。
 - ・ 国際通話料金は、毎月のワイモバイルのご利用料金と合算してのご請求となります。
 - ・ ご利用を希望されない場合は、お申し込みにより国際電話サービスを利用不可にすることもできます。詳しくはワイモバイル カスタマーセンターへお問い合わせください。
 - ・ 無料通話を含む料金プランをご契約いただいている場合、国際電話の通話料は無料通話の対象となります。ただし、「だれとでも定額」の無料通話の対象にはなりません。

■ 海外から日本国内の本機へかける場合

例：アメリカから本機「070-△△△△-△△△△」へかける場合



📢 ご注意

- アクセス番号は、国によって異なります。

● 電話を受ける

着信中に を押す

電話を受けることができます。

エニーキーアンサーを設定している場合は、**[0]~[9]**、**[*]**、**[#]**、**電話帳**、**メモ**、**Bluetooth**、**アプリ**のいずれかのキーでも電話を受けることができます（「エニーキーアンサーを設定/解除する」266ページ）。



ご注意

- 電話の着信は、ほぼすべての操作よりも優先して行われます。
- パケット通信中の電話の着信設定（262ページ）が「停止」の場合、パケット通信中は着信できません。
- 着信拒否（227ページ）が設定されているときは、着信できる電話番号に制限がかかります。
- 赤外線通信での全件データ登録中は、電話の着信ができません。
- 操作ロック（229ページ）の「電話帳閲覧」が「禁止」、または管理者ロックの「電話帳の閲覧を許可」（246ページ）が「許可しない」に設定されていると、電話帳に登録した電話番号から電話がかかってきても、電話帳に登録した名前が表示されません。
- 管理者ロックの「着信を電話帳内の番号に限定」（242ページ）が「限定する」に設定されていると、電話帳に登録されていない電話番号からの電話を受けることができません。

お知らせ

- 着信中は、以下の操作を行うことができます。

	着信音量を調節します。
 を長く（1秒以上）	着信音を停止させてバイブレータの振動に切り替えます（「着信中に着信音をバイブレータに切り替える」66ページ）。
シャッター/メモ  （サイドキー） または 	着信音のみを停止させます。
	着信音量およびバイブレータを「OFF」にします。
シャッター/メモ  （サイドキー） を長く（1秒以上）または  【メモ】	伝言メモで応答します（「電話に出られないときに応答して相手の声を録音する」57ページ）。
	<p>■ 着信拒否の指定番号一覧に登録して電話を切る場合</p> <p>▶  「切る+登録する」</p> <p>■ 電話を切る場合</p> <p>▶  「切る+登録しない」</p> <p>着信中の電話を切る操作をします。 着信拒否（227ページ）で「拒否メッセージあり」に設定しているときは、「切る+登録する」を押すと電話を切るときに拒否メッセージが再生されます。</p>

- 電源をOFFにしているときや、サービスエリア外にいるときにかかってきた電話を、他の電話に転送することができます（「着信転送サービスについて（お申し込み不要）」313ページ）。
- 通話中に電波状態が悪くなり通話が切れそうになると、「ビービー」という圏外警告音が鳴ります。圏外警告音を鳴らすかどうかは設定を変更することができます（201ページ）。
- 電話をかけてきた相手が発信者番号を非通知にしている場合や、公衆電話からかけてきた場合などは、以下のように表示されます。

表示内容	非通知理由
ユーザ非通知	相手が番号通知を拒否している
通知不可能	番号通知ができないエリアや電話機からかけている
公衆電話発信	公衆電話からかけている

- 発信者番号にサブアドレスが含まれている場合は、電話番号の上の行にサブアドレスが表示されます。
- 通話中に本体を閉じると、通話を終了します。ただし、以下の場合は通話は終了しません。
 - ・本機にイヤホン変換ケーブルが差し込まれている場合
 - ・Bluetooth機能を利用したヘッドセット/ハンズフリー機器で通話中
 - ・Bluetooth通話で通話中

- 通話中に□【メニュー】を押すと、以下のメニューが表示されます。
 - ・ 通話切り替え（Bluetooth機能でヘッドセット/ハンズフリー通話中のみ）
 - ・ 機能
 - ・ 電話帳
 - ・ カレンダー
 - ・ アクセサリ
 - ・ メモ
 - ・ 着信拒否に登録（着信したときのみ）*
 - *：Bluetooth着信では利用できません。
- 通話中にバッテリー残量が不足すると、「ピーピーピーピーピー」というバッテリー残量警告音が鳴ります。できるだけ早く充電してください。バッテリー残量警告音を鳴らさないように設定することはできません。
- 「節電画面」（210ページ）の設定によって、通話開始時の動作が以下のように変わります。
 - ・ 「節電画面にしない」以外に設定している場合、通話開始時は設定にかかわらず5秒後に節電画面になります。
 - ・ 「節電画面にしない」に設定している場合、通話開始時は5秒後に節電画面にはならず、設定どおり動作します。
- Bluetooth機能で、他の機器と接続して通話操作をすることができます。詳しくは「Bluetooth®を利用した通話操作をする」（300ページ）をご参照ください。
- 通話中に別の電話を受けることができます（「割込通話について（お申し込み必要）」312ページ）。

通話中に保留する（ミュート）

通話中に相手に待っていただきます。保留中はお互いに相手の声が聞こえません。

通話中に

1 ■を長く（1秒以上）押す

相手には「少々お待ちください」の音声が繰り返されます。

2 通話できる状態になったら ▶ ■を長く（1秒以上）押す

相手と通話ができます。

📢 ご注意

- ミュートとハンズフリーが同時に設定されているときは、相手の声は聞こえますが、自分の声は相手に聞こえません。また、保留中であることをお知らせする「少々お待ちください」の音声も相手に聞こえません。

● 通話中にプッシュ信号を送る

“ピッポッパツ”というプッシュ信号を送ることにより、留守番電話のリモート操作、チケット予約や宅配便の再配達依頼などのプッシュホンサービスを利用することができます。電話帳や発信履歴のダイヤルをプッシュ信号で送出する際に、番号と番号の間に「P（ポーズ）」を入れることにより、「P」の後の番号を一時停止させることができます。

例：△△運輸の配達に関するお問い合わせ「12」→配達状況の確認「34」の順に送信する場合*

*：電話帳データに電話番号として「12P34」を登録しておきます。

△△運輸通話中に

1  ▶ 「電話帳」を選択し、 【選択】 ▶  「一覧」 ▶ 電話帳データを選択し、 【詳細表示】 ▶ プッシュ番号を登録した項目を選択 ▶  【メニュー】

2  「一括送出」を押す

配達に関するお問い合わせ「12」までを送信します。

3  を押す

配達状況の確認「34」を送信します。

ご注意

- 電波状態が悪いと送れないことがあります。
- 通話中に「P」を入力することはできません。「P」は電話をかける前に入力しておくか、電話帳に登録しておく必要があります。
- 通話中にダイヤルキーを押して、番号を画面に表示しているときは、各種操作ができません。各種操作をするときはを押して番号を削除してください。

お知らせ

- 通話中にダイヤルキーでプッシュ信号を送るには、以下の手順で行います。
通話中にダイヤルキーを押す
- 電話帳の登録画面でP（ポーズ）を入力するには、以下の手順で行います。
番号入力画面でP（ポーズ）を入力する前までの番号を入力 ▶ 【#】を長く（1秒以上）押す
入力した番号の後にP（ポーズ）が表示されます。

● 音声メモ／伝言メモを使う

音声メモを使って通話中に相手の声を録音したり、伝言メモで電話に出られないときに応答メッセージを流して相手の伝言を録音することができます。

お知らせ

- 伝言メモを設定しているときは、待受画面に「」が表示されます。
- 音声メモや伝言メモが録音されている場合は、待受画面に以下のアイコンと録音件数が表示されます。

アイコン	状態
	伝言メモ未設定
	伝言メモ設定中

- 録音件数は、音声メモ・伝言メモ・安全運転モード（64ページ）時に録音した相手のメッセージと合わせて、10件まで録音できます。1件の録音時間は約30秒までです。

通話中に相手の声を録音する（音声メモ）

通話中に相手の声を録音します。

通話中に  ▶ 「メモ」を選択し、 「選択」 ▶ 2 「音声／伝言メモ」 ▶ 1 「音声メモ録音」 ▶ 約30秒経過または  「停止」で録音終了



ご注意

- 録音件数がすでに10件登録されている場合は、録音はできません。

お知らせ

- 音声メモの録音は、以下の手順でも行えます。
通話中にシャッター／メモ（サイドキー）▶ 約30秒経過または  「停止」で録音終了
- 録音できるのは相手の声だけです。自分の声は録音されません。

電話に出られないときに応答して相手の声を録音する（伝言メモ）

電話に出られないとき、自動的に応答メッセージを流して相手の伝言を録音します。

ご注意

- 録音中に録音時間がなくなったときは、録音を終了し、電話を切ります。
- 録音件数がすでに10件登録されている場合は、伝言メモ応答時に応答メッセージを再生し、録音を行わずに電話を切ります。

■ 伝言メモを設定／解除する（伝言メモ設定）

機能番号61

待受画面で **■** ▶ **6** ▶ **1** ▶ **1** 「ON」または **2** 「OFF」

お買い上げ時：
「OFF」

● ご注意

- マナーモード（61ページ）、安全運転モード（64ページ）設定中は、伝言メモの設定をすることができません。

伝言録音中画面



● お知らせ

- 伝言メモの設定／解除は、以下の手順でも行えます。

待受画面でシャッター／メモ <input type="checkbox"/> （サイドキー）を長く（1秒以上）押す 本体を開いた状態のときに操作を行ってください。
待受画面でシャッター／メモ <input type="checkbox"/> （サイドキー）▶ 2 「伝言メモ設定」▶ 1 「伝言メモ設定」▶ 1 「ON」または 2 「OFF」
待受画面で ■ 「メモ」を選択し、 ■ 「選択」▶ 2 「音声／伝言メモ」▶ 3 「伝言メモ設定」▶ 1 「伝言メモ設定」▶ 1 「ON」または 2 「OFF」

- ワイモバイルで提供している留守番電話サービス（「留守番電話サービスについて（お申し込み必要）」310ページ）とは異なります。
- 本機の伝言メモと、留守番電話サービスの両方を利用されているときは、本機の伝言メモ応答時間と留守番電話センター呼び出し時間で短く設定されている方が優先されます。伝言メモ応答時間を変更するには「応答時間を設定する」（59ページ）、留守番電話センターの呼び出し回数を変更するには「留守番電話サービスの設定を変更する」（311ページ）をご参照ください。
- 伝言メモの設定にかかわらず、着信中に以下の操作で応答メッセージが流れ、相手の伝言を録音できます。
着信中にシャッター／メモ （サイドキー）を長く（1秒以上）押す
または
着信中に **☑** 【メモ】を押す
- 伝言メモ録音動作中（応答メッセージ再生中や録音中）に、**☑** を押すと、伝言メモ録音動作を中断し、通話をすることができます。中断までの内容は録音されています。
- 応答メッセージは、固定メッセージとオリジナルメッセージから選択することができます（「応答メッセージを設定する」59ページ）。

■ 伝言メモの応答メッセージを録音する（応答メッセージ録音）

機能番号62

「応答メッセージ選択」（59ページ）で「オリジナル」を設定した場合に流れる応答メッセージを録音します。

応答メッセージは1件、約15秒まで録音できます。

待受画面で **■** ▶ **6** ▶ **2** ▶ 録音開始 ▶

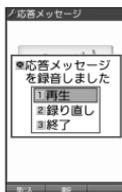
約15秒経過後または **■** 【終了】で録音終了

確認画面が表示されます。

確認画面では以下の操作を行うことができます。

1 再生	録音した応答メッセージを再生します。
2 録り直し	応答メッセージを録音し直します。
3 終了	応答メッセージを保存します。

確認画面



● お知らせ

- 上記手順の **2** 「応答メッセージ録音」を選択中に **☑** 【メニュー】を押すと、以下の操作を行います。

1 ショートカット	応答メッセージ録音画面をお気に入りメニューへ登録します（「お気に入りメニューを設定する」43ページ）。
2 消去	▶ 1 「はい」を押す 登録した応答メッセージを消去します。

■ 応答メッセージを設定する（応答メッセージ選択）

機能番号63

応答メッセージは、自分で録音するオリジナルメッセージと固定メッセージから選択できます。

お買い上げ時：
「固定メッセージ」

待受画面で ▶ 6 ▶ 3

以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> 1 固定メッセージ	「ただ今電話に出ることができません。ピーツと鳴りましたらメッセージをどうぞ。」
<input type="checkbox"/> 2 オリジナル	自分で録音した応答メッセージが流れます（「伝言メモの応答メッセージを録音する」58ページ）。

お知らせ

- 上記手順の[3]「応答メッセージ選択」を選択中に[63]【メニュー】を押すと、以下の操作を行います。

<input type="checkbox"/> 1 ショートカット	応答メッセージの設定をお気に入りメニューへ登録します（「お気に入りメニューを設定する」43ページ）。
<input type="checkbox"/> 2 再生	選択した応答メッセージを再生します。

- 録音件数がすでに10件登録されている場合は、録音できません。「ただいま電話に出ることができません。後程おかけ直してください。」というメッセージが再生されます。

■ 応答時間を設定する（伝言メモ応答時間）

機能番号64

電話がかかってきてから伝言メモで応答を開始するまでの時間を設定します。応答時間は、「00秒」～「30秒」（1秒単位）の範囲で設定できます。

お買い上げ時：
「15秒」

待受画面で ▶ 6 ▶ 4 ▶ 伝言メモ応答時間（00秒～30秒）を入力し、

確定

音声メモや伝言メモを再生／削除する（音声／伝言メモ一覧）機能番号66

音声メモと伝言メモに録音された内容や、安全運転モード時に録音された相手のメッセージの内容を待受中や通話中に聞くことができます。

待受画面で **6** **6**

以下の操作を行います。

再生する	メッセージを選択し、【再生】
削除する	メッセージを選択し、【削除】 1 「1件」、 2 「選択」、または 3 「全件」*

*：メッセージ選択後の操作は「各機能の情報を削除する」（273ページ）をご参照ください。

ご注意

- 通話中にミュート（55ページ）を設定しているときは再生できません。

お知らせ

- 音声／伝言メモ一覧画面は以下の操作でも表示できます。
 - シャッター／メモ （サイドキー）から操作する場合
待受画面でシャッター／メモ （サイドキー） **1**「音声／伝言メモ一覧」
 - メニューから操作する場合
待受画面で通話中に 「メモ」を選択し、【選択】 **2**「音声／伝言メモ」 **2**「音声／伝言メモ一覧」
- 未再生の伝言メモがあるときは、待受画面に表示される録音件数のアイコンが赤く表示されます。
- 通話中に音声メモを再生すると、音声メモの内容は相手と自分の両方に聞こえます。
- 再生中は、以下の操作を行うことができます。
 - ・ ：音量を調節できます。
 - ・ ：前または次の音声メモ／伝言メモを選択します。再生するには 【開始】を押します。
 - ・ 【停止】：再生が停止します。
 - ・ 【削除】：音声メモ／伝言メモを削除します。
 - ・ ：スピーカー／レシーバー（受話部）での再生を切り替えます。
※通話中は切り替えることができません。
- 音声／伝言メモを再生したときの音量と、受話音量（66ページ）は同じ音量になります。また、どちらかの音量を変更するともう一方の音量も同じ大きさになります。
- 音声／伝言メモ一覧画面に表示されるアイコンは以下のとおりです。

	音声メモ
	伝言メモ
	伝言メモが未再生

- スピーカーで再生中にイヤホン変換ケーブルを差し込むと、自動的にイヤホンからの再生に切り替わります。

音声／伝言メモ
一覧画面



● マナーモードを設定／解除する(マナーモード)

機能番号*

公共の場所で音を鳴らさないようにしたいときなどは、マナーモードにします。本機には4つのモードが用意されています。お買い上げ時は「マナーモード解除」に設定されており、初めてマナーモードを起動した場合は「標準マナーモード」が起動します。
各マナーモード設定時に待受画面に表示されるアイコンは以下のとおりです。

お買い上げ時：
「マナーモード解除」

標準マナーモード		オリジナル1マナーモード	
サイレントマナーモード		オリジナル2マナーモード	

■ 設定する場合

待受画面で **戻る** を長く(1秒以上) 押す

前回選択したモードでマナーモードが設定されます。

■ 解除する場合

待受画面で **マナーモード設定中の状態で、戻る** を長く(1秒以上) 押す



- マナーモードを設定した場合、確認のバイブレーションが約2秒間振動します。
- モードを選択して設定する場合は、「モードを選択して設定する」(62ページ)をご参照ください。
- 本体を閉じているときの設定／解除は、以下の手順で行います。
待受画面でシャッター／メモ (サイドキー) を長く(1秒以上) 押す
- マナーモードの解除は、以下の手順でも行えます。
待受画面で (マナーモード設定中の状態で) **□** **▶** **✳** **▶** **5** 「マナーモード解除」

モードを選択して設定する

待受画面で     **1** 「標準マナー」、**2** 「サイレントマナー」、**3** 「オリジナル1マナー」、または**4** 「オリジナル2マナー」

マナーモード設定中は以下の設定になります。

機能		「標準マナー」	「サイレントマナー」	「オリジナル1マナー」	「オリジナル2マナー」
音声着信	音量	OFF	OFF	各マナーの設定によります (「オリジナルマナーを登録する」 63ページ)。	
	バイブレーション設定	ON 「パターン1」	OFF		
Bluetooth着信	バイブレーション設定	ON 「パターン1」	OFF		
	音量	OFF	OFF		
Eメール受信	バイブレーション設定	ON 「パターン1」	OFF		
	音量	OFF	OFF		
SMS受信	バイブレーション設定	ON 「パターン1」	OFF		
	音量	OFF	OFF		
お知らせ シェア受信	バイブレーション設定	ON 「パターン1」	OFF		
	音量	OFF	OFF		
アラーム	バイブレーション設定	ON 「パターン1」	OFF		
	音量	OFF	OFF		
スケジュール アラーム	バイブレーション設定	ON 「パターン1」	OFF		
	音量	OFF	OFF		
操作音		OFF	OFF		
データ再生音		OFF	OFF		
ボイス通知		バイブレーション*	バイブレーション*		
ウェイクアップトーン		OFF	OFF		
伝言メモ設定		ON	ON		

* : 「ボイス通知」(200ページ)を「各種通知」に設定しているときは、通知の内容によりバイブレーションのパターンが異なります。

ご注意

- カメラ撮影時のシャッター音、録画開始・終了音は、マナーモード設定中でも鳴ります。また、セルフタイマーで撮影する場合、「撮影セルフタイマー音設定」(169ページ)または「録画セルフタイマー音設定」(173ページ)が「ON」に設定されていると、マナーモード設定中でもセルフタイマー音が鳴ります。

お知らせ

- 以下の手順でも、モードを選択して設定することができます。
待受画面で   **1** 「標準マナー」、**2** 「サイレントマナー」、**3** 「オリジナル1マナー」、または**4** 「オリジナル2マナー」

オリジナルマナーを登録する（オリジナルマナー編集）

マナーモードの設定をお好みに合わせて変更し、オリジナルマナーとして2種類登録できます。

待受画面で

1 「オリジナル1マナー」または「オリジナル2マナー」を選択し、 **【設定】**

以下の項目から選択します。

1 音声着信	1 音量	で音量を調節し、 【OK】 電話がかかってきたときの着信音量を設定します。
	2 バイブレーション設定	1 【OFF】 、またはパターンを選択し、 【選択】 電話がかかってきたときのバイブレーションを設定します。
2 Bluetooth着信	1 バイブレーション設定	1 【OFF】 、またはパターンを選択し、 【選択】 Bluetooth着信があったときのバイブレーションを設定します。
	1 音量	で音量を調節し、 【OK】 Eメールを受信したときの受信音量を設定します。
3 Eメール受信	2 バイブレーション設定	1 【OFF】 、またはパターンを選択し、 【選択】 Eメールを受信したときのバイブレーションを設定します。
	1 音量	で音量を調節し、 【OK】 SMSを受信したときの受信音量を設定します。
4 SMS受信	2 バイブレーション設定	1 【OFF】 、またはパターンを選択し、 【選択】 SMSを受信したときのバイブレーションを設定します。
	1 音量	で音量を調節し、 【OK】 「お知らせシェア受信」（197ページ）設定中に、通知があったときの通知音量を設定します。
5 お知らせシェア受信	2 バイブレーション設定	1 【OFF】 、またはパターンを選択し、 【選択】 「お知らせシェア受信」（197ページ）設定中に、通知があったときのバイブレーションを設定します。
	1 音量	で音量を調節し、 【OK】 アラーム鳴動時の音量を設定します。
6 アラーム	2 バイブレーション設定	1 【OFF】 、またはパターンを選択し、 【選択】 アラーム鳴動時のバイブレーションを設定します。
	1 音量	で音量を調節し、 【OK】 スケジュールアラーム鳴動時の音量を設定します。
7 スケジュールアラーム	2 バイブレーション設定	1 【OFF】 、またはパターンを選択し、 【選択】 スケジュールアラーム鳴動時のバイブレーションを設定します。
	で音量を調節し、 【OK】 キーを押したときの音量を設定します。	
8 操作音	で音量を調節し、 【OK】 データフォルダのメロディなどを再生するときの音量を設定します。	
9 データ再生音	で音量を調節し、 【OK】 ボイス通知（200ページ）を再生するときの音量、またはバイブレーションを鳴動させるかどうかを設定します。	
0 ボイス通知	1 【ON】 または 2 【OFF】 電源を入れたときの確認音を鳴らすかどうかの設定をします。	
* ウェイクアップトーン		

Ⓜ 伝言メモ設定

▶ 「ON」または 「OFF」

伝言メモ応答するかどうかの設定をします。

2 かろ **【登録】**を押す

ご注意

- オリジナルマナー設定中は、設定中のオリジナルマナーのみ各種設定を変更することができます。他のマナーモードに設定中の場合はいったんマナーモードを解除する、または変更したいオリジナルマナーに設定してから各種設定を行ってください。

● **安全運転モードを設定／解除する（安全運転モード）**

運転中に電話がかかってきたとき、運転の妨げにならないように、着信音やバイブレータを「OFF」に切り替えることができます。このとき相手には、運転中のため通話ができないことをお知らせし、相手のメッセージを録音できます。録音件数は、安全運転モード時に録音した相手のメッセージ・伝言メモ（57ページ）・音声メモ（57ページ）と合わせて10件まで録音できます。メッセージの再生／削除方法は「音声メモや伝言メモを再生／削除する」（60ページ）をご参照ください。

■ 設定する場合

待受画面で **Ⓜ**を長く（1秒以上）押す

確認画面が表示されます。表示を消すには \square 、 \square 、または \square のいずれかのキーを押します。

■ 解除する場合

待受画面で **安全運転モード設定中の状態で**、**Ⓜ**を長く（1秒以上）押す

ご注意

- 緊急通報（49ページ）後、5分程度の間は安全運転モードを設定していても、いかなる電話番号からも音声着信します。
- 安全運転モード設定中は、伝言メモ設定を変更することができません。
- 伝言メモ設定中の場合、安全運転モードを設定すると、伝言メモ設定は解除されます。また、安全運転モードを解除すると伝言メモは設定中の状態に戻ります。
- 応答メッセージ再生中や、相手のメッセージを録音しているときは、 \square を押しても通話できません。

お知らせ

- 安全運転モードに設定すると、待受画面に「 \square 」と「 \square 」が表示されます。また、設定中であることをお知らせするアイコンが表示されます。
- 安全運転モードに設定すると、相手には以下のようなメッセージでお知らせします。

伝言の録音ができるとき	「ただ今車を運転しています。ピーッと鳴りましたらメッセージをどうぞ。」
伝言の録音ができないとき	「ただ今車を運転しています。後程おかけ直してください。」

- 安全運転モード設定中でも、通常どおり電話をかけることができます。
- 安全運転モードを解除すると、着信音やバイブレータは安全運転モードを設定する前の設定に戻ります。

安全運転モードの応答先を、本機（電話機応答）とワイモバイルの留守番電話センター（ネットワーク応答）から設定することができます。

お買い上げ時：
「電話機応答」

待受画面で **6** **5**

以下の項目から選択します。

1 電話機応答	本機で応答し、相手のメッセージを本機に録音します。
2 ネットワーク応答*	ワイモバイルの留守番電話センターで応答し、相手のメッセージをワイモバイルの留守番電話センターに録音します（「留守番電話サービスについて（お申し込み必要）」310ページ）。サービスの詳細については、ワイモバイル カスタマーセンターまでお問い合わせください。

*：メッセージの再生方法については、「メッセージを聞く」（311ページ）をご参照ください。

● ハンズフリーで通話する（インタラクティブハンズフリー）

通話中に相手の声をスピーカーから流して通話します。本機を手に持たずに相手と話すことができます。ハンズフリー通話中も双方向通話となり、通常の通話と同様に話すことができます。

通話中に 「ハンズフリー」を押す

ご注意

- ミュートとハンズフリーが同時に設定されているときは、相手の声は聞こえますが、自分の声は相手に聞こえません。また、保留中であることをお知らせする「少々お待ちください」の音声も相手に聞こえません。
- 本機の音量を上げすぎたり、相手が大きな声を出した場合などに、スピーカーからの音声音が音割れすることがあります。
- 以下の場合はハンズフリー通話できません。
 - ・イヤホン変換ケーブルを接続中
 - ・安全運転モード設定中
 - ・Bluetooth機能を利用したヘッドセット／ハンズフリー機器で通話中

お知らせ

- ハンズフリー通話中は、通話中の画面に「」が表示されます。
- ハンズフリー通話中に、 「ハンズフリー解除」を押すとハンズフリーが解除されます。
- はっきり通話中（67ページ）にハンズフリーに設定すると、はっきり通話が一時的に解除されます。通常の通話状態に戻ると、はっきり通話で話すことができます。

● 小さな声で話せるように設定する（マナートーク[®]）

公共の場所や静かな場所で、まわりの方に迷惑をかけないように小さな声で話せるように設定します。マナートーク中は小さな声でお話しても、相手には通常の声の大きさで伝わります。

お買い上げ時：
「OFF」

通話中に **戻る** を長く（1秒以上）押す

お知らせ

- マナートーク設定中に、再度 を長く（1秒以上）押すと解除されます。また、通話を終了すると解除されます。
- マナートーク設定中は、相手の声も少し大きく聞こえます。ただし、受話音量を最大にしているときは変わりません。

● 着信中に着信音をバイブレータに切り替える（マナー着信）

着信中、鳴っている着信音を停止させてバイブレータの振動に変えることができます。

着信中に **戻る** を長く（1秒以上）押す



- マナー着信に切り替えてから電話を受けるには、**戻る** を押します。エニーキーアンサーを「ON」に設定している場合は、**0**～**9**、*****、**#**、**電話**、**メモ**、**Bluetooth**、**アプリ**でも電話を受けることができます（「エニーキーアンサーを設定/解除する」266ページ）。

● 通話中に受話音量を調節する

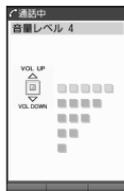
通話中に相手の声の大きさを「音量レベル1」（最小）～「音量レベル5（でか）」（最大）の5段階に調節します。

お買い上げ時：
「音量レベル3」
本体カラー
・ブラック
・スライシーグリーン
・ピンク
・スライシーオレンジ
「音量レベル4」
本体カラー
・ネイビー×ゴールド
・ホワイト×ゴールド

通話中に **音量** で音量を調節する



- 「音量レベル5（でか）」に設定すると、相手の声が全体的に大きくなり、小さな声でもより聞こえやすくなるように補正されます。ただし、Bluetoothを利用したヘッドセット/ハンズフリー機器で通話中や、Bluetooth通話中は補正機能は利用できません。



● 相手の声がゆっくり聞こえるように設定する（ゆっくり通話）

通話中に、相手の声がゆっくり聞こえるように設定します。

お買い上げ時：
「OFF」

通話中に **メール** を押す



- ゆっくり通話は、ミュート中は設定できません。



- ゆっくり通話中に、再度**メール**を押すと解除されます。また、通話を終了すると解除されます。
- ゆっくり通話は以下の場合でも設定が継続されます。
 - ・ハンズフリー通話中
 - ・マナートーク中
 - ・イヤホン変換ケーブル利用中
 - ・通話中メニュー利用中
 - ・通話中のダイヤル入力時
 - ・はっきり通話中
- Bluetooth通話中でもゆっくり通話を利用できます。
- イヤホン変換ケーブルを利用すると、イヤホンからの音声もゆっくり聞こえます。

● 相手の声ははっきり聞こえるように設定する(はっきり通話)

通話中に、相手の声が大きくはっきり聞こえるように設定します。

お買い上げ時：
「OFF」

通話中に **WEB** を押す

ご注意

- 以下の場合は、はっきり通話を設定できません。
 - ・ハンズフリー通話中
 - ・ミュート中
 - ・Bluetoothを利用したヘッドセット／ハンズフリー機器で通話中
 - ・Bluetooth通話中

お知らせ

- はっきり通話中に、再度 **WEB** を押すと解除されます。
- 通話を終了しても、はっきり通話の設定の内容は継続されます。
- はっきり通話は以下の場合でも設定が継続されます。
 - ・マナートーク中
 - ・イヤホン変換ケーブル利用中
 - ・通話中メニュー利用中
 - ・通話中のダイヤル入力時
 - ・ゆっくり通話中
- イヤホン変換ケーブルを利用すると、イヤホンからの音声もはっきり聞こえます。

● サイドキーの操作を無効にする(サイドキー操作無効)

本体を閉じた状態のとき、シャッター／メモ  (サイドキー) を操作無効にします。

お買い上げ時：
「OFF」

待受画面で ***** を長く (1秒以上) 押す

お知らせ

- サイドキー操作無効を設定すると、待受画面に「」が表示されます。
- サイドキー操作無効の設定は、本体を閉じている状態でのみ有効です。本体を開いた状態にすると、サイドキー操作が有効となります。
- サイドキー操作無効を解除するには、本体を開いたときに再度、***** を長く (1秒以上) 押しします。

文字の入力と設定

● 文字を入力する

文字入力モードの切り替え

漢字・ひらがな、カタカナ、英字、数字など、入力する文字によって入力モードを切り替えます。

文字入力画面で 入力モードを選択

以下の項目から選択します。選択可能な入力モードは、利用中の機能により異なります。

1 漢あ	漢字・ひらがなモード	7 絵文字	絵文字入力モード
2 カナ	全角カタカナモード	8 か	半角カタカナモード
3 a A	全角英字モード	9 aA	半角英字モード
4 1 2	全角数字モード	0 1 2	半角数字モード
5 ? &	全角記号モード	* ? &	半角記号モード
6 コード入力	コード入力モード	# (^ ` ^) /	顔文字入力モード



- 文字入力画面で  を押すと、絵文字入力モードに切り替えることができます。一部利用できない機能があります。

各キーに割り当てられた文字について

各キーに割り当てられている文字は以下のとおりです。

キー	入力モード			
	漢字・ひらがなモード	カタカナモード (全角/半角)	英字モード (全角/半角)	数字モード (全角/半角)
1	あいうえおあいうえお	アイウエオアイウエオ	. @ - _ : / ; ' ~	1
2	かきくけこ	カキクケコ	abcABC2	2
3	さしすせそ	サシスセソ	defDEF3	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ	ghiGHI4	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	jklJKL5	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	mnoMNO6	6
7	まみむめも	マミムメモ	pqrPQRS7	7
8	やゆよやゆよ	ヤユヨヤユヨ	tuvTUV8	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	wxyzWXYZ9	9
0	わをんわー (長音)、。!? □ (スペース)	全角 ワヲンワ ー (長音) 。!? □ (スペース)	半角 ワヲン ー (長音) 。!? □ (スペース)	. _ - ! ? □ (スペース) 0
*	* (濁点) * (半濁点) 大文字/小文字切り替え		大文字/小文字切り替え	*
#	文字が未確定のとき : 逆順表示 文字が確定しているとき :  (改行)			#

- ・ 英字モードの「」(チルダ)は、全角英字モードの場合には「~」になります。
- ・ *****で濁音や半濁音に変換する際、濁音や半濁音にできない文字や半角カタカナの場合は、次の文字として「」が入力されます。
- 例: 「か」に、「」(濁点)を付ける場合、***** こととなります。
- ただし、ひらがなやカタカナの小文字変換が可能な文字の場合、*****で濁音や半濁音にはできません。文字確定後、*****で入力します。
- 例: 「つ」に、「」(濁点)を付ける場合は、「つ」を確定した後*****で入力します。



- 文字を確定していないとき、**[#]**を押すと逆の順序で文字が表示されます（逆順表示）。
例：「お」を入力する場合は、**[1]** ▶ **[#]**で入力できます。
ただし、**[*]**で濁音や半濁音に変換した後や、大文字／小文字に切り替えた後は逆順表示することができません。
- 文字を入力した後、**[*]**を押すと小文字に変換することができます。
例：「ゆ」を入力する場合は、「ゆ」を入力した後**[*]**で入力できます。
- 文字を確定した後、**[WEB]**を押しても改行することができます。
ただし、予測変換の候補が表示されているときは改行できません。
- 同じキーに割り当てられている文字を続けて入力したいときは、最初の文字を入力後に**[]**を押してから、続けて入力します。
例：「あお」と入力する場合は、**[1]**を1回「あ」▶ **[]**▶ **[1]**を5回「お」で入力できます。

文字を入力する

ダイヤルキーを繰り返し押して、文字を入力します。

例：「しゅうじつ」を入力

漢字・ひらがなモードで **[3]**を2回「し」▶ **[8]**を2回「ゆ」▶ **[*]**を1回「ゆ」
▶ **[1]**を3回「う」▶ **[3]**を2回「し」▶ **[*]**を1回「じ」▶ **[4]**を3回「つ」▶ **[]** [確定]



- 確定した文字を削除するには、以下の手順で行います。
[]で削除したい文字の前にカーソルを合わせる ▶ **[戻る]**
- 確定した文字をすべて削除するには、以下の手順で行います。
入力されている文字の最初または最後にカーソルを置く ▶ **[戻る]**を長く（1秒以上）押す
文字がすべて削除されます。入力されている文字の最初と最後以外にカーソルを置いた場合は、カーソル以降の文字が削除されます。

漢字に変換する

漢字変換の方法には、予測変換と通常変換があります。予測変換設定を「ON」に設定していると、過去に一度変換した単語は、すべての文字を入力しなくても、変換候補として表示され、その中から選択することができます。お買い上げ時は、予測変換設定が「ON」に設定されています。

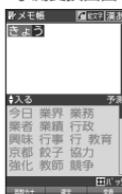
例：「きょう」を入力して、「京」に変換する

漢字・ひらがなモードで

1 [2]を2回「き」▶ [8]を3回「よ」▶ [✖]を1回「よ」▶ [1]を3回「う」

2 [カマ] [変換] ▶ [↑] ▶ [⇄]で「京」を選択し、[■] [確定]

予測変換画面



通常変換画面



例：「かいてき」を「快適」と変換した後、再度、同様に変換するとき

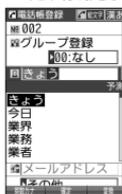
[2]を1回「か」▶ [↓] ▶ [⇄]で「快適」を選択し、[■] [確定]

予測変換に設定中は、[カマ] [変換] を押すと通常の変換候補が表示されます。



- 予測変換を解除して、通常変換で入力することもできます（「予測変換を設定する」74ページ）。通常変換では、文字の入力後[⇄]を押すと、変換候補が表示されます。また通常変換では一度にたくさんの文字を入力した後に変換する場合、自動的に文節を区切って入力されます。[■]を押すと、文節を区切り直すことができます。ただし、「候補選択キー設定」（74ページ）を「上下左右」に設定しているときに、変換候補を選択中は[戻る]を押すと、[⇄]で文節を区切りなおす操作ができます。
- 変換時の候補は、過去に変換した順に表示されます。
- 変換候補の選択を[⇄]で行うように設定することができます（「変換候補を選択するキーを設定する」74ページ）。
- 変換時の候補は、過去に文節に区切って変換した単語も表示します。
例：はじめに「あいかいかさ」と入力し、「赤い傘を」と変換した場合
次回入力時には、「あ」→「赤い」、「か」→「傘を」を候補として表示します。
- 文字を確定すると、その文字に続く助詞や単語などの予測候補が表示されます。
- 予測変換で学習した情報は削除することができます（「学習情報を削除する」74ページ）。
- 変換候補表示中に、[英数カナ] [英数カナ] を押すと、英数カナのみの候補が表示されます。

例：電話帳の名前入力画面（予測変換）



● 文字入力メニューを使う

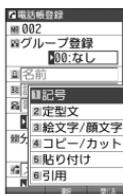
記号や文字列を選択／引用して入力する場合は、入力したい位置にカーソルを移動してから、以下の操作を行います。

文字入力画面で **【メニュー】** を押す

以下の項目から選択します。表示される項目および順番は、利用中の機能により異なります。

記号	記号を入力します（「記号／定型文／絵文字／顔文字を入力する」71ページ）。	
定型文	定型文を入力します（「記号／定型文／絵文字／顔文字を入力する」71ページ）。	
絵文字／顔文字	絵文字／顔文字を入力します（「記号／定型文／絵文字／顔文字を入力する」71ページ）。	
コピー／カット	文字をコピー／カットします（72ページ）。	
貼り付け	コピー／カットした文字を貼り付けます（72ページ）。	
引用	電話帳	▶ 電話帳データを選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 ▶ 引用したい項目を選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 電話帳に登録されている内容を引用して、電話番号やEメールアドレス、URLなどを入力することができます。
	プロフィール	▶ 引用したい項目を選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】
	ブックマーク	プロフィール、ブックマーク、メモ帳に登録されている内容を引用して、電話番号やEメールアドレス、URLなどを入力することができます。
	メモ帳	

文字入力画面のメニュー



文字の入力と設定

記号／定型文／絵文字／顔文字を入力する

文字入力画面のメニューで

以下の項目から選択します。表示される項目および順番は、利用中の機能により異なります。

1 記号	1 半角	▶ 記号を選択し、 <input type="checkbox"/> 【確定】
	2 全角	
	3 コード入力	▶ 文字コードを入力し、 <input type="checkbox"/> 【確定】 読みのわからない文字を、JIS X 0213 文字コードを使って入力します。文字コード入力での数字の入力は、ダイヤルキーもしくは <input type="checkbox"/> または <input type="checkbox"/> を押します。
2 定型文	▶ 定型文を選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】	
3 絵文字／顔文字	1 絵文字	▶ 絵文字を選択し、 <input type="checkbox"/> 【確定】
	2 顔文字	▶ 顔文字を選択し、 <input type="checkbox"/> 【確定】

● ご注意

- PHSや携帯電話またはパソコンなどに絵文字を送信した場合、一部の絵文字が正しく表示されない場合があります。

お知らせ

- 定型文／顔文字の内容については、「各機能の選択項目一覧」(343ページ)をご参照ください。
- 文字入力画面で  を押すと、絵文字入力モードに切り替えることができます。一部利用できない機能があります。
- 過去に絵文字を入力している場合は、絵文字選択画面の最初に絵文字履歴が表示されます。絵文字履歴は削除することもできます(「絵文字の履歴を削除する」75ページ)。
- 記号または絵文字は連続して選択できます。
例：一度に2種類の絵文字を入力
絵文字選択画面で1つ目の絵文字を選択し、 **【連続選択】**  2つ目の絵文字を選択  **【確定】** (または  **【連続選択】**  **【閉じる】**)
- 絵文字を選択中に  を押すと、一番新しく選択された絵文字は削除され、入力画面に戻ります。
- 定型文選択中は、 **【表示】** または  **【表示／編集】** を押すと選択した定型文を表示し、確認することができます。編集する場合は、再度  **【編集】** を押して定型文を編集し、 **【登録】** を押します。

文字をコピー／カット／貼り付けする

入力した文字をコピー(複写)やカット(移動)することができます。また、コピー／カットした文字を別の画面へ貼り付け(ペースト)することができます。

文字入力画面のメニューで

以下の項目から選択します。

4 コピー／カット	1 コピー	 でコピー／カットしたい範囲の始点を選択し、  【始点】  終点を選択し、  【終点】
	2 カット	
5 貼り付け	現在カーソルがある場所に、コピー／カットした文字を貼り付けます。	

ご注意

- コピー／カットした文字列は、電源をOFFにすると消去されます。
- 画面によって使用できない文字が含まれている場合は、貼り付けできません。

お知らせ

- コピー／カットは1件のみ、全角・半角共に1024文字まで記憶されます。

定型文を編集する（定型文登録）

機能番号86

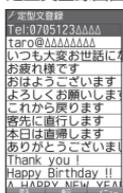
登録されている定型文の内容をお好みに合わせて書き換えることができます。定型文は50件まで登録でき、その内の48件を編集することができます。

待受画面で

1 ▶ 8 ▶ 6 ▶ 編集したい定型文を選択

2 かわ 【メニュー】 ▶ 1 【編集】 ▶ 定型文を編集し、 【登録】

定型文登録画面



🔍 ご注意

- 定型文の1行目には自分の電話番号、2行目にはオンラインサインアップで取得したEメールアドレスが自動的に登録されます。編集/リセットによる削除/並び替えをすることはできません。
- 定型文を削除することはできません。ただし、編集したり、リセットでお買い上げ時の状態に戻すことは可能です。

📢 お知らせ

- 入力できる文字数は全角・半角共に40文字までです。
- 定型文の内容については、「各機能の選択項目一覧」(343ページ)をご参照ください。
- 定型文の詳細（定型文詳細表示画面）を表示するには、以下の手順で行います。

定型文登録画面で登録されている定型文を選択し、 【表示】

- 定型文登録画面で以下の操作を行うと、選択した定型文の内容をコピーして、他の定型文を書き換えることができます。

定型文登録画面でコピーしたい定型文を選択、またはコピーしたい定型文の詳細表示画面を表示 ▶ 【メニュー】 ▶ 2 【コピー】 ▶ コピー先を指定し、 【選択】（ 1 【はい】）*

*：登録したい場所にすでに定型文が登録されている場合に操作します。

- 定型文をお買い上げ時の状態に戻すには、以下の操作を行います。
定型文登録画面/詳細表示画面で 【メニュー】 ▶ 3 【リセット】 ▶ 暗証番号を入力 ▶ 1 【はい】
- 選択した定型文の順番を変更するには、以下の手順で行います。ただし、自分の電話番号/Eメールアドレスの並び替えはできません。
定型文登録画面で順番を変更したい定型文を選択 ▶ 【メニュー】 ▶ 4 【並び替え】 ▶ 移動したい場所を選択し、 【選択】 ▶ 1 【はい】

顔文字を編集する（顔文字登録）

機能番号87

登録されている顔文字の内容をお好みに合わせて書き換えることができます。顔文字は25件あり、すべて編集することができます。

待受画面で

▶ 8 ▶ 7 ▶ 編集したい顔文字を選択し、 【編集】

▶ 顔文字を編集し、 【登録】

顔文字登録画面



🔍 ご注意

- 顔文字を削除することはできません。ただし、編集したり、リセットでお買い上げ時の状態に戻すことは可能です。

📢 お知らせ

- 入力できる文字数は全角・半角共に17文字までです。
- 顔文字の内容については、「各機能の選択項目一覧」(343ページ)をご参照ください。
- 編集した顔文字をお買い上げ時の状態に戻すには、以下の操作を行います。

顔文字登録画面で 【メニュー】 ▶ 1 【リセット】

以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> 1件	▶ <input type="checkbox"/> 1 【はい】を押す 選択している顔文字をお買い上げ時の状態に戻します。
<input type="checkbox"/> 2全件	▶ 暗証番号を入力 ▶ <input type="checkbox"/> 1 【はい】 すべての顔文字をお買い上げ時の状態に戻します。

よく使う単語を登録／編集／削除する（ユーザ辞書）

機能番号81

よく使う文字や記号を短い読みで変換できるよう、辞書に単語を100件まで登録できます。単語は全角・半角共に20文字まで、読みは20文字まで登録できます。

登録できる文字は以下のとおりです。読みはひらがなで登録します。

- ・漢字、ひらがな、絵文字、顔文字
- ・全角英数字、記号、カタカナ
- ・半角英数字、記号、カタカナ

待受画面で

1 ▶ 8 ▶ 1

■ はじめて単語を登録する場合

2 **【登録】** ▶ **単語を入力し、** ▶ **よみを入力** ▶ **【登録】**

■ すでに単語が登録されている場合

2 **【メニュー】** を押す

以下の項目から選択します。

1 <input type="checkbox"/> 登録	▶ 単語を入力し、 <input type="checkbox"/> ▶ よみを入力 ▶ <input type="checkbox"/> 【登録】
2 <input type="checkbox"/> 編集	▶ 単語を編集し、 <input type="checkbox"/> ▶ よみを編集 ▶ <input type="checkbox"/> 【登録】 選択した単語を編集します。
3 <input type="checkbox"/> 削除	▶ 1 <input type="checkbox"/> 「1件」、 2 <input type="checkbox"/> 「選択」、 または 3 <input type="checkbox"/> 「全件」 単語を削除します（「各機能の情報を削除する」273ページ）。

お知らせ

● ユーザ辞書の登録内容（ユーザ辞書登録内容表示画面）を表示するには、以下の手順で行います。

ユーザ辞書一覧画面で登録されているユーザ辞書を選択し、 **【表示】**

● ユーザ辞書の1件削除は、以下の手順でも行えます。

ユーザ辞書登録内容表示画面で **【1件削除】** ▶ **【はい】**お買い上げ時：
「未登録」

ユーザ辞書一覧画面

ユーザ辞書登録
内容表示画面

予測変換を設定する（予測変換設定）

機能番号82

文字を入力すると、入力した文字の後に続く予測される文字（単語）を予測変換候補として表示します。すべての文字を入力しなくても目的の文字を表示させ、入力することができます。

お買い上げ時：
「ON」

待受画面で

 ▶ 8 ▶ 2 ▶ 1 **【ON】** または 2 **【OFF】**

変換候補を選択するキーを設定する（候補選択キー設定）

機能番号83

変換候補を選択するキーを、 または に設定することができます。

お買い上げ時：
「上下左右」

待受画面で

 ▶ 8 ▶ 3 ▶ 1 **【上下左右】** または 2 **【上下】**

学習情報を削除する（学習内容リセット）

機能番号84

文字変換の学習情報や予測変換の情報をすべて削除し、お買い上げ時の状態に戻します。

待受画面で

 ▶ 8 ▶ 4 ▶ **暗証番号を入力** ▶ 1 **【はい】**

● 絵文字の履歴を削除する（絵文字履歴リセット）

機能番号85

過去に絵文字を入力している場合は、絵文字選択画面の最初に絵文字履歴が表示されます。絵文字履歴は削除することができます。

待受画面で ▶ 8 ▶ 5 ▶ 1 「はい」



● デコ絵文字の履歴も削除されます。

● 辞書データを登録／解除する（オプション辞書登録）

機能番号88

辞書データを登録すると、文字を変換するときの候補が追加されます。辞書データは「京セラサイトK」からダウンロードしてください（<http://wx-k.kyocera.co.jp/wx/>）。辞書データの登録はデータフォルダから行えます。

待受画面で

1 ▶ 8 ▶ 8

2 (入れ替えたい辞書を選択) * 【登録】 ▶ 登録したい辞書を選択し、 【選択】 ▶ 「はい」 (▶ 「はい」) *

* : すでに3個の辞書ファイルが登録されている場合に操作します。

すでに3個の辞書ファイルが登録されている場合は、選択した辞書が解除され新しい辞書が登録されます。



● 辞書ファイルは3個まで登録できます。

● オプション辞書登録画面で 【メニュー】 を押すと、以下の操作ができます。

<input type="checkbox"/> 登録	▶ 登録したい辞書を選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 ▶ <input type="checkbox"/> 「はい」 (▶ <input type="checkbox"/> 「はい」) *
辞書をオプション辞書に登録します。	
<input type="checkbox"/> 2 解除	<input type="checkbox"/> 1 1件 ▶ <input type="checkbox"/> 「はい」 を押す
	選択した辞書のオプション辞書登録を解除します。
<input type="checkbox"/> 2 全件	▶ 暗証番号を入力 ▶ <input type="checkbox"/> 「はい」
オプション辞書登録をすべて解除します。	

* : すでに3個の辞書ファイルが登録されている場合に操作します。

オプション辞書登録画面



文字の入力と設定

● すぐ文字[®]を設定する（すぐ文字[®]）

機能番号89

「すぐ文字」を「ON」に設定すると待受画面で文字を入力できます。入力した文字はさまざまな機能に利用できます。詳しい操作方法については、「待受画面で文字を入力してさまざまな機能を使う」(256ページ)をご参照ください。

待受画面で ▶ 8 ▶ 9 ▶ 1 「ON」または 2 「OFF」

お買い上げ時:

「ON」

本体カラー

- ・ブラック
- ・スパイシーグリーン
- ・ピンク
- ・スパイシーオレンジ

「OFF」

本体カラー

- ・ネイビー×ゴールド
- ・ホワイト×ゴールド

電話帳の使いかた

● 電話帳に登録する

電話帳には、電話帳データを1000件まで登録できます。

● ご注意

● 以下のロック機能が設定されているときは、電話帳の使用が制限されます。

ロック機能		設定値	制限される機能	参照先
操作 ロック	電話帳閲覧	禁止	電話帳を起動するときに暗証番号を入力する必要があります。	229ページ
管理者 ロック	電話帳の編集を許可	許可しない	電話帳の登録／編集／削除の利用不可	242ページ
	赤外線通信の使用を許可	許可しない	電話帳データ、電話帳バックアップデータ、アドレスカードの赤外線送受信不可	244ページ
	USB／Bluetooth接続時の通信を許可	許可しない	USBケーブル（別売）を用いたパソコンとの電話帳データ、電話帳バックアップデータ、アドレスカードのインポート／エクスポート不可	245ページ
	電話帳の閲覧を許可	許可しない	電話帳の起動／登録項目の利用不可	246ページ
	microSDの使用を許可	許可しない	microSDカードを用いた電話帳バックアップデータ、アドレスカードのインポート／エクスポート不可	247ページ
	バックアップの使用を許可	許可しない	電話帳バックアップデータのインポート／エクスポート不可	248ページ

● お知らせ

● 電話帳にシークレット登録する場合は、シークレットモードに切り替えてから電話帳データの登録を行います（「シークレットモードを設定する」231ページ）。

電話帳データの各項目を登録する

待受画面で **電話帳** を長く（1秒以上）押す ▶ **登録する項目を選択** ▶ **各内容を入力または選択** ▶ **[登録]** または **かろ** ▶ **[登録]**

電話帳登録画面



以下の項目から選択します。

NO (電話帳No.)	▶ [選択] ▶ 電話帳No. (000～999) を入力し、 [選択] 電話帳データ1件ごとの番号です。空いている一番小さい電話帳No.がはじめに表示されますが、 [2] で変更することもできます。
グループ登録	▶ [選択] ▶ グループを選択し、 [選択] 友人や会社関係などのグループに分類して登録しておく、電話をかけるときに簡単に探し出すことができます。登録できるグループは「グループ00」～「グループ19」までで、グループを設定しない場合は「グループ00」に登録されます。また、グループには名前を付けたり、着信パターンやランプを設定できます（「グループを設定する」87ページ）。
名前	▶ 名前を入力する 名前を入力します（全角・半角共に24文字まで）。

 (読み)	名前を入力した後、自動的に入力されます (半角カナ・半角英数字で24文字まで)。 ■ 読みを修正する場合 ▶ 「  読み」を選択し、ヨミガナを修正する
   (電話番号 ^{*1}) (電話番号種別)	▶ 電話番号を入力 ▶  ▶  【選択】 ▶ 種別を選択し、 【選択】 電話帳データ1件につき、電話番号を3つまで登録できます (32桁まで)。電話番号を登録すると、次の電話番号欄が表示されます。 「- (ハイフン)」や「P (ポーズ)」を入力するには  【-/P】を押します。  【-/P】を押すごとに「-」と「P」の表示が切り替わります。また、  【*】を長く (1秒以上) 押すと「- (ハイフン)」を、  【#】を長く (1秒以上) 押すと「P (ポーズ)」を入力することもできます。
 分計設定 お買い上げ時： 「OFF」	▶  【選択】 ▶  「ON」または 「OFF」 分計発信のON/OFFを設定します (「分計サービスについて (お申し込み必要)」314ページ)。 複数の電話番号を登録した場合、それぞれに分計設定を行います。
   (メールアドレス ^{*1}) (メールアドレス種別)	▶ Eメールアドレスを入力 ▶  ▶  【選択】 ▶ 種別を選択し、 【選択】 電話帳データ1件につき、Eメールアドレスを3つまで登録できます (半角英数字、半角記号で64文字まで)。
 (住所) (住所種別)	▶ 住所を入力 ▶  ▶  【選択】 ▶ 種別を選択し、 【選択】 住所を入力します (全角・半角共に40文字まで)。
URL (URL)	▶ URLを入力する URLを入力します (半角英数字・半角記号で255文字まで)。
 血液型	▶  【選択】 ▶  「1」～ 「5」 (血液型を選択)
 誕生日	▶  【選択】 ▶ 誕生日を入力し、 【確定】 入力できる日付は、1900年1月1日～2090年12月31日までです。 誕生日を入力中に  【誕生日リセット】を押すと、入力していた誕生日がリセットされ、「0000年00月00日」に戻ります。
★ 星座	誕生日を入力した後、12星座が自動的に入力されます。13星座で入力したいなど、自動で入力された星座に修正が必要な場合は、手動で星座を修正してください。 ■ 星座を修正する場合 ▶ 「  星座 」を選択し、  【選択】 ▶ 「 牡羊座 」～「 魚座 」、または「 不明 」を選択し、  【選択】
 (趣味)	▶ 趣味を入力する 趣味を入力します (全角・半角共に10文字まで)。
 (メモ)	▶ メモを入力する メモを入力します (全角・半角共に80文字まで)。
 画像 ^{*2}	▶  【選択】 ▶ 登録するデータを選択し、 【選択】 データフォルダの画像データを1件登録できます。登録した画像データは、発信時や着信時に表示されます。
 シークレット設定 ^{*3}	▶  【選択】 ▶  「ON」または 「OFF」 「ON」に設定すると、データをシークレット登録できます。
 着信設定	着信/メール受信時にお知らせする音やランプの設定をします (「着信/メール受信時の音とランプを設定する」79ページ)。

*1: 電話番号/Eメールアドレスを2つ以上登録した場合、通常使用する電話番号/Eメールアドレスを設定します。設定は以下の手順で行います。

「通常使用する電話番号」または「通常使用Eメールアドレス」を選択し、 **【選択】** ▶ 通常使用する電話番号/Eメールアドレスを選択し、 **【選択】**

*2: 一部の画像を除き、「240×400」より大きなサイズの画像は登録できません。

*3: シークレットモードの設定が「ON」のときに表示されます (「シークレットモードを設定する」231ページ)。

 **ご注意**

- 相手が一般電話の場合は、必ず市外局番から入力してください。PHS／携帯電話の場合は必ず「0」から始まる11桁の番号を入力してください。
- 空いている電話帳No.を入力した場合に、「登録できません。電話帳No.を変更してください」と表示されるときは、そのNo.はシークレット設定が「ON」になっている電話帳データとして、すでに登録されています。シークレット登録されている電話帳データを置き換えて登録するには、シークレットモードの設定を「ON」にしてから上書き登録してください（「シークレットモードを設定する」231ページ）。
- ひとつの電話帳データを複数のグループに登録することはできません。
- 名前は必ず入力してください。名前を入力しないと電話帳に登録できません。

 **お知らせ**

- 電話帳データの作成中に、着信などによって作成が中断した場合は、作成内容が一時的に保存されます。再度、電話帳データの新規登録を開始すると確認画面が表示されます。□「はい」を押すと、作成を再開できます。□「いいえ」を押すと、作成中のデータは破棄され電話帳データを新規に作成することができます。
- 電話帳No.の入力は以下の手順でも行えます。

空いている一番小さい電話帳No.を入力する	▷ <input type="checkbox"/> * を押す
百の位を指定して、一番小さい電話帳No.を入力する	▷ <input type="checkbox"/> 0 ~ <input type="checkbox"/> 9 (百の位) ▷ <input type="checkbox"/> *
百の位と十の位を指定して、一番小さい電話帳No.を入力する	▷ <input type="checkbox"/> 0 ~ <input type="checkbox"/> 9 (百の位) ▷ <input type="checkbox"/> 0 ~ <input type="checkbox"/> 9 (十の位) ▷ <input type="checkbox"/> *
電話帳No.を選択する	▷ <input type="checkbox"/> (一つ大きい番号) または <input type="checkbox"/> (一つ小さい番号) を押して番号を選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】

- 入力した電話帳No.がすでに登録されている場合は、上書き確認画面が表示されます。すでにある電話帳No.と置き換えて登録するには、□「はい」を押します。
- シークレットモードを解除中のシークレット登録した電話帳データについて（「シークレットモードを設定する」231ページ）
 - ・シークレット登録した電話帳データの相手から電話がかかってきたとき、名前は表示されずに電話番号が表示されます。
 - ・シークレット登録した電話帳データから電話をかけたり、内容を修正したりするときは、シークレットモードを「ON」に設定してから行ってください。
- シークレットモードの設定が「ON」のときシークレット登録した電話帳データは、電話帳の1画面／1行表示画面（83ページ）で「」が表示されます。
- 「電話番号」で電話番号（電話番号を複数登録した場合は通常使用電話番号）の分計設定を「ON」に設定した電話帳データは、電話帳の1画面／1行表示画面（83ページ）で「」が表示されます。
- 「+（プラス）」付きの電話番号を入力する場合、「+」を直接入力することはできません。「+」を入力するには以下のような方法で入力します。
 - ・メモ帳などのテキストからコピー／カットして貼り付ける。
 - ・着信履歴／発信履歴や、電話帳データの受信／インポートなどで「+」付きの電話番号を電話帳登録し、引用する。

■ 着信／メール受信時の音とランプを設定する

電話帳に登録している相手から音声着信やBluetooth着信があったとき、またはEメール／SMSを受信したときの音の種類とランプの設定をします。

電話帳登録画面で **「 着信設定」** を選択し、**「 選択」**

以下の項目から選択します。

1 音声着信音 お買い上げ時： 「設定なし」	1 設定なし	「音声着信の音／バイブレータを設定する」(194ページ)で設定した着信音が鳴ります。
	2 固定パターン	▶   でパターンを選択し、 【選択】 着信音をあらかじめ用意されている14種類のパターンから選択します。
	3 メロディ	▶   でメロディを選択し、 【選択】 着信音をあらかじめ用意されている8曲のメロディから選択します。
	4 データフォルダ	▶ 着信音を選択し、 【選択】 着信音をデータフォルダから選択します。
2 Bluetooth着信音 お買い上げ時： 「設定なし」	1 設定なし	「Bluetooth®着信の着信音／バイブレータを設定する」(195ページ)で設定した着信音が鳴ります。
	2 固定パターン	▶   でパターンを選択し、 【選択】 着信音をあらかじめ用意されている14種類のパターンから選択します。
	3 メロディ	▶   でメロディを選択し、 【選択】 着信音をあらかじめ用意されている8曲のメロディから選択します。
	4 データフォルダ	▶ 着信音を選択し、 【選択】 着信音をデータフォルダから選択します。
3 SMS受信音 4 Eメール受信音 お買い上げ時： 「設定なし」	1 設定なし	「Eメール、SMSの受信音／バイブレータを設定する」(196ページ)で設定した受信音が鳴ります。
	2 固定パターン	▶   でパターンを選択し、 【選択】 受信音をあらかじめ用意されている14種類のパターンから選択します。
	3 メロディ	▶   でメロディを選択し、 【選択】 受信音をあらかじめ用意されている8曲のメロディから選択します。
	4 データフォルダ	▶ 受信音を選択し、 【選択】 受信音をデータフォルダから選択します。
5 ランプ色 お買い上げ時： 「OFF」	▶   で「 」(OFF)、または色を選択し、 【選択】 音声着信／Bluetooth着信／メール受信があったときに点灯させるランプ色を、全26色から選択します。 「 」(OFF) を選択すると、「ランプを設定する」(207ページ) で設定したランプ色で点灯します。	

お知らせ

- 音声着信音、Bluetooth着信音、またはEメール／SMS受信音を選択しているときに **295** 【再生】 または **295** 【メニュー】 ▶ **1** 「再生」で、選択している着信音または受信音を再生できます。再生中に **295** 【停止】 または **295** 【停止】 を押すと、再生を終了します。
- 「音声着信音」を「パターン1 (でか) または「アラーム音 (でか)」に設定すると、他の音声着信音の音量よりも大きくなります。

他の機能から電話帳に登録する

電話帳に他の機能から電話帳データの新規登録や追加登録をすることができます。登録できる機能は以下のとおりです。

- ・ ブラウザ閲覧
- ・ メール宛先、本文
- ・ スケジュール詳細
- ・ データフォルダ
- ・ QRコードの解析結果
- ・ 発信履歴、着信履歴、ダイヤルメモ
- ・ 電話番号入力画面

例：着信履歴から電話番号を追加登録する

待受画面で ◀ ▶ 登録したい電話番号の着信履歴を選択 ▶ カマ [メニュー] ▶ 3 「電話帳へ登録」

以下の項目から選択します。

1 新規	選択した履歴の電話番号を電話帳に新規登録します（「電話帳に登録する」76ページ）。
2 追加	▶ 追加登録する電話帳データを選択し、□【選択】 ▶ 登録先を「電話番号1~3」から選択し、□【選択】 ▶ □【登録】 ▶ 1 「はい」 すでに登録されている電話帳データに、着信履歴の電話番号を追加登録します。

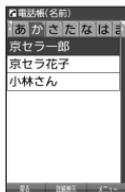
● 電話帳データ呼び出す

電話帳データ呼び出すと一覧画面が表示されます。検索したい項目を入力してから電話帳データ呼び出すこともできます（「電話帳データ呼び出すときの検索方法を設定する」87ページ）。

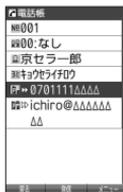
待受画面で **電話帳** ▶ **内容を確認したい電話帳データを選択し**、 **【詳細表示】**

選択した電話帳データの詳細画面が表示されます。

電話帳一覧表示画面



電話帳詳細表示画面



お知らせ

- シークレット登録した電話帳データは、シークレット一時設定（84ページ）またはシークレットモード（231ページ）設定中に表示することができます。
- 電話帳の表示順を「名前順」、「電話帳No.順」、「グループ順」に設定することができます（「電話帳の各種設定をする」86ページ）。
- 電話帳一覧画面表示中にダイヤルキーを押すと、以下の操作ができます。ただし、電話帳に電話帳データが登録されていない場合はヨミ検索できません。

キー操作	表示順設定		
	名前順	電話帳No.順	グループ順
0 ～ 9	カナ検索	ヨミ検索	ヨミ検索
0 ～ 9 を長く（1秒以上）	ヨミ検索	ヨミ検索	ヨミ検索
*	—	ヨミ検索	ヨミ検索
* を長く（1秒以上）	ヨミ検索	ヨミ検索	ヨミ検索
#	—	—	—
# を長く（1秒以上）	—	—	—

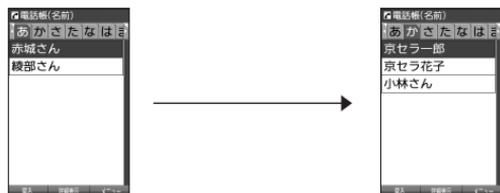
※カナ検索：82ページ／ヨミ検索：85ページをご参照ください。

カナ検索で電話帳データ呼び出す

電話帳一覧画面が「名前順」で表示されているときは、数字キーを押すとキーに割り当てられた行（あかさたな～）のタブを切り替えることができます。また、すでに表示されている行（あかさたな～）の数字キーを押すたびに、その行（あかさたな～）の段（あいうえお）を切り替えます。

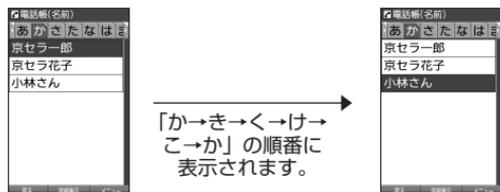
例：か行を表示する

電話帳一覧画面（名前順表示中）で **2** を押す



例：「こ」から始まる電話帳データを表示する

電話帳一覧画面（名前順表示中）で「か行」表示中に **2** から始まる電話帳データが表示されるまで **2** を押す



お知らせ

- 「表示画面設定」（86ページ）が「1画面」に設定されているときは、指定した行（あかさたな～）の最初の電話帳データ（名前順）が表示されます。

時短検索で電話帳データ呼び出す

待受画面で数字キーを長く（1秒以上）押して、キーに割り当てられた行（あかさたな〜）の電話帳一覧表示画面を呼び出すことができます。

例：か行の電話帳一覧表示画面を呼び出す

待受画面で **[2]** を長く（1秒以上）押す

さらに電話帳データを検索するときは、「カナ検索」（82ページ）で検索できます。

ご注意

- 「位置情報通知機能」（269ページ）が「ON」に設定されているときは、時短検索できません。

お知らせ

- 時短検索では、電話帳一覧画面が以下のように表示されます。

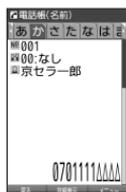
キー（長押し）	表示されるタブ
[1]	あ
[2]	か
[3]	さ
[4]	た
[5]	な
[6]	は
[7]	ま
[8]	や
[9]	ら
[0]	わ

- 時短検索をしたときは、設定にかかわらず以下のように表示されます。
 - ・「表示順設定」（86ページ）：「名前順」
 - ・「呼び出し時検索設定」（86ページ）：「なし（一覧表示）」
- 「表示画面設定」（86ページ）が「1画面」に設定されているときは、指定した行（あかさたな〜）の最初の電話帳データ（名前順）が表示されます。

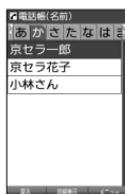
表示方法について

電話帳の表示には、「1画面表示」と「1行表示」の2種類の表示方法があります。表示画面の設定については、「電話帳の各種設定をする」（86ページ）をご参照ください。

電話帳1画面表示画面



電話帳1行表示画面



お知らせ

- 電話帳データ詳細表示画面の表示は、以下の手順で行います。
 - 1画面表示／1行表示画面で **[詳細表示]** を押す
- シークレット登録した電話帳データは、シークレット一時設定（84ページ）、またはシークレットモード（231ページ）設定中に表示することができます。
- 電話帳の表示順を「名前順」、「電話帳No.順」、「グループ順」に設定することができます（「電話帳の各種設定をする」86ページ）。

■ 1画面表示 / 1行表示 / 詳細画面のメニューを使う

1画面表示 / 1行表示 / 詳細画面で 電話帳データを選択 ▶ **かろ** 【メニュー】

以下の項目から選択します。表示される項目は、選択している項目により異なります。

新規登録*1	電話帳データを新規登録します（「電話帳に登録する」76ページ）。
検索*1	登録した電話帳データを名前や電話番号などで検索することができます（「電話帳データを検索する」85ページ）。
発信*2	<p>■ 選択した電話番号に電話をかける場合</p> <p>▶ かろ または <input type="checkbox"/> 【発信】</p> <p>■ 選択した電話番号を編集して電話をかける場合</p> <p>▶ 電話番号を編集し、<input checked="" type="checkbox"/> または <input type="checkbox"/> 【発信】</p> <p>■ 選択した電話番号に特番を付加して電話をかける場合</p> <p>▶ かろ 【メニュー】 ▶ <input type="checkbox"/> 「184発信」、<input type="checkbox"/> 「186発信」、<input type="checkbox"/> 「分計発信」、<input type="checkbox"/> 「184分計発信」、または <input type="checkbox"/> 「186分計発信」</p>
SMS作成*2	選択した電話帳データの電話番号を宛先としたSMSを作成します（「SMSを作成して送信する」103ページ）。
Eメール作成*3	選択した電話帳データのEメールアドレスを宛先としたEメールを作成します（「Eメール（テキストメール/デコラティブメール）を作成して送信する」94ページ）。
Eメールへ添付*4	電話帳データからアドレスカード（vCard）を作成してEメールに添付します（「電話帳データからアドレスカードを作成してEメールに添付する」88ページ）。
編集	選択した電話帳データを編集します。各項目の編集方法については、「電話帳データの各項目を登録する」（76ページ）をご参照ください。
名刺タブへコピー*4	電話帳データを、データフォルダ（本体メモリのメインフォルダ/microSDカード）の「名刺/予定タブ」へコピーします（「電話帳データをアドレスカードに変換してコピーする」88ページ）。
ショートカット*4	電話帳データをお気に入りメニューへ登録します（「お気に入りメニューを設定する」43ページ）。シークレット登録されている電話帳データは、お気に入りメニューに登録できません。
1件削除*4	電話帳データを削除します（「各機能の情報を削除する」273ページ）。
設定*1	電話帳の表示や呼び出し順の切り替えおよび登録件数の確認などを行います（「電話帳の各種設定をする」86ページ）。
削除*1	電話帳データを削除します（「各機能の情報を削除する」273ページ）。
シークレット一時設定*5	<p>▶ 暗証番号を入力</p> <p>一時的にシークレットモードを「ON」に設定し、シークレット登録されている電話帳データの情報を表示します。電話帳を終了すると、シークレットモードは「OFF」に戻り、設定は解除されます。</p>
一括送出*6	選択した電話帳データの電話番号を、通話中にプッシュ信号として送出します。
赤外線送信	電話帳データを赤外線で送信します（「赤外線で送信する」286ページ）。

*1：1画面表示 / 1行表示画面のみ表示されます。

*2：「電話番号」を登録しているときのみ表示されます。

*3：「Eメールアドレス」を登録しているときのみ表示されます。

*4：詳細画面のみ表示されます。

*5：シークレットモード（231ページ）設定中は表示されません。

*6：通話中（電話帳データに電話番号が登録済み）のみ表示されます。

お知らせ

- 「発信」、「SMS作成」で1件の電話帳データに複数の電話番号が登録されているときは、「通常使用電話番号」に登録した電話番号が使用されます。
- 通常使用以外の電話番号へ電話をかけた後、SMSを送信するには、以下の手順で行います。
1画面表示 / 1行表示の画面で 【詳細表示】 ▶ で発信 / 送信する電話番号を選択 ▶ **かろ** 【メニュー】 ▶ 「発信」または「SMS作成」を選択し、 【選択】
- 「Eメール作成」で1件の電話帳データに複数のEメールアドレスが登録されているときは、通常使用Eメールアドレスが使用されます。
- 通常使用以外のEメールアドレスを宛先としたEメールを作成するには、以下の手順で行います。
1画面表示 / 1行表示の画面で 【詳細表示】 ▶ で送信するEメールアドレスを選択し、 【Eメール作成】

電話帳データを検索する

登録した電話帳データを名前や電話番号などで検索することができます。

1 画面表示 / 1行表示画面で **かろ** **【メニュー】** ▶ **2 【検索】**

以下の項目から選択します。

1 名前	▶ 検索する名前を入力し、 【検索】 名前を入力して検索します（全角・半角共に24文字まで）。名前を入力しないで 【検索】 を押すと、名前順の1画面表示 / 1行表示になります。
2 ヨミ	▶ 検索する読みを入力し、 【検索】 読みを入力して検索します（半角カナ・半角英数字で24文字まで）。読みを入力しないで 【検索】 を押すと、名前順の1画面表示 / 1行表示になります。
3 キーワード	▶ 検索するキーワードを入力し、 【検索】 名前などに含まれるキーワードを入力して検索します（全角・半角共に24文字まで）。
4 グループ	▶ 検索するグループを選択し、 【選択】 グループに登録されている電話帳データを名前順に表示します。
5 電話帳No.	▶ 【選択】 ▶ 検索する電話帳No.を入力し、 【検索】 電話帳No.を入力して検索します。
6 電話番号	▶ 検索する電話番号を入力し、 【検索】 電話番号の一部を入力して、その番号を含む電話帳データを検索して表示します（32桁まで）。

ご注意

● シークレット登録した電話帳データは、シークレット一時設定（84ページ）、またはシークレットモード（231ページ）設定中に検索することができます。

お知らせ

- 検索結果の表示方法は、検索の種類によって異なります。
- 「名前」検索は前方一致で検索します。
- 「ヨミ」検索には以下の文字が使用できます。
・アイ〜ウアブ* - (長音) aAb~zZ01~89!#*.-/:?@_スペース
- 「名前」 / 「ヨミ」 / 「電話帳No.」検索で、入力した文字 / 電話帳No.の電話帳データがないときは、「該当するデータがありません」と表示された後、検索した文字 / 電話帳No.に一番近い、次の文字 / 電話帳No.の電話帳データを表示します。ただし、「名前」検索で漢字・絵文字が含まれている場合は一番近い次の文字は表示されません。
- 「キーワード」 / 「電話番号」検索で、入力した文字 / 電話番号の電話帳データがないときは、「該当するデータがありません」と表示します。
- 「キーワード」検索で「+（プラス）」を入力すると「+（プラス）」が含まれた電話帳データを検索します。
- 「電話番号」検索で電話番号に「P（ポーズ）」が含まれている場合は、ポーズ前までの番号で検索されます。また、「-（ハイフン）」、「+（プラス）」は除外して検索されます。
- 「すぐ文字」（75ページ）を「ON」に設定しているときは、以下の操作を行っても電話帳データの「名前」検索ができます。

待受画面で**ダイヤルキー**を押して名前を入力（▶ **戻る**）* ▶ **電話帳** **【電話帳検索】**

*：「予測変換設定」（74ページ）を「ON」に設定しているときに操作します。

電話帳から発信する

電話帳データを呼び出して電話をかけることができます。
電話帳データを呼び出すと一覧画面が表示されます。検索したい項目を入力してから電話帳データを読み出すこともできます（「電話帳データを読み出すときの検索方法を設定する」87ページ）。

待受画面で 電話帳 ▶ 電話帳データを選択し、

お知らせ

- 1件の電話帳データに複数の電話番号の登録があるときは、「通常使用電話番号」に登録した電話番号が使用されます。
- 通常使用以外の電話番号にかけるときは、以下の手順で行います。
待受画面で 電話帳データを選択し、 【詳細表示】 ▶ で発信する電話番号を選択し、 【発信】または
- 電話帳からのメール送信については、「1画面表示/1行表示/詳細画面のメニューを使う」（84ページ）をご参照ください。
- 電話帳からのURL接続は、以下の手順で行います。
1画面表示/1行表示画面で 【詳細表示】 ▶ でURLを選択し、 【接続】

電話帳の各種設定をする

電話帳の表示切り替えや表示順の設定および登録件数の確認を行います。

1画面表示/1行表示画面で 【メニュー】 ▶ 【設定】

以下の項目から選択します。

登録件数確認	現在の登録件数と登録できる残りの件数などを表示します。シークレットモード（231ページ）設定時には、シークレット登録されている電話帳の件数も表示されます。
グループ設定	電話帳のグループ名を登録したり、電話やメールの着信時に、グループによって着信パターンやランプを設定できます（「グループを設定する」87ページ）。
表示順設定	名前順 電話帳を名前順で表示します。
	電話帳No.順 電話帳を電話帳No.順で表示します。
	グループ順 電話帳をグループ順で表示します。
表示画面設定	▶ 「1画面」または 「1行」
お買い上げ時：「1行」	電話帳の表示方法を「1画面表示」または「1行表示」に切り替えます（「表示方法について」83ページ）。
呼び出し時検索設定	電話帳を呼び出したときの電話帳データの検索方法を設定します（「電話帳データを読み出すときの検索方法を設定する」87ページ）。

電話帳設定画面

電話帳(名前)
あかさたなほまぬなをの
京セラ一部
京セラ花子
小林さん
登録件数確認
グループ設定
表示順設定
表示画面設定
呼び出し時検索設定

グループを設定する

電話帳のグループ名を登録したり、電話やメールの着信時に、グループによって着信パターンやランプを設定できます。

電話帳設定画面で **2** 「グループ設定」 ▶ 設定したいグループを選択 ▶ **かめ** 【メニュー】

以下の項目から選択します。

1 グループ名登録	▶ グループ名を入力し、 確定 電話帳のグループにお好みの名前を付けることができます（全角・半角共に16文字まで）。「グループ00」のグループ名は変更できません。
2 着信設定	グループによって、着信/メール受信時にお知らせする音やランプの設定を変更できます。 詳しい操作手順は、「着信/メール受信時の音とランプを設定する」（79ページ）の表内をご参照ください。

電話帳データを呼び出すときの検索方法を設定する

電話帳データを呼び出すときの検索方法を設定することができます。

お買い上げ時：
「なし（一覧表示）」

電話帳設定画面で **5** 「呼び出し時検索設定」を押す

以下の項目から選択します。

1 名前	「名前」検索（85ページ）で電話帳データを検索して表示します。
2 ヨミ	「ヨミ」検索（85ページ）で電話帳データを検索して表示します。
3 キーワード	「キーワード」検索（85ページ）で電話帳データを検索して表示します。
4 グループ	「グループ」検索（85ページ）で電話帳データを検索して表示します。
5 電話帳No.	「電話帳No.」検索（85ページ）で電話帳データを検索して表示します。
6 電話番号	「電話番号」検索（85ページ）で電話帳データを検索して表示します。
7 なし（一覧表示）	検索画面は表示せず、「表示順設定」（86ページ）で設定されている方法で電話帳データを表示します。

● アドレスカード (vCard形式) について

電話帳データは、アドレスカード (vCard形式: 拡張子 [.vcf]) にデータ変換して、データフォルダ (本体メモリのメインフォルダ/microSDカード) の「名刺/予定タブ」にコピーできます。また、データフォルダのアドレスカードを電話帳に登録できます。



- vCardのバージョンは3.0です。
- vCardの作成は、vCardのデータ1件に対して電話帳の登録1件分です。

電話帳データをアドレスカードに変換してコピーする

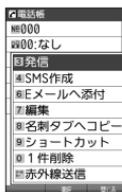
1 画面表示 / 1行表示画面で

1 コピーしたい電話帳データを選択し、 [詳細表示] ▶ [カメラ] [メニュー]

2 8 「名刺タブへコピー」 (▶ 1 「本体メモリ」または 2 「microSD」) *

* : microSDカード挿入時のみ操作します。

電話帳詳細表示画面のメニュー



- ファイル名は電話帳データの名前がタイトルになり、「名前.vcf」となります。
- 電話帳データの名前にファイル名として使用できない半角記号 (<> : ¥ " / ? * | . ;) が含まれているときは、ファイル名は「notitle.vcf」となります。
- 同じファイル名がすでに登録されている場合は、「同じ名前のデータがあります。上書きしますか?」と表示されます。すでにあるファイル名を置き換えて登録するには、上書きの確認画面で 「はい」を押します。 2 「いいえ」を押すと、ファイル名編集ポップアップが表示されます。登録されていないファイル名を入力して、 【確定】を押します。

電話帳データからアドレスカードを作成してEメールに添付する

電話帳詳細表示画面のメニューで 6 「Eメールへ添付」を押す

Eメール作成画面が表示されます。選択した電話帳データのアドレスカードがEメールに添付されます。Eメールの編集 / 送信方法については、「Eメール (テキストメール / テラタイプメール) を作成して送信する」(94ページ) をご参照ください。



- 6 「Eメールへ添付」を押した段階で、Eメール送信の有無にかかわらず、電話帳データはデータフォルダ (本体メモリのメインフォルダ) の「名刺/予定タブ」に作成されます。
- ファイル名は電話帳データの名前がタイトルになり、「名前.vcf」として保存されます。
- 電話帳データの名前にファイル名として使用できない半角記号 (<> : ¥ " / ? * | . ;) が含まれているときは、ファイル名は「notitle.vcf」となります。
- 同じファイル名がすでに登録されている場合は、電話帳データの名前の後に3桁の数字が001から付け加えられます。
例: ファイル名が「京セラ一郎」で、すでにデータフォルダに「京セラ一郎.vcf」が存在するとき、保存されるファイル名は「京セラ一郎001.vcf」となります。

アドレスカードを電話帳に登録する

待受画面で

アドレスカード
項目画面

- 1 ▶ 「データフォルダ」を選択し、 【選択】 ▶ フォルダ / 「microSD」を選択し、 【選択】 (▶ 暗証番号を入力^{*1} / 「microSDデータ」^{*2}) ▶ ◀ で「名刺 / 予定タブ」を選択し、 【ファイルへ】 または ▶ データを選択し、 【再生】

*1 : 「プライベートフォルダ」を選択したときに操作します。

*2 : microSDカード挿入時、「microSD」を選択したときに操作します。

アドレスカード項目画面が表示されます。



- 2 カメラ 【メニュー】 ▶ 1 【登録】 ▶ 電話帳の各内容を入力または選択し、 【登録】 または カメラ 【登録】



- データフォルダに保存してあるvCardを選択して 【再生】を押すと、以下の操作を行うことができます。
 - ・vCardに電話番号が登録されている場合
アドレスカード項目画面で電話番号を選択し、 【発信】 ▶ または 【発信】
 - ・vCardにEメールアドレスが登録されている場合
アドレスカード項目画面でEメールアドレスを選択し、 【Eメール作成】 ▶ Eメール作成画面が表示
 - ・vCardにURLが登録されている場合
アドレスカード項目画面でURL情報を選択し、 【接続】 ▶ URL画面が表示
- vCardを電話帳に登録しても、データフォルダ内のvCardのデータは削除されません。

メールの使いかた

Eメール/SMSについて

Eメール SMS

● ご注意

- 操作ロック (229ページ) の「メール」が「禁止」に設定されているときは、メール機能利用時に暗証番号を入力する必要があります。また、メールを受信したときの表示が以下のように制限されます。
 - ・ピクトインフォメーション (202ページ) が表示されません。
 - ・サブディスプレイには差出人情報が表示されず、「メールを受信しました。」と表示されます。
- 管理者ロックの「メールの使用を許可」(243ページ) が「許可しない」に設定されているときは、メール機能を利用することができません。

Eメール (テキストメール/デコラティブメール) について (ワイモバイルのEメール) Eメール

本機では、文字や絵文字などを使って送る「テキストメール」のほかに、文字色や画像などで本文を装飾することができる「デコラティブメール」を利用できます。Eメールを利用すると、Eメールアドレスを持つ人とメールをやりとることができます。相手から送られてきたEメールはワイモバイルのメールサーバーに蓄積されます。電波の届かないところにいたり、電源をOFFにしていたりしても、後でワイモバイルのメールサーバーから受信することができます。

■ Eメール機能の仕様

項目	送信		受信	
件名	160バイトまで		160バイトまで	
宛先	To、Cc、Bcc含めて、20件まで (1件分は半角で64バイトまで)		—	
本文	テキストメール	デコラティブメール	テキストメール	デコラティブメール
	40000バイトまで	文字と装飾情報は30K バイトまで 文字、装飾情報、画像 を合わせて100Kバイト まで	40000バイトまで	文字と装飾情報は30K バイトまで 文字、装飾情報、画像 を合わせて100Kバイト まで
添付ファイル*	約700Kバイトまで		約700Kバイトまで	

* : 添付ファイルは送信時にはエンコードされ、実際より大きな容量になります。添付ファイルの容量表示は、データフォルダでの容量とは異なります。

項目	最大件数	備考
受信メール	3000件	・microSDカードを使用しない場合、最大容量は受信メールと送信/未送信メールを合わせ約100Mバイト*です。 ・保護できる最大件数に制限はありません。
送信/未送信メール	1000件	

* : 容量には添付ファイルも含まれます。

● ご注意

- 相手の受信機器によっては、一部正しく表示されない文字があります。
- 送受信できる文字数には、改行も含まれます。
- 受信メールと送信/未送信メールの使用容量の配分は変更できません。
- 絵文字を含む受信メールを利用して、転送や引用返信を行う場合、元の絵文字が削除または変換される場合があります。

● お知らせ

- 相手から送られてきたEメールはワイモバイルのメールサーバーに蓄積後、本機に配信されます (オンラインサインアップで「Eメール自動受信」を設定している場合)。自動受信を設定できるのは、ワイモバイルが提供するEメールのアカウントのみです。本機が電波の届かないところにあるときや、電源をOFFにしているときも、ワイモバイルのメールサーバーでお客様に代わってEメールをお預かりしています。
- 大きな添付ファイルを受信する場合、正常に受信できない場合があります。その場合、「受信行数制限設定」(120ページ) を「OFF」に設定してください。

SMSについて

SMS

SMSは、SMS対応の電話機どうして文字メッセージをやり取りできます。電話番号を使用するため、オンラインサインアップしていなくても送受信を行うことができます。ライトメール対応端末から送られたライトメールも受信することができます。また、ライトメール対応端末へのSMS送信も行うことができます。相手にはライトメールとして届きます。

■ SMS機能の仕様

メッセージに入力できる文字数は、日本語（半角英数記号以外）で670文字、英語（半角英数記号）で1530文字までです。

本文が日本語（半角英数記号以外）で70文字を超えた場合、もしくは、英語（半角英数記号）のみで160文字を超えた場合は連結SMSとして送信されます。

項目	最大件数	備考
受信メール	100件	・保護できるのは最大件数の半分です。
送信/未送信メール	30件	

🔍 ご注意

- 連結SMSは、ワイモバイルのPHS間でのみ送受信可能です。
- SMSを送信するときは、送信先がSMSもしくはライトメール対応機種である必要があります。
- ライトメール対応端末にSMSを送信した場合、送信できる文字数は日本語（半角英数記号以外）で45文字、英語（半角英数記号）で90文字までです。
- SMSは、分計サービス（314ページ）を使用して送信することはできません。
- アニメーション絵文字を含むSMSを引用返信する場合、アニメーション絵文字は削除されます。

🎯 メールメニューについて

Eメール**SMS**

メールメニューは、メールに関するさまざまな機能の入り口になります。

📧 待受画面で **メール**を押す

以下の項目から選択します。

1 受信BOX	すべての受信メールが表示されます（「受信BOXから受信したメールを読む」107ページ）。
2 送信BOX	送信済みのメールが表示されます。
3 未送信BOX	未送信のメールや送信を中止したメール、送信に失敗したメールが表示されます。
4 Eメール作成	Eメール（テキストメール/デコラティブメール）の作成を行います（「Eメール（テキストメール/デコラティブメール）を作成して送信する」94ページ）。
5 テンプレート	あらかじめ用意されているテンプレートやダウンロードしたテンプレートが表示されます（「テンプレートを利用する」100ページ）。
6 テンプレートを公式サイトから探す	テンプレートを公式サイトからダウンロードします（「公式サイトからテンプレートをダウンロードする」100ページ）。
7 SMS作成	SMSの作成を行います（「SMSを作成して送信する」103ページ）。
8 Eメール受信	新しくEメールが届いているかどうかを確認します（「サーバーにEメールがあるかどうかを確認する」108ページ）。
9 設定	メール機能の各種設定ができます（「便利な設定を使う」118ページ）。
0 オンラインサインアップ	Eメールを利用するための設定を行います（「オンラインサインアップをする」92ページ）。

📢 お知らせ

- メールメニューは、Eメール/SMSを統合したメニュー構成になっています。
- 「受信フォルダ表示」（118ページ）を「表示する」に設定した場合、メールメニューで「1」[受信BOX]を押すと、「受信BOX」および「ユーザ受信BOX1」～「ユーザ受信BOX8」が表示されます。各フォルダを選択すると、受信メールの一覧が表示されます。
- 「ユーザ受信BOX1」～「ユーザ受信BOX8」には「受信BOX」から移動した（115ページ）受信メールや、「振り分け設定」（114ページ）で指定したEメールアドレスまたは電話番号からの受信メールが保存されています。

● はじめてEメールを使うときは



オンラインサインアップをする



お買い上げ後はオンラインサインアップ（無料）を行って、Eメールアドレスを取得していただく必要があります。オンラインサインアップを行わない場合、ワイモバイルのEメールはご利用になれません。

取得できるEメールアドレスは以下のようになります。

○○○○ @ △△△△△△△△△△

- ユーザーネーム _____ ↑
- お客様が自由に設定できます。
- 半角英数字と「-（ハイフン）」、「_（アンダーバー）」で、4~20文字まで登録できます。
 - 1文字目は英字に限ります。
 - 英字はすべて小文字として取り扱われます。

- ドメイン _____ ↑
- ユーザーネーム登録後、自動的に付加されます。
- △△△△△△△△△△の部分は、ワイモバイルにより指定された文字列です。
 - @以降は変更できません。

ご注意

- オンラインサインアップは、電波状態の良い場所で行ってください。電波状態が悪い場所や移動中は、正しい設定ができないことがあります。
- 初めてオンラインサインアップをしたときは、Eメールアドレスが自動で設定されます。必要に応じて設定を変更してください。
- 指定したユーザーネームと同じ名前がすでに登録されている場合、そのユーザーネームは使用できません。別のユーザーネームで登録し直してください。
- ご契約されている料金コースによってはオンラインサインアップに接続できない場合があります。
- 操作ロック（229ページ）の「WEB」が「禁止」に設定されているときは、暗証番号を入力する必要があります。

待受画面で または ▶ 「オンラインサインアップ」を選択し、 ▶ 画面の指示に従って設定 ▶ オンラインサインアップ完了後、

- 機種変更で本機をご使用になる場合、以前にお使いの機種でオンラインサインアップを行っているときも記載の手順で接続し、設定をご確認ください。登録後の設定確認は以下の手順で行うことができます。
待受画面で または ▶ 「オンラインサインアップ」を選択し、 ▶ 「接続」▶ 画面の指示に従って設定を確認
- 他の一般プロバイダーでEメールを使用する場合は、ダイヤルアップ設定および接続設定、メールアカウント設定を行ってください（「アカウントごとの各種設定をする」120ページ）。

メールの各種設定を変更する

Eメール

オンラインサインアップ完了後、再度オンラインサインアップでセンターに接続すると、以下のようなEメールに関する各種設定を変更することができます。詳細については、各画面の指示に従って操作してください。以下の内容は、予告なく変更することがあります。

迷惑メールフィルタ 受信メールの内容を、迷惑メールデータベースを元に機械的に判定し、迷惑メールと判断された場合は受信しないようにします。	蓄積 長時間メールを見ることができないときなど新しいメールを蓄積しないようにします。
未承諾広告メール拒否 メールの件名に「! 広告!」「未承諾広告※」と書かれたメールを受信しないようにします。	添付削除 Eメールに添付されているファイルを削除して受信するようにします。
メールアドレス指定受信拒否 指定したEメールアドレスやドメインから送信されたEメールを受信しないようにします。	パソコンやPDAの設定 パソコンやPDAを利用してセンター経由でメールを送受信するための、設定情報の確認やパスワードの変更をすることができます。
メールアドレス指定受信 指定したEメールアドレスやドメインから送信されたEメールのみを受信させるようにします。	メールアドレス変更 お客様のEメールアドレスを変更することができます。
Eメール自動受信 センターに届いたEメールを本機に自動で受信させるようにします。	高速化サービス ワイモバイル経由の packets 通信時にブラウジングの体感通信速度を高速化させるサービス（有料）です。
新着メール通知 センターに新しいメールが届いたときにSMSでお知らせします。	メールBOXサイズ変更 お客様のメールBOXサイズを変更することができます。
受信限度メール通知 センターに保存されているEメールの蓄積容量がいっぱいになったときにSMSでお知らせします。	お知らせメール配信 ワイモバイルからのお知らせメールを受信するようにします。
転送 センターに届いたメールを他のEメールアドレスに転送するようにします。	

メールの使いかた

待受画面で **メール** または **WEB** ▶ 「オンラインサインアップ」を選択し、 **【選択】** ▶ **【接続】** ▶ 各種設定を変更する



● オンラインサインアップで取得した情報を削除するには以下の手順で行います。

待受画面で **メール** または **WEB** ▶ 「オンラインサインアップ」を選択し、 **【選択】** ▶ **【削除】** ▶ **【はい】**

● Eメール (テキストメール/デコラティブメール) を作成して送信する Eメール

新しくEメールを作成して送信します。作成したEメールは、すぐに送信せずに下書き保存や送信待ち保存しておくこともできます(「作成したEメールを送信待ち保存/下書き保存する」101ページ)。

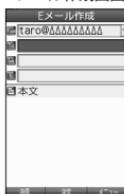
待受画面で

1 メ-ル ▶ 4 「Eメール作成」

Eメール作成画面が表示されます。
以下の項目を入力または選択します。

 (アカウント)	▶ <input type="checkbox"/> 決定 ▶ リストからアカウント (Eメールアドレス) を選択し、 <input type="checkbox"/> 決定 あらかじめメールアカウントを複数登録している場合、Eメールを送信するときに利用するメールアカウントを選択します(「アカウントごとの各種設定をする」120ページ)。
 (宛先)	宛先を入力します(「To (宛先) を入力する (Eメール)」95ページ)。
 (件名・Subject)	件名を入力します(「Sub (件名) を入力する」96ページ)。
 (添付ファイル)	添付ファイルをデータフォルダから選択します(「ファイルを添付する」96ページ)。
 (本文)	テキストメール/デコラティブメールの本文を入力します(「メールの本文を入力する」97ページ、「メールの本文を装飾する」98ページ)。

Eメール作成画面



2 電話帳 「送信」を押す

送信したEメールは、「送信BOX」に保存されます。「Eメール保存先選択」(118ページ)で保存先を本体メモリまたはmicroSDカードに設定できます。保存したメールを本体メモリとmicroSDカードの間で移動させることはできません。

お知らせ

- Eメール作成画面を表示するには、以下の操作でも行えます。
待受画面でメ-ルを長く(1秒以上)押す
- ワイモバイルが提供するアカウントのEメールを送信する場合は、メール接続先を「Y!mobile」に設定してください(「接続先を設定する」119ページ)。
- Eメール作成画面でメニューを押すと、以下の項目が表示されます。表示される内容または選択できる項目は、Eメール作成画面で選択している項目により異なります。

1 送信待ち保存*	作成したメールを「未送信BOX」に保存します(「作成したEメールを送信待ち保存/下書き保存する」101ページ)。「全送信」(102ページ)でまとめて送信することができます。
2 下書き保存	作成したメールを「未送信BOX」に保存します(「作成したEメールを送信待ち保存/下書き保存する」101ページ)。
3 メール種別切り替え	作成中のEメールをSMSに切り替えます(「EメールをSMSに切り替える」101ページ)。
4 テンプレート読み込み	デコラティブメールのテンプレートを読み込みます(「テンプレートを利用する」100ページ)。

*: 宛先が入力されていない場合は選択できません。

- 「送信BOX」に保存できる件数や容量を超えると、「Eメール保存先選択」(118ページ)で設定した本体メモリまたはmicroSDカードに保存されている古いメールから自動的に削除されます。ただし、保護されているメールは削除されません。

To (宛先) を入力する (Eメール)

Eメール

宛先はTo、Cc、Bccを含めて20件入力できます。入力できる文字数は1件につき半角で64文字までです。

Eメール作成画面で

アドレス編集画面

1 で「To (宛先)」を選択し、 【決定】

2 【選択】 を押す

以下の項目から選択します。

1 送信履歴	▶ 引用したい送信履歴／受信履歴を選択し、 【選択】
2 受信履歴	送信履歴／受信履歴の相手を選択して入力します。
3 電話帳を開く	▶ 電話帳データを選択し、 【選択】 ▶ Eメールアドレスを選択し、 【選択】 電話帳に登録されている相手を呼び出して入力します。 Eメールアドレスを選択するときに 【複数選択】を押すと、続けて他のEメールアドレスを選択して、複数の宛先を入力することができます。
4 電話帳グループ	▶ グループを選択し、 【確定】 電話帳に登録されているグループを呼び出して入力します。
5 直接入力	▶ Eメールアドレスを入力し、 【決定】 Eメールアドレスを直接入力します。

3 電話帳 【決定】 を押す

ご注意

- 「電話帳グループ」で宛先を設定したときに、Eメールアドレスが20件より多く入力されたときは、21件目からは宛先として設定できません。宛先には指定した電話帳グループに登録されている名前順で入力されます。

お知らせ

- 文字入力の方法については、「文字の入力と設定」(68ページ)をご参照ください。
- 2件目以降の宛先を入力する場合は、宛先の入力場所を選択してから手順2を繰り返します。
- 入力した宛先をToからCcやBccに変更する場合は、以下の操作を行います。
アドレス編集画面で変更したい宛先を選択 ▶ 【メニュー】 ▶ 2 【Ccに変更】または 3 【Bccに変更】
- To、Cc、Bccについては下記をご参照ください。

To	通常の宛先です。
Cc	メールの内容を複数の宛先にコピーして送る場合に使用します。受信者は他の受信者を知ることができます。Toは直接の宛先、Ccは参考までにといったニュアンスがあります。
Bcc	メールの内容を複数の宛先にコピーして送る場合に使用します。Ccとは異なり、Bccで送った宛先は送信メールに表示されないため、受信者に知られたくない宛先に送る場合に使用します。宛先に設定したすべての送信先Eメールアドレスを、受信者に知られたくない場合は、お客様のEメールアドレスを宛先に追加してToに設定し、最初に宛先に設定していたすべての送信先をBccに設定してください。

- CcやBccに変更した宛先をToに戻す場合は、以下の手順で行います。
アドレス編集画面で変更したい宛先を選択 ▶ 【メニュー】 ▶ 1 【Toに変更】
- 入力した宛先を1件 (または全件) 削除する場合は、以下の手順で行います。
アドレス編集画面で削除したい宛先を選択 ▶ 【メニュー】 ▶ 4 【削除】 (または 5 【全削除】) ▶ 「Yes」を選択し、 【決定】



Sub (件名) を入力する

Eメール

件名を入力します。件名は160バイトまで入力できます。

Eメール作成画面で で「**Sub (件名・Subject)**」を選択し、 **【決定】** ▶ 件名を入力し、 **【決定】**

ご注意

- 件名に半角カナ、一部の絵文字を使用することはできません。
- 入力可能な文字種 / 文字数は、本機で送信 / 受信可能かどうかの基準です。Eメールを作成するときは、相手先が受信可能な文字種 / 文字数についてもご確認ください。
 - ・ PHSや携帯電話、またはパソコンなどに絵文字を入れて送信すると、正しく表示されない場合があります。
 - ・ PHSや携帯電話、またはパソコンなどに送信した場合、件名の文字数によっては、送信先で文章が途中で切れてしまう可能性があります。

お知らせ

- 文字入力の方法については、「文字の入力と設定」(68ページ) をご参照ください。
- 件名を入力するときは、文字入力メニューを利用してさまざまな方法で引用や入力ができます(「文字入力メニューを使う」71ページ)。

ファイルを添付する

Eメール

データフォルダから合計最大100件、または約700Kバイトまでのファイルを選択し、Eメールに添付することができます。デコラティブメールの場合、装飾画像(本文に挿入した画像や、テンプレートで使用されている画像)もデータ容量に含まれます。

メールに添付されたファイルのアイコンは、以下のように表示されます。

アイコンとファイルの種類	拡張子
画像	.jpg、.jpeg、.gif、.png、.bmp
装飾画像	.jpg、.jpeg、.gif
サウンド (MIDIファイル)	.mid、.midi
サウンド (feelsoundファイル)	.dxm
HTML	.html、.htm
テキスト	.txt
その他のファイル	上記以外のファイル形式

ご注意

- 著作権のあるファイルは添付できません。
- 以下の管理者ロックが設定されているときは、ファイルを添付することができません。

管理者ロック	設定値	制限される機能	参照先
保存データの持出を許可	許可しない	データフォルダ(本体メモリ)に保存されているファイルの添付不可	247ページ
microSDの使用を許可	許可しない	microSDカードに保存されているファイルの添付不可	

- 拡張子が「.mp4」、「.swf」、「.flv」、または「.mp3」のデータは添付できません。

Eメール作成画面で で「**添付ファイル**」を選択し、 **【決定】** ▶

「**添付ファイル追加**」を選択し、 **【選択】** ▶ 添付したいファイルを選択し、 **【選択】**

添付ファイル
編集画面



お知らせ

- 本機で利用/表示できないファイル形式でも、Eメールに添付することができます。
- 複数のファイルを添付する場合は、添付ファイル編集画面で「添付ファイル追加」を選択し、【選択】を押します。
- 添付ファイル編集画面で添付ファイルを選択し、【選択】を押すと、添付したファイルを再生して内容を確認できます。
- 添付したファイルを再生したとき、ファイルの種類やメモリの状況によっては再生できない場合があります。この場合でも、Eメールに添付することはできます。
- 添付を解除する場合は、以下の操作を行います。
添付ファイル編集画面で添付ファイルを選択 ▶ 【メニュー】 ▶ 【削除】(または【全削除】) ▶ 【Yes】を選択し、【決定】
- 添付したファイルを削除しても、添付が解除されるだけで、データフォルダのファイルは削除されません。

メールの本文を入力する (テキストメール)

メールの本文を入力します。本文は40000バイトまで入力できます。

Eメール作成画面で

1 **【本文】**を選択し、 **【決定】** ▶ **本文を入力**

本文を装飾する場合は、「メールの本文を装飾する」(98ページ)をご参照ください。

2 **【決定】**を押す

ご注意

- 本文に半角カナを使用することはできません。
- 入力可能な文字種/文字数は、本機から送信/受信可能かどうかの基準です。Eメールを作成するときは、相手先が受信可能な文字種/文字数についてもご確認ください。
 - ・PHSや携帯電話、またはパソコンなどに絵文字を入れて送信すると、正しく表示されない場合があります。
 - ・PHSや携帯電話、またはパソコンなどに送信した場合、本文の文字数によっては、送信先で文章が途中で切れてしまう可能性があります。

お知らせ

- 文字入力の方法については、「文字の入力と設定」(68ページ)をご参照ください。
- 本文入力画面でを押すと、絵文字入力モードに切り替わります。
- 絵文字入力モード中に【デコ絵文字】を押すと、デコ絵文字の選択画面を表示します。このときデコラティブメール(98ページ)に自動的に切り替わります。
- 本文を入力中に【メニュー】を押すと、以下の項目が表示されます。



メールの使いかた

1 装飾	メールの本文を装飾します(「メールの本文を装飾する」98ページ)。		
2 記号	記号を入力します(「記号/定型文/絵文字/顔文字を入力する」71ページ)。		
3 定型文	定型文を入力します(「記号/定型文/絵文字/顔文字を入力する」71ページ)。		
4 絵文字/顔文字	絵文字や顔文字を入力します(「記号/定型文/絵文字/顔文字を入力する」71ページ)。		
5 コピー/カット	文字をコピー/カットします(「文字をコピー/カット/貼り付けする」72ページ)。		
6 貼り付け	コピー/カットした文字を貼り付けます(「文字をコピー/カット/貼り付けする」72ページ)。		
7 引用	1 電話帳	<input type="checkbox"/> 電話帳データを選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 ▶ 引用したい項目を選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 電話帳に登録されている内容を引用して、本文を入力します。	
	4 プロフィール	▶ 引用したい項目を選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】	
	5 ブックマーク	プロフィール/ブックマーク/メモ帳に登録されている内容を引用して、本文を入力します。	
	6 メモ帳		

メールの本文を装飾する（デコラティブメール）

Eメール

デコラティブメールでは、本文の文字色を変更したり、背景色を変えたりして、メールにいろいろな装飾をつけることができます。

デコラティブメール作成画面（パレット表示）

デコラティブメールのパレットで、できることは以下のとおりです。

1 	文字の色を変更します。	7 	文字位置を変更します。
2 	文字サイズを変更します。	8 	ラインを挿入します。
3 	画像を挿入します。	9 	背景色を変更します。
4 	文字を点滅します。	* 	装飾の範囲を指定します。
5 	文字をテロップ表示します。	0 	装飾を解除します。
6 	文字をスウィング表示します。	# 	変更を元に戻します。



本文入力画面で

1 【メニュー】 ▶ 1 【装飾】

以下の項目から選択します。選択した装飾モードは、入力画面右上にアイコンで表示されます。

1  文字の色を変更 ^{*1}	▶  で色を選択し、  【決定】 ^{*2} 30色の中から文字色を選択します。	
2  文字サイズを変更 ^{*1}	▶ 1 【文字サイズ：大】、2 【文字サイズ：中】、または3 【文字サイズ：小】から選択 ^{*2} 文字の大きさを変更します。	
3  画像を挿入	1  画像を挿入	▶ 挿入したい画像を選択し、  【選択】 選択した位置にデータフォルダの画像データ（.jpg、.jpeg、.gif）を挿入します。
	2  絵文字を挿入	▶ デコ絵文字を選択し、  【確定】 選択した位置にデコ絵文字を挿入します。デコ絵文字はデータフォルダに保存されています。 デコ絵文字選択中は、以下の操作を行うことができます。 ・  : フォルダの切り替え ・  : 絵文字/デコ絵文字の選択画面の切り替え ・  : 連続してのデコ絵文字の挿入
4  文字を点滅 ^{*1}	▶ 1 【開始】 ▶ 本文を入力 ▶  【決定】（▶  【メニュー】 ▶ 1 【装飾】 ▶ 4 【文字を点滅】 ▶ 2 【終了】） ^{*2} 文字を点滅させます。	
5  文字をテロップ表示 ^{*1*3}	▶ 1 【開始】 ▶ 本文を入力 ▶  【決定】（▶  【メニュー】 ▶ 1 【装飾】 ▶ 5 【文字をテロップ表示】 ▶ 2 【終了】） ^{*2} 文字を右から左へ流して表示します。	
6  文字をスウィング表示 ^{*1*3}	▶ 1 【開始】 ▶ 本文を入力 ▶  【決定】（▶  【メニュー】 ▶ 1 【装飾】 ▶ 6 【文字をスウィング表示】 ▶ 2 【終了】） ^{*2} 文字を左右に往復するように表示します。	
7  文字位置を変更 ^{*1*3}	▶ 1 【左寄せ】、2 【センタリング】、または3 【右寄せ】 ^{*2} 選択した位置で改行し、設定した文字位置の行を挿入します。	
8  ラインを挿入	選択した位置で改行し、ライン画像を挿入します。	
9  背景色を変更	▶  で色を選択し、  【決定】 デコラティブメール本文の背景色を選択します。	

✖ 装飾の範囲を指定*4	▶ ◻ で選択したい文字範囲の始点を選択し、◻ [決定] ▶ ◻ で終点を選択し、◻ [決定] 文字の範囲を選択します。範囲選択後は「装飾」、「コピー」、または「カット」から選択してください。各項目の動作については、お知らせを参照してください。	
0 装飾を解除*4	1 範囲指定	▶ ◻ で解除したい装飾文字範囲の始点を選択し、◻ [決定] ▶ ◻ で終点を選択し、◻ [決定] 指定した範囲の装飾を解除します。
	2 全解除	すべての装飾を解除します。
# 変更を元に戻す*4	一つ前の操作に戻します。	

*1: 文字を入力した後からでも操作できます。その場合、文字入力後に「✖」[装飾の範囲を指定]を押し、範囲を指定してから装飾を設定します。

*2: 再度設定値を変更するまで、設定の内容は継続されます。

*3: 画像にも適用できます。

*4: 一度も操作していない場合は選択できません。

2 ◻ [決定] を押す

Eメール作成画面に戻ります。

🔍 ご注意

- デコラティブメールの本文に半角カナを使用することはできません。
- デコラティブメールを送信した場合、受信側の機種によっては、正しく表示されない場合があります。

📢 お知らせ

- テキストメールの本文を装飾すると、デコラティブメールとなり、入力画面の左上に「📧」が表示されます。
- 文字入力の方法については、「文字の入力と設定」(68ページ)をご参照ください。
- デコラティブメール本文入力中に「☰」【メニュー】を押すと、以下の項目が表示されます。

1 装飾	メールの本文を装飾します(「メールの本文を装飾する」98ページ)。
2 範囲選択*1	▶ ◻ で選択したい文字範囲の始点を選択し、◻ [決定] ▶ ◻ で終点を選択し、◻ [決定] 文字の範囲を選択します。範囲選択後は「装飾」、「コピー」、または「カット」から選択してください。 本文入力中に「☰」【範囲選択】を押しても、文字の範囲選択ができるようになります。
3 プレビュー*1	装飾の効果を確認することができます。
4 コピー*1	文字をコピーします(「文字をコピー/カット/貼り付けする」72ページ)。
5 カット*1	文字をカットします(「文字をコピー/カット/貼り付けする」72ページ)。
6 ペースト*2	コピー/カットした文字を貼り付けます(「文字をコピー/カット/貼り付けする」72ページ)。

*1: 本文に何も入力されていない場合は選択できません。

*2: コピー/カットされた文字がある場合のみ選択できます。

- デコ絵文字の選択画面は以下の操作でも表示できます。(※装飾用のパレット表示中は不可)
 デコラティブメールの本文作成中に「📧」
- デコ絵文字を入力するとき、お買い上げ時はデータフォルダ(本体メモリのメインフォルダ)の絵文字が表示されます。過去にデコ絵文字を入力している場合は、デコ絵文字選択画面の最初にデコ絵文字履歴が表示されます。

テンプレートを利用する

Eメール

■ 公式サイトからテンプレートをダウンロードする

待受画面で **メール** ▶ **6** 「テンプレートを公式サイトから探す」 ▶ **1** 「はい」 ▶ テンプレートファイルをダウンロード

■ テンプレートを読み込んでデコラティブメールを作成する

あらかじめ用意されているテンプレートや保存したテンプレート、ダウンロードしたテンプレートを読み込んでデコラティブメールを作成します。

Eメール作成画面で

1 **かろ** [メニュー] ▶ **4** 「テンプレート読み込み」 ▶ テンプレートを選択し、**決定** [Eメール作成] ▶ 「Yes」を選択し、**決定** [決定]

2 デコラティブメールを編集

注意

- テンプレートの読み込みは、デコラティブメール作成の最初に行ってください。デコラティブメールの作成中にテンプレートを読み込むと、それまでに編集していた内容が削除されます。

お知らせ

- メールメニューで**5** 「テンプレート」を選択しても、同様にテンプレートを読み込んでデコラティブメールを編集することができます（「メールメニューについて」91ページ）。

EメールをSMSに切り替える

Eメール

作成したEメールをSMSに変更して送信することができます。EメールをSMSに切り替えると、Eメール本文の先頭から、日本語（半角英数記号以外）で670文字、英語（半角英数記号）で1530文字までをコピーしたSMS作成画面に切り替わります。

Eメール作成画面で **かろ** **【メニュー】** ▶ **3** **【メール種別切り替え】**

SMSの作成方法については、「SMSを作成して送信する」（103ページ）をご参照ください。

🔔 ご注意

- Eメールの宛先や件名、添付ファイルは削除されます。また、デコラティブメールの場合、装飾情報はすべて削除されます。
- 日本語（半角英数記号以外）で670文字、英語（半角英数記号）で1530文字以上の場合、以降の文字は削除されます。
- 絵文字を含む受信メールを利用して、転送や引用返信を行う場合、元の絵文字が削除または変換される場合があります。
- アニメーション絵文字を含むSMSを引用返信する場合、アニメーション絵文字は削除されます。

作成したEメールを送信待ち保存／下書き保存する

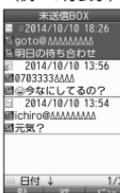
Eメール

複数のEメールをまとめて送信したい場合などは、作成したEメールを「送信待ち保存」しておきます。また、後で編集を加えてから送信したいEメールは「下書き保存」しておきます。送信待ち保存したEメールを「送信待ちEメール」、下書き保存したEメールを「下書きEメール」と呼びます。

Eメール作成画面で **かろ** **【メニュー】** ▶ **1** **【送信待ち保存】** または **2** **【下書き保存】**

送信待ちEメールや下書きEメールは、「未送信BOX」に保存されます。また、「Eメール保存先選択」（118ページ）で保存先を本体メモリまたはmicroSDカードに設定できます。送信待ちEメールや下書きEメールは、「」（送信待ちEメール）、「」（下書きEメール）で識別できます。

未送信BOX画面
(例: 3行表示)



未送信BOX
2014/10/10 18:26
gotou@MMMMMM
朝日の待ち合わせ
2014/10/10 13:56
0703333AAA
学生なにしてるの？
2014/10/10 13:54
ichiro@MMMMMM
元気？

🔔 ご注意

- 宛先が入力されていない場合、**1**「送信待ち保存」は選択できません。
- 下書きEメールが20件保存されると、新たにEメールを作成することができなくなります。新たにEメールを作成したいときは、未送信BOX画面で下書きEメールを編集して送信、または削除するか、宛先を入力して送信待ちEメールに切り替えて、下書きEメールの件数を減らしてください。

🔔 お知らせ

- 送信待ちEメールや下書きEメールは、後で編集したり、送信したりすることができます（「下書きEメールを編集して送信する」101ページ、「送信待ちEメールを送信する」102ページ）。

下書きEメールを編集して送信する

Eメール

待受画面で

1 **【メール】** ▶ **3** **【未送信BOX】** ▶ **下書きEメールを選択** ▶ **かろ** **【メニュー】** ▶ **1** **【編集】**

2 **Eメールの内容を編集** ▶ **📞** **【送信】**

送信せずに送信待ち保存／下書き保存することもできます（「作成したEメールを送信待ち保存／下書き保存する」101ページ）。

🔔 お知らせ

- 保護された下書きEメールは編集できません。編集操作を行う前に、メールの保護を解除してください（「メールを保護する」117ページ）。

送信待ちEメールを送信する

Eメール

送信待ちEメールは、一度にまとめて送信できます。

待受画面で **メール** ▶ **3** **「未送信BOX」** ▶ **おろ** **【メニュー】** ▶ **3** **「全送信」**



- **3** **「全送信」** は、「送信メールアカウント」(119ページ) で設定したアカウント (Eメールアドレス) で送信待ちメールの送信を行います。ただし、未送信BOXに複数のアカウント (119ページ) のメールがあるときは、全送信ができない場合があります。
- 送信待ちEメールを1つずつ選択して送信する場合、以下の操作を行います。

待受画面で **メール** ▶ **3** **「未送信BOX」** ▶ **送信待ちEメールを選択** ▶ **おろ** **【メニュー】** ▶ **2** **「送信」**

新しくSMSを作成して送信します。

作成したSMSは、すぐに送信せずに下書き保存しておくこともできます（「作成したSMSを下書き保存する」105ページ）。

待受画面で

1 ▶ 「SMS作成」

SMS作成画面が表示されます。

以下の項目を入力または選択します。

(宛先)	SMSの宛先（電話番号）を入力します（「To（宛先）を入力する（SMS）」104ページ）。
本文入力欄	SMSの本文を入力します（「SMSの本文を入力する」104ページ）。

2 「送信」を選択し、 「決定」

送信したSMSは、「送信BOX」に保存されます。

ご注意

- 連結SMSは、ワイモバイルのPHS間でのみ送受信可能です。
- 相手の電話機がSMS非対応でライトメール対応の場合、SMSを送信するとライトメールとして受信します。相手の電話機がライトメール/SMSともに非対応の場合は、SMSの送信失敗となります。
- 相手の電話機の種類によっては一部表示できない文字があります。
- 送信メール（未送信メール含む）は、30件まで保存されます。30件を超えると古いメール（保護されていないメール）から自動的に削除されます。
- 通話中は、SMSを送信することはできません。

お知らせ

- 送信に失敗したSMSは、「未送信BOX」に保存されます。
- 「送信BOX」に保存できる件数や容量を超えると、古いメールから自動的に削除されます。ただし、保護されているメールは削除されません。
- SMS作成画面で【メニュー】を押すと、以下の項目が表示されます。

1 下書き保存*	作成したSMSを「未送信BOX」に保存します（「作成したSMSを下書き保存する」105ページ）。
2 メール種別切り替え	作成中のSMSをEメールに切り替えます（「SMSをEメールに切り替える」105ページ）。
3 SMS配信レポート	相手がSMSを受け取ったことをお知らせするかどうか、設定します。

*：宛先、または本文が入力されていない場合は選択できません。

- 手順1の後にキーを押してもメールを送信することができます。
- 「+（プラス）」付きの電話番号にSMSを送信すると、「+（プラス）」が「010」に変換されて送信されます。ただし、「+81」と入力した場合は「+81」が「0」に変換されて送信されます。

To (宛先) を入力する (SMS)

SMS

宛先の電話番号を入力します。入力できる電話番号は18桁までです。

SMS作成画面で  で「**To (宛先)**」を選択し、 **[決定]**

以下の項目から選択します。

1 発信履歴	▶ 引用したい発信履歴を選択し、  [選択] 発信履歴に記憶されている電話番号を選択します。
2 着信履歴	▶ 引用したい着信履歴を選択し、  [選択] 着信履歴に記憶されている電話番号を選択します。
3 電話帳を開く	▶ 電話帳データ を選択し、  [選択] ▶ 電話番号 を選択し、  [選択] 電話帳に登録されている電話番号を選択します。
4 直接入力	電話番号を直接入力します。
5 削除	入力した電話番号を削除します。

お知らせ

● 4 「直接入力」を選択して入力中に  **[引用]** を押すと、以下の項目が表示されます。

1 電話帳	▶ 電話帳データ を選択し、  [選択] ▶ 電話番号 を選択し、  [選択] 電話帳に登録されている電話番号を選択します。
3 発信履歴	▶ 引用したい電話番号を選択し、  [選択]
4 着信履歴	発信履歴／着信履歴／ダイヤルメモ／プロフィールから電話番号を選択します。
5 ダイヤルメモ	
6 プロフィール	

ご注意

● プロフィールから引用する場合、Eメールアドレスを選択すると、宛先が正しく設定されません。

SMSの本文を入力する

SMS

SMSの本文を入力します。日本語（半角英数記号以外）で670文字、英語（半角英数記号）で1530文字まで入力できます。

本文が日本語（半角英数記号以外）で70文字を超えた場合、もしくは、英語（半角英数記号）のみで160文字を超えた場合は連結SMSとして送信されます。

SMS作成画面で

1  で**本文入力欄**を選択し、 **[決定]** ▶ **本文**を入力

2  **[決定]** を押す

ご注意

● 連結SMSは、ワイモビルのPHS間のみ送受信可能です。

お知らせ

● 文字入力の方法については、「文字の入力と設定」（68ページ）をご参照ください。

● 本文を入力するときは、文字入力メニューを利用してさまざまな方法で引用や入力ができます（「文字入力メニューを使う」71ページ）。

SMSをEメールに切り替える

SMS

作成したSMSをEメールに変更して送信することができます。SMSをEメールに切り替えると、SMSの本文をコピーしたEメール作成画面に切り替わります。

SMS作成画面で **【メニュー】** ▶ **2** **【メール種別切り替え】**

Eメールの作成方法については、「Eメール（テキストメール／デコラティブメール）を作成して送信する」（94ページ）をご参照ください。

ご注意

- SMSの宛先は削除されます。

作成したSMSを下書き保存する

SMS

後で編集を加えてから送信したいSMSは「下書き保存」しておきます。下書き保存したSMSを「下書きSMS」と呼びます。

SMS作成画面で **【メニュー】** ▶ **1** **【下書き保存】**

下書きSMSは、「未送信BOX」に保存されます。

相手がSMSを受け取ったか確認する

SMS

相手がSMSを受け取ったことをお知らせするかどうか、設定することができます。

SMS作成画面で **【メニュー】** ▶ **3** **【SMS配信レポート】**

下書きSMSを編集して送信する

SMS

待受画面で

1 **【メール】** ▶ **3** **【未送信BOX】** ▶ **下書きSMSを選択** ▶ **【メニュー】** ▶ **1** **【編集】**

2 **SMSを編集** ▶ **【送信】**を選択し、 **【決定】**

送信せずに下書き保存することもできます（「作成したSMSを下書き保存する」105ページ）。

お知らせ

- 保護された下書きSMSは編集できません。編集操作を行う前に、メールの保護を解除してください（「メールを保護する」117ページ）。

● メールを受信／返信／転送する

Eメール SMS

📢 ご注意

- 絵文字を含む受信メールを利用して、転送や引用返信を行う場合、絵文字が削除される場合があります。
- アニメーション絵文字を含むSMSを引用返信する場合、アニメーション絵文字は削除されます。

📢 お知らせ

- 「エモーションメッセージ」(204ページ)を設定している場合、新しいメールを受信すると、受信したメールの内容に合ったアニメーションが待受画面に表示されます。
- 「ピクトインフォメーション」(202ページ)を設定している場合、新しいメールを受信すると、受信したメールの差出人、件名/本文、件数などの情報をメインディスプレイのピクト表示エリアに通知します。

受信したメールを読む

Eメール SMS

■ メールを自動的に受信して読む

EメールやSMSを受信した場合、メール受信音や待受画面の表示で、メールの受信をお知らせします。

この新着情報の表示中に **【選択】** を押すだけで最新のメール一覧を確認することができます。

待受画面(新着情報表示画面)で **新着情報表示を確認し**、 **【選択】** または **【メール】** ▶ **新着メール一覧から確認したいメールを選択し**、 **【決定】**

選択した受信メールの内容が表示されます(受信メール詳細画面)。

📢 ご注意

- 自動受信を設定できるのは、ワイモバイルが提供するEメールのアカウントのみです。自動受信をするには、オンラインサインアップ(92ページ)でEメール自動受信の設定を行ったうえで「Eメール自動受信機能」の設定を行ってください(「アカウントごとの各種設定をする」120ページ)。
- Eメールを自動受信できない場合があります。
例：
 - ・通話中/発信中/着信中/データ通信中
 - ・メールの本文入力中など
 - ・USBマストレージ起動中
 - ・リセット中(機能/メモリ/完全消去+初期化)
 - ・リモートロック中
 - ・Java™アプリのバケット通信中
 - ・パソコンツールを使ったパソコンとのデータ送受信中
 - ・その他データ処理中など
- 新着メールを後で確認したい場合は、 または を押してください。この場合、新着メールの確認は、「受信BOX」から行います(「受信BOXから受信したメールを読む」107ページ)。
- Eメールの受信メールは、テキストメールとデコラティブメールを合わせて3000件まで保存されます。3000件を超えると、既読の古いメール(保護されていないメール)から自動的に削除されます。
- SMSの受信メールは、100件まで保存されます。100件を超えると、既読の古いメール(保護されていないメール)から自動的に削除されます。

📢 お知らせ

- 自動受信の設定をしていない場合や、ワイモバイル以外のEメールアカウントを使用している場合の未読メールは「受信BOX」から確認できます(「受信BOXから受信したメールを読む」107ページ)。
- バケット通信中のメール受信設定を「起動」にしていると、バケット通信中でもEメール/SMSを受信できます(「通信中のメール受信を設定する」262ページ)。
- 新着メール一覧のアイコン表示は、以下のとおりです。

	未読Eメールアイコン		未読Eメールアイコン (microSDカード)
	未読SMSアイコン		不完全な未読Eメールアイコン
	未読連結SMSアイコン (未受信SMSなし)		不完全な未読Eメールアイコン (microSDカード)
	未読連結SMSアイコン (未受信SMSあり)		

「不完全なメール」とは、「受信行数制限設定」(120ページ)を「ON」に設定している場合など、すべてのデータを受信しきれなかった不完全なメールのことです。

■受信BOXから受信したメールを読む

受信したメールは「受信BOX」に保存されます。確認したい受信メールを選択すると、内容が表示されます。

待受画面で **メール** ▶ **受信BOX** ▶ **受信BOX** を選択し、**決定** ▶ **メール** を選択し、**決定**

選択した受信メールの内容が表示されます（受信メール詳細画面）。

受信メール一覧画面
(例：3行表示)



お知らせ

- 「受信フォルダ表示」（118ページ）を「表示しない」に設定している場合は、**受信BOX**を押すと、受信メール一覧画面が表示されます。確認したいメールを選択し、**決定**を押してください。
- 受信メールのフォルダ自動振り分け設定をしている場合は、「ユーザ受信BOX1」～「ユーザ受信BOX8」の各フォルダに受信メールが保存されます。受信メールのフォルダ自動振り分け設定については、「受信メールを自動的にフォルダに振り分ける」（114ページ）をご参照ください。
- 受信メール詳細画面では、以下の操作を行うことができます。
 - ・ **↑** : 1行ずつ表示をスクロールします。
 - ・ **↓** : 前後のメールを表示します。
 - ・ **WEB** : 次のページへスクロールします。
 - ・ **メール** : 前のページへスクロールします。
 - ・ **戻る** : メール一覧画面に戻ります。
 - ・ **メニュー** : メールメニュー画面に戻ります。
 - ・ **加** **【メニュー】** : メニューを表示し、メールの返信や削除など、さまざまな機能を使用できます（「受信/送信/未送信メール詳細画面のメニューを使う」116ページ）。
 - ・ **0** : 文字の大きさを変更します。
- 「受信BOX」に保存できる件数や容量を超えるなど、「Eメール保存先選択」（118ページ）で設定した本体メモリまたはmicroSDカードに保存されている古い既読メールから自動的に削除されます。ただし、「Eメール保存先選択」で保存先をmicroSDカードに設定しているも、microSDカードが挿入されていない場合は本体メモリに保存されている古い既読メールから自動的に削除されます。
- Eメールの受信メールは、テキストメールとデコラティブメールを合わせて3000件まで保存されます。3000件を超えると、既読の古いメール（保護されていないメール）から自動的に削除されます。
- SMSの受信メールは100件まで保存されます。100件を超えると既読の古いメール（保護されていないメール）から自動的に削除されます。
- 受信BOXでは、Eメール/SMSを統合して取り扱います。受信したメールの種別はアイコンで判断できます（「メールを管理する」112ページ）。
- 受信メール詳細画面の本文中に、電話番号、Eメールアドレス、URLがある場合、それらの文字列を選択し、**決定**を押すと、直接電話をかけたり、EメールやSMSの作成、Webページへのアクセスなどが行えます（「メール本文の電話番号/Eメールアドレス/URLを直接利用する」111ページ）。

メール本文中の文字列	できること
URL	開く（URLページへ接続）、ブックマーク登録、コピー
Eメールアドレス	Eメール作成、電話帳登録（新規登録/追加登録）、コピー
電話番号	発信（通常発信/特番付発信）、SMS作成、電話帳登録（新規登録/追加登録）、コピー

- メール詳細画面のアイコン表示は、以下のとおりです。

■メール詳細画面のアイコン	
	宛先
	差出人：名前、Eメールアドレス、または電話番号
	件名
	添付ファイル

- 「未受信SMSあり」SMSの本文を参照時、未受信部分が「・・・」と表示されます。

受信/送信/未送信BOX（メール一覧）の表示を切り替える

Eメール SMS

受信/送信/未送信BOXのメール一覧の表示を1行表示または3行表示に切り替えることができます。1行表示の場合は、で宛先/差出人と件名の表示を切り替えることができます。

お買い上げ時：
「1行表示」



受信/送信/未送信BOX（メール一覧）画面で

か

メニュー ▶

「表示切り替え」を選択し、 [決定]

サーバーにEメールがあるかどうかを確認する

Eメール

サーバーに新しいEメールが届いているかどうかを確認し、Eメールが届いている場合は受信をします。「Eメール自動受信機能」（121ページ）の設定にかかわらず、任意のタイミング（電波が届かない場所にいた後など）でEメールを受信することができます。

待受画面で メール ▶ **8** 「Eメール受信」

注意

● Eメール受信について

- ・文字数が多いEメールの場合、受信に時間がかかることがあります。
- ・ワイモバイルが提供するメールアドレス以外からのEメールの場合、正常に表示できない場合があります。

お知らせ

- 「センターキー長押し割り当て」（267ページ）で「Eメール受信」を設定している場合は、以下の手順で新着メールを確認できます。

待受画面で を長く（1秒以上）押す

- Eメール受信時、画面に「△/○」と数値が表示されます。これは、「受信しているメール数/サーバーにあるメール数」を表しています。
- 未読メールがある場合、メインディスプレイに  が表示されます。
- サーバーに新しいメールが届いているときや、Eメール自動受信に失敗したときは、メインディスプレイに  が表示されます。電波状態が悪いときは、電波状態の良い場所で「Eメール受信」を行ってください。
- センターにEメールありの通知画面表示中は、 「Eメール受信」を押してEメールを受信することができます。



添付ファイルを表示／再生／保存する

Eメール

受信メール詳細画面から、添付ファイルの一覧を表示することができます。添付ファイル一覧画面では、添付ファイルの表示／再生のほか、添付ファイルをデータフォルダ（本体メモリ／microSDカード）へ保存することができます。

受信メール詳細画面で **[1] (添付ファイル)** を選択し、**[決定]** ▶ **添付ファイルを選択し、[決定]**

添付ファイル一覧画面

表示／再生した添付ファイルをデータフォルダに保存する場合は、以下の手順で行います。再生画面で **かろ** **[保存]** (▶ **[1]** 「本体メモリ」または **[2]** 「microSD」)* ▶ **ファイル名を入力し、[決定]**

* : microSDカード挿入時のみ操作します。

お知らせ

- 添付ファイルの表示／再生／保存は、送信メールや未送信メールの詳細画面でも同様の操作で行えます。
- 添付ファイルは以下の手順でも保存できます。
添付ファイル一覧画面で添付ファイルを選択し、**かろ** **[保存]** (▶ **[1]** 「本体メモリ」または **[2]** 「microSD」)* ▶ **ファイル名を入力し、[決定]**

* : microSDカード挿入時のみ操作します。

- 添付ファイル一覧画面からでは表示できないファイルの場合は、データフォルダ（本体メモリ／microSDカード）に保存してから表示してください。



メールの使いかた

受信したEメールに返信する

Eメール

受信したEメールに返信します。「返信」は差出人に返信されます。Reply-To（返信先アドレス）が設定されている場合には、そのメールアドレスに返信します（120ページ）。「全員へ返信」は受信メールに含まれる複数の宛先（Cc含む）に返信します。

受信BOX（メール一覧）画面／受信メール詳細画面で **かろ** **[メニュー]** ▶ **[1]** 「返信」または **[2]** 「全員へ返信」 ▶ **本文を編集** ▶ **電話機** **[送信]**

お知らせ

- 返信時は、件名の先頭に自動的に「Re:」を付加します。ただし、すでに「Re:」がある場合は付加されません。
 - ・「Re:」が付加された結果、件名として文字数が入力可能文字数を超えてしまう場合は、件名の末尾から削除されます。
 - ・件名の内容を編集することもできます。
- 返信時に、受信メールの本文を引用して返信メールの本文に付加することができます（「便利な設定を使う」118ページ）。
- **[2]** 「全員へ返信」の場合、差出人以外はCc宛先になります。

受信したEメールを転送する

Eメール

受信したEメールを、他のEメールアドレスに転送することができます。

受信BOX（メール一覧）画面／受信メール詳細画面で **かろ** **[メニュー]** ▶ **[3]** 「転送」 ▶ **宛先と本文を編集** ▶ **電話機** **[送信]**

お知らせ

- 宛先入力方法については、「To（宛先）」を入力する（Eメール）（95ページ）をご参照ください。
- 転送時は、件名の先頭に自動的に「Fw:」を付加します。ただし、すでに「Fw:」がある場合は付加されません。
 - ・「Fw:」が付加された結果、件名の文字数が入力可能文字数を超えてしまう場合は、件名の末尾から削除されます。
 - ・件名の内容を編集することもできます。
- 受信メールの送信／受信者の情報（To、From、Cc、Reply-To）は引用されません。

受信したSMSに返信する

SMS

受信したSMSに返信します。

受信BOX（メール一覧）画面／受信メール詳細画面で カワ [メニュー] ▶ I 「返信」 ▶ 本文を編集
▶ 「送信」を選択し、□ [決定]

受信したSMSを転送する

SMS

受信したSMSを、他のSMS対応電話機に転送することができます。

受信BOX（メール一覧）画面／受信メール詳細画面で カワ [メニュー] ▶ 3 「転送」 ▶ 宛先と本文を編集 ▶ 「送信」を選択し、□ [決定]



● 宛先電話番号の入力方法については、「To（宛先）」を入力する（SMS）（104ページ）をご参照ください。

受信／送信／未送信メール詳細表示画面の差出人や宛先を利用する Eメール SMS

■ Eメールの差出人や宛先を電話帳に登録する

受信／送信／未送信Eメール詳細画面から電話帳に差出人や宛先のEメールアドレスを登録できます。

受信／送信／未送信Eメール詳細画面で 「From（差出人）」または「To（宛先・To）」、「Cc（宛先・Cc）」、「Bcc（宛先・Bcc）」、「Reply（返信）」を選択し、□ [決定] ▶ 電話帳に登録するEメールアドレスを選択し、□ [決定] ▶ 「Yes」を選択し、□ [決定]

以下の項目から選択します。

1 新規	選択したEメールアドレスを電話帳に新規登録します（「電話帳データの各項目を登録する」76ページ）。
2 追加	▶ 追加登録する電話帳データを選択し、 □ [選択] ▶ 登録先を「Eメールアドレス1～3」から選択し、 □ [選択] ▶ □ [登録] ▶ I 「はい」 すでに登録されている電話帳データに、Eメールアドレスを追加登録します。*

*：追加登録したい項目（Eメールアドレス）にすでに登録したデータがあるときは上書きされます。

■ SMSの差出人や宛先を利用する

受信／送信／未送信SMS詳細画面の差出人や宛先の電話番号を利用して、電話をかけたり、SMS作成、電話帳への登録などを行うことができます。

受信／送信／未送信SMS詳細画面で 「From（差出人）」または「To（宛先）」を選択し、□ [決定]

以下の項目から選択します。

1 発信	▶ □ [発信] を押す 選択した電話番号に電話をかけます。電話番号を編集して電話をかけることもできます。
2 SMS作成	選択した電話番号を宛先としたSMSを作成します（「SMSを作成して送信する」103ページ）。
3 電話帳登録	1 新規 選択した電話番号を電話帳に新規登録します（「電話帳データの各項目を登録する」76ページ）。 2 追加 ▶ 追加登録する電話帳データを選択し、 □ [選択] ▶ 登録先を「電話番号1～3」から選択し、 □ [選択] ▶ □ [登録] ▶ I 「はい」 すでに登録されている電話帳データに、電話番号を追加登録します。*
4 コピー	選択した電話番号をコピーします（72ページ）。

*：追加登録したい項目（電話番号）にすでに登録したデータがあるときは上書きされます。

メール本文の電話番号／Eメールアドレス／URLを直接利用する Eメール SMS

メール本文に、電話番号やEメールアドレス、URLがある場合、それらの文字列は反転表示され、直接電話をかけたり、EメールやSMSの作成、Webページへのアクセスなどを行えます。

受信／送信メール詳細画面で **本文中の電話番号／Eメールアドレス／URLを選択し、【決定】**

以下の項目から選択します。

電話番号を選択した場合	<input type="checkbox"/> 発信	<input type="checkbox"/> 【発信】を押す 選択した電話番号に電話をかけます。電話番号を編集して電話をかけることもできます。
	<input type="checkbox"/> 2 SMS作成	選択した電話番号を宛先としたSMSを作成します（「SMSを作成して送信する」103ページ）。
	<input type="checkbox"/> 3 電話帳登録	<input type="checkbox"/> 1 新規 選択した電話番号を電話帳に新規登録します（「電話帳データの各項目を登録する」76ページ）。 <input type="checkbox"/> 2 追加 ◆ 追加登録する電話帳データを選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 ◆ 登録先を「電話番号1～3」から選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 ◆ <input type="checkbox"/> 【登録】 ◆ <input type="checkbox"/> 【はい】 すでに登録されている電話帳データに、電話番号を追加登録します。*
	<input type="checkbox"/> 4 コピー	選択した電話番号をコピーします（72ページ）。
Eメールアドレスを選択した場合	<input type="checkbox"/> 1 Eメール作成	選択したEメールアドレスを宛先としたEメールを作成します（「Eメール（テキストメール／デコラティブメール）を作成して送信する」94ページ）。
	<input type="checkbox"/> 2 電話帳登録	<input type="checkbox"/> 1 新規 選択したEメールアドレスを電話帳に新規登録します（「電話帳データの各項目を登録する」76ページ）。 <input type="checkbox"/> 2 追加 ◆ 追加登録する電話帳データを選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 ◆ 登録先を「Eメールアドレス1～3」から選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 ◆ <input type="checkbox"/> 【登録】 ◆ <input type="checkbox"/> 【はい】 すでに登録されている電話帳データに、Eメールアドレスを追加登録します。*
	<input type="checkbox"/> 3 コピー	選択したEメールアドレスをコピーします（72ページ）。
URLを選択した場合	<input type="checkbox"/> 1 開く	選択したURLのWebページをブラウザで表示します。
	<input type="checkbox"/> 2 ブックマーク登録	選択したURLをブックマークに登録します（「ブックマークについて」130ページ）。
	<input type="checkbox"/> 3 コピー	選択したURLをコピーします（72ページ）。

*：追加登録したい項目（電話番号／Eメールアドレス）にすでに登録したデータがあるときは上書きされます。

● 受信メールの管理について

- ・受信したメールは「受信BOX」に保存されています。
- ・「受信フォルダ表示」（118ページ）を「表示する」に設定している場合、Eメールは「受信BOX」または「ユーザ受信BOX1」～「ユーザ受信BOX8」に保存されます。
- ・「受信BOX」、「ユーザ受信BOX1」～「ユーザ受信BOX8」のメール一覧画面、およびメール詳細画面でメールの削除や、受信BOX間移動などの管理が行えます。

● 送信メールの管理について

- ・送信したメールは「送信BOX」に保存されます。
- ・未送信のメール（送信待ち保存したメールまたは下書き保存したメール）や送信に失敗したメールは「未送信BOX」に保存されます。
- ・「送信BOX」、「未送信BOX」のメール一覧画面、およびメール詳細画面でメールの削除などの管理が行えます。
- ・「送信BOX」と「未送信BOX」のメールは、振り分けすることができません。

● microSDカードにメールが保存されているときの注意事項は以下のとおりです。

- ・本機にmicroSDカードが挿入されていない場合も、メールメニューの「受信BOX」、「送信BOX」、「未送信BOX」が表示されます。ただし、microSDカードに保存されたメールを選択すると、エラーメッセージが表示され、メールを確認することはできません。その場合、本機にメールを保存したmicroSDカードを挿入してください。
- ・本機にmicroSDカードが挿入されていない状態で本機からmicroSDカードの「受信BOX」、「送信BOX」、「未送信BOX」のメールを削除した場合、実際にはメールは削除されませんが、本機では削除されたとみなされます。完全に削除する場合は、パソコンなどでmicroSDカードに保存されているメールを削除してください。

● 配信レポートについて

- ・配信レポートは、送信したSMSを相手が受け取ったかどうかを確認することができます。送信BOX画面のアイコンで確認することができます。

お知らせ

- 受信/送信/未送信BOX画面のアイコン表示は、以下のとおりです。

	既読Eメールアイコン		送信済みSMSアイコン (配信レポート: 配信成功)
	未読Eメールアイコン		送信済みSMSアイコン (配信レポート: 配信失敗)
	送信済みEメールアイコン		送信済みSMSアイコン (配信レポート: 配信失敗 (コンカチ規制))
	送信待ちEメールアイコン		既読連結SMSアイコン (未受信SMSなし)
	返信済みEメールアイコン		既読返信済み連結SMSアイコン (未受信SMSなし)
	転送済みEメールアイコン		既読転送済み連結SMSアイコン (未受信SMSなし)
	下書きEメールアイコン		未読連結SMSアイコン (未受信SMSなし)
	既読SMSアイコン		既読連結SMSアイコン (未受信SMSあり)
	未読SMSアイコン		既読返信済み連結SMSアイコン (未受信SMSあり)
	送信済みSMSアイコン		既読転送済み連結SMSアイコン (未受信SMSあり)
	返信済みSMSアイコン		未読連結SMSアイコン (未受信SMSあり)
	転送済みSMSアイコン		保護アイコン
	下書きSMSアイコン		添付アイコン

	不完全な未読Eメールアイコン		返信済みEメールアイコン (microSDカード)
	不完全な既読Eメールアイコン		転送済みEメールアイコン (microSDカード)
	返信済み不完全なEメールアイコン		下書きEメールアイコン (microSDカード)
	転送済み不完全なEメールアイコン		不完全な未読Eメールアイコン (microSDカード)
	既読Eメールアイコン (microSDカード)		不完全な既読Eメールアイコン (microSDカード)
	未読Eメールアイコン (microSDカード)		返信済み不完全なEメールアイコン (microSDカード)
	送信済みEメールアイコン (microSDカード)		転送済み不完全なEメールアイコン (microSDカード)
	送信待ちEメールアイコン (microSDカード)		

「不完全なメール」とは、「受信行数制限設定」(120ページ)を「ON」に設定している場合など、すべてのデータを受信しきれなかった不完全なメールのことです。
 コンカチ規制とは、相手側のネットワークが連結SMSに対応していなかったことを示します。

受信BOX (フォルダ表示) 画面のメニューを使う

「受信フォルダ表示」(118ページ)を「表示する」に設定している場合、以下の操作が行えます。

待受画面で **【受信BOX】** ▶ **フォルダを選択** ▶ **【メニュー】**

以下の項目から選択します。

1 フォルダ名編集*	▶ フォルダ名を入力または編集し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 フォルダ名を変更します。	
2 振り分け設定*	自動的に受信メールをフォルダに振り分けるように設定します (「受信メールを自動的にフォルダに振り分ける」114ページ)。	
3 振り分け設定リセット	すべてのフォルダの振り分け設定を解除します (「すべての振り分け設定を削除する」114ページ)。	
4 メール全件削除	既読のみ削除	▶ 暗証番号を入力 ▶ 【Yes】 を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】
	保護以外削除	すべてのフォルダを対象にして、選択した条件に合ったメールを削除します。
	全件削除	
5 フォルダ内全件削除	既読のみ削除	▶ 暗証番号を入力 ▶ 【Yes】 を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】
	保護以外削除	選択しているフォルダを対象にして、選択した条件に合ったメールを削除します。
	全件削除	

* : 「受信BOX」フォルダを選択した場合は選択できません。

受信メールを自動的にフォルダに振り分ける

Eメール SMS

受信したメールを、指定したフォルダ（「ユーザ受信BOX1」～「ユーザ受信BOX8」）に自動的に振り分けて保存することができます。

「受信フォルダ表示」（118ページ）を「表示する」に設定している場合のみ操作できます。

待受画面で

1 メール ▶ 1 「受信BOX」 ▶ フォルダを選択 ▶ カマ [メニュー] ▶ 2 「振り分け設定」

2 「振り分け設定追加」を選択し、 [決定]

以下の項目から選択します。表示される項目は、選択している項目により異なります。

1 送信履歴	▶ 引用したい送信履歴／受信履歴を選択し、 <input type="checkbox"/> [選択]	
2 受信履歴	Eメールの送信履歴／受信履歴の相手を選択してフォルダに振り分けます。追加されるのはEメールアドレスのみです。	
3 電話帳を開く	1 電話番号	▶ 引用したい電話帳データを選択し、 <input type="checkbox"/> [選択] ▶ 電話番号またはEメールアドレスを選択し、 <input type="checkbox"/> [選択]
	2 Eメールアドレス	電話帳に登録されている相手を選択してフォルダに振り分けます。
4 グループから選択	▶ グループを選択し、 <input type="checkbox"/> [選択] グループに登録された相手を選択してフォルダに振り分けます。	
5 直接入力	▶ Eメールアドレスまたは電話番号を入力し、 <input type="checkbox"/> [決定] 振り分けたい相手のEメールアドレスまたは電話番号を直接入力します。	

🔔 ご注意

- 振り分け設定では、ドメイン（92ページ）を指定することはできません。

🔔 お知らせ

- 振り分けられるのは、「振り分け設定」で設定した後に受信するメールからです。

振り分け設定をフォルダごとに削除する

待受画面で

1 メール ▶ 1 「受信BOX」 ▶ 設定を削除したいフォルダを選択 ▶ カマ [メニュー] ▶ 2 「振り分け設定」

2 登録した振り分け設定を選択 ▶ カマ [メニュー]

以下の項目から選択します。

1 一件削除	▶ 「Yes」を選択し、 <input type="checkbox"/> [決定] 選択した振り分け設定を削除します。
2 全件削除	▶ 暗証番号を入力 ▶ 「Yes」を選択し、 <input type="checkbox"/> [決定] 選択しているフォルダのすべての振り分け設定を削除します。

すべての振り分け設定を削除する

すべてのフォルダの振り分け設定を削除します。

待受画面で メール ▶ 1 「受信BOX」 ▶ カマ [メニュー] ▶ 3 「振り分け設定リセット」 ▶ 暗証番号を入力 ▶ 「Yes」を選択し、 [決定]

受信/送信/未送信BOX (メール一覧) 画面で **【メニュー】** を押す

以下の項目から選択します。表示される項目は、選択している画面により異なります。

返信*1	選択した受信メールの差出人に返信します (「受信したEメールに返信する」109ページ、「受信したSMSに返信する」110ページ)。	
全員へ返信*2	選択した受信メールの差出人およびTo、Ccに設定されている宛先に返信します (「受信したEメールに返信する」109ページ)。	
編集*3	選択したメールを編集します (「下書きEメールを編集して送信する」101ページ、「下書きSMSを編集して送信する」105ページ)。	
送信*4	選択したメールを送信します。	
全送信*5	すべての送信待ちEメールを送信します (「送信待ちEメールを送信する」102ページ)。	
転送*1	選択した受信メールを転送します (「受信したEメールを転送する」109ページ、「受信したSMSを転送する」110ページ)。	
移動*1*6	<input type="checkbox"/> 1]一件	<input type="checkbox"/> 移動先のフォルダを選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 選択した受信メールを別のフォルダに移動します。
	<input type="checkbox"/> 2]選択	<input type="checkbox"/> 移動したい受信メールを選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】を繰り返す 【移動】 <input type="checkbox"/> 移動先フォルダを選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 移動したい受信メールを複数選択し、移動します。選択したメールには「  」が表示されます。選択を解除するには、選択済みの受信メールを再度選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】を押します。
	<input type="checkbox"/> 3]全件	<input type="checkbox"/> 移動先フォルダを選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 フォルダ内の受信メールをすべて別のフォルダに移動します。
削除	メールを削除します (「メールを削除する」117ページ)。	
保護/保護解除	選択したメールを保護/保護解除します (「メールを保護する」117ページ)。	
ソート	日付	<input type="checkbox"/> 「古い順」または「新しい順」を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 メールを日付の順に並び替えます。
お買い上げ時: 日付の「新しい順」	宛先*3	<input type="checkbox"/> 「昇順 (A~Z)」または「降順 (Z~A)」を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 メールを宛先順に並び替えます。
	差出人*1	<input type="checkbox"/> 「昇順 (A~Z)」または「降順 (Z~A)」を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 メールを差出人順に並び替えます。
	件名	<input type="checkbox"/> 「昇順 (A~Z)」または「降順 (Z~A)」を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 メールを件名順に並び替えます。
フィルタ	新着メールのみ*1	<input type="checkbox"/> []で表示したいメールの条件を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】
	未読メールのみ*1	フィルタを設定し、選択した条件に合ったすべてのメールを表示します。 「解除」を選択すると、設定したフィルタが解除されます。
	既読メールのみ*1	
	未送信メールのみ*5	
	下書きメールのみ*5	
	保護メールのみ	
	非保護メールのみ	
	添付ありメールのみ	
解除		
表示切り替え	メール一覧の表示を1行表示または3行表示に切り替えます (「受信/送信/未送信BOX (メール一覧) の表示を切り替える」108ページ)。	

*1: 受信BOX画面の場合のみ表示されます。

*2: 受信BOX画面のEメール選択時のみ表示されます。

*3: 送信BOX画面と未送信BOX画面の場合のみ表示されます。

*4: 未送信BOXの送信待ちEメール選択時のみ表示されます。

*5: 未送信BOX画面の場合のみ表示されます。

*6: 本体メモリからmicroSDカードへの移動や、microSDカードから本体メモリへの移動はできません。

受信 / 送信 / 未送信メール詳細画面で **かろ** **【メニュー】** を押す

以下の項目から選択します。表示される項目は、選択している画面により異なります。

返信*1	表示している受信メールの差出人に返信します（「受信したEメールに返信する」109ページ、「受信したSMSに返信する」110ページ）。
全員へ返信*2	表示している受信メールの差出人およびTo、Ccに設定されている宛先に返信します（「受信したEメールに返信する」109ページ）。
編集*3	表示しているメールを編集します（「下書きEメールを編集して送信する」101ページ、「下書きSMSを編集して送信する」105ページ）。
送信*4	表示しているメールを送信します。
転送*1	表示している受信メールを転送します（「受信したEメールを転送する」109ページ、「受信したSMSを転送する」110ページ）。
移動*1*5	◆ 移動先のフォルダを選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 表示している受信メールを別のフォルダに移動します。
削除	表示しているメールを削除します（「メールを削除する」117ページ）。
保護 / 保護解除	表示しているメールを保護 / 保護解除します（「メールを保護する」117ページ）。
コピー	表示しているメールの本文をコピーします（「文字をコピー / カット / 貼り付けする」72ページ）。
メールヘッダ表示*6	表示しているメールのヘッダ情報を表示します。 ヘッダ情報を表示中に <input type="checkbox"/> 【コピー】 を押すと、内容をコピーできます（「文字をコピー / カット / 貼り付けする」72ページ）。
文字サイズ変更	◆ 「最小」、「小」、「中」、「大」、または「最大」を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 受信 / 送信 / 未送信メール詳細画面で表示される文字の大きさを変更します。 受信 / 送信 / 未送信メール詳細画面で <input type="checkbox"/> を押しても文字の大きさを変更することができます。

*1：受信メール詳細画面の場合のみ表示されます。

*2：受信メール詳細画面のEメール選択時のみ表示されます。

*3：送信メール詳細画面と未送信メール詳細画面の場合のみ表示されます。

*4：未送信メール詳細画面の送信待ちEメール選択時のみ表示されます。

*5：本体メモリからmicroSDカードへの移動や、microSDカードから本体メモリへの移動はできません。

*6：受信メール詳細画面と送信メール詳細画面のEメール選択時のみ表示されます。

メールを削除する

E メール SMS

ご注意

- 一度削除したメールは復元できません。まとめて削除する場合は特にご注意ください。

■ 受信/送信/未送信BOX（メール一覧）画面から削除する

受信/送信/未送信BOX（メール一覧）画面で **カワ** **【メニュー】** ▶ **「削除」** を選択し、**■** **【決定】**

以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> 1件	▶ 「Yes」 を選択し、 ■ 【決定】 選択したメールを削除します。						
<input type="checkbox"/> 2 選択	▶ 削除するメールを選択し、 ■ 【決定】 を繰り返す ▶ カワ 【削除】 ▶ 「Yes」 を選択し、 ■ 【決定】 複数のメールを選択して削除します。選択したメールには「  」が表示されます。選択を解除するには、選択済みのメールを再度選択し、 ■ 【決定】 を押しします。						
<input type="checkbox"/> 3 全件	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>下書きのみ削除*1</td> <td rowspan="5">▶ 暗証番号を入力 ▶ 「Yes」 を選択し、■ 【決定】 選択した条件に合ったすべてのメールを削除します。</td> </tr> <tr> <td>送信待ちのみ削除*1</td> </tr> <tr> <td>既読のみ削除*2</td> </tr> <tr> <td>保護以外削除</td> </tr> <tr> <td>全件削除</td> </tr> </tbody> </table>	下書きのみ削除*1	▶ 暗証番号を入力 ▶ 「Yes」 を選択し、 ■ 【決定】 選択した条件に合ったすべてのメールを削除します。	送信待ちのみ削除*1	既読のみ削除*2	保護以外削除	全件削除
下書きのみ削除*1	▶ 暗証番号を入力 ▶ 「Yes」 を選択し、 ■ 【決定】 選択した条件に合ったすべてのメールを削除します。						
送信待ちのみ削除*1							
既読のみ削除*2							
保護以外削除							
全件削除							

*1：未送信BOXのみ表示されます。

*2：受信BOXのみ表示されます。

お知らせ

- 受信BOX（フォルダ一覧）画面の場合は、フォルダ内のメールをすべて削除できます（「受信BOX（フォルダ表示）画面のメニューを使う」113ページ）。

■ メール詳細画面から削除する

受信/送信/未送信メール詳細画面で **カワ** **【メニュー】** ▶ **「削除」** を選択し、**■** **【決定】** ▶ **「Yes」** を選択し、**■** **【決定】**

■ メールデータをまとめて削除する

受信/送信/未送信BOX内の本体メモリ/microSDカードに保存されたすべてのメールデータ、Eメールの送信履歴、受信履歴を削除することができます。

待受画面で **メール** ▶ **9** **【設定】** ▶ **1** **【メール使用状況】** ▶ **カワ** **【全削除】** ▶ 暗証番号を入力 ▶ **1** **【はい】**

メールを保護する

E メール SMS

送受信したメールは、本機の最大件数または最大容量を超えると、送受信日時の古い既読メールから自動的に削除されます。大事なメールが自動削除されたり、誤って削除してしまわないように保護を設定することができます。

受信/送信/未送信BOX（メール一覧）/メール詳細画面で **カワ** **【メニュー】** ▶ **「保護/保護解除」** を選択し、**■** **【決定】**

設定した保護を解除する場合は、もう一度同じ操作を行ってください。

お知らせ

- 保護されたメールには、「」が表示されます。
- Eメールで保護できる最大件数に制限はありません。
- SMSの保護設定の最大件数は、受信BOXが50件、送信BOXと未送信BOXが合わせて15件です。

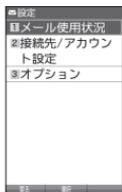
● 便利な設定を使う

Eメール SMS

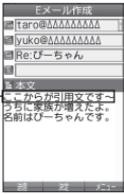
メール機能に関する各種設定を行います。

待受画面で **メール** ▶ **9** 「設定」

メール設定画面



以下の項目から選択します。

<p>1 メール使用状況</p>	<p>本体メモリのEメールの使用状況を確認します。microSDカードの使用状況は、microSDカードの「空きフォルダ容量」から確認することができます。（「データフォルダのメニューを使う」186ページ）。また、受信/送信/未送信BOX内の本体メモリ/microSDカードに保存されたすべてのメールデータ、Eメールの送信履歴、受信履歴を削除することができます。（「メールのデータをまとめて削除する」117ページ）。</p>	
<p>2 接続先/アカウント設定</p>	<p>メール接続先の選択、アカウントの各種設定、送信/受信メールアカウント設定を行います。（「接続先を設定する」119ページ）。</p>	
<p>3 オプション</p>	<p>1 返信メール本文引用</p> <p>お買い上げ時：「引用しない」</p>	<p>▶ 「引用する」または「引用しない」を選択し、<input type="checkbox"/>【決定】 ▶ 「OK」を選択し、<input type="checkbox"/>【決定】</p> <p>引用文入力例</p>  <p>↓</p>  <p>引用文</p>
<p>2 受信フォルダ表示</p> <p>お買い上げ時：「表示する」</p>	<p>▶ 「表示する」または「表示しない」を選択し、<input type="checkbox"/>【決定】</p> <p>受信BOX画面の表示を、フォルダ分けするかどうかを設定します。「表示する」を選択すると、「受信BOX」と「ユーザ受信BOX1」～「ユーザ受信BOX8」のフォルダが表示され、用途に応じた使い分けをすることができます。「表示しない」を選択すると、受信したすべてのEメールを一覧表示することができます。</p>	
<p>3 Eメール保存先選択</p> <p>お買い上げ時：「本体」</p>	<p>本体</p>	<p>Eメールを本体メモリに保存するように設定します。</p> <p>microSD</p> <p>EメールをmicroSDカードに保存するように設定します。</p>
<p>4 音楽自動再生</p> <p>お買い上げ時：「自動再生する」</p>	<p>▶ 「自動再生する」または「自動再生しない」を選択し、<input type="checkbox"/>【決定】</p> <p>Eメールを詳細表示したときに添付されている音楽（MIDI）ファイルを自動再生するかどうかを設定します。</p>	

3 オプション	5 SMS配信レポート お買い上げ時： 「受信する」	▶ 「受信する」または「受信しない」を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 送信したSMSを相手が受け取ったかどうかの通知を受信するか設定します。
----------------	---	---

お知らせ

- 受信フォルダ表示を「表示する」に設定すると、すべてのメールは「受信BOX」または「ユーザ受信BOX1」～「ユーザ受信BOX8」に保存されます。受信フォルダ表示を「表示しない」に設定した場合は、メールを選択する手順が異なります（「受信BOXから受信したメールを読む」107ページ）。
- 受信フォルダ表示を「表示しない」に設定しても、受信BOX画面でメールの移動を行うことができます（「受信／送信／未送信BOX（メール一覧）画面のメニューを使う」115ページ、「受信／送信／未送信メール詳細画面のメニューを使う」116ページ）。
- 「Eメール保存先選択」で「microSD」を選択しても、microSDカード未挿入時は本体メモリに保存されます。
- 「受信BOX」に保存できる件数や容量を超えると、「Eメール保存先選択」で設定した本体メモリまたはmicroSDカードに保存されている古い既読メールから自動的に削除されます。ただし、「Eメール保存先選択」で保存先をmicroSDカードに設定していても、microSDカードが挿入されていない場合は本体メモリに保存されている古い既読メールから自動的に削除されます。

接続先を設定する

E メール

メール設定画面で **2** 「接続先／アカウント設定」を押す

以下の項目から選択します。

1 メール接続先 お買い上げ時： 「Y!mobile」	▶ 1 「接続先1」、 2 「接続先2」、または 3 「Y!mobile」 複数のアカウントを登録している場合、メールの接続先を選択します。接続先を設定するには、「ダイヤルアップを設定する」（155ページ）をご参照ください。				
2 アカウント設定	署名、差出人名など、アカウントごとの各種設定をします。また、追加アカウントもここから登録します（「アカウントごとの各種設定をする」120ページ）。				
3 Eメール送受信設定 お買い上げ時： 「Eメール」	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="280 736 446 848"> 1 送信メールアカウント お買い上げ時： 「Eメール」 </td> <td data-bbox="446 736 941 848"> ▶ 1 「メールアカウント1」～3 「Eメール」 ▶ 【登録】 複数のアカウントを登録している場合、メールを送信するアカウントを選択します。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="280 848 446 963"> 2 受信メールアカウント お買い上げ時： 「Eメール」【ON】 </td> <td data-bbox="446 848 941 963"> ▶ 1 「メールアカウント1」～3 「Eメール」 ▶ 1 「ON」または2 「OFF」 ▶ 【登録】 複数のアカウントを登録している場合、メールを受信するアカウントを選択します。アカウントを複数選択した場合は、一括受信となります。 </td> </tr> </table>	1 送信メールアカウント お買い上げ時： 「Eメール」	▶ 1 「メールアカウント1」～ 3 「Eメール」 ▶ 【登録】 複数のアカウントを登録している場合、メールを送信するアカウントを選択します。	2 受信メールアカウント お買い上げ時： 「Eメール」【ON】	▶ 1 「メールアカウント1」～ 3 「Eメール」 ▶ 1 「ON」または 2 「OFF」 ▶ 【登録】 複数のアカウントを登録している場合、メールを受信するアカウントを選択します。アカウントを複数選択した場合は、一括受信となります。
1 送信メールアカウント お買い上げ時： 「Eメール」	▶ 1 「メールアカウント1」～ 3 「Eメール」 ▶ 【登録】 複数のアカウントを登録している場合、メールを送信するアカウントを選択します。				
2 受信メールアカウント お買い上げ時： 「Eメール」【ON】	▶ 1 「メールアカウント1」～ 3 「Eメール」 ▶ 1 「ON」または 2 「OFF」 ▶ 【登録】 複数のアカウントを登録している場合、メールを受信するアカウントを選択します。アカウントを複数選択した場合は、一括受信となります。				

ご注意

- 送信／受信メールアカウントは、追加アカウントを登録していない場合、設定の必要はありません。
- オンラインサインアップで取得したワイモバイルのアカウントの送受信を行う場合は、メール接続先を「Y!mobile」に設定してください。

お知らせ

- 「メール接続先」の設定では、「ダイヤルアップ設定」で設定した「接続先名称」が表示されます（「ダイヤルアップを設定／解除する」155ページ）。

アカウントごとの各種設定をする

Eメール

本機に登録されているメールアカウントごとに、差出人名や署名などの各種設定をします。オンラインサインアップで取得したワイモバイルが提供するEメールのアカウントの場合は、Eメールの自動受信に関する設定もここで行えます。一般プロバイダーのアカウントを使用する場合は、追加アカウントとして手動でEメールアドレスなどの情報を登録しておく必要があります（「ダイヤルアップを設定する」155ページ）。

メール設定画面で

アカウント 選択画面

- 1 [2]「接続先/アカウント設定」▶ [2]「アカウント設定」▶ 「アカウント1」、
「アカウント2」、または「Eメール」を選択し、「選択」

アカウント選択画面では、オンラインサインアップで取得したワイモバイルのアカウント「Eメール」を含め、3つのアカウント項目が表示されます。



以下の項目から選択します。表示される項目は、選択したアカウントにより異なります。

受信行数制限設定 お買い上げ時： 「OFF」	▶ <input type="checkbox"/> 「ON」または <input type="checkbox"/> 「OFF」 受信する一通あたりのメールデータ量（行数）を制限するかどうかを選択します。受信行数を少なく設定することで、通信料を低くおさえることができます。ただし、制限を超えるデータは削除され、不完全な状態で受信します。このため、添付ファイルの表示/再生ができなかったり、添付ファイルの一部が本文に文字化けして表示されることがあります。				
受信行数 お買い上げ時： 「600」	「受信行数制限設定」を <input type="checkbox"/> 「ON」に設定したときに、受信するメールの行数を入力します。入力できる数値は0~999までです。				
Eメール削除設定 お買い上げ時： 「削除」	▶ <input type="checkbox"/> 「保存」または <input type="checkbox"/> 「削除」 Eメール受信時にサーバー上のメールを削除するかどうかの設定をします。サーバーにEメールを保存しておく、データ通信などを利用して、パソコン側で再度同じEメールを受信することができます。また、サーバーに保存されたEメールの蓄積容量がいっぱいになると、それ以降に届いたEメールは保存できずに削除されてしまうため、受信することができなくなります。 <input type="checkbox"/> 「保存」に設定すると、Eメール受信に時間がかかることがあります。 <input type="checkbox"/> 「削除」に設定すると、次のメール受信時にサーバーに保存してあるメールがすべて削除されます。				
返信先アドレス お買い上げ時： 「OFF」	▶ <input type="checkbox"/> 「ON」または <input type="checkbox"/> 「OFF」 受信した相手先が返信する際の返信先Eメールアドレスを、本機以外のEメールアドレスに設定するときは、 <input type="checkbox"/> 「ON」を選択してください。続けて「アドレス」欄にEメールアドレスを入力してください。				
アドレス	返信先アドレスを <input type="checkbox"/> 「ON」に設定したときに、返信先Eメールアドレスを入力します。入力できる文字数は半角で64文字までです。				
署名設定 お買い上げ時： 「付加しない」	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>署名</td> <td> ▶ <input type="checkbox"/>「付加する」または<input type="checkbox"/>「付加しない」 メール本文に署名を付加するかどうかを選択します。Eメール作成時に反映される署名は、接続先（119ページ）に設定されている送信メールアカウントの署名です。 </td> </tr> <tr> <td>署名入力</td> <td> 署名を<input type="checkbox"/>「付加する」に設定したときに、メール本文に付加する署名を入力します（全角で128文字、半角で256文字まで）。署名は送信メール本文の文字数にカウントされます。 </td> </tr> </tbody> </table>	署名	▶ <input type="checkbox"/> 「付加する」または <input type="checkbox"/> 「付加しない」 メール本文に署名を付加するかどうかを選択します。Eメール作成時に反映される署名は、接続先（119ページ）に設定されている送信メールアカウントの署名です。	署名入力	署名を <input type="checkbox"/> 「付加する」に設定したときに、メール本文に付加する署名を入力します（全角で128文字、半角で256文字まで）。署名は送信メール本文の文字数にカウントされます。
署名	▶ <input type="checkbox"/> 「付加する」または <input type="checkbox"/> 「付加しない」 メール本文に署名を付加するかどうかを選択します。Eメール作成時に反映される署名は、接続先（119ページ）に設定されている送信メールアカウントの署名です。				
署名入力	署名を <input type="checkbox"/> 「付加する」に設定したときに、メール本文に付加する署名を入力します（全角で128文字、半角で256文字まで）。署名は送信メール本文の文字数にカウントされます。				
差出人名称 お買い上げ時： 「未設定」	メール送信時に相手先で表示されるお客様の名前を設定します（全角で16文字、半角で32文字まで）。半角カタカナは使用できません。				

Eメール自動受信機能*1	ワイモバイルが提供するEメールのアカウントで、Eメール自動受信通知を受信したときの動作を設定します。あらかじめオンラインサインアップを行ってから設定を行ってください。		
	Eメール自動受信機能	▶ <input type="checkbox"/> 「ON」 または <input type="checkbox"/> 「OFF」	
	お買い上げ時： 「ON」	新しいEメールがメールサーバーに届いたときにEメールを自動で受信するかどうかを選択します（オンラインサインアップで「Eメール自動受信」の設定をした場合のみ）。	
自動受信回数設定	▶ <input type="checkbox"/> 「1回」、 <input type="checkbox"/> 「2回」、または <input type="checkbox"/> 「3回」		
	お買い上げ時： 「1回」	Eメール自動受信機能を「ON」に設定したときに、Eメール自動受信サーバーへのお問い合わせ回数を設定します。	
メールサーバー設定*2	センタ名称設定	メールサーバーの名称を入力します（全角で8文字、半角で16文字まで）。	
	メールアドレス	自分のメールアドレスを入力します（半角で64文字まで）。	
	送信サーバー (SMTP)	SMTPサーバーのアドレスを入力します（半角で64文字まで）。	
	受信サーバー (POP)	POPサーバーのアドレスを入力します（半角で64文字まで）。	
	アカウント名	メールサーバーで利用者を識別するために使用するアカウント名（ユーザ名）を入力します（半角で64文字まで）。	
	パスワード	メールサーバーにアクセスするときに必要なパスワードを入力します（半角で128文字まで）。	
	サーバー詳細設定*3	SMTPポート番号	SMTPサーバーのポート番号を入力します。入力できるポート番号は0～65535までです。
		POPポート番号	POPサーバーのポート番号を入力します。入力できるポート番号は0～65535までです。
		SMTP認証	▶ <input type="checkbox"/> 「ON」 または <input type="checkbox"/> 「OFF」 送信メールサーバーに接続するときに、SMTP認証を行う場合は <input type="checkbox"/> 「ON」に設定します。
		SMTPアカウント名	SMTP認証を <input type="checkbox"/> 「ON」に設定したときに、送信メールサーバーに接続するときのアカウント名（ユーザ名）を入力します（半角で64文字まで）。
SMTPパスワード		SMTPアカウント名のパスワードを入力します（半角で128文字まで）。	
POPbeforeSMTP		▶ <input type="checkbox"/> 「ON」 または <input type="checkbox"/> 「OFF」 メール送信時に、サーバー側でPOPbeforeSMTPによる認証を行う場合は <input type="checkbox"/> 「ON」に設定します。	
POPbeforeSMTP待ち時間		POPbeforeSMTPを <input type="checkbox"/> 「ON」に設定したときに、POPサーバーとの接続後、SMTPサーバーに接続するまでの秒数を入力します。設定できる待ち時間は0～60秒までです。	
認証方式設定		▶ <input type="checkbox"/> 「POP」 または <input type="checkbox"/> 「APOP」 POP認証時に使用する認証方式を設定します。	

*1：オンラインサインアップで取得したワイモバイルのアカウント「Eメール」でのみ選択できます。

*2：オンラインサインアップで取得したワイモバイルのアカウント「Eメール」の場合は、設定を変更することができません。

*3：「サーバー詳細設定」の詳細については、プロバイダーにお問い合わせください。

2 □ [登録] または かろ [登録]



- 「メールサーバー設定」の入力例については、「アカウントを設定する」（122ページ）手順2の画面をご参照ください。

● 一般プロバイダーのEメールを設定する

お客様がすでにご契約されているプロバイダーのメールアカウントを利用してEメールを送受信する場合は、以下の方法で設定します。

● ご注意

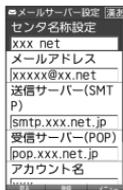
- 設定を行う前に、以下の点に注意してください。
 - ・ご利用のメールサーバーがPOP3/SMTPに対応していることをご確認ください。
 - ・プロバイダー加入時に送られてくる、ご契約内容が書かれた用紙をお手元にご用意ください。設定情報が不明の場合は、各プロバイダーへお問い合わせください。
 - ・「発信者番号通知」(52ページ)が「ON」になっていることをご確認ください。
 - ・プロバイダーによってはワイモバイル電話機で接続する場合、別途ご契約やお申し込みが必要になります。詳細は各プロバイダーへお問い合わせください。

アカウントを設定する

待受画面で

- 1 **「メール」 ▶ 「9」 「設定」 ▶ 「2」 「接続先/アカウント設定」 ▶ 「2」 「アカウント設定」 ▶ 「アカウント1」**
または**「アカウント2」**を選択し、 **「選択」**
- 2 **「メールサーバー設定」**を選択し、 **「選択」** ▶ **プロバイダーとのご契約内容が書かれた用紙を見ながら、以下の項目を設定する**

センタ名称設定	お好みの名称を入力します(全角で8文字、半角で16文字まで)。
メールアドレス	ご契約されているプロバイダーのメールアドレスを入力します(半角で64文字まで)。
送信サーバー (SMTP)	プロバイダーのご契約内容を確認しながら入力します(半角で64文字まで)。
受信サーバー (POP)	プロバイダーのご契約内容を確認しながら入力します(半角で64文字まで)。
アカウント名	メールアカウントを入力します(半角で64文字まで)。プロバイダーによっては、「ユーザID」の名称を使用しています。
パスワード	メールのパスワードを入力します(半角で128文字まで)。
サーバー詳細設定	プロバイダーから特に指定がない限り設定は不要です(必要に応じて各プロバイダーにお問い合わせください)。



- 3 **「登録」** または **「キャンセル」** **「登録」** ▶ **メールアカウント設定に必要な項目を設定し、 「登録」**
または **「キャンセル」** **「登録」**

● ご注意

- 一般プロバイダーのメールは、自動受信できません。

● お知らせ

- メールアカウント設定の詳細については、「アカウントごとの各種設定をする」(120ページ)をご参照ください。



メールアカウントを切り替える

複数のメールアカウントを設定している場合、メールアカウントを切り替えてEメールを送受信することができます。

ここでは、ワイモバイル経由で接続し、お客様が設定したプロバイダーのメールアカウントでEメールを送受信するための設定について説明します。オンラインサインアップをすることにより、ワイモバイル経由でのEメールの送受信が可能になります。

待受画面で

1 ▶ 9 ▶ 2 ▶ 3

■ 送信メールアカウントの場合

2 1 ▶ 1 ~ 3 ▶

■ 受信メールアカウントの場合

2 2 ▶ 1 ~ 3 ▶ 1 ▶

インターネットの使いかた

● インターネット機能について

本機に搭載されたブラウザ（「ブラウザについて」126ページ）によって、簡単な操作でWebページをお楽しみいただけます。

- Webページから画像やメロディをダウンロードし、本機で画像やメロディを壁紙や着信メロディとして利用することができます（「ダウンロードのしかた」129ページ）。
- ワイモバイルの公式サイト（132ページ）にアクセスすることで、ワイモバイル電話機向けに作られたさまざまなコンテンツをお楽しみいただけます。

● ご注意

- インターネットの説明ページで本書に掲載されている画面のレイアウトや表示内容は、ひとつの例であり、変更される場合があります。
- Webページの表示は、電波状況やインターネットの混雑によって時間がかかる場合があります。
- パケット方式でインターネットに接続すると、お客様がご契約されている料金コースによってはパケットを送受信するたびに料金が発生しますのでご注意ください。料金について詳しくはワイモバイルにお問い合わせください（「ワイモバイルへのお問い合わせ」裏表紙）。
- PIAFS方式でインターネットに接続すると、接続中は通信料金が発生しますのでご注意ください。料金について詳しくはワイモバイルにお問い合わせください（「ワイモバイルへのお問い合わせ」裏表紙）。
- Webページには、一部の方に不快感を与えるものも存在します。ご利用に関してはご注意ください。よろしくお願いいたします。
- インターネット上のコンテンツサービスやWebページの文章、画像、動画、メロディデータなどは、一般的に著作権法で保護されています。これらの内容は個人として楽しむ以外に著作権者の許可を得ずそのまま、または改変して販売したり、再配布することはできません。

● お知らせ

- ブラウザでWebページを表示するときサーバーから受信した情報は、本機に一時的に保存されます。これをキャッシュといいます。

インターネットを使うための接続先を設定する

本機では、インターネットの接続先（アカウント）を切り替えて利用することができます。一般プロバイダーやお客様の会社などのネットワークからインターネットに接続できます。詳細については、「ダイヤルアップを設定する」（155ページ）をご参照ください。

セキュリティ通信について

本機のブラウザでは特別な操作なしで、SSL（Secure Sockets Layer）やTLS（Transport Layer Security）に対応したWebページを表示することができます。SSLやTLSに対応したページを利用すると、本機を操作してインターネットでお買い物をするときなどに、お客様の住所や電話番号、クレジットカード番号などの大事な個人情報を本機から送信しても、第三者に見られたり、盗まれたりしないように、送信データが保護されます。

● ご注意

- 当社は、お客様に対しSSL/TLS対応ページの安全性に関して何ら保証を行うものではありません。お客様ご自身の責任と判断により、SSL/TLS対応ページをご利用ください。

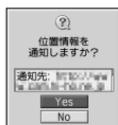
● お知らせ

- 本機のブラウザは、URLが「https://～」で始まるWebページにアクセスしたときに、SSL/TLS対応ページと判断し、SSL/TLSの認証が完了すると、画面上に「」を表示してお知らせします。
- SSL/TLSページにアクセスするために必要なCA証明書について、WEBメニューから確認したり、有効/無効を設定することができます（「ブラウザの環境設定」144ページ）。

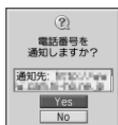
■ 端末情報の通知

Webページによってはサービスの提供のために、お客様の位置情報、電話番号、メールアドレスの通知を要求する場合があります。このような場合には、情報を送信するかどうかの確認画面が表示されます。

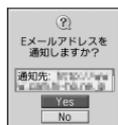
位置情報通知画面



電話番号通知画面



メールアドレス通知画面



● ご注意

- インターネット上で端末情報（電話番号やEメールアドレスなど）を送信すると、場合によっては第三者に知られてしまう可能性があります。あらかじめご了承ください。
- インターネット上には、上記の場合のほかにも、お客様のメールアドレスなどを入力できる掲示板などが存在しますが、個人情報の取り扱いには十分にご注意ください。
- 確認画面は実際と異なる場合があります。
- インターネット上には、製造番号や固体認識番号を求めてくるWebページが存在しますが、そのWebページにはアクセスできない場合があります。

● ブラウザについて

本機のブラウザは、ワイモバイル電話機や携帯電話向けに作成されたWebページのほか、パソコン向けに作成されたWebページも表示することができます。

● ご注意

- パソコン向けのWebページは、一部表示できない場合があります。また、インターネット上のCGI(掲示板など、ブラウザからの要求でサーバーに保存されたプログラムを実行するしくみ)を利用したWebページは、一部利用できない場合があります。
- お客様のご利用環境や個別の情報サービスの内容までは保証いたしかねますので、Webページの検証や動作保証はいたしません。お客様の責任においてご利用ください。
- 操作ロック(229ページ)の「WEB」が「禁止」に設定されているときは、ブラウザをご利用になれない場合、または、ご利用の際に暗証番号の入力が必要となる場合があります。
- 管理者ロックの「ブックマークからのWEB接続に限定」(243ページ)が「限定する」に設定されているときは、ブックマークに登録されていないURLへの接続はできません。

表示モード

本機のブラウザには、多くのWebページを快適に表示するため、以下の2種類の表示モードが用意されています。

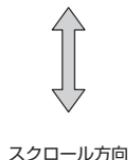
・「ケータイモード」 ・「デスクトップモード」

各表示モードによってWebページの表示のしかたが異なります。お好みの表示モードに切り替えてご利用ください(「ブラウザの表示モードを切り替える」129ページ、「WEBメニューについて」132ページ)。

ケータイモード

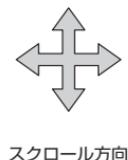
Webページを本機の画面サイズに合わせ、幅240ドットに固定しWebページの内容を表示します(画像も最大240ドット幅に縮小されます)。このモードでは、で項目の選択やWebページのスクロールができます。

また、「ユーザエージェント」(145ページ)は「Y!mobile」に固定されます。



デスクトップモード

Webページの内容をパソコンと同様なレイアウトで表示します。このモードではポインタ(144ページ)が利用できます。で項目の選択やWebページのスクロールができます。



● ご注意

- 表示モードを変更すると、Webページによっては、表示できない場合があります。

● お知らせ

- フレームで分割されたWebページも表示できますが、Webページ上のほとんどの要素がメインディスプレイ表示幅を超えて表示されるため、全体を把握できない場合があります。フレームで分割されたWebページの場合、選択したフレームのみをひとつのWebページとして表示させることができます(「タブを操作する」136ページ)。

● ブラウザの基本操作

■ ブラウザの起動と終了

■ ブラウザを起動し、「ホーム」にアクセスする

ブラウザを起動し、「ホーム」(132ページ)にアクセスします。

 **WEB**を長く(1秒以上)押す



- Webページの情報を受信しているときは、メインディスプレイで「」が点滅します。
- 「ホーム」はお客様のお好みで変更することができます(「ブラウザの環境設定」146ページ)。
- 通信中のメール受信設定を「起動」にしていると、インターネット利用中でもEメール/SMSが受信できます(「通信中のメール受信を設定する」262ページ)。

■ ブラウザを終了する

Webページ表示中に を2回押す

ブラウザを終了します。



- を1回押すと、表示画面はそのままオフラインになります。

ブラウザでの主なキー操作について

ブラウザを使ってWebページにアクセスしたときのキー操作は、以下のとおりです。

	フォーカス/ポイント/表示を上下に移動します。	
	「ケータイモード」の場合	「戻る」の役割をします。
	「デスクトップモード」の場合	フォーカス/ポイント/表示を左に移動します。
	「ケータイモード」の場合	「進む」の役割をします。
	「デスクトップモード」の場合	フォーカス/ポイント/表示を右に移動します。
	<ul style="list-style-type: none"> Webページ表示中に押すと、「ケータイモード」または「デスクトップモード」への切り替えができます（「ブラウザの表示モードを切り替える」129ページ）。 音が再生されるWebページを表示中に長く（2秒以上）押すと、再生音量の選択画面が表示され、音量を変更できます。 	
	「戻る」の役割をします。本機は表示したWebページの履歴を10件まで記憶しており、すでに表示した前のページを表示することができます。	
	<ul style="list-style-type: none"> Webページ表示中に、フォーカス/表示を画面単位で上に移動します。 Webページ表示中に、長く（1秒以上）押すと画面を拡大（ズームイン）することができます。 	
	<ul style="list-style-type: none"> Webページ表示中に、フォーカス/表示を画面単位で下に移動します。 Webページ表示中に、長く（1秒以上）押すと画面を縮小（ズームアウト）することができます。 	
	公式サイトなど、ワイモバイル電話機や携帯向けのWebページで、数字付きのメニューが表示されている場合は、該当項目を選択します。文字入力にも使用します。	
	「選択/決定」の役割をします。リンクなどにフォーカスを合わせた後、画面下部中央の操作ガイド表示エリアが【決定】などになっている場合に使用します。	
	表示画面はそのままオフラインになります。オフライン状態で再度を押すと、Webページの表示を中止し、呼び出し元の画面に戻ります。	
	Webページ表示中に、画面下部左端の操作ガイド表示エリアに【戻る】や【終了】などが表示されている場合に使用します。	
	Webページ表示中に、画面下部右端の操作ガイド表示エリアに【メニュー】などが表示されている場合に使用します。	

お知らせ

- 「ケータイモード」でWebページを表示しているときは、Webページ表示中のリンクやボタンなどが左右に並んでいる場合でもで選択します。
- は、以下のようなWebページでの入力操作にも使用します。

テキストボックス	チェックボックス	ラジオボタン	プルダウンメニュー
		<input checked="" type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性	
目的のテキストボックスを選択し、【決定】で文字を入力	目的のチェックボックスを選択し、【決定】	目的のラジオボタンを選択し、【決定】	目的のプルダウンメニューを選択し、【決定】 で目的の項目を選択し、【決定】

ブラウザの表示モードを切り替える

Webページを表示中に、表示モードを切り替えます。

Webページ表示中に  ▶ 「ケータイモード」または「デスクトップモード」を選択し、 [決定]



- 表示モードの切り替えはWEBメニュー（132ページ）、Webページ表示中のメニュー（135ページ）、またはツールバー（139ページ）から行うことができます。

ダウンロードのしかた

ブラウザからインターネット上の画像や動画、メロディをダウンロードできます。本機に対応した以下のファイル形式であれば、画像や動画、メロディを壁紙や着信メロディとしてご利用いただけます。

- ・ダウンロードしたデータは、データの種類に応じてデータフォルダ（本体メモリのメインフォルダ）に保存されます（「保存できるデータの種類」178ページ）。データをmicroSDカードに直接ダウンロードすることはできません。
- ・本機では表示／再生できないデータもダウンロードはできます。

データ種別	ブラウザで表示／再生できるファイル形式
画像	JPEG、GIF、BMP、PNG
動画	SWF
メロディ	feelsound（64和音のみ）、MIDI（SMFフォーマット0／1対応）

- ・インターネット上の画像やメロディの著作権を保護する目的で、データの一部には以下のような使用上の制限が課せられている場合があります。
 - ・WEB接続中のみ再生が可能で、データフォルダへの保存はできない。
 - ・ダウンロードしデータフォルダへの保存は可能だが、データフォルダからの転送やEメール添付しての送信はできない。

例：Webページ上にあるMIDIデータをダウンロードする

MIDIデータにフォーカスを合わせた状態で  [決定] ▶ 「保存」を選択し、 [決定]

▶ 保存ファイル名を入力し、 [確定]



- インターネット上のコンテンツサービスやWebページの文章、画像、動画、メロディデータなどは、一般的に著作権法で保護されています。これらの内容は個人として楽しむ以外に著作権者の許可を得ずそのまま、または改変して販売したり、再配布することはできません。
- ダウンロードした画像データのファイル形式によっては、本機の最大表示色数で表示されない場合があります。また、本機のディスプレイ性能により、画像データの持つ色を完全に表現できない場合があります。
- MIDIデータのファイル形式によっては、正しく再生できないものもあります。
- 本機に保存した画像、動画、メロディ、Webページやブックマークなどの登録内容は消えることがあります。万一、登録内容が消失した場合でも当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- すでにデータフォルダに保存されているデータと同じファイル名のデータをダウンロードする場合は、警告メッセージが表示されます。この場合は、ダウンロードするデータを別のファイル名に編集して保存してください。
- 拡張子が「.mp3」のデータはダウンロードできません。



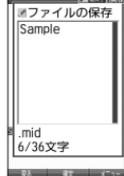
- Webページ上で、ダウンロードを目的とせずに掲載されている画像やBGMも保存できる場合があります（「表示中のWebページ内で各種操作をする」137ページ）。
- 画像の場合は、画像そのものかサムネイル表示がリンクになっている場合があります。
- 保存確認画面の表示は、データの種類によって異なります。
- データを保存する際に、データのファイル名をお好みに編集することができます。

保存確認画面
(MIDIの場合)



↓

ファイル保存画面



ブックマークについて

繰り返しアクセスしたいお気に入りのWebページをブックマークに登録しておく、次回から簡単な操作で、登録したWebページにアクセスすることができるようになります（「ブックマークに登録したWebページにアクセスする」130ページ）。

■ 表示中のWebページをブックマークに登録する

Webページを表示中に、表示しているWebページを「ブックマーク」に登録できます。ブックマークは200件まで登録できます。

Webページ表示中に  **[メニュー]** ▶ **[5]** **「ブックマーク」** ▶ **[1]** **「ブックマーク登録」** ▶ **タイトルを入力または編集** ▶ **「Yes」** を選択し、**[決定]**

ご注意

- フォルダを作成（141ページ）している場合は、フォルダもブックマーク1件として扱われます。
- ページメモを表示している場合は、ブックマークに登録できません。

お知らせ

- 登録したブックマークの内容は、変更することができます（「ブックマーク一覧画面のメニューを使う」141ページ）。

■ ブックマークに登録したWebページにアクセスする（ブックマーク一覧）

ブックマークに登録したWebページは、ブックマーク一覧から選択して接続することができます。

待受画面で **WEB** ▶ **[3]** **「ブックマーク」**（**フォルダを選択し、[決定]**）* ▶ **ブックマークを選択し、[決定]**

*：フォルダ（141ページ）にあるブックマークを選択する場合に操作します。

お知らせ

- Webページ表示中に、ブックマーク一覧を呼び出してアクセスするには、以下の手順で行います。
Webページ表示中に  **[メニュー]** ▶ **[5]** **「ブックマーク」** ▶ **[2]** **「ブックマーク」**（**フォルダを選択し、[決定]**）* ▶ **ブックマークを選択し、[決定]**
*：フォルダ（141ページ）にあるブックマークを選択する場合に操作します。

Webページ上の情報を利用する

表示しているWebページ上にあるEメールアドレス、電話番号、またはURLの情報を利用することができます。

■ URLの情報を利用する

URLのリンクがある場合には以下のように操作します。

Webページ表示中に **URLへのリンクを選択し、[決定]** を長く（1秒以上）押す

以下の項目から選択します。

[1] 開く	選択したURLのWebページを開きます。
[2] 新しいタブで開く	選択したURLのWebページを新しいタブで開きます。
[3] ブックマーク登録	▶ タイトルを入力または編集 ▶ 「Yes」 を選択し、 [決定] 選択したURLをブックマークに登録します（「ブックマークについて」130ページ）。
[4] コピー	URLをコピーします（72ページ）。コピーしたURLは別の画面へ貼り付け（ペースト）することができます。

■ Eメールアドレス、電話番号の情報を利用する

Eメールアドレスや電話番号のリンクがある場合には以下のように操作します。

Webページ表示中に **Eメールアドレスまたは電話番号へのリンクを選択し、【決定】**

■ Eメールアドレスの場合

以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> Eメール作成	選択したリンク先のEメールアドレスを宛先としたEメールを作成します（「Eメール（テキストメール/デコラティブメール）を作成して送信する」94ページ）。
<input type="checkbox"/> 電話帳登録	<input type="checkbox"/> 新規 選択したリンク先のEメールアドレスを電話帳に新規登録します（「電話帳データの各項目を登録する」76ページ）。 <input type="checkbox"/> 追加 <input type="checkbox"/> 追加登録する電話帳データを選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 <input type="checkbox"/> 登録先を「Eメールアドレス1～3」から選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 <input type="checkbox"/> 【登録】 <input type="checkbox"/> 【はい】すでに登録されている電話帳データに、Eメールアドレスを追加登録します。追加登録したい項目にすでに登録したデータがある場合、その状態で <input type="checkbox"/> 【選択】を押すと、上書きされます。
<input type="checkbox"/> コピー	Eメールアドレスをコピーします（72ページ）。コピーしたEメールアドレスは別の画面へ貼り付け（ペースト）することができます。

上記項目の利用後は、Webページ表示画面に戻ります。

■ 電話番号の場合

以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> 発信	<input type="checkbox"/> 【発信】を押す 選択したリンク先の電話番号に電話をかけます。また、電話番号を編集して電話をかけることもできます（48ページ）。
<input type="checkbox"/> SMS作成	選択したリンク先の電話番号を宛先としたSMSを作成します（「SMSを作成して送信する」103ページ）。
<input type="checkbox"/> 電話帳登録	<input type="checkbox"/> 新規 選択したリンク先の電話番号を電話帳に新規登録します（「電話帳データの各項目を登録する」76ページ）。 <input type="checkbox"/> 追加 <input type="checkbox"/> 追加登録する電話帳データを選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 <input type="checkbox"/> 登録先を「電話番号1～3」から選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 <input type="checkbox"/> 【登録】 <input type="checkbox"/> 【はい】すでに登録されている電話帳データに、電話番号を追加登録します。追加登録したい項目にすでに登録したデータがある場合、その状態で <input type="checkbox"/> 【選択】を押すと、上書きされます。
<input type="checkbox"/> コピー	電話番号をコピーします（72ページ）。コピーした電話番号は別の画面へ貼り付け（ペースト）することができます。

・リンク先の電話番号に電話をかけたとき、通話中画面で`web`を長く（1秒以上）押すごとに、ブラウザ画面と通話中画面を切り替えることができます。ただし、通話中にブラウザ画面に切り替えても、Webページの操作は行えません。

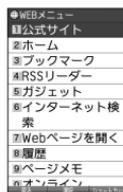
● ブラウザのメニューについて

ブラウザのメニューを利用して、さまざまな方法でWebページにアクセスしたり、環境設定をすることができます。

WEBメニューについて

待受画面で **WEB**を押す

WEBメニュー



以下の項目から選択します。

1 公式サイト	公式サイトへアクセスします。	
2 ホーム	「ホーム」（146ページ）に設定したWebページにアクセスします（「ブラウザを起動し、「ホーム」にアクセスする」127ページ）。	
3 ブックマーク	ブックマーク一覧を表示し、ブックマークに登録しているWebページにアクセスします（「ブックマークに登録したWebページにアクセスする」130ページ）。	
4 RSSリーダー	事前に登録したWebページの更新の有無を確認したり、更新されたWebページを表示したりできます（「Webページの到着情報を確認する」149ページ）。	
5 ガジェット	ガジェットのメニューを表示します。 ガジェットプレーヤーの起動やガジェット一覧の表示を行うことができます。また、ガジェットを初期化することもできます（「ガジェットを使う」152ページ）。	
6 インターネット検索	<p>◆ キーワードを入力し、<input type="checkbox"/> 【決定】 ◆ 検索エンジンを選択し、<input type="checkbox"/> 【決定】 ◆ <input type="button" value="お買い上げ時：【検索】"/></p> <p>選択した検索エンジンで入力したキーワードをインターネット検索します。</p>	
7 Webページを開く	URLを入力してWebページにアクセスします。最後にアクセスしたWebページにアクセスしたり、入力履歴を利用することもできます（「URLを入力または入力履歴からアクセスする」134ページ）。	
8 履歴	<p>◆ 一覧から履歴を選択し、<input type="checkbox"/> 【決定】</p> <p>履歴一覧には、以前にアクセスしたWebページが50件まで記憶されます。50件を超えると、古い履歴から自動的に削除されます。</p>	
9 ページメモ	保存されているページメモを表示します（「ページメモを表示する」142ページ）。	
0 オンラインサインアップ	オンラインサインアップを行ったり、登録内容を確認したりすることができます（「オンラインサインアップをする」92ページ）。	
* 設定	1 オプション設定	ブラウザの環境設定をします（「ブラウザの環境設定」144ページ）。
	2 接続先設定	<p>◆ 接続先を選択し、<input type="checkbox"/> 【選択】</p> <p>ブラウザの接続先を選択します。 「Y!mobile」以外の接続先をご使用になる場合は、「接続先設定」を選択する前にダイヤルアップ設定（155ページ）を行う必要があります。</p>
	3 表示モード設定	<p>◆ 表示モードを選択し、<input type="checkbox"/> 【決定】</p> <p>ブラウザの表示モードを切り替えます（「表示モード」126ページ）。</p>



- 「接続先設定」では、「ダイヤルアップ設定」で設定した「接続先名称」が表示されます（「ダイヤルアップを設定／解除する」155ページ）。
- [2] 「ホーム」に設定したWebページへアクセスするには、以下の手順でも行えます。

待受画面からアクセスする場合	待受画面で[WEB]を長く（1秒以上）押す
Webページ表示中にアクセスする場合	Webページ表示中に[おろ] 【メニュー】 ▶ [6] 「Webページを開く」 ▶ [1] 「ホーム」

- 履歴の詳細を表示したり、削除したり、表示方法の切り替えをするには、以下の操作を行います。

WEBメニューで[8] 「履歴」 ▶ [おろ] 【メニュー】

以下の項目から選択します。

[1] アドレス表示	Webページのアドレス（URL）を表示します。
[2] 削除	▶ 「Yes」を選択し、[決定] 選択した履歴を削除します。
[3] 選択削除	▶ 削除する履歴を選択し、[決定] を繰り返す ▶ [おろ] 【削除】 ▶ 「Yes」を選択し、[決定] 削除したい履歴を複数選択し、削除します。
[4] 全件削除	▶ 暗証番号を入力 ▶ 「Yes」を選択し、[決定] 履歴をすべて削除します。
[5] アドレスビュー／サムネイルビュー	履歴一覧の表示方法を「アドレスビュー」または「サムネイルビュー」に切り替えます。

お買い上げ時：
「サムネイルビュー」

■ URLを入力または入力履歴からアクセスする

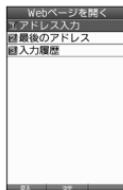
アドレス (URL) を直接入力し、Webページにアクセスすることができます。URLの履歴は20件まで記憶されます。その履歴を使ってアクセスしたり、履歴を編集してアクセスしたりすることもできます。

WEBメニューで 7 「Webページを開く」を押す

以下の項目から選択します。

Webページを開く画面

1 アドレス入力	<p>◆ URLを入力し、<input type="checkbox"/> 【決定】</p> <p>URLを入力してWebページにアクセスします。</p>
2 最後のアドレス	<p>◆ URLを確認し、<input type="checkbox"/> 【決定】</p> <p>最後にアクセスしたWebページにアクセスします。URLを修正してアクセスすることもできます。</p>
3 入力履歴	<p>◆ 一覧から入力履歴を選択し、<input type="checkbox"/> 【決定】</p> <p>入力履歴一覧には、以前に入力したURLが20件まで記憶されず、20件を超えると、古い入力履歴から自動的に削除されます。</p>



お知らせ

- URLに入力できる文字数は全角で512文字、半角で1024文字までです。
- 入力履歴のURLを編集したり、削除するには、以下の操作を行います。

Webページを開く画面で [3] 「入力履歴」 ▶ 入力履歴を選択 ▶ **おろ** **【メニュー】**

以下の項目から選択します。

1 アドレス編集	<p>◆ URLを編集し、<input type="checkbox"/> 【決定】</p> <p>入力履歴のURLを編集してWebページにアクセスします。</p>
2 削除	<p>◆ 「Yes」を選択し、<input type="checkbox"/> 【決定】</p> <p>選択した入力履歴を削除します。</p>
3 選択削除	<p>◆ 削除する履歴を選択し、<input type="checkbox"/> 【決定】を繰り返す ▶ おろ 【削除】 ▶ 「Yes」を選択し、<input type="checkbox"/> 【決定】</p> <p>削除したい入力履歴を複数選択し、削除します。</p>
4 全件削除	<p>◆ 暗証番号を入力 ▶ 「Yes」を選択し、<input type="checkbox"/> 【決定】</p> <p>入力履歴をすべて削除します。</p>

Webページ表示中のメニューについて

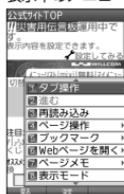
Webページ表示中に **カメラ** **【メニュー】** を押す

以下の項目から選択します。

1 タブ操作*	リンク先のWebページを開くときにタブを使うことで、複数のWebページを開くことができます。タブが開いているときは、表示するタブを切り替えることができます（「タブを操作する」136ページ）。	
2 進む	【戻る】を押すなどして前のページに戻っているとき、戻る前のページを表示することができます。	
3 再読み込み	表示しているWebページを最新の状態に更新します。	
4 ページ操作	Webページ表示中に検索、保存などの各種操作を行うことができます（「表示中のWebページ内で各種操作をする」137ページ）。	
5 ブックマーク	ブックマーク一覧への登録や、ブックマーク一覧からWebページへのアクセスができます（「ブックマークについて」130ページ）。	
6 Webページを開く	1 ホーム	「ホーム」（146ページ）に設定したWebページにアクセスします。
	2 Webページを開く	URLを入力してWebページにアクセスします。最後にアクセスしたWebページにアクセスしたり、入力履歴を利用することもできます（「URLを入力または入力履歴からアクセスする」134ページ）。
	3 履歴	<p>◆ 一覧から履歴を選択し、 【決定】</p> <p>履歴一覧には、以前にアクセスしたWebページが50件まで記憶されます。50件を超えると、古い履歴から自動的に削除されます。</p>
7 ページメモ	表示しているWebページを保存したり、保存したページメモ一覧画面を表示できます（「ページメモについて」142ページ）。	
8 表示モード	◆ 表示モードを選択し、 【決定】	
お買い上げ時：「ケータイモード」	ブラウザの表示モードを切り替えます（「表示モード」126ページ）。	
9 ページ設定	ページの各種設定をします（「ページの各種設定を行う」138ページ）。	
0 オプション	ブラウザの環境設定をします（「ブラウザの環境設定」144ページ）。	

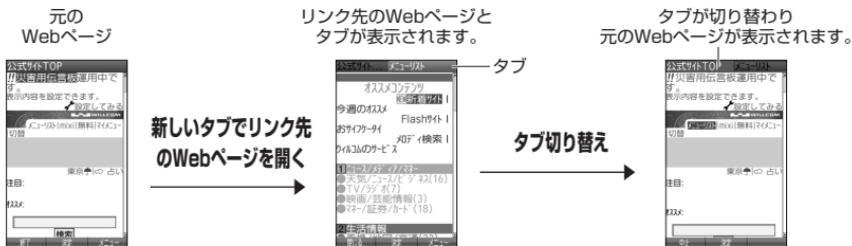
*：Webページ内のリンクが選択されている場合のみ選択できます。

Webページ表示中のメニュー



■ タブを操作する

タブを利用すると複数のWebページを同時に開くことができます。開いているWebページは、タブを切り替えると表示できます。タブは3つまで表示できます。



Webページ表示中のメニューで

1 「タブ操作」を押す

以下の項目から選択します。

1 新しいタブで開く	新しいタブでリンク先のWebページを開きます。
2 タブ選択*1	▶ ◀でタブを選択し、◻【決定】 タブを切り替えます。
3 このタブを閉じる*1	現在表示中のタブを閉じます。
4 他のタブを閉じる*1	現在表示中以外のタブを閉じます。
5 選択フレームを表示*2	現在選択しているフレームのみを表示します。

*1：タブを表示しているときのみ選択できます。

*2：フレームで分割されたWebページを表示している場合のみ選択できます。

■ 表示中のWebページ内で各種操作をする（ページ操作）

Webページ表示中に検索をしたり、画像やサウンド、動画の保存など、ページ内でさまざまな操作をすることができます。

Webページ表示中のメニューで **4** 「ページ操作」を押す

以下の項目から選択します。

1 ページ内検索	▶ キーワードを入力し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 ▶ 検索条件を指定 ▶ [F9] 【検索】 入力したキーワードを、表示中のWebページ内から検索します。検索条件では、「上方向へ検索」または「下方向へ検索」で検索方向の選択、「大/小文字区別」、「先頭から検索」、「単語単位検索」、「ラウンド検索」で検索オプションの指定をすることができます。検索中に <input type="checkbox"/> 【次へ】 を押すと、次の検索結果へジャンプします。検索の操作をしている間は、Webページ上のリンクが無効になり、他の操作ができない状態になります。検索を終了するには <input type="checkbox"/> 【中止】 を押します。				
2 インターネット検索	▶ キーワードを入力し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 ▶ 検索エンジンを選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 ▶ [F9] 【検索】 キーワードを入力し、選択した検索エンジンでインターネット検索します。				
3 オブジェクト選択* ¹	▶ <input type="checkbox"/> で画像/サウンド/動画を選択する 画面下部にWebページ上の画像やサウンド、動画のアイコンが表示されます。アイコンを選択し、 [F9] 【メニュー】 を押すと、保存、プロパティ表示を行うことができます。				
4 コピー	▶ コピー範囲の始点を選択し、 <input type="checkbox"/> 【始点】 ▶ 終点を選択し、 <input type="checkbox"/> 【終点】 Webページ上の文字をコピーします。				
5 音量* ² お買い上げ時： 「レベル18」	▶ 「音量レベル1」～「音量レベル24」または「音量レベルOFF」から選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 Webページ上のサウンド再生音量を選択します。マナーモードの場合は「音量レベルOFF」になります。音量を再度設定すると、音を鳴らすことができます。				
6 ページ内ジャンプ	<table border="1"> <tbody> <tr> <td data-bbox="315 859 409 910"> 1 先頭へ </td> <td data-bbox="419 859 797 910"> 表示しているWebページの先頭に表示を移動します。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 910 409 946"> 2 末尾へ </td> <td data-bbox="419 910 797 946"> 表示しているWebページの末尾に表示を移動します。 </td> </tr> </tbody> </table>	1 先頭へ	表示しているWebページの先頭に表示を移動します。	2 末尾へ	表示しているWebページの末尾に表示を移動します。
1 先頭へ	表示しているWebページの先頭に表示を移動します。				
2 末尾へ	表示しているWebページの末尾に表示を移動します。				
7 RSSリーダーに登録* ³	RSSチャンネルを選択すると、RSSリーダーに登録します（RSSチャンネルを登録する」149ページ）。				

*¹：表示しているWebページ内に画像やサウンド、動画データがある場合のみ選択できます。

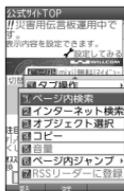
*²：表示しているWebページ内にサウンドデータがある場合のみ選択できます。

*³：表示しているWebページ内にRSSコンテンツがある場合のみ選択できます。

ご注意

- オブジェクト選択では、著作権法で保護された画像やサウンド、動画は保存できないことがあります。保存できた場合でも、Eメールに添付したり、USBケーブル（別売）を使ってパソコンに送信することはできません。

ページ操作画面

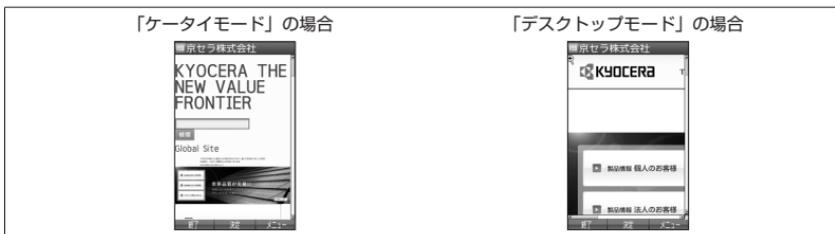




- オブジェクト選択で保存をしたり、プロパティを表示するには、以下の操作を行います。
ページ操作画面で **[3]「オブジェクト選択」** ▶ **[4]で画像やサウンド、動画を選択** ▶ **[5] [メニュー]**
以下の項目から選択します。

[1] 保存	▶ ファイル名を入力し、<input type="checkbox"/>【確定】 画像やサウンド、動画を保存します。
[2] プロパティ	▶ 画像やサウンド、動画のプロパティを表示します。

- ページ内ジャンプでWebページの先頭または末尾を表示する際に、「ケータイモード」の場合は、一番上の表示が先頭、一番下が末尾となります。「デスクトップモード」の場合は、ページ全体の上端の表示範囲が先頭になり、下端の表示範囲が末尾となります。



■ ページの各種設定を行う（ページ設定）

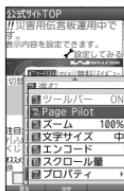
Webページの文字サイズやエンコードなどの設定を行います。ツールバーやPagePilotなどの操作をすることもできます。

Webページ表示中のメニューで **[9]「ページ設定」** を押す

以下の項目から選択します。

[1] ツールバー お買い上げ時： 「ON」	▶ [1]「ON」 または [2]「OFF」 ツールバーを表示するかどうかを選択します。
[2] Page Pilot	▶ [4]で表示枠を移動し、<input type="checkbox"/>【決定】 縮小表示された画面で、表示したい場所を選択します。
[3] ズーム お買い上げ時： 「100%」	▶ [1]～[9]（倍率を選択） 指定されたサイズにWebページを拡大／縮小して表示します。
[4] 文字サイズ お買い上げ時： 「小」 本体カラー ・ブラック ・スパイシーグリーン ・ピンク ・スパイシーオレンジ 「中」 本体カラー ・ネイビー×ゴールド ・ホワイト×ゴールド	▶ [1]～[3]（文字サイズを選択） 指定された文字サイズでWebページを表示します。
[5] エンコード	▶ [1]～[6]（エンコードを選択） 指定したエンコードでWebページを表示します。エンコードは「Shift_JIS」、「EUC-JP」、「ISO-2022-JP」、「UTF-8」、「ISO-8859-1」、または「US-ASCII」から選択します。

ページ設定画面



6 スクロール量 お買い上げ時： 「1/4画面」	▶ 「1行」、「1/4画面」、「1/2画面」、または「1画面」から選択し、 決定 Webページ表示中に $\left[\right]$ を押したときの画面のスクロール量を選択します。				
7 プロパティ	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="319 171 436 244"> 1 ページプロパティ </td> <td data-bbox="436 171 802 244"> 表示中のコンテンツのタイトル、アドレス(URL)、MIMEタイプ、更新日、サイズを表示します。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="319 244 436 318"> 2 SSL証明書 </td> <td data-bbox="436 244 802 318"> ▶ SSL証明書を選択し、決定 表示中のコンテンツのSSL証明書を表示します。 </td> </tr> </table>	1 ページプロパティ	表示中のコンテンツのタイトル、アドレス(URL)、MIMEタイプ、更新日、サイズを表示します。	2 SSL証明書	▶ SSL証明書を選択し、 決定 表示中のコンテンツのSSL証明書を表示します。
1 ページプロパティ	表示中のコンテンツのタイトル、アドレス(URL)、MIMEタイプ、更新日、サイズを表示します。				
2 SSL証明書	▶ SSL証明書を選択し、 決定 表示中のコンテンツのSSL証明書を表示します。				

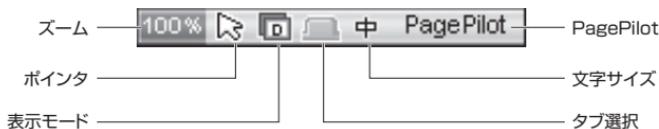
ツールバーについて

- ・ ツールバーを表示すると、ツールバーのアイコンからズーム/ポインタ/表示モード/タブ選択/文字サイズ/ PagePilotを選択することができます。
- ・ ポインタ (144ページ) の設定が「ON」のときに、以下の操作でツールバーを表示することができます。ポインタが $\left[\right]$ (虫眼鏡アイコン) のときに $\left[\right]$ **決定**



$\left[\right]$ (矢印アイコン) の状態でポインタを移動せずに1秒が経過すると、 $\left[\right]$ (虫眼鏡アイコン) に変わります。
 $\left[\right]$ アイコンを選択します。

- ・ ツールバーのアイコンは、以下のとおりです。

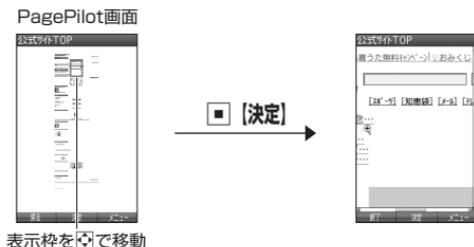


- ・ ツールバーから各機能を設定するには、以下の操作を行います。ツールバー表示中に $\left[\right]$ アイコンを選択する以下の項目から選択します。

100% (ズーム)	▶ $\left[\right]$ で倍率を選択し、 決定 選択されたサイズにWebページを拡大/縮小して表示します。
$\left[\right]$ (ポインタ)	▶ $\left[\right]$ で「 $\left[\right]$ 」(ON) または「 $\left[\right]$ 」(OFF) を選択し、 決定 表示モードが「デスクトップモード」のときに、ポインタを表示するかどうかを設定します。
$\left[\right]$ (表示モード)	▶ $\left[\right]$ で「 $\left[\right]$ 」(ケータイモード) または「 $\left[\right]$ 」(デスクトップモード) を選択し、 決定 ブラウザの表示モードを切り替えます (「表示モード」126ページ)。
$\left[\right]$ (タブ選択)	▶ 決定 ▶ $\left[\right]$ でタブを選択し、 決定 タブ操作をします (「タブを操作する」136ページ)。
$\left[\right]$ (文字サイズ)	▶ $\left[\right]$ で「 $\left[\right]$ 」(最小)、「 $\left[\right]$ 」(小)、または「 $\left[\right]$ 」(中) を選択し、 決定 指定された文字サイズでWebページを表示します。
PagePilot (PagePilot)	▶ 決定 ▶ $\left[\right]$ で表示枠を移動し、 決定 縮小表示された画面で、表示したい場所を選択します。

PagePilot画面について

- PagePilot画面では、Webページが縮小して表示されます。表示枠を移動して画面に表示したい場所を選択します。



- PagePilot画面の表示サイズを選択したり、自動でPagePilot画面を表示するには、以下の操作を行います。PagePilot画面で **かろ** **【メニュー】** を押す以下の項目から選択します。

1 自動PagePilot	▶ 「有効」または「無効」を選択し、 決定
お買い上げ時： 「無効」	コンテンツのスクロール中に自動的にPagePilot画面を表示するかどうかを設定します。「有効」に設定すると、ページ2画面分のスクロールを連続で行ったときに、自動的にPagePilot画面に移行します。
2 PagePilot 表示サイズ	▶ 「全体表示」または「幅に合わせる」を選択し、 決定
お買い上げ時： 「全体表示」	PagePilot画面のWebページ表示サイズを選択します。 「全体表示」を選択すると、画面内にすべてのコンテンツが収まるように縮小して表示します。 「幅に合わせる」を選択すると、画面幅に合わせてコンテンツを縮小して表示します。コンテンツが画面内で表示しきれない場合は、スクロールによって画面外の部分を表示します。

● ブックマーク一覧について

ブックマーク一覧には、ブックマークを200件まで登録できます。ブックマークは任意に名前を付けることができる10個のフォルダに振り分けて管理することができます。また、登録したブックマークは、編集や削除などを行うことができます。

■ 待受画面から表示する場合

待受画面で **WEB** ▶ **3** **【ブックマーク】**

■ Webページ表示中に表示する場合

Webページ表示中に **かろ** **【メニュー】** ▶ **5** **【ブックマーク】** ▶ **2** **【ブックマーク】**

🌀 ご注意

- フォルダを作成（141ページ）している場合は、フォルダもブックマーク1件として扱われます。

ブックマーク一覧画面のメニューを使う

ブックマーク一覧画面では、ブックマークの編集や削除などの管理ができます。

ブックマーク一覧画面で (**◇** フォルダを選択し、**□** [決定]) * **◇** ブックマークを選択 **◇** **かろ** [メニュー]

* : フォルダにあるブックマークを選択する場合に操作します。

以下の項目から選択します。

1 フォルダ作成	<p>◇ フォルダ名を入力し、□ [決定]</p> <p>フォルダを作成します。フォルダを作成すると、ブックマークをフォルダごとに管理できます。</p>
2 編集	<p>■ ブックマークの場合</p> <p>◇ タイトル、アドレス (URL) を編集し、かろ [決定]</p> <p>■ フォルダの場合</p> <p>◇ フォルダ名を編集し、□ [決定]</p> <p>ブックマークはタイトルとアドレス (URL)、フォルダはフォルダ名を編集します。</p>
3 移動* ¹	<p>◇ 移動したい場所を選択し、□ [決定]</p> <p>ブックマークまたはフォルダを移動します。ブックマークをフォルダ内に移動する場合は、移動したいフォルダを選択し、□ [決定] ◇ かろ を押してから移動先を選択します。*²</p>
4 上へ移動* ¹	ブックマークまたはフォルダを一つ上へ移動します。
5 下へ移動* ¹	ブックマークまたはフォルダを一つ下へ移動します。
6 削除	<p>1 削除 ◇ 「Yes」を選択し、□ [決定]</p> <p>選択したブックマークまたはフォルダを削除します。</p>
	<p>2 選択削除 ◇ 削除するブックマークまたはフォルダを選択し、□ [決定] を繰り返す ◇ かろ [削除] ◇ 「Yes」を選択し、□ [決定]</p> <p>削除したいブックマークまたはフォルダを複数選択し、削除します。</p>
	<p>3 フォルダ内全件削除*³ ◇ 暗証番号を入力 ◇ 「Yes」を選択し、□ [決定]</p> <p>選択したフォルダ内のブックマークとフォルダをすべて削除します。</p>
	<p>4 全件削除 ◇ 暗証番号を入力 ◇ 「Yes」を選択し、□ [決定]</p> <p>ブックマークとフォルダをすべて削除します。</p>
7 アドレス表示* ⁴	ブックマークのアドレス (URL) を表示します。
8 並べ替え	<p>◇ 「日付 (新しい順、古い順)」、「タイトル (昇順、降順)」、または「その他 (登録/移動順)」を選択し、□ [決定]</p> <p>ブックマーク一覧を選択した方法で並べ替えます。</p>
9 タイトルビュー/サムネイルビュー	ブックマーク一覧の表示方法を「タイトルビュー」または「サムネイルビュー」に切り替えます。
0 赤外線送信* ⁵	ブックマークを赤外線で送信します (「赤外線で送信する」286ページ)。

*¹ : 「並べ替え」を「日付 (新しい順、古い順)」または「タイトル (昇順、降順)」に設定しているときは選択できません。

*² : 空のフォルダへ移動した場合は、「戻る」の下を選択します。

*³ : フォルダを選択した場合のみ選択できます。

*⁴ : ブックマークを選択した場合のみ選択できます。

*⁵ : Webページ表示中は、赤外線送信を行うことができません。

ご注意

- **[6]** 「削除」では、お買い上げ時に登録されているブックマークも削除できます。「メモリリセット」/「完全消去+初期化」(232ページ)を行うと、ブックマークはお買い上げ時の状態に戻ります。ただし、「メモリリセット」/「完全消去+初期化」を行った場合、他の機能で保存されているデータや登録内容もリセットされますので、ご注意ください。

● ページメモについて

表示しているWebページを保存することができます。保存したページメモは「WEBメニュー」の「ページメモ」に保存され、インターネットに接続せずに表示することができます。また、任意に名前を付けることができる10個のフォルダに振り分けて管理することもできます。

● ご注意

- 管理者ロックの「ブックマークからのWEB接続に限定」(243ページ)が「限定する」に設定されているときは、ページメモを表示することができません。
- 管理者ロックの「microSDの使用を許可」(247ページ)が「許可しない」に設定されているときは、ページメモをmicroSDカードに保存したり、microSDカードのページメモを表示できません。

Webページを保存する

Webページ表示中のメニューで **[7] 「ページメモ」** ▶ **[1] 「ページメモ保存」** ▶ **タイトルを入力または編集** ▶ **[Yes]** を選択し、**[決定]**

● ご注意

- この機能で保存を行う場合は、Webページ上のリンク先データのダウンロードはできません。

● お知らせ

- ページメモの保存先を本体メモリ、またはmicroSDカードに設定することができます（「ページメモを管理する」143ページ）。保存先を本体メモリに設定している場合は10件まで、microSDカードに設定している場合は200件まで保存できます。

ページメモを表示する

保存したページメモを、インターネットに接続することなく表示することができます。

■ 待受画面から表示する場合

待受画面で **WEB** ▶ **[9] 「ページメモ」** (▶ **フォルダを選択し、[表示]**) * ▶ **ページメモを選択し、[表示]**

■ Webページ表示中に表示する場合

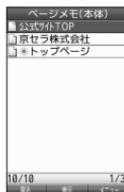
Webページ表示中に **かた** **[メニュー]** ▶ **[7] 「ページメモ」** ▶ **[2] 「ページメモ」** (▶ **フォルダを選択し、[表示]**) * ▶ **ページメモを選択し、[表示]**

* : フォルダ (143ページ) にあるページメモを選択する場合に操作します。

● ご注意

- ページメモは、保存した時点でのWebページです。このため、最新の情報ではない場合があります。

ページメモ
一覧画面



■ ページメモを管理する

ページメモ一覧画面では、ページメモの編集や削除などの管理ができます。

ページメモ一覧画面で (▶ フォルダを選択し、 [表示]) * ▶ ページメモを選択 ▶ [メニュー]

* : フォルダにあるページメモを選択する場合に操作します。

以下の項目から選択します。

1 フォルダ作成	▶ フォルダ名を入力し、 <input type="checkbox"/> [決定] フォルダを作成します。フォルダを作成すると、ページメモをフォルダごとに管理できます。
2 タイトル編集	▶ タイトルを編集し、 <input type="checkbox"/> [決定] ページメモまたはフォルダのタイトルを編集します。
3 移動*1	▶ 移動したい場所を選択し、 <input type="checkbox"/> [決定] ページメモまたはフォルダを移動します。ページメモをフォルダ内に移動する場合は、移動したいフォルダを選択し、 <input type="checkbox"/> [決定] ▶ <input type="checkbox"/> を押してから移動先を選択します。*2
4 削除	1 削除 ▶ 「Yes」を選択し、 <input type="checkbox"/> [決定] 選択したページメモまたはフォルダを削除します。
	2 選択削除 ▶ 削除するページメモまたはフォルダを選択し、 <input type="checkbox"/> [決定] を繰り返す ▶ <input type="checkbox"/> [削除] ▶ 「Yes」を選択し、 <input type="checkbox"/> [決定] 削除したいページメモまたはフォルダを複数選択し、削除します。
	3 フォルダ内全件削除*3 ▶ 暗証番号を入力 ▶ 「Yes」を選択し、 <input type="checkbox"/> [決定] 選択したフォルダ内のページメモとフォルダをすべて削除します。
	4 全件削除 ▶ 暗証番号を入力 ▶ 「Yes」を選択し、 <input type="checkbox"/> [決定] ページメモとフォルダをすべて削除します。
5 アドレス表示*4	ページメモに保存したWebページのアドレス (URL) を表示します。
6 保護/保護解除	▶ 「Yes」を選択し、 <input type="checkbox"/> [決定] 選択したページメモまたはフォルダを保護/保護解除します。
7 全件保護解除	▶ 「Yes」を選択し、 <input type="checkbox"/> [決定] 保護しているページメモまたはフォルダをすべて保護解除します。
8 本体/microSD*5 お買い上げ時： 「本体」	ページメモ一覧画面や保存先を、本体メモリまたはmicroSDカードに切り替えま す。
9 並べ替え お買い上げ時： その他 (登録/移動順)	▶ 「日付 (新しい順、古い順)」、「タイトル (昇順、降順)」、または「その他 (登録/移動順)」を選択し、 <input type="checkbox"/> [決定] ページメモ一覧を選択した方法で並べ替えます。

*1 : 「並べ替え」を「日付 (新しい順、古い順)」または「タイトル (昇順、降順)」に設定しているときは選択できません。

*2 : 空のフォルダへ移動した場合は、「戻る」の下を選択します。

*3 : フォルダを選択した場合のみ選択できます。

*4 : ページメモを選択した場合のみ選択できます。

*5 : microSDカード挿入時のみ切り替えることができます。

お知らせ

- 保護されたページメモ/フォルダには「」/「」が表示されます。保護されたページメモ、フォルダは移動/削除できません。
- ページメモ一覧画面や保存先の切り替えは、以下の操作でも行えます。

待受画面で [WEB] ▶ [設定] ▶ 1 「オプション設定」 ▶ 3 「ページメモ」 ▶ 「本体」または「microSD」を選択し、 [決定]

または

Webページ表示中に [メニュー] ▶ 0 「オプション」 ▶ 3 「ページメモ」 ▶ 「本体」または「microSD」を選択し、 [決定]

● ブラウザの環境設定（オプション）

インターネットに接続する前や、Webページ表示中にブラウザの環境設定を行うことができます。

■ 待受画面から表示する場合

待受画面で **WEB** ▶ **★** **【設定】** ▶ **I** **【オプション設定】**

■ Webページ表示中に表示する場合

Webページ表示中に **かろ** **【メニュー】** ▶ **0** **【オプション】**

オプション
(WEBメニュー時)

オプション	
1 表示	
2 BGM	ON
3 ページメモ	
4 ポインタ	ON
5 HTTP	
6 証明書	
7 設定確認	
8 ホーム	
9 リセット	

以下の項目から選択します。

1 表示	1 JavaScript	<p>◆ 【有効】 または 【無効】 を選択し、<input type="checkbox"/> 【決定】</p> <p>お買い上げ時：【有効】</p> <p>JavaScriptとは、Webページに動きや対話性を付加するためのスクリプト言語です。Webページやコンテンツサービスによっては「有効」に設定していないと、正常に表示/利用できない場合があります。</p>
	2 アニメーション	<p>◆ 【表示する】 または 【表示しない】 を選択し、<input type="checkbox"/> 【決定】</p> <p>お買い上げ時：【表示する】</p> <p>Webページで画像のアニメーション表示をするかどうかを選択します。</p>
	3 画像	<p>◆ 【表示する】、【オンデマンド表示】、または 【表示しない】 を選択し、<input type="checkbox"/> 【決定】</p> <p>お買い上げ時：【表示する】</p> <p>Webページでの画像の表示を設定します。「オンデマンド表示」とは、画像の読み込みをWebページ表示時にすぐに行うのではなく、画面の表示領域に画像が入ったときに読み込む方式です。</p>
	4 テーブル	<p>◆ 【有効】 または 【無効】 を選択し、<input type="checkbox"/> 【決定】</p> <p>お買い上げ時：【有効】</p> <p>テーブルとは、Webページで表示される表のことです。Webページによっては「有効」にししないと正常に表示されない場合があります。</p>
	5 自動判別言語	<p>◆ 【日本語】 または 【西ヨーロッパ言語】 を選択し、<input type="checkbox"/> 【決定】</p> <p>お買い上げ時：【日本語】</p> <p>Webコンテンツの自動判別に使用する言語を選択します。</p>
	6 フルスクリーン	<p>◆ <input type="checkbox"/> 【ON】 または <input type="checkbox"/> 【OFF】</p> <p>お買い上げ時：【OFF】</p> <p>Webページをメインディスプレイの画面全体に表示するかどうかを選択します。<input type="checkbox"/> 【ON】 に設定すると、操作ガイド表示エリアにもWebページを表示します。このとき、操作ガイドエリアが表示されなくなりますが、通常どおりのキー操作が行えます。</p>
2 BGM	<p>◆ <input type="checkbox"/> 【ON】 または <input type="checkbox"/> 【OFF】</p> <p>お買い上げ時：【ON】</p> <p>Webページ上のBGMを再生するかどうかを選択します。</p>	
3 ページメモ	<p>◆ 【本体】 または 【microSD】 を選択し、<input type="checkbox"/> 【決定】</p> <p>お買い上げ時：【本体】</p> <p>ページメモの保存先、ページメモ一覧画面で表示する対象を選択します。</p>	
4 ポインタ*	<p>◆ <input type="checkbox"/> 【ON】 または <input type="checkbox"/> 【OFF】</p> <p>お買い上げ時：【ON】</p> <p>表示モードが「デスクトップモード」のときに、ポインタを表示するかどうかを設定します。<input type="checkbox"/> 【ON】 に設定するとツールバー（139ページ）を利用することができます。</p>	

5 HTTP	1 キャッシュ	1 キャッシュモード お買い上げ時：「ネットワーク優先」	<p>◆ 「ネットワークのみ」、「ネットワーク優先」、「キャッシュ優先」、または「キャッシュのみ」を選択し、<input type="checkbox"/> 【決定】</p> <p>キャッシュモードを選択します。</p>
		2 Diskキャッシュ お買い上げ時：「使用しない」	<p>◆ 「使用する」または「使用しない」を選択し、<input type="checkbox"/> 【決定】</p> <p>Diskキャッシュを使用するかどうかを選択します。</p>
		3 Diskキャッシュ削除	<p>◆ 「Yes」を選択し、<input type="checkbox"/> 【決定】</p> <p>Diskキャッシュをすべて削除します。</p>
	2 Cookie	1 Cookieモード お買い上げ時：「受け入れる」	<p>◆ 「受け入れる」、「受け入れない」、または「確認する」を選択し、<input type="checkbox"/> 【決定】</p> <p>Cookieとは、Webページに訪れたお客様に関する情報や、訪れた日時、訪問回数などを一時的に保存しておくしくみです。サーバーから本機に書き込まれた情報が一時的に保存され、Webページやコンテンツサービスなどに利用されます。Webページやコンテンツサービスによっては「受け入れる」に設定していないと、正常に表示/利用できない場合があります。</p>
		2 Cookie削除	<p>◆ 「Yes」を選択し、<input type="checkbox"/> 【決定】</p> <p>本機に保存されているCookieをすべて削除します。</p>
	3 最大リフレッシュ回数 お買い上げ時：「無制限」	<p>◆ 「0回」、「1回」、「5回」、または「無制限」を選択し、<input type="checkbox"/> 【決定】</p> <p>自動的にWebページを更新（リフレッシュ）するように設定されたWebページを表示したときのリフレッシュ回数を設定します。</p>	
	4 最大リダイレクト回数 お買い上げ時：「無制限」	<p>◆ 「0回」、「1回」、「5回」、または「無制限」を選択し、<input type="checkbox"/> 【決定】</p> <p>自動的にWebページを移動（リダイレクト）するように設定されたWebページを表示したときのリダイレクト回数を設定します。</p>	
	5 ポップアップブロック お買い上げ時：「使用する」	<p>◆ 「使用する」または「使用しない」を選択し、<input type="checkbox"/> 【決定】</p> <p>ポップアップブロックを使用するかどうかを選択します。</p>	
	6 Referer お買い上げ時：「送信する」	<p>◆ 「送信する」または「送信しない」を選択し、<input type="checkbox"/> 【決定】</p> <p>Webページのリンクから他のWebページに移動したり、データをダウンロードしたとき、どのページから移動、ダウンロードしたかを相手に知らせるかどうか設定します。</p>	
	7 認証データ保存 お買い上げ時：「有効」	<p>◆ 「有効」または「無効」を選択し、<input type="checkbox"/> 【決定】</p> <p>Webページの認証データを有効にするかどうかを選択します。</p>	
8 ユーザーエージェント* お買い上げ時：「有効」	<p>◆ 「Y!mobile」または「NetFront V3.4」を選択し、<input type="checkbox"/> 【決定】</p> <p>ユーザーエージェントを「Y!mobile」または「NetFront V3.4」に切り替えます。 Webページが正しく表示されなかったときに、ユーザーエージェントを切り替えると、正しく表示される場合があります。</p>		

5 HTTP	9 高速化サービス追加設定 お買い上げ時：「3：」	<p>「高速化サービス」とは、ワイモバイル経由のパケット通信時に、通信プロトコルや画像データの最適化を行い、ブラウジングの体感通信速度を向上させるサービスです。「高速化サービス」をお申し込みいただいている場合は、最適化後の画質と速度のバランスをお好みに応じて設定できます。「高速化サービス」をご利用になる場合は「オンラインサインアップ」から設定してください（93ページ）。</p> <table border="1" data-bbox="389 209 942 489"> <tr> <td data-bbox="389 209 539 336">無効</td> <td data-bbox="539 209 942 336">ブラウザで高速化サービスを利用しない場合は、こちらを選択します。なお、高速化サービスを利用している場合、この設定を「無効」にしても高速化サービスは解約されません。高速化サービスを解約する場合は、「オンラインサインアップ」から設定してください（93ページ）。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="389 336 539 384">1：画質重視</td> <td data-bbox="539 336 942 384">もっとも画質を重視して、オリジナルの画質で表示します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="389 384 539 432">2：</td> <td data-bbox="539 384 942 432">「3：」と比較して、より画質を重視して最適化します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="389 432 539 480">3：</td> <td data-bbox="539 432 942 480">お買い上げ時の設定です。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="389 480 539 528">4：速度重視</td> <td data-bbox="539 480 942 528">もっとも速度を重視して最適化します。</td> </tr> </table>	無効	ブラウザで高速化サービスを利用しない場合は、こちらを選択します。なお、高速化サービスを利用している場合、この設定を「無効」にしても高速化サービスは解約されません。高速化サービスを解約する場合は、「オンラインサインアップ」から設定してください（93ページ）。	1：画質重視	もっとも画質を重視して、オリジナルの画質で表示します。	2：	「3：」と比較して、より画質を重視して最適化します。	3：	お買い上げ時の設定です。	4：速度重視	もっとも速度を重視して最適化します。
無効	ブラウザで高速化サービスを利用しない場合は、こちらを選択します。なお、高速化サービスを利用している場合、この設定を「無効」にしても高速化サービスは解約されません。高速化サービスを解約する場合は、「オンラインサインアップ」から設定してください（93ページ）。											
1：画質重視	もっとも画質を重視して、オリジナルの画質で表示します。											
2：	「3：」と比較して、より画質を重視して最適化します。											
3：	お買い上げ時の設定です。											
4：速度重視	もっとも速度を重視して最適化します。											
6 証明書	1 ルート証明書 お買い上げ時：「有効」	<table border="1" data-bbox="389 489 942 615"> <tr> <td data-bbox="389 489 539 537">詳細を表示する場合</td> <td data-bbox="539 489 942 537">▶ ルート証明書を選択し、<input type="checkbox"/> 【決定】</td> </tr> <tr> <td data-bbox="389 537 539 585">有効を設定する場合</td> <td data-bbox="539 537 942 585">▶ ルート証明書を選択し、<input type="checkbox"/> 【決定】 ▶ <input type="checkbox"/> 【有効】 ▶ <input type="checkbox"/> 【メニュー】 ▶ <input type="checkbox"/> 【有効】を選択し、<input type="checkbox"/> 【決定】</td> </tr> <tr> <td data-bbox="389 585 539 615">無効を設定する場合</td> <td data-bbox="539 585 942 615">▶ ルート証明書を選択し、<input type="checkbox"/> 【決定】 ▶ <input type="checkbox"/> 【メニュー】 ▶ <input type="checkbox"/> 【無効】を選択し、<input type="checkbox"/> 【決定】</td> </tr> </table>	詳細を表示する場合	▶ ルート証明書を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】	有効を設定する場合	▶ ルート証明書を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 ▶ <input type="checkbox"/> 【有効】 ▶ <input type="checkbox"/> 【メニュー】 ▶ <input type="checkbox"/> 【有効】 を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】	無効を設定する場合	▶ ルート証明書を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 ▶ <input type="checkbox"/> 【メニュー】 ▶ <input type="checkbox"/> 【無効】 を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】				
詳細を表示する場合	▶ ルート証明書を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】											
有効を設定する場合	▶ ルート証明書を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 ▶ <input type="checkbox"/> 【有効】 ▶ <input type="checkbox"/> 【メニュー】 ▶ <input type="checkbox"/> 【有効】 を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】											
無効を設定する場合	▶ ルート証明書を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 ▶ <input type="checkbox"/> 【メニュー】 ▶ <input type="checkbox"/> 【無効】 を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】											
2 CA証明書 お買い上げ時：「有効」	<table border="1" data-bbox="389 615 942 744"> <tr> <td data-bbox="389 615 539 663">詳細を表示する場合</td> <td data-bbox="539 615 942 663">▶ CA証明書を選択し、<input type="checkbox"/> 【決定】</td> </tr> <tr> <td data-bbox="389 663 539 711">有効を設定する場合</td> <td data-bbox="539 663 942 711">▶ CA証明書を選択し、<input type="checkbox"/> 【決定】 ▶ <input type="checkbox"/> 【有効】 ▶ <input type="checkbox"/> 【メニュー】 ▶ <input type="checkbox"/> 【有効】を選択し、<input type="checkbox"/> 【決定】</td> </tr> <tr> <td data-bbox="389 711 539 744">無効を設定する場合</td> <td data-bbox="539 711 942 744">▶ CA証明書を選択し、<input type="checkbox"/> 【決定】 ▶ <input type="checkbox"/> 【メニュー】 ▶ <input type="checkbox"/> 【無効】を選択し、<input type="checkbox"/> 【決定】</td> </tr> </table>	詳細を表示する場合	▶ CA証明書を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】	有効を設定する場合	▶ CA証明書を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 ▶ <input type="checkbox"/> 【有効】 ▶ <input type="checkbox"/> 【メニュー】 ▶ <input type="checkbox"/> 【有効】 を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】	無効を設定する場合	▶ CA証明書を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 ▶ <input type="checkbox"/> 【メニュー】 ▶ <input type="checkbox"/> 【無効】 を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】					
詳細を表示する場合	▶ CA証明書を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】											
有効を設定する場合	▶ CA証明書を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 ▶ <input type="checkbox"/> 【有効】 ▶ <input type="checkbox"/> 【メニュー】 ▶ <input type="checkbox"/> 【有効】 を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】											
無効を設定する場合	▶ CA証明書を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 ▶ <input type="checkbox"/> 【メニュー】 ▶ <input type="checkbox"/> 【無効】 を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】											
7 設定確認	ブラウザの環境設定の内容を表示します。											
8 ホーム	WEBメニュー（132ページ）またはWebページ表示中のメニュー（135ページ）で「ホーム」を選択したときなどにアクセスするWebページを設定します。 <table border="1" data-bbox="239 824 942 943"> <tr> <td data-bbox="239 824 389 914"> 1 アドレス編集 お買い上げ時：「とりほ~だい★らんど」 </td> <td data-bbox="389 824 942 943"> ▶ アドレス（URL）を編集し、<input type="checkbox"/> 【決定】 「ホーム」に登録しているWebページのアドレス（URL）を編集します。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="239 914 389 943"> 2 ホームに設定 </td> <td data-bbox="389 914 942 943"> 現在表示しているWebページを「ホーム」に登録します。 </td> </tr> </table>		1 アドレス編集 お買い上げ時：「とりほ~だい★らんど」	▶ アドレス（URL）を編集し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 「ホーム」に登録しているWebページのアドレス（URL）を編集します。	2 ホームに設定	現在表示しているWebページを「ホーム」に登録します。						
1 アドレス編集 お買い上げ時：「とりほ~だい★らんど」	▶ アドレス（URL）を編集し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 「ホーム」に登録しているWebページのアドレス（URL）を編集します。											
2 ホームに設定	現在表示しているWebページを「ホーム」に登録します。											
9 リセット	▶ <input type="checkbox"/> 【Yes】 を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 ブラウザの環境設定をお買い上げ時の状態にリセットします。											

*：表示モードが「ケータイモード」のときは設定できません。



- 各設定は、ブラウザを終了しても保持され、次回起動時にも適用されます。変更またはリセットされるまで保持されます。

ポインタについて

- ・ 4 「ポインタ」を I 「ON」に設定すると、画面上に「」（ポインタ）が表示されます。
- ・ ポインタは以下の種類があります。

 (矢印アイコン)	ポインタの位置にリンクがないときに、このアイコンになります。
 (指差しアイコン)	ポインタの位置にリンクがあるときに、このアイコンになります。 <input type="checkbox"/> 【決定】を押すと、選択やリンク先への移動ができます。
 (虫眼鏡アイコン)	矢印アイコンの状態でポインタを移動せずに1秒が経過すると、このアイコンになります。 <input type="checkbox"/> 【決定】を押すと、ツールバー（138ページ）の設定が「ON」のとき、ツールバーを表示します（「ツールバーについて」139ページ）。
 (テキストアイコン)	ポインタの位置にテキストボックスがあるときに、このアイコンになります。 <input type="checkbox"/> 【決定】を押すと文字入力画面が表示されます。

- ・ ポインタを表示範囲外に移動しようとした場合、移動しようとした方向に対してスクロールが可能な場合はスクロールを行います。

ポータルサイトのコンテンツを紹介する画面を、定期的に待受画面に表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時：
「通知しない」

待受画面で ▶ 9 ▶ 7 ▶ 1 「通知する」または 2 「通知しない」

🔍 ご注意

● 「通知する」に設定しても、ポータルサイトのコンテンツを紹介する画面が表示されない場合があります。

📢 お知らせ

● 「通知する」に設定すると、ポータルサイトのコンテンツを紹介する画面が定期的に待受画面に表示されます。ポータルサイトへアクセスする場合は、コンテンツ紹介画面が表示されているときに以下の操作を行います。

待受画面で **【接続】** ▶ **1 「接続する」**

● 管理者ロックの「ブックマークからのWEB接続に限定」(243ページ)が「限定する」に設定されていても、「コンテンツ情報通知」を「通知する」に設定しているときはポータルサイトのコンテンツを紹介する画面は表示されます。

● 動画データの再生について

本機では、Webページ上の動画データを再生することができます。動画データを保存して、Webページにアクセスせずに再生することもできます。

🔍 ご注意

● 管理者ロックの「microSDの使用を許可」(247ページ)が「許可しない」に設定されているときは、動画データの操作中にmicroSDカードのデータを利用できない場合があります。

📢 お知らせ

● マナーモード設定中は、マナーモードで設定したデータ再生音量が優先されます(「マナーモードを設定/解除する」61ページ)。

● 動画の動作が遅くなったときは、再生を中止するかどうかを選択するメッセージが表示されます。「はい」を選択すると、動画再生を中止します。

動画をWebページ内で再生する

Webページの一部として、画像と同じように動画を表示し、再生します。動画の中には操作できるものがあります。ただし、ポインタ(144ページ)を「OFF」に設定しているときは、操作はできません。

待受画面で WEB ▶ **動画が含まれるWebページにアクセスする**

📢 お知らせ

● サウンドを再生するWebページ表示中に  を長く(2秒以上)押し、音量の選択画面が表示され、音量を変更できます。

動画をデータフォルダから再生する

待受画面で ▶ **「データフォルダ」を選択し、 【選択】 ▶ フォルダ/[microSD]を選択し、 【選択】 (▶ 暗証番号を入力^{*1}/1) 【microSDデータ】^{*2} ▶  で「動画タブ」を選択し、 【ファイルへ】または ▶ **動画データを選択し、 【再生】****

*1: 「プライベートフォルダ」を選択したときに操作します。

*2: microSDカード挿入時、「microSD」を選択したときに操作します。

● Webページの新着情報を確認する（RSSリーダー）

RSSリーダーは、Webページが更新されたとき、更新された情報（記事）を閲覧する機能です。本機では、この「RSSリーダー」機能を利用して、日ごろよく見るニュースやブログなどのWebページ（RSSチャンネル）が更新されたかどうか、新着の情報（記事）があるかどうかを確認することができます。

● ご注意

- 管理者ロックの「ブックマークからのWEB接続に限定」（243ページ）が「限定する」に設定されているときは、RSSリーダーを利用できません。

RSSチャンネルを利用するための設定をする

お買い上げ後、「RSSリーダー」を起動すると、「購読チャンネル設定」（150ページ）、「自動更新設定」（150ページ）の画面が表示されます。以下の操作に従って初期設定を行ってください。「開始時刻」には更新情報の確認を最初に行う時刻、「更新間隔」には更新の間隔を設定します。

待受画面で

- 1 WEB ▶ 4 「RSSリーダー」
 - 2 購読チャンネル設定を確認し、 [決定] ▶ 「開始時刻」を選択し、 [決定] ▶ 開始時刻*を入力し、 [決定]
- *：開始時刻の入力は4桁の数字で入力します。
例：8時3分の場合
0 [8] 0 [3] と入力します。
- 3 「更新間隔」を選択し、 [決定] ▶ 更新間隔を選択し、 [決定] ▶ [キャンセル] [設定]
 - 4 「Yes」または「No」を選択し、 [決定]

● お知らせ

- お買い上げ時は、あらかじめいくつかのRSSチャンネルが登録されています。
- 一度設定した項目は、RSSチャンネル一覧画面のメニューで変更できます（「RSSチャンネル一覧画面のメニューを使う」150ページ）。

RSSチャンネルを登録する

更新を確認したいWebページ（RSSチャンネル）を登録します。

■ Webページから登録する場合

- Webページ表示中に [キャンセル] ▶ 4 「ページ操作」 ▶ 7 「RSSリーダーに登録」 ▶ 登録したいRSSチャンネルを選択し、 [決定] ▶ 「Yes」を選択し、 [決定]

■ RSSチャンネル一覧から登録する場合

- 待受画面で WEB ▶ 4 「RSSリーダー」 ▶ [キャンセル] [メニュー] ▶ 4 「追加」 ▶ URLを入力し、 [決定]

登録したRSSチャンネルの記事にアクセスする

更新された情報にアクセスします。

待受画面で

1 WEB ▶ 4 「RSSリーダー」 ▶ RSSチャンネルを選択し、【決定】

記事が一覧で表示されます。手動で新着情報を確認する場合は、RSSチャンネルの更新を行います（「RSSチャンネル一覧画面のメニューを使う」150ページ）。

2 表示したい記事を選択し、【決定】

お知らせ

●記事を削除したり、並べ替えをするには、以下の操作を行います。

記事の一覧表示中に 【メニュー】

以下の項目から選択します。

1 削除	1 1件	▶ 「Yes」を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 選択した記事を削除します。
	2 選択	▶ 削除する記事を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】を繰り返す ▶ <input type="checkbox"/> 【削除】 ▶ 「Yes」を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 削除したい記事を複数選択し、削除します。
	3 すべて	▶ 暗証番号を入力 ▶ 「Yes」を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 記事をすべて削除します。
2 並べ替え お買い上げ時： 「日付（新しい順）」	▶ 「日付（新しい順、古い順）」または「タイトル（昇順、降順）」を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 記事を選択した方法で並べ替えます。	
3 表示切り替え お買い上げ時： 1行表示	記事一覧の表示を1行表示のときは2行表示に、2行表示のときは1行表示に切り替えます。	

インターネットの使いかた

■ RSSチャンネル一覧画面のメニューを使う

待受画面で WEB ▶ 4 「RSSリーダー」 ▶ RSSチャンネルを選択 ▶ 【メニュー】

以下の項目から選択します。

1 更新	▶ 1 「1件」または2 「すべて」 選択したRSSチャンネル、またはすべてのRSSチャンネルを更新します。
2 自動更新設定	■ 自動更新する場合 1 「自動更新する」を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 2 「開始時刻」を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 ▶ 開始時刻*を入力し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 *：開始時刻の入力は4桁の数字で入力します。 例：8時3分の場合 <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="8"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="3"/> と入力します。 3 「更新間隔」を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 ▶ 更新間隔を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 ▶ <input type="checkbox"/> 【設定】 ■ 自動更新しない場合 ▶ 「自動更新しない」を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 ▶ <input type="checkbox"/> 【設定】 自動更新するかどうかを設定します。「自動更新する」に設定すると、指定した時刻や指定した時間ごとに更新を行います。
3 購読チャンネル設定	▶ 購読するRSSチャンネルを選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】を繰り返す ▶ <input type="checkbox"/> 【設定】 購読するRSSチャンネルを選択します。複数選択することができます。

4追加	▶ 追加するRSSチャンネルのURLを入力し、 <input type="checkbox"/> [決定] 追加するRSSチャンネルのURLを入力します。
5タイトル編集	▶ 名前を編集し、 <input type="checkbox"/> [決定] 選択したRSSチャンネルの名前を編集します。
6削除	<input type="checkbox"/> 1件 ▶ 「Yes」を選択し、 <input type="checkbox"/> [決定] 選択したRSSチャンネルを削除します。
	<input type="checkbox"/> 2選択 ▶ 削除するRSSチャンネルを選択し、 <input type="checkbox"/> [決定]を繰り返す ▶ <input type="checkbox"/> [削除] <input type="checkbox"/> 「Yes」を選択し、 <input type="checkbox"/> [決定] 削除したいRSSチャンネルを複数選択し、削除します。
	<input type="checkbox"/> 3すべて ▶ 暗証番号を入力 ▶ 「Yes」を選択し、 <input type="checkbox"/> [決定] RSSチャンネルをすべて削除します。
7並べ替え	▶ 「日付（新しい順、古い順）」または「タイトル（昇順、降順）」を選択し、 <input type="checkbox"/> [決定] RSSチャンネルを選択した方法で並べ替えます。
お買い上げ時： 「日付（新しい順）」	
8プロパティ	選択したRSSチャンネルのタイトル、説明、Webページアドレス（URL）を表示します。

🔔 ご注意

- 本機が圏外の場合は、自動更新を行いません。
- 各種操作や動作を行っている場合、自動更新は行われません。ただし、以下の動作を行っている場合は、各動作終了後に更新を行います。
 - ・ 通話中／発信中／着信中／データ通信中
 - ・ 伝言メモ応答・録音中
 - ・ Eメール自動受信中
 - ・ リモートロック中
 - ・ アラーム／スケジュールアラーム／TODOアラーム鳴動中
 - ・ 位置情報通知中
 - ・ パソコンツールを使ったパソコンとのデータ送受信中

📣 お知らせ

- メインディスプレイに表示されるRSSチャンネルのアイコンは、以下のとおりです。ただし、 「自動更新設定」を「自動更新しない」に設定している場合、アイコンは表示されません。

	(グレー)	「自動更新設定」を「自動更新する」に設定した場合に表示されます。また、自動更新で、取得する情報がなかった場合に表示されます。
	(オレンジ)	新着RSS記事を取得できた場合に表示されます。
	(赤と黒)	自動更新に失敗したときに表示されます。

- 操作ロック（229ページ）の「WEB」が「禁止」に設定されていても、自動更新を行います。

● ガジェットを使う

「ガジェット」はインターネット上のさまざまな情報を表示するツールです。登録サイトの新着メッセージや新着メールをお知らせしたり、最新のニュース、乗り換え案内などの情報にダイレクトにアクセスできます。

ご注意

- ガジェットは、最新の情報を取得するために、インターネットに接続することがあります。その際は、別途通信料がかかります。

お知らせ

- 「壁紙オプション」(205ページ)を「ガジェット」に設定しているときは、待受画面に、ガジェットプレーヤーに登録しているガジェットを表示することができます。

ガジェットを登録する

利用したいガジェットは、あらかじめガジェットプレーヤーに登録しておく必要があります。ガジェットは最大4つまで登録できます。

待受画面で **WEB** ▶ **5** 「ガジェット」 ▶ **2** 「ガジェット一覧」 ▶ 登録するガジェットを選択し、**■** [開く]

お知らせ

- 最大100個のガジェットをインストールすることができます。

ガジェットプレーヤーを起動する

待受画面で **WEB** ▶ **5** 「ガジェット」 ▶ **1** 「ガジェットプレーヤー」

お知らせ

- 「壁紙オプション」(205ページ)を「ガジェット」に設定しても、ガジェットプレーヤーが起動していないときは待受画面の操作となります。

■ ガジェットプレーヤーでガジェットを使う

登録したガジェットを使います。

ガジェットプレーヤー起動中に **ガジェットを選択し**、**決定** ▶ **各ガジェットの画面に従って操作する**

🔔 ご注意

● ガジェットを使用中に **戻る** を押すなどして待受画面に戻った場合、ガジェットの画面が表示されていても、待受画面の操作となります。このとき、ガジェットの操作はできません。

📢 お知らせ

- ガジェットを使用するには、あらかじめコンテンツプロバイダーへのユーザー登録などが必要な場合があります。
- ガジェットを選択し、**最大化** を押してもガジェットを使うことができません。
- ガジェットの操作モードを終了するには、以下の手順で行います。
ガジェット操作中に **最小化** ▶ **戻る**

■ ガジェットプレーヤーのメニューを使う

ガジェットのレイアウト変更や、オプションの設定などを行います。

ガジェットプレーヤー起動中に **ガジェットを選択** ▶ **メニュー**

以下の項目から選択します。

1 レイアウト変更	▶ 1 「フリー」、2 「グリッド」、または3 「ライン」 レイアウトを変更します。
2 位置変更*	▶ 表示 で表示したい場所を選択し、 決定 選択したガジェットの表示位置を変更します。
3 ガジェットを閉じる	選択したガジェットを閉じ登録を解除します。
4 オプション	1 ネットワーク接続 ▶ 1 「許可」または2 「禁止」 お買い上げ時：「許可」 ガジェットからのネットワーク接続の許可／禁止を設定します。
	2 ブラウザ起動 ▶ 1 「許可」または2 「禁止」 お買い上げ時：「許可」 ガジェットからのブラウザ起動の許可／禁止を設定します。
5 ガジェットの管理	ガジェットの一覧画面を表示します（「ガジェットを管理する」154ページ）。
6 設定情報の削除	選択したガジェットに設定している情報を削除します。
7 アイコンを選択	ガジェットのアイコンを選択します。

*：「レイアウト変更」で「フリー」を設定しているときのみ選択できます。

ガジェットを管理する

ガジェット一覧の画面で、ガジェットを開いたり、公式サイトに接続してガジェットを探したりすることができます。また、編集や削除などの管理をすることができます。

待受画面で WEB ▶ **5**「ガジェット」▶ **2**「ガジェット一覧」▶ **ガジェットを選択** ▶ **カメラ**「メニュー」

以下の項目から選択します。

1 ガジェットを開く	選択したガジェットをガジェットプレーヤーに登録します。
2 プレビュー	選択したガジェットをプレビュー表示します。
3 公式サイトから探す	▶ 「Yes」を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 公式サイトに接続して、ガジェットのダウンロードやインストールをすることができます。
4 名前編集	▶ 名前を編集し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 選択したガジェットの名前を編集します。
5 削除	▶ 「Yes」を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 選択したガジェットを削除します。
6 更新	▶ 「Yes」を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 選択したガジェットを最新の状態に更新します。
7 属性	選択したガジェットの情報を表示します。
8 並べ替え	▶ 1 「名前（昇順）」、 2 「名前（降順）」、 3 「インストール日時（昇順）」、 または 4 「インストール日時（降順）」 ガジェットを選択した方法で並べ替えます。
9 友達に教える	▶ 「Yes」を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 選択されたガジェットの、配信元のURLが本文に入力されたEメールを新規作成します（「Eメール（テキストメール/デコラティブメール）」を作成して送信する）94ページ。

ご注意

- 登録中のガジェットは**5**「削除」で削除することはできません。削除する場合は、ガジェットの登録を解除してから行ってください（「ガジェットプレーヤーのメニューを使う」153ページ）。
- 登録中のガジェットは**6**「更新」で最新の状態に更新することはできません。更新する場合は、ガジェットの登録を解除してから行ってください（「ガジェットプレーヤーのメニューを使う」153ページ）。

お知らせ

- Webページ上で、ガジェットをダウンロードおよびインストールすると、ガジェット一覧の画面にガジェット名が表示されます。

ガジェットマネージャを初期化する

すべてのガジェットと設定情報をお買い上げ時の状態に戻します。

待受画面で WEB ▶ **5**「ガジェット」▶ **3**「ガジェットマネージャの初期化」▶ **暗証番号を入力** ▶

1 「はい」

お知らせ

- 「ファイルが壊れています。ガジェットマネージャを初期化してください」が表示された場合に使用してください。

●ダイヤルアップを設定する

本機は、一般のプロバイダーからインターネットに接続したり、お客様の会社などのネットワークに接続することができます。

● ご注意

- 別途、一般プロバイダーとのご契約が必要です。ダイヤルアップ設定につきましては、各プロバイダーにお問い合わせください。
- プロバイダー側がY!mobileに対応しているかご確認ください。詳しくはワイモバイルまたは各プロバイダーにお問い合わせください。
- ダイヤルアップは、Eメールのアカウントとは別に設定する必要があります。

ダイヤルアップを設定／解除する（ダイヤルアップ設定） 機能番号93

ダイヤルアップの設定は、ご契約のプロバイダーから取得した情報をもとに、以下の手順で行います。最大2つまでの追加アカウントを登録できます。

待受画面で

1 ▶ 9 ▶ 3

2 1 「接続先1」、 2 「接続先2」、または 3 「Y!mobile」

以下の項目から選択します。表示される項目は、選択している項目により異なります。

接続先名称	ダイヤルアップ接続先にお好みの名前を付けることができます(全角・半角共に16文字まで)。
電話番号	ダイヤルアップ接続するアクセスポイントの電話番号を入力します(32桁まで)。ご利用のデータ通信方式に合わせ、下記のとおり電話番号の末尾に付加番号を入力してください。 ##64 (4x/2xパケット方式) ##61 (1xパケット方式) ##7 (フレックスチェンジ方式) ##4 (64kPIAFS) ##3 (32kPIAFS)
ユーザー名	接続時に使用するログイン名(ユーザー名)を入力します(半角で64文字まで)。
パスワード	接続時に使用するパスワードを入力します(128文字まで)。
ワンタイムパスワード*1	▶ <input type="checkbox"/> 1 「ON」または <input type="checkbox"/> 2 「OFF」
お買い上げ時： 「OFF」	ダイヤルアップ接続時にユーザー名とパスワードを入力するワンタイムパスワード画面を表示させるかどうかを設定します。
分計発信	▶ <input type="checkbox"/> 1 「ON」または <input type="checkbox"/> 2 「OFF」
お買い上げ時： 「OFF」	分計発信するかどうかを設定します(「分計サービスについて(お申し込み必要)」314ページ)。ただし、パケット方式、フレックスチェンジ方式では分計発信を行うことができません。

ダイヤルアップ 設定画面

ダイヤルアップ設定
1/ダイヤルアップ設定
1 接続先1
2 接続先2
3 Y!mobile

ダイヤルアップ設定
2/ダイヤルアップ設定
1 接続先名称
prin
2 電話番号
0570570711##64
3 ユーザー名
prin
4 パスワード

5 ワンタイムパスワード
OFF

詳細設定*1	<input type="checkbox"/> IPアドレス自動取得 お買い上げ時： 「ON」	<input type="checkbox"/> ON <input type="checkbox"/> OFF	サーバーからIPアドレスを自動取得します。 プロバイダーから割り当てられたIPアドレスを入力します。
	<input type="checkbox"/> IPアドレス	「IPアドレス自動取得」を <input type="checkbox"/> 「OFF」にした場合、ここにIPアドレスを入力します。	
	<input type="checkbox"/> DNS自動取得 お買い上げ時： 「ON」	<input type="checkbox"/> ON	サーバーからDNSアドレスを自動取得します。
		<input type="checkbox"/> OFF	プライマリDNSとセカンダリDNSを入力します。
	<input type="checkbox"/> プライマリDNS	「DNS自動取得」を <input type="checkbox"/> 「OFF」にした場合、プライマリDNSアドレスを設定します。	
	<input type="checkbox"/> セカンダリDNS	「DNS自動取得」を <input type="checkbox"/> 「OFF」にした場合、セカンダリDNSアドレスを設定します。	
プロキシ設定*1	<input type="checkbox"/> プロキシ利用 お買い上げ時： 「OFF」	▶ <input type="checkbox"/> 「ON」または <input type="checkbox"/> 「OFF」 プロバイダーに接続する場合に、プロキシサーバーを利用するかどうかを設定します。	
	<input type="checkbox"/> プロキシサーバー名	「プロキシ利用」を <input type="checkbox"/> 「ON」にした場合、プロキシサーバー名を入力します（半角で64文字まで）。	
	<input type="checkbox"/> プロキシポート番号	「プロキシ利用」を <input type="checkbox"/> 「ON」にした場合、プロキシポート番号を入力します。	
	<input type="checkbox"/> プロキシ認証 お買い上げ時： 「OFF」	▶ <input type="checkbox"/> 「ON」または <input type="checkbox"/> 「OFF」 「プロキシ利用」を <input type="checkbox"/> 「ON」にした場合、プロキシ認証が必要ときに <input type="checkbox"/> 「ON」に設定します。	
	<input type="checkbox"/> プロキシID	「プロキシ認証」を <input type="checkbox"/> 「ON」にした場合、プロキシIDを入力します（半角で64文字まで）。	
	<input type="checkbox"/> プロキシパスワード	「プロキシ認証」を <input type="checkbox"/> 「ON」にした場合、プロキシパスワードを入力します（半角で128文字まで）。	
ヘルプ*2	(電話番号)	ワイモバイル カスタマーセンターに電話をかけます。	
	(Eメールアドレス)	ワイモバイル カスタマーセンターを宛先としたEメール作成画面が表示されます（「Eメール（テキストメール/デコラティブメール）」を作成して送信する）94ページ）。	

*1：「接続先1」または「接続先2」を選択したときのみ表示/選択できます。

*2：「Y!mobile」を選択したときのみ表示されます。また、電話番号/Eメールアドレスは「なし」が表示される場合があります。

3 各項目を入力し、【登録】または【キャンセル】

お知らせ

- 「接続先名称」を設定している場合、手順2で接続先がその名称で表示されます。
- 手順2で「Y!mobile」を選択時に設定できる項目は、「分計発信」のみです。

カメラの使いかた

● 撮影／録画の準備をする

カメラを使って静止画の撮影や動画の録画ができます。また、本機のカメラは自動でピントが合うオートフォーカス機能を搭載しています。

撮影／録画した静止画／動画は、Eメールで送信することができます。

カメラを起動して、撮影の準備を行います。

待受画面で **カメラ** を押す

以下の項目から選択します。

1 フォト撮影	モニター画面が表示され、静止画を撮影できます（「撮影する」164ページ）。待受画面で カメラ を長く（1秒以上）押してもフォト撮影を起動することができます。
2 ムービー撮影	モニター画面が表示され、動画を録画できます（「録画する」170ページ）。
3 QRコード撮影	QRコードモニター画面が表示されます（275ページ）。
4 画像タブ	データフォルダ（本体メモリのメインフォルダ）の「フォトタブ」または「画像タブ」を呼び出します。フォルダを切り替えたり、microSDカードを呼び出すこともできます。
5 動画タブ	データフォルダ（本体メモリのメインフォルダ）の「動画タブ」を呼び出します。フォルダを切り替えたり、microSDカードを呼び出すこともできます。
6 フォト設定	フォト撮影の各機能を設定します（「フォト撮影の各種設定をする」169ページ）。
7 ムービー設定	ムービー撮影の各機能を設定します（「ムービー撮影の各種設定をする」173ページ）。

● ご注意

● 管理者ロックの「カメラの使用を許可」（244ページ）が「許可しない」に設定されているときは、カメラ機能を利用することができません。

撮影／録画前のご注意

- ・ レンズに直射日光を長時間当てないでください。内部カラーフィルターの変色により、画像が変色することがあります。
- ・ 本機を暖かい場所に長時間置かないでください。直後に撮影／録画した静止画／動画が劣化することがあります。
- ・ レンズに指紋や油脂がつくと、画像がぼやけてしまいます。柔らかい布でレンズ部を拭いてから撮影／録画してください。
- ・ カメラは非常に精度の高い技術で作られていますが、場合によっては明るく見えたり、暗く見えたりします。ご了承ください。

撮影／録画時のご注意

- ・ 撮影／録画の際は、オートフォーカス標準時：約30cm以上／マクロ時：約10cm以上、被写体から離れてください。
- ・ 暗い場所では光量が不足するため画質が落ちます。明るい場所で撮影／録画を行ってください。または、撮影ライト／録画ライトをご利用ください。
- ・ 撮影／録画の際は手ぶれにご注意ください。画像のぶれを防ぐため、本機をしっかりと持つか、安定した場所に置き、セルフタイマーを使用して撮影／録画してください（「セルフタイマーで撮影／録画する」163ページ）。
- ・ レンズに指やハンドストラップなどがつかないように撮影／録画してください。
- ・ マナーモード設定中も、シャッター音や録画開始音・終了音が鳴ります。
- ・ 本機は撮影ライト／録画ライトを内蔵しています。撮影ライト／録画ライトをご使用になる場合、人の目の前で発光させないようご注意ください。視力障害を起こす原因となります。
- ・ 撮影ライト／録画ライトを目に近づけて点灯させないでください。また、撮影ライト／録画ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。視力低下などの障害を起こす原因となります。
- ・ 撮影セルフタイマー音設定（169ページ）／録画セルフタイマー音設定（173ページ）を「ON」に設定すると、マナーモード設定中もセルフタイマー音が鳴ります。
- ・ 録画時は、マイク部分を手などで覆わないようにしてください。また、録画時の音声の大きさや周囲の環境などで、マイクからの音質が悪くなる場合があります。
- ・ 録画を繰り返し長時間行う場合、本体部分が温かくなり、長時間皮膚を接触させていると低温やけどの原因となる場合がありますので、ご注意ください。
- ・ カメラ動作中に、微少な連続音が聞こえる場合がありますが、これは機器内部部品の動作音であり異常ではありません。

※例：オートフォーカスによる焦点調整動作（撮影、フォーカスロック）やカメラ起動時など

その他のご注意

- カメラで撮影／録画した静止画／動画データは、故障／修理、その他取り扱いによって変化／消失する場合があります。なお、事故や故障が原因で静止画／動画データが変化／消失した場合の損害および損失につきましては、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 撮影ライト／録画ライトを連続して使用した場合、バッテリーの消費が早くなり、本機のご利用時間が短くなります。
- 撮影ライト／録画ライトは暗い場所などでの撮影を補助するもので、ストロボのような光量はありません。
- 撮影ライト／録画ライトには寿命があります。撮影ライト／録画ライトは発光を繰り返すうちに光量が減り暗くなっていきます。
- モニター画面で約3分間操作しないと、モニター画面を終了します。

フォト撮影のモニター画面／プレビュー画面について

- フォト撮影の画面には撮影前のモニター画面と撮影後のプレビュー画面があります。
- モニター画面で静止画を撮影するとプレビュー画面に移ります。プレビュー画面では、撮影した静止画の保存や、撮速メールの送信が行えます。

モニター画面



■ [撮影]



プレビュー画面



アイコン	説明
	フォト撮影 (158ページ)
/ / / / / / / /	撮影モード (161、165ページ)
ホワイトバランス (169ページ)	オート
	蛍光灯
	太陽光
	白熱灯
	ナイトモード (165ページ)
/ *1	フォト画質 (161、165ページ)
オートフォーカス (165ページ)	標準
	マクロ
*2	セルフタイマー (163ページ)
*2	撮影ライト点灯 (166ページ)
*3	横撮りする場合の、カメラの向き

*1：撮影モードが「VGA」、「1M」、「2M」、「3M」、「5M」の場合のみ表示されます。

*2：モニター画面でのみ表示されます。

*3：撮影モードが「1M」、「2M」、「3M」、「5M」の場合のみ表示されます。

お知らせ

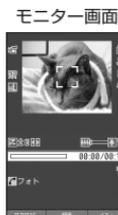
- フォト撮影の撮影モードが「アイコン」以外の場合は、モニター画面／プレビュー画面で を押すと、全画面表示に切り替わります。通常の表示に戻すには、全画面表示中に を押します。

全画面表示



ムービー撮影のモニター画面／プレビュー画面について

- ・ムービー撮影の画面には録画前のモニター画面と録画後のプレビュー画面があります。
- ・モニター画面で動画（「長時間LL」を除く）を録画するとプレビュー画面に移ります。プレビュー画面では、録画した動画の保存や、撮速メールの送信が行えます。



■ [録画]



アイコン		説明
		ムービー撮影（158ページ）
		録画モード（162、171ページ）
AUTO ホワイトバランス（173ページ）		オート
		蛍光灯
		太陽光
		白熱灯
AF *1 オートフォーカス（171ページ）		標準
		マクロ
*1		セルフタイマー（163ページ）
*1		録画ライト点灯（171ページ）
		消音（171ページ）
*2		動画再生時の音量

*1：モニター画面でのみ表示されます。

*2：プレビュー画面でのみ表示されます。

ご注意

- 「長時間LL」で撮影した動画は、プレビュー画面に移らずに保存されます。

フォト撮影とムービー撮影の切り替えについて

- ・モニター画面では、フォト撮影とムービー撮影を切り替えることができます。

モニター画面で 「フォト」 / 「ムービー」を押す

フォト撮影の撮影モード／フォト画質設定について

- 撮影前に、目的にあった撮影モードを選ぶ必要があります。撮影モードにより静止画の容量は異なります。撮影モード、フォト画質設定の設定方法については、「フォト撮影のモニター画面のメニューを使う」(165ページ)をご参照ください。
- Eメールには約700Kバイトまでの静止画を添付できます。

撮影モード	フォト画質	容量	特長
 アイコン：76×62	—	約4KB以下	お気に入りメニューのアイコンとして利用できます。
 壁紙：240×320	—	約30KB以下	本機で待受画面の壁紙などに利用できます。
 壁紙 (ワイド)：240×400	—	約40KB以下	本機で待受画面の全面に表示する壁紙として利用するのに適しています。
 VGA：480×640	ノーマル	約80KB以下	パソコンなどの大きな画面で見ることができます。
	ファイン	約150KB以下	
 1M：1280×960	ノーマル	約300KB以下	L判サイズに引き伸ばしてもきれいにプリントできます。
	ファイン	約500KB以下	
 2M：1600×1200	ノーマル	約500KB以下	2L判サイズに引き伸ばしてもきれいにプリントできます。
	ファイン	約700KB以下	
 3M：2048×1536	ノーマル	約1020KB以下	A4でプリントするための撮影モードです。
	ファイン	約1740KB以下	
 5M：2592×1944	ノーマル	約1230KB以下	A3でプリントするための撮影モードです。
	ファイン	約2250KB以下	
 連写：240×400	—	約40KB以下 (1枚あたり)	9枚の静止画を連続撮影できます。気に入った静止画だけを選択して保存することもできます。1枚の静止画のサイズは「壁紙 (ワイド)」と同じです。

撮影モードを「VGA」、「1M」、「2M」、「3M」、「5M」に設定した場合、フォト画質設定を選択できます。

フォト画質設定	特長
<small>Nor</small> <small>mal</small> ノーマル	標準的な画質
<small>Fine</small> ファイン	細部を詳細に表現

お知らせ

- 撮影モードを「1M」、「2M」、「3M」、「5M」に設定した場合、モニター画面に「」が表示されます。「1M」、「2M」、「3M」、「5M」で横撮りするときは、アイコンの向きが「」になるように本機の向きを調整してください。
- フレームやスタンプなどで装飾した場合は、上記の容量よりも大きくなる場合があります。

DPOF／Exif Print について

本機のカメらは、DPOF、Exif Print に対応しています。

- DPOF : 撮影した静止画の中から、プリントしたいコマや枚数などの指定情報を記録メディアに記録するフォーマットです (「DPOFプリントを設定／解除する」190ページ)。
- Exif Print : Exif Print (Exif 2.1) 対応プリンタをご使用の場合、静止画に記憶された撮影情報を印刷出力に反映させることができます。

ムービー撮影の録画モード／最大録画時間について

- 録画モードの設定方法については「ムービー撮影のモニター画面のメニューを使う」(171ページ)をご参照ください。
- Eメールには約700Kバイトまでの動画を添付できます。

録画モード	最大録画時間
高画質L：176×144	15秒
長時間LL：240×176	300秒

フォト撮影とムービー撮影の共通操作

■ズーム機能を使う

ズーム機能を使って画像を拡大／縮小するには、以下の操作を行います。

なお、フォト撮影の撮影モードを「アイコン」[5M]、ムービー撮影の録画モードを「長時間LL」に設定している場合、ズーム機能は使用できません。

撮影モード、録画モードの設定方法については、「フォト撮影のモニター画面のメニューを使う」(165ページ)または「ムービー撮影のモニター画面のメニューを使う」(171ページ)をご参照ください。

モニター画面で を押す



ズーム機能は以下のように設定できます。

フォト撮影		
撮影モード	倍率	ズーム段階
壁紙	×2倍	20段階
壁紙(ワイド)	×2倍	20段階
VGA	×4.1倍	20段階
1M	×2倍	5段階
2M	×1.6倍	5段階
3M	×1.3倍	5段階
連写	2倍	20段階

ムービー撮影		
録画モード	倍率	ズーム段階
高画質L	4.36倍	16段階

■明るさを調整する

画面の明るさは、カメラ起動時にオートで設定された数値を「±0」として、手動で調整することができます(−5〜+5の11段階)。画面の明るさを調整するには、以下の操作を行います。

モニター画面で を押す



■セルフタイマーで撮影／録画する

約10秒カウントのセルフタイマーを使って撮影／録画できます。

モニター画面で **【メニュー】** ▶ **「セルフタイマー」**を選択し、 **【選択】** ▶ **【開始】** ▶

約10秒後、撮影／録画（▶ **プレビュー画面を確認し、 【保存】**）*

*：長時間LLで録画した場合、プレビュー画面は表示されずに自動的に保存されます。

【開始】を押すと、約10秒のセルフタイマーがカウントダウンを開始します。メインディスプレイとサブディスプレイに残り秒数が表示されます。また、「撮影セルフタイマー音設定」（169ページ）または「録画セルフタイマー音設定」（173ページ）を「ON」に設定すると、カウントダウンを音でお知らせします。

ご注意

● カウントダウン開始前またはカウントダウン中に、 **【中止】** または **【戻る】**を押すとモニター画面に戻り、セルフタイマーを中止します。カウントダウン中に **【撮影】** / **【録画】**を押すと、カウントを中断して通常の撮影／録画を行います。

お知らせ

- セルフタイマーを設定すると、モニター画面に「」が表示されます。
- カウントダウン中は、ズーム、明るさの調整はできません。
- セルフタイマーで撮影後、セルフタイマーは解除されます。
- フォト撮影でセルフタイマーを設定したときのシャッター音は、設定にかかわらず「カシャ」となります。
- 「撮影セルフタイマー音設定」（169ページ）または「録画セルフタイマー音設定」（173ページ）が「ON」に設定されていると、マナーモード設定中でもセルフタイマー音が鳴ります。

■手動でフォーカスをロックして撮影／録画する

オートフォーカス設定（165、171ページ）を「標準」または「マクロ」に設定している場合、画面中央のフォーカス枠内の被写体にフォーカスを固定して撮影できます。また、フォーカスを固定したまま構図を変えて撮影／録画することもできます。

モニター画面で **フォーカスをロックする被写体をモニター画面中央にあるフォーカス枠に合わせる** ▶ **【WEB】**

▶ **構図を確認し、 【撮影】** / **【録画】**

フォーカスロックが完了すると、フォーカスロック音が鳴り、フォーカス枠が緑色に変わります。フォーカスロック中に **【戻る】**を押すと、フォーカスロックが解除されます。再度 **【WEB】**を押すと、フォーカスロックし直すことができます。

お知らせ

- フォーカス枠が赤色に変わった場合は、ピントが合っていません。構図を変えてもう一度フォーカスロックし直してください。
- フォーカスロック音は、マナーモード中でも鳴ります。また、フォーカスロック音の音量は変更できません。
- 被写体に近づいてオートフォーカスで撮影すると、ピントが合わないことがあります。被写体に近づいて撮影するときは、「オートフォーカス設定」を「マクロ」に設定し、被写体から約10cm以上離れて撮影／録画してください。

● 静止画を撮影する

撮影する

カメラのフォト撮影（158ページ）で静止画を撮影します。

モニター画面で **【撮影】** ▶ **プレビュー画面を確認し、** **【保存】**

【撮影】 を押すとシャッター音が鳴り、撮影した静止画がプレビュー画面に表示されます。プレビュー画面で **【保存】** を押すと、撮影した静止画が保存され、モニター画面に戻ります。撮影し直す場合はプレビュー画面で を押した後、 **【はい】** を押すとモニター画面に戻ります。

ご注意

- 撮影時にシャッター音を鳴らさないように設定することはできません。
- モニター画面で何も操作しなかった場合、3分経過するとモニター画面を終了します。

お知らせ

- **【撮影】** の代わりにシャッター／メモ （サイドキー）を押しても撮影できます。
- 撮影し直すには、以下の手順でも行えます。
プレビュー画面で **【戻る】** ▶ **【撮影直し】** ▶ **【はい】**
- 撮影直後に着信などによって保存できなかった場合も、撮影済みの静止画は一時的に保存されます。再度、フォト撮影を起動すると確認画面が表示されます。 **【はい】** を押すと、一時保存された静止画のプレビュー画面が表示され保存操作を行うことができます。
- 撮影した静止画はデータフォルダ（本体メモリのメインフォルダ／microSDカード）に保存されます。ファイル名は以下の形式になります。

撮影モード	保存先	ファイル名	意味
アイコン	本体メモリのメインフォルダ* ¹ 「アイコンタブ」	YYMMDD_hhmm`XXX.kico	Y：年、M：月、D：日、 h：時、m：分、 X：001～999の通し番号
壁紙 壁紙（ワイド） 連写	本体メモリのメインフォルダ* ² 「フォトタブ」	YYMMDD_hhmm`XXX.jpg	
VGA 1M 2M 3M 5M	microSDカード* ³ 「デジカメフォトタブ」	K012XXXX.JPG	X：0001～99999の通し番号

*¹：microSDカード挿入時、microSDカードの「アイコンタブ」に保存することもできます（「フォト撮影のプレビュー画面のメニューを使う」166ページ）。

*²：microSDカード挿入時、microSDカードの「画像タブ」に保存することもできます（「フォト撮影のプレビュー画面のメニューを使う」166ページ）。

*³：microSDカード未挿入時、またはmicroSDカードに空き容量がない場合は、本体メモリの「フォトタブ」に保存されます。また、microSDカード挿入時でも本体メモリの「フォトタブ」に保存できます（「フォト撮影のプレビュー画面のメニューを使う」166ページ）。

連写撮影する

1回のシャッター操作で9枚の静止画を連続撮影します。

モニター画面で

1 **カ** [メニュー] ▶ **1** [撮影モード設定] ▶ **9** [連写: 240×400]

2 **□** [撮影] ▶ サムネイルを選択し、**□** [再生] ▶ **□** [保存]

□ [撮影] を押すと、シャッター音が9回鳴り、9枚撮影されます。

撮影後は、9枚の静止画がサムネイル一覧表示されます。静止画を選択して**□** [再生] を押し、**□** [保存] を押すと選択した静止画がデータフォルダ（本体メモリのメインフォルダ）の「フォトタブ」に保存され、残りの静止画がサムネイル一覧表示されます。

お知らせ

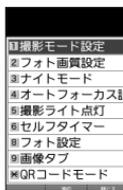
- 連写を設定すると、モニター画面に「**9**」が表示されます。
- 連写中のシャッター音は、設定にかかわらず「カシャ」となります。
- 連写中の画像サイズは、設定にかかわらず「壁紙（ワイド）：240×400」になります。
- 連写撮影中はズーム、明るさの調整はできません。
- 連写撮影中、**■** [中止] または **■** [戻る] を押すと撮影を中止します。
- 連写した9枚の静止画をすべて保存、または選択保存するには、「フォト撮影のプレビュー画面のメニューを使う」（166ページ）をご参照ください。

フォト撮影のモニター画面のメニューを使う

フォト撮影（158ページ）での撮影前にカメラの各機能を設定できます。

モニター画面で **カ** [メニュー] を押す

フォト撮影の
モニター画面の
メニュー



カメラの
使いかた

以下の項目から選択します。表示される項目は、撮影モードなどにより異なります。

1 撮影モード設定 お買い上げ時： 「壁紙(ワイド): 240×400」	▶ 1 ~ 9 (撮影モードを選択) 撮影モードを設定します（161ページ）。 モニター画面で カ を押しても撮影モードを切り替えることができます。
2 フォト画質設定 お買い上げ時： 「ノーマル」	▶ 1 「ノーマル」、または 2 「ファイン」 撮影モードを「VGA」、「1M」、「2M」、「3M」、「5M」に設定したとき、フォト画質を設定します（161ページ）。
3 ナイトモード/ ナイトモード解除 お買い上げ時： 「ナイトモード解除」	夜景などを撮影する際に使用します。通常の画質よりも粗くなり、また、シャッタースピードが落ちます。 カメラを終了すると設定は解除されます。
4 オートフォーカス 設定 お買い上げ時： 「標準」	▶ 1 「標準」、 2 「マクロ」、または 3 「OFF」 オートフォーカスを設定します。 「標準」または「マクロ」に設定すると、画面の中央にピントが合った状態で静止画が撮影されます。「OFF」に設定するとオートフォーカス機能を使用せず、固定焦点で撮影します。 モニター画面で カ を押してもオートフォーカスの設定を切り替えることができます。

5 撮影ライト点灯／撮影ライト消灯 お買い上げ時：「撮影ライト消灯」	夜間や逆光時などの撮影で使用します。カメラを終了すると設定は解除されます。モニター画面で [F7] を押しても点灯／消灯をすることができます。	
6 セルフタイマー	セルフタイマーで撮影します（「セルフタイマーで撮影／録画する」163ページ）。撮影した静止画を保存後、またはカメラを終了すると設定は解除されます。	
7 フォト編集*1*2	3 フレーム	静止画に貼り付けたいフレームを設定します（「静止画にフレームを貼り付ける」168ページ）。
	5 元に戻す	▶ 1 「はい」を押す フォト編集した静止画を編集前の状態に戻します。
8 フォト設定	フォト撮影の各種設定を行います（「フォト撮影の各種設定をする」169ページ）。	
9 画像タブ	データフォルダ（本体メモリのメインフォルダ）の「フォトタブ」または「画像タブ」を呼び出します。フォルダを切り替えたり、microSDカードを呼び出すこともできます。	
0 フレーム*1*2	静止画に貼り付けたいフレームを設定します（「静止画にフレームを貼り付ける」168ページ）。	
* QRコードモード	QRコードモニター画面が表示されます（275ページ）。	

*1：撮影モードを「壁紙」、「壁紙（ワイド）」、「連写」に設定中のみ表示されます。

*2：「特殊効果」（169ページ）が設定されているときは、表示されません。



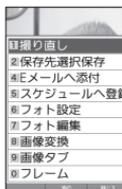
- 撮影モード設定／フォト画質設定／ナイトモード／オートフォーカス設定／撮影ライト点灯／セルフタイマーを設定すると、モニター画面にアイコンが表示されます（159ページ）。
- シャッター音量およびセルフタイマー音量は「音量レベル5」に固定され、変更することはできません。

フォト撮影のプレビュー画面のメニューを使う

フォト撮影（158ページ）で撮影した静止画の編集などが行えます。

プレビュー画面で **か** **[メニュー]** を押す

フォト撮影の
プレビュー画面
のメニュー



以下の項目から選択します。表示される項目は、撮影モードなどにより異なります。

1 撮り直し	▶ 1 「はい」を押す 撮影し直します。	
2 保存先選択保存*1*2	▶ 1 「アイコンタブ」／「フォトタブ」または 2 「microSD」 撮影した静止画の保存先を選択します。	
3 保存*3	「連写」で撮影した静止画を保存します（165ページ）。以下の項目から選択します。	
	1 1件	(▶ 1 「フォトタブ」または 2 「microSD」)*2 「連写」で撮影した静止画を一枚保存します。
	2 選択	▶ 保存したい静止画を選択し、 [選択] を繰り返す ▶ [か] [メニュー] ▶ 2 「保存」(▶ 1 「フォトタブ」または 2 「microSD」)*2 「連写」で撮影した静止画を選択して保存します。選択を解除するには、選択済みの静止画を再度選択して [解除] を押します。
3 全件	(▶ 1 「フォトタブ」または 2 「microSD」)*2 「連写」で撮影した静止画をすべて保存します。	

4	Eメールへ添付	静止画を添付したEメールを新規作成します（「Eメール（テキストメール／デコラティブメール）を作成して送信する」94ページ）。静止画は自動的にデータフォルダ（本体メモリのメインフォルダ）に保存されます。	
5	スケジュールへ登録	静止画をスケジュールに登録します（「スケジュールを登録／編集／確認する」217ページ）。静止画は自動的にデータフォルダ（本体メモリのメインフォルダ）に保存されます。	
6	フォト設定	フォト撮影の各種設定を行います（「フォト撮影の各種設定をする」169ページ）。	
7	フォト編集*4	1 テキスト入力	1 テキストを入力し、 <input type="checkbox"/> 【確定】 2 <input type="checkbox"/> でテキストを貼り付ける位置を調節する 3 <input type="checkbox"/> 【文字色】 を繰り返し押し、文字色を選択する 4 <input type="checkbox"/> 【OK】 を押す 文字（テキスト）に色（9色）を付けて、静止画に貼り付けます（改行不可）。上記の操作を繰り返すと、複数のテキストを入力できます。
		2 画像調整	1 明るさ <input type="checkbox"/> 【暗く】 / <input type="checkbox"/> 【明るく】 で調整し、 <input type="checkbox"/> 【OK】 静止画の明るさを11段階で調整します。 2 ソフト／シャープネス <input type="checkbox"/> 【ソフト】 / <input type="checkbox"/> 【シャープ】 で調整し、 <input type="checkbox"/> 【OK】 静止画の輪郭を11段階で調整します。
		3 フレーム*5	静止画に貼り付けたいフレームを設定します（「静止画にフレームを貼り付ける」168ページ）。
		4 スタンプ*6	1 スタンプを選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 2 <input type="checkbox"/> でスタンプを貼り付ける位置を調節する 3 <input type="checkbox"/> 【貼り付け】 を押す 4 続けてスタンプを貼り付けるときは、手順2～3を繰り返す 5 <input type="checkbox"/> 【確定】 を押す 静止画に貼り付けたいスタンプを設定します。 スタンプ貼り付け中に <input type="checkbox"/> 【スタンプ切替】 を押すと、スタンプ選択画面に戻ります。
		5 元に戻す	<input type="checkbox"/> 【はい】 を押す フォト編集した静止画を編集前の状態に戻します。
8	画像変換*4	1 回転 <input type="checkbox"/> 【左に90°】 / <input type="checkbox"/> 【右に90°】 で回転し、 <input type="checkbox"/> 【保存】 静止画を左または右に90°回転します。	
9	画像タブ	データフォルダ（本体メモリのメインフォルダ）の「フォトタブ」または「画像タブ」を呼び出します。フォルダを切り替えたり、microSDカードを呼び出すこともできます。	
0	フレーム*4*5	静止画に貼り付けたいフレームを設定します（「静止画にフレームを貼り付ける」168ページ）。	

*1：撮影モードが「連写」の場合は、撮影後のサムネール一覧から任意の静止画を再生しているときのメニューで表示されます。

*2：microSDカード挿入時のみ表示されます。

*3：撮影モードが「連写」の場合のみ表示されます。

*4：撮影モードが「アイコン」、「VGA」、「1M」、「2M」、「3M」、「5M」の場合は表示されません。

*5：「特殊効果」（169ページ）が設定されているときは選択できません。

*6：microSDカードのデータは選択できません。



●データフォルダから再生した画像の編集については、「データ再生中のメニューを使う」（181ページ）をご参照ください。

静止画にフレームを貼り付ける

静止画に貼り付けたいフレームを設定します。

■ モニター画面／プレビュー画面メニューの「フォト編集」から選択する場合

モニター画面／プレビュー画面で

1  【メニュー】 ▶ 「フォト編集」を選択し、 【選択】 ▶ 「フレーム」を選択し、 【選択】

■ モニター画面／プレビュー画面メニューの「フレーム」から選択する場合

モニター画面／プレビュー画面で

1  【メニュー】 ▶ 「フレーム」を選択し、 【選択】

2 フレームを選択し、 【選択】 ▶ フレームを確認し、 【OK】

 ご注意

- 撮影モードと異なるサイズのフレームは貼り付けることができません。
- microSDカードのデータは選択できません。

 お知らせ

- フレームがすでに設定されている場合は、フレームの選択画面で 【解除】を押すと、フレームを解除することができます。
- フレーム再生中に 【前へ】／ 【次へ】を押すと、前／次のフレームを確認できます。
- 撮影モードを「連写」に設定した場合、撮影前にフレームを設定すると、すべての静止画にフレームが貼り付けられます。

フォト撮影の各種設定をする

フォト撮影（158ページ）の各機能を設定します。

■ カメラメニューから設定する場合

待受画面で **カメラ** ▶ **6** 「フォト設定」

■ モニター画面／プレビュー画面から設定する場合

モニター画面／プレビュー画面で **カメラ** **[メニュー]** ▶ 「フォト設定」を選択し、**[選択]**

以下の項目から選択します。表示される項目は、設定を始めた画面などにより異なります。

1 日付スタンプ設定*1*2 お買い上げ時： 「表示なし」	1 日付	1 [左向き] で日付や時刻が表示される位置を調節する
	2 時刻	2 [文字色] 【文字色】を繰り返し押して、文字色を選択する
	3 日付+時刻	3 [選択] (または [OK]) を押す 日付スタンプを設定します。本機に設定している日付や時刻で、日付スタンプが表示されます。
	4 表示なし	日付スタンプを表示しません。
2 空きフォルダ容量	データフォルダ（本体メモリ／microSDカード*3）の使用状況をグラフで表示します。	
3 撮速メール送信先設定*2	撮速メールを送信するための設定をします（「撮速メール®を使って静止画や動画を送る」174ページ）。	
4 ホワイトバランス*4 お買い上げ時： 「オート」	▶ 1 「オート」、 2 「蛍光灯」、 3 「太陽光」、または 4 「白熱灯」	
	撮影する静止画の白色を正しく表示するために、ホワイトバランスを設定します。 カメラを終了すると設定は解除されます。	
5 特殊効果*4 お買い上げ時： 「特殊効果なし」	▶ 1 「セピア」、 2 「モノクロ」、または 3 「特殊効果なし」	
	撮影する静止画に特殊効果を設定します。 カメラを終了すると設定は解除されます。	
6 シャッター音設定 お買い上げ時： 「カシャ」	▶ 1 ～ 4 （シャッター音を選択）	
	シャッター音を選択します。シャッター音を選択中に [再生] を押すと、シャッター音を確認することができます。	
7 撮影セルフタイマー音設定 お買い上げ時： 「ON」	▶ 1 「ON」または 2 「OFF」	
	セルフタイマーのカウントダウンの音を鳴らすかどうかを設定します。	

*1：撮影モードを「アイコン」、「VGA」、「1M」、「2M」、「3M」、「5M」に設定中は選択できません。

*2：撮影モードを「連写」で撮影後の場合は、サムネール一覧から任意の静止画を再生しているときのメニューで表示されます。

*3：microSDカード挿入時、**[切り替え]** を押すと、本体メモリまたはmicroSDカードの空き容量表示が切り替わります。

*4：「ナイトモード」を設定しているときは表示されません。

● ご注意

- 「ホワイトバランス」と「特殊効果」は同時に設定できません。

● お知らせ

- ホワイトバランスを設定すると、モニター画面にアイコンが表示されます（159ページ）。
- シャッター音および撮影セルフタイマー音は「音量レベル5」に固定され、変更することはできません。

● 動画を録画する

録画する

カメラのムービー撮影(158ページ)で動画を録画します。動画の録画は、録画モード設定(171ページ)により、録画終了時の操作手順が異なります。

モニター画面で

1 [録画] ▶ 録画を開始 ▶ [終了] または最大録画時間経過で録画終了

■「高画質L」の場合

録画が終了するとプレビュー画面に移ります。

2 プレビュー画面で確認し、 [保存]

保存する前に動画を再生して確認する場合は、プレビュー画面で 【メニュー】 を押し、 「再生」 を押します。

再生中に一時停止すると、 【保存】 ▶ 「はい」 で停止させた画面を静止画として保存することができます。静止画はデータフォルダ(本体メモリのメインフォルダ)の「画像タブ」に保存されます。

プレビュー画面で 【保存】 を押すと、録画した動画が保存され、モニター画面に戻ります。保存しない場合は を押した後、 「はい」 を押すと待受画面に戻ります。

■「長時間LL」の場合

自動的にmicroSDカードの「動画タブ」(microSDカード挿入時)に保存されモニター画面に戻ります。

ご注意

- 録画開始音・終了音を鳴らさずに録画することはできません。

お知らせ

- 【録画】 の代わりにシャッター／メモ (サイドキー) を押しても録画を開始できます。
- 録画を一時停止するには、 【一時停止】 を押します。再開するには、一時停止中に 【録画再開】 を押します。
- 録画中に本機を閉じると録画が終了します。録画モードが「長時間LL」の場合は、録画した動画を保存して終了します。
- 録画モードが「高画質L」で録画中やプレビュー中に着信などによって保存できなかった場合も、それまでに録画された動画データは一時的に保存されます。再度、ムービー撮影を起動すると確認画面が表示されます。「2」 「いいえ」 を押すと、一時保存された動画のプレビュー画面が表示され保存操作を行うことができます。録画モードが「長時間LL」で録画中に着信などがあつた場合は、それまでに録画された動画がmicroSDカードの「動画タブ」(microSDカード挿入時)に保存されます。
- 録画した動画はデータフォルダ(本体メモリのメインフォルダ／microSDカード)に保存されます。ファイル名は以下の形式になります。

録画モード	保存先	ファイル名	意味
高画質L	本体メモリのメインフォルダ*1 「動画タブ」	YYMMDD_hhmm*XXX.3gp	Y:年、M:月、D:日、h:時、m:分、 X:001~999 までの通し番号
長時間LL	microSDカード*2 「動画タブ」	YYMMDD_hhmm*XXX.3g2	

*1: microSDカード挿入時、microSDカードの「動画タブ」に保存することもできます(「ムービー撮影のプレビュー画面のメニューを使う」172ページ)。

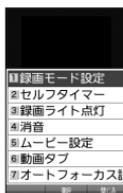
*2: microSDカード未挿入時、またはmicroSDカードに空き容量がない場合は、本体メモリの「動画タブ」に保存されます。

ムービー撮影のモニター画面のメニューを使う

ムービー撮影（158ページ）での録画前にカメラの各機能を設定できます。

モニター画面で **カメラ** **[メニュー]** を押す

ムービー撮影の
モニター画面の
メニュー



以下の項目から選択します。表示される項目は、録画モードなどにより異なります。

1 録画モード設定 お買い上げ時： 「高画質L：176×144」	▶ 1～2（録画モードを選択） 録画モードを設定します（「ムービー撮影の録画モード／最大録画時間について」162ページ）。 モニター画面で [M] を押しても録画モードを切り替えることができます。
2 セルフタイマー	セルフタイマーで録画します（「セルフタイマーで撮影／録画する」163ページ）。 録画後、またはカメラを終了すると設定は解除されます。
3 録画ライト点灯／録画ライト消灯 お買い上げ時： 「録画ライト消灯」	夜間や逆光時などの録画で使用します。 カメラを終了すると設定は解除されます。 モニター画面で [A/L] を押しても点灯／消灯をすることができます。
4 消音／消音解除 お買い上げ時： 「消音解除」	音声なしで録画するときを使用します。 カメラを終了すると設定は解除されます。
5 ムービー設定	ムービー撮影の各種設定を行います（「ムービー撮影の各種設定をする」173ページ）。
6 動画タブ	データフォルダ（本体メモリのメインフォルダ）の「動画タブ」を呼び出します。 フォルダを切り替えたり、microSDカードを呼び出すこともできます。
7 オートフォーカス設定 お買い上げ時： 「標準」	▶ 1「標準」、2「マクロ」、または3「OFF」 オートフォーカスを設定します。 「標準」または「マクロ」に設定すると、画面の中央にピントが合った状態で動画が録画されます。「OFF」に設定するとオートフォーカス機能を使用せず、固定焦点で録画します。 モニター画面で [M] を押してもオートフォーカスの設定を切り替えることができます。



- 録画モード設定／セルフタイマー／録画ライト点灯／消音／オートフォーカス設定を設定すると、モニター画面にアイコンが表示されます（160ページ）。

ムービー撮影のプレビュー画面のメニューを使う

プレビュー画面で **カメラ** **[メニュー]** を押す

ムービー撮影の
プレビュー画面
のメニュー



以下の項目から選択します。表示される項目は、録画モードなどにより異なります。

1再生	録画した動画を再生します。
6録り直し	録画し直します。
7保存先選択保存*	▶ 1「本体メモリ」または2「microSD」 録画した動画の保存先を選択します。
8Eメールへ添付	動画を添付したEメールを新規作成します（「Eメール（テキストメール/デコラティブメール）を作成して送信する」94ページ）。動画はデータフォルダ（本体メモリのメインフォルダ）へ自動的に保存されます。
9ムービー設定	ムービー撮影の各種設定を行います（「ムービー撮影の各種設定をする」173ページ）。

* : microSDカード挿入時のみ表示されます。

ご注意

- 録画モードが「長時間LL」の場合は、撮影後にプレビュー画面は表示されません。

ムービー撮影の各種設定をする

ムービー撮影（158ページ）の各機能を設定します。

■ カメラメニューから設定する場合

待受画面で ▶ **7** 「ムービー設定」

■ モニター画面／プレビュー画面から設定する場合

モニター画面／プレビュー画面で **【メニュー】** ▶ 「ムービー設定」を選択し、 **【選択】**

以下の項目から選択します。表示される項目は、設定を始めた画面などにより異なります。

1 録画開始・終了音設定 お買い上げ時： 「ピピッ」	▶ 1 ～ 4 （録画開始・終了音を選択） 録画開始・終了音を選択します。録画開始・終了音を選択中に 【再生】 を押し、録画開始・終了音を確認することができます。
2 空きフォルダ容量	データフォルダ（本体メモリ／microSDカード*）の使用状況をグラフで表示します。
3 撮速メール送信先設定	撮速メールを送信するための設定をします（「撮速メール [®] を使って静止画や動画を送る」174ページ）。
4 ホワイトバランス お買い上げ時： 「オート」	▶ 1 「オート」、 2 「蛍光灯」、 3 「太陽光」、または 4 「白熱灯」 録画する動画の白色を正しく表示するために、ホワイトバランスを設定します。 カメラを終了すると設定は解除されます。
5 特殊効果 お買い上げ時： 「特殊効果なし」	▶ 1 「セピア」、 2 「モノクロ」、または 3 「特殊効果なし」 録画する動画に特殊効果を設定します。 カメラを終了すると設定は解除されます。
6 録画セルフタイマー音設定 お買い上げ時： 「ON」	▶ 1 「ON」または 2 「OFF」 セルフタイマーのカウントダウンの音を鳴らすかどうかを設定します。

*：microSDカード挿入時、 **【切り替え】** を押し、本体メモリまたはmicroSDカードの空き容量表示が切り替わります。

ご注意

● 「ホワイトバランス」と「特殊効果」は同時に設定できません。

お知らせ

- ホワイトバランスを設定すると、モニター画面にアイコンが表示されます（160ページ）。
- 録画開始・終了音および録画セルフタイマー音は「音量レベル5」に固定され、変更することはできません。

● 撮速メール[®]を使って静止画や動画を送る

撮速メールは、撮影した静止画や録画した動画を設定した送信先へEメールで簡単に送ることができる機能です。あらかじめ、撮速メールの送信先を登録しておく必要があります。

撮速メール[®]の送信先を設定する

宛先を3件まで設定することができます。

■ カメラメニューから設定する場合

待受画面で

- 1 [カメラ] ▶ 6 「フォト設定」または 7 「ムービー設定」 ▶ 3 「撮速メール送信先設定」 ▶ 1 ~ 3 (登録する送信先を選択)

■ モニター画面/プレビュー画面から設定する場合

モニター画面/プレビュー画面のメニューで

- 1 「フォト設定」または「ムービー設定」を選択し、 [選択] ▶ 3 「撮速メール送信先設定」 ▶ 1 ~ 3 (登録する送信先を選択)

送信先一覧画面



2 「To宛先」を選択する

■ 電話帳/送信履歴/受信履歴/プロフィールから引用する場合

[引用] を押す

以下の項目から選択します。

1 電話帳	▶ 引用したい電話帳データを選択し、 <input type="checkbox"/> [選択] ▶ Eメールアドレスを選択し、 <input type="checkbox"/> [選択] 電話帳に登録されているEメールアドレスを呼び出して入力します。
2 送信履歴	▶ 引用したい送信履歴を選択し、 <input type="checkbox"/> [選択] 送信履歴からEメールアドレスを呼び出して入力します。
3 受信履歴	▶ 引用したい受信履歴を選択し、 <input type="checkbox"/> [選択] 受信履歴からEメールアドレスを呼び出して入力します。
4 プロフィール	▶ 引用したいEメールアドレスを選択し、 <input type="checkbox"/> [選択] プロフィールに登録されているEメールアドレスを呼び出して入力します。

■ 直接入力する場合

Eメールアドレスを入力する

3 「Sub件名」を入力

4 「種別」を選択し、 [選択] *

* : 手順1で「フォト設定」を選択したときのみ操作します。

以下の項目から選択します。

毎回選択	撮影した静止画の挿入のしかたを毎回選択します。
文末へ挿入	撮影した静止画を文末に挿入します。
文頭へ挿入	撮影した静止画を文頭に挿入します。
添付ファイル	撮影した静止画をメールに添付します。

5 「本文」を入力

6 □ [登録] または [かろ] [登録]

🔔 ご注意

- 「宛先」を入力しないと登録できません。

📢 お知らせ

- 入力できる文字数は以下のとおりです。
 - ・「宛先（直接入力）」：半角で64文字まで
 - ・「件名」：全角・半角共に40文字まで
 - ・「本文」：全角・半角共に5000文字まで
- 登録した送信先を削除するには、以下の操作を行います。
送信先一覧画面で削除したい送信先を選択し、[かろ] [削除] ▶ [1] [はい]

撮速メール[®]を送信する

あらかじめ設定した送信先へ、撮速メールを送信します。なお、送信した静止画や動画はデータフォルダ（本体メモリのメインフォルダ）に保存されます。送信したメールは送信済みメールとして送信BOXに保存されます。

画面サイズが本機より小さいPHSや携帯電話に撮速メールを送信する場合は、送信先の電話機の画面サイズに合わせた撮影モードで撮影してください。

プレビュー画面で 電話機 [撮速メール] (▶ [1] ~ [3] (送信先を選択)) *1 (▶ [1] [文末へ挿入] / [2] [文頭へ挿入] / [3] [添付ファイル]) *2

*1：送信先が2件以上登録されている場合に操作します。

*2：静止画を送信するときに、撮速メールの送信先設定の「種別」を「毎回選択」に設定しているときに操作します。

Eメール作成画面が表示されます（「Eメール（テキストメール／デコラティブメール）を作成して送信する」94ページ）。

🔔 ご注意

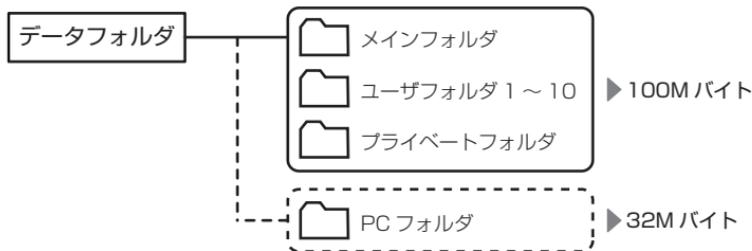
- 撮影した静止画が、送信できる最大容量を超えている場合はリサイズされます。

データフォルダの使いかた

● データフォルダについて（本体メモリ／microSDカード）

データフォルダには、カメラで撮影／録画した静止画／動画データ、Webでダウンロードしたデータ、受信したEメールに添付されていたデータなどが保存されます。保存したデータは、データフォルダ内のその種別に合わせたタブ内に保存されます。データフォルダのデータは本機のさまざまな機能に設定できるほか、Eメールに添付して送信することもできます。データフォルダに保存できる容量は、最大約100Mバイトまでです。

データフォルダ内には「PCフォルダ」が用意されており、パソコンとデータをやり取りするときに利用します。「PCフォルダ」に保存できる容量は最大約32Mバイトまでで、データフォルダの最大保存容量（100Mバイト）には含まれません。



また、microSDカードにもデータフォルダと同様にさまざまなデータを保存することができます。microSDカードに保存できるデータの件数や容量は、使用するmicroSDカードによって異なります。

データの保存容量が限界に達した時点で、それ以上の保存はできなくなります。

● ご注意

- データフォルダに登録した内容は、故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。なお、故障や修理が原因でデータが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- Webページのデータには、データフォルダに保存できないものや、データフォルダからの転送、Eメールへの添付ができない場合があります。
- 「PCフォルダ」には最大239個のファイルを保存できます。ただし、長いファイル名（13文字以上）や全角が使われているファイル名のデータが多く保存されている場合は、容量に空きがあっても「PCフォルダ」に保存できない場合があります。
- microSDカードを本機に挿入していないときは、microSDカードに関する操作はできません。
- microSDカードで容量の大きいデータや多くのデータを操作した場合、時間がかかることがあります。
- 本体メモリの「フォトタブ」からmicroSDカードへコピーや移動をする場合、データのファイル名が変わることがあります。
- microSDカードのデータを保存中や削除中、空きフォルダ容量確認中、フォーマット中は、本機からmicroSDカードを抜いたり、本機の電源を切ったり、バッテリーを取りはずしたりしないでください。データが破壊されることがあります。
- microSDカードによっては、フォーマットしないと使えないものもあります。本機にてフォーマットしてからご使用ください（「microSDカードをフォーマットする」189ページ）。
- 管理者ロックの「保存データの持出を許可」（247ページ）が「許可しない」に設定されているときは、データフォルダに保存されているデータを外部へ持ち出すことはできません。
- 管理者ロックの「microSDの使用を許可」（247ページ）が「許可しない」に設定されているときは、microSDカードを利用することができません。

● お知らせ

- データフォルダの使用容量の確認については、「タブのメニューを使う」（187ページ）をご参照ください。
- データフォルダの空き容量が不足している場合、データの保存時にエラーメッセージが表示されます。このとき、新しいデータを保存できるまで、「データを削除する」（188ページ）の手順に従って、不要なデータを削除する必要があります。
- 本機では、最大32GバイトのmicroSDカード（microSDHC規格を含む）を使用できます。当社基準において動作確認したmicroSDカードについては、京セラのホームページをご覧ください。
- データフォルダのファイルを利用するときに²⁹⁵【フォルダ切り替え】と表示されているときは、²⁹⁵でフォルダメニュー画面を表示してフォルダを切り替えることができます。

データフォルダの構成

メインフォルダ	メインとして使うフォルダです。自動保存した場合などはメインフォルダに保存されます。	
	タブ構成	
	全て	データフォルダに保存されているすべてのデータを表示します。
	フォト	カメラで撮影した静止画データが保存されます。
	画像	Eメールで受信したり、インターネットでダウンロードした画像が保存されます。
	デコ絵文字	デコラティブメールの絵文字データが保存されます。
	動画	カメラで録画した動画データや、Webページの動画データが保存されます。
	アイコン	お気に入りメニューのアイコン用データが保存されます。
	サウンド	Eメールで受信したり、インターネットでダウンロードした音楽データ、Myボイスメモで録音したデータが保存されます。
	アレンジ	基本メニューのデザイン用データ（アレンジデータ）が保存されます。
	名刺／予定	電話帳（vCard）やカレンダー（vCalendar）のデータが保存されます。
	テンプレート	デコラティブメールのテンプレートが保存されます。
	フレーム	画像に貼り付けるフレームが保存されます。
スタンプ	画像に貼り付けるスタンプが保存されます。	
その他	上記以外のデータが保存されます。	
ユーザフォルダ 1~10	メインフォルダのデータを整理するときに使います。	
	タブ構成	
	タブ構成はメインフォルダと同じです。	
プライベートフォルダ	フォルダを開くときに暗証番号の入力が必要なフォルダです。	
	タブ構成	
	タブ構成はメインフォルダと同じです。	
PCフォルダ	本機とパソコンをUSBケーブル（別売）でつないで、パソコンとデータをやり取りするときに使います。 「PCフォルダ」ではデータの再生などを行うことができません。	
	タブ構成	
	—	
microSD*	microSDカードに保存されたデータが表示されます。	
	タブ構成	
	タブ構成はメインフォルダと同じです。 ※microSDカードでは「フォト」が「デジカメフォト」と表示されます。	

*：microSDカード挿入時のみ表示されます。

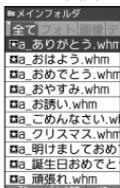


● 「PCフォルダ」にタブはありません。

フォルダ メニュー画面



タブ画面



保存できるデータの種類

タブ名	表示されるデータ	アイコン	拡張子	登録できる機能*1
全て	すべてのデータ	—	—	—
フォト*2	撮影した静止画		.jpg	壁紙、音声発信画面、電話帳画像、音声着信画面、アラーム画像、スケジュール画像メモ、プロフィール画像
画像	画像（撮影した静止画以外）		.bmp、.jpeg、.jpg、.gif、.png	壁紙、音声発信画面、電話帳画像、音声着信画面、アラーム画像、スケジュール画像メモ、プロフィール画像
デコ 絵文字	デコ絵文字		.gif、.jpeg、.jpg	壁紙、音声発信画面、電話帳画像、音声着信画面、アラーム画像、スケジュール画像メモ、プロフィール画像
動画	録画した動画		.3gp、.3g2	—
	動画		.mp4	—
			.swf	壁紙、エモーションメッセージ
			.flv	—
アイコン	アイコン画像		.kico	お気に入りメニュー
サウンド	メロディ		.midi、.mid (MIDI)	音声着信音、Bluetooth着信音、SMS受信音、Eメール受信音、お知らせシェア受信音、アラーム音、スケジュールアラーム、TODOアラーム
			.dxx (feel sound)	
			.mp3 (MP3)	
			.kmv (Myボイスメモ)	—
			g726(災害用音声お届け)	
アレンジ	アレンジ用メニュー		.kmmf	基本メニュー
名刺/ 予定	電話帳 (vCard)		.vcf	電話帳
	カレンダー (vCalendar)		.vcs	スケジュール、TODO
テンプレート	デコラティブメールのテンプレート		.whm	—
フレーム	フレーム		.kcfm	—
スタンプ	スタンプ		.kstp	—
その他	テキスト		.txt	—
	QRコード解析結果		.QRC	—
	Java™アプリ		.jad、.jar	Java™アプリ
	HTML		.html、.htm	—
	辞書データ		.dic	オプション辞書登録
	種別不明なデータ		上記以外のファイル	—

*1: microSDカード内の「.vcf」、「.vcs」、および「.jad」以外のデータは登録できません。

*2: microSDカードでは、「デジカメフォト」と表示されます。

ご注意

- 著作権のあるデータはEメールへの添付や編集、赤外線での送信、パソコン/microSDカードへのコピー/移動などができません。
- 拡張子が「.mp4」、「.swf」、「.flv」、または「.mp3」のデータは、本機から外部へ取り出すことができません。
- 本機で再生できるfeel soundは64和音のみです（64和音以外は保存のみ可）。64和音以外のファイルで一部再生できるものがありますが、動作を保証するものではありません。ご了承ください。

お知らせ

- フレームはパソコンなどで作成することができます。画像サイズが「240×320」、または「240×400」のPNG/GIF形式で作成し、拡張子を「.kcfm」に変更してください。作成したフレームは、本機の本体メモリに保存してご使用ください。
- スタンプはパソコンなどで作成することができます。画像サイズが「240×400」以下のPNG形式で作成し、拡張子を「.kstp」に変更してください。作成したスタンプは、本機の本体メモリに保存してご使用ください。

● データを再生する

待受画面で ▶ 「データフォルダ」を選択し、 [選択] ▶ フォルダ / [microSD] を選択し、 [選択] (▶ 暗証番号を入力^{*1} / [microSDデータ]^{*2}) ▶ ▶ タブを選択し、 [ファイルへ] または ▶ データを選択し、 [再生] または [電話帳] [再生]

*1: 「プライベートフォルダ」を選択したときに操作します。

*2: microSDカード挿入時、「microSD」を選択したときに操作します。

● ご注意

● 「PCフォルダ」のデータは再生できません。

● お知らせ

● 画像データの再生では、画面サイズより大きなデータは、 で表示位置を移動できます。また、 [全画面表示] を押すと再生データを全画面表示で確認することができます。再生できる画像サイズは以下のとおりです。

データの種類	再生可能サイズ
フォト／画像	4MB以下、3264×2448以下
フレーム	240×320、240×400
スタンプ	240×400以下

再生中の操作について

■ 「フォト」、「デジカメフォト」(microSD)、「画像」、「デコ絵文字」、「アイコン」、「フレーム」、「スタンプ」データの場合は、画像データが表示されます。

以下の操作が行えます。行える操作は再生しているデータにより異なります。

<input type="checkbox"/>	原寸で表示／縮小して表示
<input type="checkbox"/>	全画面表示への切り替え
<input type="checkbox"/>	表示位置の調節
<input type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/>	前／次の画像を表示

■ 「動画」データの場合は、動画が再生されます。

動画データは以下の操作が行えます。行える操作は再生しているデータにより異なります。

<input type="checkbox"/>	再生／一時停止
<input type="checkbox"/>	停止
<input type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/>	巻き戻し／早送り
<input type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/>	音量を上げる／下げる

● お知らせ

● 動画データ再生中に以下の操作を行うと、再生画面の表示を変更できます。

動画データ再生中に [メニュー]

以下の項目から選択します。

通常表示	録画した録画モードの大きさを動画を再生します。
拡大表示	縦横比を変えずに、全画面で動画を再生します。再生される動画は右に90°回転して表示されます。再生が終了すると設定は解除されます。
拡大表示 (WIDE)	横幅を画面いっぱい広げて、全画面で動画を再生します。再生される動画は右に90°回転して表示されます。再生が終了すると設定は解除されます。

拡張子が「.swf」のデータは以下の操作が行えます。行える操作は再生しているデータおよびブラウザの表示モード（126ページ）により異なります。

<input type="checkbox"/>	オブジェクトの選択や決定
	フォーカス／ポインタの移動
を長く（2秒以上）	音量の選択画面が表示され、音量を変更できます。
電話帳	終了
<input type="text" value="1"/> ～ <input type="text" value="9"/> 、 <input type="text" value="0"/> 、 <input type="text" value="＊"/> 、 <input type="text" value="＃"/>	ダイヤルキーの操作に対応している場合の操作

拡張子が「.flv」のデータは以下の操作が行えます。行える操作は再生しているデータにより異なります。

<input type="checkbox"/>	再生
電話帳	一時停止／停止
加勢	停止
/	巻き戻し／早送り
/	音量を上げる／下げる

■「サウンド」データの場合は、メロディが再生されます。

以下の操作が行えます。行える操作は再生しているデータにより異なります。

<input type="checkbox"/>	停止／再生
/	音量を上げる／下げる
メール / WEB	前／次のメロディ、または音声の再生

■「アレンジ」データの場合は、基本メニューのデザイン用データ（アレンジデータ）が表示されます（「基本メニューを設定する」42ページ）。

■「名刺」データの場合は、電話帳詳細表示画面として表示されます（「電話帳データを呼び出す」81ページ）。

■「予定」データの場合は、スケジュール詳細表示画面またはTODO詳細表示画面として表示されます（「スケジュールを確認する」220ページ、「TODOを確認する」223ページ）。

■「テンプレート」データの場合は、デコラティブメールの作成画面として表示されます（「Eメール（テキストメール／デコラティブメール）を作成して送信する」94ページ）。

データ再生中のメニューを使う

データ再生中に **【メニュー】** を押す

以下の項目から選択します。表示される内容または選択できる項目は、再生しているデータにより異なります。

1 登録	データを各機能に登録します（「データを登録する」184ページ）。
4 画像編集*	画像へのテキスト入力や、明るさ・輪郭の調整、フレーム・スタンプの貼り付けをすることができます（「画像データを編集する」182ページ）。
5 ファイル名編集	▶ ファイル名を編集し 、 【確定】 データのファイル名を変更します（拡張子を含めて全角・半角共に40文字まで）。
6 Eメールへ添付	データを添付したEメールを新規作成します（「Eメール（テキストメール／デコラティブメール）を作成して送信する」94ページ）。
7 画像変換	画像の回転やリサイズ、トリミングをすることができます（「画像データを変換する」183ページ）。
8 詳細情報	ファイル名、ファイルサイズ、保存日時、著作権のあり／なしを表示します。
✕ 削除	▶ 1 【はい】 を押す データを削除します。
≡ ショートカット	データフォルダのデータを、お気に入りメニューへ登録します（「お気に入りメニューを設定する」43ページ）。
☎ 発信	▶ ☎ または 【発信】 電話番号を選択している場合、発信を行います。
✉ Eメール作成／SMS作成	Eメールアドレス／電話番号を選択している場合、Eメール／SMS作成を行います（「Eメール（テキストメール／デコラティブメール）を作成して送信する」94ページ、「SMSを作成して送信する」103ページ）。
WEB URLへ接続	URLを選択している場合、URL接続を行います。
赤外線送信	▶ 本機と相手側の赤外線ポートを向かい合わせる ▶ 送信完了 データを赤外線で送信します（「赤外線で送信する」286ページ）。
繰り返し再生 お買い上げ時： 【ON】	▶ 1 【ON】 または 2 【OFF】 画像（GIFアニメ）やサウンドを繰り返し再生するかどうかを設定します。

*：「240×400」より大きなサイズの画像は表示されません。

🔍 ご注意

- 「動画」、「アレンジ」、「テンプレート」、「その他」タブ内にあるデータ再生中はメニューを使えないことがあります。
- ファイル名には、以下の半角記号は使えません。
< > : ¥ " / ? * | . ;
- microSDカードの「デジカメフォトタブ」内のデータは、ファイル名編集を行えません。

■ 画像データを変換する

データフォルダに保存されている画像データを変換（回転／リサイズ／トリミング）することができます。アイコンデータは変換できません。

データ再生中のメニューで

1 7 「画像変換」を押す

以下の項目から選択します。

1 回転 ^{*1}	▶ 【左に90°】 / 【右に90°】 で回転し、 【OK】 画像を左または右に90° に回転します。
2 リサイズ ^{*2}	▶ 1～5（サイズを選択） 画像のサイズを選択したサイズに縮小します。
3 トリミング ^{*3}	▶ 1～3（サイズを選択） ▶ でトリミング枠を移動し、 画像の一部をトリミング（切り抜き）します。

*1：「240×400」より大きなサイズの画像は選択できません。

*2：画像サイズが「480×640」、「1280×960」、「1600×1200」、「2048×1536」、「2592×1944」の場合のみ選択できます。

*3：画像サイズが「76×62」以下、または「2592×1944」より大きい場合は使用できません。

■ 繰り返し変換する場合

データを変換した後、 【メニュー】 ▶ 7 「画像変換」

2 データを変換した後、 【保存】 ▶ ファイル名を入力し、 【確定】

画像変換後のデータは、「画像タブ」に保存されます。 「メニューアイコン」でトリミングしたデータは「アイコンタブ」に保存されます。

ご注意

● 著作権のあるデータは変換することはできません。

お知らせ

● ファイル名に入力できる文字数は、拡張子（.jpgなど）を含め全角・半角共に40文字までです。

● データの変換後は、最後に編集した項目に従って、ファイル名の末尾に以下の形式が付きま

- ・「回転」で変換したデータ : _r
- ・「リサイズ」で変換したデータ : _s
- ・「トリミング」で変換したデータ : _tr
（メニューアイコンの場合は、_j）

● データ再生中に 「原寸表示」 / 「縮小表示」と表示されるデータでは、表示方法によりトリミングできるサイズが異なります。

● データを登録する

データフォルダのデータは本機のさまざまな機能に登録できます。登録できる機能はデータの種類によって異なります。データフォルダのデータを各機能に登録するには、データフォルダから登録する機能を選ぶ方法と、各機能からデータフォルダを呼び出してデータを選択する方法の2とおりがあります。

ここでは、データフォルダから登録する機能を選ぶ方法を説明します。

待受画面で

- 1 ▶ 「データフォルダ」を選択し、 [選択] ▶ フォルダ / 「microSD」を選択し、 [選択] (▶ 暗証番号を入力*1 / 「microSDデータ」*2) ▶ ◀ でタブを選択し、 [ファイルへ] または ◀ ▶ データを選択

*1: 「プライベートフォルダ」を選択したときに操作します。

*2: microSDカード挿入時、「microSD」を選択したときに操作します。

■ 名刺 / 予定データの場合

- 2 かわ [メニュー] ▶ [登録]

データの種類と登録先は以下のとおりです。

データの種類		登録先	各機能からの登録
名刺		電話帳	89ページ
予定	スケジュール	スケジュール	224ページ
	TODO	TODO	

■ オプション辞書ファイル (その他データ) の場合

- 2 オプション辞書のファイルを選択し、 [登録] ▶ [はい]

上記手順を行うと、オプション辞書が登録されます。

オプション辞書については、「辞書データを登録 / 解除する」(75ページ) をご参照ください。

■ Jadファイル (その他データ) の場合

- 2 拡張子が「.jad」のファイルを選択し、 [登録] ▶ [はい]

上記手順を行うと、アプリケーション (Java™アプリ) がインストールされます。

Java™アプリについては、「Java™アプリについて」(277ページ) をご参照ください。

■ フォト / 画像 / デコ絵文字 / サウンドデータの場合

- 2 かわ [メニュー] ▶ [登録]

以下の項目から選択します。

データの種類	メニューの表示 (登録先)	各機能からの登録
フォト / 画像 / デコ絵文字	1 壁紙	202ページ
	2 音声発信画面	
	3 電話帳画像	77ページ
	4 音声着信画面	202ページ
サウンド	1 音声着信音	194ページ
	2 Bluetooth着信音	195ページ
	3 SMS受信音	196ページ
	4 Eメール受信音	
	5 お知らせシェア受信音	197ページ

■ SWFファイルの場合

- 2 かわ [メニュー] ▶ [登録] ▶ [壁紙] または [エモーションメッセージ]

 **ご注意**

- 「PCフォルダ」のデータ、microSDカードのデータ（拡張子が「.vcf」、「.vcs」、「.jad」のデータを除く）は、各機能に登録することができません。
- 画像サイズが「2592×1944」より大きい画像は、各機能に登録できない場合があります。

 **お知らせ**

- 登録したデータを解除／削除する場合は、登録先の機能から行います。

● データフォルダのメニューを使う

フォルダのメニューを使う

待受画面で **□** ▶ 「データフォルダ」を選択し、**□** 【選択】 ▶ フォルダ / 「microSD」を選択し、**□** 【メニュー】

以下の項目から選択します。表示される項目は、選択するフォルダにより異なります。

5 フォルダ名編集	▶ フォルダ名を編集し、 □ 【確定】 フォルダ名を変更します（全角・半角共に10文字まで）。 中止するときは ⏪ 【戻る】を押します。
✳ PCフォルダ 初期化	▶ □ 【はい】 ▶ 暗証番号を入力 「PCフォルダ」を初期化します。
✳ ショートカット	データフォルダのフォルダ / 「microSD」をお気に入りメニューへ登録します（「お気に入りメニューを設定する」43ページ）。

🔔 ご注意

- 「PCフォルダ初期化」を行うと「PCフォルダ」内のデータは削除されます。
- 「メインフォルダ」、「PCフォルダ」、「microSD」のフォルダ名は変更できません。

■ タブのメニューを使う

メインフォルダ、ユーザフォルダ、プライベートフォルダ、またはmicroSDカードのタブのメニューを使うと、様々な操作を行えます。

待受画面で **□** ▶ 「データフォルダ」を選択し、**□** 【選択】 ▶ フォルダ / 「microSD」を選択し、**□** 【選択】（▶ 暗証番号を入力^{*1} / **□** 【microSDデータ】^{*2}）▶ **◀** でタブを選択し、**□** 【ファイルへ】または **□** ▶ データを選択 ▶ **□** 【メニュー】

*1：「プライベートフォルダ」を選択したときに操作します。

*2：microSDカード挿入時、「microSD」を選択したときに操作します。

以下の項目から選択します。表示される内容や選択できる項目は、選択するデータにより異なります。

1 登録	データを各機能に登録します（「データを登録する」184ページ）。	
2 コピー ^{*1} 3 移動 ^{*1}	□ 1件	▶ フォルダ / 「microSD」を選択し、 □ 【選択】（▶ 暗証番号を入力） ^{*2} ▶ □ 【はい】 データを他のフォルダ、またはmicroSDカードにコピー／移動します。
	2 選択	▶ コピーまたは移動したいデータを選択し、 □ 【選択】を繰り返す ▶ ⏪ 【コピー】または ⏪ 【移動】 ▶ フォルダ / 「microSD」を選択し、 □ 【選択】（▶ 暗証番号を入力） ^{*2} ▶ □ 【はい】 複数のデータを選択して、他のフォルダ、またはmicroSDカードにコピー／移動します。 選択を解除するには、選択済みのデータを再度選択し、 □ 【解除】を押します。
	3 タブ内全件 / フォルダ	▶ 暗証番号を入力 ▶ フォルダ / 「microSD」を選択し、 □ 【選択】（▶ 暗証番号を入力） ^{*2} ▶ □ 【はい】 タブ内／フォルダ内のすべてのデータを他のフォルダ、またはmicroSDカードにコピー／移動します。
5 ファイル名編集	▶ ファイル名を編集し、 □ 【確定】 データのファイル名を変更します（拡張子を含めて全角・半角共に40文字まで）。	
6 Eメールへ添付	データを添付したEメールを新規作成します（「Eメール（テキストメール／デコラティブメール）」を作成して送信する」94ページ）。	
8 詳細情報	ファイル名、ファイルサイズ、保存日時、著作権のあり／なしを表示します。	

9 ソート お買い上げ時： 「保存順（新しい順）」	保存順	▶ 「保存順（新しい順）」または「保存順（古い順）」を選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 データを保存した日付の順に並び替えます。	
	名前順	▶ 「名前順（昇順）」または「名前順（降順）」を選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 データを名前の順に並び替えます。	
	サイズ順	▶ 「サイズ順（小さい順）」または「サイズ順（大きい順）」を 選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 データをデータサイズの順に並び替えます。	
0 設定	1 空きフォルダ 容量 お買い上げ時： 「大」	データフォルダまたはmicroSDカードの使用状況をグラフで表示します。 ^{*3}	
		2 表示切替	<input type="checkbox"/> なし ファイル名のみを表示します。 <input type="checkbox"/> 1行表示 画像データなどを、ファイル名とサムネイルで表示します。 <input type="checkbox"/> 大 画像データなどを、1画面に12枚のサムネイルで表示します。 <input type="checkbox"/> 小 画像データなどを、1画面に20枚のサムネイルで表示します。
	* 削除	▶ <input type="checkbox"/> 「1件」、 <input type="checkbox"/> 「選択」、または <input type="checkbox"/> 「タブ内全件」 / 「フォルダ」 データを削除します（「データを削除する」188ページ）。	
	# ショートカット ^{*4}	データフォルダのデータを、お気に入りメニューへ登録します（「お気に入りメニューを設定する」43ページ）。	
メ 赤外線送信	▶ 本機と相手側の赤外線ポートを向かい合わせる ▶ 送信完了 データフォルダのデータを赤外線で送信します（「赤外線で送信する」286ページ）。		
繰り返し再生 お買い上げ時： 「ON」	▶ <input type="checkbox"/> 「ON」 または <input type="checkbox"/> 「OFF」 画像（GIFアニメ）やサウンドを繰り返し再生するかどうかを設定します。		

*1：著作権のあるデータはコピー／移動ができません。

*2：「プライベートフォルダ」を選択したときに操作します。

*3：microSDカード挿入時、【切り替え】を押すと、本体メモリまたはmicroSDカードの空き容量表示に切り替わります。

*4：「PCフォルダ」、microSDカードのデータを選択した場合は表示されません。


ご注意

● ファイル名には、以下の半角記号は使えません。

< > : ¥ * / ? * | . ;

● 拡張子が「.mp4」、「.swf」、「.flv」、または「.mp3」のデータは、本機から外部へ取り出すことができません。


お知らせ

● 「ソート」、「表示切替」の設定を行うと、すべてのタブで設定が変更されます。

■ PCフォルダのメニューを使う

「PCフォルダ」のメニューを使うと、さまざまな操作を行えます。「PCフォルダ」にデータが入っているときのみ操作できます。

待受画面で **□** ▶ 「データフォルダ」を選択し、**□** 【選択】 ▶ 「PCフォルダ」を選択し、**□** 【選択】
▶ **☞** **☞** 【メニュー】

以下の項目から選択します。

③ 移動 ^{*1}	① 1件	▶ フォルダ / 「microSD」を選択し、 □ 【選択】（▶ 暗証番号を入力） ^{*2} ▶ ① 「はい」 データを他のフォルダ、またはmicroSDカードに移動します。
	② 選択	▶ 移動したいデータを選択し、 □ 【選択】を繰り返す ▶ ☞ 【移動】 ▶ フォルダ / 「microSD」を選択し、 □ 【選択】（▶ 暗証番号を入力） ^{*2} ▶ ① 「はい」 複数のデータを選択して、他のフォルダ、またはmicroSDカードに移動します。選択を解除するには、選択済みのデータを再度選択し、 □ 【解除】を押します。
	③ 全件	▶ 暗証番号を入力 ▶ フォルダ / 「microSD」を選択し、 □ 【選択】（▶ 暗証番号を入力） ^{*2} ▶ ① 「はい」 「PCフォルダ」のすべてのデータを他のフォルダ、またはmicroSDカードに移動します。
⑧ 詳細情報	ファイル名、ファイルサイズ、保存日時、著作権のあり／なしを表示します。	
⑩ 空き容量表示	「PCフォルダ」の使用状況を表示します。	
✖ 削除	▶ ① 「1件」、 ② 「選択」、または ③ 「全件」 データを削除します（「データを削除する」188ページ）。	

*1：著作権のあるデータは移動できません。

*2：「プライベートフォルダ」を選択したときに操作します。

🔔 ご注意

- 「PCフォルダ」のデータは他のフォルダにコピーできません。
- ファイル名が長い場合、他のフォルダに移動できないことがあります。ファイル名を短くしてください。

🗣️ お知らせ

- データが入っていない場合は、**☞** 【空き容量表示】で使用状況を表示します。

● データを削除する

さまざまな方法で不要なデータを削除できます。

タブ画面 / PCフォルダで **✖** 削除したいデータを選択 ▶ **☞** 【メニュー】 ▶ **✖** 【削除】

以下の項目から選択します。

1件	選択したデータを1件削除します。	273ページ
選択	複数のデータを選択して削除します。	
タブ内全件 ^{*1}	タブ内のすべてのデータを削除します。	
全件 ^{*2}	「PCフォルダ」のすべてのデータを削除します。	
フォルダ	microSDカードの「デジタルフォトタブ」にあるフォルダ内のデータをすべて削除します。	

*1：データフォルダのタブ画面で表示されます。

*2：「PCフォルダ」で表示されます。

🔔 ご注意

- 他の機能に登録されているデータを削除しようとする、ご利用中のデータを削除するかどうかの確認画面が表示されます。**①** 「はい」を押すと、他の機能での登録が解除され、データが削除されます。

● microSDカードのメニューを使う

microSDカードを使用すると、プリント取扱店でデジカメプリントができる画像データや、パソコンで使用するデータ、電話帳などのバックアップデータを保存できます。操作を行う前に、本体にmicroSDカードが正しく装着されているか、ご確認ください。

待受画面で  **[microSD]** を選択し、 **[選択]**

microSDカード
のメニュー

以下の項目が表示されます。

 1 microSDデータ	microSDカードのデータを表示します。
 2 microSDフォーマット	microSDカードを初期化します（「microSDカードをフォーマットする」189ページ）。
 3 DPOFプリント設定*	microSDカードの「デジカメフォトタブ」の画像データをDPOF対応プリンタやプリント取扱店でプリントする際に、プリントする画像や枚数、日付の印字指定などを設定します（「DPOFプリントを設定／解除する」190ページ）。



*：microSDカードにカメラで撮影した「VGA」、「1M」、「2M」、「3M」、「5M」の画像が保存されていない場合は設定できません。

ご注意

- 本機では、最大32GバイトのmicroSDカード（microSDHC規格を含む）を使用できます。当社基準において動作確認したmicroSDカードについては、京セラのホームページをご覧ください。
- 他のPHSで使用していたmicroSDカードを本機に取り付けても、microSDカード内のデータが表示されない場合があります。
表示されない場合は、microSDカード内のデータをパソコンなどでバックアップした後、microSDカードを本機でフォーマットします。その後、必要に応じてマストレージ機能を利用してバックアップしたデータをmicroSDカードにコピーしてください。

お知らせ

- microSDカードのメニューの表示は、以下の手順でも行えます。

待受画面で  **[データフォルダ]** を選択し、 **[選択]**  **[microSD]** を選択し、 **[選択]**

microSDカードをフォーマットする

microSDカードをフォーマットします。フォーマットすると、microSDカードに保存されていたすべてのデータが消去されます。

microSDカードのメニュー画面で  **2** **[microSDフォーマット]**   **1** **[はい]**  **暗証番号を入力**

ご注意

- 一度microSDカードのフォーマットを行うと、フォーマット前の状態に戻すことができません。フォーマットは、保存されているデータの内容を確認した上で、必要なときのみ行ってください。

● DPOFプリントを設定／解除する

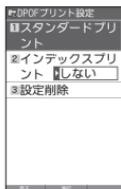
DPOFは、microSDカードの「デジカメフォトタブ」の画像データをDPOF対応プリンタやプリント取扱店でプリントする際に使用する規格です。

DPOFプリント設定を行うと、プリントする画像や枚数の指定、日付の印字指定などの簡単な設定ができます。ご使用のプリンタ、プリント取扱店がDPOFサービスに対応しているか、ご確認ください。DPOFについては、お使いのDPOF対応プリンタの取扱説明書もあわせてお読みください。

待受画面で ▶ 「microSD」を選択し、 「選択」 ▶ 3 「DPOFプリント設定」 DPOFプリント設定画面

以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> 1 スタンダードプリント	プリントしたい画像の指定、プリント枚数、日付印字のあり／なしを設定します（「スタンダードプリントを設定する」191ページ）。
<input type="checkbox"/> 2 インデックスプリント お買い上げ時： 「しない」	▶ <input type="checkbox"/> 1 「する」または <input type="checkbox"/> 2 「しない」 すべての画像データの一覧リストをプリントするかどうかの設定をします。
<input type="checkbox"/> 3 設定削除	▶ 暗証番号を入力 ▶ <input type="checkbox"/> 1 「はい」 DPOFプリント設定を削除します。



● ご注意

- DPOFプリントの設定を行っているときは、本機からmicroSDカードを抜かないでください。データが破壊されることがあります。

スタンダードプリントを設定する

「デジカメフォトタブ」の画像データに、プリントする枚数や日付印字のあり／なしの設定を行います。すべての画像、または選択した画像に個別の設定を行うことができます。

DPOFプリント設定画面で

■ すべての画像データにプリント設定する場合

1 「スタンダードプリント」 ▶ 「全画像」

以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> プリント枚数 お買い上げ時： 「001枚」	▶ プリント枚数（000～999枚）を入力し、 <input type="checkbox"/> 【確定】 プリントしたい枚数を入力します。 プリント枚数を「000枚」に設定すると、 2 「日付印字」の設定はできません。
2 日付印字 お買い上げ時： 「なし」	▶ <input type="checkbox"/> 「あり」または 2 「なし」 プリントする画像データに、日付を付けるかどうかを設定します。

2 **完了**

3 プリント枚数の合計を確認し、 【確認】

■ 画像データを選択してプリント設定する場合

1 「スタンダードプリント」 ▶ 「選択画像」 ▶ フォルダを選択し、 【選択】

2 プリント設定したい画像を選択し、 【選択】

以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> プリント枚数 お買い上げ時： 「001枚」	▶ プリント枚数（000～999枚）を入力し、 <input type="checkbox"/> 【確定】 プリントしたい枚数を入力します。 プリント枚数を「000枚」に設定すると、 2 「日付印字」の設定はできません。
2 日付印字 お買い上げ時： 「なし」	▶ <input type="checkbox"/> 「あり」または 2 「なし」 プリントする画像データに、日付を付けるかどうかを設定します。

3 **戻る**

4 手順2～3を繰り返す ▶ **メニュー** ▶ **設定完了**

5 プリント枚数の合計を確認し、 【確認】

お知らせ

- すでに本機でプリント設定が行われている場合、手順1で 「スタンダードプリント」を押した後、 「はい」を押すと、すでに設定されているDPOFの内容が継続されます。
- 画像を選択してプリント設定する場合、選択したデータには「**P**」が表示されます。選択したデータを解除するには、選択済みのデータを再度選択して 【解除】を押します。

● パソコンとデータをやり取りする（マストレージ）

本機とパソコンをUSBケーブル（別売）でつなぐだけで、パソコンから「PCフォルダ」、microSDカードにあるデータを閲覧したり、コピーしたりすることができます。マストレージ機能を利用するときは、あらかじめ以下の準備をしておく必要があります。

- 「PCフォルダ」でパソコンとやり取りする場合
・ 「PCフォルダ」へのデータのコピー／移動
- microSDカードでパソコンとやり取りする場合
・ 本機へのmicroSDカードの挿入
・ microSDカードへのデータのコピー／移動

待受画面で

- 1 パソコンの電源を入れる
- 2 本機を待受画面にし、本機とパソコンをUSBケーブルで接続する
- 3 本機で「3」 「マストレージ」を押す
- 4 パソコンの操作を行う

📢 ご注意

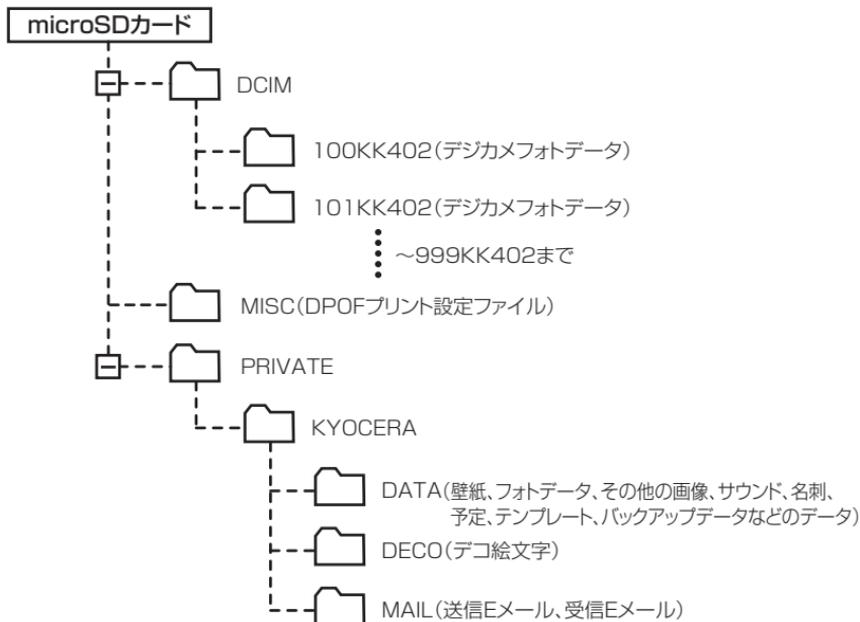
- マストレージ接続時は、402KCの機能は利用できません。電話の発着信やメールの送受信も行えません。
- マストレージ接続中は、以下の操作をしないでください。
 - ・ 本機の電源を切る
 - ・ 本機のバッテリーを取りはずす
 - ・ 本機からmicroSDカードを抜く
- バッテリーは十分に充電してから接続してください。接続中にバッテリーが不足すると、パソコンのエラーやデータ破損の原因となります。
- マストレージ機能利用中にパソコンからUSBケーブルを抜く場合、事前にパソコンでUSB切断の操作を行わないと、データが破損する恐れがあります。
- すでに本機とパソコンをUSBケーブルで接続して、モデムとしての利用やデータ転送を行っている場合、または手順3で機能を選択しなかった場合にマストレージ機能を利用するときは、以下の操作を行います。
待受画面で ▶ 「アクセサリ」を選択し、 【選択】 ▶ 7 「USBマストレージ」 ▶ 1 「はい」
- パソコンで「PCフォルダ」、microSDカードをフォーマットしないでください。「PCフォルダ」、microSDカードのデータが読めなくなる場合があります。
- パソコンで「PCフォルダ」に新たにフォルダを作成しても、本機の「PCフォルダ」では表示されません。
- パソコンでmicroSDカードにデータをコピー／移動するときは、「マストレージ接続時に表示されるmicroSDカードとデータの種類」（193ページ）を参照し、指定のフォルダにコピー／移動してください。指定以外のフォルダにコピー／移動すると、本機では表示されません。
- 管理者ロックの「microSDの使用を許可」（247ページ）を「許可しない」に設定しているときは、microSDカードからのマストレージを利用することができません。
- 管理者ロックの「USB／Bluetooth接続時の通信を許可」（245ページ）を「許可しない」に設定しているときは、「PCフォルダ」／microSDカードからのマストレージを利用することができません。

📢 お知らせ

- マストレージの対応OSは、Microsoft® Windows® 7／Windows Vista®、Mac OS Xです。動作確認済みの対応OSについて、詳しくは京セラホームページをご覧ください。
- パソコンツールを使ってパソコンとデータ転送するときは、手順3で「2」 「データ転送」を押してください（282ページ）。このとき、「PCフォルダ」にはデータをコピー／移動しておく必要はありません。
- マストレージ中は、ランプがブルーに点滅します。

マストレージ接続時に表示されるmicroSDカードとデータの種類

本機でmicroSDカードに保存したデータは、パソコン上で以下のように表示されます。



マストレージ接続を終了する

本機とパソコンのマストレージ接続を終了させます。

マストレージ接続中に **パソコンからUSB切断の操作をする** ▶ **USBケーブルを本機から抜く**

音／バイブレータの設定

● 音声着信の音／バイブレータを設定する (音声着信) 機能番号21

電話がかかってきたときの着信音の音量や種類、バイブレータのパターンを設定します。

待受画面で ▶ **[2]** ▶ **[1]**

以下の項目から選択します。

<p>[1] 音量</p> <p>お買い上げ時： 「音量レベル3」 本体カラー ・ブラック ・スパイシーグリーン ・ピンク ・スパイシーオレンジ 「音量レベル4」 本体カラー ・ネイビー×ゴールド ・ホワイト×ゴールド</p>	<p>▶ [2]で音量を調節し、<input type="checkbox"/> [OK]</p> <p>「OFF」、「音量レベル1」～「音量レベル5」、「音量レベルSTEP」に調節できます。「音量レベルSTEP」にすると、音量レベル1から1段階ごとに音が大きくなります。</p>
<p>[2] 着信音</p> <p>お買い上げ時： 「パターン1」 本体カラー ・ブラック ・スパイシーグリーン ・ピンク ・スパイシーオレンジ 「パターン1 (でか)」 本体カラー ・ネイビー×ゴールド ・ホワイト×ゴールド</p>	<p>[1] 固定パターン ▶ パターンを選択し、<input type="checkbox"/> 【選択】 着信音をあらかじめ用意されている14種類のパターンから選択します。</p> <p>[2] メロディ ▶ メロディを選択し、<input type="checkbox"/> 【選択】 着信音をあらかじめ用意されている8曲から選択します。</p> <p>[3] データフォルダ* ▶ 着信音を選択し、<input type="checkbox"/> 【選択】 着信音をデータフォルダから選択します。</p> <p>[4] 公式サイトから探す*2 ▶ [1] 「はい」を押す 公式サイトに接続し、着信音をダウンロードすることができます。</p>
<p>[3] バイブレータ設定</p> <p>お買い上げ時： 「OFF」</p>	<p>▶ [1] 「OFF」、または [2]～[4] (パターンを選択)</p> <p>電話がかかってきたときのバイブレータのパターンを「OFF」、「パターン1」～「パターン3」から選択します。</p>

*1: microSDカードのデータは選択できません。

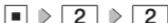
*2: ブラウザの表示モード (126ページ) は、「ケータイモード」で表示されます。

お知らせ

- **[1]**「音量」で「OFF」以外を選択すると、音量の確認のために、**[2]**「着信音」で設定した音が鳴ります。ただし、マナーモード (61ページ)、安全運転モード (64ページ) 設定中は、音量確認のための音は鳴りません。
- 着信音を選択しているときに**[29]**【再生】または**[29]**【メニュー】▶ **[1]**【再生】で、選択している着信音を再生できます。再生中に**[29]**【停止】または【停止】を押すと、再生を終了します。ただし、マナーモード (61ページ)、安全運転モード (64ページ) 設定中は、着信音の再生はできません。
- **[3]**「バイブレータ設定」で「OFF」以外を設定すると、確認のバイブレータが約2秒間振動します。
- **[1]**「音量」を「OFF」に設定すると、待受画面のメインディスプレイに「」を表示します。
- バイブレータを設定すると、待受画面のメインディスプレイに「」を表示します。
- マナーモード設定中は、マナーモードの音声着信音量が優先されます (「マナーモードを設定/解除する」61ページ)。
- ここで設定した着信音量は、ウェイクアップトーン (201ページ)、位置情報通知時の通知確認音 (269ページ)、本機とパソコンをUSBケーブル (別売) で接続したときの「ピボ」という確認音 (306ページ) にも反映されます。ただし、「ウェイクアップトーン」(201ページ) を「ON」に設定しているときは、着信音量を「OFF」に設定しても、ウェイクアップトーンが鳴ります。
- 相手によって着信音の種類を変えることができます (「着信/メール受信時の音とランプを設定する」79ページ)。ただし、バイブレータ設定は変えられません。
- 「着信音」を「パターン1 (でか)」または「アラーム音 (でか)」に設定すると、他の着信音の音量よりも大きくなります。

Bluetooth機能で接続した電話機（スマートフォンなど）の着信（300ページ）を本機で受けるときの設定をします。

待受画面で



以下の項目から選択します。

[1] 着信音 お買い上げ時： 「パターン2」	[1] 固定パターン	▶ パターン を選択し、 ■ 【選択】 着信音をあらかじめ用意されている14種類のパターンから選択します。
	[2] メロディ	▶ メロディ を選択し、 ■ 【選択】 着信音をあらかじめ用意されている8曲から選択します。
	[3] データフォルダ*	▶ 着信音 を選択し、 ■ 【選択】 着信音をデータフォルダから選択します。
	[4] 公式サイトから探す**	▶ [1] 「はい」 を押す 公式サイトに接続し、着信音をダウンロードすることができます。
[2] バイブレータ設定 お買い上げ時： 「OFF」	▶ [1] 「OFF」、または [2] ~ [4] (パターンを選択) Bluetooth着信したときのバイブレータのパターンを「OFF」、「パターン1」~「パターン3」から選択します。	

*1：microSDカードのデータは選択できません。

*2：ブラウザの表示モード（126ページ）は、「ケータイモード」で表示されます。

 お知らせ

- 「Bluetooth着信」は電話機（スマートフォンなど）と接続して利用する機能です。電話機（スマートフォンなど）と接続する方法について詳しくは、「Bluetooth®について」（288ページ）をご参照ください。
- 「Bluetooth着信」の音量は「音声着信」（194ページ）の設定と連動しています。「Bluetooth着信」の音量を変更する場合は「音声着信」の「音量」を設定してください。
- 着信音を選択しているときに**[295]** **【再生】** または **[295]** **【メニュー】** ▶ **[1] 「再生」** で、選択している着信音を再生できます。再生中に**[295]** **【停止】** または **■** **【停止】** を押すと、再生を終了します。ただし、マナーモード（61ページ）、安全運転モード（64ページ）設定中は、着信音の再生はできません。
- **[2]** 「バイブレータ設定」で「OFF」以外を設定すると、確認のバイブレータが約2秒間振動します。
- マナーモード設定中は、マナーモードで設定した「Bluetooth着信」の設定が優先されます（「マナーモードを設定/解除する」61ページ）。
- 相手によって着信音の種類を変えることができます（「着信/メール受信時の音とランプを設定する」79ページ）。ただし、バイブレータ設定は変えられません。

メールを受信したときの受信音の音量や種類、音を鳴らす長さ、バイブレータのパターンを設定します。

待受画面で ▶ **2** ▶ **3** 「Eメール受信」または **4** 「SMS受信」

以下の項目から選択します。

<p>1 音量</p> <p>お買い上げ時： 「音量レベル3」 本体カラー ・ブラック ・スパイシーグリーン ・ピンク ・スパイシーオレンジ 「音量レベル4」 本体カラー ・ネイビー×ゴールド ・ホワイト×ゴールド</p>	<p>▶ <input type="checkbox"/> で音量を調節し、<input type="checkbox"/> [OK]</p> <p>受信音量を「OFF」、「音量レベル1」～「音量レベル5」、「音量レベルSTEP」に調節できます。「音量レベルSTEP」にすると、音量レベル1から1段階ごとに音が大きくなります。</p>	
<p>2 受信音</p> <p>お買い上げ時： 「メール受信音1」 (Eメール) 「メール受信音2」 (SMS)</p>	<p>1 固定パターン</p>	<p>▶ パターンを選択し、<input type="checkbox"/> [選択]</p> <p>受信音をあらかじめ用意されている14種類のパターンから選択します。</p>
	<p>2 メロディ</p>	<p>▶ メロディを選択し、<input type="checkbox"/> [選択]</p> <p>受信音をあらかじめ用意されている8曲から選択します。</p>
	<p>3 データフォルダ^{*1}</p>	<p>▶ 受信音を選択し、<input type="checkbox"/> [選択]</p> <p>受信音をデータフォルダから選択します。</p>
	<p>4 公式サイトから探す^{*2}</p>	<p>▶ <input type="checkbox"/> 1 「はい」を押す</p> <p>公式サイトに接続し、受信音をダウンロードすることができます。</p>
<p>3 バイブレータ設定</p> <p>お買い上げ時： 「OFF」</p>	<p>▶ <input type="checkbox"/> 1 「OFF」、または <input type="checkbox"/> 2 ～ <input type="checkbox"/> 4 (パターンを選択)</p> <p>メールを受信したときのバイブレータのパターンを「OFF」、「パターン1」～「パターン3」から選択します。</p>	
<p>4 メール受信音鳴動時間</p> <p>お買い上げ時： 「1サイクル再生」</p>	<p><input type="checkbox"/> 1 サイクル再生</p>	<p>設定した受信音を1回再生します。</p>
	<p><input type="checkbox"/> 2 秒数指定</p>	<p>▶ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> [選択] ▶ <input type="checkbox"/> で鳴動時間を選択し、<input type="checkbox"/> [確定]</p> <p>受信音の鳴る長さを「01秒」～「30秒」に設定できます。ダイヤルキーで秒数を入力することもできます。</p>

*1: microSDカードのデータは選択できません。

*2: ブラウザの表示モード (126ページ) は、「ケータイモード」で表示されます。

お知らせ

- **1** 「音量」で「OFF」以外を選択すると、音量の確認のために、 **2** 「受信音」で設定した音が鳴ります。ただし、マナーモード (61ページ)、安全運転モード (64ページ) 設定中は、音量確認のための音は鳴りません。
- 受信音を選択しているときに **[再生]** または **[メニュー]** ▶ **1** 「再生」で、選択している受信音を再生できます。再生中に **[停止]** または **[停止]** を押すと、再生を終了します。ただし、マナーモード (61ページ)、安全運転モード (64ページ) 設定中は、受信音の再生はできません。
- **3** 「バイブレータ設定」で「OFF」以外を設定すると、確認のバイブレータが約2秒間振動します。
- マナーモード設定中は、マナーモードの受信音量が優先されます (「マナーモードを設定/解除する」61ページ)。
- メール受信鳴動時間で設定した秒数より受信音が短い場合、設定した秒数になるまで繰り返し受信音が鳴ります。
- メール受信失敗時の音は、音声着信の「音量」で設定した音量で鳴ります (「音声着信の音/バイブレータを設定する」194ページ)。
- 相手によって受信音の種類を変えることができます (「着信/メール受信時の音とランプを設定する」79ページ)。ただし、バイブレータ設定は変更られません。
- メールを受信しても、以下の機能を利用しているときは、設定した音/バイブレータが動作しないことがあります。
 - ・カメラ機能 (158ページ)
 - ・Java™アプリ (277ページ)

お知らせシェア (293ページ) で通知を受信したときの受信音の音量や種類、音を鳴らす長さ、バイブレータのパターンを設定します。

待受画面で **2** **5**

以下の項目から選択します。

<p>1 音量</p> <p>お買い上げ時： 「音量レベル3」 本体カラー ・ブラック ・スパイシーグリーン ・ピンク ・スパイシーオレンジ 「音量レベル4」 本体カラー ・ネイビー×ゴールド ・ホワイト×ゴールド</p>	<p> で音量を調節し、 [OK]</p> <p>受信音量を「OFF」、「音量レベル1」～「音量レベル5」、「音量レベルSTEP」に調節できます。「音量レベルSTEP」にすると、音量レベル1から1段階ごとに音が大きくなります。</p>	
<p>2 受信音</p> <p>お買い上げ時： 「効果音3」</p>	<p>1 固定パターン</p>	<p> パターンを選択し、 [選択]</p> <p>受信音をあらかじめ用意されている14種類のパターンから選択します。</p>
	<p>2 メロディ</p>	<p> メロディを選択し、 [選択]</p> <p>受信音をあらかじめ用意されている8曲から選択します。</p>
	<p>3 データフォルダ^{*1}</p>	<p> 受信音を選択し、 [選択]</p> <p>受信音をデータフォルダから選択します。</p>
	<p>4 公式サイトから探す^{*2}</p>	<p> 1 「はい」を押す</p> <p>公式サイトに接続し、受信音をダウンロードすることができます。</p>
<p>3 バイブレータ設定</p> <p>お買い上げ時： 「OFF」</p>	<p> 1 「OFF」、または 2～4 (パターンを選択)</p> <p>お知らせシェアで通知を受信したときのバイブレータのパターンを「OFF」、「パターン1」～「パターン3」から選択します。</p>	
<p>4 受信音鳴動時間</p> <p>お買い上げ時： 「1サイクル再生」</p>	<p>1 1サイクル再生</p>	<p>設定した受信音を1回再生します。</p>
	<p>2 秒数指定</p>	<p> [選択] で鳴動時間を選択し、 [確定]</p> <p>受信音の鳴る長さを「01秒」～「30秒」に設定できます。ダイヤルキーで秒数を入力することもできます。</p>

*1：microSDカードのデータは選択できません。

*2：ブラウザの表示モード (126ページ) は、「ケータイモード」で表示されます。

お知らせ

- 「お知らせシェア受信」はスマートフォンと接続して利用する機能です。スマートフォンと接続する方法について詳しくは、「Bluetooth[®]について」(288ページ)をご参照ください。
- **1** 「音量」で「OFF」以外を選択すると、音量の確認のために、**2** 「受信音」で設定した音が鳴ります。ただし、マナーモード (61ページ)、安全運転モード (64ページ) 設定中は、音量確認のための音は鳴りません。
- 受信音を選択しているときに **[再生]** または **[メニュー]** **1** 「再生」で、選択している受信音を再生できます。再生中に **[停止]** または **[停止]** を押すと、再生を終了します。ただし、マナーモード (61ページ)、安全運転モード (64ページ) 設定中は、受信音の再生はできません。
- マナーモード設定中は、マナーモードで設定した「お知らせシェア受信」の音量が優先されます (マナーモードを設定/解除する) 61ページ)。
- お知らせシェアを受信しても、以下の機能を利用しているときは、設定した音/バイブレータが動作しないことがあります。
 - ・カメラ機能 (158ページ)
 - ・Java[™]アプリ (277ページ)

● アラームの音量/バイブレータを設定する (アラーム)

機能番号26

アラームの音量やバイブレータのパターンを設定します。

待受画面で ▶ **2** ▶ **6**

以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> 音量 お買い上げ時： 「音量レベル3」 本体カラー ・ブラック ・スパイシーグリーン ・ピンク ・スパイシーオレンジ 「音量レベル4」 本体カラー ・ネイビー×ゴールド ・ホワイト×ゴールド	▶ <input type="checkbox"/> 2 で音量を調節し、 <input type="checkbox"/> [OK] アラームの音量を「OFF」、「音量レベル1」～「音量レベル5」、「音量レベルSTEP」に調節できます。「音量レベルSTEP」にすると、音量レベル1から1段階ごとに音が大きくなります。
<input checked="" type="checkbox"/> 2 バイブレータ設定 お買い上げ時： 「OFF」	▶ <input type="checkbox"/> 1 「OFF」、または <input type="checkbox"/> 2 ~ <input type="checkbox"/> 4 (パターンを選択) アラームが鳴ったときのバイブレータのパターンを「OFF」、「パターン1」～「パターン3」から選択します。

お知らせ

- アラーム音の種類は、アラームを登録するときの「アラーム音」で設定します（「アラーム設定を登録/編集する」252ページ）。
- **1** 「音量」で「OFF」以外を選択すると、音量の確認のために、あらかじめ用意されている「アラーム音」が鳴ります。ただし、マナーモード（61ページ）、安全運転モード（64ページ）設定中は、音量確認のための音は鳴りません。
- **2** 「バイブレータ設定」で「OFF」以外を設定すると、確認のバイブレータが約2秒間振動します。
- マナーモード設定中は、マナーモードのアラーム音量が優先されます（「マナーモードを設定/解除する」61ページ）。

● スケジュールアラームの音量/バイブレータを設定する (スケジュールアラーム)

機能番号27

スケジュールやTODOでアラームが鳴ったときのアラームの音量、バイブレータのパターンを設定します。

待受画面で ▶ **2** ▶ **7**

以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> 音量 お買い上げ時： 「音量レベル3」 本体カラー ・ブラック ・スパイシーグリーン ・ピンク ・スパイシーオレンジ 「音量レベル4」 本体カラー ・ネイビー×ゴールド ・ホワイト×ゴールド	▶ <input type="checkbox"/> 2 で音量を調節し、 <input type="checkbox"/> [OK] スケジュールアラームの音量を「OFF」、「音量レベル1」～「音量レベル5」、「音量レベルSTEP」に調節できます。「音量レベルSTEP」にすると、音量レベル1から1段階ごとに音が大きくなります。
<input checked="" type="checkbox"/> 2 バイブレータ設定 お買い上げ時： 「OFF」	▶ <input type="checkbox"/> 1 「OFF」、または <input type="checkbox"/> 2 ~ <input type="checkbox"/> 4 (パターンを選択) スケジュールアラームが鳴ったときのバイブレータのパターンを「OFF」、「パターン1」～「パターン3」から選択します。



- スケジュールアラーム音の種類は、スケジュールを登録するときの「アラーム設定」の「アラーム音種」で設定します（「スケジュールを登録／編集／確認する」217ページ）。
- [1]「音量」で「OFF」以外を選択すると、音量の確認のために、あらかじめ用意されている「アラーム音」が鳴ります。ただし、マナーモード（61ページ）、安全運転モード（64ページ）設定中は、音量確認のための音は鳴りません。
- [2]「バイブレータ設定」で「OFF」以外を設定すると、確認のバイブレータが約2秒間振動します。
- マナーモード設定中は、マナーモードのスケジュールアラーム音量が優先されます（「マナーモードを設定／解除する」61ページ）。

● キーの操作音量を設定する（操作音）

機能番号28

キーを押したときの音量を「OFF」、「音量レベル1」～「音量レベル5」の6段階に調節できます。

お買い上げ時：
「OFF」

待受画面で [2] [8] で音量を調節し、 [OK]



- マナーモード設定中は、マナーモードの操作音量が優先されます（「マナーモードを設定／解除する」61ページ）。
- 圏外発信時などのエラー音は、「操作音」で設定した音量で鳴ります。

● データを再生するときの音量を設定する（データ再生音）

機能番号29

データフォルダに保存されているメロディを再生するときの音量を「OFF」、「音量レベル1」～「音量レベル24」の25段階に調節できません。

待受画面で [2] [9] で音量を調節し、 [OK]



- メロディの再生中は、 で音量を調節できます（「データを再生する」179ページ）。
- マナーモード設定中は、マナーモードの再生音量が優先されます（「マナーモードを設定／解除する」61ページ）。

お買い上げ時：

「音量レベル18」

本体カラー

- ・ブラック
- ・スパイシーグリーン
- ・ピンク
- ・スパイシーオレンジ

「音量レベル20」

本体カラー

- ・ネイビー×ゴールド
- ・ホワイト×ゴールド

ボイス通知でお知らせする内容や、音量を設定します。

待受画面で ▶ **2** ▶ **0**

以下の項目から選択します。

<p><input type="checkbox"/> ボイス通知</p> <p>お買い上げ時： 「時刻+各種通知」</p>	<p>▶ <input type="checkbox"/> 1 ~ <input type="checkbox"/> 3 (内容を選択)、または <input type="checkbox"/> 4 「OFF」</p> <p>お知らせする内容を選択します。</p>
<p><input checked="" type="checkbox"/> 2 音量</p> <p>お買い上げ時： 「音量レベル3」 本体カラー ・ブラック ・スパイシーグリーン ・ピンク ・スパイシーオレンジ 「音量レベル4」 本体カラー ・ネイビー×ゴールド ・ホワイト×ゴールド</p>	<p>▶ <input type="checkbox"/> 5 で音量を調節し、<input type="checkbox"/> [OK]</p> <p>「音量レベル1」～「音量レベル5」、または「バイブレータ」に調節できます。</p>

🔔 ご注意

● 「ボイス通知」を「時刻」に設定しているときは、「音量」を「バイブレータ」に設定することはできません。

🔔 お知らせ

- 「音量」で「バイブレータ」以外を選択すると、音量の確認のために、「ボイス通知」で設定した音が鳴ります。ただし、マナーモード(61ページ)、安全運転モード(64ページ)設定中は、音量確認のための音は鳴りません。
- 「音量」を設定中に「バイブレータ」を選択すると、確認のバイブレータが約2秒間振動します。
- マナーモード設定中は、マナーモードで設定した「ボイス通知」の音量が優先されます(「マナーモードを設定/解除する」61ページ)。
- 「ボイス通知」を「各種通知」、「音量」を「バイブレータ」に設定しているときは、通知の種類によってバイブレータのパターンが以下のようになります。ただし、通知がない場合はバイブレータは振動しません。

パターン	通知の種類
パターン1 (短く2回振動)	不在着信 伝言メモ/安全運転モード録音 留守番電話
パターン2 (長く1回振動)	新着Eメール 新着SMS
パターン3 (短く4回振動)	連続アラーム スケジュールアラーム TODOアラーム
パターン4 (長く1回振動した後、短く2回振動)	お知らせシェア受信件数 上記いずれかの通知が複数ある場合

● 電源を入れたときの音を設定／解除する(ウェイクアップトーン) 機能番号2*

電源を入れたときに確認音(ウェイクアップトーン)を鳴らすかどうかを設定します。

お買い上げ時:
「ON」

待受画面で ▶ **2** ▶ ***** ▶ **1** 「ON」または **2** 「OFF」

お知らせ

- ウェイクアップトーンは、音声着信の「音量」で設定した音量で鳴ります(「音声着信の音/バイブレータを設定する」194ページ)。音声着信の「音量」が「OFF」または「STEP」の場合、ウェイクアップトーンは「音量レベル1」で鳴ります。
- マナーモード設定中は、マナーモードのウェイクアップトーンの設定が優先されます(「マナーモードを設定／解除する」61ページ)。

● 圏外のときの音を設定／解除する(圏外警告音) 機能番号2#

通話中に電波状態が悪くなり、通話が切れそうになったときに警告音を鳴らすかどうかを設定します。

お買い上げ時:
「ON」

待受画面で ▶ **2** ▶ **#** ▶ **1** 「ON」または **2** 「OFF」

ご注意

- 圏外警告音は「ピーピー」と鳴ります。
- Bluetooth通話中は圏外警告音は鳴りません。

● 緊急速報を受信した時の音量／マナーモード時動作を設定する(緊急速報警報音) 機能番号2

緊急速報を受信したときの音量や、マナーモード時に警報音を鳴らすかどうかの設定、警報音の確認ができます。

待受画面で ▶ **2** ▶ 

以下の項目から選択します。

1 警報音設定 お買い上げ時: 「音量レベル5」	▶ <input type="checkbox"/> 1 ~ <input type="checkbox"/> 5 (音量レベルを選択、または <input type="checkbox"/> 6 「鳴動しない」) 警報音の音量を「鳴動しない」、「音量レベル1」～「音量レベル5」に調節できます。
2 マナーモード時 警報音設定 お買い上げ時: 「鳴動する」	▶ <input type="checkbox"/> 1 「鳴動する」または <input type="checkbox"/> 2 「鳴動しない」 マナーモード時に警報音を鳴らすかどうかを設定します。
3 警報音確認	<input type="checkbox"/> 1 緊急地震速報 ▶ <input type="checkbox"/> 1 「はい」 緊急地震速報の警報音を再生できます。
	<input type="checkbox"/> 2 津波警報発表 ▶ <input type="checkbox"/> 1 「はい」 津波警報発表の警報音を再生できます。
	<input type="checkbox"/> 3 緊急地震速報(取消) ▶ <input type="checkbox"/> 1 「はい」 緊急地震速報(取消)の警報音を再生できます。

ご注意

- 警報音の再生中はバイブレータ振動とランプは点灯しません。
- 警報音設定を「鳴動しない」にしている場合、警報音は「音量レベル1」で再生されます。

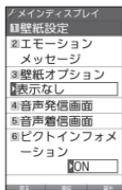
● メインディスプレイを設定する（メインディスプレイ）

機能番号31

メインディスプレイで表示できる最大サイズは、横240ドット×縦400ドットです。

待受画面で ▶ 3 ▶ 1

メインディスプレイ
設定画面



以下の項目から選択します。

1 壁紙設定 お買い上げ時： 「Silent Motion」 本体カラー ・ブラック ・スパイシーグリーン 「Dim Light」 本体カラー ・ピンク ・スパイシーオレンジ 「Silky Flow（でか）」 本体カラー ・ネイビー×ゴールド ・ホワイト×ゴールド （固定アニメ）	1 固定画像	▶ 固定画像を選択し、<input type="checkbox"/>【選択】 待受画面に表示する画像を、あらかじめ用意されている5種類から選択します。
	2 固定アニメ	▶ 固定アニメを選択し、<input type="checkbox"/>【選択】 待受画面に表示するアニメを、あらかじめ用意されている5種類から選択します。
	3 データフォルダ*1	▶ データを選択し、<input type="checkbox"/>【選択】 ▶ <input type="checkbox"/>【決定】 待受画面に表示する画像を、データフォルダから選択します。
	4 表示なし	待受画面に画像を表示しません。
	5 公式サイトから探す*2	▶ <input type="checkbox"/>「はい」を押す 公式サイトに接続して、画像やアニメーションをダウンロードすることができます。
2 エモーションメッセージ	メールを受信したときに、件名や本文から感情を判別して、感情に合ったアニメーションを待受画面に表示することができます。（「受信メールの感情表示の設定をする」204ページ）。	
3 壁紙オプション	待受画面に表示する時計／カレンダー／ガジェットの表示方法を設定します（「待受画面に表示するオプションを設定する」205ページ）。	
4 音声発信画面 5 音声着信画面 お買い上げ時： 「固定アニメ」	1 固定アニメ	あらかじめ用意されているアニメーションが選択されます。
	2 データフォルダ*1*3	▶ データを選択し、<input type="checkbox"/>【選択】 データフォルダに保存されている画像やアニメーションから選択します。
	3 表示なし	画像やアニメーションを表示しません。
	4 公式サイトから探す*2	▶ <input type="checkbox"/>「はい」を押す 公式サイトに接続して、画像やアニメーションをダウンロードすることができます。
6 ピクトインフォメーション お買い上げ時： 「ON（再表示あり）」	▶ <input type="checkbox"/>「ON（再表示あり）」、<input type="checkbox"/>「ON（再表示なし）」、または<input type="checkbox"/>「OFF」 Eメール／SMSを受信したときに、差出人、件名／本文、件数などの情報をメインディスプレイのピクト表示エリアに表示します。お知らせシェア（293、296ページ）中に、Bluetooth接続中の機器で受信した場合も情報を表示します。	

*1：microSDカードのデータは選択できません。

*2：ブラウザの表示モード（126ページ）は、「ケータイモード」で表示されます。

*3：一部の画像を除き、「240×400」より大きなサイズの画像は登録できません。



- 「固定画像」 / 「固定アニメ」 / 「データフォルダ」のデータ、または「固定アニメ」を選択し、 【再生】または 【メニュー】 ▶ 「再生」で、選択した画像やアニメなどを再生することができます。 【戻る】、または 【終了】 ▶ 「Yes」を選択し、 【決定】を押すと再生を終了します。
- 「固定画像」再生中に / を押すと、前/次の固定画像を再生できます。
- データフォルダの画像データを全画面表示で確認するには、以下の手順で行います。

例：壁紙設定の場合

メインディスプレイ設定画面で 「壁紙設定」 ▶ 「データフォルダ」 ▶ データを選択 ▶ 【メニュー】 ▶ 「再生」 ▶ 【全画面表示】

- 待受画面の壁紙の表示方法を変更するには、以下の手順で行います。

メインディスプレイ設定画面で 「壁紙設定」 ▶ 「データフォルダ」 ▶ データを選択し、 【選択】 ▶ 【メニュー】

以下の項目から選択し、 【決定】を押します。

<input type="button" value="1"/> 並べて表示	画像を並べて表示します。
<input type="button" value="2"/> 画面に合わせる	画像をメインディスプレイのサイズに合わせて表示します。
<input type="button" value="3"/> 元に戻す	変更した表示方式を元に戻します。

- データフォルダのアニメを設定した場合、アニメの1コマ目のみ表示されます。
- Bluetooth発信/着信では、「音声発信画面」 / 「音声着信画面」で設定した画像やアニメーションが表示されます。

受信メールの感情表示の設定をする（エモーションメッセージ） 機能番号312

メインディスプレイ設定画面で **2** 「エモーションメッセージ」を押す

お買い上げ時：
「Glasswork」

以下の項目から選択します。

1 固定アニメ	<p>◆ 固定アニメを選択し、<input type="checkbox"/> 【選択】</p> <p>メールを受信したときに表示するアニメーションを、あらかじめ用意されている4種類から選択します。</p>
2 データフォルダ*1	<p>◆ データを選択し、<input type="checkbox"/> 【選択】</p> <p>メールを受信したときに表示するアニメーションを、データフォルダから選択します。</p>
3 表示なし	<p>メールを受信したときにアニメーションを表示しません。</p>
4 公式サイトから探す*2	<p>◆ 1 「はい」を押す</p> <p>公式サイトに接続して、エモーションメッセージのデータをダウンロードすることができます。</p>

*1：microSDカードのデータは選択できません。

*2：ブラウザの表示モード（126ページ）は、「ケータイモード」で表示されます。

ご注意

- 受信メールによっては、内容に合わないアニメーションが表示されることがあります。
- 一度に複数のメールを受信した場合は、最後に受信したメールの感情を表示します。

お知らせ

- エモーションメッセージで表示される感情は最大で8種類です。以下の感情が表示されます。
 - ・好き ・癒し ・悲しい ・重要
 - ・喜び ・怒り ・困った ・普通
- 「固定アニメ」 / 「データフォルダ」のデータを選択した後、 【再生】 または 【メニュー】 ▶ **1** 「再生」を押すと、選択しているデータを再生することができます。 【終了】 ▶ 「Yes」を選択し、 【決定】を押すと再生を終了します。なお、このとき再生されるのは、感情「普通」のアニメーションです。
- メール受信時に感情表示ができるのは、エモーションメッセージに対応したアニメーションのみです。

待受画面に表示するオプションを設定する（壁紙オプション） 機能番号313

メインディスプレイ設定画面で **3** 「壁紙オプション」を押す

お買い上げ時：
「表示なし」

以下の項目から選択します。

1 でか時計 (12H)	<p>▶ <input type="checkbox"/> で表示する位置を調節し、<input type="checkbox"/> 【決定】</p> <p>今日の日付と時刻 (12H) を表示します。時刻はかなり大きく表示されます。</p>
2 でか時計 (24H)	<p>▶ <input type="checkbox"/> で表示する位置を調節し、<input type="checkbox"/> 【決定】</p> <p>今日の日付と時刻 (24H) を表示します。時刻はかなり大きく表示されます。</p>
3 時計大 (12H)	<p>▶ <input type="checkbox"/> で表示する位置を調節し、<input type="checkbox"/> 【決定】</p> <p>今日の日付と時刻 (12H) を表示します。時刻は大きく表示されます。</p>
4 時計大 (24H)	<p>▶ <input type="checkbox"/> で表示する位置を調節し、<input type="checkbox"/> 【決定】</p> <p>今日の日付と時刻 (24H) を表示します。時刻は大きく表示されます。</p>
5 時計小 (12H)	<p>▶ <input type="checkbox"/> で表示する位置を調節し、<input type="checkbox"/> 【決定】</p> <p>今日の日付と時刻 (12H) を表示します。時刻は小さく表示されます。</p>
6 時計小 (24H)	<p>▶ <input type="checkbox"/> で表示する位置を調節し、<input type="checkbox"/> 【決定】</p> <p>今日の日付と時刻 (24H) を表示します。時刻は小さく表示されます。</p>
7 カレンダー	<p>▶ <input type="checkbox"/> で表示する位置を調節し、<input type="checkbox"/> 【決定】</p> <p>今日の日付を含む1ヶ月分のカレンダーを表示します。</p>
8 ガジェット	ガジェットを表示します（「ガジェットを使う」152ページ）。
9 表示なし	時計やカレンダー、ガジェットを表示しません。

お知らせ

- **1** 「でか時計 (12H)」、**3** 「時計大 (12H)」、または**5** 「時計小 (12H)」を選択した場合、ピクト表示エリアには時計が12時間表示で表示され、それ以外を選択した場合、24時間表示の時計が表示されます。ピクト表示エリアについては、「メインディスプレイの見かた」(32ページ)をご参照ください。
- **7** 「カレンダー」に設定すると、待受画面で  を押すだけでカレンダー画面を呼び出すことができます。

● サブディスプレイを設定する(サブディスプレイ)

機能番号32

サブディスプレイの表示方法を設定します。

待受画面で

□ ▶ **3** ▶ **2**

以下の項目から選択します。

1 着信番号表示 お買い上げ時： 「ON」	1 ON	着信したときやメールを受信したときに相手の電話番号/Eメールアドレスを表示します。 電話帳に名前が登録されているときは名前を表示します。非通知の場合は非通知理由を表示します。 「名前表示」(208ページ)が「ON(メイン)」または「OFF」に設定されている場合は、サブディスプレイに名前を表示しません。
	2 OFF	着信時に相手の情報は表示せず「着信」、「データ着信」などを表示します。
2 表示設定 お買い上げ時： 「ON」	▶ 1 「ON」または 2 「OFF」	サブディスプレイの表示を行うかどうかを設定します。「ON」に設定すると、本体を閉じたときに約2秒間、またはサイドキー押下時に約10秒間表示します。 ただし、「着信番号表示」を「ON」に設定している場合にメールを受信したときは、上記の時間以上にサブディスプレイが点灯する場合があります。
3 時計表示 お買い上げ時： 「大」	▶ 1 「小」、 2 「中」、 3 「大」、または 4 「サイクル」	本体を閉じているときに、シャッター/メモ□ (サイドキー) を押したときのサブディスプレイの表示内容を設定します(34ページ)。 「サイクル」に設定した場合、サブディスプレイが点灯しているときにシャッター/メモ□ (サイドキー) を押すと、サブディスプレイの表示内容が切り替わります。

電話の着信やメールを受信したときなどのランプを設定します。

待受画面で ▶ **3** ▶ **3**

以下の項目から選択します。

<p>1 ランプ点灯</p> <p>お買い上げ時： 「点灯する」</p>	<p>▶ 1 「点灯する」または2 「点灯しない」</p> <p>ランプを点灯させるかどうかを設定します。「2」 「点灯しない」に設定していても、充電中はランプが点灯します。</p>	
<p>2 ランプ色設定</p> <p>お買い上げ時： 通話中：「なし」 発信中：「レインボー」 音声着信中：「青」 Bluetooth着信中：「紫」 SMS受信：「緑」 Eメール受信：「緑」 お知らせシェア受信： 「紫」 新着／不在あり：「緑」 アラーム鳴動中：「橙」 スケジュールアラーム 鳴動中：「濃いピンク」 WEB起動中：「なし」 Java™アプリ起動中： 「なし」</p>	<p>1 通話中</p> <p>2 発信中</p> <p>3 音声着信中</p> <p>4 Bluetooth着信中</p> <p>5 SMS受信</p> <p>6 Eメール受信</p> <p>7 お知らせシェア 受信</p> <p>8 新着／不在あり</p> <p>9 アラーム鳴動中</p> <p>0 スケジュール アラーム鳴動中</p> <p>* WEB起動中</p> <p># Java™アプリ 起動中</p>	<p>▶ <input type="checkbox"/> で「<input checked="" type="checkbox"/>」（なし）、または色を選択し、<input type="checkbox"/> 「選択」</p> <p>各状態のときに点滅させるランプ色を、全26色またはレインボーから選択します。「なし」に設定すると、各状態でランプは点滅しません。ランプ色設定でランプ色を選択中は、選択している色でランプが点灯します。 8 「新着／不在あり」にはレインボーを設定できません。</p>

お知らせ

- 「通話中」、「WEB起動中」、「Java™アプリ起動中」を「なし」以外に設定すると、バッテリーの消耗が早くなり、本機のご利用時間（38、318ページ）が短くなる場合があります。
- メール／お知らせシェアを受信しても、以下の機能を利用しているときは、設定したランプが点滅しないことがあります。
 - ・カメラ機能（158ページ）
 - ・Java™アプリ（277ページ）
- 以下の場合、設定にかかわらず「新着／不在あり」で設定したランプが点灯することがあります。
 - ・「ランプ色設定」を「なし」に設定した項目の状態で、不在着信、Eメール／SMSの受信があったとき
 - ・待受画面以外で不在着信、Eメール／SMSの受信があったとき
- だれとでも定額バス／テザリング（294、297ページ）を利用中は「新着／不在あり」で設定したランプが点灯しません。

● 電話を受けたときの名前の表示方法を設定する（名前表示）

機能番号34

電話帳に登録している電話番号から電話がかかってきたとき、メインディスプレイとサブディスプレイにその名前を表示します。

お買い上げ時：
「ON（メイン+サブ）」待受画面で 3 4

以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> 1 ON（メイン+サブ）	メインディスプレイとサブディスプレイの両方に表示します。
<input type="checkbox"/> 2 ON（メイン）	メインディスプレイのみ表示します。
<input type="checkbox"/> 3 OFF	名前を表示しません。

● ご注意

- 1 「ON（メイン+サブ）」に設定しても、画面設定・サブディスプレイの「着信番号表示」が「OFF」に設定されている場合は、サブディスプレイに電話番号や名前を表示しません（「サブディスプレイを設定する」206ページ）。
- 以下の場合は、「名前表示」を「ON」に設定しても、電話帳に登録した名前を表示することができません。
 - ・シークレットモード（231ページ）が「OFF」、および該当する電話帳の「シークレット設定」（77ページ）が「ON」に設定されているとき
 - ・操作ロック（229ページ）の「電話帳閲覧」が「禁止」に設定されているとき
 - ・管理者ロックの「電話帳の閲覧を許可」（246ページ）が「許可しない」に設定されているとき

● 充電中の画面照明を設定する（充電時LCD）

機能番号35

充電中のメインディスプレイの照明、キーバックライトを点灯させるかどうかを設定します。

お買い上げ時：
「OFF」待受画面で 3 5 1 「ON」または 2 「OFF」

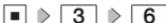
● お知らせ

- 1 「ON」に設定して充電中は、本機では以下の動作になります。
 - ACアダプタ（オプション品）で充電する場合
「照明」（209ページ）や「キーバックライト点灯時間」（211ページ）で設定した点灯時間にかかわらず、メインディスプレイの照明、キーバックライトが24時間点灯します。「キーバックライト点灯時間」が「点灯しない」に設定されている場合、キーバックライトは点灯しません。
 - USBケーブル（別売）を利用してパソコンで充電する場合
「照明」（209ページ）や「キーバックライト点灯時間」（211ページ）で設定した時間で消灯しますが、24時間を経過しないと節電画面になりません。「キーバックライト点灯時間」が「点灯しない」に設定されている場合、キーバックライトは点灯しません。

メインディスプレイの明るさの調整と何も操作していないときの点灯時間を設定します。

お買い上げ時：
WEB照明：明るさ「自動調節モード」[30秒]
 メール照明
 本体カラー
 ・ブラック
 ・スパイシーグリーン
 ・ピンク
 ・スパイシーオレンジ
 [60秒]
 本体カラー
 ・ネイビー×ゴールド
 ・ホワイト×ゴールド
その他照明：明るさ「自動調節モード」[10秒]
 本体カラー
 ・ブラック
 ・スパイシーグリーン
 ・ピンク
 ・スパイシーオレンジ
 [20秒]
 本体カラー
 ・ネイビー×ゴールド
 ・ホワイト×ゴールド

待受画面で



以下の項目から選択します。

[1] WEB照明	ブラウザを使用しているときのメインディスプレイ照明を設定します。
[2] メール照明	Eメール/SMSを使用しているときのメインディスプレイ照明を設定します。
[3] その他照明	その他のメインディスプレイ照明を設定します。

上記選択後、以下の項目から選択します。

[1] 照明の明るさ	<p>▶ [1] 「自動調節モード」、または [2] ~ [7] (明るさを選択)</p> <p>メインディスプレイの明るさを「明るさ0」～「明るさ5」に設定すると、選択している明るさでメインディスプレイが点灯します。「自動調節モード」に設定すると、照度センサーが周囲の明るさを検知し、メインディスプレイの明るさを自動で調整します。</p>
[2] 点灯時間	<p>▶ [1] 「常時点灯」、または [2] ~ [7] (秒数を選択)</p> <p>点灯時間を「常時点灯」、「10秒」～「60秒」(10秒単位)に調整できます。「常時点灯」に設定した場合、何も操作しなくてもそのままの明るさで点灯し続けます。</p>

・サブディスプレイの照明の明るさ／点灯時間は設定できません。

ご注意

- 以下の設定の場合、バッテリーの消耗が早くなり、本機のご利用時間(38、318ページ)が短くなる場合があります。
 - ・「WEB照明」、「メール照明」、「その他照明」の「点灯時間」がお買い上げ時の設定以上または「常時点灯」に設定されているとき
- 「自動調節モード」に設定中は、周囲の明るさによって設定した時間よりも前にメインディスプレイが消灯する場合があります。

お知らせ

- 着信中など、点灯時間に関係なくメインディスプレイが点灯することがあります。

● 節電画面を設定する（節電画面）

機能番号37

待受画面や通話中画面、メール起動中、WEB起動中、データ発信／送信中画面でも何も操作しなかったとき、設定した節電時間後に節電画面になるように設定します。設定時間は「節電画面にしない」、「30秒」、「1分」～「5分」（1分単位）に設定できます。

待受画面で **3** **7** **1** 「節電画面にしない」、
または **2**～**7**（節電時間を選択）

● ご注意

- 「節電画面にしない」に設定した場合、節電画面にはならないためバッテリーの消耗が早くなり、本機のご利用時間（38、318ページ）が短くなる場合があります。
- Java™アプリ起動中は節電画面になりません。

● お知らせ

- 「節電画面」の設定によって、通話開始時の動作が以下のように変わります。
 - ・ 「節電画面にしない」以外に設定している場合、通話開始時は設定にかかわらず5秒後に節電画面になります。
 - ・ 「節電画面にしない」に設定している場合、通話開始時は5秒後に節電画面にはならず、設定どおり動作します。

お買い上げ時：
「30秒」

- 本体カラー
- ・ブラック
- ・スパイシーグリーン
- ・ピンク
- ・スパイシーオレンジ

「1分」

- 本体カラー
- ・ネイビー×ゴールド
- ・ホワイト×ゴールド

● 表示する文字の大きさを設定する（文字サイズ）

機能番号38

各機能の文字の大きさを変更することができます。

待受画面で **3** **8**

お買い上げ時：

WEB表示：「小」

メール表示

その他表示

- 本体カラー
- ・ブラック
- ・スパイシーグリーン
- ・ピンク
- ・スパイシーオレンジ

「中」

- 本体カラー
- ・ネイビー×ゴールド
- ・ホワイト×ゴールド

以下の項目から選択します。

1 WEB表示	1 ～ 3 （文字サイズを選択） ブラウザを使用しているときの文字サイズを設定します。
2 メール表示	1 ～ 5 （文字サイズを選択） Eメール/SMS詳細画面の文字サイズを設定します。
3 その他表示	1 ～ 4 （文字サイズを選択） その他の文字サイズを設定します。
4 一括設定	1 ～ 4 （文字サイズを選択） 文字サイズを一括で設定します。

● お知らせ

- ブラウザで表示される文字の大きさについては、Webページ表示中に 【メニュー】を押したときに表示される「ページ設定」からでも変更することができます（「ページの各種設定を行う」138ページ）。
- Eメール/SMS（詳細表示）で表示される文字の大きさについては、受信/送信/未送信メール詳細画面で 【メニュー】を押したときに表示される「文字サイズ変更」からでも変更することができます（「受信/送信/未送信メール詳細画面のメニューを使う」116ページ）。
- 「一括設定」での「中」、「大」、「でか文字」の文字サイズは、「WEB表示」では「中」になります。
- 一部の文字は、文字サイズを変えても大きくならない場合があります。

● 表示する言語を設定する (バイリンガル機能) (Set Language)

機能番号39

画面に表示される言語を設定します。

お買い上げ時：
「日本語」

待受画面で ▶ 3 ▶ 9 ▶ 1 「日本語」または 2 「English」

設定後は待受画面に戻ります。

● 画面の配色を設定する (配色設定)

機能番号30

メインディスプレイに表示される配色を設定します。

待受画面で ▶ 3 ▶ 0 ▶ 1 ~ 6 (配色設定を選択)

お買い上げ時：
「ダークグレー」
本体カラー
・ブラック
・スパイシーグリーン
「ピンク」
本体カラー
・ピンク
・スパイシーオレンジ
「ネイビー」
本体カラー
・ネイビー×ゴールド
・ホワイト×ゴールド

● キーバックライトの点灯時間を設定する (キーバックライト点灯時間)

機能番号3*

キーバックライトの点灯時間を設定します。設定時間は「点灯しない」、「5秒」、「10秒」～「60秒」（10秒単位）に設定できます。

待受画面で ▶ 3 ▶ * ▶ 1 「点灯しない」、または 2
~ 8 (点灯時間を選択)

● ご注意

- 点灯時間をお買い上げ時の設定以上にしている場合、バッテリーの消耗が早くなり、本機のご利用時間（38、318ページ）が短くなる場合があります。
- 「照明」（209ページ）の「照明の明るさ」が「自動調節モード」の場合、キーバックライトは照度センサーが検知した周囲の明るさによって、自動で点灯/消灯します。

お買い上げ時：
「5秒」
本体カラー
・ブラック
・スパイシーグリーン
・ピンク
・スパイシーオレンジ
「10秒」
本体カラー
・ネイビー×ゴールド
・ホワイト×ゴールド

カレンダーの使いかた

● カレンダーを表示する

カレンダーの表示には、6ヶ月表示、1ヶ月表示、1週間表示、1日表示があります。カレンダーを終了した後、再度カレンダーを表示させると、前回終了したときの表示画面で表示されます（1日表示を除く）。

お買い上げ時：
「1ヶ月表示」

待受画面で

▶ 「アクセサリ」を選択し、 「選択」 ▶ **3** 「カレンダー」

6ヶ月表示		6ヶ月ごと（1～6月、7～12月）に表示します。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> を押すと、前/次の6ヶ月を表示します。
1ヶ月表示		月ごとに表示します。 各日付に、スケジュール、TODO、誕生日が登録されている場合、それぞれ1つずつ、3つまでアイコンを表示します。 その日に登録されているスケジュール、TODO、誕生日のアイコンや開始/終了日時、期限日時、用件、誕生日の名前をカレンダー下部に7件までリスト表示します。 ※8件以上登録されている場合は、7件目に「続きあり」と表示されます。 表示順は、スケジュール→TODO→誕生日となります。スケジュール、TODO、誕生日でそれぞれ、同じ日、同じ時間帯が登録されている場合は、登録順に表示されます。ただし、TODOでは優先度の設定により、高→中→低の順に表示されます。また、カレンダーの左側には、週番号が表示されます。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> を押すと、前/次の1ヶ月を表示します。
1週間表示		週ごとに表示します。 各日付に、スケジュール、TODO、誕生日が登録されている場合、最大5つまでアイコンを表示します。 ※6件以上登録されている場合は、5件目に「□□」と表示されます。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> （または <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ） / <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> （または <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ） を押すと、前/次の1週間を表示します。
1日表示		1日ごとに表示します。 スケジュール、TODO、誕生日が登録されている場合、アイコンや用件、開始/終了時刻、期限時刻、誕生日の名前をリスト表示します。 各スケジュール、TODO、誕生日を選択して <input type="checkbox"/> 「選択」 を押すと、詳細画面を表示します（誕生日を選択した場合は、登録されている電話帳詳細表示画面が表示されます）。

● ご注意

- シークレット登録されている予定は、シークレット一時設定（214、215ページ）またはシークレットモード（231ページ）に設定してから確認してください。シークレットモードを解除している状態では表示されません。
- 操作ロック（229ページ）の「スケジュール」が「禁止」に設定されているときは、暗証番号を入力する必要があります。
- 管理者ロックの「電話帳の閲覧を許可」（246ページ）が「許可しない」に設定されているときは、電話帳に登録されている誕生日は表示されません。



- 「壁紙オプション」(205ページ)を「カレンダー」に設定すると、待受画面でを押すだけでカレンダー画面を呼び出すことができます。
- カレンダーの表示を切り替えるには、以下の操作を行います。

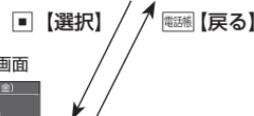
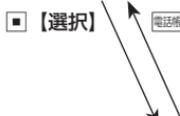
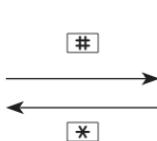
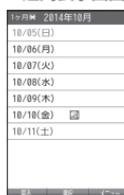
6ヶ月表示画面



1ヶ月表示画面



1週間表示画面



※1ヶ月表示または1週間表示の場合、選択した日付にスケジュール/TODOが登録されていないときは、□【選択】を押すとスケジュール/TODOの新規登録画面が表示されます。

1日表示画面



- カレンダーは2000年1月1日~2090年12月31日の間で表示できます。

カレンダーの使いかた

スケジュール/TODOの一覧を表示する

カレンダーの6ヶ月表示/1ヶ月表示/1週間表示画面で

かろ 【メニュー】 ▶ 2 【一覧】 ▶

1 【スケジュール】または 2 【TODO】

スケジュール一覧画面



TODO一覧画面



①		スケジュールアイコン
②	-	上段：要件 下段：開始日 開始時刻-終了時刻
③		シークレットアイコン
④		アラームアイコン

①		TODOアイコン (未チェック/チェック済)
②	-	上段：要件 下段：期限日時
③		シークレットアイコン
④		アラームアイコン
⑤	高/中/低	優先度



- スケジュール/TODOの登録については、「スケジュールの各項目を登録する」(217ページ)、「TODOの各項目を登録する」(222ページ)をご参照ください。
- スケジュールまたはTODOを選択して 【選択】 を押すと、詳細画面が表示されます。
- スケジュールの開始/終了日時が日をまたいでいる場合は、日時が日付で表示されます。終日の場合は、「終日」と表示されます。
- TODO一覧表示画面では、「未チェック」/「チェック済」/「期限切」/「全件」の4つのタブにTODOが分類されています。 でタブの移動を行います。
- 未チェックで期限なし、または期限日時が過ぎたTODOは赤色で表示されます。

カレンダーのメニューを使う

カレンダー表示画面ではメニューを使って、以下の機能をご使用になれます。

■ カレンダーの6ヶ月表示/1ヶ月表示/1週間表示画面の場合

カレンダーの6ヶ月表示/1ヶ月表示/1週間表示画面で 【メニュー】 を押す

以下の項目から選択します。選択できる項目は、表示している画面や選択している項目によって異なります。

<input type="checkbox"/> 新規登録	<input type="checkbox"/> スケジュール	スケジュールの新規登録を行います (「スケジュールの各項目を登録する」217ページ)。	
	<input type="checkbox"/> TODO	TODOの新規登録を行います (「TODOの各項目を登録する」222ページ)。	
<input type="checkbox"/> 一覧	<input type="checkbox"/> スケジュール	登録されているスケジュール/TODOを、すべて一覧表示します (「スケジュール/TODOの一覧を表示する」213ページ)。	
	<input type="checkbox"/> TODO		
	<input type="checkbox"/> 誕生日	電話帳に登録されている誕生日と名前を、すべて一覧表示します。	
<input type="checkbox"/> 日付指定*1	<input type="checkbox"/> 【選択】 ▶ 年月日を入力し、 <input type="checkbox"/> 【確定】 カレンダー表示を指定した日付に切り替えます。		
<input type="checkbox"/> 表示色変更 お買い上げ時： 月～金：「黒」 土：「青」 日、祝日：「赤」	<input type="checkbox"/> 日付を選択し、変更したい表示色になるまで <input type="checkbox"/> 【変更】 を押す ▶ <input type="checkbox"/> 【保存】 選択した日付の表示色を変更します。 <input type="checkbox"/> 【変更】 を押すたびに、「...→赤→黒→青→赤→...」の順に切り替わります。変更をリセットしたり、曜日ごとにまとめて変更することもできます (「表示色変更画面のメニューを使う」216ページ)。	表示色変更画面	
<input type="checkbox"/> 週の開始曜日設定 お買い上げ時： 「日曜日」	<input type="checkbox"/> 「日曜日」または <input type="checkbox"/> 「月曜日」 カレンダーの週の開始曜日を設定します。		
<input type="checkbox"/> シークレット一時設定*2	<input type="checkbox"/> 暗証番号を入力する 一時的にシークレットモードを設定し、シークレット登録されているスケジュールやTODOの情報を表示します。カレンダーを終了すると、シークレットモードは解除されます。		

*1：6ヶ月表示では表示されません。

*2：シークレット一時設定 (214、215ページ) またはシークレットモード (231ページ) 設定中は表示されません。



- 表示色変更は2014年1月1日～2090年12月31日の間で設定できます。

■ カレンダーの1日表示/スケジュール一覧/TODO一覧画面の場合

カレンダーの1日表示/スケジュール一覧/TODO一覧画面で **カク** [メニュー] を押す

以下の項目から選択します。表示される項目は、表示している画面や選択している項目により異なります。

1 新規登録	1 スケジュール*1	スケジュールの新規登録を行います（「スケジュールの各項目を登録する」217ページ）。
	2 TODO*1	TODOの新規登録を行います（「TODOの各項目を登録する」222ページ）。
2 チェック/チェック解除*2	選択しているTODOにチェックを付加（または解除）し、予定を実行したかどうかを記録します。	
3 並び替え*2	1 期限日時順	期限日時の古い順にTODOを並べ替えます。「期限なし」の用件が最初に表示されます。同じ期限日時の場合、優先度順→登録/編集順となります。
	2 優先度順	設定した優先度順にTODOを並べ替えます。同じ優先度の場合、期限日時順→登録/編集順となります。
7 編集	選択しているスケジュール/TODOの編集を行います（「スケジュールを登録/編集/確認する」217ページ、「TODOを登録/編集/確認する」222ページ）。	
9 ショートカット	選択しているスケジュール/TODOをお気に入りメニューへ登録します（「お気に入りメニューを設定する」43ページ）。	
0 登録件数表示*3	■ スケジュール一覧画面の場合 登録済み件数、登録可能件数、シークレット一時設定（214、215ページ）またはシークレットモード（231ページ）を「ON」に設定中は、シークレット件数を表示します。	
	■ TODO一覧画面の場合 登録済み件数、登録可能件数、チェック済件数、未チェック件数、シークレット一時設定（214、215ページ）またはシークレットモード（231ページ）を「ON」に設定中は、チェック済シークレット、未チェックシークレットを表示します。	
* 削除	■ 1日表示画面の場合 ◆ <input type="checkbox"/> 「はい」を押す 選択しているスケジュール/TODOを削除します。	
	■ スケジュール一覧画面の場合 ◆ <input type="checkbox"/> 「1件」、 <input type="checkbox"/> 「選択」、 <input type="checkbox"/> 「指定日以前」、または <input type="checkbox"/> 「全件」 スケジュールを削除します（「各機能の情報を削除する」273ページ）。	
	■ TODO一覧画面の場合 ◆ <input type="checkbox"/> 「1件」、 <input type="checkbox"/> 「選択」、 <input type="checkbox"/> 「チェック済み」、または <input type="checkbox"/> 「全件」 TODOを削除します（「各機能の情報を削除する」273ページ）。	
# シークレット一時設定*4	◆ 暗証番号を入力 一時的にシークレットモードが設定され、スケジュールやTODOのシークレット登録ができます。また、シークレット登録されているスケジュールやTODOの情報を表示します。カレンダーを終了すると、シークレットモードは解除されます。	
メ 赤外線送信*3	スケジュール/TODOを赤外線で送信します（「赤外線で送信する」286ページ）。	

*1：1日表示のみ表示されます。

*2：TODO一覧表示のみ表示されます。

*3：スケジュール一覧/TODO一覧表示のみ表示されます。

*4：シークレット一時設定（214、215ページ）またはシークレットモード（231ページ）設定中は表示されません。



- チェックまたはチェック解除したTODOは、それぞれTODO一覧の「チェック済」/「未チェック」タブへ移動されます。

■ 表示色変更画面のメニューを使う

表示色変更画面で **【メニュー】** を押す

以下の項目から選択します。

5 変更リセット	日付の表示色をお買い上げ時の状態に戻します。	
	<input type="button" value="1"/> 指定日以前	▶ 暗証番号を入力 ▶ <input type="button" value="□"/> 【選択】 ▶ 年月日を入力し、 <input type="button" value="□"/> 【確定】 ▶ <input type="button" value="1"/> 「はい」 指定した年月日以前の日付の表示色をお買い上げ時の状態に戻します。
	<input type="button" value="2"/> 1ヶ月	▶ <input type="button" value="1"/> 「はい」 を押す 選択した月の日付の表示色をお買い上げ時の状態に戻します。
	<input type="button" value="3"/> 1年	▶ 暗証番号を入力 ▶ <input type="button" value="□"/> 「はい」 選択した年の日付の表示色をお買い上げ時の状態に戻します。
	<input type="button" value="4"/> 全件	▶ 暗証番号を入力 ▶ <input type="button" value="□"/> 「はい」 すべての日付の表示色をお買い上げ時の状態に戻します。
6 曜日単位変更 お買い上げ時： 月～金 : 「黒」 土 : 「青」 日 : 「赤」	▶ <input type="button" value="1"/> ~ <input type="button" value="7"/> (曜日を選択) ▶ <input type="button" value="□"/> 「黒」、 <input type="button" value="2"/> 「青」、または <input type="button" value="3"/> 「赤」 ▶ <input type="button" value="□"/> 【確定】 選択した曜日の表示色をすべて変更します。	

● スケジュールを登録／編集／確認する

スケジュールの各項目を登録する

スケジュールを150件まで登録できます。アラーム設定を行うと、設定時刻にアラームを鳴らし、スケジュールを表示できます。



- スケジュールをシークレット登録する場合は、シークレット一時設定 (214、215ページ) またはシークレットモード (231ページ) に設定してから登録を行います。シークレット登録したスケジュールはシークレット一時設定またはシークレットモード設定中にのみ確認／編集ができます。

■ カレンダーから登録する場合

カレンダーの6ヶ月表示／1ヶ月表示／1週間表示／1日表示画面で

1 [メニュー] ▶ [新規登録] ▶ [スケジュール]

■ スケジュール一覧画面から登録する場合

スケジュール一覧画面で

1 [メニュー] ▶ [新規登録]

スケジュール登録画面



2 以下の項目から選択

用件入力 (用件カテゴリ)	▶ 用件を入力 ▶ ▶ 【選択】 ▶ カテゴリを選択し、 【選択】 用件を入力します (全角・半角共に20文字まで)。また、用件のカテゴリを、仕事／プライベート／学校／休み／誕生日／記念日／デート／飲み会／食事／お茶／ドライブ／旅行／買い物／映画／スポーツ／会議／病院／マーク1／マーク2／その他から選択します。
開始日時	▶ 【選択】 ▶ 開始／終了年月日を入力し、 【確定】
終了日時	開始／終了日時を入力します。 【終日】を押すと、開始時刻が00:00に設定され、「 終了日時」が次の日の00:00に設定されます。
繰り返し設定	スケジュールの繰り返し方法を設定します (「スケジュールの繰り返しを設定する」218ページ)。
画像メモ	▶ 【選択】 ▶ 登録するデータを選択し、 【選択】 データフォルダの画像データを1件登録できます。microSDカードの画像データを登録することはできません。
場所入力	▶ 場所を入力する 場所を入力します (全角・半角共に20文字まで)。
詳細入力	▶ 詳細を入力する 詳細を入力します (全角・半角共に40文字まで)。
URL入力	▶ URLを入力する URLを入力します (半角英数字・半角記号で255文字まで)。
アラーム設定	アラームを設定します (「スケジュールアラームを設定する」219ページ)。
シークレット* お買い上げ時：「OFF」	▶ 【選択】 ▶ 「ON」または 「OFF」 「ON」に設定すると、データをシークレット登録できます。

* : シークレット一時設定 (214、215ページ) またはシークレットモード (231ページ) 設定中にのみ表示されます。

3 【登録】 または 【登録】

🔔 ご注意

- 「開始日時」、「終了日時」を選択中の場合は、他の項目に移動してから、【登録】または²⁰⁹【登録】を押します。終了日時は、開始日時より過去に設定すると、確定したときに自動的に開始日時と同じ日時に変更されます。
- 一度登録したスケジュールを再編集した場合、「上書登録」または²「追加登録」の選択画面が表示されます。ただし、登録できる上限に達している場合は追加登録できません。
- 登録した「画像メモ」は、スケジュール詳細表示画面（220ページ）から確認することができます。ただし、アラームが鳴っているときは登録した「画像メモ」は表示されません。

🔔 お知らせ

- スケジュールの新規登録は、以下の手順でも行えます。
カレンダーの1ヶ月表示 / 1週間表示でスケジュール、TODO、誕生日が未登録の日付を選択し、【選択】
▶ 「スケジュール」
- 開始 / 終了日時は、2014年1月1日00時00分～2090年12月31日23時59分の間で入力できます。
- 登録したスケジュールの開始日時が、現在日時よりも過去の場合、警告メッセージが表示されます。
- 登録したスケジュールの時間が、すでに登録してあるスケジュールと重なる場合、警告メッセージが表示されます。

■ スケジュールの繰り返しを設定する

スケジュールを繰り返す周期（毎日 / 毎週 / 毎月 / 毎年）と、繰り返し回数を入力します。「毎週」に設定すると、スケジュールを繰り返す曜日を指定することができます。

スケジュール登録画面で 「繰り返し設定」を選択し、【選択】

以下の項目から選択します。表示される項目は、「開始日時」や「終了日時」で設定した期間により異なります。

<input type="checkbox"/> 無し	スケジュールを繰り返しません。
<input checked="" type="checkbox"/> 毎日	▶ <input type="checkbox"/> 「回数」 ▶ 繰り返し回数を入力し、 <input type="checkbox"/> 【確定】 スケジュールを毎日、開始日時に設定した時刻に繰り返します。
<input checked="" type="checkbox"/> 毎週	▶ <input type="checkbox"/> 「1」～ ⁷ <input type="checkbox"/> （曜日を選択） ▶ <input type="checkbox"/> 「ON」または ² <input type="checkbox"/> 「OFF」 ▶ ²⁰⁹ <input type="checkbox"/> 【回数】 ▶ <input type="checkbox"/> 「回数」 ▶ 繰り返し回数を入力し、 <input type="checkbox"/> 【確定】 スケジュールを毎週繰り返します。繰り返す曜日を指定できます。
<input checked="" type="checkbox"/> 毎月	▶ <input type="checkbox"/> 「回数」 ▶ 繰り返し回数を入力し、 <input type="checkbox"/> 【確定】 スケジュールを毎月、開始日時に設定した日 / 時刻に繰り返します。
<input checked="" type="checkbox"/> 毎年	▶ <input type="checkbox"/> 「回数」 ▶ 繰り返し回数を入力し、 <input type="checkbox"/> 【確定】 スケジュールを毎年、開始日時に設定した月日 / 時刻に繰り返します。

🔔 ご注意

- 「毎週」で曜日指定を行う場合、開始日時に設定した日付の曜日を「OFF」にすることはできません。

🔔 お知らせ

- 繰り返し回数は「00」～「99」の間で入力します。ただし、「00」を入力すると、無制限として設定されます。

■ スケジュールアラームを設定する

スケジュール/TODO登録画面で

1 「 アラーム設定」を選択し、 【選択】 ▶ 【ON】 ▶ 【日時入力】

以下の項目から選択します。

 直接入力	▶  ▶  【選択】 ▶ アラーム日時を入力し、  【確定】
	日時を直接入力することで、アラームの鳴る日時を設定します。アラーム日時は、2014年1月1日00時00分～2090年12月31日23時59分の間で入力します。
 「0分前」*1	開始日時、期限日時からさかのぼった時間を選択し、アラームの鳴る日時を設定します。
 「12時間前」*1	
 「30分前」*2	
 「3日前」*2	

*1：スケジュール登録画面でのみ表示されます。

*2：TODO登録画面でのみ表示されます。ただし、「期限日時」が「期限なし」に設定されている場合は表示されません。

2 「アラーム音種」 ▶ 【固定パターン】、 【メロディ】、または 【データフォルダ】 ▶ アラーム音を選択し、 【選択】 ▶ 【確定】

ご注意

- 「アラーム設定」を設定した後に開始日時、期限日時を変更すると、「アラーム設定」は「OFF」になります。

お知らせ

- アラームが鳴っているときの音量/バイブレータの設定は、機能メニューの「音/バイブ」で設定します（「スケジュールアラームの音量/バイブレータを設定する」198ページ）。また、アラームが鳴っているときのランプ点灯の設定は、機能メニューの「画面/照明」で設定します（「ランプを設定する」207ページ）。
- アラーム音を選択しているときに  【再生】 または  【メニュー】 ▶  【再生】 で、選択しているアラーム音を再生できます。再生中に  【停止】 または  【停止】 を押すと、再生を終了します。ただし、マネーモード（61ページ）、安全運転モード（64ページ）設定中は、アラーム音の再生はできません。
- 指定した時刻になると、アラームが鳴り、予定の開始時刻と用件が表示されます。アラーム音は約60秒で止まります。
- アラームを止めるには、以下の操作を行います。
アラームが鳴っているときにいずれかのキーを押す
※本体を開いているときは、本体を閉じてアラームを止めることができます。
- アラーム指定時刻になってもアラームが鳴らない場合があります。
例：
 - ・本機起動中/終了中
 - ・本機の電源OFF時
 - ・通話中/発信中/着信中/データ通信中
 - ・伝言メモ応答録音中/再生中
 - ・メール送信中/受信時
 - ・動画の録音中
 - ・ガジェットの初期化中
 - ・「PCフォルダ」の初期化中
 - ・USBマスタートレージ起動中
 - ・リセット中（機能/メモリ/完全消去+初期化）
 - ・リモートロック中
 - ・アラーム/スケジュールアラーム/TODOアラーム鳴動中
 - ・Myボイスメモ録音中/再生中
 - ・位置情報通知中
 - ・Bluetoothでの電話帳送受信時
 - ・パソコンとのデータ転送中
 - ・赤外線通信中
 - ・ソフトウェア更新中
- 「アラーム音種」を「パターン1（でか）」または「アラーム音（でか）」に設定すると、他のアラーム音種の音量よりも大きくなります。

スケジュールを確認する

待受画面で ▶ 「アクセサリ」を選択し、 【選択】 ▶ 3 「カレンダー」(▶ 確認したい月を選択し、 【選択】)* ▶ 確認したい日付を選択し、 【選択】 ▶ 確認したいスケジュールを選択し、 【選択】

* : カレンダーの表示が「6ヶ月表示」のときに操作します。

🔔 ご注意

- シークレット登録しているスケジュールは、シークレットモードを解除している状態では表示されません。シークレット一時設定 (214、215ページ) またはシークレットモード (231ページ) に設定してから確認してください。

🔔 お知らせ

- URL選択時に 【接続】を押すと、Webページにアクセスします。
- 画像メモ選択時に 【再生】を押すと、画像を表示します。

スケジュール詳細表示画面

スケジュール詳細
ロバーゲン
📅 買い物
● 2014年10月12日
13:00
● 2014年10月12日
17:00
🔄 繰り返し無し
📺 渋谷
● 2014年10月12日
12:00
👤 アラーム(不)

■ スケジュールのメニューを使う

スケジュール詳細表示画面では、メニューを使って以下の機能をご使用になれます。

スケジュール詳細表示画面で かわり 【メニュー】を押す

以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> 6 Eメールへ添付	スケジュールデータからスケジュールカード (vCalendar) を作成してEメールに添付します (「Eメール (テキストメール/デコラティブメール) を作成して送信する」94ページ)。
<input type="checkbox"/> 7 編集	スケジュールを編集します (「スケジュールを登録/編集/確認する」217ページ)。
<input type="checkbox"/> 8 予定タブへコピー	スケジュールデータの内容をデータフォルダ (本体メモリのメインフォルダ/microSDカード)の「名刺/予定タブ」へコピーします (「スケジュール/TODOのデータをスケジュールカードに変換してコピーする」224ページ)。
<input type="checkbox"/> 9 ショートカット	スケジュールデータをお気に入りメニューへ登録します (「お気に入りメニューを設定する」43ページ)。
<input type="checkbox"/> ✕ 削除	▶ <input type="checkbox"/> 1 「はい」を押す スケジュールデータを削除します。
<input type="checkbox"/> 送信 赤外線送信	▶ 本機と相手側の赤外線ポートを向かい合わせる ▶ 送信完了 スケジュールデータを赤外線で送信します (「赤外線で送信する」286ページ)。

■ 登録された電話番号／Eメールアドレス／URLを利用する

スケジュールの「 詳細」に電話番号／Eメールアドレス／URLが登録されている場合は、これらを利用して、電話をかけたり、Eメールを作成したり、Webページにアクセスしたりできます。

スケジュール詳細表示画面で で「 詳細」の電話番号／Eメールアドレス／URLを選択し、 【選択】

以下の項目から選択します。表示される項目は電話番号／Eメールアドレス／URLにより異なります。

発信	<p> または 【発信】 を押す</p> <p>選択した電話番号に電話をかけます。また、電話番号を編集して電話をかけることもできます。</p>	
電話帳へ登録	新規	選択した電話番号／Eメールアドレス／URLを電話帳に新規登録します（「電話帳データの各項目を登録する」76ページ）。
	追加	<p> 追加登録する電話帳データを選択し、 【選択】（ 登録先を選択し、 【選択】）*1 【登録】 【はい】</p> <p>すでに登録されている電話帳データに、電話番号／Eメールアドレス／URLを追加登録します。*2</p>
SMS作成	選択した電話番号を宛先としたSMSを作成します（「SMSを作成して送信する」103ページ）。	
Eメール作成	選択したEメールアドレスを宛先としたEメールを作成します（「Eメール（テキストメール／デコラティブメール）を作成して送信する」94ページ）。	
URLページへ接続	選択したURLのWebページをブラウザで表示します。	
ブックマークへ登録	<p> タイトルを入力し、 【登録】</p> <p>選択したURLをブックマークに登録します。</p>	

*1：URLの場合は、選択する必要はありません。

*2：追加登録したい項目（電話番号／Eメールアドレス）にすでに登録したデータがある場合、その状態で 【選択】を押すと、上書きされます。

● TODOを登録／編集／確認する

TODOの各項目を登録する

TODOは、期日までにやらなければいけない事柄、内容を登録し、備忘録として使用します。アラーム設定を行うと、設定した時刻にアラームを鳴らし、TODOの内容が表示されます。TODOは50件まで登録できます。



- TODOをシークレット登録する場合は、シークレット一時設定 (214、215ページ) またはシークレットモード (231ページ) にしてから登録を行います。シークレット登録したTODOはシークレット一時設定またはシークレットモード設定中のみ確認／編集ができます。

■ カレンダーから登録する場合

カレンダーの6ヶ月表示／1ヶ月表示／1週間表示／1日表示画面で

1 **カワ** **【メニュー】** ▶ 1 **【新規登録】** ▶ 2 **【TODO】**

■ TODO一覧画面から登録する場合

TODO一覧画面で

1 **カワ** **【メニュー】** ▶ 1 **【新規登録】**

TODO登録画面



2 以下の項目から選択

用件入力 (用件カテゴリ)	<input type="checkbox"/> 用件を入力 ▶ <input type="checkbox"/> 【選択】 ▶ カテゴリを選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 用件を入力します (全角・半角共に20文字まで)。また、用件のカテゴリを、仕事／プライベート／学校／休み／誕生日／記念日／デート／飲み会／食事／お茶／ドライブ／旅行／買い物／映画／スポーツ／会議／病院／マーク1／マーク2／その他から選択します。				
期限日時 お買い上げ時: 「期限なし」	<input type="checkbox"/> 【選択】 を押す 以下の項目から選択します。 <table border="1"><tr><td>1 期限なし</td><td>TODOを期限なしに設定します。</td></tr><tr><td>2 期限あり</td><td><input type="checkbox"/> 【選択】 ▶ 期限年月日を入力し、 <input type="checkbox"/> 【確定】 TODOを期限ありに設定し、期限日時を入力します。</td></tr></table>	1 期限なし	TODOを期限なしに設定します。	2 期限あり	<input type="checkbox"/> 【選択】 ▶ 期限年月日を入力し、 <input type="checkbox"/> 【確定】 TODOを期限ありに設定し、期限日時を入力します。
1 期限なし	TODOを期限なしに設定します。				
2 期限あり	<input type="checkbox"/> 【選択】 ▶ 期限年月日を入力し、 <input type="checkbox"/> 【確定】 TODOを期限ありに設定し、期限日時を入力します。				
アラーム設定 お買い上げ時: 「OFF」	アラームを設定します (「スケジュールアラームを設定する」219ページ)。				
優先度 お買い上げ時: 「低」	<input type="checkbox"/> 【選択】 ▶ 1 「高」、 2 「中」、 または 3 「低」 TODOの優先度を設定します。優先度を設定すると、TODO一覧表示で優先度順に並べ替えることができます。				
シークレット* お買い上げ時: 「OFF」	<input type="checkbox"/> 【選択】 ▶ 1 「ON」 または 2 「OFF」 「ON」に設定すると、データをシークレット登録できます。				

*: シークレット一時設定 (214、215ページ) またはシークレットモード (231ページ) 設定中のみ表示されます。

3 **【登録】** または **カワ** **【登録】**



- 一度登録したTODOを再編集した場合、1 **【上書登録】** または 2 **【追加登録】** の選択画面が表示されます。ただし、登録できる上限に達している場合は追加登録できません。



- TODOの新規登録は、以下の手順でも行えます。

カレンダーの1ヶ月表示/1週間表示でスケジュール、TODO、誕生日が未登録の日付を選択し、【選択】
▶ 2【TODO】

- 期限日時は、2014年1月1日00時00分～2090年12月31日23時59分の間で入力できます。
- 登録したTODOの期限日時が、現在日時よりも過去の場合、警告メッセージが表示されます。

TODOを確認する

- カレンダーから確認する場合

待受画面で ▶ **「アクセサリ」を選択し、【選択】** ▶ 3 **「カレンダー」** (▶
確認したい月を選択し、【選択】* ▶ 確認したい日付を選択し、【選択】 ▶ 確認した
いTODOを選択し、【選択】

* : カレンダーの表示が「6ヶ月表示」のときに操作します。

- TODO一覧から確認する場合

カレンダーの6ヶ月表示/1ヶ月表示/1週間表示画面で **「メニュー」** ▶ 2 **「一
覧」** ▶ 2 **「TODO」** ▶ 確認したいTODOを選択し、【選択】

TODO詳細 表示画面



- シークレット登録しているTODOは、シークレットモードを解除している状態では表示されません。シークレット一時設定 (214、215ページ) またはシークレットモード (231ページ) に設定してから確認してください。

■ TODOのメニューを使う

TODO詳細表示画面では、メニューを使って以下の機能をご使用になれます。

TODO詳細表示画面で **「メニュー」** を押す

以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> 2 チェック/ チェック解除	TODOデータにチェックを付加 (または解除) し、予定を実行したかどうかを記録します。 チェックしたTODOは、カレンダーの1ヶ月表示のリスト表示や1週間表示から削除されますが、TODO一覧の「チェック済タブ」で確認することができます (「スケジュール/TODOの一覧を表示する」213ページ)。
<input type="checkbox"/> 6 Eメールへ添付	TODOデータからスケジュールカード (vCalendar) を作成してEメールに添付します (「Eメール (テキストメール/デコラティブメール) を作成して送信する」94ページ)。
<input type="checkbox"/> 7 編集	TODOデータを編集します (「TODOを登録/編集/確認する」222ページ)。
<input type="checkbox"/> 8 予定タブへコピー	TODOデータの内容をデータフォルダ (本体メモリのメインフォルダ/microSDカード) の「名刺/予定タブ」へコピーします (「スケジュール/TODOのデータをスケジュールカードに変換してコピーする」224ページ)。
<input type="checkbox"/> 9 ショートカット	TODOデータをお気に入りメニューへ登録します (「お気に入りメニューを設定する」43ページ)。
<input type="checkbox"/> ✕ 削除	▶ <input type="checkbox"/> 「はい」 を押す TODOデータを削除します。
<input type="checkbox"/> 赤外線送信	▶ 本機と相手側の赤外線ポートを向かい合わせる ▶ 送信完了 TODOデータを赤外線で送信します (「赤外線で送信する」286ページ)。



- TODO詳細表示画面で【チェック】や【チェック解除】を押しても、TODOのチェック/チェック解除が行えます。
チェックまたはチェック解除したTODOは、それぞれTODO一覧の「チェック済」/「未チェック」タブへ移動されます。

● スケジュールカード（vCalendar形式）について

スケジュールやTODOのデータは、スケジュールカード（vCalendar形式：拡張子「.vcs」）にデータ変換して、データフォルダ（本体メモリのメインフォルダ／microSDカード）の「名刺／予定タブ」にコピーできます。

また、データフォルダのスケジュールカードを、スケジュールやTODOに登録できます。

ご注意

- 管理者ロックの「赤外線通信の使用を許可」（244ページ）が「許可しない」に設定されているときは、スケジュールカードの赤外線送受信ができません。

お知らせ

- vCalendarのバージョンは1.0です。

スケジュール／TODOのデータをスケジュールカードに変換してコピーする

コピーしたいスケジュールの詳細表示画面／TODOの詳細表示画面で

【カク】【メニュー】 ▶ **8** 【予定タブへコピー】（▶ **1** 【本体メモリ】または **2** 【microSDカード】）*

*：microSDカード挿入時のみ操作します。

お知らせ

- コピーされるファイル名は以下のとおりです。
スケジュール／TODOの「用件」＋「YYYYMMDDhhmmss（開始／期限日時）」＋「vcs拡張子」
また、ファイル名として使用できない半角記号（<>：¥ * / ? * | . ; ）が含まれていた場合、確認画面が表示されます。**1**【はい】を押してコピーを続行すると、ファイル名は「notitle.vcs」、
「notitle001.vcs」、
「notitle002.vcs」・・・となります。
- データフォルダ（本体メモリのメインフォルダ／microSDカード）にすでに同じ名前のファイルがある場合は、上書き確認画面が表示されます。
- シークレットが登録されているデータを選択した場合は、microSDカードへはコピーできません。

スケジュールカードをスケジュール／TODOに登録する

待受画面で ▶ **1** 【データフォルダ】を選択し、 【選択】 ▶ フォルダ／**2** 【microSD】を選択し、 【選択】（▶ **3** 【暗証番号を入力】^{*1}／**1** 【microSDデータ】^{*2}）▶ **4** 【名刺／予定タブ】を選択し、 【ファイルへ】または **5** ▶ **6** 【スケジュールまたはTODOのスケジュールカードを選択】 ▶ 【再生】 ▶ **7** 【メニュー】 ▶ **8** 【登録】 ▶ 【登録】

*1：「プライベートフォルダ」を選択したときに操作します。

*2：microSDカード挿入時、「microSD」を選択したときに操作します。

お知らせ

- シークレット登録されていたスケジュールまたはTODOのスケジュールカードを、シークレットモードを設定せずに登録するとシークレットが解除されます。シークレット登録する場合は、シークレットモード（231ページ）に設定してから登録してください。

セキュリティ機能の設定

● 本体を閉じてダイヤルロックをかける (閉めるとロック) 機能番号41

閉めるとロックを設定すると、本体を閉じてから設定した時間が経過した後、キーに自動的にロック (ダイヤルロック) をかけることができます。待受画面での着信 / メール自動受信など一部の機能を除き、操作はできない状態になります。

お買い上げ時：
「OFF」

閉めるとロックを設定 / 解除する

待受画面で   **4**  **1**  **暗証番号を入力**

以下の項目から選択します。

1 即時	閉めるとロック設定後、待受画面を表示中に本体を閉じると即時にダイヤルロックがかかります。待受画面以外の画面を表示中に本体を閉じると、待受画面に戻ったときにダイヤルロックがかかります。
2 10秒	待受画面を表示中に、本体を閉じて設定した時間が経過するとダイヤルロックがかかります。
3 1分	待受画面以外の画面を表示中に、本体を閉じて設定した時間が経過すると、待受画面に戻ったときにダイヤルロックがかかります。
4 5分	
5 10分	
6 30分	
7 OFF	閉めるとロックの設定を解除します。

● ご注意

- ダイヤルロック中でも、電源をOFFにできます。ただし、電源をOFFにしたり、バッテリーを取りはずしたりしても、ダイヤルロックは解除されません。
- ダイヤルロック中は、データ発信を行うことはできません (「発信する」307ページ)。
- 管理者ロックの「閉めるとロックの設定変更を許可」(245ページ) が「許可しない」に設定されているときは、閉めるとロックの設定を変更することができません。

● お知らせ

- 閉めるとロック設定中またはダイヤルロック中は、待受画面に「」が表示されます。また、ダイヤルロック中は、操作ガイド (37ページ) には何も表示されません。
 - ダイヤルロック中でも、以下の操作を行うことができます。
 - ・ 電話を受ける (54ページ)
 - ・ ボイス通知 (47ページ)
 - ・ 本体を閉じているときのマナーモードの設定 / 解除 (61ページ)
 - ・ 着信中に、着信音量の調節や、マナー着信 (66ページ)、伝言メモ (57ページ)、着信拒否への登録 (54ページ)
 - ・ 通話中に、受話音量の調節や、プッシュ信号の送信*1 (56ページ)、ミュート (55ページ)、マナートーク (65ページ)、しっかりリンク (49ページ)、ハンズフリー (65ページ)、ゆっくり通話 (66ページ)、はつきり通話 (67ページ)
 - ・ アラーム鳴動中にいずれかのキーを押す、または本体が開いているときに本体を閉じてアラームを停止させる*2
 - ・ 「110番」(警察)、「119番」(消防・救急)、「118番」(海上保安本部) に電話をかける
- 待受画面で **1** **1** **0**、**1** **1** **9**、または **1** **1** **8** を入力 (暗証番号入力画面の表示部分に「***」が表示される) 
- *1: 「一括送付」をすることはできません。
*2: 連続アラームを解除する場合は、アラーム停止後に  【解除】 を長く (1秒以上) 押ししてください。待受画面に戻って    を押ししても解除できません。

ダイヤルロックを解除する

ダイヤルロック中に

1 暗証番号を入力する

ダイヤルロックが一時的に解除されます。

2   **4**  **1**  **暗証番号を入力**  **7** 「OFF」

ダイヤルロックを一時的に解除する

ダイヤルロック中に 暗証番号を入力する

ダイヤルロックが一時的に解除されます。待受画面を表示中に本体を開けると、その時点から再度タイマーが作動し、設定した時間が経過後に再度ダイヤルロックがかかります。

● 着信拒否する電話番号を設定する (着信拒否) 機能番号42

特定の電話番号や、電話番号が通知されない着信を拒否することができます。また、着信を拒否するときに相手にメッセージを流すかどうか／拒否した着信の履歴を保存するかどうかを設定できます。着信拒否する電話番号は、拒否電話番号として100件まで登録できます。

待受画面で ▶ 4 ▶ 2 ▶ 暗証番号を入力

以下の項目から選択します。

<p><input type="checkbox"/> 1 指定番号拒否</p> <p>お買い上げ時： 「拒否メッセージなし」</p>	<p>指定番号一覧に登録した拒否電話番号からの着信を拒否します。</p> <p><input type="checkbox"/> 1 拒否メッセージあり*1</p> <p>「指定番号一覧」に登録した拒否電話番号から着信があった場合、「この電話番号からの電話はお受けできません。」とメッセージを再生し、着信を拒否します。</p> <p><input type="checkbox"/> 2 拒否メッセージなし</p> <p>「指定番号一覧」に登録した拒否電話番号から着信があった場合、メッセージを再生しないで着信を拒否します。</p> <p><input type="checkbox"/> 3 解除</p> <p>着信拒否を解除します。</p>
<p><input type="checkbox"/> 2 指定番号一覧</p>	<p>■新規登録する場合</p> <p>▶ 電話番号が空欄の行を選択し、<input type="checkbox"/> 【編集】 ▶ 着信拒否したい電話番号を入力し、<input type="checkbox"/> 【登録】</p> <p>■編集する場合</p> <p>▶ 登録されている電話番号を選択し、<input type="checkbox"/> 【編集】 ▶ 着信拒否したい電話番号を編集し、<input type="checkbox"/> 【登録】</p> <p>■削除する場合</p> <p>▶ 登録されている電話番号を選択 ▶ <input type="checkbox"/> 【メニュー】 ▶ <input type="checkbox"/> 2 「削除」 ▶ <input type="checkbox"/> 1 「1件」または<input type="checkbox"/> 2 「全件」 ▶ <input type="checkbox"/> 1 「はい」</p> <p>拒否電話番号の登録／編集画面 /ダイヤル入力 07099999999</p>
<p><input type="checkbox"/> 3 ユーザ非通知拒否</p> <p><input type="checkbox"/> 4 公衆電話発信拒否</p> <p><input type="checkbox"/> 5 通知不可能拒否*2</p> <p>お買い上げ時： 「解除」</p>	<p><input type="checkbox"/> 1 ユーザ非通知拒否メッセージ*1</p> <p>着信拒否をそれぞれの拒否メッセージで設定します。</p> <p>■ ユーザ非通知拒否設定の場合</p> <p>「発信者番号通知がされておりません。電話番号の頭に186を付けておかけ直ください。」</p> <p>■ 公衆電話発信拒否の場合</p> <p>「公衆電話からの電話はお受けできません。」</p> <p><input type="checkbox"/> 2 拒否メッセージ*1</p> <p>着信拒否を共通の拒否メッセージで設定します。「この電話番号からの電話はお受けできません。」</p> <p><input type="checkbox"/> 3 解除</p> <p>着信拒否を解除します。</p>
<p><input type="checkbox"/> 6 着信履歴保存</p> <p>お買い上げ時： 「保存」</p>	<p>▶ <input type="checkbox"/> 1 「保存」または<input type="checkbox"/> 2 「破棄」</p> <p>拒否した着信の履歴を保存するかどうかを設定します。</p>
<p><input type="checkbox"/> 7 着信拒否全解除</p>	<p>▶ <input type="checkbox"/> 1 「はい」を押す</p> <p>着信拒否設定をすべて解除します。ただし、指定番号一覧に登録した電話番号は削除されません。</p>

*1：メッセージを選択中、 【再生】を押すと、応答メッセージを再生することができます。 【停止】を押すと再生を終了します。

*2： 【5】「通知不可能拒否」を選択した場合は、 1 「拒否メッセージ」（「この電話番号からの電話はお受けできません。」）と 2 「解除」のみが表示されます。

 **ご注意**

- 拒否メッセージの内容を変更することはできません。
- 「110番」(警察)、「119番」(消防・救急)、「118番」(海上保安本部)は、着信拒否できません。
- 緊急通報(49ページ)後、5分程度の間は着信拒否を設定していても、いかなる電話番号からも音声着信します。

 **お知らせ**

- 拒否電話番号入力中に以下の操作を行うと、発信履歴や電話帳、ダイヤルメモから電話番号を引用することができます。

拒否電話番号入力中に²⁹⁵【メニュー】▶**[1]**「引用」

以下の項目から選択します。

[1] 着信履歴	▶ [↑] で登録する電話番号を選択し、 [□] 【選択】 着信履歴から拒否する電話番号を登録します。
[2] 発信履歴	▶ [↓] で登録する電話番号を選択し、 [□] 【選択】 発信履歴から拒否する電話番号を登録します。
[3] 電話帳	▶引用したい電話帳データを選択し、 [□] 【選択】▶登録する電話番号を選択し、 [□] 【選択】 電話帳から拒否する電話番号を登録します。
[4] ダイヤルメモ	▶ [↑] で登録する電話番号を選択し、 [□] 【選択】 ダイヤルメモから拒否する電話番号を登録します。

- 拒否電話番号入力中に以下の操作を行うと、登録/編集を中止して指定番号一覧画面に戻ります。
拒否電話番号入力中に²⁹⁵【メニュー】▶**[3]**「編集中止」
- 着信した電話での通話中に拒否電話番号を入力するには以下の操作を行います。
通話中に**[□]**▶「着信拒否に登録」を選択し、**[□]**【選択】▶**[1]**「切る+登録する」
- 入力できる電話番号は32桁までです。
- 拒否電話番号入力中に²⁹⁵【-】を押す、または²⁹⁵【*】を長く(1秒以上)押すと、「- (ハイフン)」が入力できます。
- **[3]**「ユーザ非通知拒否」、**[4]**「公衆電話発信拒否」、および²⁹⁵【5】「通知不可能拒否」は、ワイモバイルで提供している番号非通知ガードサービスとは異なります。
- **[3]**「ユーザ非通知拒否」に設定した場合、電話番号を通知してこないSMSも受信できません。
- 登録する着信拒否指定番号には²⁹⁵【*】(ワイルドカード)を利用することができます。例えば、**[3][3][*]**と入力した場合は、先頭に「33」が付くすべての電話番号が着信拒否指定番号になります。
ただし、以下の電話番号は登録できません。
・先頭が²⁹⁵【*】の電話番号(例：**[*][2][1]**)
・²⁹⁵【*】以降に数字がある電話番号(例：**[2][*][1]**)
・²⁹⁵【*】が複数ある電話番号(例：**[1][*][2][*]**)
- 指定番号一覧に登録した拒否電話番号の内容を確認するには、以下の操作を行います。
指定番号一覧画面で確認したい拒否電話番号を選択し、²⁹⁵【メニュー】▶**[1]**「内容確認」

電話をかけたり、ブラウザを起動したり、Eメール/SMSの内容を閲覧するなどの操作を制限することができます。

使用制限を設定/解除する

待受画面で ▶ **4** ▶ **3** ▶ 暗証番号を入力

以下の項目から選択します。

1 発信先限定	▶ <input type="checkbox"/> 1 「限定」 または <input checked="" type="checkbox"/> 2 「解除」
お買い上げ時 : 「解除」	発信先一覧に登録した電話番号以外への発信やSMS送信を制限します。 ただし、管理者ロックの「発信を電話帳内の番号に限定」の設定により、制限が異なります。詳しくは、「電話帳に登録されている電話番号以外の発信を制限する」(241ページ)をご参照ください。
2 発信先一覧*	「発信先限定」を「限定」に設定したときの発信を許可する電話番号を登録します(「登録した電話番号以外に電話をかけられなくする」230ページ)。
3 ダイヤル発信	▶ <input type="checkbox"/> 1 「禁止」 または <input checked="" type="checkbox"/> 2 「許可」
お買い上げ時 : 「許可」	本機からの発信、SMSの送信、パソコンからのデータ通信を制限します。
4 電話帳閲覧	▶ <input type="checkbox"/> 1 「禁止」 または <input checked="" type="checkbox"/> 2 「許可」
お買い上げ時 : 「許可」	電話帳の使用を制限します。 <input type="checkbox"/> 1 「禁止」に設定した場合、発信したり着信した電話番号が電話帳に登録しているものと同じ番号でも、電話帳に登録した名前を表示しません。 管理者ロックの「電話帳の閲覧を許可」が「許可しない」に設定されているときは、電話帳を使用できません。詳しくは、「電話帳の閲覧を制限する」(246ページ)をご参照ください。
5 スピードダイヤル	▶ <input type="checkbox"/> 1 「禁止」 または <input checked="" type="checkbox"/> 2 「許可」
お買い上げ時 : 「許可」	スピードダイヤルを使用した、電話、Webページへのアクセスを制限します。
6 スケジュール	▶ <input type="checkbox"/> 1 「禁止」 または <input checked="" type="checkbox"/> 2 「許可」
お買い上げ時 : 「許可」	カレンダー/スケジュール/TODOの使用を制限します。 ただし、データフォルダに保存されているスケジュールカード(vCalendar)は制限しません。
7 WEB	▶ <input type="checkbox"/> 1 「禁止」 または <input checked="" type="checkbox"/> 2 「許可」
お買い上げ時 : 「許可」	ブラウザの使用を制限します。 ただし、管理者ロックの「ブックマークからのWEB接続に限定」の設定により、制限が異なります。詳しくは、「ブックマークに登録されているURL以外の接続を制限する」(243ページ)をご参照ください。
8 メール	▶ <input type="checkbox"/> 1 「禁止」 または <input checked="" type="checkbox"/> 2 「許可」
お買い上げ時 : 「許可」	Eメール/SMSの使用を制限します。 ただし、管理者ロックの「メールの使用を許可」が「許可しない」に設定されているときは、メールを使用できません。詳しくは、「メールの使用を制限する」(243ページ)をご参照ください。
9 データ発信	▶ <input type="checkbox"/> 1 「禁止」 または <input checked="" type="checkbox"/> 2 「許可」
お買い上げ時 : 「許可」	データ発信の使用を制限します。 ただし、管理者ロックの「USB/Bluetooth接続時の通信を許可」が「許可しない」に設定されているときは、USBケーブル(別売)を用いたパソコンとの通信ができません。詳しくは、「USB/Bluetooth®による通信を制限する」(245ページ)をご参照ください。
0 Java™アプリ	▶ <input type="checkbox"/> 1 「禁止」 または <input checked="" type="checkbox"/> 2 「許可」
お買い上げ時 : 「許可」	Java™アプリの使用を制限します。 ただし、管理者ロックの「Java™アプリの使用を許可」が「許可しない」に設定されているときは、Java™アプリを使用できません。詳しくは、「Java™アプリの使用を制限する」(244ページ)をご参照ください。

* : 「110番」(警察)、「119番」(消防・救急)、「118番」(海上保安本部)の番号は登録できません。

ご注意

- [7] 「WEB」を「禁止」に設定しても、RSSリーダーの自動更新や、データ通信は制限されません。

お知らせ

- [1] 「発信先限定」を[1]「限定」に設定しているとき、または[3]「ダイヤル発信」を[1]「禁止」に設定しているときでも、「110番」(警察)、「119番」(消防・救急)、「118番」(海上保安本部)に電話をかけることができます。

■ 登録した電話番号以外に電話をかけられなくする (発信先一覧) 機能番号432

「発信先限定」(229ページ)を「限定」に設定したときに、発信先一覧に登録した電話番号と完全一致、または前方一致する電話番号にのみ、電話をかけることやSMSを送信することができるように制限します。発信先一覧には20件まで登録できます。

**お買い上げ時：
未登録**

- 待受画面で** **4** **3** **暗証番号を入力** **2** **「発信先一覧」** **登録番号を選択し、** **「編集」** **許可する電話番号を入力/編集し、** **「登録」**

発信先一覧画面



お知らせ

- 電話番号入力中に以下の操作を行うと、発信履歴や電話帳、ダイヤルメモから電話番号を引用することができます。

電話番号入力中に **【メニュー】** **1** **「引用」**

以下の項目から選択します。

1 着信履歴	で登録する電話番号を選択し、 【選択】 着信履歴から電話番号を引用します。
2 発信履歴	で登録する電話番号を選択し、 【選択】 発信履歴から電話番号を引用します。
3 電話帳	引用したい電話帳データを選択し、 【選択】 登録する電話番号を選択し、 【選択】 電話帳から電話番号を引用します。
4 ダイヤルメモ	で登録する電話番号を選択し、 【選択】 ダイヤルメモから電話番号を引用します。

- 電話番号入力時に以下の操作を行うと、編集を中止して発信先一覧画面に戻ります。

電話番号入力中に **【メニュー】** **3** **「編集中止」**

- 入力できる電話番号は32桁までです。
- 電話番号を入力中に **【-】**を押す、または **【*】**を長く(1秒以上)押すと「- (ハイフン)」が入力できます。
- 「+ (プラス)」付きの電話番号を入力する場合、「+」を直接入力することはできません。「+」を入力するには以下のような方法で入力します。
 - ・メモ帳などのテキストからコピー/カットして貼り付ける。
 - ・着信履歴/発信履歴や、電話帳データの受信/インポートなどで「+」付きの電話番号を電話帳登録し、引用する。
- 発信先一覧に登録した電話番号を削除するには、以下の手順で行います。
発信先一覧画面で削除したい電話番号を選択 **【メニュー】** **2** **「削除」** **1** **「1件」**または **2** **「全件」** **1** **「はい」**
- 発信先一覧に登録した電話番号の内容を確認するには、以下の操作を行います。
発信先一覧画面で確認したい電話番号を選択し、 **【メニュー】** **1** **「内容確認」**
- 「発信先限定」が「限定」に設定されていても、「110番」(警察)、「119番」(消防・救急)、「118番」(海上保安本部)への発信は可能です。これらの緊急番号は発信先一覧に登録できません。
- 前方一致を利用すると、以下のように発信を制限することができます。
例：070から始まる電話番号 (070-XXXX-XXXX) へのみ発信する場合
発信先一覧に「070」を登録します。

操作ロック中の一時解除について

操作ロックされた機能呼び出すと、暗証番号入力画面が表示されます。暗証番号を入力すると一時的に制限が解除されますが、操作を終了すると再度操作ロックされた状態に戻ります。ただし、「発信先限定」は一時解除できません。

制限設定中に 制限設定された機能呼び出す ▶ 暗証番号を入力

🔔 ご注意

- データ発信制限中は、上記の操作で一時的に制限を解除してデータ通信を行うことはできません。他の制限設定がデータ通信を制限してしまう場合もありますので、データ通信を行う場合は、各種制限設定を解除してください。

🔒 シークレットモードを設定する (シークレットモード) 機能番号44

他の人に見られたくない電話帳データやスケジュール、TODOのデータを、シークレット登録で保護し、通常モードでは表示できないように設定することができます。

お買い上げ時：
「OFF」

シークレット登録するには、シークレットモードを設定して電話帳 (76ページ) やスケジュール (217ページ)、TODO (222ページ) の登録操作 (シークレット設定/シークレット「ON」) を行い、登録後にシークレットモードを解除し通常モードに戻します。通常モードでは、シークレット登録された電話帳データやスケジュール、TODOを見ることはできません。

待受画面で ▶ 4 ▶ 4 ▶ 暗証番号を入力 ▶ 1 「ON」または 2 「OFF」

🔔 お知らせ

- シークレットモードを設定すると、待受画面に「🔒」が表示されます。
- シークレットモード設定中は、シークレット登録されたデータと通常のデータをすべて表示することができます。
- シークレット登録した内容を確認/編集するには、シークレットモード設定中に電話帳やスケジュール、TODOを呼び出して確認/編集を行います。
- 電話帳やカレンダー (スケジュール、TODO) では、一時的にシークレットモードを設定することができます。シークレット一時設定中はシークレット登録やシークレット登録されたデータの確認を行うことができます。

セキユリティ機能の設定

🔒 暗証番号を変更する (暗証番号変更) 機能番号45

本機の暗証番号を変更します。お客様の個人情報を保護するため、お買い上げ時の設定からお好みの番号に変更することをおすすめします。

お買い上げ時：
「1234」

待受画面で ▶ 4 ▶ 5 ▶ 暗証番号を入力 ▶ 新暗証番号を4桁の数字で入力

▶ 再度、新暗証番号を4桁の数字で入力

🔔 ご注意

- 暗証番号は必ず手元にお控えください。万一暗証番号をお忘れになった場合は、本機とワイモバイルの申込書の控え、または契約内容確認書類と身分証明書 (顔写真が入ったもの) をご用意のうえ、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡いただくこととなりますのでご注意ください (預かり修理・有償)。
- 暗証番号は、ご契約の際にお申し込み書にご記入いただいた暗証番号とは異なります。

登録内容や各機能設定をリセットし、お買い上げ時の状態に戻します。

待受画面で

1 ▶ 4 ▶ 6

以下の項目から選択します。

<p><input type="checkbox"/> 1 メモリリセット</p>	<p>本機に登録した以下の内容をすべてリセットし、お買い上げ時の状態に戻します。 発信着信履歴／音声メモの録音データ／伝言メモの録音データ／応答メッセージの録音データ／定型文／顔文字／ユーザ辞書／オプション辞書／学習内容／絵文字履歴／クリップボード／電話帳／メールデータ（Eメール、SMS）／メールの送受信履歴／デコ絵文字の履歴／デコ絵文字の表示フォルダ／ブックマークデータ／URL入力履歴／WEBの履歴／ページメモ／動画のデータ／RSS記事／RSSの各種設定／ガジェット／お気に入りメニューデータ／フォト撮影のデータ／ムービー撮影のデータ／撮速メール設定／データフォルダのデータ／スケジュール／TODO／カレンダー表示色の設定／アラームデータ／メモ帳／ダイヤルメモ／Myボイスメモ／プロフィール（本機の電話番号と、オンラインサインアップで取得したEメールアドレス・アカウント設定で規定したEメールアドレス以外）／Bluetooth登録機器データ／Bluetoothの一部設定／Java™アプリの本体およびデータ／バックアップデータ／お知らせシェア受信の登録情報／迷惑電話チェッカーの情報／ソフトウェア更新必要情報／緊急速報受信履歴</p> <p>また、音／パイプレータの設定や画面／照明の設定でデータフォルダのデータを使用している場合は、お買い上げ時の状態に戻します。</p>
<p><input type="checkbox"/> 2 機能リセット</p>	<p>以下の設定内容をリセットし、お買い上げ時の状態に戻します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メインメニュー（基本メニューのみ）（42ページ） ・各種機能（機能設定のみ）の設定内容（時計設定もリセットされます） ・マナーモードの設定内容（62ページ） ・サイドキー操作無効（67ページ） ・はっきり通話の設定（67ページ） ・ユーザ辞書（74ページ） ・学習内容／絵文字履歴（74ページ） ・電話帳の設定内容（86ページ） ・メールの設定内容（118ページ） ・ブラウザの環境設定（144ページ） ・ブックマークの並べ替えの設定（141ページ） ・カメラの設定内容（165、169、171、173ページ） ・撮速メール送信先設定（174ページ） ・データフォルダの設定内容（186ページ） ・カレンダー起動時の表示画面（212ページ） ・TODOの並び順（215ページ） ・すぐ文字の設定内容（256ページ） ・Java™アプリの設定（279ページ） ・Bluetoothの設定（289ページ）
<p><input type="checkbox"/> 3 完全消去＋初期化</p>	<p>本機の登録、設定内容をすべてリセットし、お買い上げ時の状態に戻します。「累積通話時間」、「オンラインサインアップ」で取得した情報、リモートロックの設定もリセットされます。</p>

2 暗証番号を入力 ▶ 1 「はい」

 **ご注意**

- [1] 「メモリリセット」または [3] 「完全消去+初期化」でリセットすると、Java™アプリは削除されます。
- [2] 「機能リセット」でリセットされる機能の一覧については、「機能一覧」(333ページ)をご参照ください。ただし、「累積通話時間」、「応答メッセージの録音内容」、「オンラインサインアップで取得した情報」、「リモートロックの設定」については、 [2] 「機能リセット」を行ってもリセットされません。
- 管理者ロック (239ページ) が設定されていると、 [1] 「メモリリセット」/ [2] 「機能リセット」は行えません。
- [3] 「完全消去+初期化」でリセットしても、管理者ロック (239ページ) の設定内容はお買い上げ時の状態には戻りません。

 **お知らせ**

- [2] 「機能リセット」または [3] 「完全消去+初期化」でリセットすると、時刻および暗証番号はお買い上げ時の状態に戻ります。

● 遠隔操作で本機を他の人が使えないようにする(リモートロック) 機能番号47

本機を紛失してしまったときなど、遠隔操作を行って、他の人に本機が使われないようにロックをかけることができます。リモートロックをかけるための事前設定を行い、他の電話機や公衆電話からリモートロックのコマンドを送信すると、本機はリモートロックのコマンド実行待ちの状態になり、本機を操作した時点でコマンドが実行されリモートロックがかかります。SMS対応の他のPHSや携帯電話からSMSを送信してリモートロックコマンドを送信することもできます。SMS非対応機からリモートロックをかける場合は、ライトメールでもリモートロックコマンドを送信することができます。

また、リモートロックをかけると同時に、本機およびmicroSDカードのデータの消去・初期化をするように設定することができるので、個人情報の流出を防ぐこともできます。

リモートロックの事前設定をする

リモートロックをかけるには、事前に以下の遠隔操作を行うための設定をしておく必要があります。

待受画面で ▶ **4** ▶ **7** ▶ **暗証番号を入力**

以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> 着信	▶ <input type="checkbox"/> 「ON」または <input type="checkbox"/> 「OFF」
お買い上げ時： 「OFF」	電話による遠隔操作で、本機をリモートロックのコマンド実行待ちの状態（236ページ）とすること、または、コマンド実行待ちの状態を解除（238ページ）することを、許可するかどうかの設定ができます。許可する場合は <input type="checkbox"/> 「ON」を選択します。
<input type="checkbox"/> 2 着信番号一覧	遠隔操作を許可する電話番号を登録します（「遠隔操作を許可する電話番号を登録する」235ページ）。
<input type="checkbox"/> 3 SMS	▶ <input type="checkbox"/> 「ON」または <input type="checkbox"/> 「OFF」
お買い上げ時： 「OFF」	SMSによる遠隔操作で、本機をリモートロックのコマンド実行待ちの状態（237ページ）とすること、または、コマンド実行待ちの状態を解除（238ページ）することを、許可するかどうかの設定ができます。許可する場合は <input type="checkbox"/> 「ON」を選択します。
<input type="checkbox"/> 4 SMS番号一覧	遠隔操作を許可する電話番号を登録します（「遠隔操作を許可する電話番号を登録する」235ページ）。
<input type="checkbox"/> 5 パスワード変更	▶ 新パスワードを4～8桁の数字で入力し、<input type="checkbox"/> 【確定】 ▶ 再度、新パスワードを4～8桁の数字で入力し、<input type="checkbox"/> 【確定】
お買い上げ時： 未登録	遠隔操作用のパスワードを登録します。遠隔操作を行う前には、必ずパスワードを登録してください。パスワードを変更する場合も、同様の操作で行えます。

● ご注意

- 遠隔操作は、PHSやISDNなどサブアドレスを発信できる電話機と、SMSを送信できるSMS対応PHSから行うことができます。また、「My Y!mobile」（ワイモバイルのWebサービス）各種設定メニューからも行うことができます。
- パスワードは必ず手元にお控えください。万一パスワードをお忘れになった場合は、本機とワイモバイルの申込書の控え、または契約内容確認書類と身分証明書（顔写真が入ったもの）をご用意のうえ、ワイモバイル カスタマーセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡いただくこととなりますのでご注意ください（預かり修理・有償）。
- データの消去・初期化など、リモートロックによる損害および逸失利益につきましては、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- マナーモード設定中にリモートロックのコマンドを受信すると、マナーモードの設定にかかわらず、受信音が鳴ります。
- 管理者ロックの「着信を電話帳内の番号に限定」（242ページ）が「限定する」に設定されていても、電話帳に登録されていない電話番号からリモートロックをかけることができます。ただし、リモートロックの「着信番号一覧」／「SMS番号一覧」に電話番号を登録している場合は、登録した電話番号からのみリモートロックをかけることができます。

● お知らせ

- 本機にリモートロックのパスワードを設定していない場合でも、ワイモバイル カスタマーセンターの音声ガイダンスで、24時間いつでもリモートロックをかけることができます（リモートロック代行サービス）。リモートロック代行サービスからのリモートロックは「ロックする」、「ロック解除する」の設定のみ行うことができます。リモートロックをかけると同時にメモリを消去することはできません。詳しくは、ワイモバイルのホームページをご覧ください。ワイモバイル カスタマーセンターまでお問い合わせください。

お買い上げ時：
未登録

「着信番号一覧」/「SMS番号一覧」に電話番号を登録すると、登録した電話番号からのみ、遠隔操作を行うことができます。「着信番号一覧」/「SMS番号一覧」にはそれぞれ2件まで電話番号を登録できます。なお、「着信番号一覧」/「SMS番号一覧」に電話番号を登録しない場合は、すべての電話機（ISDNなどサブアドレスを発信できる電話機/SMS対応のPHS）から遠隔操作を行うことができます。

待受画面で

例：着信番号
一覧画面



1 ▶ 4 ▶ 7 ▶ 暗証番号を入力

■ 着信の電話番号を登録する場合

2 2 「着信番号一覧」 ▶ 登録番号欄を選択し、 [編集]

■ SMSの電話番号を登録する場合

2 4 「SMS番号一覧」 ▶ 登録番号欄を選択し、 [編集]

3 電話番号を入力し、 [登録]

お知らせ

● 電話番号入力中に以下の操作を行うと、発着信履歴や電話帳、ダイヤルメモから電話番号を引用することができます。

電話番号入力中に²⁹⁵【メニュー】▶ 1 「引用」

以下の項目から選択します。

1 着信履歴	▶ <input type="checkbox"/> で登録する電話番号を選択し、 <input type="checkbox"/> [選択] 着信履歴から電話番号を登録します。
2 発信履歴	▶ <input type="checkbox"/> で登録する電話番号を選択し、 <input type="checkbox"/> [選択] 発信履歴から電話番号を登録します。
3 電話帳	▶ 引用したい電話帳データを選択し、 <input type="checkbox"/> [選択] ▶ 登録する電話番号を選択し、 <input type="checkbox"/> [選択] 電話帳から電話番号を登録します。
4 ダイヤルメモ	▶ <input type="checkbox"/> で登録する電話番号を選択し、 <input type="checkbox"/> [選択] ダイヤルメモから電話番号を登録します。

● 電話番号入力中に以下の操作を行うと、編集を中止して着信番号一覧/SMS番号一覧画面に戻ります。

電話番号入力中に²⁹⁵【メニュー】▶ 3 「編集中止」

● 入力できる電話番号は32桁までです。

● 電話番号を入力中に²⁹⁶【-】を押す、または²⁹⁷【*】を長く（1秒以上）押すと、「-（ハイフン）」が入力できます。

● 着信番号一覧/SMS番号一覧画面に登録した許可番号を削除するには、以下の操作を行います。

着信番号一覧/SMS番号一覧画面で削除したい許可番号を選択 ▶ ²⁹⁵【メニュー】▶ 2 「削除」▶ 1 「1件」または²⁹⁸【2】「全件」▶ 1 「はい」

● 着信番号一覧/SMS番号一覧画面に登録した許可番号の内容を確認するには、以下の操作を行います。

着信番号一覧/SMS番号一覧画面で確認したい許可番号を選択し、²⁹⁵【メニュー】▶ 1 「内容確認」

リモートロックをかける

他の電話機や公衆電話から、本機にサブアドレス指定で電話をかけたり、SMSを送信する、または「My Y!mobile」から操作するなど、遠隔操作を行い、本機をリモートロックのコマンド実行待ちの状態とします。リモートロックのコマンド実行待ちの状態では、本機を操作した時点でコマンドが実行されます。

SMS非対応機からリモートロックをかける場合は、ライトメールでもリモートロックコマンドを送信することができます。

リモートロックのコマンドには、「リモートロックをかける」、「リモートロックをかけると同時に本機とmicroSDカードのデータを消去・初期化する」、「リモートロックを解除する」の3種類があります。

ご注意

- 本機が電波の届かないところにあるときや、電源をOFFにしているときは、リモートロック機能は使用できません。
- 遠隔操作を行うと、伝言メモ (57ページ) / 安全運転モード (64ページ) の設定は一時的に解除されます。
- 遠隔操作は、「着信拒否」(227ページ) に登録した電話番号からも行うことができます。
- リモートロックがかかった状態では、電源をOFFにしたり、バッテリーをはずしたりしても、リモートロックは解除できません。

お知らせ

- 消去されるデータは、「完全消去+初期化」(232ページ) でリセットされる内容と同様です。ただし、リモートロックの設定内容、パスワードは消去されません。microSDカード挿入時はmicroSDカードがフォーマットされます。
- リモートロックがかかると、以下の操作のみ行うことができます。
 - ・ 電話の着信への応答 / 通話 / 終話
 - ・ 電源のON / OFF (41ページ)
 - ・ 着信中の着信音量の変更 (54、66ページ)
 - ・ 通話中のハンズフリーの設定 (65ページ)
 - ・ 通話中の受話音量の変更 (66ページ)
 - ・ 通話中の保留操作 (55ページ)
 - ・ 通話中のマナーモードの設定 (65ページ)
 - ・ 通話中のゆっくり通話 (66ページ)
 - ・ 通話中のはっきり通話 (67ページ)

電話をかけてリモートロックをかける

リモートロックのコマンド実行待ちの状態とする前に、「パスワード変更」でリモートロックのパスワードを登録し、「着信」を「ON」に設定してください (リモートロックの事前設定をする) 234ページ)。

■ リモートロックをかけたい場合

他の電話機から **本機の電話番号を入力** ▶ サブアドレス指定操作* ▶ [0][1] ▶
リモートロックのパスワード (234ページ) を入力 ▶ 発信

■ リモートロックをかけると同時にデータの消去・初期化をしたい場合

他の電話機から **本機の電話番号を入力** ▶ サブアドレス指定操作* ▶ [0][3] ▶
リモートロックのパスワード (234ページ) を入力 ▶ 発信

* : 京セラPHS電話機やワイモバイルのサブアドレス対応のPHS電話機から電話をかける場合は、「*」キーを押します。

本機が正しくリモートロックのコマンドを受信すると、本機に電話をかけた電話機から「ビッポ」と鳴り約2秒後に電話が切れます。また、本機ではメール受信音2が鳴ります。本機は、リモートロックのコマンド実行待ちの状態となります。

リモートロックのコマンド実行待ちの状態では、本機に対して何かしらの操作が行われた場合には、リモートロックがかかります。リモートロックがかかると、メインディスプレイに「☆☆☆☆☆☆☆☆」と表示されます。

ご注意

- サブアドレス指定操作は、電話機により異なります。詳しくは、電話機の取扱説明書をご参照ください。
- 「着信番号一覧」に電話番号が登録されている場合、そこに登録された電話番号からのみ遠隔操作を行うことができます (遠隔操作を許可する電話番号を登録する) 235ページ)。
- リモートロックのコマンドを受信した際の着信履歴は残りません。

■ SMSを送信してリモートロックをかける

リモートロックのコマンド実行待ちの状態とする前に、「パスワード変更」でリモートロックのパスワードを登録し、「SMS」を「ON」に設定してください（「リモートロックの事前設定をする」234ページ）。

■ リモートロックをかけたい場合

他の電話機から **SMS本文に「ソウサ1××××××」*と入力** ▶ **本機にSMSを送信**

■ リモートロックをかけると同時にデータの消去・初期化をしたい場合

他の電話機から **SMS本文に「ソウサ3××××××」*と入力** ▶ **本機にSMSを送信**

*：××××××にはリモートロックのパスワード（234ページ）を入力します。

本機が正しくリモートロックのコマンドを受信すると、本機ではメール受信音2が鳴ります。本機は、リモートロックのコマンド実行待ちの状態となります。

リモートロックのコマンド実行待ちの状態で、本機に対して何かしらの操作が行われた場合には、リモートロックがかかります。リモートロックがかかると、メインディスプレイに「☆☆☆☆☆☆☆☆」と表示されます。

🔔 ご注意

- 「SMS番号一覧」に電話番号が登録されている場合、そこに登録された電話番号からのみ遠隔操作を行うことができます（「遠隔操作を許可する電話番号を登録する」235ページ）。
- リモートロックのコマンドを受信した際の受信メールは、受信BOXに保存されません。
- SMS本文に入力する「ソウサ」の文字は、全角または半角のカタカナで入力してください。「1××××××」および「3××××××」の数字は、全角・半角共に入力できます。また、本文中にスペースや改行、アニメーションをつけた場合は、リモートロックのコマンドとして扱われません。

■ My Y!mobileからリモートロックをかける

1 ワイモバイルネットショップの「My Y!mobile」にログインする

2 「リモートロック」の画面から、登録している電話番号のロック操作を行う

🔔 ご注意

- 「My Y!mobile」からのリモートロックは「ロックする」、「ロック解除する」の設定のみ行うことができます。リモートロックをかけると同時にメモリを消去することはできません。詳しくは、ワイモバイルのホームページをご覧ください。ワイモバイル カスタマーセンターまでお問い合わせください。

📢 お知らせ

- 各種設定メニューからリモートロックをかけるには、以下の電話番号から電話をかけてガイダンスに従って操作してください。

ワイモバイル電話機から 局番なしの143
 一般加入電話・携帯電話などから 0800-8888-143

詳しくは、ワイモバイルのホームページをご覧ください。ワイモバイル カスタマーセンターまでお問い合わせください。

リモートロックを解除する

他の電話機や公衆電話から、本機にサブアドレス指定で電話をかけたり、SMSを送信する、または「My Y!mobile」から操作するなどリモートロックを解除する遠隔操作を行い、本機をリモートロックの解除のコマンド実行待ちの状態とします。リモートロックの解除のコマンド実行待ちの状態、本機を操作した時点でリモートロックを解除するコマンドが実行されます。

🔔 ご注意

- 遠隔操作は、「着信拒否」（227ページ）に登録した電話番号からも行えます。

■ 電話をかけてリモートロックを解除する

他の電話機から 本機の電話番号を入力 ▶ サブアドレス指定操作* ▶ 「0」 「0」 ▶

リモートロックのパスワード (234ページ) を入力 ▶ 発信

* : 京セラPHS電話機やワイモバイルのサブアドレス対応のPHS電話機から電話をかける場合は、「*」キーを押します。

本機が正しくリモートロックの解除のコマンドを受信すると、本機に電話をかけた電話機から「ビッポ」と鳴り約2秒後に電話が切れます。また、本機ではメール受信音2が鳴ります。本機は、リモートロックの解除のコマンド実行待ちの状態となります。

リモートロックの解除のコマンド実行待ちの状態、本機に対して何かしらの操作が行われた場合には、リモートロックが解除されます。リモートロックが解除されると、メインディスプレイの「☆☆☆☆☆☆☆☆」の表示が消えます。

ご注意

- サブアドレス指定操作は、電話機により異なります。詳しくは、電話機の取扱説明書をご参照ください。
- 「着信番号一覧」に電話番号が登録されている場合、そこに登録された電話番号からのみ遠隔操作を行うことができます（「遠隔操作を許可する電話番号を登録する」235ページ）。
- リモートロックの解除のコマンドを受信した際の着信履歴は残りません。

■ SMSを送信してリモートロックを解除する

他の電話機から SMS本文に「ソウサ0××××××××」*と入力 ▶ 本機にSMSを送信

* : ××××××××にはリモートロックのパスワード (234ページ) を入力します。

本機が正しくリモートロックの解除のコマンドを受信すると、本機ではメール受信音2が鳴ります。本機は、リモートロックの解除のコマンド実行待ちの状態となります。

リモートロックの解除のコマンド実行待ちの状態、本機に対して何かしらの操作が行われた場合には、リモートロックが解除されます。リモートロックが解除されると、メインディスプレイの「☆☆☆☆☆☆☆☆」の表示が消えます。

ご注意

- 「SMS番号一覧」に電話番号が登録されている場合、そこに登録された電話番号からのみ遠隔操作を行うことができます（「遠隔操作を許可する電話番号を登録する」235ページ）。
- リモートロックの解除のコマンドを受信した際の受信メールは、受信BOXに保存されません。
- SMS本文に入力する「ソウサ」の文字は、全角または半角のカタカナで入力してください。「0××××××××」の数字は、全角・半角共に入力できます。また、本文中にスペースや改行、アニメーションをつけた場合は、リモートロックの解除のコマンドとして扱われません。

■ My Y!mobileからリモートロックを解除する

1 ワイモバイルネットショップの「My Y!mobile」にログインする

2 「リモートロック」の画面から、登録している電話番号のロック解除操作を行う

お知らせ

- 各種設定メニューからリモートロックを解除するには、以下の電話番号から電話をかけてガイダンスに従って操作してください。

ワイモバイル電話機から 局番なしの143
一般加入電話・携帯電話などから 0800-8888-143

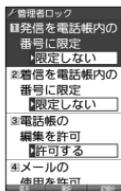
詳しくは、ワイモバイルのホームページをご覧いただくか、ワイモバイル カスタマーセンターまでお問い合わせください。

管理者ロックを設定／解除する

待受画面で **4** **8** 管理者用暗証番号を入力 (**【確定】**) *

管理者ロック
設定画面

* : 管理者用暗証番号が4～7桁の場合のみ操作します。



以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> 発信を電話帳内の番号に限定	電話帳に登録されていない電話番号への音声発信、Bluetooth発信やSMS送信を制限します (「電話帳に登録されている電話番号以外の発信を制限する」241ページ)。
<input type="checkbox"/> 着信を電話帳内の番号に限定	電話帳に登録されていない電話番号からの音声着信やSMS受信、データ着信を制限します (「電話帳に登録されている電話番号以外の着信を制限する」242ページ)。
<input type="checkbox"/> 電話帳の編集を許可	電話帳の新規登録や編集、削除を制限します (「電話帳の編集を制限する」242ページ)。
<input type="checkbox"/> メールの使用を許可	メールの使用を制限します (「メールの使用を制限する」243ページ)。
<input type="checkbox"/> ブックマークからのWEB接続に限定	ブックマークに登録されているURL以外へのWEB接続を制限します (「ブックマークに登録されているURL以外の接続を制限する」243ページ)。
<input type="checkbox"/> 赤外線通信の使用を許可	赤外線通信の使用を制限します (「赤外線通信の使用を制限する」244ページ)。
<input type="checkbox"/> Java™アプリの使用を許可	Java™アプリの使用を制限します (「Java™アプリの使用を制限する」244ページ)。
<input type="checkbox"/> カメラの使用を許可	カメラ (158ページ) やQRコードリーダー (274ページ) の使用を制限します (「カメラの使用を制限する」244ページ)。
<input type="checkbox"/> ダイヤルアップ設定の変更を許可	ダイヤルアップの設定変更操作を、本機で行えるかどうか制限します (「ダイヤルアップ設定の変更を制限する」244ページ)。
<input type="checkbox"/> セキュリティの変更を許可	セキュリティの設定変更操作を、本機で行えるかどうか制限します (「セキュリティ設定の変更を制限する」245ページ)。
<input checked="" type="checkbox"/> 位置情報機能の設定変更を許可	現在の位置情報を通知するL機能 (269ページ) の設定変更操作を、本機で行えるかどうか制限します (「位置情報機能の設定変更を制限する」245ページ)。
<input checked="" type="checkbox"/> 閉めるとロックの設定変更を許可	閉めるとロック (226ページ) の設定変更操作を、本機で行えるかどうか制限します (「閉めるとロック設定の変更を制限する」245ページ)。
<input checked="" type="checkbox"/> USB / Bluetooth接続時の通信を許可	本機とパソコンをUSBケーブル (別売) で接続して利用できる機能を制限します (「USB / Bluetooth®による通信を制限する」245ページ)。
<input type="checkbox"/> 電話帳の閲覧を許可	電話帳の閲覧を制限します (「電話帳の閲覧を制限する」246ページ)。
<input type="checkbox"/> 発信履歴 / 着信履歴の閲覧を許可	発信履歴 / 着信履歴の閲覧を制限します (「発信履歴の閲覧を制限する」246ページ)。
保存データの持出を許可	データフォルダ (本体メモリ) 内のデータを本機から外部に取り出すことを制限します (「データフォルダ内のデータの持ち出しを制限する」247ページ)。
microSDの使用を許可	microSDカードの使用を制限します (「microSDカードの使用を制限する」247ページ)。
バックアップの使用を許可	バックアップ機能の使用を制限します (「バックアップ機能の使用を制限する」248ページ)。
管理者用暗証番号変更	管理者用暗証番号を変更します (「管理者用暗証番号を変更する」239ページ)。



● 管理者ロックの設定をお買い上げ時の状態に戻すには、以下の操作を行います。

管理者ロック設定画面で **【初期化】** 管理者用暗証番号を入力 **【はい】**

■ 電話帳に登録されている電話番号以外の発信を制限する（発信を電話帳内の番号に限定）

電話帳に登録されている電話番号（シークレット設定「ON」の電話帳データも含む）のみ、音声発信、Bluetooth発信、SMS送信ができるようにし、それ以外の電話番号への発信／送信ができないように制限します。

お買い上げ時：
「限定しない」

管理者ロック設定画面で 「発信を電話帳内の番号に限定」 ▶ 「限定する」または

2 「限定しない」

ご注意

- 「発信を電話帳内の番号に限定」を「限定する」に設定した後の電話帳新規登録／編集は制限されません。また、「限定する」に設定した後に新規登録／編集した電話帳の電話番号への発信やSMS送信も、制限されません。電話帳の新規登録や編集も制限する場合は、「電話帳の編集を許可」(242ページ)または「電話帳の閲覧を許可」(246ページ)を「許可しない」に設定してください。
- 操作ロック (229ページ) の「発信先限定」が同時に設定されているときは、以下の動作になります。

管理者ロック 「発信を電話帳内の 番号に限定」	操作ロック 「発信先限定」	本機の状態
限定する	限定	電話帳と発信先一覧の両方に登録されている電話番号のみ発信できます。
	解除	電話帳に登録されている電話番号のみ発信できます。
限定しない	限定	発信先一覧に登録されている電話番号のみ発信できます。

お知らせ

- 「発信を電話帳内の番号に限定」を「限定する」に設定した場合でも、184発信、186発信をすることは可能です。
- 「発信を電話帳内の番号に限定」を「限定する」に設定した場合でも、以下の番号へ発信することは可能です。
 - ・ 「110番」(警察)
 - ・ 「116番」(ワイモバイル カスタマーセンター)
 - ・ 「117番」(時報)
 - ・ 「118番」(海上保安本部)
 - ・ 「119番」(消防・救急)
 - ・ 「141番」(留守番電話サービスメッセージあり確認)
 - ・ 「143番」(各種設定メニュー)
 - ・ 「171番」(災害用伝言ダイヤル)
 - ・ 「177番」(天気予報)
 - ・ *21 (AIR-CONFERENCE)
 - ・ *931 (留守番電話サービス再生 発信者番号読み上げなし)
 - ・ *9311 (留守番電話サービス再生 発信者番号読み上げあり)

■ 電話帳に登録されている電話番号以外の着信を制限する（着信を電話帳内の番号に限定）

電話帳に登録されている電話番号（シークレット設定「ON」の電話帳データも含む）のみ、音声着信とSMS受信、データ着信ができるようにし、それ以外の電話番号からの音声着信やSMS受信、データ着信ができないように制限します。また、番号非通知の音声着信やSMS受信、公衆電話からの着信も制限されます。

お買い上げ時：
「限定しない」

管理者ロック設定画面で **2** 「着信を電話帳内の番号に限定」 ▶ **1** 「限定する」または

2 「限定しない」

🔔 ご注意

- 緊急通報（49ページ）後、5分程度の間は管理者ロックの「着信を電話帳内の番号に限定」を設定していても、いかなる電話番号からも音声着信します。
- 「着信を電話帳内の番号に限定」を「限定する」に設定した後の電話帳新規登録／編集は制限されません。また、「限定する」に設定した後に新規登録／編集した電話帳の電話番号からの音声着信やSMS受信、データ着信も、制限されません。電話帳の新規登録や編集も制限する場合は、「電話帳の編集を許可」（242ページ）または「電話帳の閲覧を許可」（246ページ）を「許可しない」に設定してください。
- 着信拒否の「指定番号拒否」（227ページ）が同時に設定されているときは、以下の動作になります。

管理者ロック 「着信を電話帳内の 番号に限定」	着信拒否 「指定番号拒否」	本機の状態
限定する	拒否メッセージあり/ 拒否メッセージなし	電話帳登録されていない電話番号と、指定番号一覧に登録されている電話番号からの着信が拒否されます。
	解除	電話帳登録されていない電話番号からの着信が拒否されます。
限定しない	拒否メッセージあり/ 拒否メッセージなし	指定番号一覧に登録された電話番号からの着信が拒否されません。

🔔 お知らせ

- 電話帳に登録されていない電話番号から着信があった場合は、「この電話番号からの電話はお受けできません」とメッセージを再生し、着信を拒否します。なお、拒否メッセージの内容を変更することはできません。
- 「着信を電話帳内の番号に限定」を「限定する」に設定した場合でも、以下の番号から着信することは可能です。
 - ・「110番」（警察）
 - ・「118番」（海上保安本部）
 - ・「119番」（消防・救急）
- 「着信を電話帳内の番号に限定」を「限定する」に設定した場合でも、以下の番号からSMSを受信することは可能です。
 - ・070-696-1000（ワイモバイル カスタマーセンター）
- 「着信を電話帳内の番号に限定」を「限定する」に設定した場合でも、リモートロックのコマンドを着信／SMS受信することは可能です。
- 拒否した着信の履歴は、着信履歴保存」（227ページ）に従います。
- SMSの受信を拒否した場合、送信側には再送信するかどうかのメッセージが表示されます。

■ 電話帳の編集を制限する（電話帳の編集を許可）

電話帳の新規登録／編集／削除を制限します。

お買い上げ時：
「許可する」

管理者ロック設定画面で **3** 「電話帳の編集を許可」 ▶

1 「許可しない」または **2** 「許可する」

🔔 ご注意

- 「電話帳の閲覧を許可」（246ページ）を「許可しない」に設定していると、「電話帳の編集を許可」の設定にかかわらず電話帳の編集は制限されます。
- 「電話帳の編集を許可」を「許可しない」に設定すると、電話帳編集以外に以下の機能も制限されます。
 - ・他の機能からの電話帳の新規／追加登録（80ページ）
 - ・Bluetoothでの電話帳データ受信（303ページ）
 - ・赤外線通信での電話帳データの受信（285ページ）
 - ・パソコンツールを利用した電話帳データの書き込み／完全消去
 - ・アドレスカードの登録（89ページ）
 - ・電話帳バックアップデータのインポート（281ページ）

■ メールの使用を制限する（メールの使用を許可）

メール（Eメール/SMS）の起動/使用を制限します。

お買い上げ時：
「許可する」

管理者ロック設定画面で

4 「メールの使用を許可」 ▶ 1 「許可しない」または

2 「許可する」

🔔 ご注意

- 「メールの使用を許可」を「許可しない」に設定すると、以下の機能も制限されます。
 - ・メールメニュー（91ページ）の起動
 - ・Eメール自動受信（106ページ）
 - ・パソコンツールを利用したメールデータの書き込み/読み込み
- 操作ロック（229ページ）の「メール」が同時に設定されているときは、以下の動作になります。

管理者ロック 「メールの使用を許可」	操作ロック 「メール」	本機の状態
許可しない	禁止	メールを使用できません。
	許可	
許可する	禁止	メール使用の際に、暗証番号の入力が必要です。

■ ブックマークに登録されているURL以外の接続を制限する（ブックマークからのWEB接続に限定）

ブックマークに登録されているURL以外へのWEB接続を制限します。また、ブックマークの新規登録/編集/削除も制限されます。

お買い上げ時：
「限定しない」

管理者ロック設定画面で

5 「ブックマークからのWEB接続に限定」 ▶

1 「限定する」または 2 「限定しない」

🔔 ご注意

- 操作ロック（229ページ）の「WEB」が同時に設定されているときは、以下の動作になります。

管理者ロック 「ブックマークからのWEB接続に限定」	操作ロック 「WEB」	本機の状態
限定する	禁止	ブックマークに登録されているURL以外に接続できません。また、ブックマークに登録されているURLに接続するときに、暗証番号の入力が必要です。
	許可	ブックマークに登録されているURL以外に接続できません。
限定しない	禁止	WEB接続時に、暗証番号の入力が必要です。

- ブックマークが未登録の場合に「ブックマークからのWEB接続に限定」を「限定する」に設定すると、どのURLにもWEB接続することができません。
- 「ブックマークからのWEB接続に限定」を「限定する」に設定すると、WEB接続以外に以下の機能も制限されます。
 - ・ページメモの表示
 - ・RSSリーダーの起動
 - ・赤外線通信でのブックマークデータ受信
 - ・データフォルダに保存されているブックマークのバックアップデータのインポート

🔔 お知らせ

- 以下のURLは、「ブックマークからのWEB接続に限定」の設定にかかわらず、WEB接続をすることが可能です。
 - ・オンラインサインアップ
 - ・ソフトウェア更新
 - ・WEBページ表示中のリンクURL

■ 赤外線通信の使用を制限する（赤外線通信の使用を許可）

赤外線通信の使用を制限します。

お買い上げ時：
「許可する」

管理者ロック設定画面で 6 「赤外線通信の使用を許可」 ▶

1 「許可しない」または 2 「許可する」

🔍 ご注意

- 「赤外線通信の使用を許可」を「許可しない」に設定すると、赤外線メニューの起動、各種機能からの赤外線送信も制限されます。

■ Java™アプリの使用を制限する（Java™アプリの使用を許可）

Java™アプリの使用、インストールを制限します。

お買い上げ時：
「許可する」

管理者ロック設定画面で 7 「Java™アプリの使用を許可」 ▶

1 「許可しない」または 2 「許可する」

🔍 ご注意

- 操作ロック（229ページ）の「Java™アプリ」が同時に設定されているときは、以下の動作になります。

管理者ロック 「Java™アプリの使用を許可」	操作ロック 「Java™アプリ」	本機の状態
許可しない	禁止	Java™アプリを使用できません。
	許可	
許可する	禁止	Java™アプリ使用の際に、暗証番号の入力が必要です。

■ カメラの使用を制限する（カメラの使用を許可）

カメラ（158ページ）やQRコードリーダー（274ページ）の使用を制限します。

お買い上げ時：
「許可する」

管理者ロック設定画面で 8 「カメラの使用を許可」 ▶ 1 「許可しない」または

2 「許可する」

■ ダイヤルアップ設定の変更を制限する（ダイヤルアップ設定の変更を許可）

ダイヤルアップの設定変更操作を、本機で行えるかどうかを制限します。制限できる機能は、以下のとおりです。

お買い上げ時：
「許可する」

- ・ メール接続先（119ページ）
- ・ WEBの接続先設定（132ページ）
- ・ Java™アプリの接続先設定（279ページ）
- ・ ダイヤルアップ設定（155ページ）

管理者ロック設定画面で 9 「ダイヤルアップ設定の変更を許可」 ▶ 1 「許可しない」または

2 「許可する」

■ セキュリティ設定の変更を制限する（セキュリティの変更を許可）

セキュリティの設定変更操作を、本機で行えるかどうか制限します。制限できる機能は以下のとおりです。

- ・ 閉めるとロック（226ページ）
- ・ 暗証番号変更（231ページ）
- ・ 着信拒否（227ページ）
- ・ 本体リセット（232ページ）
- ・ 操作ロック（229ページ）
- ・ リモートロック（234ページ）
- ・ シークレットモード（231ページ）

お買い上げ時：
「許可する」

管理者ロック設定画面で 0 「セキュリティの変更を許可」 ▶ 1 「許可しない」または 2 「許可する」

■ 位置情報機能の設定変更を制限する（位置情報機能の設定変更を許可）

現在の位置情報を通知する機能（Li機能）（269ページ）の設定変更操作を、本機で行えるかどうか制限します。

お買い上げ時：
「許可する」

管理者ロック設定画面で * 「位置情報機能の設定変更を許可」 ▶

1 「許可しない」または 2 「許可する」

■ 閉めるとロック設定の変更を制限する（閉めるとロックの設定変更を許可）

閉めるとロック（226ページ）の設定変更操作を、本機で行えるかどうか制限します。

お買い上げ時：
「許可する」

管理者ロック設定画面で # 「閉めるとロックの設定変更を許可」 ▶

1 「許可しない」または 2 「許可する」

■ USB/Bluetooth®による通信を制限する（USB/Bluetooth®接続時の通信を許可）

USB/Bluetoothによる通信を制限します。制限される通信は以下のとおりです。

お買い上げ時：
「許可する」

- ・ USBケーブル（別売）を用いたデータ通信（304ページ）、データ発信（307ページ）
- ・ マスストレージの使用
- ・ パソコンツールを利用したデータの書き込み／読み込み
- ・ テザリングの利用（294、297ページ）

管理者ロック設定画面で [USB/Bluetooth接続時の通信を許可] ▶ 1 「許可しない」または

2 「許可する」



- 「USB/Bluetooth接続時の通信を許可」を「許可しない」に設定しても、USB充電は可能です。

電話帳の閲覧を制限する（電話帳の閲覧を許可）

電話帳の起動／使用、他の機能からの電話帳データの引用を制限します。

お買い上げ時：
「許可する」

管理者ロック設定画面で メール 「電話帳の閲覧を許可」 ▶

1 「許可しない」または 2 「許可する」

ご注意

- 「電話帳の閲覧を許可」を「許可しない」に設定していると、「電話帳の編集を許可」（242ページ）の設定にかかわらず、電話帳の編集は制限されます。
- 「電話帳の閲覧を許可」を「許可しない」に設定すると、電話帳閲覧以外に以下の機能も制限されます。
 - ・ Bluetoothでの電話帳データ送受信
 - ・ 赤外線通信での電話帳データ送受信
 - ・ パソコンツールを利用した電話帳データの書き込み／読み込み／完全消去
 - ・ カレンダーの誕生日に関わる内容表示
 - ・ アドレスカードの登録
 - ・ 電話帳バックアップデータのインポート／エクスポート
- 操作ロック（229ページ）の「電話帳閲覧」が同時に設定されているときは、以下の動作になります。

管理者ロック 「電話帳の閲覧を許可」	操作ロック 「電話帳閲覧」	本機の状態
許可しない	禁止	電話帳を使用できません。
	許可	
許可する	禁止	電話帳使用の際に、暗証番号の入力が必要です。

お知らせ

- 「電話帳の閲覧を許可」を「許可しない」に設定した場合、電話帳に登録している電話番号やEメールアドレスからの電話の発着信、SMS送受信、Eメール送受信が行われても、電話帳に登録した名前を表示しません。

発着信履歴の閲覧を制限する（発着信履歴の閲覧を許可）

発信履歴／着信履歴の閲覧、他の機能からの発信履歴／着信履歴の引用を制限します。

お買い上げ時：
「許可する」

管理者ロック設定画面で WEB 「発着信履歴の閲覧を許可」 ▶

1 「許可しない」または 2 「許可する」

ご注意

- 「発着信履歴の閲覧を許可」を「許可しない」に設定すると、音声／伝言メモの再生も制限されます。

お知らせ

- 「発着信履歴の閲覧を許可」を「許可しない」に設定しても、履歴はそれぞれに保存されます。

■ データフォルダ内のデータの持ち出しを制限する（保存データの持出を許可）

データフォルダ（本体メモリ）内のデータを本機から外部へ取り出すことを制限します。

お買い上げ時：
「許可する」

管理者ロック設定画面で 「保存データの持出を許可」を選択し、【選択】 ▶

【許可しない】または【許可する】

🔔 ご注意

- データフォルダ（本体メモリ）の各フォルダから、「PCフォルダ」、microSDカードへのコピー／移動も制限されます。
- 「保存データの持出を許可」を「許可しない」に設定すると、以下の機能も制限されます。
 - ・ Eメールへのデータ添付
 - ・ データフォルダ（本体メモリ）内のデータを利用したテンプレートの利用／Eメールの装飾
 - ・ 撮速メールの送信
 - ・ ファイルの赤外線送信
 - ・ ブラウザでインターネットに接続した際の、データフォルダ（本体メモリ）内ファイルのアップロード
 - ・ Java™アプリを利用しての、データフォルダ（本体メモリ）内に保存されているファイルの操作
 - ・ パソコンツールを利用したファイルの読み込み
- 「保存データの持出を許可」を「許可しない」に設定した場合の赤外線の送信について、データフォルダ（本体メモリ）内の画像が登録されているプロフィールや電話帳データを送信すると、登録されている画像のみ破棄し、赤外線を送信します。

🔔 お知らせ

- microSDカードの使用は制限されません。

■ microSDカードの使用を制限する（microSDの使用を許可）

microSDカードの使用を制限します。また、マストレージの使用も制限されます。

お買い上げ時：
「許可する」

管理者ロック設定画面で 「microSDの使用を許可」を選択し、【選択】 ▶

【許可しない】または【許可する】

🔔 ご注意

- 「microSDの使用を許可」を「許可しない」に設定した場合、受信Eメールの保存先（118ページ）を「microSD」に設定していても、本体メモリに保存されます。
- 本機のカメラで撮影した、撮影モードが「VGA」、「1M」、「2M」、「3M」、「5M」の画像は本体メモリに保存されます。
- 本機のカメラで録画した、録画モードが「長時間LL」の動画は本体メモリに保存されます。
- 「microSDの使用を許可」が「許可しない」に設定されているときは、動画データの操作中にmicroSDカードのデータを利用できない場合があります。

🔔 お知らせ

- 「microSDの使用を許可」を「許可しない」に設定しても、microSDカードが挿入されているときはメインディスプレイに「🔒」が表示されます。

■ バックアップ機能の使用を制限する（バックアップの使用を許可）

バックアップ機能の使用を制限します。電話帳／スケジュール／TODOリスト／ブックマークのバックアップ（280ページ）や、バックアップしたデータをそれぞれの機能にインポート（281ページ）することに制限がかかります。

お買い上げ時：
「許可する」

管理者ロック設定画面で 「バックアップの使用を許可」を選択し、 [選択] ▶ [許可しない] または

2 「許可する」

ご注意

- 「バックアップの使用を許可」を「許可する」に設定していても、管理者ロックで他の機能を制限している場合は、以下の動作になります。

管理者ロック	設定値	本機の状態
電話帳の編集を許可	許可しない	データフォルダに保存されている電話帳のバックアップデータのインポートができません。
ブックマークからのWEB接続に限定	限定する	データフォルダに保存されているブックマークのバックアップデータのインポートができません。
電話帳の閲覧を許可	許可しない	データフォルダに保存されている電話帳バックアップデータのエクスポート／インポートができません。

管理者ロック目的別設定例

各種セキュリティを組み合わせることで、目的に合わせて本機を使うことができます。目的の設定を確認したら、以下の表を参考にして各種セキュリティを設定してください。

		機能名									
		管理者ロック				セキュリティ					
						操作ロック					
発信／着信を管理する	電話帳の電話番号のみ、発信とSMS送信を許可したい	発信を電話帳内の番号に限定 [限定する]	電話帳の編集を許可 [許可しない]*1	セキュリティの変更を許可 [許可しない]	—	—					
	070から始まる電話番号への発信のみ許可したい	発信を電話帳内の番号に限定 [限定しない]	セキュリティの変更を許可 [許可しない]	—	発信先限定 [限定]	発信先一覧*2					
	発信するときに暗証番号を入力させたい	セキュリティの変更を許可 [許可しない]			—	ダイヤル発信 [禁止]					
メール／インターネットを制限する	電話帳の電話番号のみ、着信を許可したい	着信を電話帳内の番号に限定 [限定する]	電話帳の編集を許可 [許可しない]*1	セキュリティの変更を許可 [許可しない]	着信拒否指定番号拒否 [解除]	—					
	メールの使用を禁止したい	メールの使用を許可 [許可しない]			—	—					
	ブックマークからのみのインターネット接続に限定したい	ブックマークからのWEB接続に限定 [限定する]*3			—	—					
端末情報	ダイヤルアップ時の接続先変更を禁止したい	ダイヤルアップ設定の変更を許可 [許可しない]*4			—	—					
	PCによるデータ発信を禁止したい	セキュリティの変更を許可 [許可しない]			—	データ発信 [禁止]					
	端末情報／データの流出や書き換えを防止したい	赤外線通信の使用を許可 [許可しない]	USB/Bluetooth接続時の通信を許可 [許可しない]	保存データの抽出を許可 [許可しない]	microSDの使用を許可 [許可しない]	バックアップの使用を許可 [許可しない]	—				
データを保護する	閉めるとロックの設定変更を禁止したい	閉めるとロックの設定変更を許可 [許可しない]			閉めるとロック ⁵⁾	—					
	電話帳の使用を禁止したい	電話帳の閲覧を許可 [許可しない]			—	—					
	発着信履歴の使用を禁止したい	発着信履歴の閲覧を許可 [許可しない]			—	—					
各種機能の使用を制限する	各機能使用時に暗証番号を入力させたい	セキュリティの変更を許可 [許可しない]			—	電話帳閲覧 [禁止]*6)	スピードダイヤル [禁止]*6)	スケジュール [禁止]*6)	WEB [禁止]*6)	メール [禁止]*6)	Java™アプリ [禁止]*6)
	Java™アプリの使用を禁止したい	Java™アプリの使用を許可 [許可しない]			—	—					
	撮影・録画／QRコード撮影を禁止したい	カメラの使用を許可 [許可しない]			—	—					
	位置情報機能の設定変更を禁止したい	位置情報機能の設定変更を許可 [許可しない]			—	—					

*1：管理者ロックの設定を行う前に、電話帳にデータを登録しておく必要があります。

*2：管理者ロックの設定を行う前に、発信先限定に「070」だけを登録する必要があります。

*3：管理者ロックの設定を行う前に、接続を許可するURLをブックマークへ登録しておく必要があります。

*4：管理者ロックの設定を行う前に、ダイヤルアップの接続先を設定しておく必要があります。

*5：管理者ロックの設定を行う前に、閉めるとロックの時間を設定しておく必要があります。

*6：必要に応じて設定してください。

 **ご注意**

- 「完全消去+初期化」(232ページ)をすると動作が変わる可能性があります。特に記載がない場合でも「セキュリティの変更を許可」を「許可しない」に設定しておく必要があります。
- 管理者ロックを設定するときは、管理者ロック以外（操作ロックなど）の設定を終えている必要があります。

その他の便利な機能

● アラーム機能を使う（アラーム）

機能番号54

設定した日付の時刻にアラーム音を鳴らすことができます。アラーム動作時には、メッセージや画像を表示させることもできます。アラームは20件まで登録できます。

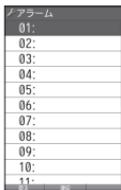
お買い上げ時：
未登録

アラーム設定を登録／編集する

待受画面で

1 ▶ 5 ▶ 4 「アラーム」

アラーム一覧画面



2 登録／編集したいアラーム番号を選択し、 「選択」

アラーム登録／編集画面



以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> アラームON/OFF お買い上げ時： 「ON」	▶ <input type="checkbox"/> 「ON」 または <input type="checkbox"/> 「OFF」 ▶ <input type="checkbox"/> 「アラーム時刻」で設定した時刻に、アラームを鳴らすかどうかを設定します。	
<input type="checkbox"/> アラーム時刻 お買い上げ時： 「現在の時刻 (XX:XX)」	▶ 時刻(24時制)を入力し、 <input type="checkbox"/> 「確定」 指定した時刻にアラームを鳴らします。	
<input type="checkbox"/> アラーム日付*1 お買い上げ時： 「現在の日付 (XXXX年 XX月XX日)」	<input type="checkbox"/> 日付指定 (年月日)	▶ 年月日を入力し、 <input type="checkbox"/> 「確定」 ▶ <input type="checkbox"/> 「確定」 指定の年月日の、 <input type="checkbox"/> 「アラーム時刻」で設定した時刻にアラームを鳴らします。年月日は西暦(4桁)、月(2桁)、日(2桁)を、2014年1月1日～2090年12月31日の間で入力します。
	<input type="checkbox"/> 毎日	毎日、 <input type="checkbox"/> 「アラーム時刻」で設定した時刻にアラームを鳴らします。
	<input type="checkbox"/> 平日(月～金)	平日(月～金)の、 <input type="checkbox"/> 「アラーム時刻」で設定した時刻にアラームを鳴らします。
	<input type="checkbox"/> 週末(土、日)	週末(土、日)の、 <input type="checkbox"/> 「アラーム時刻」で設定した時刻にアラームを鳴らします。
	<input type="checkbox"/> 曜日指定	▶ <input type="checkbox"/> 1～ <input type="checkbox"/> 7 (曜日を選択) ▶ <input type="checkbox"/> 1 「ON」 ▶ <input type="checkbox"/> 「確定」 「ON」を設定した曜日のみ、 <input type="checkbox"/> 「アラーム時刻」で設定した時刻にアラームを鳴らします。複数の曜日を指定できます。

4 アラーム音 お買い上げ時： 「固定パターン」 / 「アラーム音」 本体カラー ・ブラック ・スパイシーグリーン ・ピンク ・スパイシーオレンジ 「アラーム音（でか）」 本体カラー ・ネイビー×ゴールド ・ホワイト×ゴールド	1 固定パターン ▶ パターンを選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 アラーム音を、あらかじめ用意されている14種類のパターンから選択します。
	2 メロディ ▶ メロディを選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 アラーム音を、あらかじめ用意されている8種類のメロディから選択します。
	3 データフォルダ ▶ アラーム音を選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 アラーム音を、データフォルダから選択します。
5 時刻読み上げ お買い上げ時： 「ON」	▶ 1 「ON」 または 2 「OFF」 アラーム動作時に時刻を読み上げるかどうかを設定します。
6 連続アラーム お買い上げ時： 「OFF」	▶ 1 「ON」 または 2 「OFF」 「ON」 に設定すると、5分ごとに5回アラームを鳴らします。
7 アラーム鳴動時間 お買い上げ時： 「1分」	▶ 1～5（時間を選択） アラームを鳴らす長さを選択します。「1分」～「5分」まで、分単位で設定します。
8 アラームメッセージ お買い上げ時： 「設定なし」	▶ メッセージを入力し、 <input type="checkbox"/> 【登録】 アラーム動作時、メインディスプレイに表示するメッセージを入力します（全角・半角共に32文字まで）。
9 アラーム画像 お買い上げ時： 「表示なし」	1 固定画像 ▶ 固定画像を選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 アラーム画像を、あらかじめ用意されている5種類の画像から選択します。
	2 データフォルダ ^{*2*} ^{*3} ▶ 画像を選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 アラーム画像をデータフォルダから選択します。
	3 表示なし アラーム起動中に画像を表示しません。

*1：過去の日時を指定した場合はアラームを登録することができません。

*2：一部の画像を除き、「240×400」より大きなサイズの画像は登録できません。

*3：microSDカードのデータは選択できません。

3 **【登録】** を押す

お知らせ

- アラーム音やアラーム画像を選択した後、**[再生]** または **[メニュー]** ▶ **[再生]** で、選択した音や画像を再生することができます。
アラーム画像再生中は、以下の操作を行うことができます。
 - ・ **[戻る]** **[戻る]** : 再生を終了します。
 - ・ **[全画面表示]** : データフォルダの画像データを全画面表示します。アラーム音再生中は、以下の操作を行うことができます。
 - ・ **[再生]** **[再生]** / **[停止]** **[停止]** : 再生を終了します。
 - ・ **[戻る]** **[戻る]** : 再生を終了します。マナーモード (61ページ)、安全運転モード (64ページ) 設定中は、アラーム音の再生はできません。
- アラームを設定すると、待受画面に「」が表示されます。また、アラーム一覧画面では「**[アラーム ON/OFF]**」が「**[ON]**」に設定されているアラームに「」が表示されます。
- アラーム機能の登録/編集は、以下の手順でも行えます。
待受画面で **[]** **[アクセサリ]** を選択し、**[選択]** ▶ **[2]** **[アラーム]** ▶ **[登録/編集したいアラーム番号を選択し、]** **[選択]**
- アラーム指定時刻になってもアラームが鳴らない場合があります。
例：
 - ・ 本機起動中/終了中
 - ・ 本機の電源OFF時
 - ・ 通話中/発信中/着信中/データ通信中
 - ・ 伝言メモ応答録音中/再生中
 - ・ メール送信中/受信中
 - ・ 動画の録画中
 - ・ ガジェットの初期化中
 - ・ 「PCフォルダ」の初期化中
 - ・ USBマストレージ起動中
 - ・ リセット中 (機能/メモリ/完全消去+初期化)
 - ・ リモートロック中
 - ・ アラーム/スケジュールアラーム/TODOアラーム鳴動中
 - ・ Myボイスメモ録音中/再生中
 - ・ 位置情報通知中
 - ・ Bluetoothでの電話帳送受信中
 - ・ パソコンとのデータ転送中
 - ・ 赤外線通信中
 - ・ ソフトウェア更新中
- アラーム音量やバイブレータの設定は、「アラームの音量/バイブレータを設定する」(198ページ) をご参照ください。
- 「アラーム音」を「パターン1 (でか)」または「アラーム音 (でか)」に設定すると、他のアラーム音の音量よりも大きくなります。

アラーム設定を削除する

アラーム一覧画面で **[削除したいアラーム設定を選択]** ▶ **[メニュー]** ▶ **[2]** **[削除]**

以下の項目から選択します。

[1] 1件	選択したアラーム設定を削除します (「各機能の情報を削除する」273ページ)。
[2] 全件	登録されているアラーム設定をすべて削除します (「各機能の情報を削除する」273ページ)。

アラームを止める

アラームが鳴っているときに **いずれかのキーを押す**

ご注意

- アラーム動作中に着信があると、アラーム動作を停止します。
- 連続アラームの場合は、アラーム動作停止後に連続アラームの解除方法が表示されます。**[解除]** を長く (1秒以上) 押すと、連続アラームは解除されます。
- 連続アラームを解除せずに待受画面に戻った場合は、待受画面に「」が点滅します。連続アラームを解除するには、以下の手順で行います。
待受画面で **[]**

お知らせ

- 本体を開いているときは、本体を閉じてアラームを止めることができます。

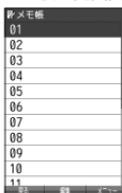
● メモ帳を使う

本機をメモ帳代わりに使用することができます。メモ帳は20件まで登録できます。

メモ帳を登録する

待受画面で ▶ **「メモ」** を選択し、 **「選択」** ▶ **「メモ帳」** ▶ **登録するメモ帳** を選択し、 **「編集」** ▶ **メモを入力し、** **「登録」**

メモ帳一覧画面



メモ帳
01
02
03
04
05
06
07
08
09
10
11

お知らせ

- 入力できる文字数は1件あたり全角・半角共に512文字までです。
- メモ帳入力画面のメニューについては、「文字入力メニューを使う」(71ページ) をご参照ください。
メモ帳入力画面のメニューで **「登録」** を押しでもメモ帳に登録できます。
- メモ入力中に着信などによって登録が中断された場合は、作成していたメモの内容は、一時的に保存されます。再度メモ作成を開始すると、確認画面が表示されます。 **「はい」** を押しと、作成を再開できます。
- メモ帳はテキストデータとしてエクスポートできません。

メモ帳のメニューを使う

メモ帳一覧画面で **「メニュー」** を押す

以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> 編集	▶ メモを編集し、 <input type="checkbox"/> 「登録」
<input type="checkbox"/> コピー	▶ コピー先を選択し、 <input type="checkbox"/> 「OK」 メモの内容をコピーし、別のメモ帳No.に登録します。
<input type="checkbox"/> ショートカット	「メモ帳」をお気に入りメニューへ登録します(「お気に入りメニューを設定する」43ページ)。
<input type="checkbox"/> 削除	▶ <input type="checkbox"/> 「1件」、 <input type="checkbox"/> 「選択」、または <input type="checkbox"/> 「3」 「全件」 メモを削除します(「各機能の情報削除する」273ページ)。
<input type="checkbox"/> 赤外線送信*	メモを赤外線で送信します(「赤外線で送信する」286ページ)。

* : メモ帳が登録されている番号を選択したときのみ表示されます。

お知らせ

- コピー先に、すでに登録されているメモがある場合は、確認画面が表示されます。 **「はい」** を押しと、メモを書き換えて登録します。

詳細を表示する

メモ帳一覧画面で **表示させたいメモ帳** を選択し、 **「表示」**

お知らせ

- メモ帳の詳細画面では、 **「メニュー」** を押しと、以下の操作を行うことができます。

<input type="checkbox"/> 編集	▶ メモを編集し、 <input type="checkbox"/> 「登録」
<input type="checkbox"/> コピー	▶ コピー先を選択し、 <input type="checkbox"/> 「OK」 表示しているメモの内容をコピーし、別のメモ帳No.に登録します。
<input type="checkbox"/> ショートカット	表示しているメモをお気に入りメニューへ登録します(「お気に入りメニューを設定する」43ページ)。
<input type="checkbox"/> 削除	▶ <input type="checkbox"/> 「はい」 を押し 表示しているメモを削除します。
<input type="checkbox"/> 赤外線送信	▶ 本機と相手側の赤外線ポートを向かい合わせる ▶ 送信完了 表示しているメモを赤外線で送信します(「赤外線で送信する」286ページ)。

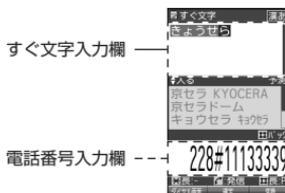
- コピー先に、すでに登録されているメモがある場合は、確認画面が表示されます。 **「はい」** を押しと、メモを書き換えて登録します。

● 待受画面で文字を入力してさまざまな機能を使う(すぐ文字[®])

「すぐ文字」(75ページ)を「ON」に設定すると待受画面で文字を入力できます。入力した文字はさまざまな機能に利用できます。



- 「すぐ文字」入力中でも、以下の発信に関する操作もできます。
 - ・ で電話番号入力欄に入力した電話番号に電話をかける。
 - ・ スピードダイヤルで電話をかける(52ページ)。(スピードダイヤルでのメール、Webページへのアクセスはダイヤル画面で操作できます)
 - ・ 【ダイヤル画面】でダイヤル画面(48ページ)を表示する。
- 「すぐ文字」の機能を利用後は、「すぐ文字」の画面に戻る場合があります。

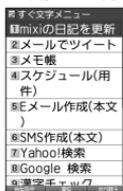


すぐ文字[®]でさまざまな機能を使う

待受画面で **文字を入力し**、 【すぐ文字メニューへ】 / 【閉じる】*

*: 「予測変換設定」(74ページ)を「ON」に設定しているときに操作します。

すぐ文字メニュー画面



以下の項目から選択します。

mixiの日記を更新	<p>◆ メールの件名と本文を編集 ◆ 【送信】</p> <p>入力した文字でmixiの日記を更新します。 全角・半角共に最初の40文字は件名(タイトル)となり、それ以降の文字は本文となります。ただし、最初の40文字以内で改行した場合は、改行前の文字までが件名(タイトル)となります。</p>
メールでツイート	<p>◆ メールの本文を編集 ◆ 【送信】</p> <p>入力した文字をツイッターに投稿します。</p>
メモ帳	<p>入力した文字をメモ帳に登録します(「メモ帳を使う」255ページ)。 登録済みのメモ帳を選択して 【編集】 で 「追記」を押すと、入力した文字が末尾に追記されます。 「上書き」を押すと、入力した文字でメモ帳を上書きします。</p>
スケジュール(用件)	<p>入力した文字を用件としたスケジュールを作成します(「スケジュールの各項目に登録する」217ページ)。</p>
Eメール作成(本文)	<p>入力した文字を本文としたEメールを作成します(「Eメール(テキストメール/デコラティブメール)を作成して送信する」94ページ)。</p>
SMS作成(本文)	<p>入力した文字を本文としたSMSを作成します(「SMSを作成して送信する」103ページ)。</p>
Yahoo!検索	<p>入力したキーワードをYahoo!で検索します。</p>
Google 検索	<p>入力したキーワードをGoogleで検索します。</p>
漢字チェック	<p>◆ で文字を選択し、確認</p> <p>入力した文字を拡大して、1文字ずつ確認します。</p>
NAVITIME乗換検索	<p>◆ ~ (位置情報通知の有無を選択)</p> <p>入力した区間の乗り換え案内を検索できます。検索方法について、詳しくは258ページをご参照ください。 「NAVITIME乗換検索」を選択中に、 【確認設定】を押すと、位置情報を通知するときに確認するかどうかを設定できます。</p>
地図検索	<p>入力した地名を地図で検索します。</p>

W+Book検索	入力した文字をW+Bookで検索します。
ツイッターサーチ	入力した文字をツイッターで検索します。
電話帳登録（名前）	入力した文字を名前とした電話帳を作成します（「電話帳に登録する」76ページ）。
電話帳検索（名前）	入力した文字の名前／読みを電話帳で検索します（「電話帳データを検索する」85ページ）。
電話帳検索（ヨミ）	
TODO（用件）	入力した文字を用件としたTODOを作成します（「TODOの各項目に登録する」222ページ）。

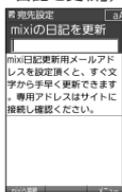
🔍 ご注意

- 「mixiの日記を更新」／「メールでツイート」を利用するときは、mixi／ツイッターへの登録や専用Eメールアドレスの設定が必要です。Eメールアドレスの設定や、mixi／ツイッターのWebページへのアクセスは宛先設定画面から行うことができます。

宛先設定画面を表示するには、以下の操作を行います。

すぐ文字メニュー画面で「mixiの日記を更新」／「メールでツイート」を選択 ▶ 【宛先設定】

宛先設定画面
(例:「mixiの日記を更新」)



📢 お知らせ

- 「すぐ文字」(75ページ)を「ON」に設定すると、待受画面から以下の機能を利用することができます。「OFF」に設定しているときは利用できません。

■ 電話帳データを検索する

待受画面ですぐ文字入力欄に名前を入力 (▶) * ▶ 【電話帳検索】

* :「予測変換設定」(74ページ)を「ON」に設定しているときに操作します。

■ 電卓を使う

待受画面で電話番号入力欄に数字を入力 ▶ 【ダイヤル画面】 ▶ 【メニュー】 ▶ 「電卓」を選択し、 【選択】 ▶ 計算する

- すぐ文字に入力できる文字数は全角・半角共に最大2000文字までです。ただし、有効な文字数（全角・半角）は選択する項目により、異なります。

項目	有効な文字数	項目	有効な文字数
mixiの日記を更新	2000文字	地図検索	25文字
メールでツイート	2000文字	W+Book検索	50文字
メモ帳	512文字	ツイッターサーチ	50文字
スケジュール（用件）	20文字	電話帳登録（名前）	24文字
Eメール作成（本文）	2000文字	電話帳検索（名前）	24文字
SMS作成（本文）	日本語（半角英数記号以外）で670文字／ 英語（半角英数記号）で1530文字まで	電話帳検索（ヨミ）	24文字
Yahoo!検索	25文字	TODO（用件）	20文字
Google 検索	50文字	電話帳検索	24文字
漢字チェック	40文字	電卓	10文字
NAVITIME乗換検索	50文字		

- 最初に入力する文字は「漢字・ひらがなモード」です。
- すぐ文字メニュー画面では、以下の操作で項目を並び替えることができます。
すぐ文字メニュー画面で並び替えたい項目を選択 ▶ 【並び替え】 ▶ 並び替えたい位置*／「最下位に設定」を選択し、 【選択】

* : 選択した項目のひとつ上に移動します。

- 「NAVITIME乗換検索」で検索するときには、以下の項目を順番に入力してください。入力する項目は省略できるものもあります。

順番	項目	詳細	省略した場合
①	出発駅名	出発駅名を入力します。 位置情報を通知する場合は、出発駅名を省略できます。出発駅名には最寄り駅が設定されます。 位置情報を通知しない場合は、出発駅名を省略できません。	最寄り駅
②	<input type="checkbox"/> (スペース) /から/~* ¹	出発駅名の後に入力します。	-
③	到着駅名* ²	到着駅名を入力します。	(省略不可)
④	<input type="checkbox"/> (スペース) /まで* ¹	到着駅名の後に入力します。	-
⑤	時刻* ³	出発時刻または到着時刻を入力します。 以下のいずれかの方法で、24時間制で入力します。 例：午前9時20分の場合 9:20/9:20/9時20分/0920	現在時刻
⑥	<input type="checkbox"/> (スペース) /に* ¹	時刻の後に入力します。	-
⑦	出発/到着	「出発」または「到着」を入力します。 ⑤で入力した時刻に出発するか、到着するかを指定することができます。	出発
	始発/終電	「始発」または「終電」を入力します。 現在時刻での「始発」または「終電」を指定することができます。	

*¹：①⑤⑦の内、省略した項目により入力が必要なくなります。

*²：到着駅名は必ず入力してください。

*³：⑦で始発/終電を指定するときは、入力が必要なくなります。

検索する文字は以下のように入力します。

- 出発駅—到着駅間を、出発時刻/到着時刻を指定して検索する場合*

出発駅名 到着駅名 時刻 出発/到着

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

例：横浜 東京 0920 出発

- 出発駅—到着駅間の始発/終電を検索する場合*

出発駅名 到着駅名 始発/終電

① ② ③ ④ ⑦

例：横浜 東京 始発

- 出発駅—到着駅間の現在時刻での出発を検索する場合*

出発駅名 到着駅名

① ② ③

例：横浜 東京

- 最寄り駅—到着駅間を、出発時刻/到着時刻を指定して検索する場合*

到着駅名 時刻 出発/到着

③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

例：東京 0920 到着

- 最寄り駅—到着駅間の現在時刻での出発を検索する場合

到着駅名

③

例：東京

*：②④⑥で (スペース) を入力した場合の例です。

● 漢字チェックを利用する（漢字チェック）

画数の多い漢字などを画面に大きく表示して確認することができます。

待受画面で

1  ▶ 「アクセサリ」を選択し、 「選択」 ▶ 4  「漢字チェック」

2 チェックしたい漢字を入力 ▶  「決定」 ▶  で文字を選択

入力した文字が1文字ずつ表示されます。

 ご注意

- 改行は入力できません。
- 絵文字は入力できますが、拡大して表示することはできません。

 お知らせ

- 入力できる文字数は全角・半角共に最大40字までです。

● ダイヤルメモを使う (ダイヤルメモ)

通話中に電話番号などを入力しダイヤルメモとして保存することができます。

ダイヤルメモを登録する

通話中に **番号を入力し、** **【ダイヤルメモ】**



- 入力できる電話番号は32桁までです。
- ダイヤルメモは3件まで登録できます。すでに3件登録されている場合、古いダイヤルメモから自動的に削除されます。

ダイヤルメモを呼び出して使う

待受画面で **▶** **【メモ】** を選択し、 **【選択】** **▶** **【4】** **【ダイヤルメモ】** **▶** **【↑】** で利用したいダイヤルメモを選択 **▶** **【メニュー】**

以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> 【発信】	▶ <input type="checkbox"/> 【発信】 を押す 選択したダイヤルメモの電話番号に電話をかけます。また、電話番号を編集して電話をかけることもできます。
<input type="checkbox"/> 【2】 【電話帳へ登録】	<input type="checkbox"/> 【1】 【新規】 選択したダイヤルメモの電話番号を電話帳に登録します (「電話帳に登録する」76ページ)。
	<input type="checkbox"/> 【2】 【追加】 ▶ 【追加登録する電話帳データを選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 ▶ 【登録先を「電話番号1〜3」から選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 ▶ <input type="checkbox"/> 【登録】 ▶ <input type="checkbox"/> 【はい】 すでに登録されている電話帳データに、電話番号を追加登録します。
<input type="checkbox"/> 【3】 【SMS作成】	選択したダイヤルメモの電話番号を宛先としたSMSを作成します (「SMSを作成して送信する」103ページ)。
<input type="checkbox"/> 【4】 【削除】	▶ <input type="checkbox"/> 【1】 【1件】 または <input type="checkbox"/> 【2】 【全件】 ダイヤルメモを削除します (「各機能の情報を削除する」273ページ)。



- 以下の電話番号を入力中にダイヤルメモを引用できます。
 - ・着信拒否する電話番号の入力 (「着信拒否する電話番号を設定する」227ページ)
 - ・発信を許可する電話番号の入力 (「登録した電話番号以外に電話をかけられなくする」230ページ)
 - ・リモートロックの許可番号指定の入力 (「遠隔操作を許可する電話番号を登録する」235ページ)
- SMSの宛先入力画面 (宛先の電話番号を直接入力する画面) では、以下の手順でダイヤルメモを引用できます (「SMSを作成して送信する」103ページ)。

宛先入力画面で **【引用】** **▶** **【5】** **【ダイヤルメモ】** **▶** **【電話番号を選択し、** **【選択】**

● 待受中に音声を録音する（Myボイスメモ登録）

待受中にマイクから音声を録音します。最大約30秒間録音できます。録音したMyボイスメモはデータフォルダ（本体メモリのメインフォルダ）の「サウンドタブ」に保存されます。

■ メインメニューから録音する場合

待受画面で

1 「メモ」を選択し、 【選択】 ▶ 3 「Myボイスメモ」 ▶ 1 「録音」

■ サイドキーから録音する場合

待受画面で

1 シャッター/メモ （サイドキー） ▶ 3 「Myボイスメモ録音」

2 【開始】 ▶ 録音開始 ▶ 約30秒経過または 【停止】 で録音終了

● ご注意

- データフォルダの空き容量が足りない場合は、エラーメッセージが表示されます。不要なデータを削除して空き容量を確保してください。

● お知らせ

- 録音したMyボイスメモのデータは、Myボイスメモ一覧とデータフォルダの「サウンドタブ」から再生できます。
- 録音したMyボイスメモのファイル名は、以下の形式で保存されます。
例：2014年10月10日12時34分56秒に録音して保存した場合
「20141010_123456.kmv」
- 録音したMyボイスメモを再生するには、以下の手順で行います。

■ 録音直後に再生する場合

Myボイスメモ録音画面で 【再生】 を押す

■ 録音直後以外で再生する場合

待受画面で/通話中に ▶ 「メモ」を選択し、 【選択】 ▶ 3 「Myボイスメモ」 ▶ 2 「再生」 ▶ 再生したいMyボイスメモを選択し、 【再生】

または

待受画面でシャッター/メモ （サイドキー） ▶ 4 「Myボイスメモ再生」 ▶ 再生したいMyボイスメモを選択し、 【再生】

通話中にMyボイスメモを再生すると、再生内容が自分と相手の両方に聞こえます。

- 再生中は、以下の操作を行うことができます。

- ・ : 音量を調節できます。
- ・ : 前または次のMyボイスメモを選択します。再生するには 【開始】 を押します。
- ・ 【停止】 : 再生が停止します。

- Myボイスメモを再生したときの音量と、受話音量（66ページ）は同じ音量になります。また、どちらかの音量を変更するともう一方の音量も同じ大きさになります。

- Myボイスメモ一覧画面で以下の操作を行うと、メニュー画面が表示されます。

Myボイスメモ一覧画面で 【メニュー】

以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> 1 ショートカット	Myボイスメモ一覧をお気に入りメニューへ登録します（「お気に入りメニューを設定する」43ページ）。
<input type="checkbox"/> 2 削除	▶ <input type="checkbox"/> 1 「1件」または <input type="checkbox"/> 2 「全件」 Myボイスメモを削除します（「各機能の情報を削除する」273ページ）。
<input type="checkbox"/> 3 ファイル名編集	▶ ファイル名を編集し、 <input type="checkbox"/> 【確定】 Myボイスメモのファイル名を編集します（括弧子を含めて全角・半角共に40文字まで）。

- 通話中以外でMyボイスメモ再生中に を押すと、スピーカー/レシーバー（受話部）での再生を切り替えることができます。

Myボイスメモ 一覧画面



● 通信中の電話の着信を設定する（通信中着信）

機能番号17

通信中（通話中、パケット通信中、PIAFS通信中、フレックスチェンジ方式通信中）に電話がかかってきたとき、着信を許可するかどうかを設定します。

お買い上げ時：
「起動」待受画面で ▶ 1 ▶ 7

以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> 1 起動	パケット通信中（フレックスチェンジ方式含む）： 着信した電話を受ける（通話する）ことができます。 通話中、PIAFS通信中（フレックスチェンジ方式含む）： 着信した電話を受ける（通話する）ことができませんが着信したことはわかります。
<input type="checkbox"/> 2 停止	通信中は、電話の着信ができません。

🔍 ご注意

- 「通信中着信」を 1 「起動」に設定していても、通信環境によっては着信できないことがあります。
- 通信中に着信があった場合、電話を受けると通信が切断されます。
- Bluetooth通話中は設定に関わらず着信します。

📢 お知らせ

- Eメールの送受信中は、通信中着信動作を行うことができません。

● 通信中のメール受信を設定する（通信中メール受信）

機能番号18

通信中（通話中、パケット通信中、PIAFS通信中、フレックスチェンジ方式通信中）にEメール/SMSの受信を許可するかどうかを設定します。

お買い上げ時：
「起動」待受画面で ▶ 1 ▶ 8

以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> 1 起動	パケット通信中（フレックスチェンジ方式含む）： Eメール/SMSを受信することができます。 通話中、PIAFS通信中（フレックスチェンジ方式含む）： Eメール/SMSの受信をすることはできません。
<input type="checkbox"/> 2 停止	通信中は、Eメール/SMSの受信をすることができません。

🔍 ご注意

- 「通信中メール受信」を 1 「起動」に設定していても、通信環境によっては受信できない場合があります。
- Eメールの「通信中メール受信」の動作は、ワイモバイルのメールアカウントのみ有効となります。
- Bluetooth通話中は設定に関わらずEメール/SMSを受信します。

📢 お知らせ

- Eメールの送受信中は、通信中メール受信動作を行うことができません。

プロフィールの詳細を登録する

自分のプロフィールを登録します。

待受画面で

1 ▶ 0 ▶ [表示] ▶ [メニュー] ▶ 6 [編集]

以下の項目から選択します。

項目	詳細
(名前)	自分の名前を入力します (全角・半角共に24文字まで)。
(ヨミ)	名前の読みを入力します (半角カナ・半角英数字・半角記号で24文字まで)。
(電話番号) (電話番号種別)	電話番号を入力し (32桁まで)、電話番号種別を選択します。
(メールアドレス) (メールアドレス種別)	Eメールアドレスを入力し (半角で64文字まで)、Eメールアドレス種別を選択します。
(住所) (住所種別)	住所を入力し (全角・半角共に40文字まで)、住所の種別を選択します。
URL (URL)	URLを入力します (半角英数字・半角記号で255文字まで)。
血液型	血液型を選択します。
誕生日	誕生日を入力します。
星座	星座を選択します。
(趣味)	趣味を入力します (全角・半角共に10文字まで)。
(メモ)	メモを入力します (全角・半角共に80文字まで)。
画像	データフォルダの画像データをリンクします。

・各項目の入力方法は、「電話帳に登録する」(76ページ) をご参照ください。

2 各項目を入力し、 [登録] または [登録]

ご注意

●「アカウント設定」(119ページ) で「アカウント1」／「アカウント2」の「メールサーバー設定」を設定しているときは、プロフィールのEメールアドレス1/Eメールアドレス2を編集できません。

お知らせ

- 「電話番号1」には、自分の電話番号がすでに登録されています。変更することはできません。
- 「Eメールアドレス3」は、オンラインサインアップ(92ページ) で取得した自分のEメールアドレスが自動的に登録されます。変更することはできません。

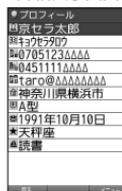
登録したプロフィールの詳細を確認する

待受画面で ▶ 0 ▶ **【表示】**

プロフィール
詳細表示画面

⚠️ ご注意

- 「Eメールアドレス3」は、オンラインサインアップ（92ページ）を行っていない場合、表示されません。
- 「アカウント設定」（119ページ）で「アカウント1」／「アカウント2」の「メールサーバー設定」を設定しているときは、「メールサーバー設定」に登録したEメールアドレスがプロフィールのEメールアドレス1／Eメールアドレス2に表示されます。また、このときプロフィールのEメールアドレスは編集できません。



📢 お知らせ

- プロフィール詳細表示画面で、以下の項目を選択すると、各操作を行うことができます。

項目	操作内容
📞 電話番号2	▶ <input type="checkbox"/> 【発信】 を押す
📞 電話番号3	▶ 選択した電話番号に電話をかけます。
✉️ Eメールアドレス1	▶ <input type="checkbox"/> 【Eメール作成】 を押す
✉️ Eメールアドレス2	▶ 選択したEメールアドレスを宛先としたEメールを作成します（「Eメール（テキストメール／デコラティブメール）」を作成して送信する」94ページ）。
✉️ Eメールアドレス3	
🌐 URL	▶ <input type="checkbox"/> 【接続】 を押す Webページにアクセスします（「インターネットの使いかた」124ページ）。
🖼️ (画像)	▶ <input type="checkbox"/> 【再生】 を押す 選択している画像データを表示します。

■ プロフィール詳細表示画面のメニューを使う

プロフィール詳細表示画面で カク 【メニュー】を押す

以下の項目から選択します。表示される項目は、選択している項目により異なります。

項目	操作内容
<input type="checkbox"/> 発信* ¹	<p>▶ <input checked="" type="checkbox"/> または <input type="checkbox"/> 【発信】を押す</p> <p>選択した電話番号に電話をかけます。また、電話番号を編集して電話をかけることもできます。</p>
<input type="checkbox"/> SMS作成* ¹	<p>選択した電話番号を宛先としたSMSを作成します（「SMSを作成して送信する」103ページ）。</p>
<input type="checkbox"/> Eメール作成* ²	<p>選択したEメールアドレスを宛先としたEメールを新規作成します（「Eメール（テキストメール/デコラティブメール）を作成して送信する」94ページ）。</p>
<input type="checkbox"/> URL接続* ³	<p>ブラウザを起動し、選択したURLに接続します。</p>
<input type="checkbox"/> Eメールへ添付	<p>プロフィールからアドレスカード（vCard）を作成してEメールに添付します。アドレスカードはデータフォルダ（本体メモリのメインフォルダ）の「名刺/予定タブ」に保存されます。</p> <p>添付されたプロフィールデータのタイトル名はプロフィールの「名前」、ファイル名は「名前.vcf」となります。プロフィールの名前にファイル名として使用できない半角記号（<>:¥*/?* .;）が含まれているときは、「notitle.vcf」となります。</p>
<input type="checkbox"/> 編集	<p>プロフィールの情報を編集します。</p>
<input type="checkbox"/> リセット	<p>▶ <input type="checkbox"/> 「はい」を押す</p> <p>追加したプロフィール情報（電話番号1とメールアドレス3以外）をリセットします。ただし、「アカウント設定」（119ページ）で「アカウント1」/「アカウント2」の「メールサーバー設定」を設定しているときは、Eメールアドレス1/Eメールアドレス2はリセットされません。</p>
<small>メニュー</small> 赤外線送信	<p>▶ 本機と相手側の赤外線ポートを向かい合わせる ▶ 送信完了</p> <p>プロフィールを赤外線で送信します（「赤外線で送信する」286ページ）。</p>

*¹：電話番号（電話番号1以外）を選択しているときのみ表示されます。

*²：Eメールアドレスを選択しているときのみ表示されます。

*³：URLを選択しているときのみ表示されます。

● 通話時間を表示する

通話時間についての機能や表示の設定を行います。

通話時間の合計を表示する（累積通話時間）

機能番号11

今までにかけた電話と、かかってきた電話の通話時間合計の目安を表示します。

待受画面で

以下の項目が表示されます。

発信時間（目安）	今までにかけた電話の通話時間合計の目安です。
着信時間（目安）	今までにかかってきた電話の通話時間合計の目安です。
通話時間計（目安）	かけた電話とかかってきた電話の通話時間合計の目安です。

累積通話時間
表示画面

累積通話時間
発信時間(目安) 0時間 5分 9秒
着信時間(目安) 0時間 3分 7秒
通話時間計(目安) 0時間 8分16秒

● ご注意

- この時間表示は目安です。
- Bluetooth通話での通話時間は含まれません。

● お知らせ

- 累積通話時間は999時間59分59秒まで表示されます。これを超えた場合、累積通話時間の表示は999時間59分59秒で停止します。
- 累積通話時間のリセットは、以下の手順で行います。

累積通話時間表示画面で 【メニュー】 「通話時間リセット」 暗証番号を入力

通話中に通話時間を表示させる（通話時間目安表示）

機能番号12

通話時間目安表示を「ON」に設定すると、通話中に通話時間の経過が表示され、通話終了後に通話時間が表示されます。

お買い上げ時：
「ON」

待受画面で 「ON」または 「OFF」

● ご注意

- この時間表示は目安です。

● エニーキーアンサーを設定/解除する（エニーキーアンサー）

機能番号14

エニーキーアンサーを「ON」に設定すると、電話がかかってきたとき、、～、、、、、、のいずれかのキーを押して電話を受けることができます。

お買い上げ時：
「OFF」

「OFF」に設定すると、のみで電話を受けられます。

待受画面で 「ON」または 「OFF」

● 本体を開いたときの動作を設定する（着信時フォルダオープン）

機能番号16

電話の着信時に本体を開いて電話を受けたり、着信音を消したり、本体を振動させたりするなどの設定を行います。

お買い上げ時：
「状態継続」

待受画面で

以下の項目から選択します。

状態継続	本体を開く動作を行っても状態は変わりません。
着信応答	着信中の電話を受けます。
サイレント	着信音が消音になります。バイブレータが設定されているときは、バイブレータも止まります。
サイレント+バイブ	着信音が消音になり、本機が振動します。

● 上下キーに機能を設定する（上下キー割り当て）

機能番号95

待受中にフロントジョグキー \square で行うことのできる操作を設定します。

お買い上げ時：
「送受信メールBOX」

待受画面で \square ▶ **9** ▶ **5**

以下の項目から選択します。

機能名	フロントジョグキー操作	\square	\square
1 名前順	電話帳を「名前順」で表示します。		
2 電話帳No.順	電話帳を「電話帳No.順」で表示します。		
3 グループ順	電話帳を「グループ順」で表示します。		
4 送受信メールBOX	受信BOX画面を表示します。		送信BOX画面を表示します。
5 音声着信音量	音声着信音量を設定します（194ページ）。		

● ご注意

- ここで設定したフロントジョグキー操作は、待受中のみ行うことができます。待受中以外の状態では、通話中は受信音量調節、着信中は着信音量調節などの操作になります。

● センターキーの長押しに機能を設定する（センターキー長押し割り当て）

機能番号96

待受中にセンターキー長押しで行うことのできる機能を設定します。

お買い上げ時：
「Eメール受信」

待受画面で \square ▶ **9** ▶ **6**

以下の項目から選択します。

1 Eメール受信	Eメールを受信します。
2 カメラ起動	カメラのフォト撮影/ムービー撮影を起動します。前回起動していたカメラ機能（フォト撮影/ムービー撮影）で起動します。
3 Java™アプリ一覧	Java™アプリ一覧を起動します。
4 電卓	電卓を起動します。
5 ブックマーク	ブックマーク一覧を起動します。
6 テンプレート	データフォルダ（本体メモリのメインフォルダ）の「テンプレートタブ」を呼び出します。
7 メモ帳	メモ帳を起動します。
8 録音再生	「音声/伝言メモ一覧」「伝言メモ設定」「Myボイスメモ録音」「Myボイスメモ再生」から選択し、録音や再生を行います。
9 カレンダー	カレンダーを起動します。

● ご注意

- ここで設定したセンターキー長押し操作は、待受中のみ行うことができます。

● 電卓を使う（電卓）

電卓として使用します。電卓はメインディスプレイ中央の操作ガイドを見ながら操作することができます。

待受画面で

1 ▶ 「アクセサリ」を選択し、 「選択」 ▶ 「電卓」

2 ダイヤルキーと以下のキーを使用して計算する

	+（たす）		* 小数点を入力します。
	-（ひく）		メル M+（メモリに加算）
	×（かける）		# %（パーセント表示）
	÷（わる）		WEB MR（メモリの値を表示）
	=（計算結果表示）		戻る C（表示している数字のクリア）



お知らせ

- 電卓機能の表示可能な桁数は10桁までです。
- を続けて2回押すとメモリをクリアします。
- 計算の結果にエラーが出た場合は「E」が表示されます。このとき を押すとエラーが解除されます。
- 「すぐ文字」（75ページ）を「ON」に設定しているときに以下の操作を行うと、待受画面で数字を入力して電卓を利用することができます。

待受画面で電話番号入力欄に数字を入力 ▶ 【ダイヤル画面】 ▶ 【メニュー】 ▶ 「電卓」を選択し、 「選択」 ▶ 計算する

● イヤホンマイクを接続する（イヤホン自動応答）

機能番号19

「イヤホン自動応答」を「ON」に設定すると、イヤホンマイク（市販品）を接続しているときに、手で操作しなくても「イヤホン自動応答秒数」（268ページ）で設定した時間が経過すると、自動的に電話を受け取ることができます。

お買い上げ時：
「OFF」

待受画面で

▶ ▶ 9 ▶ 「ON」または 2 「OFF」

ご注意

- 伝言メモ（57ページ）が同時に設定されているときは、設定時間の短いほうが優先されます。
- イヤホンマイクのスイッチでも着信応答ができます。
- イヤホンマイクはmicroUSBのもが使用できます。また、イヤホン変換ケーブルを利用して、φ3.5（4極）のイヤホンマイクを使用することもできます。

お知らせ

- イヤホンマイクで通話を終了する場合は 、またはイヤホンマイクのスイッチを押してください。
- イヤホンマイクの使いかたについては、イヤホンマイク（市販品）の取扱説明書をご参照ください。

● イヤホンマイクの応答時間を設定する（イヤホン自動応答秒数）

機能番号10

「イヤホン自動応答」（268ページ）を「ON」に設定しているとき、自動的に電話を受け取るまでの時間（応答時間）を「00秒」～「30秒」に設定できます。

お買い上げ時：
「09秒」

待受画面で

▶ ▶ 0 ▶ 応答時間を入力し、 「選択」

● 現在の位置情報を通知する

一つの基地局のカバーするエリアが半径100～500mという利点を生かし、発信／着信の際に把握する近隣の基地局からの情報を利用した位置情報サービスが情報提供会社から提供されています。

- ・ LI (Location Information / 位置情報通知) 機能：本機が認識する複数の基地局とその電界強度を通知する機能です。この機能によって、自分がいる位置またはその周辺の情報などを知ることができます (測位の誤差が発生する場合があります)。
- ・ 位置情報通知：「LI設定」を「ON」に設定すると、位置情報通知を設定することができます。本機に通知許可番号として登録している電話番号から遠隔操作で現在位置の通知を要求された場合、自動的に位置情報を通知します。

● ご注意

- 管理者ロックの「位置情報機能の設定変更を許可」(245ページ)が「許可しない」に設定されているときは、位置情報機能の設定を変更することができません。

LI機能を設定する (LI設定)

機能番号91

「LI設定」を「ON」に設定すると、「位置情報通知」を設定することができ、位置情報サービスを利用することができます (ワイモバイルへの加入、およびワイモバイル位置検索サービスまたは位置情報サービス提供会社などへのお申し込みが必要)。位置情報サービスを利用すると、遠隔操作により、移動する人や物などの位置を、パソコンなどのディスプレイ上にリアルタイムで表示します。迷子防止や物品の管理のためなどに設定することができます。位置情報通知では、以下の4つの設定や操作を行うことができます。

- ・ 位置情報通知
- ・ 位置情報通知時の通知確認音の設定
- ・ 位置情報を通知する電話番号 (通知許可番号) の登録／修正／消去
- ・ 位置情報通知機能のリセット

お買い上げ時：
「OFF」

待受画面で **9** ▶ **1** ▶ 暗証番号を入力

以下の項目から選択します。

1 位置情報通知機能 お買い上げ時： 「OFF」	▶ 1 「ON」 または ▶ 2 「OFF」 位置情報通知機能をONにするかどうかを設定します。	
2 詳細設定	1 着信音設定 お買い上げ時： 「ON」	▶ 1 「ON」 または ▶ 2 「OFF」 位置情報通知で位置情報を送ったときに、通知確認音を鳴らすかどうかを設定します。
	2 通知許可番号	位置情報通知が要求されたときに、位置情報を送る電話番号を登録します (270ページ)。
	3 リセット	位置情報通知機能をリセットします (270ページ)。

位置情報通知
設定画面



その他の便利な機能

● お知らせ

- **1** 「位置情報通知機能」で位置情報を送る相手の電話番号は、**2** 「通知許可番号」で設定します (「通知許可番号」と通知許可パスワードを登録する) (270ページ)。
- **1** 「位置情報通知機能」を設定すると、メインディスプレイに「LI」が表示されます。「LI設定」が**2** 「OFF」に設定されているときは、「LI」は表示されません。

■ 通知許可番号と通知許可パスワードを登録する

位置情報を通知する電話番号を、「通知許可番号」として登録します。初期設定値の他に、電話番号は5件まで登録することができ、それぞれに通知許可パスワードを設定します。通知許可パスワードについては、ワイモバイル、またはご利用の位置情報サービス提供会社へお問い合わせください。

お買い上げ時：
通知許可番号：
「初期設定値」
通知許可パスワード：
未登録

位置情報通知設定画面で

- 1 [2] 「詳細設定」 ▶ [2] 「通知許可番号」
- 2 登録する番号を選択 ▶ [メニュー] ▶ [1] 「登録」
- 3 通知許可番号を入力し、 ▶ 通知許可パスワードを入力し、 [登録]

● ご注意

- 通知許可番号を登録後、以下の手順でチェックを付加することで選択した番号へ位置情報を通知します。
位置情報通知設定画面で [2] 「詳細設定」 ▶ [2] 「通知許可番号」 ▶ 通知許可番号を選択し、 [選択]

● お知らせ

- 入力できる通知許可番号は20桁までです。
- 入力できる通知許可パスワードは1桁から8桁までです。

■ 通知許可番号と通知許可パスワードを表示／編集／削除する

登録した通知許可番号と通知許可パスワードを表示／編集／削除します。

位置情報通知設定画面で [2] 「詳細設定」 ▶ [2] 「通知許可番号」 ▶ 表示または編集、削除する番号を選択 ▶ [メニュー]

以下の項目から選択します。

[1] 表示	通知許可番号と通知許可パスワードを表示します。
[2] 編集	▶ 通知許可番号を編集し、 <input type="text"/> ▶ 通知許可パスワードを編集し、 <input type="text"/> [登録] 登録済みの通知許可番号と通知許可パスワードを編集します。
[3] 削除	▶ [1] 「1件」または [2] 「全件」 通知許可番号と通知許可パスワードを削除します（「各機能の情報を削除する」273ページ）。

● ご注意

- 本機に通知許可番号としてあらかじめ登録されている「初期設定値」の内容は、表示／編集／削除をすることはできません。

■ 位置情報通知機能をリセットする

位置情報通知機能をリセットし、お買い上げ時の状態に戻します。

位置情報通知設定画面で [2] 「詳細設定」 ▶ [3] 「リセット」 ▶ 暗証番号を入力 ▶ [1] 「はい」

相手から位置情報通知の要求があったとき

「位置情報通知機能」を「ON」に設定すると、あらかじめ登録している「通知許可番号」から位置情報通知の要求があったとき、自動的に位置情報を送ります。詳しくは、ワイモバイル、またはご利用の位置情報サービス提供会社へお問い合わせください。



- 本機を操作中に位置情報通知の要求があったとき、操作が中断または中止されます。

所在位置を登録する

「位置情報通知機能」を「ON」に設定すると、本機の所在位置を登録できます。位置情報通知の要求があったときは、登録した情報が送られます。また、位置情報と一緒に、そのときの状態を「ステータスコード」を使って登録することもできます。詳しくは、ワイモバイル、またはご利用の位置情報サービス提供会社へお問い合わせください。

■ 所在位置のみ登録する

待受画面で

1 **0**を長く(1秒以上)押す

位置情報送信画面が表示されます。

2 を押す

位置情報動作中画面が表示されます。送信が終了すると、送信終了画面に切り替わり、待受画面に戻ります。

■ 所在位置とステータスコードを登録する

待受画面で ***** ▶ **ステータスコードを入力する** ▶ ***** ▶ 



- ステータスコードを登録する際は、184発信、186発信、分計発信は使用できません。



- ステータスコードは「1」～「20」の範囲で入力してください。ステータスコードの詳細についてはワイモバイル、またはご利用の位置情報サービス提供会社へお問い合わせください。

緊急速報を利用する（緊急速報）

機能番号94

気象庁が配信する「緊急地震速報」や「津波情報」を本機で受信し、表示できます。本機で緊急速報を受信すると、緊急地震速報／津波情報個別の警告音およびバイブレータでお知らせします。

受信した緊急速報を読む

緊急速報を受信すると、警告音鳴動やバイブレータ振動、ランプ点灯とともに、画面上の表示で通知します。

1 本機で受信した緊急速報を確認する

ご注意

● 通話中、通信中および電波状態が悪いときは受信できません。

お知らせ

● 警告音鳴動／バイブレータ振動／ランプ点灯は作動してから20秒で終了しますが、以下の操作でも終了させることができます。また、緊急速報も以下の操作で終了させることができます。

- ・ を押す
- ・ を押す
- ・ を押す

● 緊急速報を受信したときの音量やマナーモード時に警報音を鳴らすかどうかの設定、警報音の確認ができます（201ページ）。ただし、設定に関わらず緊急速報受信時にはバイブレーションが振動し、ランプが点灯します。

緊急速報機能を設定する（緊急速報受信）

機能番号941

緊急速報を受信するかどうかを設定します。

お買い上げ時：
「受信する」

待受画面で ▶ **9** ▶ **4** ▶ **1** ▶ **1** 「受信する」または **2** 「受信しない」

過去に受信した緊急速報を確認する（緊急速報受信履歴）

機能番号942

過去に受信した緊急速報を確認することができます。

待受画面で ▶ **9** ▶ **4** ▶ **2**

過去に受信した緊急速報受信履歴が表示されます。

お知らせ

● 緊急速報受信履歴の最大件数は30件です。

緊急速報 受信履歴画面

緊急速報受信履歴	4件
01 緊急地震速報(可)	10:00の地震速報
2014/10/10(金)	16:51
02 津波警報発表	
2014/10/10(金)	16:50
03 緊急地震速報	
2014/10/10(金)	16:49

● 各機能の情報を削除する

発信履歴や電話帳など、各機能の情報を削除するには、【メニュー】でメニューを表示させて、「削除」を選択します。機能によって、「削除」を選択した後、「1件」、「全件」などの削除方法を選択します。

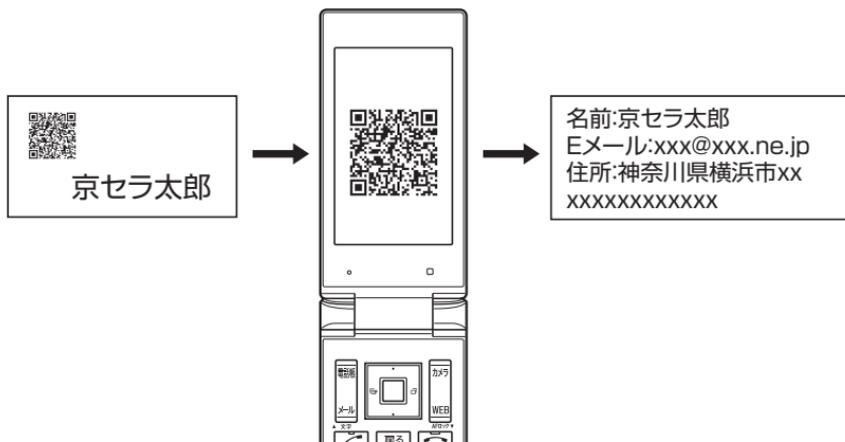
削除方法	内容
1件／1件削除	<p>▶ <input type="checkbox"/>「はい」を押す</p> <p>選択している、または表示している内容を削除します。 お気に入りメニューを削除する場合は、項目を選択し、<input type="checkbox"/>【削除】▶ <input type="checkbox"/>「はい」を押します。</p>
選択	<p>▶ 削除する内容を選択し、<input type="checkbox"/>【選択】または<input type="checkbox"/>【決定】を繰り返す▶ <input type="checkbox"/>【削除】または<input type="checkbox"/>【削除】▶ <input type="checkbox"/>「はい」</p> <p>削除したい内容を複数選択し、削除します。選択を解除するには、選択済みのデータを再度選択し、<input type="checkbox"/>【解除】または<input type="checkbox"/>【決定】を押します。</p>
全件／全削除／フォルダ	<p>▶ 暗証番号を入力*▶ <input type="checkbox"/>「はい」</p> <p>すべての内容を削除します。</p>
グループ	<p>電話帳の削除で表示されます。</p> <p>▶ 暗証番号を入力▶ <input type="checkbox"/>「はい」</p> <p>選択したグループを削除します。</p>
チェック済み	<p>TODOの削除で表示されます。</p> <p>▶ 暗証番号を入力▶ <input type="checkbox"/>「はい」</p> <p>チェックが付いているTODOをすべて削除します。</p>
指定日以前	<p>スケジュールの削除で表示されます。</p> <p>▶ 暗証番号を入力▶ <input type="checkbox"/>【選択】▶ 指定日を入力し、<input type="checkbox"/>【決定】▶ <input type="checkbox"/>「はい」</p> <p>指定日以前のスケジュールをすべて削除します。</p>
タブ内全件	<p>データフォルダの削除で表示されます。</p> <p>▶ 暗証番号を入力▶ <input type="checkbox"/>「はい」</p> <p>タブ内のデータをすべて削除します。</p>

*：発信履歴／着信履歴／不在着信履歴を全件削除する場合、入力する必要はありません。

● QRコードリーダーを使う

QRコードについて

QRコード (Quick Response Code) とは、豊富な情報量を持った2次元コードです。本機のカメラでQRコードを読み取ったり、データフォルダに保存したQRコードの画面を解析することができます。読み取ったEメールアドレスやURL、住所などの文字情報を使って、電話帳登録やメール作成などが行えます。



● ご注意

● QRコードが汚れている、かすれている、印刷が薄いなどの場合は、読み取れないことがあります。

QRコードを読み取る

カメラでQRコードを読み取ります。

■ カメラから起動する場合

待受画面で

1 **カメラ** ▶ 3 **「QRコード撮影」**

■ アクセサリから起動する

待受画面で

1 **▶** **「アクセサリ」**を選択し、**■** **「選択」** ▶ 5 **「QRコードリーダー」** ▶ 1 **「撮影する」**

2 QRコードを画面の赤色の枠に合わせる (▶ **■** **「読み込」**を押して、QRコードを画面の赤色の枠に合わせる操作を繰り返す) *

* : 連結コードを読み取るときに操作します。

読み取りできなかった場合は、**■** **「再読み込」**を押してください。



- 読み取り中に、**■** **「AF」**を押すとフォーカスを調整できます。
- 暗い場所で読み取る場合は、**🔦**を押して撮影ライトを点灯してください。
- カメラからは、以下の手順でも起動することができます。

待受画面で **🔍** ▶ 1 **「フォト撮影」** ▶ **🔍** **「メニュー」** ▶ **✳** **「QRコードモード」**

- 以下のコードも読み取ることができます。



JANコード



連結コード

- 連結コードを読み取り中に着信などによって中断した場合も、それまでに読み取ったQRコードは一時的に保存されます。再度、QRコードリーダーを起動すると確認画面が表示されます。**□** **「はい」**を押すと、読み取りを再開することができます。

■ QRコードリーダーのメニューを使う

データフォルダに保存したQRコードの読み取り、保存した解析結果の表示、QRコードリーダーのバージョン情報の確認ができます。

待受画面で **■** ▶ **「アクセサリ」**を選択し、**■** **「選択」** ▶ 5 **「QRコードリーダー」**

以下の項目から選択します。

1 「撮影する」	QRコードを読み取ります (「QRコードを読み取る」275ページ)。
2 「画像解析」	▶ QRコードの画像データ を選択し、 ■ 「選択」 データフォルダに保存されている、QRコードが含まれる画像を解析することができます。
3 「保存データを表示」	▶ QRコードデータ を選択し、 ■ 「選択」 データフォルダに保存していた解析結果を表示します。
4 「バージョン情報」	QRコードリーダーのバージョンを表示します。

■ QRコード解析画面のメニューを使う

解析結果画面で **【メニュー】**

以下の項目が表示されます。表示できる項目は、選択している項目により異なります。

1 保存	解析結果を保存します。保存した解析結果のファイル名は、QR_YYYYMMDDhhmm.QRCとなります（Y：年、M：月、D：日、h：時、m：分）。ただし、解析結果がvCard/vCalendarの場合、拡張子はそれぞれ「.vcf」/「.vcs」となります。
2 コピー	▶ コピー範囲の始点を選択し 、 <input type="checkbox"/> 【始点】 ▶ 終点を選択し 、 <input type="checkbox"/> 【終点】 解析結果のテキスト内容をコピーします（全角、半角共に1024文字まで）。
3 ショートカット*1	QRコードをお気に入りメニューへ登録します（「お気に入りメニューを設定する」43ページ）。
4 赤外線送信*2	解析結果を赤外線で送信します（「赤外線で送信する」286ページ）。

*1：本体メモリに保存されているQRコードデータの場合のみ表示されます。

*2：データフォルダ(本体メモリ/microSDカード)に保存されているQRコードデータの場合のみ表示されます。

■ QRコード解析結果の情報を利用する

解析結果画面で **電話番号/Eメールアドレス/URLを選択し**、 **【選択】**

以下の項目が表示されます。表示できる項目は、選択している項目により異なります。

3 発信*1	▶ <input type="checkbox"/> 【発信】を押す 選択した電話番号に電話をかけます。また、電話番号を編集して電話をかけることもできます。
4 電話帳へ登録	1 新規 選択した電話番号やEメールアドレス、URLなどを電話帳に新規登録します（「電話帳データの各項目を登録する」76ページ）。
	2 追加 ▶ 追加登録する電話帳を選択し 、 <input type="checkbox"/> 【選択】 ▶ 登録先を「電話番号1~3」または「Eメールアドレス1~3」またはURLを選択し 、 <input type="checkbox"/> 【選択】 ▶ <input type="checkbox"/> 【登録】 または <input type="checkbox"/> 【登録】 ▶ <input type="checkbox"/> 【はい】 すでに登録されている電話帳データに、電話番号やEメールアドレス、URLなどを追加登録します。
5 SMS作成*1	選択した電話番号を宛先としたSMSを作成します（「SMSを作成して送信する」103ページ）。
6 Eメール作成*2	選択したEメールアドレスを宛先としたEメールを作成します（「Eメール（テキストメール/デコラティブメール）を作成して送信する」94ページ）。
7 URLページへ接続*3	▶ <input type="checkbox"/> 【はい】を押す 選択したURLのWebページをブラウザで表示します。
8 ブックマークへ登録*3	▶ タイトルを入力し 、 <input type="checkbox"/> 【登録】 選択したURLをブックマークに登録します。

*1：電話番号を選択した場合のみ表示されます。

*2：Eメールアドレスを選択した場合のみ表示されます。

*3：URLを選択した場合のみ表示されます。

お知らせ

● 特定のフォーマットで作成されたQRコードの場合、解析結果の情報を利用して以下の操作が行えます。

■ 電話帳データを登録する

解析結果画面で「電話帳一括登録」を選択し、 **【選択】**

■ Eメールを作成する

解析結果画面で「Eメール作成」を選択し、 **【選択】**

■ ブックマークに登録する

解析結果画面で「ブックマーク登録」を選択し、 **【選択】** ▶ **【登録】**

※QRコードによっては、上記の操作を行ったときに特定の情報が反映されない場合があります。

● Java™アプリについて

Java™アプリとは、PHSや携帯電話でゲームなどがご利用いただけるアプリケーションソフトです。Java™対応サイトからお好みのアプリケーションをインストールし、本機でお楽しみいただけます。

● ご注意

- 管理者ロックの「Java™アプリの使用を許可」(244ページ)が「許可しない」に設定されているときは、Java™アプリの使用、インストールができません。

Java™アプリをインストールする

Java™対応サイトからお好みのアプリケーションをインストールできます。インストールしたアプリケーションは、「アプリ一覧」に保存されます。アプリケーションには2種類のデータ(「.jad」「.jar」)があります。

■ 公式サイトからインストールする場合

待受画面で **WEB** ▶ **I** 「公式サイト」▶ 画面の指示に従って「ゲーム/アプリ」などをインストールする
または

待受画面で **アプリ** ▶ 「公式サイトから探す」▶ 画面の指示に従って「ゲーム/アプリ」などをインストールする

■ データフォルダに保存されている「.jad」「.jar」を使用してインストールする場合

待受画面で **□** ▶ 「データフォルダ」を選択し、**□** 「選択」▶ フォルダ/「microSD」を選択し、**□** 「選択」(**○** 暗証番号を入力^{*1}/ **I** 「microSDデータ」^{*2}) ▶ **◀▶** で「その他タブ」を選択し、**□** 「ファイルへ」または **◀▶** 拡張子が「.jad」のファイルを選択し、**□** 「登録」▶ **I** 「はい」

*1: 「プライベートフォルダ」を選択したときに操作します。

*2: microSDカード挿入時、「microSD」を選択したときに操作します。

● ご注意

- インストールは、電波状況の良い場所で行ってください。電波状況が悪い場所や移動中は、正しくインストールされない場合があります。
- データフォルダの空き容量が足りない場合は、エラーメッセージが表示されます。不要なデータを削除して空き容量を確保してください(「データを削除する」188ページ)。

● お知らせ

- お客様がインストールされたアプリケーションの動作については、各アプリケーション提供会社へお問い合わせください。

Java™アプリを起動する

アプリ一覧画面にはあらかじめプリインストールされているアプリケーションや、お客様がインストールしたアプリケーションが登録されています。アプリケーションの起動は、ここから行います。

待受画面で **アプリ** ▶ 起動したいアプリケーションを選択し、**□** 「決定」▶ 各アプリケーションの画面の指示に従って操作する

● ご注意

- データフォルダの空き容量が足りない場合は、アプリケーションを起動できない場合があります。不要なデータを削除して空き容量を確保してください(「データを削除する」188ページ)。
- Java™アプリを起動した状態で本体を閉じても、Java™アプリは終了しません。
- 操作ロック(229ページ)の「Java™アプリ」が「禁止」に設定されていると、暗証番号の入力が必要です。

■ Java™アプリ一覧画面のメニューを使う

待受画面で アプリ > アプリケーションまたはフォルダを選択し、 【メニュー】

以下の項目から選択します。表示される項目は、登録されている内容により異なります。

アプリ情報* ¹	選択しているアプリケーションの詳細情報を表示します。	
更新* ¹	▶ 「はい」を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 選択しているアプリケーションのソフトが更新されている場合はバージョンアップを行います。	
削除	選択したアプリケーションまたはフォルダを削除します。	
	<input type="checkbox"/> フォルダ削除* ²	▶ 「はい」を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】
	<input type="checkbox"/> 削除	▶ 「はい」を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】
	<input type="checkbox"/> 選択削除	▶ 削除するアプリケーションを選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】を繰り返す ▶ 【実行】 ▶ 「はい」を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】
<input type="checkbox"/> 全削除	▶ 暗証番号を入力 ▶ 「はい」を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】	
移動* ¹	▶ 移動先のフォルダを選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 選択したアプリケーションを別のフォルダに移動します。	
並べ替え	▶ 並べ替えの方法を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 名前、サイズ、起動回数の昇順/降順、または起動日時、作成日時の新しい順/古い順を選択すると、選択した順に表示します。	
フォルダ作成	▶ フォルダ名を入力し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 フォルダを作成すると、アプリケーションをフォルダごとに管理できます。	
フォルダ名編集* ²	▶ フォルダ名を編集し、 <input type="checkbox"/> 【決定】 「フォルダ作成」で作成したフォルダ名を編集します。	
Java™アプリの設定* ¹	<input type="checkbox"/> 許可設定	▶ 以下の項目を設定し、 【完了】 各種許可設定を行います。
	<input type="checkbox"/> ネットワーク接続	▶ 「一度だけ確認」、「起動ごとに確認」、「使用ごとに確認」、または「許可しない」を選択し、 <input type="checkbox"/> 【決定】
	<input type="checkbox"/> ローカルポート使用	
	<input type="checkbox"/> 自動起動	
	<input type="checkbox"/> ユーザーデータ読み込み	
	<input type="checkbox"/> ユーザーデータ書き込み	
<input type="checkbox"/> 同期		
<input type="checkbox"/> ショートカット登録	選択したアプリケーションを、お気に入りメニューへ登録します（「お気に入りメニューを設定する」43ページ）。	
システム情報	Java™アプリ一覧の使用状況を表示します。	

*¹：アプリケーションを選択した場合のみ選択できます。

*²：フォルダを選択した場合のみ選択できます。



● プリインストールされているアプリケーションも削除できます。

Java™アプリの設定をする

待受画面で ▶ **「Java™」を選択し、** **【選択】**

以下の項目から選択します。

1 アプリ一覧	アプリ一覧画面が表示されます（「Java™アプリを起動する」277ページ）。	
2 公式サイトから探す*	▶ 1 「はい」 を押す 公式サイトに接続して、Java™アプリをダウンロードすることができます。	
3 接続先設定 お買い上げ時： 「Y!mobile」	▶ 1 ~ 3 （接続先を選択） アプリケーションの通信先を設定します。	
4 自動起動設定 お買い上げ時： 「ON」	▶ 1 「ON」 または 2 「OFF」 アラーム登録のできるアプリケーションの自動起動を行うかどうかの設定をします。	
5 サウンド お買い上げ時： 「端末の設定に従う」	1 常に再生する	アプリケーションのサウンドを常時再生します。マナーモード設定中（61ページ）でも音が鳴ります。
	2 端末の設定に従う	アプリケーションのサウンドを、本機の音関連の設定に従って再生します。

*：ブラウザの表示モードは、「ケータイモード」で表示されます。

● データのバックアップをする

バックアップ機能を利用して、電話帳やスケジュール、TODOリスト、ブックマークをバックアップすることができます。バックアップしたデータは、再度呼び出して登録できます。

また、バックアップデータには、シークレット登録したデータも含まれます。

- ・電話帳 (76ページ)
- ・スケジュール (217ページ)
- ・ブックマーク (130ページ)
- ・TODOリスト (222ページ)

🔔 ご注意

- 以下の管理者ロックが設定されているときは、バックアップを利用することはできません。

管理者ロック	設定値	制限される機能	参照先
電話帳の編集を許可	許可しない	電話帳バックアップデータのインポート不可	242ページ
ブックマークからのWEB接続に限定	限定する	ブックマークのバックアップデータのインポート不可	243ページ
電話帳の閲覧を許可	許可しない	電話帳バックアップデータのエクスポート/インポート不可	246ページ
microSDの使用を許可	許可しない	microSDカードへの各バックアップデータのエクスポート/インポート不可	247ページ
バックアップの使用を許可	許可しない	各バックアップデータのエクスポート/インポート不可	248ページ

データをバックアップする

それぞれの機能に登録されているデータを、データフォルダにエクスポート（ファイルとして保存）してバックアップしておくことができます。

🔔 ご注意

- エクスポート中はmicroSDカードを抜かないでください。
- バックアップしたファイルは再生できません。
- データフォルダ（本体メモリ/microSDカード）の空き容量が不足している場合は、エラーメッセージが表示されます。不要なデータを削除し、空き容量を確保してください（「データを削除する」188ページ）。

📢 お知らせ

- エクスポートしたデータはデータフォルダ（本体メモリのメインフォルダ/microSDカード）の「その他タブ」に保存されます。ファイル名は以下のとおりです。

データの種別	ファイル名
電話帳	BKUP_AD.KBF
スケジュール	BKUP_SD.KBF
TODOリスト	BKUP_TD.KBF
ブックマーク	BKUP_BM.KBF

- エクスポートしたデータのファイル名は、変更することができます。ただし、ファイル名を変更した場合は、バックアップデータをインポートすることはできません。
- データフォルダ（本体メモリのメインフォルダ/microSDカード）に同名のバックアップデータが保存されている場合は、上書き確認画面が表示されます。上書きして登録するには、「はい」を押します。
- バックアップデータは、データフォルダから削除することができます（「データを削除する」188ページ）。
- エクスポート中に、を押したり、着信などによって中断された場合は、再度エクスポートし直してください。

■ データフォルダにエクスポートする

待受画面で ▶ **「アクセサリ」** を選択し、 **「選択」** ▶ **「6」** **「バックアップ」** (▶ **「データフォルダ」**) * ▶ **「本体⇒データフォルダ」** ▶ **「電話帳」**、 **「2」** **「スケジュール」**、 **「3」** **「TODOリスト」**、または **「4」** **「ブックマーク」** ▶ 暗証番号を入力 ▶ **「はい」**

* : microSDカード挿入時のみ操作します。

■ microSDカードにエクスポートする

操作を行う前に、本体にmicroSDカードが正しく装着されているか、ご確認ください。

待受画面で ▶ 「アクセサリ」を選択し、 「選択」 ▶ **6** 「バックアップ」 ▶ **2** 「microSD」
▶ **1** 「本体⇒microSD」 ▶ **1** 「電話帳」、**2** 「スケジュール」、**3** 「TODOリスト」、または **4** 「ブックマーク」 ▶ 暗証番号を入力 ▶ **1** 「はい」

バックアップデータをインポートする

データフォルダに保存されているバックアップデータを、それぞれの機能に保存し直します。

ご注意

- インポートすると、本機に登録されているデータは削除され、選択したバックアップデータが新しく登録されます。インポートする際は十分ご注意ください。
- インポート中はmicroSDカードを抜かないでください。

お知らせ

- インポート中に、 を押ししたり、着信などによって中断された場合は、再度インポートし直してください。
- 本機(CRESTIA(402KC))以外のバックアップデータも、本機にインポートすることができます。インポートできるバックアップデータの種類は以下のとおりです。事前に、本機の本体メモリ、またはmicroSDカードの「PRIVATE」フォルダ⇒「KYOCERA」フォルダ⇒「DATA」フォルダにバックアップファイルを保存しておいてください。

機種名	ファイルの種類
WX310K	AD310K.vcf、SD310K.vcs、TD310K.vcs、BM310K.vbm ※上記のバックアップデータは、miniSD™メモリーカード(市販品)の「PRIVATE」フォルダ⇒「BACKUP」フォルダに保存されています。インポートする場合は、本機の本体メモリ、またはmicroSDカードの「PRIVATE」フォルダ⇒「KYOCERA」フォルダ⇒「DATA」フォルダに保存してください。
WX320K	AD320K.KBF、SD320K.KBF、TD320K.KBF、BM320K.KBF
WX320KR	
WX330K	AD330K.KBF、SD330K.KBF、TD330K.KBF、BM330K.KBF
WX331K	AD331K.KBF、SD331K.KBF、TD331K.KBF、BM331K.KBF
WX331KC	
WX340K	AD340K.KBF、SD340K.KBF、TD340K.KBF、BM340K.KBF
WX341K	AD341K.KBF、SD341K.KBF、TD341K.KBF、BM341K.KBF
WX333K	AD333K.KBF、SD333K.KBF、TD333K.KBF、BM333K.KBF
WX334K	AD334K.KBF、SD334K.KBF、TD334K.KBF、BM334K.KBF
WX350K	AD350K.KBF、SD350K.KBF、TD350K.KBF、BM350K.KBF
WX01K	AD001K.KBF、SD001K.KBF、TD001K.KBF、BM001K.KBF
WX02K	AD002K.KBF、SD002K.KBF、TD002K.KBF、BM002K.KBF
WX03K	AD003K.KBF、SD003K.KBF、TD003K.KBF、BM003K.KBF
WX05K	AD005K.KBF、SD005K.KBF、TD005K.KBF、BM005K.KBF
WX07K	AD007K.KBF、SD007K.KBF、TD007K.KBF、BM007K.KBF
WX09K	AD009K.KBF、SD009K.KBF、TD009K.KBF、BM009K.KBF
WX11K	AD011K.KBF、SD011K.KBF、TD011K.KBF、BM011K.KBF
WX12K	AD012K.KBF、SD012K.KBF、TD012K.KBF、BM012K.KBF
401KC	BKUP_AD.KBF、BKUP_SD.KBF、BKUP_TD.KBF、BKUP_BM.KBF

■ データフォルダからインポートする

待受画面で ▶ 「アクセサリ」を選択し、 [選択] ▶ 6 「バックアップ」(▶ 1 「データフォルダ」)* ▶ 2 「データフォルダ⇒本体」 ▶ 1 「電話帳」、 2 「スケジュール」、 3 「TODOリスト」、または 4 「ブックマーク」 ▶ 暗証番号を入力 ▶ データを選択し、 [選択] ▶ 1 「はい」

* : microSDカード挿入時のみ操作します。

■ microSDカードからインポートする

操作を行う前に、本体にmicroSDカードが正しく装着されているか、ご確認ください。

待受画面で ▶ 「アクセサリ」を選択し、 [選択] ▶ 6 「バックアップ」 ▶ 2 「microSD」 ▶ 2 「microSD⇒本体」 ▶ 1 「電話帳」、 2 「スケジュール」、 3 「TODOリスト」、または 4 「ブックマーク」 ▶ 暗証番号を入力 ▶ データを選択し、 [選択] ▶ 1 「はい」

パソコンツールを使ってバックアップする

本機とPCをUSBケーブル（別売）で接続して市販のパソコンツールを利用すると、パソコンにデータをバックアップすることができます。

待受画面で

- 1 パソコンの電源を入れる
- 2 本機を待受画面にし、本機とパソコンをUSBケーブルで接続する
- 3 本機で 2 「データ転送」を押す
- 4 パソコンの操作を行う

ご注意

- すでに本機とパソコンをUSBケーブルで接続して、モデムやマスタストレージとして利用している場合、または手順3で機能を選択しなかった場合にデータ転送をするときは、以下の操作を行います。
(▶ パソコンからUSB切断の操作をする)* ▶ USBケーブルを本機から抜く ▶ 手順2~3の操作をする
* : マスタストレージ接続中の場合に操作します。

● 災害時に自分の声を送る（災害用音声お届けサービス）

災害が起こったときなど電話が通じないときに音声を届けることができます。音声メッセージをサーバーにアップロードし、その旨を相手に通知します。通知を受けた相手は音声メッセージをダウンロードして聞くことができます。

待受画面で

- 1 ▶ 「アクセサリ」を選択し、【選択】 ▶ 8 「災害用音声お届け」
- 2 音声を送りたい相手の電話番号を入力 ▶ 「問い合わせ」を選択し、【選択】
- 3 「録音開始」を選択し、【選択】 ▶ 録音を開始 ▶ 【終了】または約30秒経過後録音終了
- 4 「送信」を選択し、【選択】

音声メッセージの送信が完了すると、サーバーから音声メッセージダウンロード用のURLが相手先に送信されます。

● ご注意

- 以下の場合はEメール自動受信があると、各動作が中断されEメールを受信します。
 - ・ 録音中
 - ・ 問い合わせ中
 - ・ 送信中
 - ・ ダウンロードした音声メッセージ再生中

● お知らせ

- 本機ではSMSで通知を受けます。
- 電話番号として以下の文字を入力できます。
0~9#*P+
- 音声ファイルを本機で再生したときの音量と、受話音量（66ページ）は同じ音量になります。また、どちらかの音量を変更するともう一方の音量も同じ大きさになります。
- 電話番号入力中に²⁹⁹【メニュー】を押すと、以下の項目が表示されます。

1 コピー／カット	文字をコピー／カットします（「文字をコピー／カット／貼り付けする」72ページ）。
2 貼り付け	コピー／カットした文字を貼り付けます（「文字をコピー／カット／貼り付けする」72ページ）。

- 電話帳に登録されている内容を引用して電話番号を入力するには、以下の操作を行います。
電話番号入力中に²⁹⁹【電話帳引用】 ▶ 電話帳データを選択し、【選択】 ▶ 引用したい項目を選択し、【選択】

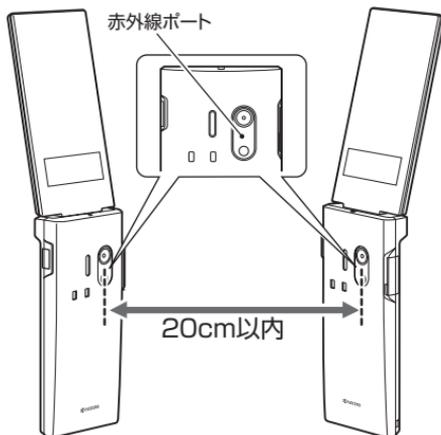
赤外線通信の使いかた

● 赤外線通信について

赤外線通信の機能を持つ機器と本機で、赤外線を使用してデータの送受信を行うことができます。

赤外線を送信または受信で1回につき扱うことができるデータは以下のとおりです。

データ	件数	データ	件数
プロフィール	1件	ブックマーク	1件/全件
電話帳	1件/全件 (プロフィール含む)	メモ帳	1件/全件
スケジュール	1件/全件	データフォルダ	1件
TODOリスト	1件/全件	microSDカード	1件



赤外線通信の通信距離は20cm以内です。また、データの送受信が終わるまで、本機の赤外線ポートを相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。

● ご注意

- 赤外線通信中は、以下の機能の指定時刻が経過しても、起動しません。赤外線通信完了後に起動します。また、赤外線通信中はUSB通信は行えません。
 - ・アラーム
 - ・スケジュールアラーム
 - ・TODOアラーム
 - ・Java™自動起動
- 赤外線ポートが汚れていると、正常に通信できない場合があります。このような場合は、柔らかな布で赤外線ポートを拭いてください。
- 管理者ロックの「赤外線通信の使用を許可」(244ページ)が「許可しない」に設定されているときは、赤外線通信を利用することができません。

● お知らせ

- 赤外線通信を行うには、送信側と受信側でそれぞれ赤外線通信の準備をする必要があります(受信側が赤外線受信待ち状態になっていることを確認してから、送信操作を行ってください)。
- 本機の赤外線通信では、Infrared Data AssociationのIrMC™バージョン1.1に準拠している機器と通信が可能です。ただし、相手の機器がIrMC™バージョン1.1に準拠していても、機器やデータによっては正しく送受信できないことがあります。
- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正しく送受信できない場合があります。
- 送受信できるデータ容量は最大4Mバイトです(一部の携帯電話への送信は最大1Mバイト)。
- データの容量によって通信や登録、保存に時間がかかる場合があります。

赤外線で受信する

本機を赤外線受信の待機状態にして、通信相手からのデータ送信を待ちます。受信時に認証パスワードの入力が必要な場合があります。認証パスワードとは、受信を行う前にあらかじめ通信相手と決める任意の4桁の数字です。まず送信側で設定し、受信側は同じ数字を入力します。受信するデータが4Mバイトを超える場合は、エラーメッセージが表示されて受信操作が中止されます。

待受画面で

- 1 「赤外線」を選択し、 [選択] ▶ 「赤外線受信」

赤外線受信待ち状態になります。

- 2 本機と相手側の赤外線ポートを向かい合わせる

■ 1件受信の場合

- 3 受信完了 ▶ 「はい」

■ 全件受信の場合

- 3 認証パスワードを入力* ▶ 受信完了

*：約30秒以内に認証パスワードを入力しないと、受信を中止します。

以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> 1 追加登録	受信したデータを本機内のデータに追加登録します。
<input type="checkbox"/> 2 上書き登録	▶ <input type="checkbox"/> 「はい」 ▶ 暗証番号を入力 本機に登録済みのデータを削除して、受信したデータを上書き登録します。全件受信した電話帳データを上書き登録する場合、同時にプロフィールも上書きされます。
<input type="checkbox"/> 3 登録しない	受信したデータを破棄して、赤外線メニュー画面に戻ります。

赤外線受信画面



🔔 ご注意

- 赤外線通信の全件受信でデータを登録しているときは、音声着信、Bluetooth着信、メールの受信ができません。

📢 お知らせ

- 「赤外線受信」を選択後、約30秒以内にデータの受信を開始しないと、赤外線受信を続けるかどうかの確認画面が表示されます。
- 受信した電話帳データ、スケジュール、TODOのデータがシークレット登録されている場合、本機でもシークレット登録されます。
- 受信したデータの登録件数が本機の登録可能件数の上限を超えた場合、 「追加登録」または 「上書き登録」を選択すると、何件登録できたかの確認画面が表示されます。上限を超えた分の受信したデータは破棄されます。

■ データファイルを受信する

データファイルを1件受信します。

赤外線受信画面で 本機と相手側の赤外線ポートを向かい合わせる ▶ 受信完了

以下の項目から選択します。

1 本体メモリに保存	受信したデータをデータフォルダ（本体メモリのメインフォルダ）に保存します。
2 microSDに保存*	受信したデータをmicroSDカードに保存します。
3 保存しない	受信したデータを破棄して、赤外線通信メニュー画面に戻ります。

* : microSDカード挿入時のみ表示されます。

お知らせ

- 「赤外線受信」を選択後、約30秒以内にデータの受信を開始しないと、赤外線受信を続けるかどうかの確認画面が表示されます。
- 保存先に同じファイル名がある場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きする場合は、 「はい」を押します。

赤外線で送信する

赤外線受信の待機をしている通信相手に、本機から赤外線でデータを送信します。

全件送信を選択した場合は、認証パスワードの設定が必要です。認証パスワードとは、送信を行う前にあらかじめ通信相手と決める任意の4桁の数字です。まず送信側で設定し、受信側は同じ数字を入力します。送信するデータが4Mバイトを超える場合はエラーメッセージが表示され、送信操作が中止されます。

待受画面で

1 ▶ 「赤外線」を選択し、 「選択」 ▶ 2 「赤外線送信」

2 1 「プロフィール」、 2 「電話帳」、 3 「スケジュール」、 4 「TODOリスト」、
 5 「ブックマーク」、または 6 「メモ帳」

■ 1 「プロフィール」を送信する場合

3 「選択」を押す

■ 1 「プロフィール」以外の1件送信の場合

3 1 「1件送信」 ▶ データを選択し、 「選択」

■ 全件送信の場合

3 2 「全件送信」 ▶ 暗証番号を入力 ▶ 1 「はい」 ▶ 認証パスワードを入力

4 本機と相手側の赤外線ポートを向かい合わせる ▶ 送信完了

ご注意

- 著作権のあるデータは送信できません。

赤外線送信
データ選択画面



お知らせ

- 送信中に送信を中止するには、**[戻る]**、**[電話]** **[中止]**、または **[電源]** を押します。
- 送信開始後、相手が約30秒間応答しないと、赤外線送信を続けるかどうかの確認画面が表示されます。
- 1件送信時にプロフィール、電話帳データに画像データが登録されている場合は、画像データを送信するかどうかの確認画面が表示されます。画像データを送信する場合は、**[はい]** を押します。ただし、スケジュールは画像データを送信できません。
- 電話帳全件送信の場合は、1件目にプロフィールデータを付けて送信します。
- 電話帳、スケジュール、TODOリスト全件送信時、本機のシークレットモード (231ページ) を「OFF」に設定中は、シークレット登録されたデータは送信できません。また「全件送信」の場合、シークレットモードを「ON」に設定中は、シークレット登録されたデータも送信します。ただし、画像は送信できません。
- 操作ロック (229ページ) の「電話帳閲覧」を「禁止」に設定しているときは、電話帳データ1件送信時の場合でも、手順3で **[1]** 「1件送信」を押した後に暗証番号を入力する必要があります。
- 操作ロック (229ページ) の「スケジュール」を「禁止」に設定しているときは、スケジュールデータまたはTODOデータ1件送信時の場合でも、手順3で **[1]** 「1件送信」を押した後に暗証番号を入力する必要があります。
- 操作ロック (229ページ) の「WEB」を「禁止」に設定しているときは、ブックマーク1件送信時の場合でも、手順3で **[1]** 「1件送信」を押した後に暗証番号を入力する必要があります。

■ データフォルダのデータを送信する

データフォルダのデータを1件送信します。

赤外線送信データ選択画面で **[7]** 「データフォルダ」または **[8]** 「microSD」* ▶

データを選択し、**[選択]** ▶ 本機と相手側の赤外線ポートを向かい合わせる ▶ 送信完了

* : microSDカード挿入時のみ操作します。

ご注意

- 著作権のあるデータは送信できません。
- 拡張子が「.mp4」、「.swf」、「.flv」、または「.mp3」のデータは送信できません。

お知らせ

- 送信中に送信を中断するには、**[戻る]**、**[電話]** **[中止]**、または **[電源]** を押します。
- 送信開始後、相手が約30秒間応答しないと、赤外線送信を続けるかどうかの確認画面が表示されます。

Bluetooth®の使いかた

Bluetooth®について

Bluetooth機能は、機器同士を無線で接続して操作するための技術です。本機では、Bluetooth機能を利用して以下のことができます。

- **ヘッドセット／ハンズフリー通話（300ページ）**
本機の回線を利用して、接続したヘッドセット／ハンズフリー機器で通話ができます。
- **Bluetooth通話（300ページ）**
接続した電話機（スマートフォンなど）の回線を利用して、本機で電話をかけたり、かかってきた電話を受けたりすることができます。
- **電話帳データ送受信（303ページ）**
本機と電話機（スマートフォンなど）で電話帳データの送受信ができます。
- **お知らせシェア（293、296ページ）**
スマートフォンでメール受信通知があったときに、本機にも通知があったことをお知らせします。
- **だれとでも定額パス（302ページ）**
本機の回線を利用して、接続したスマートフォンで電話をかけたり、かかってきた電話を受けたりすることができます。
- **テザリング（294、297ページ）**
本機の回線を利用してデータ通信を行うことができます。

Bluetooth機器同士を接続する場合、機器同士で決められたルール（プロファイル）が対応している必要があります。本機では以下のプロファイルに対応しています。

HSP	ヘッドセットとして接続するためのプロファイルです。
HFP	ハンズフリー機器として接続するためのプロファイルです。
PBAP	電話帳データを送受信するためのプロファイルです。
SPP*	お知らせシェアを利用するためのプロファイルです。
PVP	だれとでも定額パスを利用するためのプロファイルです。
PAN	テザリングするためのプロファイルです。

*：本機では、SPPはお知らせシェア以外の用途には使えません。

お知らせ

- 通信方式はBluetooth 2.1+EDR準拠です。
- Bluetooth機能をON|にしているときは、メインディスプレイにアイコンが表示されます（33ページ）。
- リモートロックコマンドを受信すると、Bluetooth機能がOFFになります。

Bluetooth®のメニューについて

Bluetoothの各種操作や設定を行います。

Bluetooth接続モード選択画面が表示された場合は、「Bluetooth®接続モード選択画面から接続する」(292ページ)をご参照ください。

■ 基本メニューから操作する場合

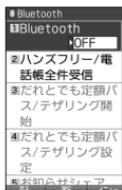
待受画面で **Bluetooth** を選択し、**選択** (▶) **5** **Bluetoothメニュー**)*

■ Bluetoothキーから操作する場合

待受画面で **Bluetooth** (▶) **5** **Bluetoothメニュー**)*

* : Bluetooth接続モード選択画面 (292ページ) が表示された場合に操作します。Bluetoothメニュー画面が表示されます。

Bluetooth
メニュー画面



以下の項目から選択します。

1 Bluetooth お買い上げ時： 「OFF」	▶ 1 「ON」 または 2 「OFF」 Bluetooth機能のON/OFFを設定します。Bluetooth機能を利用するときは、あらかじめONにしてください。	
2 ハンズフリー/ 電話帳全件受信 お買い上げ時： 子機モード メニュー	1 接続モード設定	1 親機モード* ¹ 親機モードに切り替えます。 2 子機モード* ¹ 子機モードに切り替えます。
	2 登録機器一覧 (親機)/ 登録機器一覧 (子機)	「ハンズフリー/電話帳全件受信」で利用する機器の登録および登録した機器の一覧を表示します (「親機モード/子機モードで接続する」295ページ)。
	3 着信音鳴動* ² お買い上げ時： 「本機」	1 本機 本機で設定した着信音が鳴ります。 2 接続先 接続した機器で設定した着信音が本機で鳴ります。ただし、接続した機器によっては接続先の着信音が鳴らない場合があります。
	4 電話帳全件受信	電話機 (スマートフォンなど) と接続して、電話帳データを受信して本機に登録したり、相手に送信したりすることができます (「電話帳データをBluetooth®で送受信する」303ページ)。
3 だれとでも定額 バス/テザリング 開始* ³	▶ 用途に合わせて (▶) 「だれとでも定額バス」と (WEB) 「テザリング」 を押しONにする だれとでも定額バス/テザリングを起動します。本機に登録されているスマートフォンと接続するには、スマートフォンで接続の操作をしてください。	
4 だれとでも定額 バス/テザリング 設定	1 だれとでも定額バ ス/テザリング機 器一覧	だれとでも定額バス/テザリングで利用する機器の登録および登録した機器の一覧を表示します (「だれとでも定額バス/テザリングで接続する」297ページ)。ただし、だれとでも定額バス/テザリング起動中は機器の登録はできません。
お買い上げ時： 「ON」	2 テザリング中のハ ンズフリー接続	▶ 1 「ON」 または 2 「OFF」 テザリング中にハンズフリー機器を利用するかどうかを設定します。
	3 テザリング中のハ ンズフリー機器一 覧* ⁴	だれとでも定額バス/テザリング利用中に、使用可能なヘッドセット/ハンズフリー機器の一覧を表示します。ヘッドセット/ハンズフリー機器は事前に親機モードで登録してください (「親機モード/子機モードで接続する」293、295ページ)。

[5] お知らせ シェア ^{*5}	[1] お知らせシェアを 開始	お知らせシェアで登録されている機器と接続して、お知らせシェアを開始します。
	[2] お知らせシェアを 停止	▶ [1] 「はい」を押す お知らせシェアでのスマートフォンとの接続を停止します。
	[3] 新しい機器を登録	新たに未登録のスマートフォンと接続します（「お知らせシェア [®] で接続する」296ページ）。先に登録された機器がある場合はその登録が解除されます。
	[4] 登録済み機器を 解除	▶ [1] 「はい」を押す 登録されたスマートフォンの登録を解除します。
	[5] 登録済み機器の 情報	登録されたスマートフォンの情報を表示します。
[6] 共通設定	[1] 省電力設定	省電力を設定すると、Bluetooth機器と接続しているときのバッテリー消費を抑えることができます（「省電力を設定する」291ページ）。
	[2] 切断通知 お買い上げ時： 「OFF」	▶ [1] 「ON」または[2] 「OFF」 Bluetooth機器との接続が意図せず切断されたときに、通知するかどうかを設定します。
	[3] 本機情報	本機の名称、種別、アドレス、対応サービス（プロフィール）、パスキー ^{*6} が表示されます。表示中に[299] 【名称変更】を押すと、本機の名称を変更できます（全角、半角共に17文字まで）。

*1：Bluetooth機能がONの状態でもモードを切り替えたときに機器が登録されていない場合は、[1] 「はい」を押すと機器検索状態/Bluetooth機器への登録可能状態になります。

*2：子機モードの場合のみ操作できます。

*3：「だれとでも定額パス/テザリング機器一覧」に機器が登録されている場合に操作できます。

*4：「登録機器一覧（親機）」に機器が登録されている場合に操作できます。

*5：本機に機器が登録されていない場合は、Bluetooth機器への登録可能状態になります。

*6：子機モードの場合のみ表示されます。



- お知らせシェア（293、296ページ）接続中に「ハンズフリー/電話帳全件受信」の親機モード/子機モードを切り替えても、お知らせシェアの接続は停止しません。

Bluetooth[®]メニュー画面で各種操作をする

Bluetoothメニュー画面で  で項目を選択し、  【メニュー】

以下の項目から選択します。表示される項目は、選択した項目により異なります。

1 ヘルプ	説明文が表示されます。
2 ショートカット	Bluetoothメニュー画面の項目をお気に入りメニューへ登録します（「お気に入りメニューを設定する」43ページ）。

ご注意

- Bluetoothメニュー画面の項目をお気に入りメニューに登録した場合、Bluetooth機能がOFFのときはお気に入りメニューから操作できない項目があります。また、「ハンズフリー／電話帳全件受信」の親機モード／子機モードは操作時点でのモードになります。

省電力を設定する

Bluetoothメニュー画面で **6** 【共通設定】 ▶ **1** 【省電力設定】

以下の項目から選択します。

1 Bluetooth自動OFF時間 お買い上げ時： 「3分」	▶ 1 ～ 6 （時間を選択）、または 7 【OFF】 Bluetooth機器と未接続の場合に待受画面で何も操作しなかったとき、Bluetooth機能を自動的にOFFにする時間を設定します。
2 だれとでも定額バス／テザリングOFF設定 お買い上げ時： 「電池残量0本」	▶ 1 ～ 3 （電池の本数を選択）、または 4 【OFF】 Bluetooth機器と接続中にバッテリーが少なくなった場合に、だれとでも定額バス／テザリングを自動で終了するときのバッテリー本数を設定します。

Bluetooth® 機器と接続する

本機とBluetooth機器を接続します。Bluetooth機器と接続するには、あらかじめBluetooth機器側のBluetooth機能をONにしてください。

Bluetooth機器側の操作については、Bluetooth機器の取扱説明書をご参照いただくか、各メーカーへお問い合わせください。



- 機器によってはパスキーの入力が必要な場合があります。パスキーの入力画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。本機のパスキーを入力する場合は、「0000」を入力してください。

Bluetooth® 接続モード選択画面から接続する (初回接続)

本機に機器が登録されていない場合は、Bluetooth接続モード選択画面から接続します。

■ 基本メニューから操作する場合

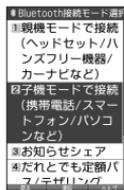
待受画面で ▶ **[Bluetooth]** を選択し、 **[選択]**

■ Bluetoothキーから操作する場合

待受画面で Bluetooth

Bluetooth接続モード選択画面が表示されます。

Bluetooth接続
モード選択画面



1 親機モードで接続	ヘッドセットやハンズフリー機器、カーナビなどと接続します (「親機モード/子機モードで接続する」293ページ)。
2 子機モードで接続	携帯電話やスマートフォン、パソコンなどと接続します (「親機モード/子機モードで接続する」293ページ)。
3 お知らせシェア	スマートフォンでメール受信通知があったときに、本機にも通知があったことをお知らせすることができます (「お知らせシェア®で接続する」293ページ)。
4 だれとでも定額バス/テザリング	本機のPHS回線を利用して、接続したスマートフォンで電話をかけたり、本機の回線を利用してデータ通信を行うことができます (「だれとでも定額バス/テザリング」294ページ)。
5 Bluetoothメニュー	Bluetoothの各種操作を行います (「Bluetooth®のメニューについて」289ページ)。
6 Bluetoothを利用しない	Bluetoothの操作を終了します。Bluetooth機能がONのときはBluetooth機能をOFFにします。

■ 親機モード／子機モードで接続する

■ 親機モードで接続する場合

1 Bluetooth機器を検索可能な状態にする ▶ Bluetooth接続モード選択画面で **1** 「親機モードで接続」
機器が見つからなかった場合は、Bluetooth機器の設定を確認して、手順1の操作を再度行ってください。

2 接続する機器を選択し、**2** 「接続」 ▶ 接続の操作をする

■ 子機モードで接続する場合

1 Bluetooth接続モード選択画面で **2** 「子機モードで接続」 ▶ 接続の操作をする

2分以内に登録してください。時間内に操作が完了しなかった場合は、手順1の操作を再度行ってください。

接続が完了するとBluetooth機器の詳細情報が表示されます。

🔔 お知らせ

- パスキーは約30秒以内に入力してください。
- 接続したBluetooth機器は「登録機器一覧」(289ページ) に登録されます。
登録されたBluetooth機器と再度接続するには、登録機器の一覧画面で機器を選択し、**2** 「接続」を押します。

■ お知らせシェア[®]で接続する

お知らせシェアを利用するためには、スマートフォンに「お知らせシェアアプリ」*をインストールする必要があります。

「お知らせシェアアプリ」の詳細については、下記のURL、またはQRコードからご覧いただけます。

<http://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/consumer/402kc/>

*:「お知らせシェアアプリ」は無料ですが、ダウンロードの際に別途通信料がかかります。



※QRコード対応機器で読み取りをしてください。

1 スマートフォンで「お知らせシェアアプリ」を起動し、「OK」 ▶ 「登録開始」

2 Bluetooth接続モード選択画面で **3** 「お知らせシェア」

3 スマートフォンの「お知らせシェアアプリ」で「デバイスのスキャン」

4 接続の操作をする

🔔 ご注意

- メール新着情報が本機で表示されても、エモーションメッセージは表示されません。

🔔 お知らせ

- パスキーは約30秒以内に入力してください。
- お知らせシェアで接続できる機器は1台です。

■ だれとでも定額パス/テザリングで接続する

1 Bluetooth接続モード選択画面で [4] 「だれとでも定額パス/テザリング」 ▶ 接続の操作をする

2分以内に登録してください。時間内に操作が完了しなかった場合は、手順1の操作を再度行ってください。

2 [待受開始] を押す

だれとでも定額パス/テザリング状態表示画面が表示されます。

だれとでも定額パス/テザリング状態表示画面



3 用途に合わせて [メール] 「だれとでも定額パス」と [WEB] 「テザリング」を押してONにする

スマートフォンで接続の操作をしてください。

● ご注意

- テザリング中にヘッドセット/ハンズフリー通話 (300ページ)、またはだれとでも定額パスでの通話 (302ページ) をすると、通話している間はテザリングでの通信ができません。
- 閉めるとロック (226ページ) を設定していても、だれとでも定額パス/テザリング利用中は閉めるとロック機能が無効になります。
- 本機で以下の操作ロック (229ページ) で制限されているときは、だれとでも定額パスをONにするときに暗証番号の入力が必要です。
 - ・ 発信先限定
 - ・ タイヤル発信
- 本機で以下の管理者ロック (239ページ) で制限されているときは、だれとでも定額パスを利用できません。
 - ・ 発信を電話帳内の番号に限定
 - ・ 着信を電話帳内の番号に限定
 - ・ 位置情報機能の設定変更を許可
 - ・ 発信履歴の閲覧を許可
- 本機で以下の操作ロック (229ページ) で制限されているときは、テザリングをONにするときに暗証番号の入力が必要です。
 - ・ データ発信
- 本機で以下の管理者ロック (239ページ) で制限されているときは、テザリングを利用できません。
 - ・ USB/Bluetooth接続時の通信を許可
- だれとでも定額パス/テザリングを利用中は、以下の動作になります。
 - ・ 本機の着信拒否の設定が無効になります (だれとでも定額パス利用中のみ)。
 - ・ 音声着信があっても、本機では着信動作を行いません (だれとでも定額パス利用中のみ)。
 - ・ 音声着信/メール受信をしても、「新着/不在あり」で設定したランプは点灯しません。
- スマートフォン側で「インターネットアクセス」をONにしないと接続できない場合があります。

● お知らせ

- パスキーは約30秒以内に入力してください。
- だれとでも定額パス、テザリングで接続できる機器は各1台です。
- だれとでも定額パスとテザリングは同時に利用できません。
- だれとでも定額パスがOFFのときに、だれとでも定額パス/テザリング状態表示画面で [待受開始] を押すとダイヤル画面が表示され、発信操作をすることができます。
- だれとでも定額パス/テザリングを終了するには、だれとでも定額パス/テザリング状態表示画面で [終了] 【終了】 ▶ [いいえ] を押します。
- だれとでも定額パス/テザリング状態表示画面で [設定] 【設定】 を押すと、Bluetoothメニュー画面の [4] 「だれとでも定額パス/テザリング設定」を押したときの画面が表示されます (289ページ)。
- 接続したスマートフォンは「だれとでも定額パス/テザリング機器一覧」(289ページ)に登録されます。登録されたスマートフォンと再度接続するには、以下の操作を行います。

だれとでも定額パス/テザリング状態表示画面で用途に合わせて [メール] 「だれとでも定額パス」と [WEB] 「テザリング」を押してONにする ▶ スマートフォンで接続の操作をする
- テザリング中にスマートフォンから本機にデータの送受信要求があった場合は、本機でダイヤルアップを行います。

Bluetooth[®]メニュー画面から接続する（2回目以降の接続）

本機に機器が登録されている場合は、Bluetoothメニュー画面から接続をします。

■ 親機モード／子機モードで接続する

■ 親機モードで接続する場合

Bluetoothメニュー画面で

- 1 (□)「Bluetooth」▶ (□)「ON」▶ 2「ハンズフリー／電話帳全体受信」▶ (□)「接続モード設定」▶ (□)「親機モード」*

*：Bluetooth機能（親機モード）がONになっている場合は操作不要です。
Bluetooth機能がONの状態でもモードを切り替えたときに「登録機器一覧（親機）」に機器が登録されていない場合は、Bluetooth機器を検索可能な状態にしてから、本機で(□)「はい」を押し、手順4の操作をしてください。

- 2 2「登録機器一覧（親機）」を押す

- 3 Bluetooth機器を検索可能な状態にする ▶ 電話帳【検索】

機器が見つからなかった場合は、Bluetooth機器の設定を確認して、手順3の操作を再度行ってください。

- 4 接続する機器を選択し、□【接続】▶ 接続の操作をする

登録機器一覧
（親機）画面



■ 子機モードで接続する場合

Bluetoothメニュー画面で

- 1 (□)「Bluetooth」▶ (□)「ON」▶ 2「ハンズフリー／電話帳全体受信」▶ (□)「接続モード設定」▶ 2「子機モード」*

*：Bluetooth機能（子機モード）がONになっている場合は操作不要です。
Bluetooth機能がONの状態でもモードを切り替えたときに「登録機器一覧（子機）」に機器が登録されていない場合は、本機で(□)「はい」を押し、接続の操作をしてください。

- 2 2「登録機器一覧（子機）」を押す

- 3 電話帳【登録】▶ 接続の操作をする

2分以内に登録してください。時間内に操作が完了しなかった場合は、手順3の操作を再度行ってください。
接続が完了するとBluetooth機器の詳細情報が表示されます。

登録機器一覧
（子機）画面



お知らせ

- 接続できる機器は、親機モードで最大1台、子機モードで最大2台です。
- 登録機器一覧画面には以下のアイコンが表示されます。

アイコン	説明	アイコン	説明
 (青)	親機モードで接続中／子機モード中に1台目として接続中	 (グレー)	親機モードで接続解除中／子機モード中に1台目として接続解除中
 (青)	子機モード中に2台目として接続中	 (グレー)	子機モード中に2台目として接続解除中

Bluetooth機能をOFFにすると、アイコンが消えます。

- 登録機器一覧に表示される接続機器の件数は以下のとおりです。
 - ・親機モード：20件まで
 - ・子機モード：4件まで
- 親機モードで検索して、機器が新しく見つかった場合は接続機器検索の一覧画面に「」が表示されます。
- 登録機器の一覧画面、検索結果の一覧画面には、以下の機器種別が表示されます。

アイコン	機器種別	アイコン	機器種別
	ヘッドセット機器		携帯電話
	ハンズフリー機器		カーナビ
	パソコン		その他

- パスキーは約30秒以内に入力してください。
- 接続したBluetooth機器は「登録機器一覧」(289ページ)に登録されます。
登録されたBluetooth機器と再度接続するには、登録機器の一覧画面で機器を選択し、【接続】を押します。

お知らせシェア[®]で接続する

お知らせシェアを利用するためには、スマートフォンに「お知らせシェアアプリ」をインストールする必要があります(293ページ)。

Bluetoothメニュー画面で

1 [Bluetooth] ▶ [ON]

^{*1}

^{*1}：Bluetooth機能がONになっている場合は操作不要です。

2 スマートフォンで「お知らせシェアアプリ」を起動し、「OK」▶「登録開始」

3 「お知らせシェア」(▶ 「新しい機器を登録」)

^{*2}

^{*2}：本機に機器が登録されている場合に操作します。

4 スマートフォンの「お知らせシェアアプリ」で「デバイスのスキャン」

5 接続の操作をする

ご注意

- メール到着情報が本機で表示されても、エモーションメッセージは表示されません。
- お知らせシェアは、だれとでも定額パス/テザリング中は利用することができません。

お知らせ

- パスキーは約30秒以内に入力してください。
- お知らせシェアは、親機モード、子機モードのどちらのモードでも利用することができます。
- お知らせシェアで接続できる機器は1台です。

■ だれとでも定額パス/テザリングで接続する

1 Bluetoothメニュー画面で [4] 「だれとでも定額パス/テザリング設定」 ▶

□ 「だれとでも定額パス/テザリング機器一覧」

だれとでも定額パス/テザリング機器一覧画面



2 電話帳 [登録] (▶ □ 「はい」) * ▶ 接続の操作をする

* : だれとでも定額パス/テザリング機器一覧に機器が登録されていないときに、親機モード/子機モード/お知らせシェアで接続している場合に操作します。

2分以内に登録してください。時間内に操作が完了しなかった場合は、手順2の操作を再度行ってください。

3 □ 「待受開始」を押す

だれとでも定額パス/テザリング状態表示画面が表示されます。

4 用途に合わせて [メール] 「だれとでも定額パス」と [WEB] 「テザリング」を押してONにする

スマートフォンで接続の操作をしてください。

🔔 ご注意

- だれとでも定額パス/テザリングを起動すると、親機モード/子機モード/お知らせシェアが切断されます。また、テザリング中にヘッドセット/ハンズフリー通話 (300ページ)、またはだれとでも定額パスでの通話 (302ページ) をすると、通話している間はテザリングでの通信ができません。
- 閉めるとロック (226ページ) を設定していても、だれとでも定額パス/テザリング利用中は閉めるとロック機能が無効になります。
- 本機で以下の操作ロック (229ページ) で制限されているときは、だれとでも定額パスをONにするときに暗証番号の入力が必要です。
 - ・ 発信先限定
 - ・ ダイヤル発信
- 本機で以下の管理者ロック (239ページ) で制限されているときは、だれとでも定額パスを利用できません。
 - ・ 発信を電話帳内の番号に限定
 - ・ 着信を電話帳内の番号に限定
 - ・ 位置情報機能の設定変更を許可
 - ・ 発信履歴の閲覧を許可
- 本機で以下の操作ロック (229ページ) で制限されているときは、テザリングをONにするときに暗証番号の入力が必要です。
 - ・ データ発信
- 本機で以下の管理者ロック (239ページ) で制限されているときは、テザリングを利用できません。
 - ・ USB/Bluetooth接続時の通信を許可
- だれとでも定額パス/テザリングを利用中は、以下の動作になります。
 - ・ 本機の着信拒否の設定が無効になります (だれとでも定額パス利用中のみ)。
 - ・ 音声着信があっても、本機では着信動作を行いません (だれとでも定額パス利用中のみ)。
 - ・ 音声着信/メール受信をしても、「新着/不在あり」で設定したランプは点灯しません。
- スマートフォン側で「インターネットアクセス」をONにしないと接続できない場合があります。

 お知らせ

- バスキーは約30秒以内に入力してください。
- だれとでも定額バス、テザリングで接続できる機器は各1台です。
- だれとでも定額バス/テザリング機器一覧画面には、以下のアイコンが表示されています。

アイコン	説明
	だれとでも定額バスで接続中
	テザリングで接続中

- だれとでも定額バス/テザリング状態表示画面に表示されるアイコンは以下のとおりです。

アイコン	説明
 (青)	本機とスマートフォンがPVPで接続中
 (グレー)	本機とスマートフォンがPVPでの接続解除中
	本機とスマートフォンがPVPでの接続を切断中
 (青)	本機とスマートフォンがPANで接続中
 (グレー)	本機とスマートフォンがPANでの接続解除中
	本機とスマートフォンがPANでの接続を切断中
	PHS回線

- だれとでも定額バスとテザリングは同時に利用できます。
- テザリング中にヘッドセット/ハンズフリー機器と接続して、ヘッドセット/ハンズフリー通話ができます。ヘッドセット/ハンズフリー機器は事前に親機モードで本機に登録してください（「親機モード/子機モードで接続する」293、295ページ）。また、 「だれとでも定額バス」をあらかじめOFFにしてください。

だれとでも定額バス/テザリング状態表示画面で  **【設定】** ▶  **「テザリング中のハンズフリー機器一覧」**
▶ **接続する機器を選択し、 【接続】**

※だれとでも定額バスでの通話と、ヘッドセット/ハンズフリー通話は同時にできません。

- だれとでも定額バスがOFFのときに、だれとでも定額バス/テザリング状態表示画面で  を押すとダイヤル画面が表示され、発信操作をすることができます。
- だれとでも定額バス/テザリングを終了するには、だれとでも定額バス/テザリング状態表示画面で  **【終了】** ▶  「はい」を押します。
- だれとでも定額バス/テザリング状態表示画面で  **【設定】** を押すと、Bluetoothメニュー画面の  「だれとでも定額バス/テザリング設定」を押したときの画面が表示されます（289ページ）。
- 接続したスマートフォンは「だれとでも定額バス/テザリング機器一覧」（289ページ）に登録されます。登録されたスマートフォンと再度接続するには、以下の操作を行います。
だれとでも定額バス/テザリング状態表示画面で用途に合わせて  「だれとでも定額バス」と  「テザリング」を押してONにする ▶ **スマートフォンで接続の操作をする**
- テザリング中にスマートフォンから本機にデータの送受信要求があった場合は、本機でダイヤルアップを行います。

待受画面からBluetooth[®]機能の操作をする

待受画面からBluetooth機器と接続したり、Bluetooth機能をOFFにすることができます。

待受画面で **Bluetooth** を長く (1秒以上) 押す

以下の項目から操作します。

<p>1 ハンズフリー／お知らせシェア</p>	<p>■ 本機に機器が登録されている場合 機器と自動的に接続します。</p> <p>■ 本機に機器が登録されていない場合 ▶ 1 「はい」 ▶ Bluetooth接続モード選択画面が表示されるので、接続の操作をする (292ページ)</p>
<p>2 だれとでも定額バス／テザリング</p>	<p>■ 本機に機器が登録されている場合 だれとでも定額バス／テザリングを起動します。本機に登録されているスマートフォンと接続するには、スマートフォンで接続の操作をしてください。</p> <p>■ 本機に機器が登録されていない場合 ▶ 1 「はい」 ▶ 接続の操作をする ▶ 2 【待受開始】 ▶ 用途に合わせて 3 「だれとでも定額バス」と WEB 「テザリング」を押してONにする スマートフォンで接続の操作をしてください。</p>
<p>3 利用しない (OFF)</p>	<p>接続をしないで終了します。Bluetooth機能がONのときはBluetooth機能をOFFにします。</p>

接続機器との各種操作をする

登録機器一覧画面、だれとでも定額バス／テザリング機器一覧画面、テザリング中のハンズフリー機器一覧画面のメニューから各種操作ができます。

登録機器一覧画面で／だれとでも定額バス／テザリング機器一覧画面で／テザリング中のハンズフリー機器一覧画面で

カク 【メニュー】を押す

以下の項目から選択します。

<p>切断*</p>	<p>▶ 1 「はい」を押す 接続している機器との接続を切断します。 機器と接続していないときは表示されません。</p>
<p>削除</p>	<p>▶ 1 「1件」または2 「全件」 一覧にある機器を削除します (「各機能の情報を削除する」273ページ)。</p>
<p>詳細情報</p>	<p>選択した機器の名称、種別、アドレス、対応サービス (プロファイル)、電話番号 (子機モードの場合のみ) が表示されます。</p>

* : 登録機器一覧画面でのみ表示されます。

注意

● 機器が登録されていない場合は、**3** 【メニュー】は表示されません。

お知らせ

● お知らせシェアで接続している機器との各種操作は、Bluetoothメニュー画面 (289ページ) で**5** 「お知らせシェア」を押して行います。

● だれとでも定額バス／テザリング機器一覧画面、またはテザリング中のハンズフリー機器一覧画面で機器との切断操作をするには、機器を選択し**2** 【切断】 ▶ **1** 「はい」を押します。

Bluetooth®を利用した通話操作をする

本機をBluetooth機器と接続して通話することができます。

ヘッドセット/ハンズフリー機器で通話する（親機モード）

本機の回線を利用して、接続したヘッドセット/ハンズフリー機器で通話することができます。あらかじめ本機を親機モードでBluetooth接続してください（「Bluetooth®機器と接続する」292ページ）。詳しい操作方法については、ヘッドセット/ハンズフリー機器の取扱説明書をご参照いただくか、各メーカーへお問い合わせください。

■ 電話をかける場合

- 1 接続したヘッドセット/ハンズフリー機器で発信操作をする
- 2 接続したヘッドセット/ハンズフリー機器、または本機で終話操作をする

■ 電話を受ける場合

- 1 接続したヘッドセット/ハンズフリー機器で応答操作をする
- 2 接続したヘッドセット/ハンズフリー機器、または本機で終話操作をする

📢 ご注意

- ヘッドセット/ハンズフリー機器で通話中、本機では音量の変更ができません。ヘッドセット/ハンズフリー機器から操作してください。
- 緊急通報（49ページ）後、5分程度の間は、いかなる電話番号からも音声着信します。

📢 お知らせ

- ヘッドセット/ハンズフリー機器と接続中は、通話機器として選択している機器（本機、またはヘッドセット/ハンズフリー機器）からのみ音が聞こえます。
- 通話中に以下の操作を行うと、通話する機器を切り替えることができます。通話設定した機器からのみ音が聞こえます。
通話中に  「通話切り替え」を選択し、 【選択】  「本機」/  「接続先」
または
通話中に  を長く（1秒以上）押す
- 本機側で発信操作/応答操作をした場合、ヘッドセット/ハンズフリー機器で通話ができない場合があります。ヘッドセット/ハンズフリー機器で通話するには、本機側で切り替え操作をしてください。
- ミュート中に通話する機器を切り替えても、ミュートは解除されません。
- 「+（プラス）」付きの電話番号に発信すると、「+（プラス）」が「010」に変換されて発信されます。

Bluetooth®通話する（子機モード）

接続した電話機（スマートフォンなど）の回線を利用して、本機で電話をかけたり（Bluetooth発信）、かかってきた電話を受けたり（Bluetooth着信）することができます。あらかじめ本機を子機モードでBluetooth接続してください（「Bluetooth®機器と接続する」292ページ）。

■ 電話をかける場合

- 1 本機で発信操作をする  2 「<XXXXXX>からBluetooth発信」（または 3 「<XXXXXX>からBluetooth発信」）*

*：本機が2台の電話機（スマートフォンなど）にBluetooth接続しているときに操作します。「XXXXXX」は登録されている機器名です。

- 2 接続した電話機（スマートフォンなど）、または本機で終話操作をする

■ 電話を受ける場合

1 本機で応答操作をする

2 接続した電話機（スマートフォンなど）、または本機で終話操作をする

📢 ご注意

- Bluetooth通話をする場合でも、本機で操作ロック（229ページ）の「ダイヤル発信」が「禁止」に設定されているときは、電話をかけるときに暗証番号を入力する必要があります。また、「発信先限定」が「限定」に設定されているときは、「発信先一覧」（230ページ）に登録されている電話番号と完全一致、または前方一致する電話番号にのみ、電話をかけることができます。
 - Bluetooth通話をする場合でも、本機で操作ロック（229ページ）の「電話帳閲覧」が「禁止」、または管理者ロックの「電話帳の閲覧を許可」（246ページ）が「許可しない」に設定されていると、電話帳に登録した電話番号から電話がかかってきても、電話帳に登録した名前が表示されません。
 - 電話機（スマートフォンなど）側でロック機能などにより制限をしていますが、本機でBluetooth発信／着信ができる場合があります。
 - Bluetooth通話では、以下の機能はご利用になれません。
 - ・ マナートーク
 - ・ しっかリンク
 - ・ ブッシュ信号の送出（HSP接続時のみ）
 - ・ 音声メモの録音／再生／削除
 - ・ 伝言メモの応答／再生／削除
 - ・ Myボイスメモの再生
 - ・ 本機での着信拒否
 - ・ サービス問合せ
 - ・ Li機能の利用
 - Bluetooth着信の場合でも、イヤホン利用中に「イヤホン自動応答秒数」で設定した時間が経過すると、自動的に電話を受けます。
 - 電話機（スマートフォンなど）でリモートロックのコマンドを受信しても、本機にはリモートロックはかかりません。
 - 電話機（スマートフォンなど）への転送電話も本機で受けることができます。ただし、転送元の電話番号を表示することはできません。
- 📢 お知らせ**
- 接続中の電話機（スマートフォンなど）で発信があった場合、本機でも動作画面が表示されます。このとき、電話機（スマートフォンなど）によっては、電話機（スマートフォンなど）側での通話になる場合があります。また、本機が2台の電話機（スマートフォンなど）に接続しているときに、接続した2台が同じタイミングで発信をした場合、先に発信があったほうの電話機（スマートフォンなど）と動作が連動します。
 - 通話する機器（本機または電話機（スマートフォンなど））を切り替える場合は、電話機（スマートフォンなど）側で切り替え操作をしてください。
 - Bluetooth通話の場合、通話中の機器からのみ音が聞こえます。
 - Bluetooth通話中は画面に「📞」と、通話している機器名が表示されます。
 - Bluetooth通話の履歴は本機の履歴画面でも表示されます。履歴画面では「📞」が表示されます。
 - Bluetooth通話中にPHS電話番号に着信があったときは、**Bluetooth** ▶ **📞** で電話を受けることができます。着信を拒否する場合は、着信中に **Bluetooth** ▶ **📞** を長く（1秒以上）押しします。PHS回線での通話に切り替えた場合、Bluetooth通話は保留になります。
*：「エニーキーアンサー」を設定している場合は、**[0]**～**[9]**、**[*]**、**[#]**、**[M-L]**、**Bluetooth**、**📞**でも電話を受けることができます（「エニーキーアンサー」を設定／解除する）266ページ）。
 - PHS回線で通話中にBluetooth着信があったときは、**Bluetooth** ▶ **📞***でBluetooth着信の電話を受けることができます。着信を拒否する場合は、着信中に **Bluetooth** ▶ **📞** を長く（1秒以上）押しします。Bluetooth通話に切り替えた場合、PHS回線での通話は保留になります。
*：「エニーキーアンサー」を設定している場合は、**[0]**～**[9]**、**[*]**、**[#]**、**[M-L]**、**Bluetooth**、**📞**でも電話を受けることができます（「エニーキーアンサー」を設定／解除する）266ページ）。
 - 伝言メモ（57ページ）、安全運転モード（64ページ）、着信拒否（227ページ）を設定している場合、Bluetooth通話中にPHS電話番号に着信があったときは、伝言メモ、安全運転モード、着信拒否の応答をします。
 - Bluetooth通話でも184発信、186発信ができます。
 - Bluetooth着信中は、PHS回線での着信とほぼ同様の操作（54ページ）ができます。
 - Bluetooth着信中は、電話帳データの「着信設定」で設定した内容で動作します。
 - Bluetooth着信中にシャッター／メモ□（サイドキー）を押すと、着信音をOFFにします。

スマートフォンでPHS回線を利用して電話をかける（だれとでも定額バス）

スマートフォンと本機を接続して、スマートフォンでPHS回線を利用して電話をかけることができます。あらかじめだれとでも定額バス/テザリングで接続し、だれとでも定額バスの機能をONにしてください（「Bluetooth®機器と接続する」292ページ）。

だれとでも定額バスを利用するためには、スマートフォンに「だれとでも定額バスアプリ」をインストールする必要があります。「だれとでも定額バスアプリ」はGoogle Play™からダウンロードすることができます。

■ 電話をかける場合

1 接続したスマートフォンで「だれとでも定額バスアプリ」から発信操作をする

2 接続したスマートフォンで終話操作をする

■ 電話を受ける場合

1 接続したスマートフォンで応答操作をする

2 接続したスマートフォンで終話操作をする

📢 ご注意

- 「だれとでも定額」にご加入いただかなくてもご利用になれます。ただし、通話時に本機のPHS回線の通信料金がかかります。
- だれとでも定額バスを利用中は以下の動作になります。
 - ・ 本機で電話をかけることはできません。
 - ・ 迷惑電話チェッカーは利用できません。
- 本機で以下の操作ロック（229ページ）で制限されているときは、だれとでも定額バスをONにするときに暗証番号の入力が必要です。
 - ・ 発信先限定
 - ・ タイヤル発信
- 本機で以下の管理者ロック（239ページ）で制限されているときは、だれとでも定額バスを利用できません。
 - ・ 発信を電話帳内の番号に限定
 - ・ 着信を電話帳内の番号に限定
 - ・ 位置情報機能の設定変更を許可
 - ・ 発信履歴の閲覧を許可

📢 お知らせ

- だれとでも定額バスでの通話履歴は本機の履歴画面でも表示されます。履歴画面では「PWS」が表示されます。
- 本機で安全運転モード中（64ページ）でも、接続したスマートフォンで応答することができます。
- 「だれとでも定額バスアプリ」の操作について詳しくは、「だれとでも定額バスアプリ」のヘルプなどをご参照ください。

● 電話帳データをBluetooth®で送受信する

電話機（スマートフォンなど）と接続して、電話帳データを受信して本機に登録したり、相手に送信したりすることができます。あらかじめ電話機（スマートフォンなど）と親機モード／子機モードで接続してください（「Bluetooth®機器と接続する」292ページ）。親機モード、子機モードのどちらでも送受信することができます。

🔍 ご注意

- 電話帳データを1件ずつ送受信することはできません。
- 操作ロック（229ページ）の「電話帳閲覧」が「禁止」に設定されていても、Bluetoothで電話帳データの受信・登録をすることができます。
- 管理者ロックの「電話帳の編集を許可」（242ページ）または「電話帳の閲覧を許可」（246ページ）が「許可しない」に設定されているときは、電話帳データを受信することができません。
- 送受信できるデータ容量は最大4Mバイトです。
- 電話帳データ送受信中は、以下の機能の指定時刻が経過しても、起動しません。電話帳データ送受信完了後に起動します。
 - ・アラーム
 - ・スケジュールアラーム
 - ・TODOアラーム
 - ・Java™自動起動

Bluetooth®で受信する

Bluetoothメニュー画面で

- 1 2 「ハンズフリー／電話帳全件受信」 ▶ 4 「電話帳全件受信」 (▶ 1 「XXXXXX」(または 2 「XXXXXX」) *1) *2

*1：子機モード中に2台のBluetooth機器と接続している場合に操作します。

*2：子機モード中の場合に操作します。

「XXXXXX」は登録されている機器名です。

電話機（スマートフォンなど）側で画面の指示に従って操作します。
以下の項目から選択します。

<input type="checkbox"/> 追加登録	受信した電話帳データを本機に追加登録します。
<input type="checkbox"/> 2 上書き登録	▶ <input type="checkbox"/> 1 「はい」 ▶ 暗証番号を入力 本機に登録済みの電話帳データを削除して、受信した電話帳データを上書き登録します。上書き登録した場合、同時にプロフィールも上書きされます。
<input type="checkbox"/> 3 登録しない	受信したデータを破棄します。

🔍 ご注意

- 受信できる電話帳データの件数は、最大1001件です。

🔊 お知らせ

- 受信した電話帳データがシークレット登録されている場合、本機でもシークレット登録されます。
- 受信した電話帳データの件数が、本機で受信できる最大件数の1001件を超えた場合、上限を超えた電話帳データは破棄されます。
- 登録できない電話帳データが含まれていた場合は、登録できた件数、登録できなかった件数が表示されます。

Bluetooth®で送信する

相手からの送信要求受信後

- 1 1 「はい」を押す

- 2 暗証番号を入力

🔍 ご注意

- 相手側の機器が電話帳全件送信要求できる機器の場合のみ、電話帳データを送信できます。
- 本機で待受画面が表示されていないときは、相手から送信要求を受信できません。
- 電話帳データに登録された画像データは送信されません。

データ通信の使いかた

● データ通信の準備をする

パソコンと本機をUSBケーブル（別売）で接続してデータ通信をするために必要なものは、以下のとおりです。

- ・USBケーブル（USB（A）オスーUSB（Micro-B）オス）
- ・USB端子を備えたノートパソコンなど各種情報端末
- ・通信ソフト

● データ通信について

本機で利用できるデータ通信方式は、以下の方式があります。

通信方式	最大通信速度	説明	付加番号	
4xパケット方式	400kbps*	ワイモバイルが提供する、パケット通信方式です（W-OAM typeG対応）。情報をパケットに分割して、パケット単位で情報をやりとりする方式です。	##64	
2xパケット方式	200kbps*	数分程度電波が弱くなったたり途切れたりしても、できるだけ回線を維持し、より信頼性の高い通信環境を実現します。	##64	
1xパケット方式	100kbps*	ご利用になるには、ワイモバイルの4x/2x/1xパケット方式に対応した料金コースにご契約いただき、アクセスポイントに接続してください。	##61	
フレックスチェンジ方式	100kbps*	ワイモバイルが提供する、1xパケット方式と64kPIAFS（ベストエフォート方式）の通信方式を、送受信されるデータ量や通信状況に応じて自動的に切り替える方式です。安定した速度を得ることができるため、より快適にデータ通信をご利用できます。ご利用になるには、ワイモバイルのフレックスチェンジ方式に対応した料金コースにご契約いただき、専用のアクセスポイントに接続してください。	##7	
64kPIAFS	ベストエフォート方式	64kbps	ワイモバイルが提供する、データ通信方式です。基地局の利用状況など、通信環境に対応して64/32kbpsの通信速度を選択し、切れにくい通信環境を実現します。	##4
	ギャランティ方式	64kbps	64kbps固定でのデータ通信方式です。64kbpsの通信が確保できない場合は切断します。	
32kPIAFS	32kbps	PHSの通信標準規格の通信方式です。	##3	

*：W-OAM typeG対応地域における最大通信速度となります。

W-OAM非対応地域では、それぞれ以下ようになります。

4xパケット方式：128kbps

2xパケット方式：64kbps

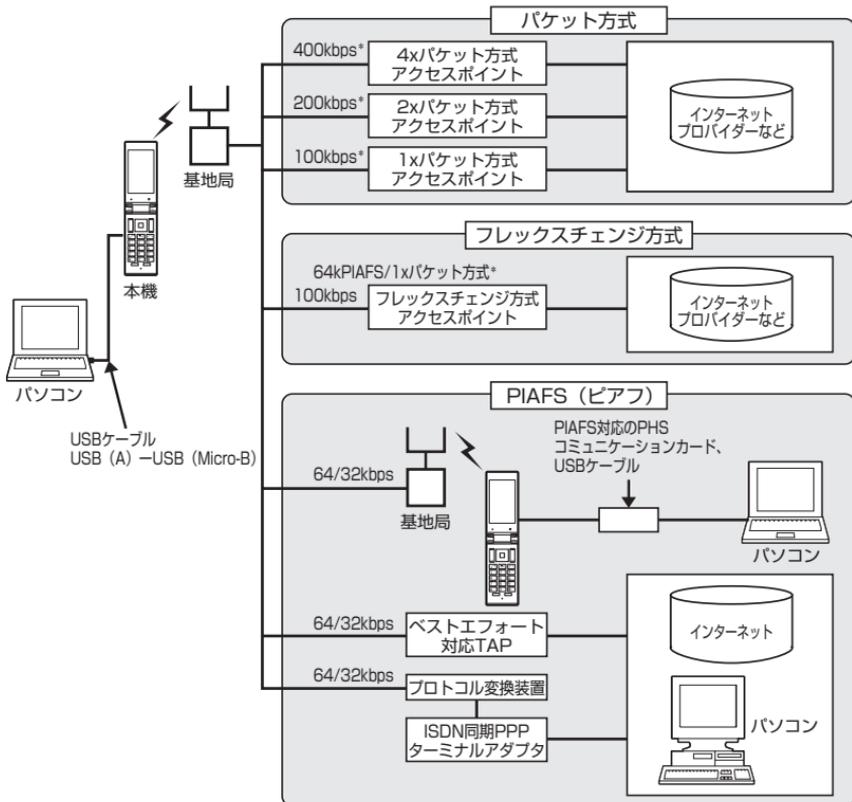
1xパケット方式：32kbps

● ご注意

- パケット方式を使用する場合は、「発信者番号通知」（52ページ）を「ON」に設定してください。
- パソコンへのメールソフトの設定、ダイヤルアップの設定につきましては、各プロバイダーにお問い合わせください。
- PIAFS方式で使用する場合でも、プロバイダーによっては「発信者番号通知」（52ページ）を「ON」に設定する必要があります。
- ダイヤルアップ用の電話番号の最後に、必ずご利用の通信方式に合わせた付加番号を入力してください。
- 管理者ロックの「USB/Bluetooth接続時の通信を許可」（245ページ）が「許可しない」に設定されているときは、USBケーブル（別売）を用いたデータ通信を利用することができません。
- Bluetooth通話中/発信中/着信中はデータ通信を利用することができません。

● お知らせ

- W-OAM typeGとは、電波状況に応じて、最適な変調方式を自動的に選択する無線技術です。



*: W-OAM typeG対応地域における最大通信速度となります。
W-OAM非対応地域では、それぞれ以下のようになります。
4xパケット方式: 128kbps
2xパケット方式: 64kbps
1xパケット方式: 32kbps

お知らせ

- PIAFSとは、PHS Internet Access Forum Standardの略で、PHSでデータ通信を行う場合の標準規格です。
- bpsとは、Bits Per Secondの略で、データ通信で送る情報量の単位です。1秒間に何ビットのデータを送ることができるかを示します。
- 無線FAX、無線モデム、無線インターネットには対応していません。

64kPIAFS通信の方式を、「ベストエフォート型」と「ギャランティ型」から選択することができます。

お買い上げ時：
「ベストエフォート型」

待受画面で □ ▶ **9** ▶ **2** ▶ **1** 「ベストエフォート型」または **2** 「ギャランティ型」



- ワイモバイルと契約をされている場合は、**1** 「ベストエフォート型」に設定してください。
- ワイモバイル以外の事業者と契約をされている場合は、各事業者の通信方式を確認してください。

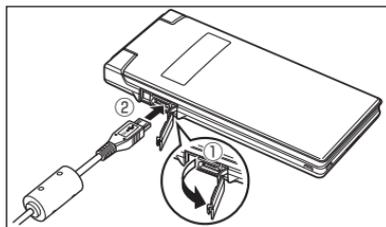
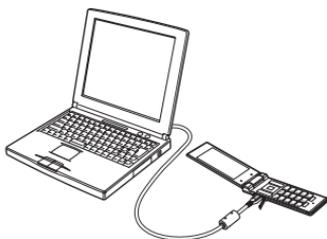
● 本機とパソコンを接続する

データ通信をするために本機とパソコンをUSBケーブル（別売）で接続します。USBドライバは、京セラホームページ（<http://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/consumer/>）からダウンロードし、あらかじめパソコンにインストールしてください。

1 パソコンの電源を入れる

2 本機を待受画面にし、本機とパソコンをUSBケーブルで接続する

接続が完了し、USBモードの選択が可能な状態になったときは「ピポ」という確認音が鳴ります。



外部接続端子のカバーを①の方向に開き、②の方向にUSBケーブルをまっすぐ差し込んでください。

3 本機で **1** 「モデム」を押す

4 パソコンの操作を行う



- USBケーブルを本機に差し込むときは、向きに注意して、必ずコネクタ部分を持ってまっすぐ差し込んでください。また、取りはずすときはコード部分を引っ張らないで、必ずコネクタ部分を持って抜いてください。
- USBケーブルで本機とパソコンを接続するときは、パソコンの高温排気が本機にあたらないように、パソコンと本機を離してください。
- すでに本機とパソコンをUSBケーブルで接続して、マストレージとしての利用やデータ転送を行っている場合、または手順3で機能を選択しなかった場合にモデムとして利用するときは、以下の操作を行います。（▶パソコンからUSB切断の操作をする）* ▶ USBケーブルを本機から抜く ▶ 手順2～3の操作をする
*：マストレージ接続中の場合に操作します。
- 管理者ロックの「USB/Bluetooth接続時の通信を許可」（245ページ）が「許可しない」に設定されているときは、USBケーブルを用いたデータ通信を利用することができません。



- USBケーブルを取りはずすときは、パソコンからUSB切断の操作をした後に、USBケーブルを本機から抜いてください。
- ご使用になるパソコンなどの詳しい設定や操作については、パソコンなどに付属の取扱説明書をお読みください。

● 発信する

待受画面で 本機とUSBケーブル（別売）で接続したパソコンなどで、データ通信の発信操作を行う

- ・本機のディスプレイに通信方式の種別がアイコン文字で表示されます。
表示されるアイコンは以下のとおりです。

	パケット方式
	フレックスチェンジ方式

	64kPIAFS（ベストエフォート型）
	64kPIAFS（ギャランティ型）
	32kPIAFS

- ・アクセスポイントに接続すると、本機のメインディスプレイに通信時間が表示されます。データ通信を終了するには、パソコンからデータ通信を切断します。

ご注意

- 以下の状態でのご利用は通信切断の原因となりますので、ご注意ください。
 - ・電波状態が悪い場所でのご利用
 - ・移動しながらのご利用
- 以下の場合は、データ発信を利用することはできません。
 - ・閉めるとロック（226ページ）の設定によるダイヤルロック中のとき
 - ・操作ロック（229ページ）の「データ発信」が「禁止」に設定されているとき
 - ・管理者ロックの「USB/Bluetooth接続時の通信を許可」（245ページ）が「許可しない」に設定されているとき

お知らせ

-  を押しても、データ通信を切断することができます。
- 確実にデータ通信を行うため、データ通信を始める前に本機のバッテリー残量が十分であることを確認してください。
- 分計発信をするときは、電話番号の最後に「01」を入力します（「分計サービスについて（お申し込み必要）」314ページ）。
例：「03-△△△△-△△△△##4,01」
なお、データ通信での分計発信は、PIAFSのみ対応となります。
- データ通信をしたときの電話番号は、発信履歴には記憶されません。
- データ通信中に本体を閉じてもデータ通信は切断されません。
- 通信設定やデータ通信の発信操作は、使用する通信ソフトにより異なります。詳しくは、通信ソフトの取扱説明書をご参照ください。
- データ通信の通信速度は、接続する機器や通信状況によって変わることがあります。
- 以下の状態でのご利用は通信速度が遅くなる場合があります。
 - ・電波や回線の状態が悪い場合。
 - ・パソコンの通信設定が遅い場合。パソコンの設定を確認してください。
 - ・メインディスプレイに「パケット」、「32kPIAFS」、「64kPIAFS BE」、「64kPIAFS GR」と表示されていても、相手のデータ通信速度が遅い場合、実際の通信速度は遅くなります。

● 着信する

データ通信中に パソコンで着信の操作を行う

- 本機のメインディスプレイに「データ着信」と表示されます。データ通信を終了するときは、パソコンからデータ通信を切断します。

ご注意

-  を押して応答することはできません。
- 管理者ロックの「着信を電話帳内の番号に限定」(242ページ)が「限定する」に設定されているときは、電話帳に登録されていない電話番号からのデータ着信を受けることができません。
- 管理者ロックの「USB/Bluetooth接続時の通信を許可」(245ページ)が「許可しない」に設定されているときは、着信しますが応答することができません。

お知らせ

-  を押しても、データ通信を切断することができます。
- 電話帳に登録されている電話番号から着信があったときは、登録名と着信番号が表示されます。ただし、以下の場合は、電話帳に登録されている電話番号から着信があった場合でも、登録名は表示されず、着信番号のみが表示されます。
 - ・シークレットモード (231ページ) が「OFF」、および該当する電話帳データの「シークレット設定」(77ページ)が「ON」に設定されているとき
 - ・操作ロック (229ページ)の「電話帳閲覧」が「禁止」に設定されているとき
 - ・管理者ロックの「電話帳の閲覧を許可」(246ページ)が「許可しない」に設定されているとき
- 電話をかけてきた相手が発信者番号を非通知にしているときや、公衆電話からの発信のときなどは、以下のように表示されます。

表示内容	非通知理由
ユーザ非通知	相手が番号通知を拒否している
通知不可能	番号通知ができないエリアや電話機からかけている
公衆電話発信	公衆電話からかけている

- データ通信の着信はデータ通信の発信とは異なり、「閉めるとロック」が設定されていても、着信することができます。
- データ通信を着信したときの電話番号は、着信履歴に記憶されます。

ワイモバイルの各種サービス

● 留守番電話サービスについて（お申し込み必要）

機能番号1*

電源をOFFにしているときや、サービスエリア外にいるとき、また、エリア内にいてもすぐに電話に出られないときや通話中のときに、ワイモバイルの「留守番電話センター」がお客様に代わってメッセージをお預かりするサービスです。ご利用いただくにはあらかじめお申し込みが必要です。お預かりしたメッセージは、本機の外に、プッシュ信号を送信できる一般加入電話や公衆電話からも聞くことができます。

- 留守番電話サービスでは以下の条件にてメッセージをお預かりします。
 - ・ メッセージの最大保存件数：20件
 - ・ メッセージの最大録音時間：1件あたり約60秒
 - ・ メッセージの保存期間：約73時間（保存操作を行うことで、さらに約73時間保存されます）
- お申し込み時は呼出回数7回（約20秒）で留守番電話センターにおつなぎします。
- 呼出回数は1～15回まで選択することができます。
- 「着信転送サービス」と同時に利用することはできません。
- 詳しくはワイモバイル カスタマーセンターまでお問い合わせください。ワイモバイル カスタマーセンターへのお問い合わせは、以下の操作を行います。

待受画面で      

または

待受画面で      

📢 ご注意

- 本機の伝言メモ（57ページ）とは異なりますのでご注意ください。本機の伝言メモでは、サービスエリア外でメッセージを受け取ることはできません。
- 留守番電話サービスでSMSをお預かりすることはできません。
- 留守番電話サービスをご利用いただくには、ワイモバイルへお申し込みが必要です。

メッセージを確認する

留守番電話センターでメッセージをお預かりすると、SMSで本機に通知します。以下の手順でメッセージの有無を確認することもできます。

待受画面で                          <

メッセージを聞く

■ 本機からメッセージを聞く場合

待受画面で  ▶  ▶  ▶  ▶ ガイダンスに従って操作する

または

待受画面で      ▶ ガイダンスに従って操作する



● 「センター留守電あり」と表示されているときは、以下の手順でもメッセージを聞くことができます。

待受画面で  【留守電を聞く】 ▶  または  【発信】

● メッセージを聞く前に、だれからのメッセージかを確認するには、以下の手順で行います（発信者番号読み上げサービス）。

待受画面で      

● メッセージ再生時には利用料がかかります。

■ 一般電話や公衆電話からメッセージを聞く場合

0077-780-931に電話をかける ▶ ガイダンスに従って操作する

本機の電話番号と、留守番電話サービスの暗証番号の入力が必要です。



● ここで入力する暗証番号は、ワイモバイルであらかじめご登録いただく番号です。本機の暗証番号とは異なります。

● プッシュ信号を送信できる電話機以外では、メッセージを聞くことはできません。

留守番電話サービスの設定を変更する

留守番電話サービスの各種設定を変更します。受付時間は24時間（年中無休）です。

■ 本機から設定を変更する場合

待受画面で  ▶  ▶  ▶  ▶ ガイダンスに従って操作する

または

待受画面で     ▶ ガイダンスに従って操作する

■ 一般電話や公衆電話から設定を変更する場合

0800-8888-143に電話をかける ▶ ガイダンスに従って操作する

● 迷惑電話かどうかをお知らせする(迷惑電話チェッカー)(お申し込み必要)

かかってきた電話が迷惑電話の疑いがある場合、警告を表示するサービスです。

📞 ご注意

- 電話帳に登録されている電話番号でも、迷惑電話の疑いのある電話番号と判断された場合は警告が表示されます。
- 発信者の電話番号が不明な場合は警告表示されません。
- 安全運転モード(64ページ)、各種セキュリティ機能(226ページ)を設定中は、安全運転モード、各種セキュリティ機能が優先されます。
- 迷惑電話の疑いのある電話番号と判断された場合、一時的に以下の動作になります。
 - ・「着信時フォルダオープン」の設定にかかわらず、「状態継続」になります(266ページ)。
 - ・「イヤホン自動応答」の設定にかかわらず、「OFF」になります(268ページ)。

📞 お知らせ

- 着信中、通話中(着信したときのみ)、着信履歴などでも迷惑電話の疑いのある電話番号と判断された場合は警告が表示されます。
- 迷惑電話の疑いのある電話番号を、以下の操作で着信拒否の指定番号一覧に登録することができます。「着信拒否する電話番号を設定する」227ページ)。
着信中に **WEB** 「着信拒否に登録」 ▶ 「切る+登録する」

● 割込通話について(お申し込み必要)

ワイモバイルのPHS回線での通話中にかかってきた他の電話を受けることができるサービスです。通話中の電話を保留にしながら、あとからかかってきた電話を受けることができます。簡単なキー操作で通話相手を交互に切り替えることも可能です。

■ 割込通話に応答する場合

通話中に 、電話帳、または 

割込通話に応答すると、それまで通話していた相手とは保留になります。

■ 割込通話を拒否する場合

通話中に **5** または **かろ**

割込通話先の着信が切断されます。

📞 ご注意

- 割込通話をお申し込みしていない場合でも、割込通話の表示がされますが、応答したり拒否することはできません。
- 「通話中着信」(262ページ)を「停止」に設定しているときは、を押して割込通話に応答したり、割込通話中に通話先と保留先を切り替えることができます。また、 **5**を押して割込通話を拒否することもできます。

📞 お知らせ

- 通話先と保留先を切り替えるには、以下の手順で行います。
割込通話中に 、電話帳、または 
- 以下の手順で通話先、保留先ともに通話を終了します。
割込通話中に  ▶ 「はい」
- 割込通話の着信があるときや、割込通話中は、スピーカー/レシーバー(受話部)から「ブツ…ブツ…」という音が聞こえます。
- 割込通話で応答したときの電話番号は、着信履歴に不在着信として記憶されます。

● 着信転送サービスについて（お申し込み不要）

電源をOFFにしているときやサービスエリア外にいるとき、または通話中のときに、かかってきた電話をほかの電話に転送するサービスです。転送先は他のワイモバイル電話機や一般電話、携帯電話などを設定できます。

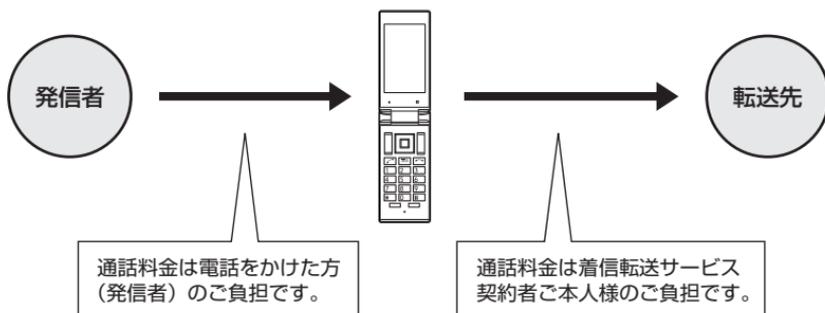
※ご利用には、本機からのお客様ご自身での設定が必要です。

- 海外への転送には対応していません。
- 「留守番電話サービス」と同時に利用することはできません。
- 一部、転送先に指定できない電話機があります。
- 転送された電話の発信者番号および、転送元のワイモバイルの電話番号を、転送先の電話機で表示します。
- 転送先までの通話料金はお客様に負担していただくことになります。
- 4x/2x/1xパケット方式、フレックスチェンジ方式で接続中は、転送サービスを利用できません。
- 詳しくはワイモバイル カスタマーセンターまでお問い合わせください。



- 留守番電話サービスと同様の番号にダイヤルして設定を変更できます（「留守番電話サービスの設定を変更する」311ページ）。

着信転送サービス 契約者ご本人様



● 分計サービスについて（お申し込み必要）

ワイモバイルでは、通話料金の請求先を2ヶ所に分けることができる「分計サービス」を行っています。ビジネスとプライベートの使い分けなどにご利用ください。分計サービスを使わない通話料金はご契約者（主計先）への請求となりますが、分計サービスを使った通話料金は、あらかじめ登録した分計先への請求となります。ご利用にはあらかじめお申し込みが必要です。

- 月額基本料金、付加サービス使用料金などは、主計先に請求されます。
- 分計の設定は1回の通話ごとに解除されます。
- 詳しくはワイモバイル カスタマーセンターまでお問い合わせください。

ご注意

- 分計サービスをご利用いただくには、ワイモバイルへお申し込みが必要です。

分計で電話をかける

例：電話番号を入力して電話をかける場合

待受画面で 電話番号を入力 ▶ **（電話帳 [ダイヤル画面]）** * ▶ **かろ** **【メニュー】** ▶ **「分計発信」、「184分計発信」、または「186分計発信」を選択し、** **□** **【選択】**

*：「すぐ文字」（75ページ）が「ON」に設定されているときに操作します。

通話が終わったら、を押します。分計設定はこの通話のみで、次回以降利用する場合は同様に分計発信の操作をする必要があります。

分計で電話をかける頻度が高い電話番号は、あらかじめ電話帳に登録し、分計設定を「ON」に設定しておくとう便利です（「電話帳データの各項目を登録する」76ページ）。

ご注意

- 分計サービスをお申し込みでない場合は、設定しても分計サービスはご利用になれません。
- 以下の機能では、分計サービスをご利用になれません。
 - ・SMS
 - ・パケット方式でのデータ通信
 - ・Y!mobileへの接続
- ワイモバイル以外の事業者に登録すると、その事業者の付加サービスが受けられない場合があります。

お知らせ

- 分計サービスは、以下の場合などにもご利用が可能です。
 - ・電話帳やダイヤルメモから電話をかけるとき
 - ・発信履歴や着信履歴から電話をかけるとき
 - ・受信メールやその他の内容に含まれる電話番号を利用して電話をかけるとき
- 分計発信時にはメインディスプレイの「」が水色に表示されます（「メインディスプレイの見かた」32ページ）。

ソフトウェアの更新

● 最新のソフトウェアをダウンロードして使う (ソフトウェア更新開始)

機能番号71

本機のソフトウェアがバージョンアップされたり、新しいサービスが追加された場合に、最新のソフトウェアをダウンロードして、本機のソフトウェアを更新できます。

ソフトウェア更新は、本機の電源をいったんOFFにし、再度ONにしてから行ってください。

待受画面で   **7**  **1**   **[OK]**

すでにソフトウェアが最新の場合は、「更新の必要はありません」と表示されます。

ご注意

- ソフトウェアの更新にかかわる情報料、通信料は無料です。
- ソフトウェアの更新には時間がかかることがあります。
- ソフトウェアの更新中は、その他の操作は行えません。「110番」(警察)、「119番」(消防・救急)、「118番」(海上保安本部)へ電話をかけることもできません。
- 電波状態を確認してから更新を開始してください。電波の受信状態が悪い場所では、更新に失敗することがあります。また、ソフトウェアの更新中は、できるだけ場所の移動をしないでください。
- ソフトウェアの更新中は、バッテリーをはずさないでください。
- ソフトウェアを更新しても、本機に登録された各種データ(電話帳、メールの履歴、静止画、動画など)や各種情報は変更されません。
- ソフトウェア更新を行う前には、必ず各種データのバックアップを行ってください。
- 十分に充電してから更新を開始してください。バッテリー残量が「」のときのみ更新できます。
- ソフトウェアの更新に失敗したり中止したときは、再度更新をやり直してください。また、ソフトウェアの更新に失敗した場合、本機は使用できなくなることがあります。本機が使用できなくなった場合は、ワイモバイル カスタマーセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡ください。

ソフトウェア更新が必要であることを自動でお知らせする (ソフトウェア更新通知)

機能番号72

ソフトウェアの更新が必要かどうかを定期的に自動で確認してお知らせするように設定します。

お買い上げ時：
「通知する」

待受画面で   **7**  **2**  **1** **「通知する」**

ソフトウェア更新が必要な場合は「更新が必要です」と表示されます。ソフトウェアの更新を行ってください。ソフトウェア更新を行わなかった場合は、待受画面に「ソフトウェア更新をしてください」のアイコンが表示されます。

ご注意

- 「通知しない」に設定した場合は、ソフトウェア更新が必要なときでも、待受画面に「ソフトウェア更新をしてください」のアイコンは表示されません。

● 主な仕様

質量	約113g (バッテリー装着時)	
バッテリー質量	約17g	
サイズ (幅×高さ×厚さ)	約50×110×16.4mm (本機を閉じている状態)	
連続待受時間	約720時間	
連続通話時間	10時間	
メインディスプレイ	3.0インチ/240×400ドット	
撮影素子	CMOS	
有効画素数	約500万画素	
Bluetooth機能	対応バージョン	Bluetooth 標準規格 Ver.2.1+EDRに準拠
	出力	Bluetooth 標準規格 Power Class 2
	対応プロファイル	HSP/HFP/PBAP/SPP*/PVP/PAN

* : 本機では、SPPIはお知らせシェア以外の用途には使えません。

● ご注意

- 連続待受時間や連続通話時間は、充電状態や気温などの使用環境、使用場所の電波状態、機能の設定などにより半分以下になる場合があります。
- メインディスプレイ/節電画面の設定やキーバックライト点灯時間の照明の設定によって、ご利用できる時間が短くなります。

● バッテリーの交換

お買い上げ時にはバッテリーは装着されていません。また、交換する場合は必ず電源をOFFにしてください。

● ご注意

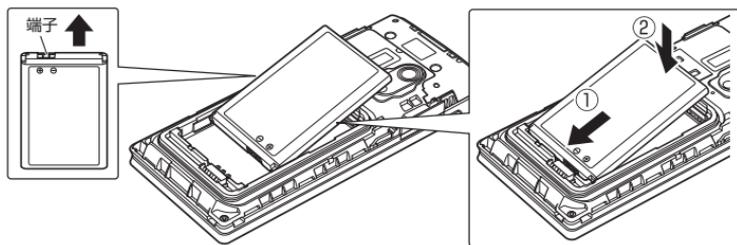
- バッテリーカバーは浮かないように確実に取り付けてください。浮いた状態の場合は無理に押し込まず、再度取り付け直してください。バッテリーカバーが確実に取り付けられていないと、水滴などが浸入し、故障の原因となります。
- 取り付け/取りはずしの際にバッテリーに無理な力を加えたり、無理に挿入しないでください。傷害、故障、破損の原因になります。

● お知らせ

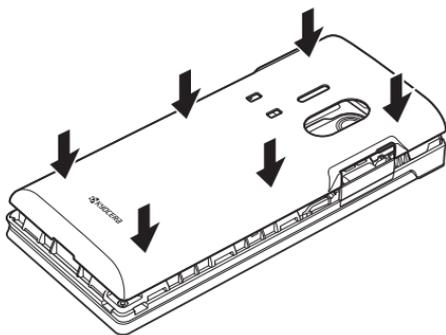
- バッテリーをお買い求めいただく際は、京セラホームページをご覧ください。また、京セラテクニカルサービスセンターへご連絡ください。

■ バッテリーを取り付ける場合

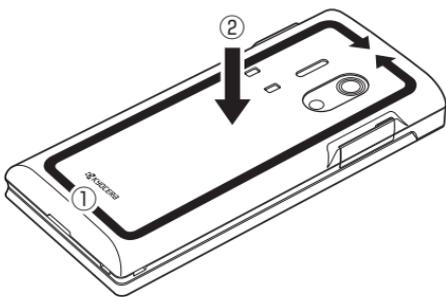
- 1 バッテリーを図のように、①→②の順で矢印の方向へしっかりと押し込みます。



- 2 バッテリーカバーと本体を合わせるように置き、バッテリーカバーを矢印の方向へ押しします。

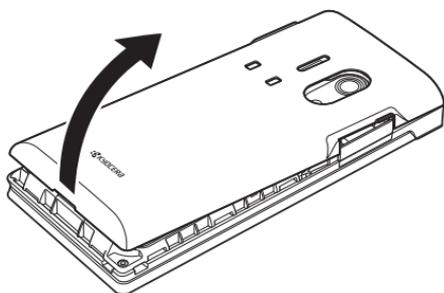


- 3 バッテリーカバーの外周を①の方向になぞり、②の方向にしっかり押さえ、完全に装着させます。

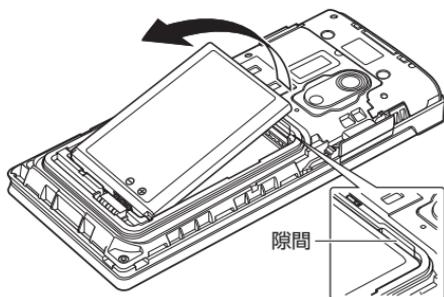


■ バッテリーを取りはずす場合

- 1 本体のくぼみに指先（ツメ）をかけて、矢印の方向へゆっくと持ち上げるようにして取りはずします。



- 2 バッテリーと本体の隙間に指先（ツメ）をかけて、バッテリーを矢印の方向に引き上げて取りはずします。



● 故障とお考えになる前に

まず、以下のことをご確認ください。それでも改善されない場合は、京セラテクニカルサービスセンター（裏表紙の前のページ）へご連絡ください。

■ 本体について

症状	原因
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ● [] を長く（2秒以上）押していますか？（→41ページ） ● バッテリーは正しく取り付けられていますか？（→319ページ） ● バッテリーは十分に充電されていますか？（→39ページ）
電話がかかけられない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電話番号が間違っていないですか（市外局番からダイヤルしていますか）？ ● 「」が表示されていませんか？（→32ページ） ● サービスエリア外、または電波の届きにくい場所にいませんか？ ● [] を押ししましたか？（→48ページ） ● 「閉めるとロック」が設定されていませんか？閉めるとロックを解除してください。（→226ページ） ● 「操作ロック」の「ダイヤル発信」が「禁止」に設定されていませんか？「許可」に設定してください。（→229ページ） ● 「操作ロック」の「電話帳閲覧」が「禁止」に設定されていませんか？「許可」に設定してください。（→229ページ） ● 「操作ロック」の「スピードダイヤル」が「禁止」に設定されていませんか？「許可」に設定してください。（→229ページ） ● 「リモートロック」がかかっていますか？（→234ページ） ● 「管理者ロック」が設定されていませんか？（→239ページ）
着信音が鳴らない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 着信音量が「OFF」に設定されていませんか？（→194ページ） ● マナーモードが設定されていませんか？（→61ページ） ● 「伝言メモ応答時間」が「00秒」に設定されていませんか？（→59ページ） ● 安全運転モードが設定されていませんか？（→64ページ）
電話が着信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● サービスエリア外、または電波の届きにくい場所にいませんか？ ● 「着信拒否」が設定されていませんか？（→227ページ） ● 電源が入っていますか？（→41ページ） ● 「」が表示されていませんか？（→32ページ） ● 機種変更前のワイモバイル電話機の電源が入っている場合、本機では、発信はできても着信ができないことがあります。機種変更前のワイモバイル電話機の電源が切られているかご確認ください。
相手の声が聞こえない。	<ul style="list-style-type: none"> ● レシーバー（受話部）にシールなどが貼られていますか？ ● レシーバー（受話部）付近を耳に当て、耳を覆うようにしてください。 ● 受話音量が最小になっていませんか？（→66ページ） ● サービスエリア外、または電波の届きにくい場所にいませんか？
自分の声が伝わらない。	<ul style="list-style-type: none"> ● マイク（送話口）がシールなどでふさがれていませんか？ ● 相手側の機器の受話音量が最小になっていませんか？ ● サービスエリア外、または電波の届きにくい場所にいませんか？
充電ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ACアダプタ（オプション品）をコンセントに差し込んでいますか？（→39ページ） ● 本機の外部接続端子や充電端子、または卓上ホルダの充電端子は汚れていませんか？ ● 卓上ホルダに正しくはめ込まれていますか？また、卓上ホルダに装着したときに、ストラップなどが挟まっていますか？（→39ページ） ● USB充電の場合、USBケーブル（別売）を接続しているパソコンに問題はありませんか？ ● 「USB充電」が「OFF」に設定されていませんか？（→41ページ） ● 充電可能な温度の範囲外になっていませんか？（→38ページ） ● バッテリー残量によっては充電ランプが点灯するまでに時間がかかる場合があります。ACアダプタ（オプション品）を使用して30分以上充電し、充電ランプが点灯するかご確認ください。

症状	原因
バッテリーを利用できる時間が短い。	<ul style="list-style-type: none"> ● 圏外や電波の届きにくい場所でのご利用や、カメラやメール、インターネットなどのご利用が多い場合は、バッテリーの消耗が早くなる場合があります。 ● 通常のご使用で利用時間が短い場合や膨らみが発生している場合はバッテリーの寿命です。交換してください。特に高温や低温環境では充電容量が少なくなっており使用時間が短くなります。(→318ページ) ● 「ランプ色設定」で「通話中」、「WEB起動中」、「Java™アプリ起動中」が「なし」以外に設定されていませんか？(→207ページ) ● 「WEB照明」、「メール照明」、「その他照明」の「点灯時間」がお買い上げ時の設定以上または「常時点灯」に設定されていませんか？(→209ページ) ● 「節電画面」が「節電画面にしない」に設定されていませんか？(→210ページ) ● 「キーバックライト点灯時間」をお買い上げ時の設定以上に設定していませんか？(→211ページ) ● ストラップや装飾シールなどでキーが押されていませんか？
画面表示が消える。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「節電画面」で設定した節電時間後に節電画面になります。ただし、「節電画面」の設定によって、通話開始時の動作が以下のように変わります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「節電画面にしない」以外に設定している場合、通話開始時は設定にかかわらず5秒後に節電画面になります。 ・ 「節電画面にしない」に設定している場合、通話開始時は5秒後に節電画面にはならず、設定どおり動作します。(→210ページ)
サイドキーを押しても反応がない。	<ul style="list-style-type: none"> ● サイドキー操作無効が設定されていませんか？待受画面に「」が表示されているときはサイドキー操作無効が設定されています。サイドキー操作無効が設定されている場合は、本体を開いて「」を長く(1秒以上)押し解除してください。(→67ページ)

■メール/SMSについて

症状	原因
Eメールを作成しようとすると「!容量が不足しています。不要なメールを削除してください」と表示され、Eメールを作成できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 不要なメール(受信/送信/未送信/下書き)を削除し、Eメール作成に必要な空き容量を確保してください。(→117ページ)
Eメールを作成し送信しようとすると「!メールBOXがいっぱいです。メールを保存できません」と表示され、送信できない。また、送信待ち保存、下書き保存もできず同じメッセージが表示される。	<ul style="list-style-type: none"> ● 添付ファイルを削除してから下書き保存した後、不要な受信メールを削除して空き容量を確保してください。空き容量を確保したら、下書き保存したEメールを編集して添付ファイルを追加後、送信してください。
Eメール(オンラインサインアップで取得したワイモバイルのEメールアカウント)/SMSの送受信ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● オンラインサインアップをされていますか？(→92ページ) ● PIAFS接続でのインターネットをご利用の間は、Eメール自動受信/SMS受信はできません。 ● オンラインサインアップで「蓄積」が「しない」に設定されていませんか？(→93ページ) ● 「メール接続先」が「Y!mobile」に設定されていますか？(→119ページ) ● 「Y!mobile」に設定されている場合、「Eメール送受信設定」の「受信メールアカウント」[Eメール]が「ON」に設定されていますか？(→119ページ) ● 違うサーバーにアクセスしている可能性があります。もう一度、POPサーバーやSMTPサーバーの設定をご確認ください。(→121ページ) ● 「操作ロック」の「メール」が「禁止」に設定されていませんか？(→229ページ) <p><Y!mobile経由の場合></p> <ul style="list-style-type: none"> ● オンラインサインアップが正しくされなかった可能性があります。オンラインサインアップをやり直してから、再度接続してください。(→92ページ)

症状	原因																				
<p>プロバイダーメールの送受信ができない。</p>	<p>● プロバイダーとご契約をされていますか？ご契約されている場合、そのプロバイダーがY!mobileに対応しているかご確認ください。</p> <p>● プロバイダーによっては、ワイモバイル電話機で接続する場合に別途申し込みやご契約が必要な場合があります。詳しくは各プロバイダーへお問い合わせください。</p> <p><Y!mobile経由（本機単体）の場合></p> <p>● 「操作ロック」の「メール」が「禁止」に設定されていませんか？（→229ページ）</p> <p>● 「メール接続先」が「Y!mobile」に設定されていますか？（→119ページ）「メール接続先」が「Y!mobile」に設定されている場合、「Eメール送受信設定」の「受信メールアドレス」で、ご自身で登録された「アカウント1」または「アカウント2」が「ON」に設定されていますか？（→119ページ）</p> <p><プロバイダー経由（本機単体）の場合></p> <p>● 「接続先/アカウント設定」の「アカウント設定」で「アカウント1」または「アカウント2」に、ご利用になりたいプロバイダーのアカウント情報が登録されていますか？（→122ページ）特に下記内容を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「メールサーバー設定」の「受信サーバー（POP）」の設定と「サーバー詳細設定」の「POPポート番号」は正しいですか？（通常はポート番号「110」になります）（→121ページ） ・ 「メールサーバー設定」の「送信サーバー（SMTP）」の設定と「サーバー詳細設定」の「SMTPポート番号」は正しいですか？（→121ページ） <p>● 「メール接続先」がご自身で登録された「接続先1」または「接続先2」に設定されていますか？（→119ページ）「メール接続先」が「接続先1」または「接続先2」に設定されている場合、「Eメール送受信設定」の「受信メールアドレス」で、ご利用になりたいプロバイダーのアカウントが「ON」に設定されていますか？（→123ページ）</p> <p>● 本機のダイヤルアップ設定（→155ページ）は正しいですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電話番号は、ご契約内容や接続方式によって変わりますので、ご契約内容や接続方式にあった電話番号を設定してください。また、本機は8xパケット方式には対応しておりません。 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>4x/2xパケット方式接続の場合</td> <td>： 電話番号 + [##64]</td> </tr> <tr> <td>1xパケット方式接続の場合</td> <td>： 電話番号 + [##61]</td> </tr> <tr> <td>フレックスチェンジ方式接続の場合</td> <td>： 電話番号 + [##7]</td> </tr> <tr> <td>64kbps PIAFS接続の場合</td> <td>： 電話番号 + [##4]</td> </tr> <tr> <td>32kbps PIAFS接続の場合</td> <td>： 電話番号 + [##3]</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 正しいユーザー名を入力してください。 ・ 正しいパスワードを入力してください。 ・ プロバイダーから指定があった場合は、詳細設定・プロキシ設定にその情報を入力してください。 <p>詳しい設定方法については、各プロバイダーへお問い合わせください。</p> <p><パソコンでのデータ通信の場合></p> <p>● USBケーブル（別売）はきちんとパソコンに差し込まれていますか？（→306ページ）</p> <p>● USBドライバをインストールしていますか？（→306ページ）</p> <p>● 本機の電源は入っていますか？（→41ページ）</p> <p>● 「操作ロック」の「データ発信」が「禁止」に設定されていませんか？（→229ページ）</p> <p>● データ通信をする場合、「発信者番号通知」が「OFF」に設定されていませんか？プロバイダーによっては、「発信者番号通知」を「OFF」に設定しているところがない場合があります。（→52ページ）</p> <p>● パソコンのダイヤルアップの設定項目は正しいですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電話番号は、ご契約内容や接続方式によって変わりますので、ご契約内容や接続方式にあった電話番号を設定してください。また、本機は8xパケット方式には対応しておりません。 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>4x/2xパケット方式接続の場合</td> <td>： 電話番号 + [##64]</td> </tr> <tr> <td>1xパケット方式接続の場合</td> <td>： 電話番号 + [##61]</td> </tr> <tr> <td>フレックスチェンジ方式接続の場合</td> <td>： 電話番号 + [##7]</td> </tr> <tr> <td>64kbps PIAFS接続の場合</td> <td>： 電話番号 + [##4]</td> </tr> <tr> <td>32kbps PIAFS接続の場合</td> <td>： 電話番号 + [##3]</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 正しいユーザー名を入力してください。 ・ 正しいパスワードを入力してください。 ・ プロバイダーから指定があった場合は、詳細設定・プロキシ設定にその情報を入力してください。 <p>詳しい設定方法については、各プロバイダーへお問い合わせください。</p>	4x/2xパケット方式接続の場合	： 電話番号 + [##64]	1xパケット方式接続の場合	： 電話番号 + [##61]	フレックスチェンジ方式接続の場合	： 電話番号 + [##7]	64kbps PIAFS接続の場合	： 電話番号 + [##4]	32kbps PIAFS接続の場合	： 電話番号 + [##3]	4x/2xパケット方式接続の場合	： 電話番号 + [##64]	1xパケット方式接続の場合	： 電話番号 + [##61]	フレックスチェンジ方式接続の場合	： 電話番号 + [##7]	64kbps PIAFS接続の場合	： 電話番号 + [##4]	32kbps PIAFS接続の場合	： 電話番号 + [##3]
4x/2xパケット方式接続の場合	： 電話番号 + [##64]																				
1xパケット方式接続の場合	： 電話番号 + [##61]																				
フレックスチェンジ方式接続の場合	： 電話番号 + [##7]																				
64kbps PIAFS接続の場合	： 電話番号 + [##4]																				
32kbps PIAFS接続の場合	： 電話番号 + [##3]																				
4x/2xパケット方式接続の場合	： 電話番号 + [##64]																				
1xパケット方式接続の場合	： 電話番号 + [##61]																				
フレックスチェンジ方式接続の場合	： 電話番号 + [##7]																				
64kbps PIAFS接続の場合	： 電話番号 + [##4]																				
32kbps PIAFS接続の場合	： 電話番号 + [##3]																				

症状	原因
プロバイダーメールの送受信ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● データ転送またはUSBマストレージを使用していないか？データ転送またはUSBマストレージを終了し本機とUSBケーブル（別売）を接続しなおしてから、本機で「モデム」を選択してください。（→306ページ） ● 正常に接続された状態で、Eメールの送受信ができない場合は、本機の電源を入れ直してください。（→41ページ） ● パソコン環境によっては、常駐するアプリケーションを停止もしくは削除しないと接続できない場合があります。 ● パソコンに内蔵あるいは接続されたモデムなどのネットワーク装置と本機（USBケーブル接続）が競合している可能性があります。以下の設定をし、パソコンを再起動してください。 「コントロールパネル」▶「システム」▶「ハードウェア」▶「デバイスマネージャ」▶「デバイスマネージャ」で競合しているモデムなどを「このデバイスを使わない」「無効」に設定 ●  が表示されていませんか？（→32ページ）
Eメール（オンラインサインアップで取得したワイモバイルのEメールアカウント）の自動受信ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● プロバイダーメールは自動受信できません。Eメール自動受信ができるのは、ワイモバイルのオンラインサインアップで取得したEメールアカウントのみになりますので、お客様ご自身で受信動作を行ってください。（→108ページ） ● ワイモバイルのオンラインサインアップで取得したEメールアカウントが自動受信できない場合は、以下の内容を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ オンラインサインアップで、「Eメール自動受信」が設定されていますか？（新着メール通知と同時に自動受信を申し込むことはできません）（→93ページ） ・ 「Eメール自動受信機能」が「ON」に設定されていますか？（→121ページ） ・ 着信拒否でワイモバイルがサービスに利用する番号「070-696-1000」が設定されていませんか？（→227ページ） ● 機種変更前のワイモバイル電話機の電源が入っている場合は、電源を切ってください。
添付ファイルが削除されてしまう。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「受信行数制限設定」が「ON」に設定されていませんか？「ON」に設定されている場合、受信する一通あたりのメールデータ量を行数で指定されますので、その設定よりも実際のデータ量が大きい場合に添付ファイルが削除される可能性があります。「OFF」に設定されている場合、Eメールの添付ファイルは約700KB以内まで表示できます。（→120ページ） ● オンラインサインアップで、「添付削除」が「する」に設定されていませんか？「添付削除」を「しない」、または「ワイモバイル・他社携帯電話/PHSから以外は削除する」に設定してください。（→93ページ）
添付ファイルが開覧できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 画像サイズによっては開覧できない場合があります。データフォルダへ保存してから表示してください。データフォルダで表示できる画像サイズは、3264×2448ピクセルまでです。また、画像のファイル形式が違う場合、表示できないことがあります。（→179ページ）
受信メールが文字化けしている。	<ul style="list-style-type: none"> ● 携帯電話やPHS、またはパソコンなどから送信された絵文字は、メールサーバーによっては正常に送受信できない場合があります。 ● パソコンからメールを送信したときは文字化けする場合があります。パソコンのメール設定を確認してください。 ● 対応していない絵文字が本文中にあると、文字化けする場合があります。送信者に絵文字を削除して再送信していただくよう依頼してください。
携帯電話やPHSへ画像付きメールを送信しても画像を見ることができません。	<ul style="list-style-type: none"> ● 受信できる画像が小さい画面サイズのみ携帯電話やPHSに、カメラで撮影した静止画を送信する場合、撮影した静止画を一度データフォルダに保存してください。データフォルダからその静止画を選択し、データ再生中のメニューから「画像変換」→「リサイズ」を選択すると、画像サイズが小さくなります。その静止画をメールに添付すると送信が可能です。（→183ページ）
オンラインサインアップができない（ユーザーネームが登録できない）。	<ul style="list-style-type: none"> ● メールアドレスに以下のような不適当な入力をしていませんか？（→92ページ） <ul style="list-style-type: none"> ・ 「.（ドット）」などを入力していませんか？入力可能な文字は、半角英数字と「-（ハイフン）」、「_（アンダーバー）」です。 ・ 先頭にスペースが入っていませんか？ ・ 「@」より右側は入力しないでください。 ・ 頭文字は必ず英字にしてください。 ・ 3文字以下または21文字以上入力していませんか？ ● すでに登録されているユーザーネームは登録できません。
エラーメールが返信されてくる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「MAILER-DAEMON」：送信先のメールアドレスを間違えていませんか？

症状	原因
Eメールの本文が途中で切れてしまう。	●「受信行数制限設定」が「ON」に設定されていませんか？また、受信行数以上のメールを受信しようとしていませんか？（→120ページ）
「Eメールガトドキマシタ」のメールがくる。	●Eメール受信を行ってください。（→108ページ） ●ワイモバイルのオンラインサインアップで取得したEメールアカウントの新着メール通知です。このメールが不要な場合には、オンラインサインアップで「Eメール自動受信／新着メール通知」を「Eメール自動受信」または「しない」に設定してください。（→93ページ）
「ジュシゲンドデス」のメールがくる。	●ワイモバイルのオンラインサインアップで取得したEメールアカウントの受信限度メール通知です。「Eメール削除設定」を「保存」に設定していませんか？（→120ページ） ●このメールが不要な場合には、オンラインサインアップで「受信限度メール通知」を「しない」に設定してください。（→93ページ）
Eメール（ワイモバイルのオンラインサインアップで取得したEメールアカウント）にお知らせメールがくる。	●ワイモバイルのオンラインサインアップで取得したEメールアカウントのお知らせメールです。お知らせメールを受信しないようにするには、オンラインサインアップで「お知らせメール配信」を「希望しない」に設定してください。（→93ページ）
Eメール（ワイモバイルのオンラインサインアップで取得したEメールアカウント）に未承諾広告メールがくる。	●未承諾広告メールを拒否するには、オンラインサインアップで「未承諾広告メール拒否」を「する」に設定してください。（→93ページ）

■インターネットのご利用について

症状	原因
インターネットに接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●「発信者番号通知」が「OFF」に設定されていませんか？プロバイダーによっては「発信者番号通知」を「OFF」に設定しているとつながることがあります。（→52ページ） ●「操作ロック」の「WEB」が「禁止」に設定されていませんか？（→229ページ） <p><Y!mobile経由（本機単体）の場合></p> <ul style="list-style-type: none"> ●インターネットの「接続先設定」が、「Y!mobile」に設定されていますか？（→132ページ） <p><プロバイダー経由（本機単体）の場合></p> <ul style="list-style-type: none"> ●プロバイダーとご契約をされていますか？ご契約されていない場合は、ワイモバイルが提供するプロバイダーサービス「PRIN」で設定することも可能です。 ●プロバイダーがY!mobileに対応しているか確認してください。 ●プロバイダーによっては、ワイモバイル電話機で接続する場合に別途お申し込みや契約が必要な場合があります。詳しくは各プロバイダーへお問い合わせください。 ●本機のダイヤルアップ設定（→155ページ）は正しいですか？ <ul style="list-style-type: none"> ・電話番号は、ご契約内容や接続方式によって変わりますので、ご契約内容や接続方式にあった電話番号を設定してください。また、本機は8×パケット方式には対応していません。 4×/2×パケット方式接続の場合 ：電話番号＋「##64」 1×パケット方式接続の場合 ：電話番号＋「##61」 フレックスチェンジ方式接続の場合 ：電話番号＋「##7」 64kbps PIAFS接続の場合 ：電話番号＋「##4」 32kbps PIAFS接続の場合 ：電話番号＋「##3」 ・正しいユーザー名を入力してください。 ・正しいパスワードを入力してください。 ・プロバイダーから指定があった場合は、詳細設定・プロキシ設定にその情報を入力してください。 <p>詳しい設定方法については、各プロバイダーへお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●インターネットの「接続先設定」が「接続先1」または「接続先2」（お買い上げ時の設定）に設定されていますか？（→132ページ）

症状	原因
<p>インターネットに接続できない。</p>	<p><パソコンでのデータ通信の場合></p> <ul style="list-style-type: none"> ● USBケーブル(別売)はきちんとパソコンに差し込まれていますか？(→306ページ) ● USBドライバをインストールしていますか？(→306ページ) ● 本機の電源は入っていますか？(→41ページ) ● 「操作ロック」の「データ発信」が「禁止」に設定されていませんか？(→229ページ) ● パソコンのダイヤルアップの設定項目は正しいですか？(→155ページ) <ul style="list-style-type: none"> ・ 電話番号は、ご契約内容や接続方式によって変わりますので、ご契約内容や接続方式にあった電話番号を設定してください。また、本機は8xパケット方式には対応しておりません。 <ul style="list-style-type: none"> 4x/2xパケット方式接続の場合 : 電話番号 + [##64] 1xパケット方式接続の場合 : 電話番号 + [##61] フレックスチェンジ方式接続の場合 : 電話番号 + [##7] 64kbps PIAFS接続の場合 : 電話番号 + [##4] 32kbps PIAFS接続の場合 : 電話番号 + [##3] ・ 正しいユーザー名を入力してください。 ・ 正しいパスワードを入力してください。 ・ プロバイダーから指定があった場合は、詳細設定・プロキシ設定にその情報を入力してください。 詳しい設定方法については、各プロバイダーへお問い合わせください。 ● データ転送またはUSBマストレージを使用していませんか？データ転送またはUSBマストレージを終了し本機とUSBケーブル(別売)を接続しなおしてから、本機で「モデム」を選択してください。(→306ページ) ● 正常に接続された状態で、インターネット接続できない場合は、本機の電源を入れ直してください。(→41ページ) ● パソコン環境によっては、常駐するアプリケーションを停止もしくは削除しないと接続できない場合があります。 ● パソコンに内蔵あるいは接続されたモデムなどのネットワーク装置と本機(USBケーブル接続)が競合している可能性があります。以下の設定をし、パソコンを再起動してください。 「コントロールパネル」▶「システム」▶「ハードウェア」▶「デバイスマネージャ」▶「デバイスマネージャー」で競合しているモデムなどを「このデバイスを使わない」「無効」に設定
<p>インターネットに接続したがWebページがうまく表示されない(本機単体)。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● パソコン向けのWebページでは、容量が大きすぎて表示できなかったり、途中で切れてしまう場合があります。 ● Java™を使ったWebページは表示できない場合があります。 ● URLを間違えていませんか？(→134ページ) ● 以下の「オプション」(ブラウザの環境設定)を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「画像」または「アニメーション」が「表示しない」に設定されていませんか？(→144ページ) ・ 「BGM」が「OFF」に設定されていませんか？(→144ページ) ・ 「Cookieモード」が「受け入れない」に設定されていませんか？(→145ページ) ・ 「JavaScript」または「テーブル」が「無効」に設定されていませんか？(→144ページ) ● パソコン向けのWebページでは、ブラウザを制限しているものもあり、表示できないことがあります。 ● 「ユーザーエージェント」を切り替えてみてください。(→145ページ) ● デスクトップモード時、左上部分に何も配置されていないWebページを表示していませんか？スクロールをしてみてください。 ● 動画を使用しているWebページは表示できない場合があります。
<p>i-mode,SoftBank(S!),EZwebの専用Webページが閲覧できない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● Webページ側で、専用端末以外からの接続を拒否するような設定をしている場合は閲覧できません。

■ガジェットについて

症状	原因
ガジェットプレーヤーが終了できない。	● ガジェットプレーヤーを終了するには、  を押してください。
ガジェットの最大化が解除できない。	● ガジェットの最大化を解除するには、  【最小化】または  を押してください。
ガジェットの動作が遅い。	● ガジェットによっては動作が遅くなる場合があります。
ガジェットが更新されない。	● 更新しようとしているガジェットが登録中になっていませんか？登録中のガジェットは最新の状態に更新することはできません。更新する場合は、ガジェットの登録を解除してから行ってください。(→153、154ページ)
登録していたガジェットが表示されない。	● ガジェットの登録を解除していませんか？(→153ページ) ● 「メモリリセット」／「完全消去+初期化」を行っていませんか？「メモリリセット」／「完全消去+初期化」でリセットすると、ガジェットプレーヤーに登録されたガジェット、および「ガジェット一覧」にインストールされているガジェットはお買い上げ時の状態に戻ります。(→232ページ)
ガジェットが「×」と表示される。	● ガジェットプレーヤーのメニューで「設定情報の削除」を行ってください。(→153ページ)ただし、「設定情報の削除」を行ったガジェットの情報(更新データや各種設定など)は削除されますので、ご注意ください。

■ディスプレイ表示

症状	原因
電話帳に登録している相手からの着信時(受信時)に、名前表示されない。	● 電話帳に登録している相手のデータのシークレット設定が「ON」になっていませんか？(→77ページ) <電話帳に登録しているすべての相手の名前表示がされない場合> ● サブディスプレイの「着信番号表示」が「OFF」に設定されていませんか？(→206ページ) ● 「名前表示」が「OFF」に設定されていませんか？(→208ページ) ● 「操作ロック」の「電話帳閲覧」が「禁止」に設定されていませんか？(→229ページ) ● 「管理者ロック」が設定されていませんか？(→239ページ) <電話帳に登録している一部の相手からのみ名前表示がされない場合> ● 電話帳登録が正しくされていない可能性があります。再度登録してください。着信履歴(受信メールの宛先一覧)から新規で電話帳登録し、以前の登録を削除して改善されるか確認してください。また、電話帳の登録した電話番号と着信(受信)した電話番号が完全に一致しないと「名前表示」はしません(サブアドレス付の着信の場合などは、サブアドレスまで電話帳登録しないと「名前表示」はしません)。(→76ページ) ● 同じ電話番号を2重に登録していませんか？2重に登録している場合は、その電話番号から電話がかかってきた場合、電話帳No.の小さい電話帳に登録した名前表示をします。 ● 電話帳に登録している相手が、番号非通知で電話をかけていませんか？
サブディスプレイの表示が切り替わっている。	● 「時計表示」(206ページ)を「サイクル」に設定している状態で、サブディスプレイが点灯しているときにシャッター/メモ  (サイドキー)を押すと切り替わります。(→34ページ)
サブディスプレイが点灯しない。	● 電源が入っていますか？(→41ページ) ● サブディスプレイの「表示設定」が「OFF」に設定されていませんか？(→206ページ)
ランプが点灯しない。	● 電源が入っていますか？(→41ページ) ● 「ランプ点灯」が「点灯しない」、または「ランプ色設定」の各設定が「なし」に設定されていませんか？(→207ページ)
シークレットモードを「ON」に設定して電話帳登録をし、シークレットモードを「OFF」に戻したが電話帳が見えたままになっている。	● 電話帳登録の際、「シークレット設定」を「ON」に設定してください。(→77ページ)

症状	原因
サイドキーを押してもサブディスプレイの表示が変更できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● サイドキー操作無効が設定されていませんか？ [✳]を長く（1秒以上）押し解除してください。（→67ページ） ● 「時計表示」を「サイクル」以外に設定していませんか？（→206ページ）
ディスプレイの右下の顔のマークの横に数字が表示されている。	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音件数の表示です。（→57ページ） ● 録音が10件入っていると「ただいま電話に出ることができません。後程おかけ直しください」とアナウンスが相手に流れます。 ● 未再生の伝言メモがあるときは数字が赤く表示されます。未再生の伝言メモをすべて再生すると表示が白くなります。（→60ページ）
ディスプレイに車のマークが表示されている。	● 安全運転モードが設定されています。設定を解除するには、待受画面で[✳]を長く（1秒以上）押ししてください。（→64ページ）
ディスプレイのポップアップが消えない。	● 「壁紙オプション」を「ガジェット」に設定していませんか？ガジェットプレーヤーを起動してガジェットの操作をしてください。（→152ページ）
ディスプレイに「×」と表示される。	● 「壁紙オプション」を「ガジェット」に設定していませんか？ガジェットプレーヤーのメニューで「設定情報の削除」を行ってください。（→153ページ）ただし、「設定情報の削除」を行ったガジェットの情報（更新データや各種設定など）は削除されますので、ご注意ください。
アイコン表示エリアにアイコンが表示されない。	● ガジェットプレーヤーが起動していませんか？（→152ページ）

■赤外線通信について

症状	原因
赤外線通信ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 送信側、受信側それぞれ準備ができていますか？（→285、286ページ） ● 本機と相手側の赤外線ポートの間が離れすぎていませんか？相手側の赤外線ポートとの距離を20cm以内にしてください。（→284ページ） ● 赤外線ポートが汚れていたり、障害物等がある場合、また直射日光が強く当たる場所や蛍光灯、赤外線装置の近くでは正しく通信できない場合があります。（→284ページ） ● 送信側が「シンプルキャスト」や「IrSS」などの高速通信で送信していませんか？本機は高速通信に対応していません。

■その他

症状	原因
着信履歴をみると電話番号の後に「*123」のように表示される。	● 発信元がSDN回線で会社の内線があるような場合に 표시됩니다。
待受画面の操作ができない。	● ガジェットプレーヤーが起動していませんか？（→152ページ）
「センター留守電あり」と表示される。	● ワイモビルの留守番電話サービスで、メッセージをお預かりしている通知です。 [✳][9][3][1]または[99][留守電を聞く]を押して発信し、メッセージを聞いてください。（→311ページ）
アラームが時間どおりに鳴らない。	● アラームの設定時間に電源を切っているなどの場合は、時間どおりに鳴りません。（→252ページ）
急にモデムが認識しなくなった。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源を入れ直してください。（→41ページ） ● データ転送またはUSBマストレージを使用していませんか？データ転送またはUSBマストレージを終了し本機とUSBケーブル（別売）を接続しなおしてから、本機で「モデム」を選択してください。（→306ページ）
microSDカードの操作ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機にmicroSDカードが挿入されていますか？microSDカードによっては、フォーマットしないと使えないものがあります。本機でフォーマットしてから使用してください。（→189ページ） ● バッテリー残量が少なくなっていますか？バッテリー残量が少ないと、microSDカードを利用できない場合があります。（→32ページ） ● 「管理者ロック」が設定されていませんか？（→239ページ）
マストレージが利用できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● USBケーブル（別売）で、パソコンと本機を接続していますか？USBケーブルでパソコンと本機を接続し、「アクセサリ」から「USBマストレージ」を起動してください。（→192ページ） ● 「管理者ロック」が設定されていませんか？（→239ページ）

症状	原因
Bluetoothのヘッドセットで通話ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ●本機のBluetooth機能をONにしていますか？ 本機とヘッドセット機器を接続してください。(→292ページ) ●ヘッドセット機器の電源は入っていますか？
Bluetoothのハンズフリーで通話ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ●本機のBluetooth機能をONにしていますか？ 本機とハンズフリー機器を接続してください。(→292ページ) ●ハンズフリー機器の電源は入っていますか？
Bluetooth通話ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ●本機のBluetooth機能をONにしていますか？ ●本機と電話機(スマートフォンなど)を接続してください。(→292ページ) ●電話機(スマートフォンなど)の電源は入っていますか？
Bluetoothでの電話帳データ送受信ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ●本機のBluetooth機能をONにしていますか？ ●本機と電話機(スマートフォンなど)を接続してください。(→292ページ) ●電話機(スマートフォンなど)の電源は入っていますか？ ●電話機(スマートフォンなど)がPBAPのプロファイルに対応していますか？
お知らせシェアを利用できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●本機のBluetooth機能をONにしていますか？ ●本機とスマートフォンを接続してください。(→292ページ) ●スマートフォンの電源は入っていますか？ ●スマートフォンがお知らせシェアに対応していますか？ ●スマートフォンに「お知らせシェアアプリ」がインストールされていますか？(→293ページ)
だれとでも定額バス/テザリングを利用できない	<ul style="list-style-type: none"> ●本機のBluetooth機能をONにしていますか？ ●本機とスマートフォンを接続してください。(→292ページ) ●スマートフォンの電源は入っていますか？ ●スマートフォンがだれとでも定額バス/テザリングに対応していますか？ ●スマートフォンに「だれとでも定額バスアプリ」がインストールされていますか？(→302ページ)

■エラーメッセージについて(本機単体)

症状	原因
「接続に失敗しました」(メール時のみ)出るエラーメッセージ)	<ul style="list-style-type: none"> ●<small>[メモ]</small> ▶ 「設定」 ▶ 「接続先/アカウント設定」 ▶ 「アカウント設定」 ▶ 「アカウント1」または「アカウント2」 ▶ 「メールサーバー設定」で以下の項目を確認してください。(→121ページ) <ul style="list-style-type: none"> ・受信サーバー (POP) の設定を間違えていませんか？ (→121ページ) ・送信サーバー (SMTP) の設定を間違えていませんか？ (→121ページ) ・サーバー詳細設定の「SMTPポート番号」、「POPポート番号」の設定を間違えていませんか？ (→121ページ) ・受信サーバー (POP)・送信サーバー (SMTP) の設定が正しい場合、DNSサーバーが認識されていないので、DNSサーバー設定を確認してください。DNS自動取得ですか？プロバイダーから指示があった場合は、以下の手順でDNSを設定してください。(→156ページ) ●「機能」 ▶ 「その他設定」 ▶ 「ダイヤルアップ設定」 ▶ 「接続先1」または「接続先2」 ▶ 「詳細設定」 ▶ 「DNS自動取得」 ▶ 「OFF」 <p>プロバイダーより指定された「プライマリDNS」と「セカンダリDNS」を設定してください。</p> <p>※本メッセージはまれに通信終了直後、再び接続するときに表示されることがあります。そのため、通信終了後、時間を置いて接続をしてみてください。</p>

症状	原因
「ネットワークエラーが発生しました」	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ダイヤルアップ設定」の「接続先1」または「接続先2」で以下の項目を確認してください。(→155ページ) <ul style="list-style-type: none"> ・ダイヤルアップの設定における電話番号は、ご契約内容や接続方式にあった電話番号を設定してください。また、本機は8xパケット方式には対応していません。 <ul style="list-style-type: none"> 4x/2xパケット方式接続の場合 : 電話番号 + 「##64」 1xパケット方式接続の場合 : 電話番号 + 「##61」 フレックスチェンジ方式接続の場合 : 電話番号 + 「##7」 64kbps PIAFS接続の場合 : 電話番号 + 「##4」 32kbps PIAFS接続の場合 : 電話番号 + 「##3」 ・「ユーザー名」の設定を間違えていませんか？ ・「パスワード」の設定を間違えていませんか？ ※本メッセージはまれに通信終了直後、再び接続するときに表示されることがあります。そのため、通信終了後、時間をおいて接続を試みてください。 ● 「発信者番号通知」が「OFF」に設定されていませんか？プロバイダーによっては「発信者番号通知」を「OFF」に設定しているとつながることがあります。(→52ページ) ● 「」が表示されていませんか？(→32ページ)
「認証に失敗しました」	<ul style="list-style-type: none"> ● メールサーバー設定のアカウント名が正しく入力されていますか？(→121ページ)
「センターにメールがありません」	<ul style="list-style-type: none"> ● ご利用になりたい受信メールアカウントが「ON」になっていますか？ ※Eメール手動受信時に新着メールがない場合も同じメッセージが表示されますが、この場合はエラーではありません。
「メモリがいっぱいです。センターにEメールが残っています。」	<ul style="list-style-type: none"> ● メールの空き容量が不足している場合は、Eメール受信できません。不要なメールを削除してください。(→117ページ)
「受信失敗しました」	<ul style="list-style-type: none"> ● 認証方式はPOPですか？
「送信失敗しました」	<ul style="list-style-type: none"> ● 送信先のメールアドレスを間違えていませんか？ ● POP before SMTP認証なのか、SMTP認証なのか確認してください。 ● 「メールサーバー設定」の「送信サーバー (SMTP)」の設定と「サーバー詳細設定」の「SMTPポート番号」は正しいですか？(→121ページ)
「DNSの設定が正しくありません」 「サーバが見つかりません」	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ダイヤルアップ設定」の「接続先1」または「接続先2」で以下の項目を確認してください。(→155ページ) <ul style="list-style-type: none"> ・DNSサーバーが認識されていないので、DNSを以下の手順で設定してください。(→156ページ) 「機能」 ▶ 「その他設定」 ▶ 「ダイヤルアップ設定」 ▶ 「接続先1」または「接続先2」 ▶ 「詳細設定」 ▶ 「DNS自動取得」 ▶ 「OFF」 プロバイダーより指定された「プライマリDNS」と「セカンダリDNS」を設定してください。 ・ダイヤルアップの設定における電話番号は、ご契約内容や接続方式にあった電話番号を設定してください。また、本機は8xパケット方式には対応していません。 <ul style="list-style-type: none"> 4x/2xパケット方式接続の場合 : 電話番号 + 「##64」 1xパケット方式接続の場合 : 電話番号 + 「##61」 フレックスチェンジ方式接続の場合 : 電話番号 + 「##7」 64kbps PIAFS接続の場合 : 電話番号 + 「##4」 32kbps PIAFS接続の場合 : 電話番号 + 「##3」 ・「ユーザー名」の設定を間違えていませんか？ ・「パスワード」の設定を間違えていませんか？ <ul style="list-style-type: none"> ● URLを間違えていませんか？(→134ページ)
「ネットワークが利用できません」	<ul style="list-style-type: none"> ● 「」が表示されていませんか？(→32ページ) ● インターネット接続時、「発信者番号通知」が「OFF」に設定されていませんか？プロバイダーによっては「発信者番号通知」を「OFF」に設定しているとつながることがあります。(→52ページ)
「ページを正しく表示できない可能性があります」	<ul style="list-style-type: none"> ● ダイヤルアップの「プロキシ設定」を確認してください。(→156ページ) ※本メッセージはまれに通信終了直後、再び接続するときに表示されることがあります。そのため、通信終了後、時間をおいて接続を試みてください。

症状	原因
「メモリが不足しています」	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体メモリの空き容量が不足している場合は、表示できません。本体メモリ内の不要なデータを削除（→84、117、188ページ）してください。ただし、不要なデータを削除しても表示できないWebページもあります。 ● ソフトウェア更新はされていますか？ソフトウェア更新により動作の安定性を向上させることができます。ソフトウェアを更新し、動作が改善されるかご確認ください。（→316ページ）
「メモリ不足です」	<ul style="list-style-type: none"> ● 動画など重いWebページはキャッシュが不足して、表示できない場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Webページのサイズや画像の数/大きさによって、表示できないことがあります。 ● 「壁紙オプション」を「ガジェット」に設定している場合は、登録しているガジェットによりメモリが不足してしまうことがあります。ガジェットの登録を解除し、動作が改善されるかご確認ください。（→153ページ）
「ファイルが壊れています。ガジェットマネージャを初期化してください」	<ul style="list-style-type: none"> ● ガジェットのファイルが壊れているため、ガジェットマネージャの初期化をしてください。（→154ページ）
「管理者ロック設定中です」	<ul style="list-style-type: none"> ● 管理者ロックが設定されています。（→239ページ）

● アフターサービスについて

保証書について

保証書は、付属の取扱説明書の裏表紙に印刷されています。保証書に「お買い上げ日」および「販売店」が記載されているかご確認のうえ、内容をよくお読みになって大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から1年間です。

修理を依頼されるときは

修理を依頼されるときは、ワイモバイル カスタマーセンター、または京セラテクニカルサービスセンターへご連絡ください。

●ご連絡いただく際には以下のことをお知らせください。

- ・品名 : CRESTIA (402KC)
- ・製造番号 : 本体に記載されています。
- ・ご購入日、ならびに故障や異常の内容 (できるだけ詳しく)
- ・お客様のご連絡先とお名前

●修理をご依頼の際は、お買い上げいただいたセット (CRESTIA (402KC) 本体ほか) をすべてお持ちください。

保証期間中	保証書に記載された規定に基づき修理いたします。
保証期間が過ぎた場合	修理によりご使用が可能な場合は、お客様のご希望により有償修理させていただきます。

● ご注意

- メモリの内容 (電話帳など) は修理の際に消えてしまうことがありますので、必ずお控えください。なお、メモリ内容が変化/消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 保証期間中の修理は、正常なご使用状態において製品が故障した場合に、規定に基づいて修理いたします。

● お知らせ

●保証期間内でも有償修理となる場合があります。

- ・保証書の提示がない場合
- ・保証書にお買い上げ日、お客様のお名前、販売店印など、必要事項の記入がない場合。または、記載内容が書き換えられている場合
- ・故障の原因が取り扱い上の不注意と認められた場合 (例えば、落したり、ぶつけたりして故障した場合など)
- ・天災地変、火災、水害などによる故障の場合
- ・不適切な修理や改造が故障の原因と認められた場合
- ・消耗品 (バッテリーなど) の交換

補修用性能部品について

当社は、CRESTIA (402KC) 本体およびその周辺機器の補修用性能部品 (機能維持のために必要な部品) を、製造終了後7年間保有しております。

アフターサービスについて

修理サービスや受付窓口についてご不明の点がございましたら、ワイモバイル カスタマーセンターまでお問い合わせください。

ワイモバイル カスタマーセンター総合窓口 (有料)

ワイモバイル電話機からお問い合わせの場合 : 局番なしの151

一般電話・携帯電話からお問い合わせの場合 : 0570-039-151

オペレーター対応時間 : 9:00~20:00 (年中無休)

本体以外の付属品について

バッテリーなど、本体以外の付属品をお買い求めいただく際は、京セラホームページをご覧ください。また、京セラテクニカルサービスセンターへご連絡ください。

● 機能一覧

以下の操作で利用できる機能番号の一覧です。

待受画面で ▶ 機能番号を入力

発信／着信／通話 (1)			
機能番号	機能名	お買い上げ時の設定	参照
11	累積通話時間	—	266ページ
12	通話時間目安表示	ON	266ページ
13	履歴		50ページ
131	発信履歴	—	50ページ
132	着信履歴	—	50ページ
133	不在着信履歴	—	50ページ
14	エニーキーアンサー	OFF	266ページ
15	発信者番号通知	ON	52ページ
16	着信時フォルダオープン	状態継続	266ページ
17	通信中着信	起動	262ページ
18	通信中メール受信	起動	262ページ
19	イヤホン自動応答	OFF	268ページ
10	イヤホン自動応答秒数	9秒	268ページ
1[*]	サービス問合せ		310ページ
1[*]1	サービスセンター (116)	—	310ページ
1[*]2	留守電センター (*931)	—	311ページ
1[*]3	着信転送サービスセンター (143)	—	313ページ

音／バイブ (2)			
機能番号	機能名	お買い上げ時の設定	参照
21	音声着信		194ページ
211	音量	音量レベル3 本体カラー ・ブラック ・スパイシーグリーン ・ピンク ・スパイシーオレンジ 音量レベル4 本体カラー ・ネイビー×ゴールド ・ホワイト×ゴールド	194ページ
212	着信音	パターン1 本体カラー ・ブラック ・スパイシーグリーン ・ピンク ・スパイシーオレンジ パターン1 (でか) 本体カラー ・ネイビー×ゴールド ・ホワイト×ゴールド	194ページ
213	バイブレート設定	OFF	194ページ

音/バイブ (2)

機能番号	機能名	お買い上げ時の設定	参照
22	Bluetooth 着信		195ページ
221	着信音	パターン2	195ページ
222	バイブレータ設定	OFF	195ページ
23	Eメール受信		196ページ
231	音量	「音量レベル3」 本体カラー ・ブラック ・スパイシーグリーン ・ピンク ・スパイシーオレンジ 「音量レベル4」 本体カラー ・ネイビー×ゴールド ・ホワイト×ゴールド	196ページ
232	受信音	メール受信音1	196ページ
233	バイブレータ設定	OFF	196ページ
234	メール受信音鳴動時間	1サイクル再生	196ページ
24	SMS受信		196ページ
241	音量	「音量レベル3」 本体カラー ・ブラック ・スパイシーグリーン ・ピンク ・スパイシーオレンジ 「音量レベル4」 本体カラー ・ネイビー×ゴールド ・ホワイト×ゴールド	196ページ
242	受信音	メール受信音2	196ページ
243	バイブレータ設定	OFF	196ページ
244	メール受信音鳴動時間	1サイクル再生	196ページ
25	お知らせシェア受信		197ページ
251	音量	「音量レベル3」 本体カラー ・ブラック ・スパイシーグリーン ・ピンク ・スパイシーオレンジ 「音量レベル4」 本体カラー ・ネイビー×ゴールド ・ホワイト×ゴールド	197ページ
252	受信音	効果音3	197ページ
253	バイブレータ設定	OFF	197ページ
254	受信音鳴動時間	1サイクル再生	197ページ

音/バイブ (2)

機能番号	機能名	お買い上げ時の設定	参照
26	アラーム		198ページ
261	音量	音量レベル3 本体カラー ・ブラック ・スパイシーグリーン ・ピンク ・スパイシーオレンジ 音量レベル4 本体カラー ・ネイビー×ゴールド ・ホワイト×ゴールド	198ページ
262	バイブレータ設定	OFF	198ページ
27	スケジュールアラーム		198ページ
271	音量	「音量レベル3」 本体カラー ・ブラック ・スパイシーグリーン ・ピンク ・スパイシーオレンジ 「音量レベル4」 本体カラー ・ネイビー×ゴールド ・ホワイト×ゴールド	198ページ
272	バイブレータ設定	OFF	198ページ
28	操作音	OFF	199ページ
29	データ再生音	音量レベル18 本体カラー ・ブラック ・スパイシーグリーン ・ピンク ・スパイシーオレンジ 音量レベル20 本体カラー ・ネイビー×ゴールド ・ホワイト×ゴールド	199ページ
20	ボイス通知		200ページ
201	ボイス通知	時刻+各種通知	200ページ
202	音量	音量レベル3 本体カラー ・ブラック ・スパイシーグリーン ・ピンク ・スパイシーオレンジ 音量レベル4 本体カラー ・ネイビー×ゴールド ・ホワイト×ゴールド	200ページ
2[*]	ウェイクアップトーン	ON	201ページ
2[#]	圏外警告音	ON	201ページ
2[📞]	緊急速報警報音		201ページ
2[📞]1	警報音設定	音量レベル5	201ページ
2[📞]2	マナーモード時警報音設定	鳴動する	201ページ
2[📞]3	警報音確認	—	201ページ

画面／照明 (3)			
機能番号	機能名	お買い上げ時の設定	参照
31	メインディスプレイ		202ページ
311	壁紙設定	Silent Motion 本体カラー ・ブラック ・スパイシーグリーン Dim Light 本体カラー ・ピンク ・スパイシーオレンジ Silky Flow (でか) 本体カラー ・ネイビー×ゴールド ・ホワイト×ゴールド (固定アニメ)	202ページ
312	エモーションメッセージ	Glasswork	202ページ
313	壁紙オプション	表示なし	205ページ
314	音声発信画面	固定アニメ	202ページ
315	音声着信画面	固定アニメ	202ページ
316	ピクトインフォメーション	ON	202ページ
32	サブディスプレイ		206ページ
321	着信番号表示	ON	206ページ
322	表示設定	ON	206ページ
323	時計表示	大	206ページ
33	ランプ設定		207ページ
331	ランプ点灯	点灯する	207ページ
332	ランプ色設定		207ページ
3321	通話中	なし	207ページ
3322	発信中	レインボー	207ページ
3323	音声着信中	青	207ページ
3324	Bluetooth着信中	紫	207ページ
3325	SMS受信	緑	207ページ
3326	Eメール受信	緑	207ページ
3327	お知らせシェア受信	紫	207ページ
3328	新着／不在あり	緑	207ページ
3329	アラーム鳴動中	橙	207ページ
3320	スケジュールアラーム鳴動中	濃いピンク	207ページ
332[*]	WEB起動中	なし	207ページ
332[#]	Java™アプリ起動中	なし	207ページ
34	名前表示	ON (メイン+サブ)	208ページ
35	充電時LCD	OFF	208ページ

画面／照明 (3)

機能番号	機能名	お買い上げ時の設定	参照
36	照明 (メインディスプレイ)		209ページ
361	WEB照明		209ページ
3611	照明の明るさ	自動調節モード	209ページ
3612	点灯時間	30秒 本体カラー ・ブラック ・スパイシーグリーン ・ピンク ・スパイシーオレンジ 60秒 本体カラー ・ネイビー×ゴールド ・ホワイト×ゴールド	209ページ
362	メール照明		209ページ
3621	照明の明るさ	自動調節モード	209ページ
3622	点灯時間	30秒 本体カラー ・ブラック ・スパイシーグリーン ・ピンク ・スパイシーオレンジ 60秒 本体カラー ・ネイビー×ゴールド ・ホワイト×ゴールド	209ページ
363	その他照明		209ページ
3631	照明の明るさ	自動調節モード	209ページ
3632	点灯時間	10秒 本体カラー ・ブラック ・スパイシーグリーン ・ピンク ・スパイシーオレンジ 20秒 本体カラー ・ネイビー×ゴールド ・ホワイト×ゴールド	209ページ
37	節電画面	30秒 本体カラー ・ブラック ・スパイシーグリーン ・ピンク ・スパイシーオレンジ 1分 本体カラー ・ネイビー×ゴールド ・ホワイト×ゴールド	210ページ

画面/照明 (3)

機能番号	機能名	お買い上げ時の設定	参照
38	文字サイズ		210ページ
381	WEB表示	小 本体カラー ・ブラック ・スパイシーグリーン ・ピンク ・スパイシーオレンジ 中 本体カラー ・ネイビー×ゴールド ・ホワイト×ゴールド	210ページ
382	メール表示	小 本体カラー ・ブラック ・スパイシーグリーン ・ピンク ・スパイシーオレンジ 中 本体カラー ・ネイビー×ゴールド ・ホワイト×ゴールド	210ページ
383	その他表示	小 本体カラー ・ブラック ・スパイシーグリーン ・ピンク ・スパイシーオレンジ 中 本体カラー ・ネイビー×ゴールド ・ホワイト×ゴールド	210ページ
384	一括設定	—	210ページ
39	Set Language	日本語	211ページ
30	配色設定	ダークグレー 本体カラー ・ブラック ・スパイシーグリーン ピンク 本体カラー ・ピンク ・スパイシーオレンジ ネイビー 本体カラー ・ネイビー×ゴールド ・ホワイト×ゴールド	211ページ
3[*]	キーバックライト点灯時間	5秒 本体カラー ・ブラック ・スパイシーグリーン ・ピンク ・スパイシーオレンジ 10秒 本体カラー ・ネイビー×ゴールド ・ホワイト×ゴールド	211ページ

セキュリティ (4)

機能番号	機能名	お買い上げ時の設定	参照
41	閉めるとロック	OFF	226ページ
42	着信拒否		227ページ
421	指定番号拒否	拒否メッセージなし	227ページ
422	指定番号一覧	—	227ページ
423	ユーザ非通知拒否	解除	227ページ
424	公衆電話発信拒否	解除	227ページ
425	通知不可能拒否	解除	227ページ
426	着信履歴保存	保存	227ページ
427	着信拒否全解除	—	227ページ
43	操作ロック		229ページ
431	発信先限定	解除	229ページ
432	発信先一覧	—	229ページ
433	ダイヤル発信	許可	229ページ
434	電話帳閲覧	許可	229ページ
435	スピードダイヤル	許可	229ページ
436	スケジュール	許可	229ページ
437	WEB	許可	229ページ
438	メール	許可	229ページ
439	データ発信	許可	229ページ
430	Java™アプリ	許可	229ページ
44	シークレットモード	OFF	231ページ
45	暗証番号変更	1234	231ページ
46	本体リセット		232ページ
461	メモリリセット	—	232ページ
462	機能リセット	—	232ページ
463	完全消去+初期化	—	232ページ
47	リモートロック		234ページ
471	着信	OFF	234ページ
472	着信番号一覧	—	234ページ
473	SMS	OFF	234ページ
474	SMS番号一覧	—	234ページ
475	パスワード変更	未登録	234ページ

セキュリティ (4)

機能番号	機能名	お買い上げ時の設定	参照
48	管理者ロック		239ページ
481	発信を電話帳内の番号に限定	限定しない	241ページ
482	着信を電話帳内の番号に限定	限定しない	242ページ
483	電話帳の編集を許可	許可する	242ページ
484	メールの使用を許可	許可する	243ページ
485	ブックマークからのWEB接続に限定	限定しない	243ページ
486	赤外線通信の使用を許可	許可する	244ページ
487	Java™アプリの使用を許可	許可する	244ページ
488	カメラの使用を許可	許可する	244ページ
489	ダイヤルアップ設定の変更を許可	許可する	244ページ
480	セキュリティの変更を許可	許可する	245ページ
48[✕]	位置情報機能の設定変更を許可	許可する	245ページ
48[#]	閉めるとロックの設定変更を許可	許可する	245ページ
48[🔌]	USB/Bluetooth接続時の通信を許可	許可する	245ページ
48[📞]	電話帳の閲覧を許可	許可する	246ページ
48[WEB]	発信履歴の閲覧を許可	許可する	246ページ
48	保存データの持出を許可	許可する	247ページ
48	microSDの使用を許可	許可する	247ページ
48	バックアップの使用を許可	許可する	248ページ
48	管理者用暗証番号変更	12345678	239ページ
49	迷惑電話チェッカー	—	312ページ

時計 (5)

機能番号	機能名	お買い上げ時の設定	参照
51	日時設定	2014年01月01日 00:00	46ページ
52	自動時刻補正	ON	46ページ
53	ビクト時計	日付+時刻	46ページ
54	アラーム	未登録	252ページ

伝言メモ (6)

機能番号	機能名	お買い上げ時の設定	参照
61	伝言メモ設定	OFF	58ページ
62	応答メッセージ録音	—	58ページ
63	応答メッセージ選択	固定メッセージ	59ページ
64	伝言メモ応答時間	15秒	59ページ
65	安全運転モード	電話機応答	64ページ
66	音声/伝言メモ一覽	—	60ページ

ソフトウェア更新 (7)

機能番号	機能名	お買い上げ時の設定	参照
71	ソフトウェア更新開始	—	316ページ
72	ソフトウェア更新通知	通知する	316ページ

文字入力補助 (8)

機能番号	機能名	お買い上げ時の設定	参照
81	ユーザ辞書	未登録	74ページ
82	予測変換設定	ON	74ページ
83	候補選択キー設定	上下左右	74ページ
84	学習内容リセット	—	74ページ
85	絵文字履歴リセット	—	75ページ
86	定型文登録	—	73ページ
87	顔文字登録	—	73ページ
88	オプション辞書登録	—	75ページ
89	すぐ文字	ON 本体カラー ・ブラック ・スパイシーグリーン ・ピンク ・スパイシーオレンジ OFF 本体カラー ・ネイビー×ゴールド ・ホワイト×ゴールド	75ページ

その他設定 (9)

機能番号	機能名	お買い上げ時の設定	参照
91	L1設定		269ページ
911	位置情報通知機能	OFF	269ページ
912	詳細設定		269ページ
9121	着信音設定	ON	269ページ
9122	通知許可番号	初期設定値	269ページ
9123	リセット	—	269ページ
92	データ通信方式	ベストエフォート型	306ページ

その他設定 (9)

機能番号	機能名	お買い上げ時の設定	参照
93	ダイヤルアップ設定		155ページ
931	接続先1		155ページ
	9311 接続先名称	—	155ページ
	9312 電話番号	—	155ページ
	9313 ユーザー名	—	155ページ
	9314 パスワード	—	155ページ
	9315 ワンタイムパスワード	OFF	155ページ
	9316 分計発信	OFF	155ページ
	9317 詳細設定	IPアドレス自動取得「ON」 / DNS自動取得「ON」	156ページ
9318 プロキシ設定	プロキシ利用「OFF」 / プロキシ認証「OFF」	156ページ	
932	接続先2		155ページ
933	Y!mobile		155ページ
	9331 接続先名称	Y!mobile	155ページ
	9332 電話番号	0570570099##61	155ページ
	9333 ユーザー名	clubh	155ページ
	9334 パスワード	*****	155ページ
	9335 分計発信	OFF	155ページ
9338 ヘルプ	—	156ページ	
94	緊急速報		272ページ
	941 緊急速報受信	受信する	272ページ
942	緊急速報受信履歴	—	272ページ
95	上下キー割り当て	送受信メールBOX	267ページ
96	センターキー長押し割り当て	Eメール受信	267ページ
97	コンテンツ情報通知	通知しない	148ページ
98	USB充電	ON	41ページ

プロフィール (0)

機能番号	機能名	お買い上げ時の設定	参照
0	プロフィール	—	263ページ

マナーモード設定 (*)

機能番号	機能名	お買い上げ時の設定	参照
*	マナーモード設定	マナーモード解除	61ページ

● 各機能の選択項目一覧

■ 定型文一覧

Tel:***** (お客様の電話番号)	@ezweb.ne.jp
*****@***** (お客様のEメールアドレス)	@docomo.ne.jp
いつも大変お世話になっております	.vodafone.ne.jp
お疲れ様です	@softbank.ne.jp
おはようございます	.co.jp
よろしく願います	.ne.jp
これから戻ります	.ac.jp
客先に直行します	.or.jp
本日は直帰します	.jp
ありがとうございました	.com
Thank you !	http://
Happy Birthday !!	https://
A HAPPY NEW YEAR !	(自作文1：表示は空白)
Merry Christmas !	(自作文2：表示は空白)
@yahoo.ne.jp	(自作文3：表示は空白)
@yahoo.co.jp	(自作文4：表示は空白)
@ymobile.ne.jp	(自作文5：表示は空白)
@y-mobile.ne.jp	(自作文6：表示は空白)
@ymobile1.ne.jp	(自作文7：表示は空白)
@emnet.ne.jp	(自作文8：表示は空白)
@emobile.ne.jp	(自作文9：表示は空白)
@emobile-s.ne.jp	(自作文10：表示は空白)
@willcom.com	(自作文11：表示は空白)
@pdx.ne.jp	(自作文12：表示は空白)
.pdx.ne.jp	(自作文13：表示は空白)

■ 顔文字一覧

(^_^)	(>_<)	m(_ _)m	(-_-) zZZZ
(^o^)/	(+_+)	w(° o°)w	(-ω-)
(*^o^*)	(ε´)	(° Ⅱ° ::)	(p.-) ネム～
(┌─┐)	(^∧^)	＼(・_・;)ノ	(^_^)人(^_^)
(T_T)/	(-_-#)	(・_・;)	(^3^)-☆chul!
(-_-)	(-"-)/"	(・ω・)	┐(´～;)┌
(ToT)			

英数

184発信	48
184分計発信	48
186発信	48
186分計発信	48
1M	161/162/164
1xパケット方式	304
1ヶ月表示	212
1画面表示 (電話帳)	83
1行表示 (電話帳)	83
1行表示 (メール)	108
1週間表示	212
1日表示	212
2M	161/162/164
2xパケット方式	304
32kPIAFS	304
3M	161/162/164
3行表示 (メール)	108
4xパケット方式	304
5M	161/164
64kPIAFS	304
6ヶ月表示	212
ACアダプタ	39
Bcc	95
BGM	144
Bluetooth®	17/288
Bluetooth®着信	195/301
Bluetooth®着信音 (電話帳)	79
Bluetooth®通話	300
Bluetooth®発信	300
CA証明書	146
Cc	95
Cookie	145
DNS自動取得	156
DPOF	190
DPOFプリント設定	190
Exif Print	161
Eメールアドレス	92
Eメール削除設定	120
Eメール作成	94
Eメール自動受信機能	121
Eメール受信	91/108
Eメール受信音	196
Eメール受信音 (電話帳)	79
Eメール送受信設定	119
Eメール送信	94
Eメールへ添付	96
HTTP	145
IPアドレス	156
IPアドレス自動取得	156
JavaScript	144
Java™アプリ	277
Java™アプリ (操作ロック)	229
Java™アプリの使用を許可 (管理者ロック)	244
Java™アプリの設定	278/279
Li機能	269
Li設定	269
microSDカード	18/176/189
microSDカードスロット部	31
microSDの使用を許可 (管理者ロック)	247
microSDフォーマット	189
Myボイスメモ登録	261
P (ポーズ)	56
PagePilot	138/139/140
POPbeforeSMTP	121
POPbeforeSMTP待ち時間	121
POPポート番号	121
QRコード撮影	275
QRコードモード	166
QRコード (読み取り)	275
QRコードリーダー	274
Referer	145
RSSチャンネル	149/150
RSSチャンネル登録	149
RSSリーダー	149
Set Language	211
SMS (リモートロック)	234
SMS作成	103
SMS受信	106
SMS受信音	196
SMS受信音 (電話帳)	79
SMS送信	103
SMS番号一覧 (リモートロック)	234/235
SMTPアカウント名	121
SMTP認証	121
SMTPパスワード	121
SMTPポート番号	121
SSL	124
Sub	96
TLS	124
To	95/104
TODO	222
TODO一覧	213
USB/Bluetooth接続時の通信を許可 (管理者ロック)	245
USBケーブル	41/306
USB充電	41
USBマストレージ	192
vCalendar	224
vCard	88
VGA	161/162/164
WEB (操作ロック)	229
WEB照明	209

WEB表示	210
Webページ	130/135
WEBメニュー	132
W-OAM typeG	304

あ

アイコン (お気に入りメニュー)	43/45
アイコン (カメラ)	159/160
アイコン (サブディスプレイ)	35
アイコン (フォト撮影)	161/164
アイコン (メインディスプレイ)	32
アイコン表示エリア	32
アカウント設定	120/122
アカウント名	121/122
明るさ (カメラ)	162
空きフォルダ容量 (カメラ)	169/173
空きフォルダ容量 (データフォルダ)	187
宛先	95/104
アドレス (URL)	134
アドレス (返信先アドレス)	120
アドレスカード	88
アドレスビュー (Webの履歴)	133
アドレス表示	141/143
アニメーション (Web)	144
アフターサービス	332
アプリ一覧	279
アプリ情報	278
アラーム	252
アラームON/OFF	252
アラーム音	198/253
アラーム音量	198
アラーム画像	253
アラーム削除	254
アラーム時刻	252
アラーム設定 (スケジュール)	217/219
アラーム日付	252
アラーム鳴動時間	253
アラームメッセージ	253
暗証番号	11
暗証番号変更	231
安全運転モード	64
アンテナ (内蔵)	31

い

位置情報	269
------	-----

位置情報機能の設定変更を許可 (管理者ロック).....	245
位置情報機能のリセット.....	270
位置情報通知要求.....	271
位置変更 (ガジェット).....	153
一括設定 (文字サイズ).....	210
一括送付.....	56/84
移動 (Java™アプリ).....	278
移動 (データフォルダ)	186/188
移動 (ブックマーク).....	141
移動 (ページメモ).....	143
移動 (メール).....	115/116
イヤホン.....	19
イヤホン自動応答.....	268
イヤホン自動応答秒数.....	268
イヤホンマイク.....	268
インターネット.....	124
インターネット検索.....	132/137
インターネット接続アカウント	124
インデックスプリント.....	190
インポート.....	281
引用.....	71

う

ウェイクアップトーン.....	201
-----------------	-----

え

エクスポート.....	280
エニーキーアンサー.....	266
エモーションメッセージ.....	204
絵文字.....	71
絵文字履歴リセット.....	75
遠隔操作.....	234
エンコード.....	138

お

応答メッセージ選択.....	59
応答メッセージ録音.....	58
オートフォーカス.....	158
オートフォーカス設定	165/171
お気に入りメニュー.....	43
お知らせシエア®	290/293/296
お知らせシエア®受信.....	197
オブジェクト選択.....	137
オプション (Web).....	144
オプション (ガジェット)	153
オプション (メール).....	118/119
オプション辞書登録.....	75
親機モード (Bluetooth).....	300
オリジナルマナー.....	61
オリジナルマナー編集.....	63

音楽自動再生 (メール).....	118
音声 / 伝言メモ一覧.....	60
音声着信.....	194
音声着信音 (電話帳).....	79
音声発信 / 着信画面.....	202
音声メモ.....	57
オンラインサインアップ.....	92
音量	194/196/197/198/200
音量 (Web).....	137

か

解析画面 (QRコード).....	276
回転 (カメラ).....	167
回転 (データフォルダ).....	183
顔文字.....	71/73
顔文字一覧.....	343
学習内容リセット.....	74
拡大表示 (データフォルダ)	179
各部の名称と機能.....	30
ガジェット.....	152
画像 (Web).....	144
画像解析 (QRコード).....	275
画像タブ (カメラ).....	166/167
画像調整 (カメラ).....	167
画像調整 (データフォルダ)	182
画像変換 (カメラ).....	167
画像変換 (データフォルダ)	183
画像編集 (データフォルダ)	182

カット.....	72
カナ検索.....	82
壁紙.....	161/162/164
壁紙 (ワイド).....	161/162/164
壁紙オプション.....	205
壁紙設定.....	202
壁紙表示.....	32
カメラの使用を許可 (管理者ロック).....	244
カレンダー.....	212
漢字チェック.....	259
漢字変換.....	70
完全消去 + 初期化.....	232
管理者用暗証番号.....	12
管理者用暗証番号変更 (管理者ロック).....	239
管理者ロック.....	239

き

キー操作.....	36
キーバックライト点灯時間.....	211
キーワード検索.....	85
記号.....	71

記事 (RSSリーダー).....	150
機能一覧.....	333
機能リセット.....	232
基本メニュー.....	42
キャッシュ.....	145
ギャランティ.....	304/306
共通設定 (Bluetooth).....	290
緊急速報.....	201/272
緊急速報警報音.....	201
緊急通報.....	49

く

繰り返し再生 (データフォルダ)	181
繰り返し設定.....	218
グループ検索.....	85
グループ設定.....	87

け

ケータイモード.....	126/129
圏外警告音.....	201
言語設定.....	211
現在位置 (位置情報).....	269

こ

高画質.....	162/170
公式サイト.....	132
公衆電話発信.....	54/308
公衆電話発信拒否 (Java™アプリ).....	227
更新 (Java™アプリ).....	278
更新 (RSSリーダー).....	150
更新 (Web).....	135
更新 (ガジェット).....	154
高速化サービス追加設定.....	146
購読チャンネル設定.....	149/150
候補選択キー設定.....	74
子機モード (Bluetooth).....	300
国際電話.....	53
コピー.....	72
コピー (Web).....	137
コピー (データフォルダ).....	186
コピー (メモ帳).....	255
コピー (QRコード).....	276
コンテンツ情報通知.....	148

さ

サーバー詳細設定.....	121/122
災害用音声お届けサービス.....	283
再生 (データフォルダ).....	179
再生中の操作.....	179
再生中のメニュー.....	181
最大リダイレクト回数.....	145
最大リフレッシュ回数.....	145
最大録画時間.....	162
サイドキー操作無効.....	67

再読み込み (Web).....	135
サイレントマナー.....	61
サウンド (Java™アプリ).....	279
削除 (Bluetooth).....	299
削除 (Java™アプリ).....	278
削除 (RSSリーダー)	
.....	150/151
削除 (Web).....	133
削除 (各機能の情報).....	273
削除 (ガジェット).....	154
削除 (データフォルダ).....	188
削除 (ブックマーク).....	141
削除 (ページメモ).....	143
削除 (メール) ...	115/116/117
差出人名称.....	120
撮影.....	163/164
撮影セルフタイマー音設定 ...	169
撮影素子.....	318
撮影モード.....	161
撮影モード設定.....	165
撮影ライト.....	166
撮速メール®.....	174
撮速メール®送信先設定.....	174
サブアドレス.....	49/236/238
サブディスプレイ.....	34/206
サムネイルビュー (Webの履歴)	
.....	133
サムネイルビュー (ブックマーク)	
.....	141

し

シークレット一時設定 (カレンダー).....	214/215
シークレット一時設定 (電話帳).....	84
シークレットモード.....	231
時刻読み上げ.....	253
辞書.....	74/75
システム情報 (Java™アプリ)	
.....	278
下書き保存.....	101/105
時短検索.....	83
しっかリンク®.....	49
質量.....	318
指定番号一覧.....	227
指定番号拒否.....	227
自動起動設定 (Java™アプリ)	
.....	279
自動更新設定 (RSSリーダー)	
.....	150
自動時刻補正.....	46
自動受信回数設定.....	121
自動判別言語.....	144
閉めるとロック.....	226
閉めるとロックの設定変更を許可 (管理者ロック).....	245
シャッター音設定.....	169

充電.....	39/41
充電時LCD.....	208
充電時間.....	38
週の開始曜日設定.....	214
修理.....	332
受信 (Eメール) ...	91/106/108
受信BOX.....	91/107
受信音.....	196/197
受信音鳴動時間.....	197
受信行数.....	120
受信行数制限設定.....	120
受信サーバー (POP)	
.....	121/122
受信フォルダ表示.....	118
受信メールアドレス	
.....	119/123
受話音量.....	66
仕様.....	318
消音 (カメラ).....	171
上下キー割り当て.....	267
詳細情報 (Bluetooth).....	299
詳細情報 (データフォルダ)	
.....	181/186
詳細設定 (ダイヤルアップ設定)	
.....	156
照明.....	209
証明書.....	146
ショートカット.....	44
初期化 (ガジェットマネージャ)	
.....	154
初期化 (管理者ロック).....	240
所在位置登録.....	271
署名設定.....	120

す

ズーム (Web).....	138/139
ズーム (カメラ).....	162
すぐ文字®.....	41/75/256
スクロール量 (Web).....	139
スケジュール (カレンダー)	
.....	212/217
スケジュール (操作ロック)	
.....	229
スケジュールアラーム	
.....	198/217/219
スケジュールアラーム音量 ...	198
スケジュール一覧.....	213
スケジュールカード (vCalendar).....	224
進む.....	135
スタンダードプリント.....	190
スタンプ (カメラ).....	167
スタンプ (データフォルダ)	
.....	182
ステータスコード.....	271
スピードダイヤル.....	52
スピードダイヤル (Web).....	52

スピードダイヤル (操作ロック)	
.....	229
スマートソニックレシーバー®	
.....	17

せ

セカンダリDNS.....	156
赤外線通信.....	284
赤外線通信の使用を許可 (管理者ロック).....	244
セキュリティ通信.....	124
セキュリティの変更を許可 (管理者ロック).....	245
接続 (Bluetooth®).....	292
接続先/アカウント設定	
.....	118/119/120
接続先設定 (Java™アプリ)	
.....	279
接続先設定 (Web).....	132
接続先名称.....	155
切断 (Bluetooth).....	299
設定 (Web).....	132
設定 (データフォルダ).....	187
設定 (電話帳).....	86
設定 (メール).....	118
設定確認.....	146
節電画面.....	210
セルフタイマー.....	163
全員へ返信.....	109
全画面表示 (カメラ).....	159
全画面表示 (データフォルダ)	
.....	179
全送信.....	102/115
センターキー長押し割り当て	
.....	267
センタ名称設定.....	121/122

そ

操作音.....	199
操作ガイド表示エリア.....	32/37
操作ロック.....	229
装飾.....	98
送信 (Eメール).....	94
送信 (SMS).....	103
送信BOX.....	91
送信サーバー (SMTP)	
.....	121/122
送信待ち保存.....	101
送信メールアドレス.....	119
ソート (データフォルダ).....	187
ソート (メール).....	115
属性.....	154
その他照明.....	209
その他表示.....	210
ソフトウェア更新.....	316
ソフトウェア更新通知.....	316

た

タイトルビュー (ブックマーク)	141
タイトル編集 (RSSリーダー)	151
タイトル編集 (ページメモ)	143
ダイヤルアップ設定	155
ダイヤルアップ設定の変更を許可 (管理者ロック)	244
ダイヤル発信 (操作ロック)	229
ダイヤルメモ	260
ダイヤルロック	226
ダウンロード (Web)	129
ダウンロード (ソフトウェア更新)	316
ダウンロード (テンプレート)	100
卓上ホルダ	39
タブ (Web)	135/136/139
だれとでも定額パス	302
だれとでも定額パス/テザリング	294/297
だれとでも定額パス/テザリング 開始	289
だれとでも定額パス/テザリング 設定	289
単話登録	74

ち

チェック	215/223
着信 (リモートロック)	234
着信音	194/195
着信音設定 (位置情報)	269
着信拒否	50/227
着信拒否全解除	227
着信拒否へ登録	51
着信時フォルダオープン	266
着信設定	79/87
着信転送サービス	313
着信番号一覧 (リモートロック)	234/235
着信番号表示	206
着信履歴	50/51
着信履歴 (SMS)	104
着信履歴保存 (着信拒否)	227
着信を電話帳内の番号に限定 (管理者ロック)	242
長時間LL	162/170

つ

通常表示 (データフォルダ)	179
通常変換	70
通信中着信	262

通信中メール受信	262
通知許可パスワード	270
通知許可番号	270
通知不可能	54/308
通知不可能拒否	227
ツールバー	138/139
通話時間	50/266
通話時間目安表示	266

て

定型文	71/73
定型文一覧	343
データ再生音	199
データ消去・初期化 (リモートロック)	236/237
データ着信	308
データ通信	304
データ通信方式	304/306
データ発信	307
データ発信 (操作ロック)	229
データフォルダ	176
テーブル	144
テキスト入力 (カメラ)	167
テキスト入力 (データフォルダ)	182
テキストメール	90/94/97
デコラティブメール	90/94/98
テザリング	294/297
デスクトップモード	126/129
電源	41
伝言メモ	50/57
伝言メモ応答時間	59
伝言メモ設定	58
転送 (音声着信)	313
転送 (メール)	109/110
電卓	268
添付ファイル	90/96/109
テンプレート (メール)	100
テンプレート読み込み	100
電話帳応答	65
電話帳No.検索	85
電話帳閲覧 (操作ロック)	229
電話帳検索	85
電話帳条件受信	303
電話帳登録	76
電話帳の閲覧を許可 (管理者ロック)	246
電話帳の編集を許可 (管理者ロック)	242
電話帳発信	86
電話帳呼出	81
電話番号 (ダイヤルアップ設定)	155
電話番号検索	85
電話を受ける	54
電話をかける	48

と

動画タブ (カメラ)	171
登録機器一覧	295
登録件数確認 (電話帳)	86
登録件数表示 (カレンダー)	215
特殊効果	169/173
時計	46
時計表示	206
ドメイン	92
撮り直し/録り直し (カメラ)	166/172
トリミング	183

な

ナイトモード	165
名前検索	85
名前表示	208
並び替え (カレンダー)	215
並び替え (すぐ文字 [®])	257
並び替え (定型文)	73
並べ替え (Java™アプリ)	278
並べ替え (RSSリーダー)	150/151
並べ替え (ガジェット)	154
並べ替え (ブックマーク)	141
並べ替え (ページメモ)	143

に

日時設定	46
認証データ保存	145
認証パスワード (赤外線通信)	285/286
認証方式設定	121

ね

ネットワーク応答	65
----------	----

は

配色設定	211
バイブレータ設定 (アラーム)	198
バイブレータ設定 (受信)	196/197
バイブレータ設定 (着信)	66/194/195
バイブレータ設定 (マナーモード)	63
バイリンガル機能	211
パスワード (位置情報)	270
パスワード (ダイヤルアップ設定)	155
パスワード (メール)	121/122
パスワード (リモートロック)	12

パスワード変更 (リモートロック).....	234
パソコン接続.....	306
はつきり通話.....	67
バックアップ.....	280
バックアップの使用を許可 (管理者ロック).....	248
発信先一覧 (操作ロック)	229/230
発信先限定 (操作ロック).....	229
発信先限定へ登録.....	51
発信者番号通知.....	52
発信履歴.....	50/51
発信履歴 (SMS).....	104
発信を電話帳内の番号に限定 (管理者ロック).....	241
発着信履歴の閲覧を許可 (管理者ロック).....	246
バッテリー.....	38
バッテリー交換.....	318
貼り付け.....	72
ハンズフリー (インタラクティブ ハンズフリー).....	65
ハンズフリー/電話帳全件受信	289

ひ

ピクトインフォメーション®	202
ピクト時計.....	46
ピクト表示エリア.....	32
日付指定 (アラーム).....	252
日付指定 (カレンダー).....	214
日付スタンプ設定.....	169
表示画面設定 (電話帳).....	86
表示切り替え (RSSリーダー)	150
表示切替 (データフォルダ)	187
表示切り替え (発信履歴/着信履歴).....	51
表示切り替え (メール).....	108
表示順設定.....	86
表示色変更 (カレンダー).....	214
表示設定 (サブディスプレイ)	206
表示モード	126/129/135/139
標準マナー.....	61

ふ

フィルタ (メール).....	115
フォーカスロック.....	163
フォーマット.....	189
フォト画質設定.....	161/165
フォト撮影.....	158

フォト設定.....	158/169
フォト編集.....	166/167
フォルダ作成 (Java™アプリ)	278
フォルダ作成 (ブックマーク)	141
フォルダ作成 (ページメモ)	143
フォルダ内全件削除 (ブックマーク).....	141
フォルダ内全件削除 (ページメモ).....	143
フォルダ内全件削除 (メール)	113
フォルダ名編集 (Java™アプリ).....	278
フォルダ名編集 (メール).....	113
不在着信.....	50
不在着信履歴.....	50
ブックマーク.....	130/140
ブックマーク一覧.....	130/140
ブックマークからのWEB接続に 限定 (管理者ロック).....	243
ブックマーク登録.....	130
ブッシュ信号.....	56
プライマリDNS.....	156
ブラウザ.....	126
振り分け設定.....	113
フルスクリーン (Web).....	144
フレーム (Web).....	126/136
フレーム (カメラ).....	168
フレーム (データフォルダ)	182
フレックスチェンジ方式.....	304
プレビュー画面 (フォト撮影)	159/166
プレビュー画面 (ムービー撮影)	160/172
プロキシ設定.....	156
プロバイダーのEメール	122/155
プロパティ (RSSリーダー)	151
プロパティ (Web).....	139
プロフィール.....	263
分計サービス.....	314
分計設定 (電話帳).....	77
分計発信 (音声発信)	48/50/314
分計発信 (ダイヤルアップ設定)	155

へ

ページ設定 (Web).....	138
ページ操作 (Web).....	137
ページ内検索 (Web).....	137
ページ内ジャンプ (Web).....	137

ページメモ.....	142
ページメモ一覧.....	142
ページメモ保存.....	142
ベストエフォート.....	304/306
ヘッドセット/ハンズフリー機器	300
ヘルプ (Bluetooth).....	291
ヘルプ (ダイヤルアップ設定)	156
編集 (Eメール).....	101
編集 (SMS).....	105
編集 (ブックマーク).....	141
返信 (メール).....	109/110
返信先アドレス.....	120
返信メール本文引用.....	118

ほ

ボイス通知.....	47/200
ポインタ.....	139/144/147
防水/防塵性能.....	13
ホーム.....	127/132/135
保護 (ページメモ).....	143
保護 (メール).....	117
補修用性能部品.....	332
保証書.....	332
保存 (Web).....	142
保存 (カメラ).....	164/166/170
保存 (下書きEメール).....	101
保存 (下書きSMS).....	105
保存 (送信待ちEメール).....	101
保存 (ダウンロード).....	129
保存 (添付ファイル).....	109
保存 (バックアップ).....	280
保存先選択保存 (カメラ).....	166
保存データの持出を許可 (管理者ロック).....	247
保存できるデータの種類の	178
ポップアップブロック.....	145
保留 (ミュート).....	55
ホワイトバランス.....	169/173
本体メモリ (データフォルダ)	176
本体リセット.....	232

ま

マスマストレージ.....	192
待受時間.....	38/318
マナー着信.....	66
マナートーク®.....	65
マナーモード.....	61

み

未送信BOX.....	91/101/105
ミュート (保留).....	55

む

ムービー撮影	158
ムービー設定	158/173

め

名刺タブヘコピー	88
迷惑電話チェッカー	312
メインディスプレイ	32/202
メインディスプレイ (サイズ)	318
メインメニュー	42
メール (操作ロック)	229
メールアドレス	92/121/122
メールサーバー設定	121/122
メール受信音鳴動時間	196
メール種別切り替え	101/105
メール使用状況	118
メール照明	209
メール接続先	119
メール全件削除	113/117
メールの使用を許可 (管理者ロック)	243
メール表示	210
メールヘッダ表示	116
メールメニュー	91
メモ帳	255
メモリリセット	232

も

文字サイズ (Web)	138/139
文字サイズ (各機能画面)	210
文字サイズ (メール)	98/116
文字入力	68
文字入力メニュー	71
文字入力モード	68
モデム	306
モニター画面 (フォト撮影)	159/165
モニター画面 (ムービー撮影)	160/171

ゆ

有効画素数	318
ユーザーネーム	92
ユーザー名 (ダイヤルアップ設定)	155
ユーザエージェント	145
ユーザ辞書	74
ユーザ非通知	54/308
ユーザ非通知拒否	227
ゆっくり通話	66

よ

曜日単位変更	216
予測変換	70/74

予定タブヘコピー	220/223/224
呼び出し時検索設定	87
ヨミ検索	85

ら

ライト	31
ランプ色 (電話帳)	79
ランプ色設定	207
ランプ設定	207
ランプ点灯	207

り

リサイズ (データフォルダ)	183
リセット	232
リセット (Web)	146
リモートロック	234
履歴 (Web)	132

る

累積通話時間	266
ルート証明書	146
留守番電話サービス	310

れ

レイアウト変更 (ガジェット)	153
連写	161/162/164/165
連続アラーム	253
連続アラームの解除	254
連続通話時間	38/318
連続待受時間	38/318

ろ

録音 (Myボイスメモ)	261
録音 (安全運転モード)	64
録音 (応答メッセージ)	58
録音 (音声メモ)	57
録音 (伝言メモ)	57
録音 (留守番電話)	310
録画	163/170
録画開始・終了音設定	173
録画セルフタイマー音設定	173
録画モード	162
録画モード設定	171
録画ライト	171

わ

ワイモバイルのEメール	90
割込通話	312
ワン切り	50
ワンタイムパスワード	155

English Quick Manual

Safety Precautions

Do not use a non-genuine battery or charging equipment other than option products.

Do not throw the battery in to a fire or heat. May cause rupturing, ignition, fire, or overheating.

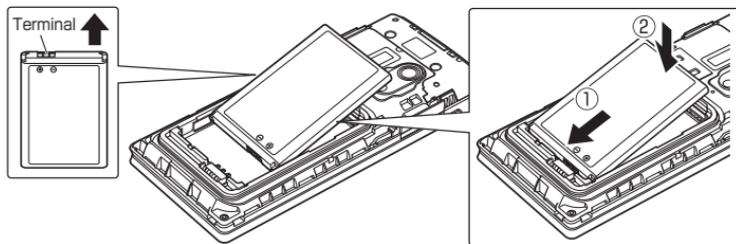
For environmental protection, do not dispose of a used battery with ordinary refuse. Bring batteries to a YMOBILE SHOP/YMOBILE CUSTOMER CENTER or to a shop participating in recycling.

Avoid extremely high or low temperatures and high humidity. (Use where temperature is from 5°C to 35°C and humidity is from 35% to 85%.)

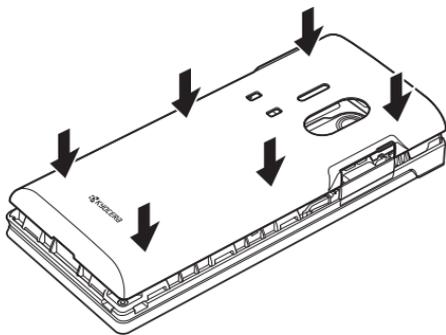
Before Using

■ Installing the Battery

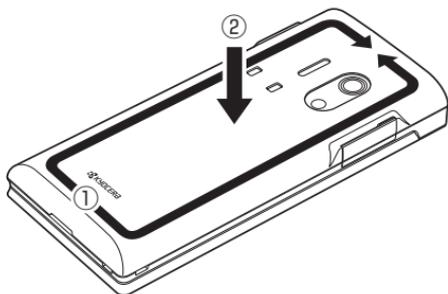
- 1** Press battery firmly in direction of arrows in the order ① → ② as shown



- 2** Align battery cover with unit, and press battery cover in direction of arrows



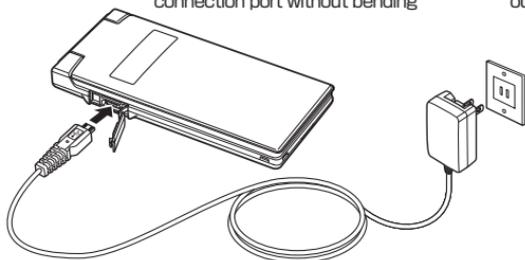
- 3** Press battery cover along edges in direction ① to firmly secure in direction ② so it is completely attached



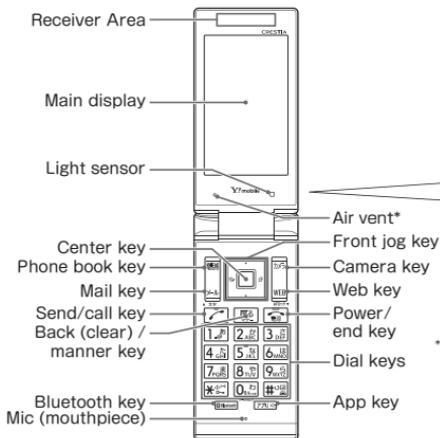
■ Recharging

- ① Open connection port cover on unit, then insert connector all the way into connection port without bending

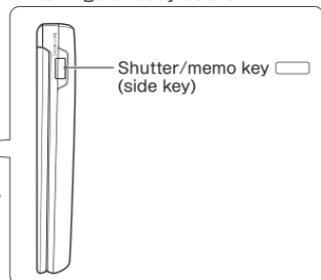
- ② Plug AC adapter (optional) into household AC 100 V outlet



Parts

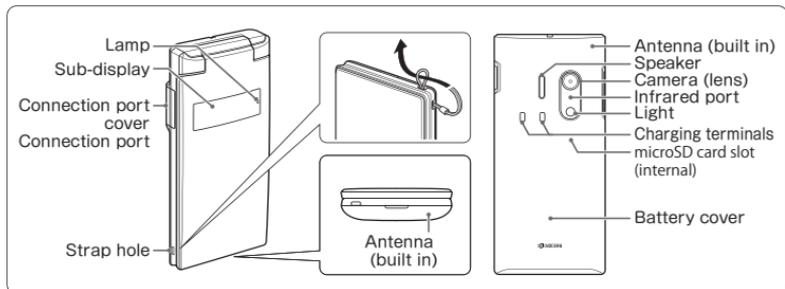


Description is given for "navy × gold / white × gold" body colors.



* Handset is waterproof, with a high degree of airtightness. An air vent is provided on the handset.

- The air vent does not affect water resistance.
- Do not cover the air vent with a protective sheet or sticker.



Key Operation

Center key

Press to make registrations/settings for functions, or to confirm a selected item.

Phone book key

Press to use the phone book.

Mail key

Press to use mail.

Send/call key

Press to make or accept a call.

Back (clear) / manner key

Press to correct an entered character or go back one operational step. Also press to set マナートーク® (manner talk)/a manner mode.

Bluetooth key

Press to use Bluetooth operations. Also in the standby screen, press and hold (at least 1 second) to turn a Bluetooth connection or the Bluetooth function off.

Front jog key

Press to move the onscreen cursor. In standby, press to display dialed/received call logs.

Camera key

Press to use the camera.

Web key

Press to use the browser (Internet).

Power/end key

Press and hold (at least 2 seconds) to turn handset on/off. Also press to end a call or function.

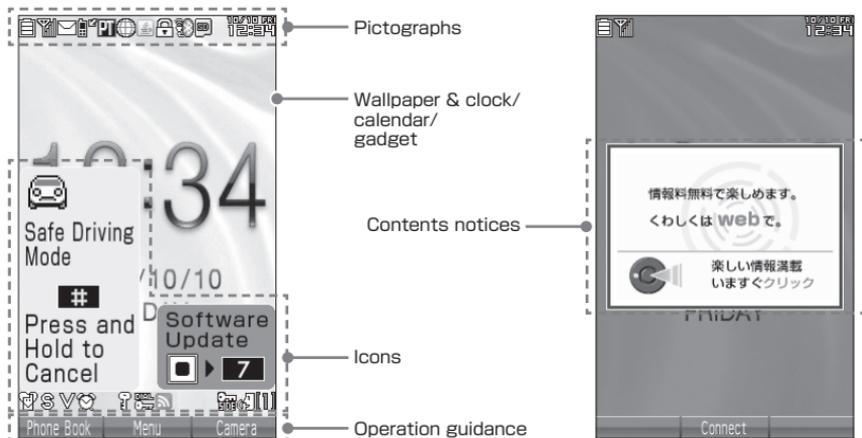
Dial keys

Press to enter a phone number or characters.

App key

Press to use Java™ apps. Also in the standby screen, press and hold (at least 1 second) to turn the light on.

Main Display



Icon	Description
	Battery level
	Signal level
	Unread mail/e-mail at center
	New unanswered call
	Data communication indicator
	Flashes while sending/receiving data
	Java™ app running
	SSL data communication
	Bluetooth connected
	Bluetooth not connected
	microSD card inserted
	Time indicator
	Standard manner mode
	Volume for incoming voice calls "OFF"

Icon	Description
	Vibration for incoming voice calls "ON"
	Alarm set
	Secret mode
	Shimeruto lock/dial lock
	RSS reader activated
	Side key disabled
	Message memo set
	New voice/message memo
	Number of voice/message memos
	Drive mode
	Software update required
	Contents notices

Sub-Display



When sub-display lit, press shutter/memo (side key)

	Battery level	
	Signal level	
	Standard manner mode	
	Message memo set	
	New unanswered call	
	New mail	
Bluetooth		Bluetooth connected
		Bluetooth not connected
10/10	Date indicator	
FRI	Day indicator	
12:34	Time indicator	

Basic Usage

■ Turning the Handset On/Off

Turn handset on	Press and hold  (at least 2 seconds)
Turn handset off	Press and hold  (at least 2 seconds)

■ Setting the Display Language (言語設定)

Set the language displayed on screen.

In standby screen   3  9  1 “日本語” or  2 “English”

■ Setting the Clock (Date&Time Settings)

Set the date and time displayed in the standby screen.

In standby screen   5  1  Enter year (4-digit), month (2-digit), date (2-digit), time (24-hour),  [Accept]

■ Checking Handset Profile (Profile)

Register your profile.

In standby screen   0  [View]

■ Entering Text

■ Changing the text entry mode

In a text entry screen  メ-ル  Select entry mode

■ Entering text

Enter text with repeated presses of dial keys.

Example: entering “しゅうじつ”

In Kanji mode  3 two times “し”  8 two times “ゆ”  * one time “ゆ”  1 three times “う”  3 two times “し”  * one time “じ”  4 three times “つ”  [Decide]

■ Converting kanji

Example: entering “きょう” and converting to “京”

In Kanji mode

 2 two times “き”  8 three times “よ”  * one time “よ”  1 three times “う”

 2  カマ  [Conversion], use   to select “京”,  [Decide]

■ Entering symbols, fixed phrases, pictograms, emoticons

In a text entry screen Press  [Menu]

Select from the following items.

- Symbols
- Fixed Phrase
- Pictogram/Emoticons

■ Setting Sound/Vibrator for Incoming Voice Calls

In standby screen  ▶  ▶ 

Select from the following items.

-  Volume
-  Ringtone
-  Vibration Settings

Security

■ Changing the Handset Code (Change Handset Code)

In standby screen  ▶  ▶  ▶ Enter Handset Code ▶ Enter new 4-digit code ▶ Enter new 4-digit code again

■ Setting Secret Mode (Secret Mode)

You can protect phone book information and schedule/TODO information from being viewed by others by registering secret information, so that they are not displayed in normal mode.

In standby screen  ▶  ▶  ▶ Enter Handset Code ▶  "ON" or  "OFF"

■ Setting Phone Numbers of Calls to Reject (Reject Numbers)

You can reject calls from specific numbers or numbers that are withheld by the caller. You can also set whether to play a message for the caller being rejected and whether to save the rejected call to the log.

In standby screen  ▶  ▶  ▶ Enter Handset Code

Select from the following items and enter the number.

-  Specified Number
-  Specified Num. list
-  Reject Withheld Number
-  Reject Payphone Call
-  Unavailable number
-  Save Incom. History
-  Clear Incoming Call Rejection

Phone

■ Making a Call

In standby screen Enter number,  ▶  when call ends

■ Accepting a Call

When call arrives Press 

■ Making a Call from the Dialed/Received Call Logs

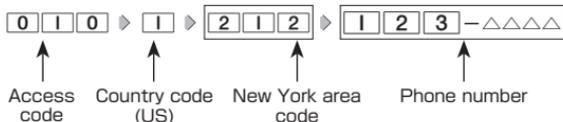
In standby screen (Dialed) or (Received) Select logged call,

■ Making an International Call

■ Calling abroad from handset

Example: to call 212-123-△△△△ in the US

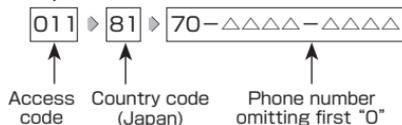
In standby screen



* If the other party's number begins with a "0", dial with the "0" omitted (some countries/regions excepted).

■ Calling to handset in Japan from abroad

Example: to call handset 070-△△△△-△△△△ from the US



Mail

■ Creating and Sending E-mail

In standby screen

1 4 "Create E-mail"

Select from the following items and enter information.

- From
- To
- Subject
- Attachment
- Text

2 Press [Send]

■ Reading Received E-mail

Standby screen (with new mail notice) After confirming new mail notice, [Select] or

Select mail to view from list of new mail, [OK]

The selected received mail is displayed.

■ Replying to Received E-mail

In Box (mail list)/received mail content screen [Menu] 1 "Reply" or 2 "Reply All" Edit text [Send]

Phone Book

■ Registering to the Phone Book

In standby screen **Press and hold**  (at least one second) **▶ Select item to register** **▶ Enter/select information** **▶**  **[Save]** or  **[Save]**

Camera

■ Capturing a Photo

Capture a photo using the camera's photo shoot (p.158).

In standby screen  **▶**  **"Photo shoot"** **▶**  **[Shooting]** **▶ Check preview of photo,**  **[Save]**

■ Recording a Movie

Record a movie using the camera's movie recording (p.158).

In standby screen

1  **▶** **2** **"Movie Recording"** **▶**  **[Record]** **▶ Start recording** **▶**  **[End]** or recording ends once maximum recording time elapses

■ For "Fine L"

Once recording ends, a preview screen appears.

2 Check the recording in the preview screen,  **[Save]**

■ For "Extended LL"

The recording is saved automatically to the "Movie" tab on a microSD card (microSD card inserted), and the display returns to the monitor screen.

■ Viewing a Captured Photo/Recorded Movie

In standby screen  **▶ Select "Data Folder"**,  **[Select]** **▶ Select folder/ "microSD"**,  **[Select]** (**▶ Enter Handset Code**^{*1}/**▶**  **"microSD Data"**^{*2}) **▶ Use**  **to select tab,**  **[To File]** or  **▶ Select data,**  **[Play]**

*1 When "プライベートフォルダ" (private folder) is selected.

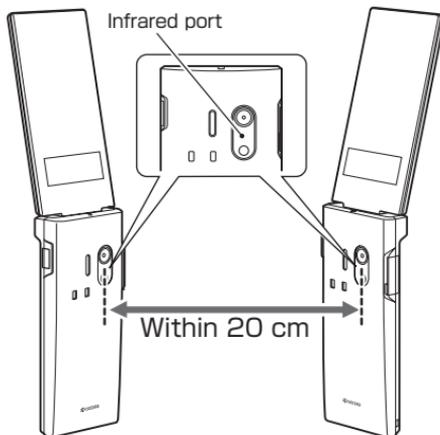
*2 When "microSD" is selected with a microSD card inserted.

Using Infrared Data Transfer

■ Sending/Receiving Data by Infrared

You can send and receive phone book and other information with another device that has an infrared communication function.

The method for sending and receiving profile information and phone number is described.



■ Sending Your Phone Number

In standby screen

- 1 ▶ Select "Infrared comm", [Select] ▶ 2 "Send IrDA"
- 2 "Profile"
- 3 Press [Select]

■ Receiving Another's Phone Number

In standby screen

- 1 ▶ Select "Infrared comm", [Select] ▶ "Receive IrDA"
- 2 Align infrared ports on handset and other device
- 3 Information is received ▶ "Yes"

Ymobile Services

Voicemail Service (Subscription Required)

Inquire at a Ymobile Service Center for details. To inquire at a Ymobile Service Center, dial the following.

In standby screen  ▶  ▶  ▶ 

or

In standby screen    6 

Call Forwarding Service (No Subscription Required)

This service forwards incoming calls to another phone if your handset is turned off, you are outside the service area, or you are in-call. You can set another Ymobile phone, a landline phone, a cellular phone, etc. for where to forward calls. Inquire at a Ymobile Service Center for details.

Split Billing Service (Subscription Required)

Ymobile offers a "split billing service" that allows call charges to be split between two different parties to be billed. You can use this service such as to maintain business and private billing. Call charges that do not use the split billing service are billed to the subscriber (main biller), and call charges using the split billing service are billed to pre-registered split billers. Subscription beforehand is required to use this service. Inquire at a Ymobile Service Center for details.

■ Entering a number with split billing to make a call

In standby screen Enter number ▶  [Dial Screen] * ▶  [Menu] ▶ Select "Split Bill", "Split Bill(184)", or "Split Bill(186)",  [Select]

* When "SuguMoji" (p.75) is "ON" .

Appendix

■ Bundled Items

- Unit (402KC)
- Battery cover
- Lithium-ion battery (LB07KC)
- Desktop holder (CH12K)
- Instructions (warranty)

■ Main Specifications

Mass	Approx. 113 g (battery installed)	
Battery mass	Approx. 17 g	
Size (width x height x thickness)	Approx. 50 x 110 x 16.4 mm (excl. projections)	
Continuous standby time	Approx. 720 hours	
Continuous talk time	Approx. 10 hours	
Main display	3.0 inches/240 x 400 dots	
Photographic element	CMOS	
Effective pixels	Approx. 5 megapixels	
Bluetooth function	Supported version	Bluetooth standard: v2.1+EDR-compliant
	Output power	Bluetooth standard: Power Class 2
	Supported profiles	HSP/HFP/PBAP/SPP/PVP/PAN



iWnn



NetFront[®]
Mobile Client Suite

「スマートソニックレシーバー」、「ピクトインフォメーション」、「お知らせシェア」、「すぐ文字」、「しっかリンク」、「撮速メール」、「マナートーク」は京セラの登録商標です。

IrDA Protocol Stack [DeepCore[®] 3.0 Plus] © E-Gloaledge Corp. All Right Reserved.

日本語変換はオムロンソフトウェア（株）のiWnnを使用しています。
(C) Copyright OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2010 All Rights Reserved.

本製品には、NECのフォント「FontAvenue」を使用しています。
FontAvenueは、日本電気株式会社の登録商標です。

本製品のTCP/IPは、図研エルミック株式会社のKASAGO TCP/IPを搭載しています。

Bluetooth[®]ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、京セラ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Mobile Client Suiteを搭載しています。
ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本国、米国またはその他の国における登録商標または商標です。
© 2014 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

MascotCapsule[®] は株式会社エイチアイの日本国内における登録商標です。

Java and all Java based trademarks and logos are trademarks or registered trademarks of Oracle and/or its affiliates.

miniSD、microSDロゴ、microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

当製品には、イーソル株式会社のFATファイルシステム「PrFILE[®]2」が搭載されています。
「PrFILE[®]」は、イーソル株式会社の登録商標です。

FlashFX[®] Pro[™] はDATALIGN, Inc.の登録商標です。
FlashFX[®] Copyright 1998-2014 DATALIGN, Inc.
U.S.Patent Office 5,860,082/6,260,156

MicrosoftおよびWindows、Windows Vista、Windows 7は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

MacおよびMac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。

「Yahoo!」および「Yahoo! | Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。

Google[™]、Googleロゴ、Google Play[™]、およびGoogle PlayロゴはGoogle Inc.の商標または登録商標です。

mixi及びmixiロゴは、株式会社ミクシィの登録商標です。

「NAVITIME」は株式会社ナビタイムジャパンの登録商標です。

Twitter及び、Twitterロゴは、Twitter, Inc.の登録商標です。

Information on OpenSSL LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit.

See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

Copyright © 1998-2011 The OpenSSL Project.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:

"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:

"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OPENSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OPENSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (ey@cryptsoft.com).

This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright © 1995-1998 Eric Young (ey@cryptsoft.com)

All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (ey@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:

"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:

This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com) THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

本取扱説明書に記載の会社名・商品名は各社の登録商標または商標です。

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。

また米国政府機関が定める米国輸出規制（Export Administration Regulations、およびその他の関連法令）、その他の国の法令等の適用を受ける場合があります。

本製品および付属品を直接的、または間接的とを問わず輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省、その他関係機関へお問い合わせください。

京セラへのお問い合わせ

通信機器・操作方法に関するご相談、お問い合わせ

下記のような内容は京セラ通信お客様相談室にお問い合わせください。

- ・製品の仕様および使い方について
- ・USBドライバのインストール方法について

京セラ通信お客様相談室

ワイモバイル電話・一般電話・
携帯電話などから

0120-500-349 (無料)

・受付時間：平日 9:00～18:00 土曜・日曜・祝日 9:00～17:00

- ・都合により休業する場合がございます。
- ・受付時間を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- ・IP電話 (050-XXXX-XXXX)からは接続できない場合があります。

- 京セラのお問い合わせ窓口ではご契約の変更、通話料金のお問い合わせ、電話機の紛失処理等の対応はできませんので、ワイモバイル カスタマーセンターにお問い合わせください。

PHSの修理、オプション品に関するお問い合わせ

下記のような内容は京セラテクニカルサービスセンターにお問い合わせください。

- ・オプション品購入のご相談について
- ・修理のご相談について

京セラテクニカルサービスセンター

ワイモバイル電話・一般電話・
携帯電話などから

0120-994-723 (無料)

・受付時間：9:00～12:00 13:00～17:00 (土・日・祝日定休)

- ・定休日以外に年末年始、ゴールデンウィーク、夏期休暇、設備点検日などは休業いたします。
- ・受付時間を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- ・IP電話 (050-XXXX-XXXX)からは接続できない場合があります。

- 修理に関するお問い合わせは、ワイモバイル カスタマーセンターでも受け付けております。
- オプション品は下記からでもご購入いただくことができます。
 - ・京セラホームページ
http://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/consumer/phs_op1.html

ホームページからのお問い合わせ

機器に関するご相談、お問い合わせは、京セラホームページからも行えます。

- ・京セラホームページ
<http://www.kyocera.co.jp/>
E-mailでのお問い合わせページ
サポート・お問い合わせを選択し、その他のお問い合わせから E-mailでのお問い合わせ を選択しお客様相談室で質問のページに必要な事項を記入してお問い合わせください。

京セラのお問い合わせ窓口における個人情報のお取り扱いについて

ご相談、お問い合わせやオプション品のご注文の際に入手したお客様の個人情報をお客様の同意なしに業務委託先以外の第三者に開示・提供することはありません。(法令により定められた場合を除く)
お客様の個人情報は製品・修理・オプション品に関するご相談、お問い合わせやオプション品販売に関する業務のみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

ワイモバイルへのお問い合わせ

ワイモバイルの総合サービスに関するお問い合わせ

下記のような内容はワイモバイル カスタマーセンターにお問い合わせください。

- ・ご契約内容（加入・変更・引越等）
- ・月額基本料金・通話料等
- ・オプションサービス・修理のご相談について
- ・サービスエリア
- ・電話機の紛失
- ・その他、通信サービスについて

ワイモバイル カスタマーセンター

総合窓口（通話料有料）

ワイモバイルの電話/通信機器から

局番無しの151（有料）

一般加入電話・携帯電話などから

0570-039-151（有料）

・オペレーター対応時間：9:00～20:00（年中無休）

- ※「だれとでも定額」の無料対象になります。
- ※番号をよくお確かめのうえ、おかけください。

各種お手続き（通話料無料）

ワイモバイルの電話/通信機器から

局番無しの116（無料）

一般加入電話・携帯電話などから

0120-921-156（無料）

・受付時間：自動音声応答にて24時間受付（年中無休）

- ※番号をよくお確かめのうえ、おかけください。

- お電話でのお問い合わせ・お手続きにはワイモバイル電話番号とご契約時にお決め頂いた暗証番号（4桁）が必要です。
あらかじめご準備のうえ、お問い合わせ・お手続きをお願いいたします。

店舗でのご相談、お手続き

ワイモバイルショップ・ワイモバイル カスタマーセンターでも各種ご相談・お手続きを承っております。

京セラ株式会社

〒612-8501 京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地

通信機器事業本部

〒224-8502 神奈川県横浜市都筑区加賀原2-1-1

<http://www.kyocera.co.jp/>

<http://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/consumer/>